OMRON

マシンオートメーションコントローラ
NJ/NXシリーズ

トラブルシューティングマニュアル

形NX701-1□□□
形NX502-1□□□
形NX102-1□□□
形NX102-9□□□
形NX1P2-1□□□□□
形NX1P2-9□□□□□
形NJ501-□□□□
形NJ301-1□□□
形NJ101-10□□
形NJ101-90□□

SYSMAC
always in control

SBCA-469AB

おことわり

(1) 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

(2) 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

(3) 本マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、弊社支店または営業所までご連絡ください。
その際、巻末記載の Man.No.（マニュアル No.）も併せてお知らせください。

商標

- Sysmac は、オムロン株式会社 FA 機器製品の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Excel、Visual Basic、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- EtherCAT®は、ドイツ Beckhoff Automation GmbH によりライセンスされた特許取得済み技術であり登録商標です。
- ODVA、CIP、CompoNet、DeviceNet、EtherNet/IP は ODVA の商標です。
- SD、SDHC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。

その他、本文中に掲載している会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権

- スクリーンショットはマイクロソフトの許諾を得て使用しています。
- 本製品にはサードパーティ製のソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスと著作権については、http://www.fa.omron.co.jp/nj_info_j/ をご覧ください。

はじめに

このたびは、NJ/NX シリーズ CPU ユニットをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本マニュアルは、NJ/NX シリーズ CPU ユニットを使用する上で、必要な情報を記載しています。お使いになる前に本マニュアルをよく読んで、機能・性能などを十分ご理解いただき、システムの構築にご活用ください。
また、お読みになった後も本マニュアルは大切に保管して、いつも手元においてお使いください。

対象となる読者の方々

本マニュアルは、電気の知識（電気工事士あるいは同等の知識）を有する、次の方を対象に記述しています。
- FA 機器の導入を担当される方
- FA システムを設計される方
- FA 機器を設置、接続される方
- FA 現場を管理される方

また、プログラミング言語に関して、国際標準規格 IEC 61131-3 もしくは国内標準規格 JIS B 3503 に規定される内容をご理解いただいている方を対象に記述しています。

対象となる製品

本マニュアルは以下の製品を対象にしています。
- NX シリーズ CPU ユニット
  - 形 NX701-1□□□
  - 形 NX502-1□□□
  - 形 NX102-1□□□
  - 形 NX102-9□□□
  - 形 NX1P2-1□□□□□
  - 形 NX1P2-9□□□□□
- NJ シリーズ CPU ユニット
  - 形 NJ501-□□□□
  - 形 NJ301-1□□□
  - 形 NJ101-10□□
  - 形 NJ101-90□□

各製品の仕様の一部または制約事項が、他のマニュアルに記載されている場合があります。「分冊構成 (P.2)」および「関連マニュアル (P.20)」をご確認ください。

分冊構成

本製品のマニュアルは、次表のとおりに分冊されています。目的に応じてお読みいただき、本製品を活用してください。
本製品の操作には、おもにオートメーションソフトウェア Sysmac Studio を使用します。Sysmac Studio については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください。

使用目的	マニュアル																			
	基本情報																			
	NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル 内蔵 I/O、オプションボード機能編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル モーション制御編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル モーション編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ CPU ユニット OPC/UA 編	NX シリーズ CPU ユニット FINS 機能編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル
形 NX701 の概要を知る	○																			
形 NX502 の概要を知る		○																		
形 NX102 の概要を知る			○																	
形 NX1P2 の概要を知る				○																
NJ シリーズの概要を知る					○															
装着、設置、ハードウェア設定を行う	○	○	○	○	○															
モーション制御を行う場合									○											
EtherCAT を使用する場合												○								
EtherNet/IP を使用する場合													○							
オムロン製ロボットの制御を行う場合																		○		

使用目的	マニュアル																	
	NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル FINS 機能編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC/UA 編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherNet/IP ポートユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル モーション編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル 内蔵 I/O、オプションボード機能編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編
	基本情報																	
ソフトウェア設定を行う															○			
モーション制御を行う場合												○						
EtherCAT を使用する場合											○							
EtherNet/IP を使用する場合									○									
OPC UA を使用する場合								○										
FINS を使用する場合							○											
データベース接続サービスを使用する場合						○												
GEM サービスを使用する場合					○													
オムロン製ロボットの制御を行う場合				○														
NJ Robotics 機能でロボット制御を行う場合			○															
数値制御を行う場合		○																
形 NX1P2 の機能を使用する場合														○				

使用目的	マニュアル																			

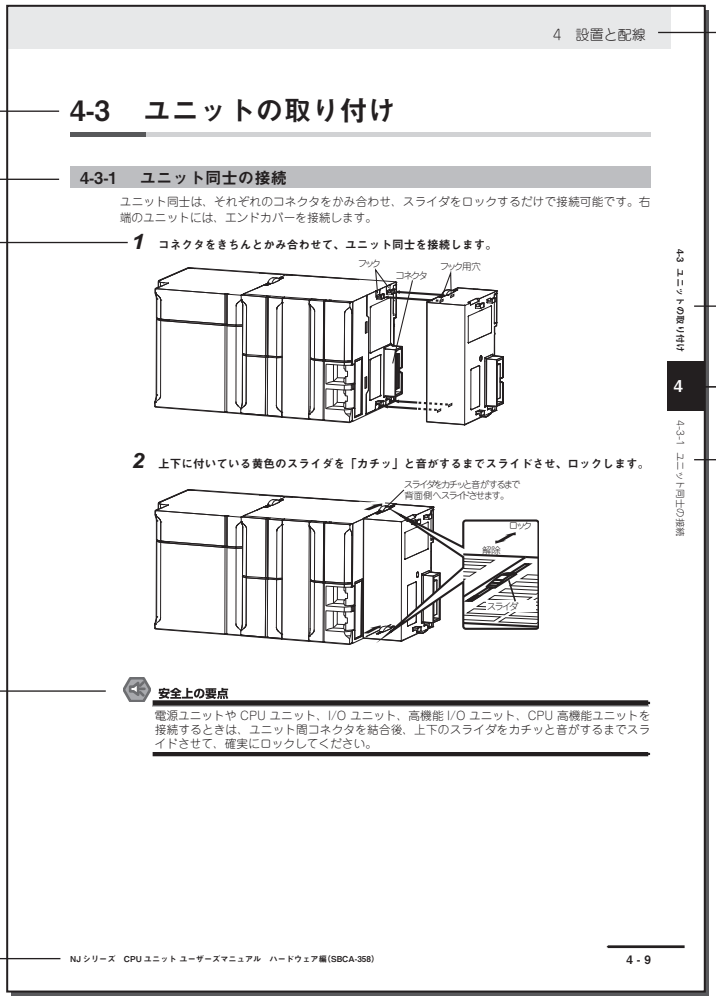
使用目的	マニュアル																			
	基本情報																			
	NJ/NX シリーズ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル 内蔵 I/O、オプションボード機能編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル モーション編	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC/UA 編	NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル FINS 機能編	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル	NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル
動作確認やデバッグを行う							○													
モーション制御を行う場合										○										
EtherCAT を使用する場合												○								
EtherNet/IP を使用する場合													○							
OPC UA を使用する場合														○						
FINS を使用する場合															○					
データベース接続サービスを使用する場合																○				
GEM サービスを使用する場合																	○			
オムロン製ロボットの制御を行う場合																		○		
NJ Robotics 機能でロボット制御を行う場合																			○	
数値制御を行う場合																				○
形 NX1P2 の機能を使用する場合								○												
異常管理機能やトラブル発生時の対処方法を知る *1														△	△	△	△	△	△	○
保守作業について知る	○	○	○	○	○	○	○													
モーション制御を行う場合										○										
EtherCAT を使用する場合												○								
EtherNet/IP を使用する場合													○							

*1. 異常管理の考え方と異常項目については、『NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル(SBCA-469)』を参照してください。ただし、△ マークがついているマニュアルの製品に特有の異常の詳細については、△ マークがついているマニュアルを参照してください。

マニュアルの読み方

ページ構成

このマニュアルの各ページの構成は次のとおりです。



章タイトル

節タイトル

項タイトル

現在のページの章／節／項タイトルをそれぞれ示します。

節タイトル

項タイトル

操作手順

操作手順を示します。

章番号

現在のページの章番号を示します。

注記、補足、参照先

注記、補足、参照先などの各項目を、アイコンによって示しています。

マニュアル名称

このページは、説明用の見本です。実際の内容とは異なります。

アイコン

このマニュアルで使われているアイコンには、次のような意味があります。

 **安全上の要点**

製品を安全に使用するために実施または回避すべきことを示します。

 **使用上の注意**

製品の動作不能、誤動作、または性能・機能への悪影響を予防するために実施または回避すべきことを示します。

 **参考**

必要に応じて読んでいただきたい項目です。
知っておくと便利な情報や、使用する上で参考となる内容について説明しています。

 **バージョン関連情報**

コントローラや Sysmac Studio の、バージョンによる性能や機能の違いについて説明しています。

表記についての留意事項

本マニュアルでは、Sysmac Studio から実機コントローラにデータを転送することを“ダウンロード”、実機コントローラからデータを Sysmac Studio に転送することを“アップロード”と記述しています。
Sysmac Studio では、“ダウンロード”および“アップロード”は、いずれも“同期”機能を使用します。Sysmac Studio の“同期”機能は、パソコン上のデータと実機コントローラのデータを自動照合し、どちらの方向に転送するかをユーザが選択する機能です。

目次構成

1 異常の概要

2 異常発生時の対処方法

3 異常の内容と処置

A 付録

I 索引

目次

はじめに **1**
対象となる読者の方々 1
対象となる製品 1

分冊構成 **2**

マニュアルの読み方 **6**
ページ構成 6
アイコン 7
表記についての留意事項 7

目次構成 **9**

ご承諾事項 **13**

安全上の注意 **15**

安全上の要点 **16**

使用上の注意 **17**

法規と規格 **18**

バージョン **19**
CPU ユニットのユニットバージョンと Sysmac Studio のバージョン 19

関連マニュアル **20**

マニュアル改訂履歴 **25**

第 1 章　異常の概要

1-1　NJ/NX シリーズの異常の概要 **1-2**
1-1-1　異常の分類 1-4
1-1-2　CPU ユニットの状態 1-5

1-2　CPU ユニットが動作できない異常 **1-8**
1-2-1　CPU ユニットが動作できない異常の種類 1-8
1-2-2　CPU ユニットが動作できない異常の確認方法 1-10

1-3　CPU ユニットが動作できる異常 **1-11**
1-3-1　CPU ユニットが動作できる異常の種類 1-11
1-3-2　CPU ユニットが動作できる異常の確認方法 1-23
1-3-3　CPU ユニットが動作できる異常の解除方法 1-27
1-3-4　モーション制御機能モジュールに関する異常 1-30
1-3-5　EtherNet/IP 機能モジュールに関する異常 1-34
1-3-6　EtherCAT マスタ機能モジュールに関する異常 1-37

第 2 章　異常発生時の対処方法

2-1　異常発生時の対処フロー **2-2**
2-1-1　CPU ユニットが動作しているかの確認 2-2
2-1-2　CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処フロー 2-4

2-1-3 EtherNet/IP 機能モジュールの異常状態の確認フロー....2-5
2-2 CPU ユニットが動作できない異常の場合の対処方法....2-8
2-3 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処方法....2-10
2-3-1 Sysmac Studio を使った異常の確認と解除....2-10
2-3-2 表示器を使った異常の確認と解除....2-15
2-3-3 ユーザプログラムによる異常の確認と解除....2-18
2-3-4 システム定義変数による異常の確認....2-20
2-4 サポートソフトがオンライン接続できない場合の対処方法....2-23
2-4-1 Sysmac Studio がオンライン接続できない場合の対処方法....2-23
2-4-2 Network Configurator がオンライン接続できない場合の対処方法....2-36
2-4-3 CX-ConfiguratorFDT がオンライン接続できない場合の対処方法....2-36
2-4-4 CX-Integrator がオンライン接続できない場合の対処方法....2-36
2-4-5 CX-Protocol がオンライン接続できない場合の対処方法....2-36

第 3 章 異常の内容と処置

3-1 表の見方....3-2
3-1-1 異常一覧の見方....3-2
3-1-2 異常の説明の見方....3-3
3-2 PLC 機能モジュールの異常....3-4
3-2-1 異常一覧....3-4
3-2-2 異常の説明....3-68
3-2-3 その他のトラブルと処置....3-331
3-3 NX バス機能モジュールの異常....3-332
3-3-1 異常一覧....3-332
3-3-2 異常の説明....3-335
3-4 X バス機能モジュールの異常....3-348
3-4-1 異常一覧....3-348
3-4-2 異常の説明....3-349
3-5 X バスユニット共通機能モジュールの異常....3-358
3-5-1 異常一覧....3-358
3-5-2 異常の説明....3-361
3-6 モーション制御機能モジュールの異常....3-377
3-6-1 異常一覧....3-377
3-6-2 異常の説明....3-402
3-6-3 その他のトラブルと処置....3-499
3-7 EtherNet/IP 機能モジュールの異常....3-503
3-7-1 異常一覧....3-503
3-7-2 異常の説明....3-510
3-7-3 その他のトラブルと処置....3-551
3-8 EtherCAT マスタ機能モジュールの異常....3-552
3-8-1 異常一覧....3-552
3-8-2 異常の説明....3-561
3-9 OPC UA 機能の異常....3-618
3-9-1 異常一覧....3-618
3-9-2 異常の説明....3-626
3-9-3 その他のトラブルと処置....3-647

付録

A-1 CPU ユニットで発生するその他の異常....A-2
A-1-1 DB 接続サービス機能の異常....A-2
A-1-2 GEM サービス機能の異常....A-9
A-1-3 ロボット制御機能の異常....A-14
A-1-4 NJ Robotics 機能の異常....A-30

A-1-5　CNC 機能の異常 A-44
A-2　接続機器で発生する異常 A-58
A-2-1　スレーブターミナルの異常 A-58
A-2-2　EtherCAT スレーブの異常 A-108
A-2-3　CJ シリーズユニットの異常 A-142
A-3　CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴 A-163
A-4　イベントコード順の異常一覧 A-168
A-4-1　異常一覧の見方 A-168
A-4-2　異常一覧 A-170
A-5　表示器のトラブルシュータの対応範囲 A-225
A-5-1　トラブルシュータを使用できる表示器と CPU ユニットの組み合わせ A-225
A-5-2　トラブルシュータが対象とするシステム構成要素 A-226
A-6　設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満と Ver.1.40 以降のイベントの対応 A-227
A-7　形 NX102、形 NX1P2 とスレーブターミナルの NX バス関連イベントの対応 A-229
A-8　イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正 A-230
A-8-1　イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正手順のフロー A-232
A-8-2　イベントごとのリングトポロジの配線修正方法 A-234
A-9　X バスユニット関連の動作 A-245
A-9-1　重要度ごとの動作 A-245
A-9-2　イベント発生源となった場合の機能モジュールの動作 A-245
A-10　マニュアル No.変更前の改訂履歴 A-247

索引

ご承諾事項

「当社商品」について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。

定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- 「当社商品」:「当社」の FA システム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- 「カタログ等」:「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含みます。
- 「利用条件等」:「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- 「お客様用途」:「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み、または利用を含みます。
- 「適合性等」:「お客様用途」での「当社商品」の(a)適合性、(b)動作、(c)第三者の知的財産の非侵害、(d)法令の遵守および(e)各種規格の遵守

記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- 定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- 参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- 利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- 「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- 定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- 「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- 「当社商品」をご使用の際には、(i)定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii)「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii)利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv)「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- 「当社」は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。

お客様ご自身にて、①アンチウイルス保護、②データ入出力、③紛失データの復元、④「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、⑤「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

- 「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
  a）高い安全性が必要とされる用途（例：原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及びうる用途）
  b）高い信頼性が必要な用途（例：ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など）
  c）厳しい条件または環境での用途（例：屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など）
  d）「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
- 上記の(a)から(d)に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車（二輪車含む。以下同じ）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

- 保証期間　ご購入後 1 年間といたします。
  （ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。）
- 保証内容　故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
  a）当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理
  （ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。）
  b）故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
- 保証対象外　故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
  a）「当社商品」本来の使い方以外のご利用
  b）「利用条件等」から外れたご利用
  c）本ご承諾事項「ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
  d）「当社」以外による改造、修理による場合
  e）「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
  f）「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
  g）上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因（天災等の不可抗力を含む）

責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。
「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

安全上の注意

安全上のご注意の内容については、以下のマニュアルを参照してください。
- 『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-418)』
- 『NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』
- 『NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-462)』
- 『NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-448)』
- 『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-466)』

安全上の要点

安全上の要点の内容については、以下のマニュアルを参照してください。
- 『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-418)』
- 『NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』
- 『NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-462)』
- 『NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-448)』
- 『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-466)』

使用上の注意

使用上の注意の内容については、以下のマニュアルを参照してください。
- 『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-418)』
- 『NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』
- 『NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-462)』
- 『NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-448)』
- 『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-466)』

法規と規格

法規と規格の内容については、以下のマニュアルを参照してください。
- 『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-418)』
- 『NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』
- 『NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-462)』
- 『NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-448)』
- 『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-466)』

バージョン

NJ/NX シリーズの各ユニットおよび各 EtherCAT スレーブは、ハードウェアやソフトウェアが、ハードウェアリビジョンやユニットバージョンという改変番号でバージョン管理されています。ハードウェアまたはソフトウェアに仕様変更があるごとに、ハードウェアリビジョンまたはユニットバージョンが更新されます。したがって、同じ形式のユニットや EtherCAT スレーブでも、ハードウェアリビジョンまたはユニットバージョンが異なると搭載機能や性能が異なります。

バージョンの内容については、以下のマニュアルを参照してください。

- 『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-418)』
- 『NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』
- 『NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-462)』
- 『NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-448)』
- 『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編（SBCA-466)』

CPU ユニットのユニットバージョンと Sysmac Studio のバージョン

NJ/NX シリーズ CPU ユニット、EtherCAT スレーブ、NX ユニットのユニットバージョンにより、発生するイベントが異なります。バージョンアップで追加されたイベントを Sysmac Studio のトラブルシュート機能や表示器のトラブルシュータで表示できるようにするには、対応しているバージョンの Sysmac Studio を使う必要があります。
CPU ユニット、EtherCAT スレーブ、NX ユニットのユニットバージョンの種類と Sysmac Studio のバージョンとの関係は、それぞれのユーザーズマニュアルを参照してください。

関連マニュアル

本マニュアルに関連するマニュアルは、下表のとおりです。あわせてご覧ください。

マニュアル名称	Man.No.	形式	用途	内容
NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBCA-418	形 NX701-□□□□	形 NX701 CPU ユニットの概要／設計／取付／保守などの基本的な仕様について知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	形 NX701 のシステム全体概要、および CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • 特長やシステム構成 • 概要 • 各部の名称と機能 • 一般仕様 • 設置と配線 • 保守点検
NX シリーズ 形 NX502 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBCA-497	形 NX502-□□□□	形 NX502 CPU ユニットの概要／設計／取付／保守などの基本的な仕様について知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	形 NX502 のシステム全体概要、および CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • 特長やシステム構成 • 概要 • 各部の名称と機能 • 一般仕様 • 設置と配線 • 保守点検
NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBCA-462	形 NX102-□□□□	形 NX102 CPU ユニットの概要／設計／取付／保守などの基本的な仕様について知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	形 NX102 のシステム全体概要、および CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • 特長やシステム構成 • 概要 • 各部の名称と機能 • 一般仕様 • 設置と配線 • 保守点検
NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBCA-448	形 NX1P2-□□□□	形 NX1P2 CPU ユニットの概要／設計／取付／保守などの基本的な仕様について知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	形 NX1P2 のシステム全体概要、および CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • 特長やシステム構成 • 概要 • 各部の名称と機能 • 一般仕様 • 設置と配線 • 保守点検
NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBCA-466	形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ シリーズ CPU ユニットの概要／設計／取付／保守などの基本的な仕様について知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	NJ シリーズのシステム全体概要、および CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • 特長やシステム構成 • 概要 • 各部の名称と機能 • 一般仕様 • 設置と配線 • 保守点検
NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	SBCA-467	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ/NX シリーズ CPU ユニットのプログラミング／システムの立ち上げについて知りたいとき。 おもにソフトウェアに関する情報。	NJ/NX シリーズ CPU ユニットに関して、以下の内容を説明します。 • CPU ユニットの動作 • CPU ユニットの機能 • 初期設定 • IEC 61131-3 ベースの言語仕様とプログラミング
NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル 内蔵 I/O、オプションボード機能編	SBCA-449	形 NX1P2-□□□□	NX シリーズ 形 NX1P2 CPU ユニットだけに搭載する機能の詳細について、および、NJ/NX シリーズの機能の概要を知りたいとき。	形 NX1P2 CPU ユニットの機能のうち以下の内容を説明します。 • 内蔵 I/O • シリアル通信用オプションボード • アナログ入出力用オプションボード あわせて、NJ/NX シリーズ CPU ユニットの以下機能の概要を説明します。 • モーション制御機能 • EtherNet/IP 通信機能 • EtherCAT 通信機能

マニュアル名称	Man.No.	形式	用途	内容
NJ/NX シリーズ コマンドリファレンス マニュアル 基本編	SBCA-468	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ/NX シリーズの基本命令仕様の詳細について知りたいとき。	各命令（IEC 61131-3 仕様）の詳細を説明します。
NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編	SBCE-433	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	モーション制御の設定やプログラミングの考え方について知りたいとき。	モーション制御のための CPU ユニットの設定や動作、プログラミングの考え方について説明します。
NJ/NX シリーズ コマンドリファレンス マニュアル モーション編	SBCE-434	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	モーション命令仕様の詳細について知りたいとき。	各モーション命令の詳細を説明します。
NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherCAT®ポート ユーザーズマニュアル	SBCD-376	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ/NX シリーズ CPU ユニットの内蔵 EtherCAT ポートを使用するとき。	内蔵 EtherCAT ポートに関して説明します。 概要、構成、機能、セットアップについて記述しています。
NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherNet/IP™ポート ユーザーズマニュアル	SBCD-377	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ/NX シリーズ CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートを使用するとき。	内蔵 EtherNet/IP ポートに関して説明します。 基本設定、タグデータリンク、その他の機能について記述しています。
NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC UA 編	SBCD-374	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NJ501-1□00	OPC UA を使用するとき。	OPC UA に関して説明します。
NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル FINS 機能編	SBCD-375	形 NX701-□□20 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□	NX シリーズ CPU ユニットの FINS 機能を使用するとき。	NX シリーズ CPU ユニットの FINS 機能について説明します。
NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	SBCA-411	形 NX701-□□20 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□20 形 NJ501-□□20 形 NJ101-□□20	NJ/NX シリーズでデータベース接続サービス機能を使用するとき。	データベース接続サービス機能について説明します。
NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	SBCA-412	形 NJ501-1340	NJ シリーズで GEM サービス機能を使用するとき。	GEM サービスの機能について説明します。
NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル	SBCE-436	形 NJ501-R□□□	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニットを使用するとき。	オムロン製ロボットを制御するための CPU ユニットの設定や動作、プログラミングの考え方について説明します。
Sysmac Studio ロボット統合システム構築機能 オペレーションマニュアル ロボット統合 CPU ユニット編	SBCA-464	形 SYSMAC-SE2□□□ 形 SYSMAC-SE200D-64	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニットを使用してロボット統合システムを構築するとき。	Sysmac Studio で NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニットを使用するための機能の概要、操作方法について説明します。
Sysmac Studio ロボット統合システム構築機能 オペレーションマニュアル IPC Application Controller 編	SBCA-483	形 SYSMAC-SE2□□□ 形 SYSMAC-SE200D-64	IPC Application Controller を使用してロボット統合システムを構築するとき。	Sysmac Studio で IPC Application Controller を使用するための機能の概要、操作方法について説明します。

マニュアル名称	Man.No.	形式	用途	内容
Sysmac Studio 3D シミュレーション機能 オペレーションマニュアル	SBCA-482	形 SYSMAC-SE2□□□ 形 SYSMAC-SA4□□□-64	Sysmac Studio の 3D シミュレーション機能の概要、使用方法について知りたいとき。	Sysmac Studio の 3D シミュレーション機能の概要、実行手順、操作方法について説明します。
NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル	SBCA-421	形 NJ501-4□□□ 形 NJ501-R□□□	NJ シリーズで Robotics 機能を使用するとき。	NJ Robotics 機能について説明します。
NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル	SBCE-428	形 NJ501-5300 形 NY532-5400	NJ/NY シリーズで数値制御を行うとき。	数値制御機能について説明します。
NJ/NY シリーズ コマンドリファレンスマニュアル G コード編	SBCE-429	形 NJ501-5300 形 NY532-5400	G コード／M コード命令仕様の詳細について知りたいとき。	G コード／M コード命令の詳細を説明します。
NJ/NX シリーズ トラブルシューティング マニュアル	SBCA-469	形 NX701-□□□□ 形 NX502-□□□□ 形 NX102-□□□□ 形 NX1P2-□□□□ 形 NJ501-□□□□ 形 NJ301-□□□□ 形 NJ101-□□□□	NJ/NX シリーズで検出する異常の詳細について知りたいとき。	NJ/NX シリーズ システムにて検出する異常管理の考え方と各異常項目について説明します。
Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル	SBCA-470	形 SYSMAC-SE2□□□	Sysmac Studio の操作方法、機能について知りたいとき。	Sysmac Studio の操作方法について説明します。
NX シリーズ EtherCAT®カプラユニット ユーザーズマニュアル	SBCD-361	形 NX-ECC□□□	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット、および EtherCAT スレーブターミナルの使用方法について知りたいとき。	NX シリーズ EtherCAT カプラユニットと NX ユニットで構成される EtherCAT スレーブターミナルのシステム概要や構成方法、および EtherCAT を介して NX ユニットを設定、制御、モニタするための、EtherCAT カプラユニットのハードウェアや設定方法、機能について説明します。
NX シリーズ データリファレンスマニュアル	SBCA-410	形 NX-□□□□□□	NX シリーズの各ユニットのシステム構成に必要となるデータを一覧で閲覧したいとき。	NX シリーズの各ユニットの「消費電力」、「質量」など、システム構築に必要となるデータを集めて記載しています。
NX シリーズ NX ユニット ユーザーズマニュアル	SBCA-407	形 NX-ID□□□□ 形 NX-IA□□□□ 形 NX-OC□□□□ 形 NX-OD□□□□ 形 NX-MD□□□□	NX ユニットの使用方法について知りたいとき。	NX ユニットのハードウェアや設定方法、機能について説明します。 以下のユニットのマニュアルがあります。 デジタル I/O ユニット、アナログ I/O ユニット、システムユニット、位置インタフェースユニット、コミュニケーションインタフェースユニット、ロードセル入力ユニット、IO-Link マスタユニット
	SBCA-408	形 NX-AD□□□□ 形 NX-DA□□□□		
	SBCA-461	形 NX-HAD□□□		
	SBCA-440	形 NX-TS□□□□ 形 NX-HB□□□□		
	SBCA-409	形 NX-PD1□□□ 形 NX-PF0□□□ 形 NX-PC0□□□ 形 NX-TBX01		
	SBCE-374	形 NX-EC0□□□ 形 NX-ECS□□□ 形 NX-PG0□□□		
	SBCA-422	形 NX-CIF□□□		
	SBCA-439	形 NX-RS□□□□		
	SBCD-370	形 NX-ILM□□□		
NX シリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル	SGFM-710	形 NX-SL□□□□ 形 NX-SI□□□□ 形 NX-SO□□□□	NX シリーズ セーフティコントロールユニットの使用方法について知りたいとき。	NX シリーズ セーフティコントロールユニットのハードウェアや設定方法、機能について説明します。
NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル	SGFM-711	形 NX-SL□□□□	セーフティ CPU ユニット用の命令仕様の詳細について知りたいとき。	セーフティ CPU ユニット用の命令の詳細を説明します。

マニュアル名称	Man.No.	形式	用途	内容
IO-Link システム ユーザーズ マニュアル	SBCD-371	形 NX-ILM□□□ 形 GX-ILM□□□	IO-Link システムについて、その概要から詳細まで、IO-Link マスタ共通のおもにソフトウェア的な内容、関連サポートソフトの操作方法、トラブルシューティングを知りたいとき。	IO-Link システムの概要、システム構成、通 信仕様／しくみ、I/O データ、パラメータ、各種機能、サポートソフト、トラブルシューティングについて説明しています。
EtherCAT リモート I/O ターミナル GX シリーズ EtherCAT スレーブ ユーザーズマニュアル	SBCD-350	形 GX-ID□□□□ 形 GX-OD□□□□ 形 GX-OC□□□□ 形 GX-MD□□□□ 形 GX-AD□□□□ 形 GX-DA□□□□ 形 GX-EC□□□□ 形 XWT-ID□□ 形 XWT-OD□□	EtherCAT リモート I/O ターミナルの使用方法について知りたいとき。	EtherCAT リモート I/O ターミナルのハードウェアや設定方法、機能について説明します。
MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット ユーザーズマニュアル	SBCE-361	形 3G3AX-MX2-ECT 形 3G3AX-RX-ECT	MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット 形 3G3AX-MX2-ECT、形 3G3AX-RX-ECT を接続する方法について知りたいとき。	MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット 形 3G3AX-MX2-ECT、形 3G3AX-RX-ECT の設置、運転のために必要なパラメータ設定方法、トラブル発生時の処置および点検方法について説明します。
AC サーボモータ／ドライバ 1S シリーズ EtherCAT®通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル	SBCE-377	形 R88M-1□ 形 R88D-1SN□-ECT	EtherCAT 通信内蔵タイプのサーボモータ／ドライバの使用方法について知りたいとき。	EtherCAT 通信内蔵タイプのサーボモータ／ドライバのハードウェアや設定方法、機能について説明します。
	SBCE-438	形 R88M-1AL□/-1AM□ 形 R88D-1SAN□-ECT		
AC サーボモータ／ドライバ G5 シリーズ EtherCAT®通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル	SBCE-365	形 R88M-K□ 形 R88D-KN□-ECT	EtherCAT 通信内蔵タイプのサーボモータ／ドライバの使用方法について知りたいとき。	EtherCAT 通信内蔵タイプのサーボモータ／ドライバのハードウェアや設定方法、機能について説明します。 G5 シリーズには、リニアモータタイプや位置制御限定モデルがあります。
	SBCE-366	形 R88L-EC-□ 形 R88D-KN□-ECT-L		
EtherCAT デジタルタイプセンサ通信ユニット（形 E3X-ECT） ユーザーズマニュアル	SCHE-762	形 E3X-ECT	E3X EtherCAT スレーブを接続する方法について知りたいとき。	E3X EtherCAT スレーブの仕様および使用方法について説明します。
EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット（形 E3NW-ECT） ユーザーズマニュアル	SCHE-763	形 E3NW-ECT	E3NW EtherCAT スレーブを接続する方法について知りたいとき。	E3NW EtherCAT スレーブの仕様および使用方法について説明します。
画像処理システム FH/FZ5 シリーズ ユーザーズマニュアル 通信設定編	SDNB-714	形 FH-□□□□ 形 FH-□□□□-□□ 形 FZ5-□□□ 形 FZ5-□□□-□□ 形 FZ5-□□□□ 形 FZ5-□□□□-□□	FH/FZ5 シリーズ画像処理システムを接続する方法について知りたいとき。	FH/FZ5 シリーズ 画像処理システムを PLC などの外部装置と通信するための、機能、設定および通信方法について説明します。
変位センサ ZW シリーズ ファイバ同軸変位センサ ユーザーズマニュアル	SDNE-703	形 ZW-CE1□	変位センサ ZW シリーズの使用方法について知りたいとき。	変位センサ ZW シリーズのハードウェアや設定方法、機能について説明します。

マニュアル名称	Man.No.	形式	用途	内容
CJ シリーズ 高機能ユニット ユーザーズマニュアル （NJ シリーズ接続編）	SBCC-846	形 CJ1W-AD□□□ 形 CJ1W-DA□□□ 形 CJ1W-MAD42	CJ シリーズユニットを NJ シリーズ CPU ユニットで使用する方法を知りたいとき。	CJ シリーズユニットを NJ シリーズ CPU ユニットで使用する方法（アクセス方法、ユーザプログラム I/F など）や注意点について説明します。 以下のユニットのマニュアルがあります。 アナログ I/O ユニット、絶縁型アナログユニット、温調ユニット、ID センサユニット、高速カウンタユニット、シリアルコミュニケーションユニット、DeviceNet ユニット、EtherNet/IP ユニット、CompoNet マスタユニット
	SBCC-847	形 CJ1W-TC□□□		
	SBCC-848	形 CJ1W-CT021		
	SBCC-849	形 CJ1W-PDC15 形 CJ1W-PH41U 形 CJ1W-AD04U		
	SBCD-353	形 CJ1W-CRM21		
	SBCD-354	形 CJ1W-SCU□□		
	SBCD-355	形 CJ1W-EIP21 形 CJ1W-EIP21S		
	SBCD-357	形 CJ1W-DRM21		
	SDGR-703	形 CJ1W-V680□□□		
プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	SBSA-545	形 NA5-□□W□□□□	NA シリーズを設置して周辺機器と接続するために必要な仕様や設定について知りたいとき。	NA シリーズの仕様や各部の名称や設置方法、NA 本体と周辺機器との接続方法について記述しています。運転後のメンテナンスや異常発生時の対応なども記載しています。
プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	SBSA-546	形 NA5-□□W□□□□(-V□)	プログラマブルターミナル NA シリーズのページや各オブジェクトの機能について知りたいとき。	プログラマブルターミナル NA シリーズのページや各オブジェクトの機能について説明します。
プログラマブルターミナル NS シリーズ プログラミングマニュアル	SBSA-555	形 NS15-□□□□□ 形 NS12-□□□□□ 形 NS10-□□□□□ 形 NS8-□□□□□ 形 NS5-□□□□□	プログラマブルターミナル NS シリーズの使用方法について知りたいとき。	プログラマブルターミナル NS シリーズの設定方法や機能について説明します。

*1. 温度入力ユニット 形 NX-TS□□□□は、SBCA-440 が出版される以前は SBCA-408 に記載されています。

マニュアル改訂履歴

マニュアル改訂記号は、表表紙・裏表紙に記載されている Man.No.の後尾に付記されます。



改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
A	2018 年 7 月	• Man.No.の変更 • CPU ユニット Ver.1.31 へのバージョンアップ、接続機器追加によるイベント追加・内容変更に伴う改訂 • 誤記修正
B	2019 年 1 月	• CPU ユニットのイベント内容変更に伴う改訂
C	2019 年 4 月	• 形 NX102-□□□□の CPU ユニット Ver.1.32 へのバージョンアップによるイベント追加・変更に伴う改訂 • 形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-1□00、形 NJ301-□□□□、および形 NJ101-□□00 の CPU ユニット Ver.1.21 へのバージョンアップによるイベント追加・変更に伴う改訂 • 誤記修正
D	2019 年 7 月	• 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-1□00、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニット Ver.1.40 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX701-□□□□、形 NJ501-4□00、形 NJ501-4□10、形 NJ501-1340、形 NJ501-5300 の CPU ユニット Ver.1.21 へのバージョンアップに伴う改訂 • 接続機器追加によるイベント追加・内容変更に伴う改訂 • 誤記修正
E	2019 年 10 月	• 形 NX1P2-9B□□□□の追加 • 誤記修正
F	2020 年 7 月	• 誤記修正
G	2020 年 8 月	• 形 NJ501-R□□□の追加に伴う改訂
H	2020 年 10 月	• CPU ユニット Ver.1.42 へのバージョンアップによるイベント内容変更に伴う改訂
J	2021 年 1 月	• 形 NX102-□□00、形 NJ501-1□00 の CPU ユニット Ver.1.43 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX102-□□20 の CPU ユニット Ver.1.36 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX701-1□□□の CPU ユニット Ver.1.24 へのバージョンアップに伴う改訂
K	2021 年 7 月	• 形 NX1P2-□□00、形 NJ301-□□00、形 NJ101-□□00 の CPU ユニット Ver.1.45 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NJ501-1□20、形 NJ501-1340、形 NJ501-4□□□、形 NJ501-5300、形 NJ101-1□20 の CPU ユニット Ver.1.25 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NJ501-R□00 の CPU ユニット Ver.1.43 へのバージョンアップに伴う改訂 • セキュアソケット通信関連イベントの追加に伴う改訂 • SD メモリカードに関する記述の追記
L	2021 年 11 月	• NJ シリーズ CPU ユニットのハードウェアリビジョン D、および形 NX701-□□□□のハードウェアリビジョン A に関する記述の追記

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
M	2022 年 4 月	• 誤記修正
N	2022 年 6 月	• 形 NX701-□□□□のハードウェアリビジョン B に関する記述の追記
P	2022 年 10 月	• NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニット Ver.1.50 へのバージョンアップに伴う改訂 • 誤記修正
R	2022 年 11 月	• NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニット Ver.1.60 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX701 CPU ユニット Ver.1.32 へのバージョンアップに伴う改訂
S	2023 年 1 月	• 誤記修正
T	2023 年 4 月	• 形 NX502-1□□□□の追加に伴う改訂
U	2023 年 7 月	• オートメーションプレイバック機能の追加に伴う改訂
V	2023 年 10 月	• NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニット Ver.1.64 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX701 の CPU ユニット Ver.1.35 へのバージョンアップに伴う改訂
W	2024 年 1 月	• 形 NX502 の CPU ユニット Ver.1.65 へのバージョンアップに伴う改訂 • 誤記修正
X	2024 年 10 月	• 形 CJ1W-EIP21S の NJ シリーズ CPU ユニットへの接続対応に伴う改訂 • 誤記修正
Y	2025 年 2 月	• 誤記修正
Z	2025 年 4 月	• 形 NX502 の CPU ユニット Ver.1.68 へのバージョンアップに伴う改訂 • 誤記訂正
AA	2025 年 7 月	• NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニット Ver.1.69 へのバージョンアップに伴う改訂 • 形 NX701 の CPU ユニット Ver.1.36 へのバージョンアップに伴う改訂 • 誤記修正
AB	2025 年 10 月	• 誤記修正

1

異常の概要

本章では、異常に対処するために知っておくことが必要な、NJ/NX シリーズでの異常の種類と異常時の動作、異常の確認方法の概要について説明します。
異常発生時の対処方法については、「第 2 章 異常発生時の対処方法 (P.2-1)」を参照してください。

1-1 NJ/NX シリーズの異常の概要 1-2
1-1-1 異常の分類 1-4
1-1-2 CPU ユニットの状態 1-5

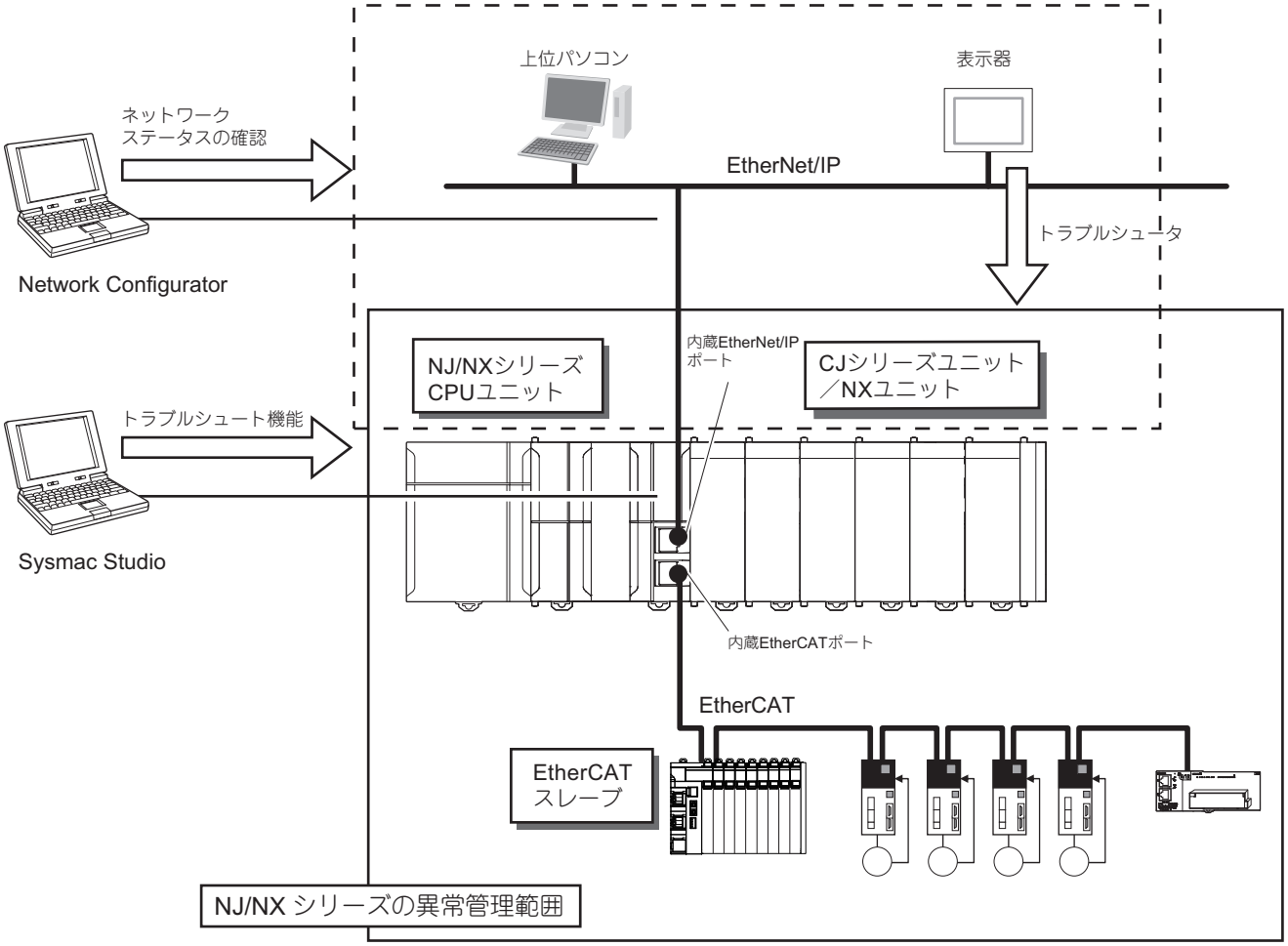
1-2 CPU ユニットが動作できない異常 1-8
1-2-1 CPU ユニットが動作できない異常の種類 1-8
1-2-2 CPU ユニットが動作できない異常の確認方法 1-10

1-3 CPU ユニットが動作できる異常 1-11
1-3-1 CPU ユニットが動作できる異常の種類 1-11
1-3-2 CPU ユニットが動作できる異常の確認方法 1-23
1-3-3 CPU ユニットが動作できる異常の解除方法 1-27
1-3-4 モーション制御機能モジュールに関する異常 1-30
1-3-5 EtherNet/IP 機能モジュールに関する異常 1-34
1-3-6 EtherCAT マスタ機能モジュールに関する異常 1-37

1-1 NJ/NX シリーズの異常の概要

NJ/NX シリーズは、コントローラで発生した異常をイベントとして共通の方法で一元的に管理します。これにより、管理範囲（CPU ユニット、NX ユニット、NX シリーズスレーブターミナル、EtherCAT スレーブ*1、CJ シリーズユニット）の異常に対して、共通の方法で異常の内容と対処方法を確認できます。

*1. Sysmac デバイスであることが必要です。Sysmac デバイスの EtherCAT スレーブについては、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』を参照してください。



Sysmac Studio のトラブルシュート機能または表示器のトラブルシュータを使用すると、異常の内容から対処方法までを確認できるため、迅速な対応が可能です。

表示器のトラブルシュータを使用する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。

また、Network Configurator を使用して EtherNet/IP のネットワークステータスの確認をすることが可能です。ネットワークステータスの確認方法については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の EtherNet/IP ネットワークの通信ステータスの確認と処置方法を参照してください。

使用上の注意

- CJ シリーズユニットを装着できる CPU ユニットは、NJ シリーズ CPU ユニットだけです。
- NX ユニットを装着できる CPU ユニットは、形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットだけです。
- 表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 (P.A-225)」を参照してください。

1-1-1 異常の分類

異常（イベント）の管理が可能な状態かどうかにより、NJ/NX シリーズの異常は大きく次の 2 種類に分けられます。

● CPU ユニットが動作できない異常

CPU ユニットの動作が停止しているため、NJ/NX シリーズのイベント管理機能で検知、管理できない異常です。
Sysmac Studio および表示器での異常内容の確認および解除はできません。

CPU ユニットが動作できない異常の種類と確認方法については、「1-2 CPU ユニットが動作できない異常 (P.1-8)」を参照してください。

● CPU ユニットが動作できる異常

NJ/NX シリーズのイベント管理機能で検知、管理できる異常です。
Sysmac Studio および表示器での異常内容の確認が可能です。

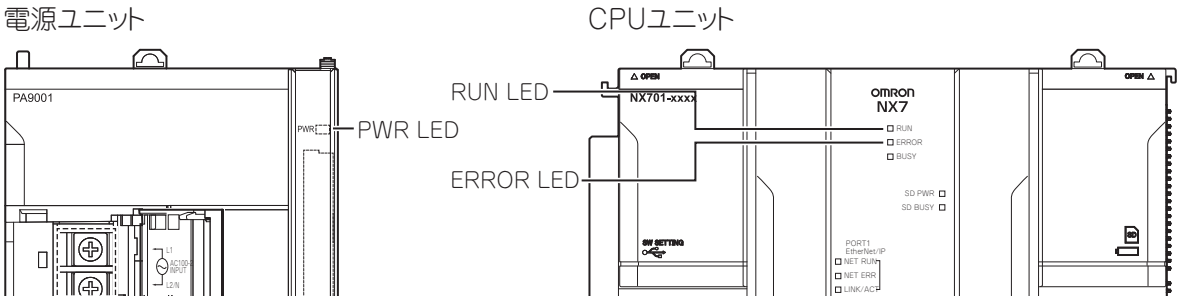
CPU ユニットが動作できる異常の種類と確認方法については、「1-3 CPU ユニットが動作できる異常 (P.1-11)」を参照してください。

1-1-2 CPU ユニットの状態

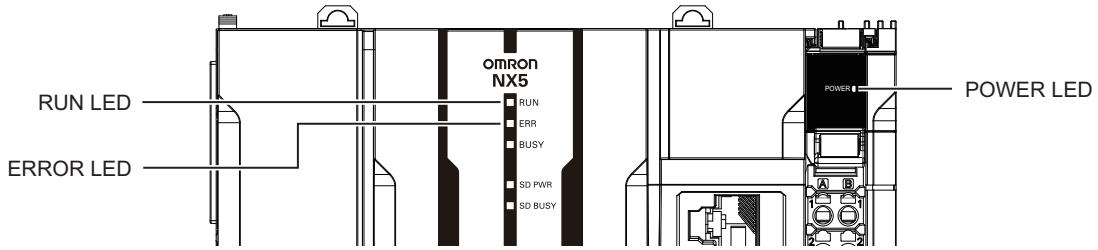
電源ユニットおよび CPU ユニットの前面上部の LED（PWR LED/POWER LED, RUN LED, ERROR LED）により CPU ユニットの動作状態を確認できます。

● NX シリーズ CPU ユニット

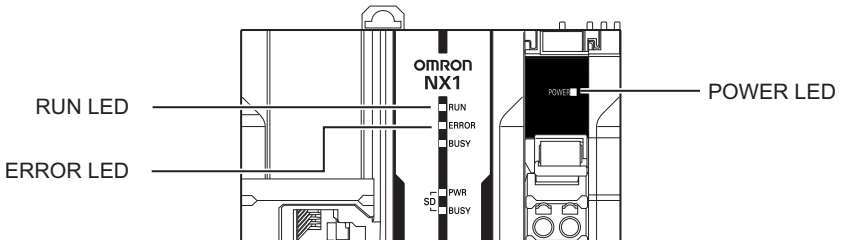
形 NX701 CPU ユニット



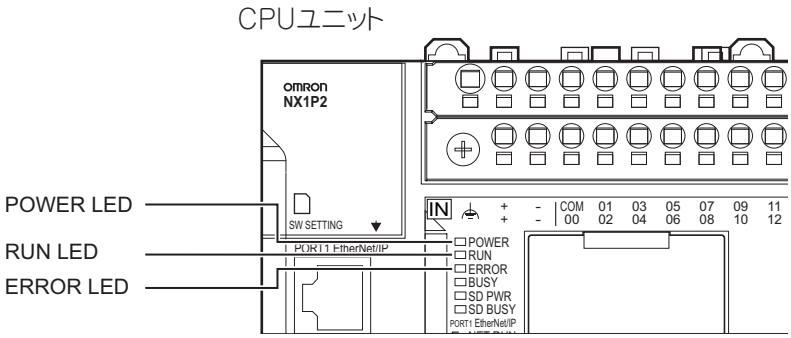
形 NX502 CPU ユニット



形 NX102 CPU ユニット



形 NX1P2 CPU ユニット



起動中、正常時、各異常発生時の前面 LED、ユーザプログラム実行状態、Sysmac Studio とのオンライン接続および表示器の通信接続の可否は、以下のとおりです。

（○：点灯／●：消灯／⊙：点滅）

CPU ユニットの動作状態		電源ユニット／CPU ユニット	CPU ユニット		ユーザプログラム実行状態	Sysmac Studio とのオンライン接続、表示器との通信接続
		PWR/POWER（緑）	RUN（緑）	ERROR（赤）		
起動中		○	⊙（2s 周期のち 0.5s 周期）	●	停止	不可
正常運転中	「運転モード」中	○	○	●	継続	可能
	「プログラムモード」中	○	●	●	停止	
CPU ユニットが動作できない異常	電源部異常*1	●	●	●	停止	不可
	CPU リセット*1 *2／ハードウェア初期化異常*1 *3	○	●	●	停止	
	CPU 異常*1	○	●または⊙（2s 周期／0.5s 周期）	○	停止	
	システム初期化異常*1	○	⊙（2s 周期）30 秒以上継続	●	停止	
CPU ユニットが動作できる異常	全停止フォールト*4	○	●	○	停止	可能（表示器は、EtherNet/IP の機能が正常に動作している場合に通信接続可能）
	部分停止フォールト*4	○	○	⊙（1s 周期）	継続*5	
	軽度フォールト*4	○	○	⊙（1s 周期）	継続	
	監視情報*4	○	○	●	継続	

*1. 各異常については「1-2 CPU ユニットが動作できない異常 (P.1-8)」を参照してください。
*2. 形 NX701 および形 NX502 CPU ユニットの場合の異常です。記載されている LED 状態が 30 秒以上継続した場合は本異常です。
*3. 形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットの場合の異常です。記載されている LED 状態が 30 秒以上継続した場合は本異常です。
*4. 各異常については「1-3 CPU ユニットが動作できる異常 (P.1-11)」を参照してください。
*5. 異常が発生した該当機能モジュールは動作停止します。

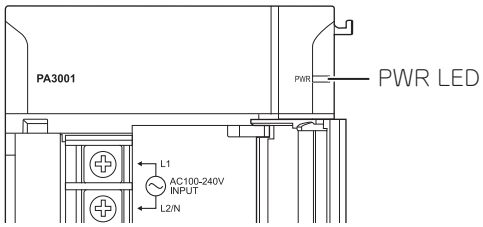
使用上の注意

形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットでは、CPU ユニットに装着する NX ユニット構成により CPU ラックで 電力不足となる場合があります。以下の状態となった場合は、Sysmac Studio で、CPU ラッ クでのユニット構成の消費電力が供給電力を超えていないかを確認してください。

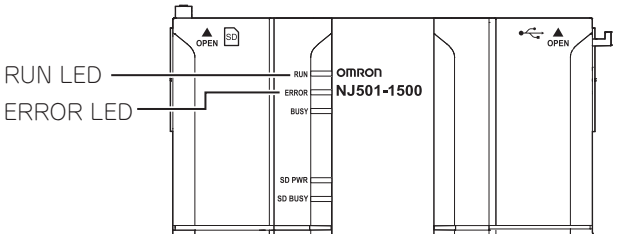
- CPU ユニットは運転状態になっているが、装着している NX ユニットが動作しない
- CPU ユニットに電源を供給しているが、CPU ユニットが通電状態にならない

● NJ シリーズ CPU ユニット

電源ユニット



CPUユニット



起動中、正常時、各異常発生時の前面 LED、ユーザプログラム実行状態、Sysmac Studio とのオンライン接続および表示器の通信接続の可否は、以下のとおりです。

（○：点灯／●：消灯／⊙：点滅）

CPU ユニットの動作状態		電源ユニット	CPU ユニット		ユーザ プログラム実行状態	Sysmac Studio とのオンライン接続、表示器との通信接続
		PWR（緑）	RUN（緑）	ERROR（赤）		
起動中		○	⊙（1s 周期）	●	停止	不可
正常運転中	「運転モード」中	○	○	●	継続	可能
	「プログラムモード」中	○	●	●	停止	
CPU ユニットが動作できない異常	電源部異常*1	●	●	●	停止	不可
	CPU リセット*1	○	●	●	停止	
	電源接続不正*1	○	⊙（3s 周期）	○	停止	
	CPU 異常（WDT 異常）*1	○	●	○	停止	
CPU ユニットが動作できる異常	全停止フォールト*2	○	●	○	停止	可能（表示器は、EtherNet/IP の機能が正常に動作している場合に通信接続可能）
	部分停止フォールト*2	○	○	⊙（1s 周期）	継続*3	
	軽度フォールト*2	○	○	⊙（1s 周期）	継続	
	監視情報*2	○	○	●	継続	

*1. 各異常については「1-2 CPU ユニットが動作できない異常 (P.1-8)」を参照してください。
*2. 各異常については「1-3 CPU ユニットが動作できる異常 (P.1-11)」を参照してください。
*3. 異常が発生した該当機能モジュールは動作停止します。

1-2 CPU ユニットが動作できない異常

1-2-1 CPU ユニットが動作できない異常の種類

NJ/NX シリーズの CPU ユニットが動作できない異常は、以下のとおりです。CPU ユニットにより発生する異常が異なります。
CPU ユニットが動作できない異常の場合は Sysmac Studio とのオンライン接続や表示器との通信接続ができなくなります。

（○：発生する）

異常の名称	CPU ユニット			
	形 NX701	形 NX502	形 NX102 形 NX1P2	NJ シリーズ
電源部異常	○	○	○	○
CPU リセット	○	○		○
ハードウェア初期化異常			○	
電源接続不正				○
CPU 異常	○	○	○	
CPU 異常（WDT 異常）				○
システム初期化異常	○	○	○	

● 電源部異常

電源が入っていない、許容電圧範囲外、または電源ユニットの故障です。

● CPU リセット

ハードウェアの異常により CPU ユニットの運転を停止している状態です。ハードウェアの故障のほか、NJ シリーズでは、以下の場合もこの状態になります。

- 増設ラックの電源 OFF
- I/O 接続ケーブルの取り付けが不正
  - コネクタの IN-OUT が逆
  - 嵌合が不十分
- I/O コントロールユニットが、CPU ラックに２台以上、あるいは増設ラックに続されている

● ハードウェア初期化異常

形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニット本体の異常です。ハードウェアを初期化するために最低限必要なプログラムのデータ異常です。CPU ユニット起動中は最初 POWER LED だけが点灯しますが、この LED 状態が 30 秒以上継続した場合は本異常になります。

● 電源接続不正

NJ シリーズ CPU ユニットに CJ シリーズ電源ユニットが接続されているため、コントローラの運転を停止している状態です。

● CPU 異常（WDT 異常）

NJ シリーズ CPU ユニット本体の異常です。ハードウェア故障または一時的なデータ破壊による CPU 暴走により WDT（ウォッチドッグタイマ）がアップしたときの異常です。

● CPU 異常

NX シリーズ CPU ユニット本体の異常です。ハードウェア故障または一時的なデータ破壊による CPU 暴走による異常です。

● システム初期化異常

NX シリーズ CPU ユニット本体の異常です。ハードウェア故障やデータ異常による異常です。
CPU ユニット起動中は RUN LED が 2 秒周期で点滅しますが、この状態が 30 秒以上継続した場合は本異常になります。

1-2-2 CPU ユニットが動作できない異常の確認方法

以下のように PWR/POWER、RUN、ERROR LED の表示と、Sysmac Studio とのオンライン接続の可否により、CPU ユニットが動作できない異常が発生していることを確認できます。
発生異常を識別する手順と対処方法については、「第 2 章 異常発生時の対処方法 (P.2-1)」を参照してください。

● NX シリーズ CPU ユニット

（○：点灯／●：消灯／⊙：点滅）

LED			Sysmac Studio とのオンライン接続	CPU ユニットの動作状態
PWR/POWER（緑）	RUN（緑）	ERROR（赤）		
●	●	●	不可*1	電源部異常
○	●	●		CPU リセット／ハードウェア初期化異常
○	● または ⊙（2s 周期／0.5s 周期）	○		CPU 異常
○	⊙（2s 周期）30 秒以上継続	●		システム初期化異常

*1. 「CPU リセット／ハードウェア初期化異常」、「CPU 異常」と CPU ユニットが動作できる異常の識別には、Sysmac Studio のオンライン接続の確認が必要です。「電源部異常」、「システム初期化異常」は LED だけで識別できるた め、Sysmac Studio とのオンライン接続の確認は必要ありません。

● NJ シリーズ CPU ユニット

（○：点灯／●：消灯／⊙：点滅）

LED			Sysmac Studio とのオンライン接続	CPU ユニットの動作状態
PWR（緑）	RUN（緑）	ERROR（赤）		
●	●	●	不可*1	電源部異常
○	●	●		CPU リセット
○	⊙（3s 周期）	○		電源接続不正
○	●	○		CPU 異常（WDT 異常）

*1. 「CPU リセット」、「CPU 異常（WDT 異常）」と CPU ユニットが動作できる異常の識別には、Sysmac Studio のオンライン接続の確認が必要です。「電源部異常」、「電源接続不正」は LED だけで識別できるため、Sysmac Studio とのオンライン接続の確認は必要ありません。

1-3 CPU ユニットが動作できる異常

1-3-1 CPU ユニットが動作できる異常の種類

NJ/NX シリーズコントローラで発生する異常は、イベントとして管理されます。イベントの内容を確認することによりどのような異常であるかを知ることができます。

- **コントローライベント**

  コントローラが自動で検知するイベントです。CPU ユニットの各機能モジュール、NX ユニット、X バスユニット、NX シリーズスレーブターミナル、EtherCAT スレーブ、CJ シリーズユニットのイベントです。



参考

- EtherCAT スレーブが独自に管理している異常履歴はコントローライベントとは異なるため、Sysmac Studio で確認することはできません。異常履歴の読み出し方法および異常の処置対策は、各スレーブのマニュアルを参照してください。
- CJ シリーズ高機能ユニットが独自に管理している異常履歴に登録されている異常コードは Sysmac Studio の「コントローライベントログ」タブに表示されますが、発生要因や処置対策などは表示されません。異常履歴の読み出し方法および異常の処置対策については、各ユニットのマニュアルを参照してください。

- **ユーザイベント**

  ユーザが設計するアプリケーション上のイベントです。

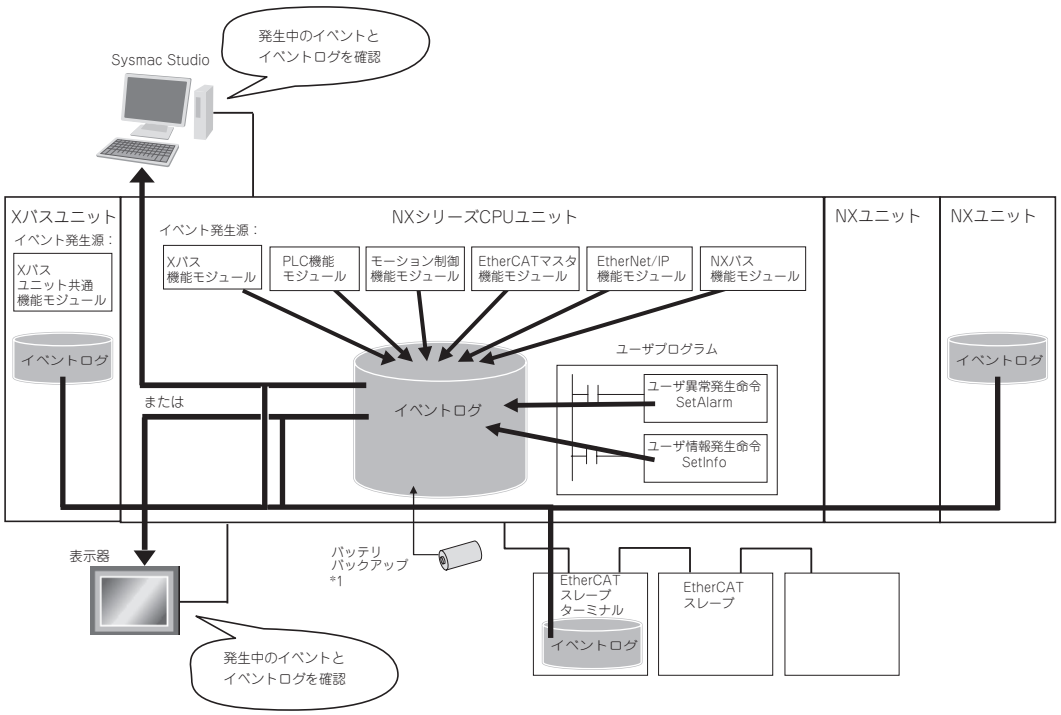
  本マニュアルではユーザイベントについては説明しません。ユーザイベントの詳細については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

コントローライベントの概要

NJ/NX シリーズは、コントローラで発生したイベントを共通の方法で一元的に管理します。発生したイベントは、CPU ユニット、または NX シリーズスレーブターミナルに保存されます。
Sysmac Studio または表示器にて、発生中のイベントと、過去に発生したイベントの履歴（以降「イベントログ」と呼びます）を確認することができます。

表示器でイベントを確認する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。
形 NX502 CPU ユニットの場合、表示器でイベントを確認するには、表示器を形 NX502 CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートに接続、または形 NX502 CPU ユニットに接続した NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの EtherNet/IP ポートに接続してください。

NX シリーズでのイベントの管理は以下のようになります。

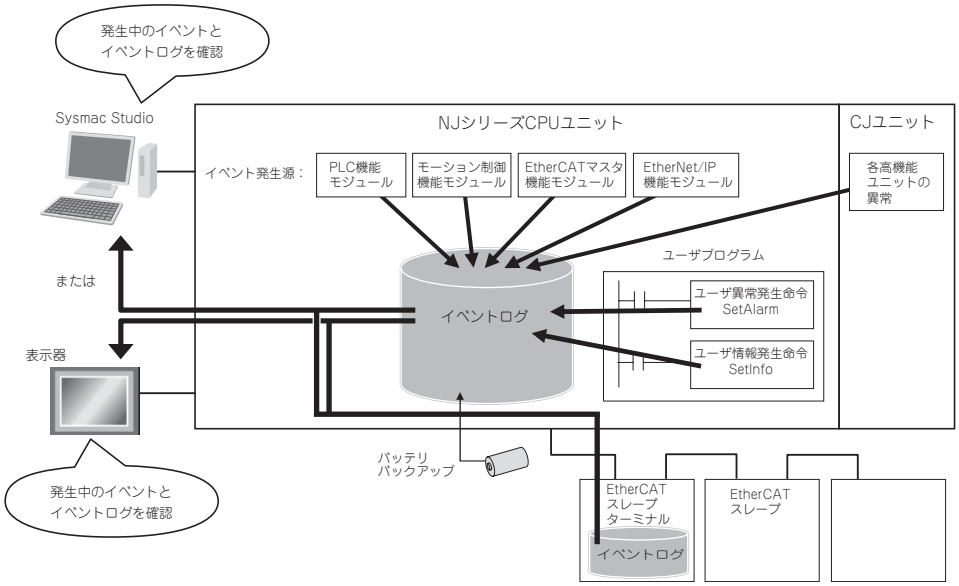


*1. イベントログは、形 NX701 ではバッテリバックアップメモリに保存されます。
形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 では、不揮発性メモリに保存されます。

使用上の注意

NX ユニットを装着できる CPU ユニットは、形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットだけです。

NJ シリーズでのイベントの管理は以下のようになります。





参考

EtherCAT スレーブターミナルおよび EtherCAT スレーブの異常の扱いについては、NX シリーズ、NJ シリーズともに以下のとおりです。

- スレーブターミナルのイベントログ機能については、通信カプラユニットのマニュアルを参照してください。
- EtherCAT スレーブからエマージェンシー・メッセージで CPU ユニットに異常が通知された場合は、イベント「エマージェンシー・メッセージ検知」(64200000Hex)として EtherCAT マスタ機能モジュールのイベントログに記録されます。
- イベントログを持たない EtherCAT スレーブのイベントの履歴を確認することはできません。異常の履歴をイベントとして残すには、EtherCAT スレーブをエマージェンシー・メッセージを通知する設定にして、イベント「エマージェンシー・メッセージ検知」(64200000Hex)として記録してください。EtherCAT スレーブがエマージェンシー・メッセージを通知できない異常はイベントログには記録できません。
  ただし、一部の EtherCAT スレーブでは、イベントログを持たなくても異常履歴を Sysmac Studio（Ver.1.15 以降）にイベントログとして表示できます。イベントログとして異常履歴を表示できるかは、各 EtherCAT スレーブのマニュアルを参照してください。
- EtherCAT スレーブの異常履歴の読み出し方法については、各スレーブのマニュアルを参照してください。

コントローライベントの詳細

● コントローライベントの日時

イベントには、イベントの発生時刻を表す「発生日時」があります。
発生日時は、CPU ユニットの内蔵時計の時刻データをもとに記録されます。
また、EtherCAT スレーブターミナルのイベント発生時の時刻は、CPU ユニットから取得した CPU ユニットの内蔵時計の時刻をもとに記録されます。
CPU ユニットから時刻情報を取得できない場合、Sysmac Studio 上の時刻表示は、「----/--/-- --:--:--」と表示されます。CPU ユニットから時刻を取得する前に発生したイベントの時刻も「----/--/-- --:--:--」と表示されます。
イベントの発生日時は Sysmac Studio や表示器に表示されます。

レ バージョン関連情報

CPU ユニットから時刻情報を取得できない場合、および CPU ユニットから時刻を取得する前にイベントが発生した場合、Sysmac Studio の Ver.1.14 以前では、イベント発生の時刻は「1970/1/1 0:00:00」と表示されます。

● コントローラのイベント発生源

イベントには、イベントの発生箇所を表す「イベント発生源」があります。
イベント発生源によって、CPU ユニット内に存在する機能モジュールの単位で、どこで異常が発生したかを確認することができます。
さらに機能モジュールによっては、より詳細なイベント発生源を持ちます。これを「イベント発生源詳細」と呼びます。
イベント発生源詳細には以下のものがあります。

イベント発生源	イベント発生源詳細
PLC 機能モジュール	命令、電源、内蔵 I/O、オプションボード、I/O バスマスタ、CJ シリーズユニット、OPC UA サーバ機能、DB 接続サービス*1、SECS/GEM*2
NX バス機能モジュール *3	マスタ、NX ユニット
X バス機能モジュール *4	マスタ
X バスユニット共通機能モジュール *4	なし、X バスユニット
モーション制御機能モジュール	共通、軸、軸グループ
EtherCAT マスタ機能モジュール	通信ポート、EtherCAT マスタ、EtherCAT カプラユニット、NX ユニット、EtherCAT スレーブ
EtherNet/IP 機能モジュール	通信ポート／通信ポート 1／通信ポート 2、CIP/CIP1/CIP2、FTP、NTP、SNMP

*1. NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニットの場合だけです。
*2. NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニットの場合だけです。
*3. 形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットの場合だけです。
*4. 形 NX502 CPU ユニットの場合だけです。

（注）1. NC 統合コントローラには CNC 機能モジュールがあります。CNC 機能モジュールの異常の確認と処置については、『NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル(SBCE-428)』を参照してください。
（注）2. X バスユニットには上記以外の機能モジュールが存在します。上記以外の機能モジュールの異常の確認と処置については、各 X バスユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

イベント発生源は Sysmac Studio や表示器に表示されます。

● コントローライベントの重要度

コントローライベントでは、制御に対する影響の大きさにより重要度を以下の 5 段階に分類しています。異常を表す重要度のイベントをまとめて「コントローラ異常」、異常以外の情報を表すイベントを「コントローラ情報」と呼びます。

No.	重要度	重要度名称	種別
1	高	全停止フォールトレベル	コントローラ異常
2		部分停止フォールトレベル	
3		軽度フォールトレベル	
4		監視情報	
5	低	一般情報	コントローラ情報

異常の重要度が高いほど、NJ/NX シリーズコントローラが提供する機能が損なわれており、復旧に対する緊急度も高くなります。
重要度名称は、異常発生時に Sysmac Studio や表示器に表示されます。

各重要度の説明は次のとおりです。

重要度	説明
全停止フォールト(Major fault)レベル	コントローラ全体の制御が不能となる異常です。 全停止フォールトが検知されると、ユーザプログラムの実行をすぐに停止し、リモート I/O を含むすべてのスレーブに対して負荷を遮断します。 なお、EtherCAT スレーブ、一部の NX ユニット、一部の CJ シリーズ高機能ユニットは、出力を OFF にするか保持するかを、スレーブ／ユニットの設定で選択できます。 全停止フォールトレベルの異常は、ユーザプログラムおよび Sysmac Studio／表示器からの異常解除はできません。異常発生原因を取り除いた後、電源再投入もしくは Sysmac Studio からコントローラリセットを実行することで復旧できます。
部分停止フォールト(Partial fault)レベル	コントローラの、ある機能モジュール全体の制御が不能となる異常です。 部分停止フォールトレベルの異常の発生後も、NJ/NX シリーズ CPU ユニットはユーザプログラムの実行を継続します。ユーザプログラムに異常処理のプログラムを組み込むことで安全に装置を停止させることができます。 異常発生原因を取り除いた後、以下のいずれかの実行により正常な状態に復帰させることができます。 • ユーザプログラム、Sysmac Studio または表示器からの異常解除 • 電源再投入 • Sysmac Studio からのコントローラリセット
軽度フォールト(Minor fault)レベル	コントローラの、ある機能モジュールの一部の制御が不能となる異常です。 軽度フォールトレベルの異常の発生後は、部分停止フォールトレベルの異常の発生後と同様の処置を行うことができます。
監視情報(Observation)	コントローラの制御には影響がない異常です。 監視情報の発生は制御に影響を与えることはありませんが、軽度フォールトレベル以上の異常に発展しないようにユーザに注意を促す目的で通知されます。
一般情報(Information)	異常以外の、ユーザに通知する情報です。

イベントによっては重要度を変更できます。重要度の変更については『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。重要度の変更ができるイベントを知りたい場合は、本マニュアルの「第 3 章 異常の内容と処置 (P.3-1)」、および「A-1 CPU ユニットで発生するその他の異常 (P.A-2)」、「A-2 接続機器で発生する異常 (P.A-58)」を参照してください。

● 重要度ごとの動作

コントローライベントの重要度により、異常が発生した際の動作が異なります。

項目		発生したイベントの重要度				
		コントローラ異常				コントローラ情報
		全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報	一般情報
定義		コントローラ全体の制御が不能となる重大な異常	PLC 機能モジュール以外のいずれかの機能モジュール全体の制御が不能となる異常	いずれかの機能モジュールの一部の制御が不能となる異常	制御に影響がない異常	異常ではないが、イベントログに記録してユーザに通知する情報
イベント例		• 不揮発性メモリデータ破壊（PLC 機能）	• モーション制御周期オーバー（モーション制御機能） • 通信コントローラ異常（EtherCAT マスタ機能）	• 正方向限界入力検出（モーション制御機能） • バッテリ電圧低下（PLC 機能）	• 受信バッファフルのためパケット破棄（EtherNet/IP 機能）	• 電源投入 • 電源断 • メモリオールクリア
前面 LED *1	PWR LED/ POWER LED（緑）	点灯	点灯	点灯	点灯	点灯
	RUN LED（緑）	消灯	点灯	点灯	点灯	点灯
	ERROR LED（赤）	点灯	点滅（1s 周期）	点滅（1s 周期）	消灯	消灯
NJ/NX シリーズ CPU ユニットの動作	電源ユニットの RUN 接点	OFF	ON	ON	ON	ON
	ユーザプログラム実行状態	停止	継続*2	継続	継続	継続
	負荷遮断	あり	なし	なし	なし	なし
	異常解除	不可	可または不可（異常の内容に依存）	可または不可（異常の内容に依存）	－	－
	イベントログ	記録（記録が不可能な異常あり）	記録	記録	記録	記録

項目	発生したイベントの重要度				
	コントローラ異常				コントローラ情報
	全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報	一般情報
EtherCAT スレーブ、基本出力ユニットの出力	「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作(P.1-19)」参照	• EtherCAT マスタ機能モジュールで発生した場合：スレーブ側の設定に従う • それ以外の機能モジュールで発生した場合：プログラムに従う	プログラムに従う	プログラムに従う	プログラムに従う
Sysmac Studio の表示（オンライン接続中）	コントローラステータスウィンドウに、発生中異常の有無を自動表示。 ユーザ操作でトラブルシュートダイアログに詳細情報を表示			コントローラステータスウィンドウの発生中異常の画面には表示しない	

*1. 複数のコントローラ異常が発生している場合、LED 表示は最も重要度の高い異常の表示となります。
*2. 異常が発生した機能モジュール（NX バス、モーション制御、 EtherCAT マスタ、EtherNet/IP）は動作停止します。

● イベント発生源となった場合の機能モジュールの動作

機能モジュール	発生した異常の重要度			
	全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報
PLC 機能モジュール	ユーザプログラムの実行停止	－	動作継続	
NX バス機能モジュール	－	NX バス通信による I/O リフレッシュ停止 （NX ユニットの動作は NX ユニット側の設定に従います）	動作継続。NX ユニットの異常の場合は、縮退運転設定に従う	動作継続
X バス機能モジュール	－	X バスユニットと CPU ユニット間のデータ交換を停止	• X バスユニットとのデータ交換を停止 • 異常が発生した X バスユニットとのデータ交換を停止 • 異常が発生した X バス機能へのユーザプログラムからの指令（命令）は異常終了とする	－
モーション制御機能モジュール	－	全軸停止 （停止方法は異常内容によって異なります）	• 該当軸／軸グループの停止 （停止方法は設定内容によって異なります） • モーション命令の起動破棄（軸動作に関係する命令）	• 軸動作継続 • モーション命令の起動破棄（軸動作に関係しない命令）
EtherCAT マスタ機能モジュール	－	EtherCAT 通信停止 （スレーブの動作はスレーブ側の設定に従います）	マスタ側の「縮退運転設定」に従い、EtherCAT 通信による I/O リフレッシュ停止、または EtherCAT 通信による I/O リフレッシュ継続 （I/O リフレッシュ停止時のスレーブの動作はスレーブ側の設定に従います）	EtherCAT 通信による I/O リフレッシュ継続
EtherNet/IP 機能モジュール	－	EtherNet/IP 通信停止 （Sysmac Studio のオンライン接続と表示器の通信接続不可）	EtherNet/IP 通信一部停止 （Sysmac Studio や表示器の通信接続部分以外が原因のときはオンライン接続／通信接続可）	EtherNet/IP 通信継続

（注）全停止フォールトレベルの異常は PLC 機能モジュールでだけ発生します。

● 全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作

CPU ユニット側の動作と入出力機器側の動作は以下のとおりです。

入出力機器	CPU ユニット側の動作	入出力機器側の動作
CPU ユニットに装着されている NX ユニット *1	• 入力リフレッシュ継続 • 出力値の更新を停止	各 NX ユニットの設定に従う
CPU ユニットに装着されている X バスユニット *2	リフレッシュ継続	各 X バスユニットの設定に従う
内蔵 I/O *3	• 負荷遮断時出力設定に従う • 入力リフレッシュ継続	ー
オプションボード *3	• 出力は負荷遮断。出力値は各オプションボードの仕様に従う • 入力リフレッシュ停止	アナログ入出力用オプションボード • 出力値 0V
NX シリーズスレーブターミナル	NX シリーズスレーブターミナルをセーフオペレーショナル状態にする	NX ユニット側の設定に従う
EtherCAT スレーブ *4	スレーブをセーフオペレーショナル状態にする	スレーブ側の設定に従う*5
「軸」に割り付けられたサーボドライバ、NX ユニット	指令値の更新を停止	全軸が即停止
CJ シリーズ基本 I/O ユニット *6	• 全出力の値をゼロクリア • 入力リフレッシュ継続	• 全出力を OFF • 外部入力を反映
CJ シリーズ高機能ユニット *6	リフレッシュ継続	各ユニット側動作仕様に従う
EtherNet/IP 接続機器	• タグデータリンクのオリジネータ側である場合、入力（受信）タグの、変数または I/O メモリを更新しない • タグデータリンクのターゲット側である場合、出力（送信）タグはタグセットの設定に従う *7	接続機器の仕様に従う

*1. 形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットの場合です。
*2. 形 NX502 CPU ユニットの場合です。
*3. 形 NX1P2 CPU ユニットの場合です。
*4. 「軸」に割り付けられたサーボドライバを除きます。
*5. 設定方法と設定内容についてはスレーブに依存します。使用するスレーブのマニュアルを参照してください。サーボドライバの場合は、オブジェクト 605EHex（フォールトリアクションオプションコード）の設定に従います。
*6. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*7. 出力データをクリアするか、異常が発生する前のデータをそのまま送信し続けるかを設定できます。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』を参照してください。

NJ シリーズの以下の異常の場合の、CPU ユニット側の動作と入出力機器側の動作を表に示します。

- 未サポートユニット接続
- I/O バスチェックエラー
- エンドカバー未接続
- ユニット／増設ラック接続不正
- ユニット番号重複
- I/O 点数オーバー
- I/O 設定チェックエラー

入出力機器	CPU ユニット側の動作	入出力機器側の動作
NX シリーズスレーブターミナル	NX シリーズスレーブターミナルをセーフオペレーショナル状態にする	NX ユニット側の設定に従う

入出力機器	CPU ユニット側の動作	入出力機器側の動作
EtherCAT スレーブ*1	スレーブをセーフオペレーショナル状態にする	スレーブ側の設定に従う*2
「軸」に割り付けられたサーボドライバ、NX ユニット	指令値の更新を停止	全軸が即停止
CJ シリーズ基本 I/O ユニット	リフレッシュ停止	• 全出力を OFF • 全入力を OFF
CJ シリーズ高機能ユニット	リフレッシュ停止	各ユニット側動作仕様に従う（ERH LED が点灯）
EtherNet/IP 接続機器	• タグデータリンクのオリジネータ側である場合、入力（受信）タグの、変数または I/O メモリを更新しない • タグデータリンクのターゲット側である場合、出力（送信）タグはタグセットの設定に従う*3	接続機器の仕様に従う

*1. 「軸」に割り付けられたサーボドライバを除きます。
*2. 設定方法と設定内容についてはスレーブに依存します。使用するスレーブのマニュアルを参照してください。サーボドライバの場合は、オブジェクト 605EHex（フォールトリアクションオプションコード）の設定に従います。
*3. 出力データをクリアするか、異常が発生する前のデータをそのまま送信し続けるかを設定できます。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』を参照してください。

● イベントコード

コントローラで発生する異常にはイベントコードがついています。
イベントコードは、異常発生時に Sysmac Studio／表示器で表示されます。
また、発生中の異常のイベントコードは、異常ステータス取得命令によりユーザプログラムで参照することができます。
イベントコードは、16 進 8 けたで示されます。
コントローライベントの最上位 1 けたは以下を表し、分類を知ることができます。

最上位 1 けたのコード(Hex)	分類	意味
0	ハードウェア異常	内部の部品故障、接触不良、温度起因の異常、電圧低下／超過、過電流などのハードウェアが要因の異常
1	データ異常	コントローラ内部のデータが正しく保存されていない、データ破壊による異常
2	ハードウェア設定異常	ハードウェアの設定（ハード S/W など)や制約（ユニット割付位置）などの取り扱いを誤ったことが要因の異常
3	コンフィグレーション異常	パラメータ値が不正、パラメータとハードウェア構成が不一致など、ユーザが設定したコンフィグレーションが起因の異常
4	ソフトウェア異常	コントローラのソフトウェアが要因の異常
5	ユーザソフトウェア異常	命令への入力値が範囲外など、ユーザが作成したプログラムが要因の異常
6	監視異常	タスク周期オーバーやモーションの範囲外位置の検出など、コントローラで用意するユーザ設定による運転監視の異常
7	制御異常	動作中の状態が条件外やタイミングのずれなど、制御処理が要因の異常
8	通信異常	外部機器や上位系との通信が起因の異常
9	情報	異常以外のユーザへ通知するイベント

● イベントコードとエラーコードの関係

異常を表すコードには、イベントコードのほかに、機能モジュールやユニットで固有に使用されるエラーコード（異常コード）があります。
エラーコードに対応するイベントコードがある場合は、どちらかのコードがわかればもう一方のコードがわかるようになっています。複数の方法で異常を確認したときに、同一異常の対応づけに役立てることができます。

以下にエラーコードとイベントコードの関係を示します。

エラーコード（16 進 4 けた）		対応するイベントコード（16 進 8 けた）		例）エラーコードが A123Hex の場合のイベントコード
種類	使用箇所	上 4 けた	下 4 けた	
基本命令、OPC UA 命令、DB 接続命令、GEM 命令、CNC 命令、およびロボット制御命令のエラーコード	各命令の出力変数「ErrorID」	5401Hex	エラーコード	5401A123Hex
モーション制御機能モジュールのエラーコード	• モーション制御命令の出力変数「ErrorID」 • モーション制御システム変数*1	エラーコード	0000Hex	A1230000Hex
NJ Robotics 機能のエラーコード	• ロボット命令の出力変数「ErrorID」 • モーション制御システム変数*1	エラーコード	0000Hex	A1230000Hex
CJ シリーズ高機能ユニットのエラーコード	CJ シリーズ高機能ユニット内の異常履歴	0000Hex	エラーコード	0000A123Hex

*1. 次のモーション制御システム変数

変数名	名称
_MC_COM.PFaultLvl.Code	MC 共通 部分停止フォールトコード
_MC_COM.MFaultLvl.Code	MC 共通 軽度フォールトコード
_MC_COM.Obsr.Code	MC 共通 監視情報コード
_MC_AX[].MFaultLvl.Code	軸 軽度フォールトコード
_MC_AX[].Obsr.Code	軸 監視情報コード
_MC_GRP[].MFaultLvl.Code	軸グループ 軽度フォールトコード
_MC_GRP[].Obsr.Code	軸グループ 監視情報コード

● イベントログのエクスポート

Sysmac Studio／表示器を使って表示したイベントログの内容を、CSV ファイルとしてエクスポートすることができます。
「イベントログのエクスポート」については『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

1-3-2 CPU ユニットが動作できる異常の確認方法

確認方法

以下の方法で CPU ユニットが動作できる異常の発生状態を確認できます。

確認方法	確認できること
LED による確認	コントローラ異常の重要度、および EtherCAT マスタ機能モジュール、EtherNet/IP 機能モジュールの異常状態
Sysmac Studio のトラブルシュート機能による確認	発生中のコントローラ異常、過去に発生したコントローラ異常の履歴、異常の発生源、異常の発生要因と処置対策、CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴*1
表示器のトラブルシュータによる確認 *2	発生中のコントローラ異常、過去に発生したコントローラ異常の履歴、異常の発生源、異常の発生要因と処置対策
異常ステータス取得命令による確認	発生中のコントローラ異常の最重要のステータスと最重要のイベントコード
システム定義変数による確認	各機能モジュールにおける発生中のコントローラ異常のステータス
Network Configurator によるネットワークの通信ステータス確認	EtherNet/IP ネットワーク上にある各デバイスの通信ステータス（タグデータリンクコネクション状態など）
SysmacStudio による EtherCAT の診断・統計情報確認	EtherCAT ネットワークでの通信フレーム数や異常を検出したフレーム数などの統計情報

*1. 異常の発生要因や処置対策などの詳細な情報は表示されません。
*2. 表示器のトラブルシュータを使用する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 (P.A-225)」を参照してください。

LED による確認

● コントローラ異常の重要度の確認

PWR/POWER、RUN、ERROR LED の表示により、異常の重要度を確認することができます。
LED の表示と異常の重要度の関係は以下のとおりです。

（○：点灯／●：消灯／⊙：点滅）

LED			異常の重要度
PWR/POWER（緑）	RUN（緑）	ERROR（赤）	
○	●	○	全停止フォールトレベル
○	○	⊙（1s 周期）	部分停止フォールトレベル
			軽度フォールトレベル
○	○	●	監視情報

● EtherCAT ポート、EtherNet/IP ポートの状態の確認

EtherCAT ポートおよび EtherNet/IP ポートの場合、EtherCAT および EtherNet/IP の各 NET ERR LED の表示により、プロセスデータ通信に影響を与える異常や軽度フォールトレベル以上の異常が発生しているかを確認できます。
LED の表示により確認できる状態は以下のとおりです。

LED	確認できる状態
EtherCAT NET ERR	EtherCAT ポートの状態 • 点灯：ユーザによる対処で正常状態への復帰が不可能な異常（CPU ユニット交換あるいは当社営業所または販売店へ連絡が必要な異常）が発生している状態 • 点滅：ユーザによる対処で正常状態への復帰が可能な異常が発生している状態 • 消灯：プロセスデータ通信に影響を与える異常が発生していない状態
EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP ポートの状態 • 点灯：ユーザによる対処で正常状態への復帰が不可能な異常（CPU ユニット交換あるいは当社営業所または販売店へ連絡が必要な異常）が発生している状態 • 点滅：ユーザによる対処で正常状態への復帰が可能な異常が発生している状態 • 消灯：軽度フォールトレベル以上の異常が発生していない状態

Sysmac Studio のトラブルシュート機能による確認

異常発生時、Sysmac Studio をコントローラにオンライン接続することで、発生中の異常、過去に発生した異常の履歴を確認することができます。

● 発生中の異常

Sysmac Studio の［コントローラ異常］タブにて、発生中の異常の「重要度」「発生源」「発生源詳細」「イベント名」「イベントコード」「ユーザ名」「発生順序」*1「詳細情報」「付属情報 1～4」「処置・対策」を確認できます。
「監視情報」の異常は表示されません。
*1. 形 NX502 CPU ユニットで発生したイベントログの場合にだけ表示されます。

● 過去に発生した異常の履歴

Sysmac Studio の［コントローライベントログ］タブにて、過去に発生した異常の「日時」「重要度」「発生源」「発生源詳細」「イベント名」「イベントコード」「ユーザ名」「発生順序」「詳細情報」「付属情報 1～4」「処置・対策」を確認できます。

CJ シリーズ高機能ユニット内の異常履歴も［コントローライベントログ］タブに表示されます。この場合は詳細な情報は表示されません。詳細を確認するには、表示されているイベントコードをもとに、各ユニットのマニュアルに記載されているエラーコードの説明を参照してください。エラーコードとイベントコードの関係は「1-3-1 CPU ユニットが動作できる異常の種類 (P.1-11)」の「コントローライベントの詳細 (P.1-14)」に記載されています。

Sysmac Studio のトラブルシュート機能については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください。

表示器のトラブルシュータによる確認

異常発生時、表示器とコントローラとの通信が確立していれば、発生中の異常、過去に発生した異常の履歴を確認することができます。
表示器のトラブルシュータを使用する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。

使用上の注意

表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲(P.A-225)」を参照してください。

- **発生中の異常**

  発生中の異常の「イベント名」「イベントコード」「重要度」「発生源」「発生源詳細」「日時」「詳細情報」「付属情報 1～4」を確認できます。
  「監視情報」の異常は表示されません。

- **過去に発生した異常の履歴**

  過去に発生した異常の「日時」「重要度」「発生源」「イベント名」「イベントコード」「詳細情報」「付属情報 1～4」を確認できます。

  表示器のトラブルシュータについては、各表示器のマニュアルを参照してください。

異常ステータス取得命令による確認

ユーザプログラム上での異常ステータスの取得は、機能モジュールごとに用意された異常ステータス取得命令にて行います。
発生中の最重要のステータス（重要度）と最重要のイベントコードを取得できます。

対象機能モジュール	命令名称	命令
PLC 機能モジュール	PLC 異常ステータス取得	GetPLCError
	I/O バス異常ステータス取得	GetCJBError
NX バス機能モジュール	NX バス異常ステータス取得	GetNXBError
	NX ユニット異常ステータス取得	GetNXUnitError
X バス機能モジュール、X バスユニット共通機能モジュール、X バス Ethernet 機能モジュール、X バス EtherNet/IP 機能モジュール	X バス異常ステータス取得	GetXBError
	X バスユニット異常ステータス取得	GetXBUnitError
モーション制御機能モジュール	モーション制御異常ステータス取得	GetMCError
EtherCAT マスタ機能モジュール	EtherCAT 異常ステータス取得	GetECError
EtherNet/IP 機能モジュール	EtherNet/IP 異常ステータス取得	GetEIPError

（注）NC 統合コントローラには CNC 機能モジュールがあります。CNC 機能モジュールの異常の確認と処置については、『NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル(SBCE-428)』を参照してください。

異常ステータス取得命令については、『NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編(SBCA-468)』を参照してください。

システム定義変数による確認

システム定義変数の「異常ステータス変数」を参照することで、コントローラで発生した異常の状態を確認することができます。
異常ステータス変数は、通信を介して外部から状態を参照することが可能です。

モーション制御機能モジュールでは、モーション制御システム変数の MC 共通変数、軸変数、軸グループ変数を参照することで、発生した異常を確認できます。

システム定義変数については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

Network Configurator によるネットワークの通信ステータス確認

Network Configurator により、EtherNet/IP ネットワーク上にある各デバイスの通信ステータス（タグデータリンクコネクション状態など）を確認することができます。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の EtherNet/IP ネットワークの通信ステータスの確認と処置方法を参照してくださ い。

SysmacStudio による EtherCAT の診断・統計情報確認

SysmacStudio により、EtherCAT ネットワークでの通信フレーム数や異常を検出したフレーム数などの統計情報を確認することができます。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の EtherCAT ネットワークの診断・ 統計情報を参照してください。

1-3-3 CPU ユニットが動作できる異常の解除方法

発生中のコントローラ異常は、解除されない限り、コントローラを電源断またはコントローラリセットするまで保持されます。
コントローラ異常を解除するには、発生している異常の要因を取り除くことが必要です。異常の要因を取り除かずに異常解除しても、同じ異常が再度発生します。

安全上の要点

- EtherCAT マスタ機能モジュールに対して、部分停止フォールトレベル以上のコントローラ異常の解除をするときは、接続先の設備の安全を十分に確認してください。部分停止フォールトレベル以上のコントローラ異常によりオペレーショナル状態以外（出力無効）に遷移しているスレーブはオペレーショナル状態に遷移し、出力が有効になります。
  異常の全解除を行うときは、EtherCAT マスタ機能モジュールの部分停止フォールトレベルのコントローラ異常が発生していないか確認してください。
- CJ シリーズ高機能ユニットに対してコントローラ異常の解除をするときは、接続先の設備の安全を十分に確認してください。監視情報レベル以上のコントローラ異常が発生している CJ シリーズ高機能ユニットに対して、コントローラ異常の解除をすると、そのユニットはリスタートされます。
  異常の全解除を行うときは、CJ シリーズ高機能ユニットの監視情報レベル以上のコントローラ異常が発生していないか確認してください。［コントローラ異常］タブ画面では監視情報レベルのイベントが現れないため、意図せず CJ シリーズ高機能ユニットのリスタートを行ってしまう可能性があります。
  監視情報レベルのコントローラ異常の有無は、異常ステータス変数 _CJB_UnitErrSta[0,0]～_CJB_UnitErrSta[3,9]をウォッチウインドウでモニタすると確認できます。

使用上の注意

異常解除は、異常の要因を取り除くものではありませんのでご注意ください。
必ず、異常の要因を除去した上で、異常解除の操作を行ってください。

異常の解除方法の一覧

方法	操作	異常解除の範囲	説明
Sysmac Studio からの指示	コントローラ異常の解除	コントローラ全体の全解除	Sysmac Studio のトラブルシュートダイアログから、コントローラ異常の解除を指示します
		スレーブターミナルの全解除	スレーブターミナルの異常解除機能については、通信カプラユニットのマニュアルを参照してください
		指定した NX ユニットの個別解除	CPU ユニットの NX バスに装着されている NX ユニットでは、Sysmac Studio のトラブルシュートダイアログから、コントローラ異常の個別解除を指示します。 スレーブターミナルに装着されている NX ユニットの個別解除については、通信カプラユニットのマニュアルを参照してください
		指定した X バスユニットの個別解除	CPU ユニットの X バスに装着されている X バスユニットでは、Sysmac Studio のトラブルシュートダイアログから、コントローラ異常の個別解除を指示します
	ダウンロード	該当機能モジュールの全解除	コントローラ異常の要因が除去されていれば、関連する機能モジュールのコントローラ異常が全解除された状態となります。 ユニット構成・設定のダウンロード時は、異常解除されません
	メモリオールクリア	全機能モジュールの全解除だけ	コントローラ異常の要因が除去されていれば、全機能モジュールのコントローラ異常が全解除された状態となります。 スレーブターミナルは解除されません*1
	コントローラリセット		コントローラ異常の要因が除去されていれば、全機能モジュールのコントローラ異常が全解除された状態となります。 スレーブターミナルは解除されません*1
	スレーブターミナルのメモリオールクリア	スレーブターミナルの全解除	コントローラ異常の要因が除去されていれば、スレーブターミナルのコントローラ異常が全解除された状態となります
	スレーブターミナルのリスタート		
表示器からの指示*2	コントローラ異常の解除	コントローラ全体の全解除だけ	ユーザは、表示器のトラブルシュータから、コントローラ異常の解除を指示します。 NJ/NX シリーズ非対応表示器／他社表示器は、ユーザプログラム（各機能モジュールの異常解除命令）と組み合わせて解除します
ユーザプログラムからの指示	コントローラ異常の解除	機能モジュール単位での解除だけ	ユーザプログラム上で、各機能モジュールの異常解除命令を実行します • モーション制御機能モジュールは、全解除、軸単位の解除、軸グループ単位の解除が可能です • NJ シリーズの I/O バスは、全解除に加え、ユニット単位の解除が可能です • NX バス機能モジュールは全解除だけです • X バス機能モジュールはユニット単位の解除が可能です

方法	操作	異常解除の範囲	説明
上位パソコンからの指示	CIP メッセージによるコントローラ異常の解除	全機能モジュールの全解除だけ	上位パソコンなどから、CIP メッセージにより異常解除を実行します
コントローラの電源 OFF→ON	—	指定なし（全解除）	コントローラ異常の要因が除去されていれば、全機能モジュールのコントローラ異常が全解除された状態となります
スレーブターミナルの電源 OFF→ON	—	スレーブターミナルの全解除	コントローラ異常の要因が除去されていれば、スレーブターミナルのコントローラ異常が全解除された状態となります

*1. 操作時には解除されませんが、EtherCAT 通信のリンク確立時に解除される異常もあります。
*2. 表示器から異常解除を指示する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。

Sysmac Studio からの指示の詳細については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください。

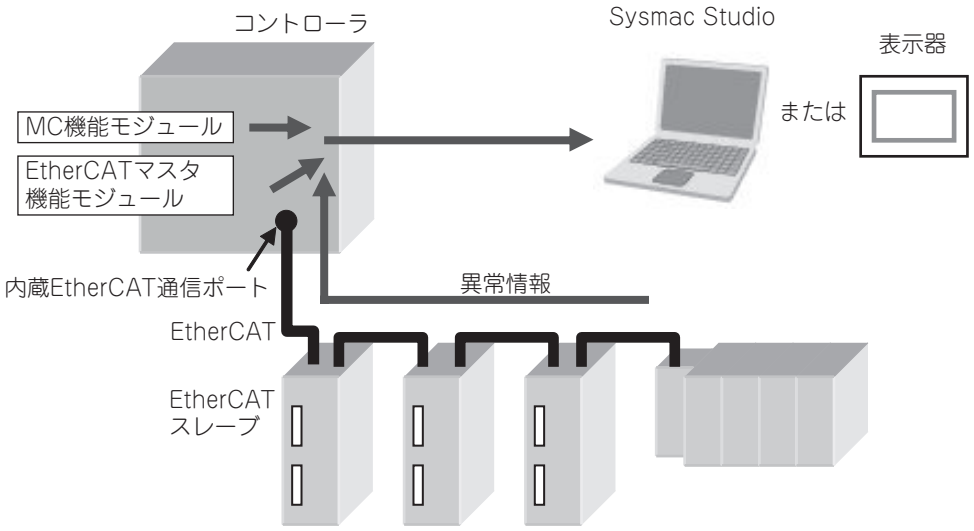
1-3-4　モーション制御機能モジュールに関する異常

ここではモーション制御機能モジュール（以降、MC 機能モジュールと記載する場合があります）に関係する異常について説明しています。

MC 機能モジュールに関係する異常の発生箇所

MC 機能モジュールの内部で発生する異常のほかに、サーボドライバなどとの接続手段である EtherCAT 通信に起因する異常があります。

- MC 機能モジュール内部
- EtherCAT マスタ機能モジュール
- 内蔵 EtherCAT 通信ポート（ハードウェア）
- EtherCAT スレーブ



分類

MC 機能モジュールの異常は、以下の 3 つの発生源に分類されます。

分類	説明
MC 共通の異常	MC 機能モジュールの共通部分に関連する異常を検知した場合、「MC 共通異常ステータス変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします。
軸の異常	軸に関連する異常を検知した場合、「軸異常ステータス変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします。*1
軸グループの異常	軸グループに関連する異常を検知した場合、「軸グループ異常ステータス変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします。

*1.　軽度フォールトレベル以上の軸の異常が発生すると、異常が発生している軸を構成軸に含む軸グループも動作できません。

（注）ステータス変数については『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編（SBCA-467）』を参照してください。

イベントの発生源と重要度

発生源ごとに各重要度レベルの異常を記載します。

● MC 共通が発生源の異常

重要度	異常の名称
全停止フォールト	なし
部分停止フォールト	• モーション制御パラメータ設定異常 • カムデータ読み出し異常 • 必須プロセスデータオブジェクト未設定 • 軸割付スレーブ無効 • 軸割付スレーブネットワーク構成情報未登録 • モーション制御初期化異常 • モーション制御周期オーバー • 絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常
軽度フォールト	• カムテーブル保存処理失敗 • その他モーション制御命令実行時の異常
監視情報	• カムテーブル保存命令実行不可 • モーション制御異常解除命令数過多
一般情報	MC 試運転画面からの異常解除実行

● 軸が発生源の異常

重要度	異常の名称	
全停止フォールト	なし	
部分停止フォールト	なし	
軽度フォールト	• カム動作中カムテーブルデータ異常 • 即停止命令起動 • 正方向ソフトウェアリミットオーバー • 負方向ソフトウェアリミットオーバー • インポジションチェック時間オーバー • 位置偏差オーバー • 即停止入力 • 正方向限界入力検出 • 負方向限界入力検出 • 位置偏差不正 • サーボ OFF 異常 • 絶対値エンコーダ現在位置算出不可 • サーボ主回路電源オフ検出 • 割り込み定寸位置決め・割り込み信号なし • 原点復帰逆方向限界入力検出 • 原点復帰方向限界入力検出 • 原点復帰両方向限界入力検出 • 原点近傍・原点復帰逆方向限界入力検出	• 原点近傍・原点復帰方向限界入力検出 • 原点入力・原点復帰逆方向限界入力検出 • 原点入力・原点復帰方向限界入力検出 • 原点入力マスク量不正 • 原点入力なし • 原点近傍入力なし • スレーブ異常検知 • MC 共通の異常発生中 • ラッチ位置オーバーフロー • ラッチ位置アンダーフロー • 主軸同期方向異常 • サーボ ON 中スレーブ離脱 • 定寸距離オーバーフロー • サーボドライバの制御モード切替異常 • 主軸位置読み出し異常 • 補助軸位置読み出し異常 • スレーブ通信異常 • その他モーション制御命令実行時の異常
監視情報	• 位置偏差警告 • 速度警告 • 加速度警告 • 減速度警告 • 正方向トルク警告 • 負方向トルク警告 • 指令位置オーバーフロー	• 指令位置アンダーフロー • フィードバック位置オーバーフロー • フィードバック位置アンダーフロー • スレーブ監視情報検知 • ブレンディングの中継速度到達までの移動量不足通知 • その他モーション制御命令実行時の異常
一般情報	スレーブ異常コード確定	

● 軸グループが発生源の異常

重要度	異常の名称
全停止フォールト	なし
部分停止フォールト	なし
軽度フォールト	• 軸グループ即停止命令起動 • 多軸協調動作中の原点未確定 • 軸グループ構成軸異常発生 • その他モーション制御命令実行時の異常
監視情報	• 速度警告 • 加速度警告 • 減速度警告 • ブレンディングの中継速度到達までの移動量不足通知
一般情報	なし

EtherCAT 通信、EtherCAT スレーブ、NX ユニットに関する異常

EtherCAT 通信、EtherCAT スレーブ、NX ユニットの異常により発生する MC 機能モジュールの異常には以下があります。

異常の名称	イベントコード	発生要因	異常発生時の動作
スレーブ通信異常	84400000Hex	MC 制御機能モジュールの軸に割りついている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットとの通信に異常が発生しました。*1	異常が発生した軸をサーボ OFF し、異常解除以外の操作を受け付けません。*2
スレーブ異常検知	742F0000Hex	MC 制御機能モジュールの軸に割りついている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが異常を検知しました。	異常が発生した軸をサーボ OFF し、異常解除以外の操作を受け付けません。

*1. EtherCAT スレーブとの通信に異常が発生した場合は、EtherCAT マスタ機能モジュールでも異常が発生します。複数のデバイスを 1 軸に割り付けている場合、1 つのデバイスでも通信異常が発生すると、その軸は通信異常となります。
*2. スレーブ通信異常が発生した場合、その軸は原点未確定となります。

サーボドライバで発生する異常

オムロン製サーボドライバ 1S シリーズおよび G5 シリーズでの異常発生時の通知について説明します。

MC 機能モジュールがサーボドライバの異常発生を検知するタイミングと、サーボドライバから異常コードを取得できるタイミングには時間差があります。
そのため、MC 機能モジュールは、サーボドライバの異常発生と異常コードを異なるイベントで通知します。

● 異常発生の通知

MC 機能モジュールはサーボドライバの異常発生を検知すると、軽度フォールトレベル「スレーブ異常検知」（742F0000Hex）を発生します。
この時点で MC 機能モジュールは異常発生時の動作（サーボ OFF）を行います。

● 異常コードの通知

サーボドライバ側で異常コードが確定すると、MC 機能モジュールは一般情報「スレーブ異常コード確定」（94220000Hex）を発生します。

「スレーブ異常コード確定」の付属情報の下 2 けたにサーボドライバの異常コード（エラー表示 No. のメインの番号）が表示されます。
たとえば、付属情報に「FF13」が表示された場合、エラー表示 No.13（主回路電源不足電圧）がサーボドライバで発生しています。

使用上の注意

「スレーブ異常コード確定」を通知するには設定が必要です。
PDO マップ編集画面でオブジェクト 603FHex（エラーコード）をマッピングしてください。

NX ユニットで発生する異常

オムロン製 NX シリーズ 位置インタフェースユニットで異常が発生した場合も、オムロン製サーボドライバ 1S シリーズおよび G5 シリーズの場合と同様に、異常発生の通知と異常コードの通知を行います。

ただし、NX シリーズ 位置インタフェースユニットは、603FHex（エラーコード）に相当するオブジェクトを持っていないため、「スレーブ異常コード確定」（94220000Hex）の付属情報には、「0000Hex」が表示されます。

NX シリーズ 位置インタフェースユニットで発生する異常の詳細については、『NX シリーズ 位置インタフェースユニット ユーザーズマニュアル(SBCE-374)』および、『NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル(SBCD-361)』を参照してください。

1-3-5 EtherNet/IP 機能モジュールに関する異常

ここでは EtherNet/IP 機能モジュールに関係する異常について説明しています。

分類

EtherNet/IP 機能モジュールの異常は以下の発生源に分類されます。

● 形 NX701、形 MX502、および形 NX102 CPU ユニット

分類	説明
通信ポート 1 異常	EtherNet/IP の通信ポート 1 に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「通信ポート 1 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
通信ポート 2 異常	EtherNet/IP の通信ポート 2 に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「通信ポート 2 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
CIP 通信 1 異常	EtherNet/IP の通信ポート 1 において、タグデータリンク、CIP メッセージ通信に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「CIP 通信 1 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします *1
CIP 通信 2 異常	EtherNet/IP の通信ポート 2 において、タグデータリンク、CIP メッセージ通信に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「CIP 通信 2 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします *1
TCP アプリ異常	FTP サーバ、NTP、SMNP クライアントに関連する異常を検知した場合、ステータス変数「TCP アプリ通信異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします

*1. 他の Ethernet 通信機能には影響しません。

● 形 NX1P2 CPU ユニット

分類	説明
通信ポート 1 異常	EtherNet/IP の通信ポート 1 に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「通信ポート 1 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
CIP 通信 1 異常	EtherNet/IP の通信ポート 1 において、タグデータリンク、CIP メッセージ通信に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「CIP 通信 1 異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします *1
TCP アプリ異常	FTP サーバ、NTP、SMNP クライアントに関連する異常を検知した場合、ステータス変数「TCP アプリ通信異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします

*1. 他の Ethernet 通信機能には影響しません。

● NJ シリーズ CPU ユニット

分類	説明
通信ポート異常	Ethernet 通信全体に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「通信ポート異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
CIP 通信異常	タグデータリンク、CIP メッセージ通信に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「CIP 通信異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします *1
TCP アプリ異常	FTP サーバ、NTP、SMNP クライアントに関連する異常を検知した場合、ステータス変数「TCP アプリ通信異常」の該当ビットを「異常あり」の状態にします

*1. 他の Ethernet 通信機能には影響しません。

イベントの発生源と重要度

EtherNet/IP 機能モジュールのイベントの発生源詳細と重要度は、以下のとおりです。

● NX シリーズ CPU ユニット

重要度	発生源詳細		
	通信ポート	CIP 通信	TCP アプリ
全停止フォールト	なし	なし	なし
部分停止フォールト	EtherNet/IP 処理異常	なし	なし
軽度フォールト	• 通信コントローラ異常 • MAC アドレス異常 • IP ルートテーブル設定異常 • Ethernet 基本設定エラー • IP アドレス設定異常 • DNS 設定異常 • DNS サーバ接続失敗 • IP アドレス重複異常 • BOOTP サーバ接続失敗	• Identity 情報異常 • タグデータリンク設定エラー • タグ解決異常 • コントローラのメモリ容量不足予告 • タグデータリンクコネクション確立失敗 • タグデータリンクタイムアウト • タグデータリンクコネクション確立タイムアウト • ユニット許容通信帯域幅オーバー	• FTP サーバ設定エラー • NTP クライアント設定エラー • SNMP 設定エラー • NTP サーバ接続失敗
監視情報	• 変数範囲外アクセス検知 • 受信バッファフルのためパケット廃棄 • リンクオフ検知	なし	なし
一般情報	• リンクオン検知 • 通信ポートリスタート • IP アドレス決定 • BOOTP クライアント起動	• タグデータリンク操作（ダウンロード開始） • タグデータリンク操作（ダウンロード完了） • タグデータリンク操作（起動停止） • タグデータリンク操作（起動開始） • 全タグデータリンク通信開始	• FTP サーバ起動 • NTP クライアント起動 • SNMP エージェント起動

● NJ シリーズ CPU ユニット

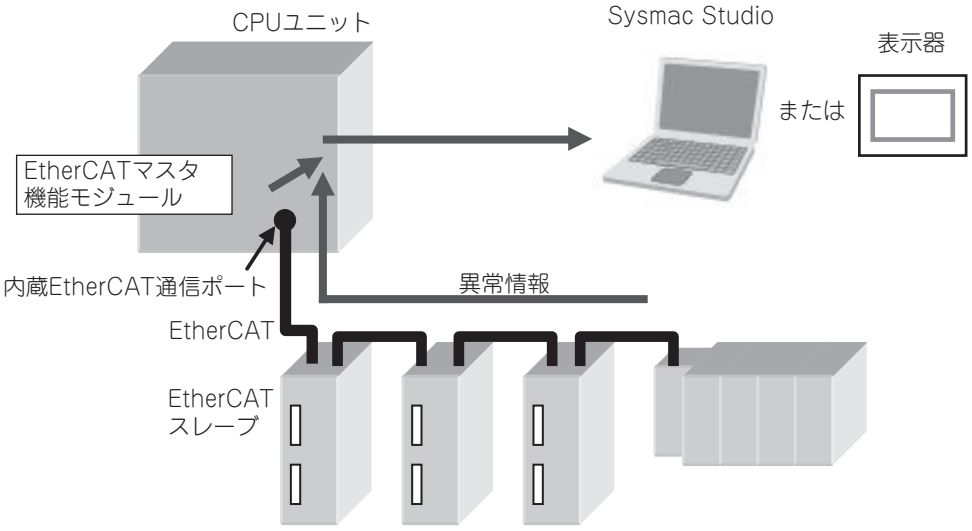
重要度	発生源詳細		
	通信ポート	CIP 通信	TCP アプリ
全停止フォールト	なし	なし	なし
部分停止フォールト	• 通信コントローラ異常 • MAC アドレス異常 • EtherNet/IP 処理異常 • Ethernet 基本設定エラー • IP アドレス設定異常 • IP アドレス重複異常 • BOOTP サーバ接続失敗	なし	なし
軽度フォールト	• DNS サーバ接続失敗 • IP ルートテーブル設定異常	• Identity 情報異常 • タグデータリンク設定エラー • タグ解決異常 • コントローラのメモリ容量不足予告 • タグデータリンクコネクション確立失敗 • タグデータリンクタイムアウト • タグデータリンクコネクション確立タイムアウト	• FTP サーバ設定エラー • NTP クライアント設定エラー • SNMP 設定エラー • NTP サーバ接続失敗
監視情報	• 変数範囲外アクセス検知 • 受信バッファフルのためパケット廃棄 • リンクオフ検知	なし	なし
一般情報	• リンクオン検知 • 通信ポートリスタート • IP アドレス決定 • BOOTP クライアント起動	• タグデータリンク操作（ダウンロード開始） • タグデータリンク操作（ダウンロード完了） • タグデータリンク操作（起動停止） • タグデータリンク操作（起動開始） • 全タグデータリンク通信開始	• FTP サーバ起動 • NTP クライアント起動 • SNMP エージェント起動

1-3-6 EtherCAT マスタ機能モジュールに関する異常

ここでは EtherCAT マスタ機能モジュールに関係する異常について説明しています。

EtherCAT マスタ機能モジュールの異常の発生箇所

EtherCAT マスタ機能モジュールの内部で発生する異常のほかに、内蔵 EtherCAT ポート、EtherCAT スレーブに関する異常があります。



複数のスレーブで同時に同じ異常が発生した場合、次のように一部のスレーブの異常だけが発生中異常やイベントログに登録されます。登録されたスレーブの異常を解消することで別のスレーブの異常が登録されることがありますので、異常が登録されなくなるまで繰り返し処置を行ってください。

- **設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合**

  異常が発生しているスレーブの中で、通信できているすべてのスレーブの異常が登録されます。
  該当する異常は下記のとおりです。

  (1)スレーブの不正な切り離し検知

  (2)ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）

  (3)ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致）

- **設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合**

  異常が発生しているスレーブの中で、最もマスタに近いスレーブの異常だけが登録されます。
  該当する異常は下記のとおりです。

  (1)ネットワーク構成照合異常

  (2)プロセスデータ通信異常（ケーブル断の異常要因のみ）

  (3)スレーブノードアドレス重複

  (4)スレーブ初期化異常

分類

EtherCAT マスタ機能モジュールの異常は発生源により以下に分類されます。

分類	説明
通信ポート異常	EtherCAT 通信全体に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「通信ポート異常変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
EtherCAT マスタ異常	EtherCAT マスタ側で自身の設定や処理に関連する異常を検知した場合、ステータス変数「マスタ異常変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします。 EtherCAT マスタ側でスレーブに関する異常を検知した場合も、ステータス変数「マスタ異常変数」の該当ビットを「異常あり」の状態にします
EtherCAT スレーブ異常	EtherCAT マスタ側でスレーブに関連する異常を検知した場合、該当スレーブの異常ステータスを「マスタ検知異常あり」の状態にします *1 *2 *3

*1. EtherCAT マスタが、スレーブから定期的に異常ステータス情報を収集して、I/O データと同期したタイミングでシステム変数の更新を行ないます。
*2. 異常ステータスを通知しない EtherCAT スレーブでは、EtherCAT マスタは該当スレーブのスレーブ異常テーブルの各ビットをすべて FALSE とします。
*3. 本異常発生後、スレーブ側で実際に異常が復旧した場合は、異常解除操作をしなくても自動的に復旧します。（CPU ユニット Ver.1.05 以降）

参考

EtherCAT スレーブターミナルで発生するイベントについては、『NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル（SBCD-361）』を参照してください。

イベントの発生源と重要度

EtherCAT マスタ機能モジュールのイベントの発生源詳細と重要度は、以下のとおりです。設定ユニットバージョン*1 により発生するイベントが異なります。

*1. 本マニュアルでは、プロジェクトに設定されているユニットバージョンを“設定ユニットバージョン”と呼びます。設定ユニットバージョンは、Sysmac Studio のデバイス選択画面でプロジェクトに設定します。

● 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合

重要度	発生源詳細		
	通信ポート	EtherCAT マスタ	EtherCAT スレーブ *1
全停止フォールト	なし	なし	なし
部分停止フォールト	• 通信コントローラ異常 • リンクオフ異常	• EtherCAT 処理異常 • EtherCAT フレーム受信なし異常	EtherCAT フレーム受信なし異常
軽度フォールト	なし	• ネットワーク構成情報異常 • プロセスデータ受信タイムアウト • プロセスデータ送信異常 • プロセスデータ入力値無効異常 • 時刻同期補正失敗 • ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続） • ネットワーク構成照合異常（リング誤配線） • 不正な配線検知 • 電源再投入待ち	• スレーブノードアドレス重複 • ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続） • ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在） • ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致） • スレーブ状態遷移失敗 • スレーブ AL ステータス異常検知 • スレーブの不正な切り離し検知 • スレーブ PDI WDT 異常検知

重要度	発生源詳細		
	通信ポート	EtherCAT マスタ	EtherCAT スレーブ *1
監視情報	なし	• バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ） • リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ） • リング断線検知	• エマージェンシー・メッセージ検知 • 不正メールボックス受信
一般情報	なし	• 異常解除 • EtherCAT 診断・統計情報ログ機能開始 • EtherCAT 診断・統計情報ログ機能終了	• スレーブ離脱 • スレーブ再加入 • スレーブ無効化 • スレーブ有効化

*1. スレーブが発生源となる異常でマスタが検知する異常を記載しています。これらの異常ではマスタ異常ありの状態となります。マスタが検知しないスレーブの異常は、各スレーブで異常と重要度が定義されます。各スレーブのマニュアルを参照してください。
EtherCAT スレーブターミナルで発生するイベントについては、『NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル（SBCD-361）』を参照してください。

● 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合

重要度	発生源詳細		
	通信ポート	EtherCAT マスタ	EtherCAT スレーブ *1
全停止フォールト	なし	なし	なし
部分停止フォールト	• 通信コントローラ異常 • MAC アドレス異常 • リンクオフ異常	• EtherCAT 処理異常 • EtherCAT フレーム受信なし異常	EtherCAT フレーム受信なし異常
軽度フォールト	なし	• スレーブノードアドレス重複 • ネットワーク構成情報異常 • EtherCAT 通信周期設定異常 • ネットワーク構成異常 • ネットワーク構成照合異常 • スレーブ初期化異常 • プロセスデータ送信異常 • プロセスデータ受信タイムアウト • プロセスデータ入力値無効異常	• ネットワーク構成照合異常 • スレーブアプリケーション異常 • プロセスデータ通信異常 • スレーブノードアドレス重複 • スレーブ初期化異常
監視情報	なし	• バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ） • リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ） • EtherCAT メッセージ異常	エマージェンシー・メッセージ検知
一般情報	なし	• 異常解除 • EtherCAT 診断・統計情報ログ機能開始 • EtherCAT 診断・統計情報ログ機能終了	• スレーブ離脱 • スレーブ再加入 • スレーブ無効化 • スレーブ有効化

*1. スレーブが発生源となる異常でマスタが検知する異常を記載しています。これらの異常ではマスタ異常ありの状態となります。マスタが検知しないスレーブの異常は、各スレーブで異常と重要度が定義されます。各スレーブのマニュアルを参照してください。

EtherCAT スレーブターミナルで発生するイベントについては、『NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル（SBCD-361)』を参照してください。

EtherCAT マスタ機能モジュールの異常の解除

EtherCAT マスタ機能モジュールの異常の解除には、以下の 3 つの方法があります。
- Sysmac Studio
- 表示器
- EtherCAT 異常解除命令(ResetECError)の実行

Sysmac Studio および表示器による解除方法については、「2-3 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処方法 (P.2-10)」を参照してください。
EtherCAT 異常解除命令(ResetECError)の詳細については、『NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編(SBCA-468)』を参照してください。

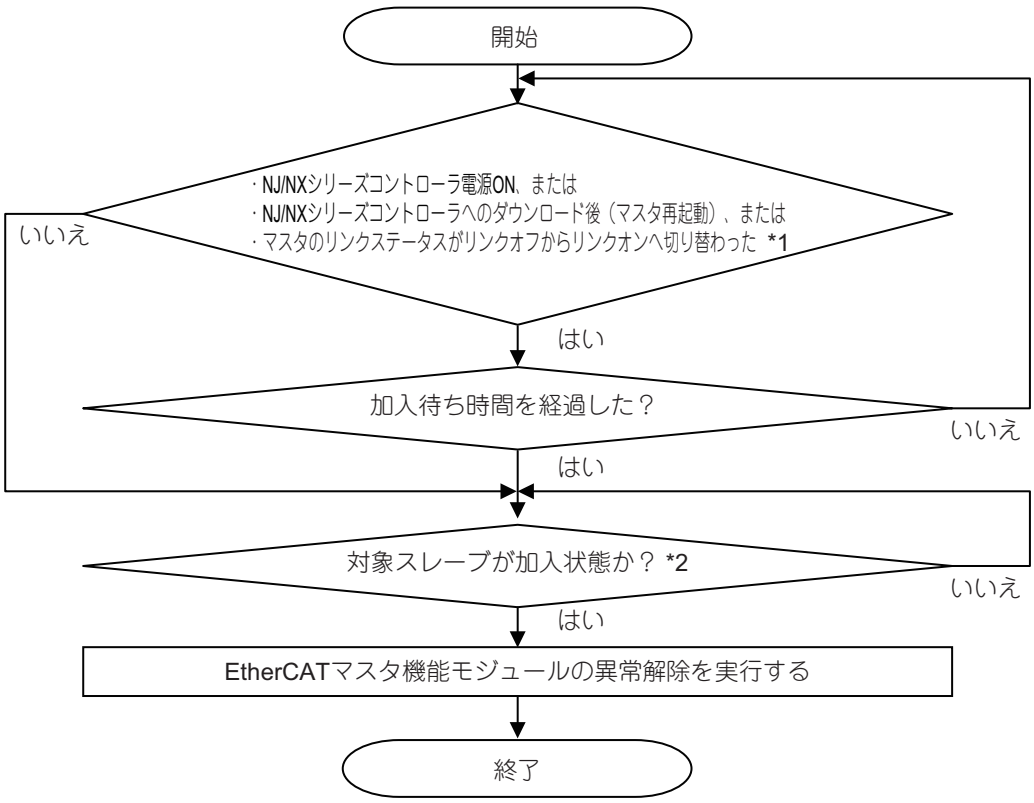
使用上の注意

イベントの「電源再投入待ち」(94520000Hex)(P.3-561)の発生中は、EtherCAT マスタ機能モジュールの発生中異常は解除できません。

● EtherCAT マスタ機能モジュールで発生した異常の解除方法

以下の異常解除操作を実行するときは、必ず異常復旧対象のスレーブがすべて加入状態であることを確認の上、実行してください。
- スレーブ電源の投入またはケーブルを接続した状態で、「ネットワーク構成照合異常」または「プロセスデータ通信異常」の異常解除操作をするとき
- ケーブル断となった先頭スレーブの電源の投入またはケーブルを接続した状態で、「リンクオフ異常」の異常解除操作をするとき

以下の手順にしたがってください。



*1. システム定義変数「_EC_LinkStatus」(リンクステータス)で確認可能
*2. システム定義変数「_EC_EntrySlavTbl[]」(ネットワーク加入スレーブテーブル)で確認可能

さらに、EtherCAT マスタ設定時の全スレーブ加入待ち時間（EtherCAT マスタのパラメータ設定）に、すべてのスレーブの電源が立ち上がるに十分な時間を設定するようにしてください。

上記の手順にしたがわず、EtherCAT マスタ機能モジュールの異常解除を行うと、EtherCAT マスタは、指定したノードアドレスとは異なるノードアドレスのスレーブにアクセスするなどの、意図しない動作をする恐れがあります。また、正しく異常解除処理が行えない可能性があります。

● スレーブ異常の解除方法

EtherCAT マスタ機能モジュールの異常解除を実行することで、スレーブ異常の解除を実行します。ただし、スレーブ異常の解除には、EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間でプロセスデータ通信中であることが必要です。
そのため、スレーブとプロセスデータ通信中でない場合には、EtherCAT マスタ機能モジュールの異常解除を行ってから該当のスレーブがプロセスデータ通信中であることを確認してください。
なお、スレーブ異常を解除するためには、再度 EtherCAT マスタ機能モジュールへの異常解除を実行してください。

通信中のスレーブの脱着時の留意事項

通信中のスレーブの交換方法や交換時の留意事項について説明します。

● 通信中のスレーブの離脱の手順

EtherCAT マスタが通信中*に、スレーブの電源を OFF またはケーブル離脱をするときは、かならず以下の手順で行ってください。
*: セーフオペレーショナル状態、またはオペレーショナル状態

手順 1: Sysmac Studio または命令から、対象スレーブに対する「離脱」の指示をする。
手順 2: スレーブの「離脱」が正常に完了したことを確認する。
手順 3: 上記の指定スレーブの電源を OFF にする、またはケーブルをはずす。

上記の 1.と 2.の手順を行わず、スレーブの電源を OFF にするまたはケーブルをはずした場合、動作中のスレーブの運転に影響を及ぼす可能性がありますので、ご注意ください。

● 通信中のスレーブの脱着と、異常の解除／スレーブ再加入操作の同時実行の禁止

以下の(a)または(b)のいずれかの作業と(c)の作業を同時に行うと、異常が発生する可能性があります。
a. スレーブの電源を OFF にする、またはケーブルをはずす作業
b. スレーブの電源を ON にする、またはケーブルをさす作業
c. EtherCAT マスタ機能モジュールで発生した異常の解除、またはスレーブの再加入*
*: とくにユーザプログラム上で EtherCAT 異常解除(ResetECError)命令、EtherCAT スレーブ再加入(EC_ConnectSlave)命令をサイクリックに実行しているとき。

このとき、EtherCAT マスタは、指定したノードアドレスとは異なるノードアドレスのスレーブにアクセスするなどの、意図しない動作をする恐れがあります。
そのため、スレーブの電源を OFF にする作業またはケーブルをはずす作業は、異常の解除およびスレーブの再加入と同時には実施しないようにしてください。

2

異常発生時の対処方法

本章では、異常発生時の具体的な対処方法について説明します。

2-1　異常発生時の対処フロー 2-2
2-1-1　CPU ユニットが動作しているかの確認 2-2
2-1-2　CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処フロー 2-4
2-1-3　EtherNet/IP 機能モジュールの異常状態の確認フロー 2-5

2-2　CPU ユニットが動作できない異常の場合の対処方法 2-8

2-3　CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処方法 2-10
2-3-1　Sysmac Studio を使った異常の確認と解除 2-10
2-3-2　表示器を使った異常の確認と解除 2-15
2-3-3　ユーザプログラムによる異常の確認と解除 2-18
2-3-4　システム定義変数による異常の確認 2-20

2-4　サポートソフトがオンライン接続できない場合の対処方法 2-23
2-4-1　Sysmac Studio がオンライン接続できない場合の対処方法 2-23
2-4-2　Network Configurator がオンライン接続できない場合の対処方法 2-36
2-4-3　CX-ConfiguratorFDT がオンライン接続できない場合の対処方法 2-36
2-4-4　CX-Integrator がオンライン接続できない場合の対処方法 2-36
2-4-5　CX-Protocol がオンライン接続できない場合の対処方法 2-36

2-1　異常発生時の対処フロー

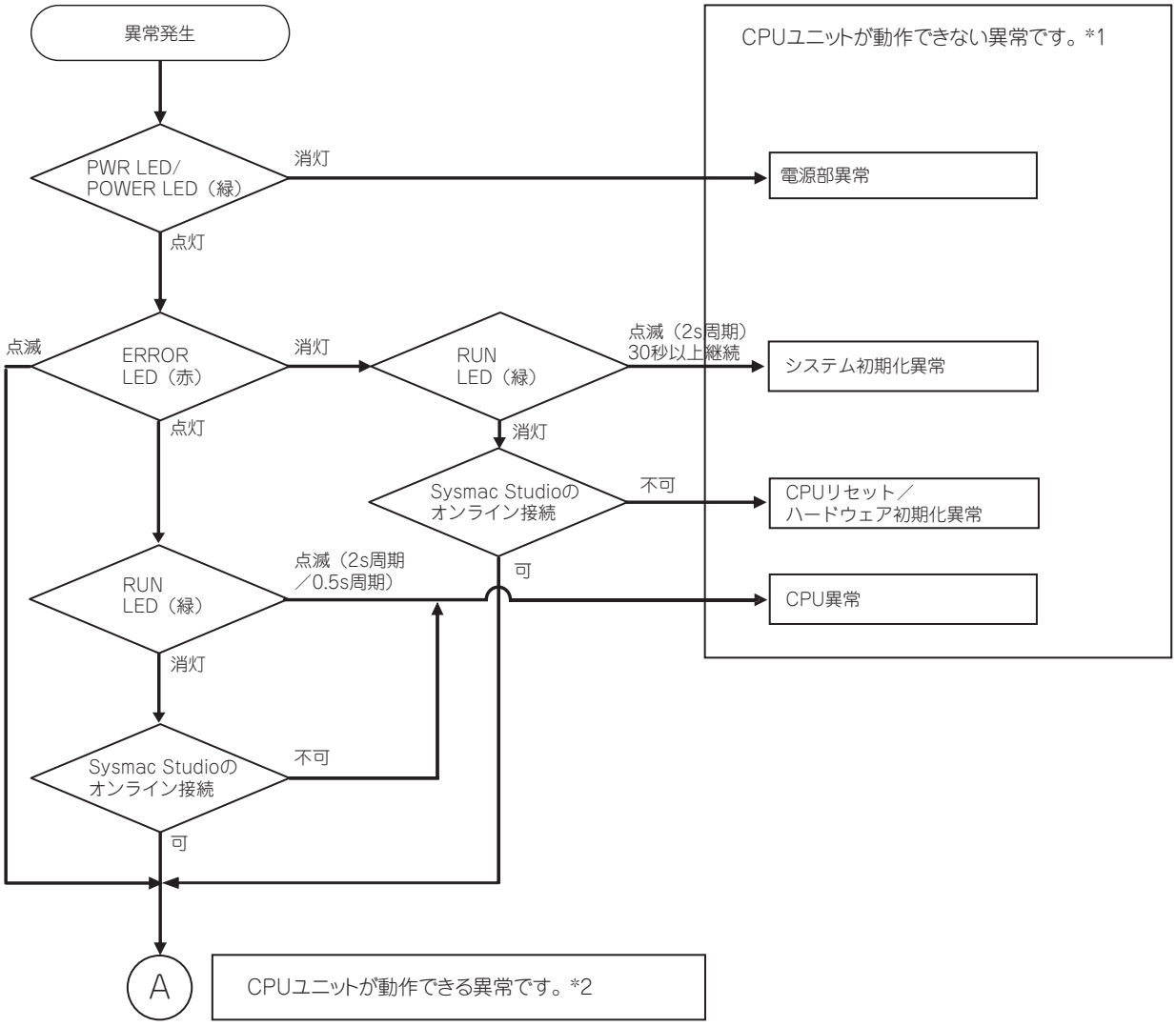
NJ/NX シリーズで異常が発生した場合の、基本的な確認・対処のフローを以下に説明します。

2-1-1　CPU ユニットが動作しているかの確認

NJ/NX シリーズで異常発生時、以下のフローで、まず「CPU ユニットが動作できる異常」か「CPU ユニットが動作できない異常」かを識別してください。

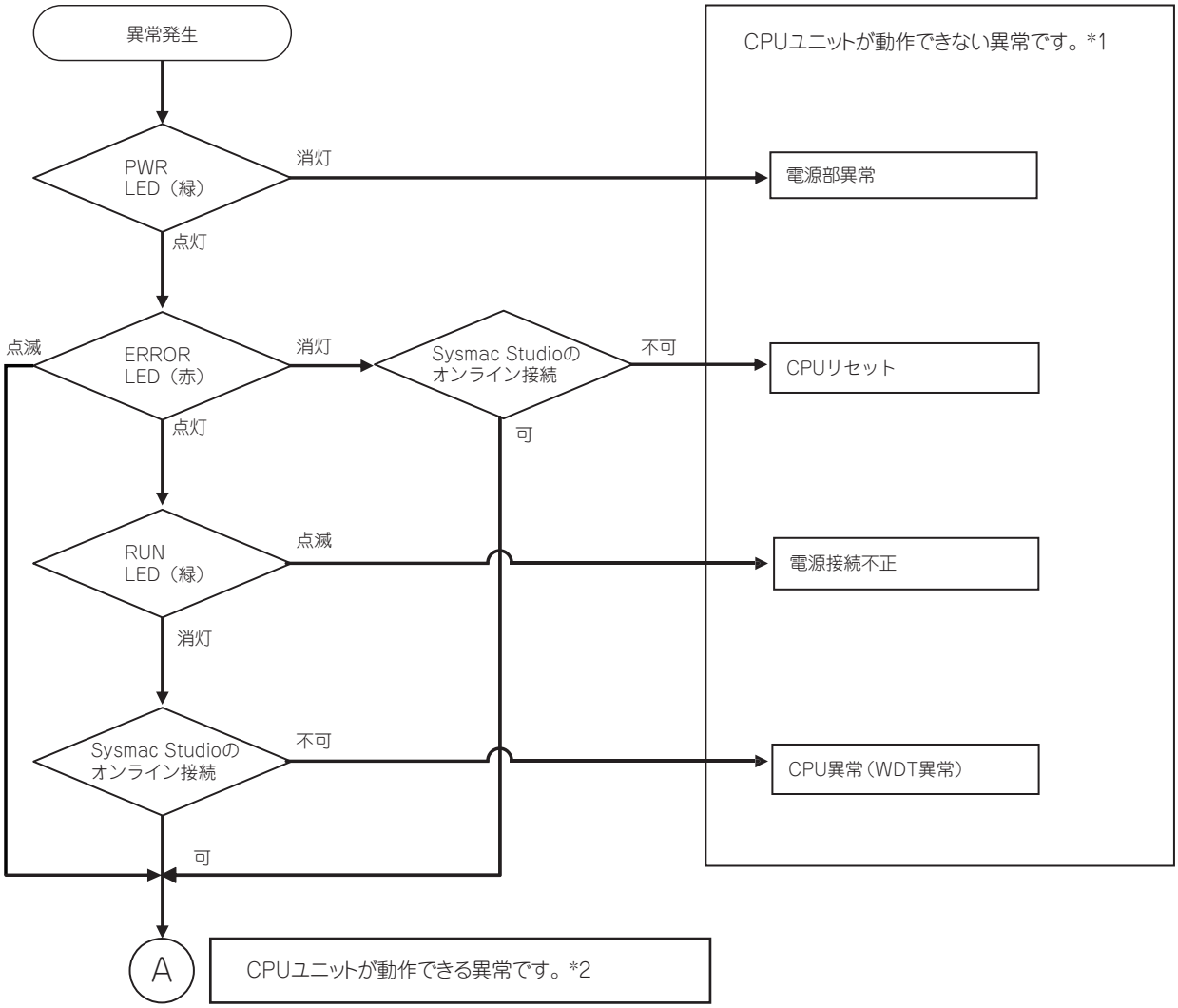
USB（ペリフェラル）ポートを持つ CPU ユニットでは、フロー中の「Sysmac Studio のオンライン接続」はなるべく「USB-直接接続」で行ってください。Ethernet を使用した場合、Sysmac Studio がオンライン接続できない要因が多数あり、CPU ユニットが動作できる異常かどうかの識別に時間を要します。
Sysmac Studio がオンライン接続できない場合は、CPU ユニットが動作できない異常と断定する前に、「2-4-1 Sysmac Studio がオンライン接続できない場合の対処方法 (P.2-23)」を確認してください。

● NX シリーズ CPU ユニットの場合



*1.「2-2 CPU ユニットが動作できない異常の場合の対処方法 (P.2-8)」を参照してください。
*2.「2-1-2 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処フロー (P.2-4)」を参照してください。

● NJ シリーズ CPU ユニットの場合

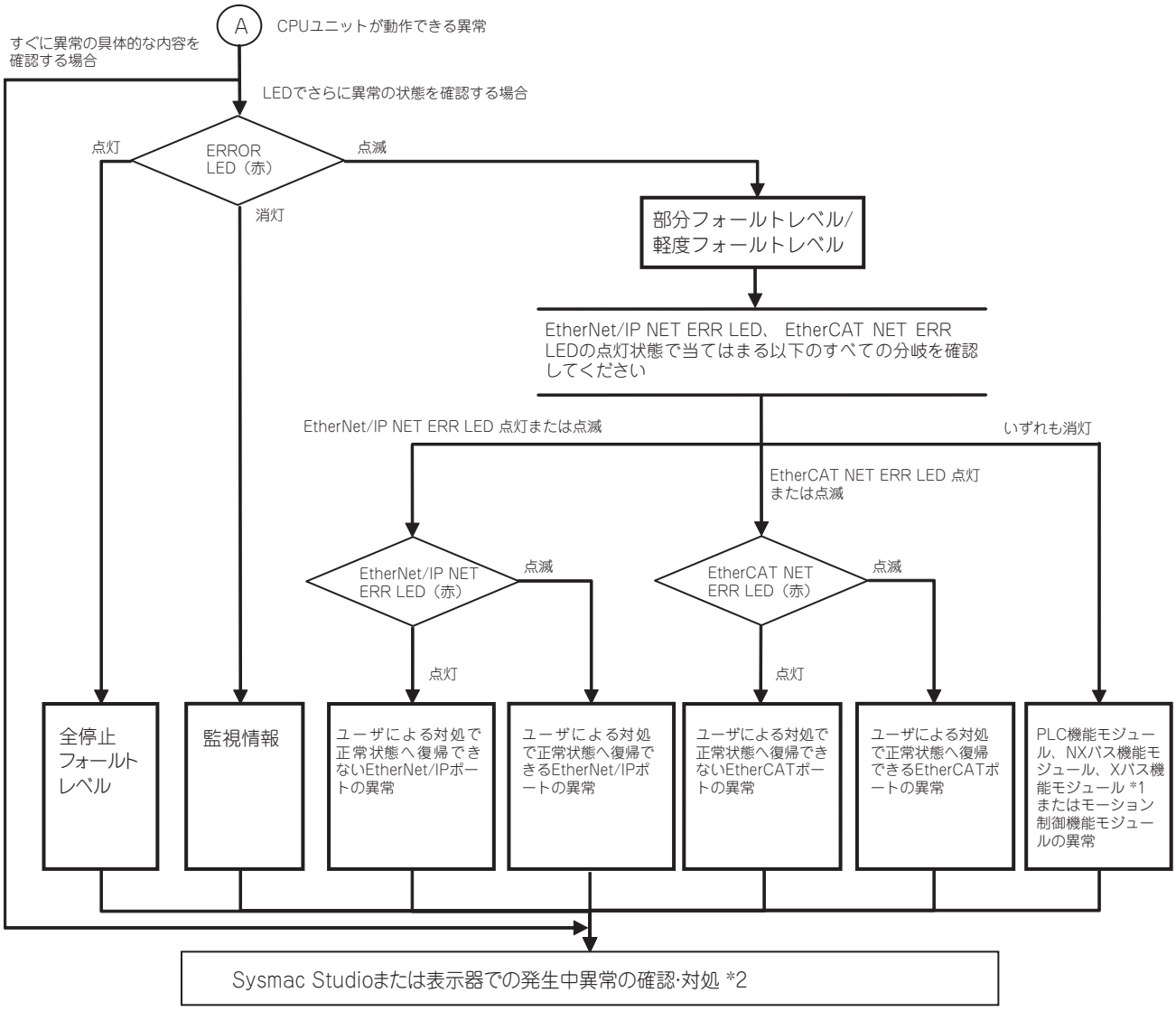


*1.「2-2 CPU ユニットが動作できない異常の場合の対処方法 (P.2-8)」を参照してください。
*2.「2-1-2 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処フロー (P.2-4)」を参照してください。

2-1-2 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処フロー

「CPU ユニットが動作している異常」の場合、以下のフローのように、Sysmac Studio または表示器で、発生している異常を確認し、その対処をしてください。
LED では以下を確認することができます。

- 重要度
- EtherNet/IP ポートまたは EtherCAT ポートで異常が発生しているか
- 発生源が EtherNet/IP ポートまたは EtherCAT ポートの場合、ユーザの対処で正常状態へ復帰できる異常か



*1. X バスの異常については、「3-4 X バス機能モジュールの異常 (P.3-348)」を参照してください。X バスユニットの異常については、各 X バスユニット ユーザーズマニュアルの「異常の確認と処置」を参照してください。
*2.「2-3 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処方法 (P.2-10)」を参照してください。

使用上の注意

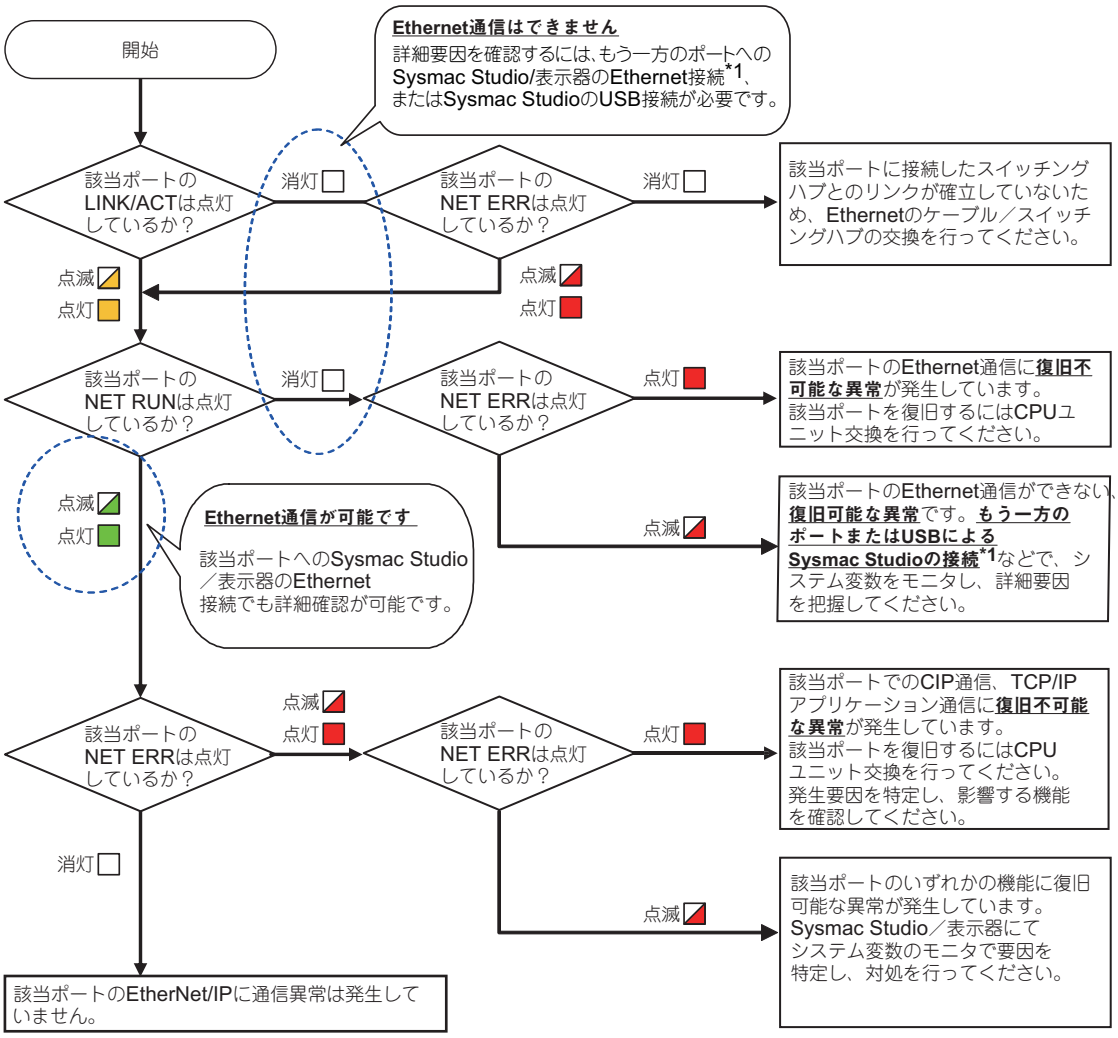
表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 (P.A-225)」を参照してください。

2-1-3 EtherNet/IP 機能モジュールの異常状態の確認フロー

EtherNet/IP 機能モジュールの異常については、以下のフローにより発生している異常を確認して対処します。

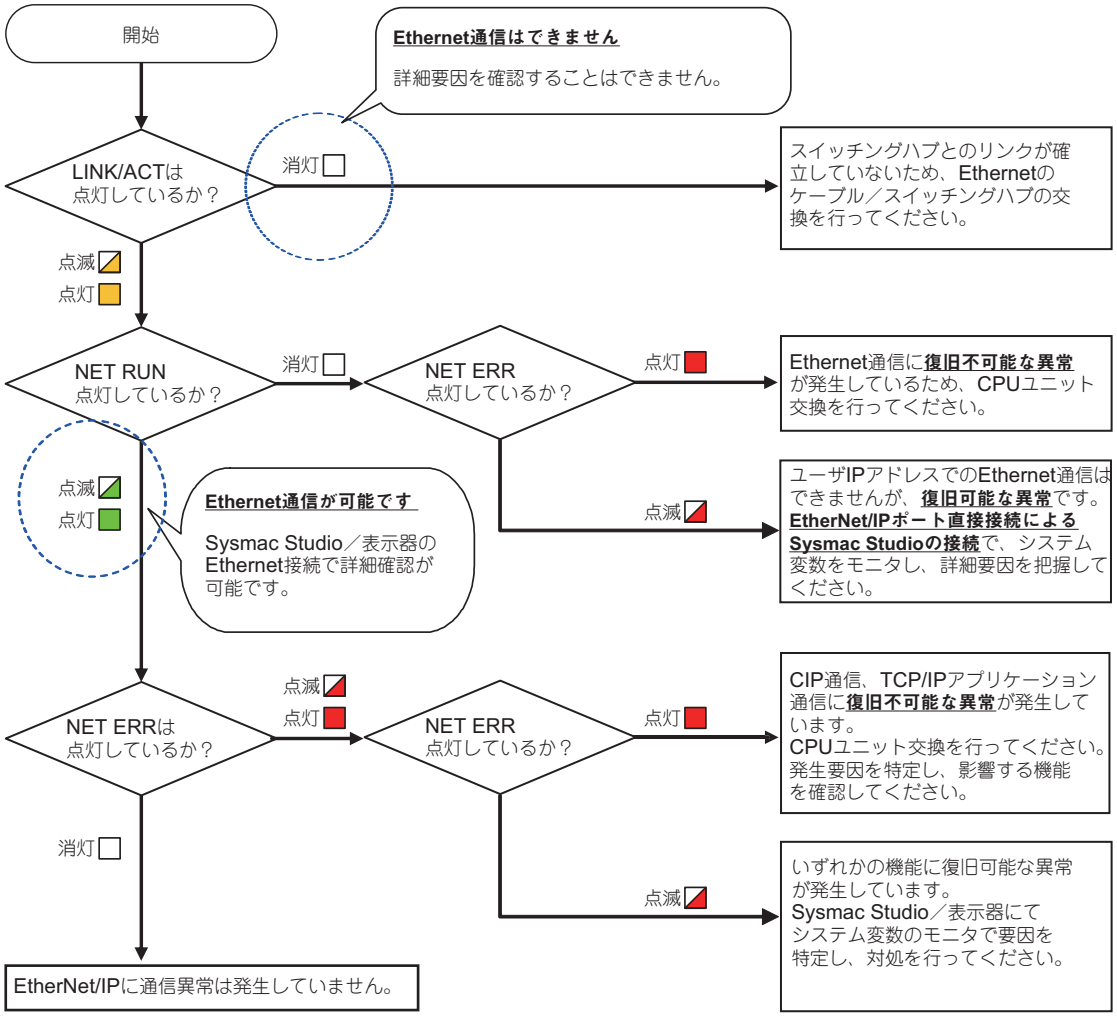
形 NX701 および形 NX102 CPU ユニット

2 つある通信ポートのうち、異常の切り分けを行うポートを「該当ポート」と表現しています。

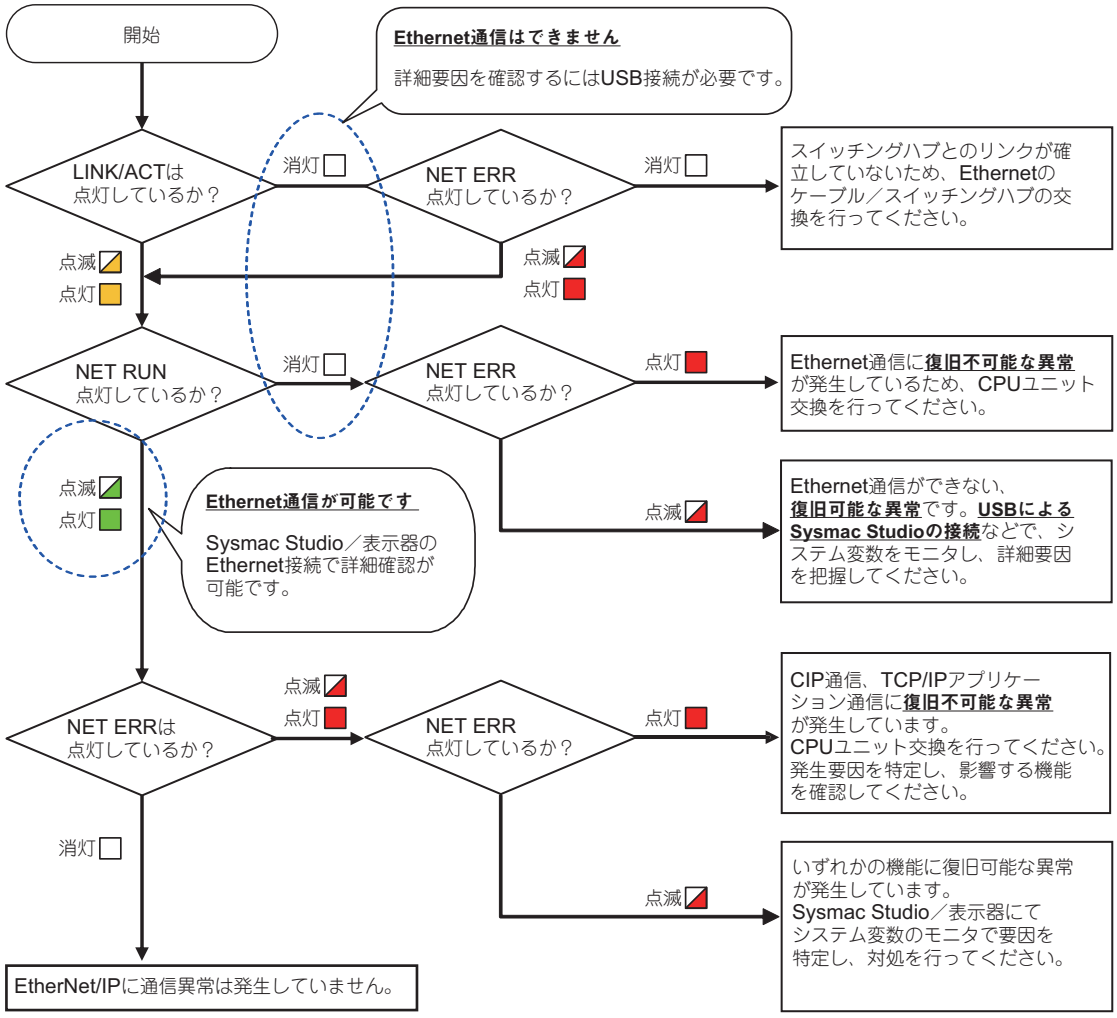


*1. もう一方のポートでEthernet通信ができる場合だけ、もう一方のポートにSysmac Studio/表示器を接続して詳細要因を確認できます。

形 NX502 および形 NX1P2 CPU ユニット



NJ シリーズ CPU ユニット



2-2 CPU ユニットが動作できない異常の場合の対処方法

CPU ユニットが動作できない異常の場合への対処方法を説明します。

● 電源部異常

発生要因	処置対策
入力電源が入っていない	電源を投入してください
電圧が許容電源範囲外	コントローラへの電源系統を確認し、許容電源範囲になるように修正してください
装着ユニット故障による電源系統異常	CPU ラック上に接続されているユニットを順に取外し、本異常がなくなる場合は、該当ユニットを交換してください
電源ユニット故障（形 NX102、形 NX1P2 以外の場 合）	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は、電源ユニットを交換してください
電源部の故障（形 NX102、形 NX1P2 の場合）	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は、CPU ユニットを交換してください

● システム初期化異常

発生要因	処置対策
導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください
ノイズ	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、異常が解除されるか確認してください。異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ進入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください
CPU ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は CPU ユニットを交換してください

● CPU リセット

発生要因	処置対策
導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください
増設ラックの電源 OFF	増設ラックの電源ユニットに正しい電圧を入力してください
I/O 接続ケーブルの取付が不正	I/O 接続ケーブルの接続を正しく修正してください
ノイズ	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、異常が解除されるか確認してください。異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ進入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください
電源ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は、電源ユニットを交換してください
CPU ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は CPU ユニットを交換してください

● ハードウェア初期化異常

発生要因	処置対策
導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください
ノイズ	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、異常が解除されるか確認してください。異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ進入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください
CPU ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は CPU ユニットを交換してください

● 電源接続不正

発生要因	処置対策
NJ シリーズ CPU ユニットに CJ シリーズ電源ユニットが接続されている	NJ シリーズ CPU ユニットに NJ シリーズ電源ユニットを接続してください

● CPU 異常

発生要因	処置対策
導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください
ノイズ	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、異常が解除されるか確認してください。異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ進入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください
CPU ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は CPU ユニットを交換してください

● CPU 異常（WDT 異常）

発生要因	処置対策
導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください
ノイズ	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、異常が解除されるか確認してください。異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ進入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください
CPU ユニット故障	上記の処置を行っても本異常が発生する場合は CPU ユニットを交換してください

2-3 CPU ユニットが動作できる異常の場合の対処方法

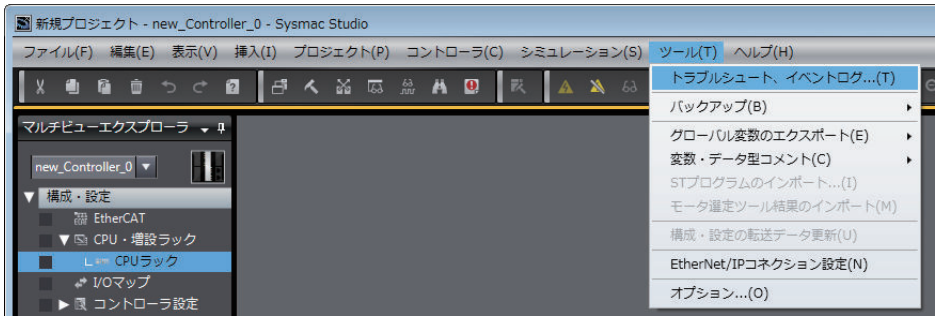
2-3-1 Sysmac Studio を使った異常の確認と解除

Sysmac Studio にはトラブルシュート機能が搭載されています。
トラブルシュート機能では、コントローラで発生した異常の内容を確認し、解除することができます。

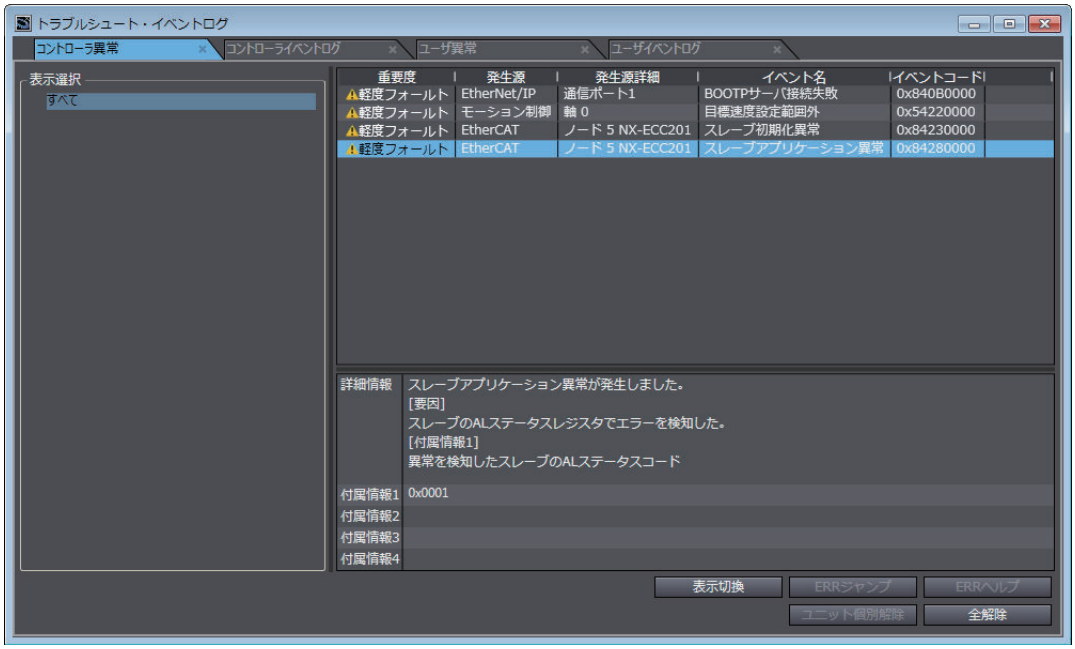
Sysmac Studio による異常の表示

Sysmac Studio はコントローラへのオンライン接続中に異常が発生すると、ユーザへコントローラステータスウィンドウにて異常の有無を通知します。トラブルシュートダイアログを開くことで、発生中の異常の詳細情報とトラブルシューティング方法が参照できます。

ツールバーの［トラブルシュート］ボタンを押下、又は、［ツール］メニュー内の［トラブルシュート・イベントログ］を選択します。



自動的にコントローラの異常情報が収集され、［トラブルシュート・イベントログ］ダイアログが開きます。

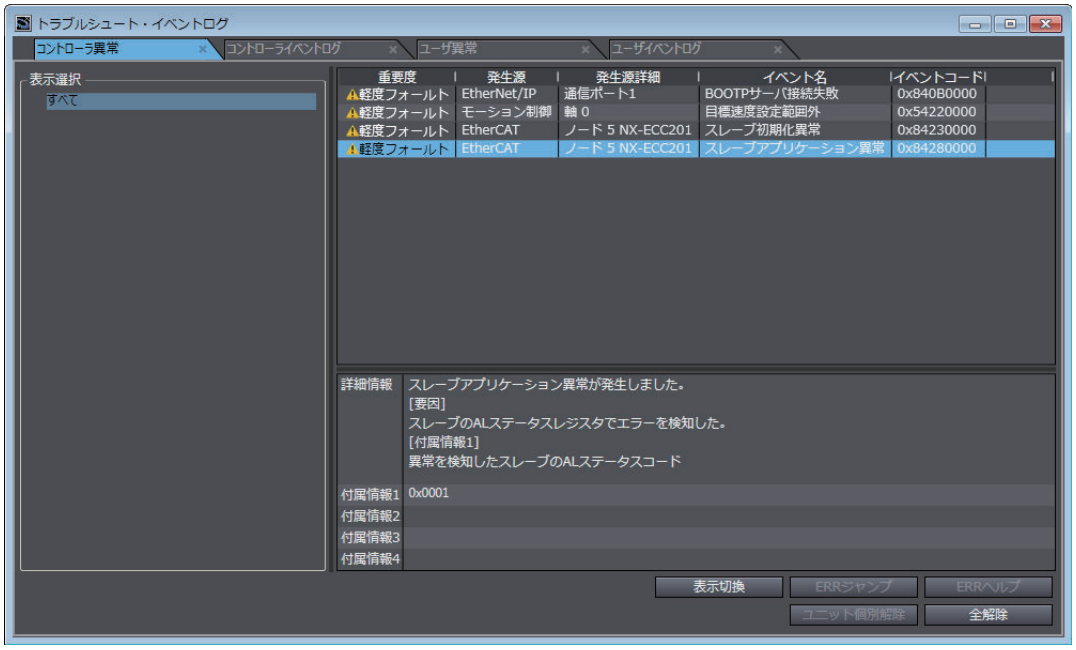


Sysmac Studio による、発生中異常とイベントログの確認

● Sysmac Studio による発生中異常の確認

コントローラで発生している異常の内容は［トラブルシュート・イベントログ］ダイアログの［コントローラ異常］タブで確認できます。

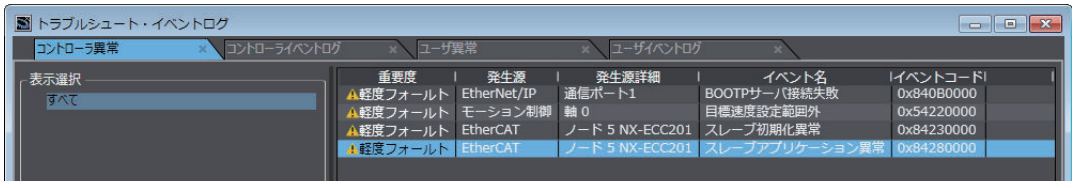
［コントローラ異常］タブでは、発生している異常項目が重要度順にリストとして表示されます。



表示項目	内容
重要度	異常の重要度レベル
発生源・発生源詳細	異常発生の物理的な箇所および機能的箇所
イベント名	異常の名称
イベントコード	異常のコード

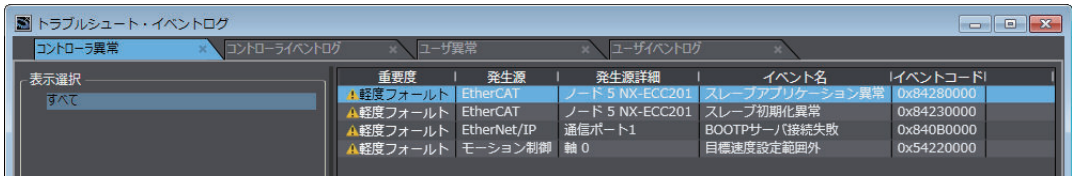
異常項目リスト［重要度］［発生源］の部分をクリックすることでそれぞれ項目別で並べ替えができます。
たとえば、［発生源］を押下すると以下のようになります。

［発生源］押下前



↓

［発生源］押下後



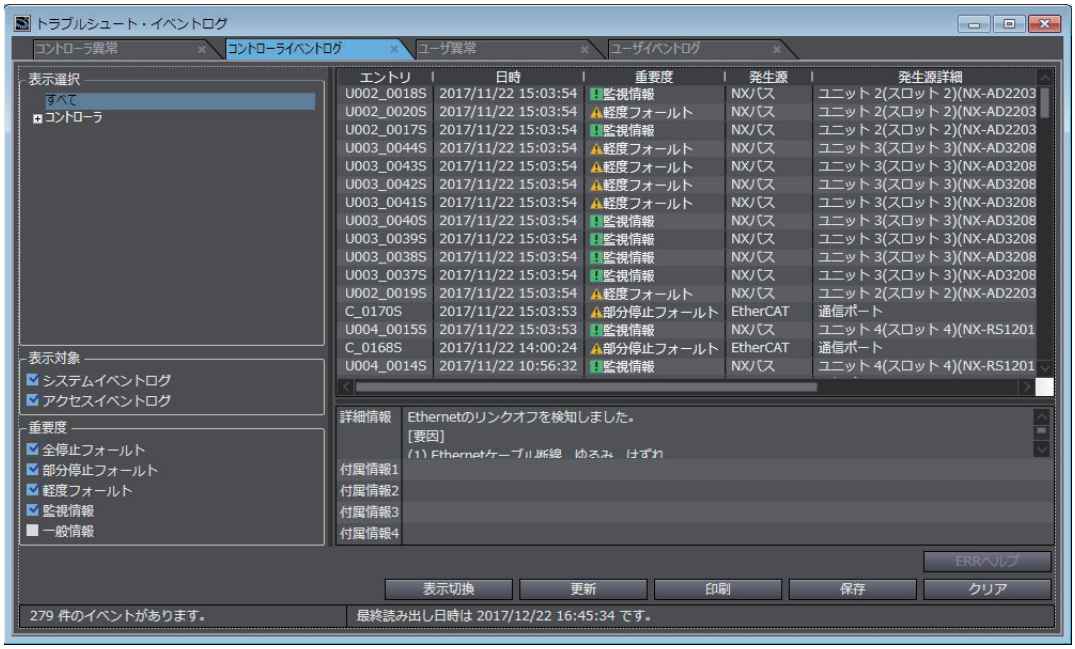
参考

Sysmac Studio には、発生源が EtherCAT マスタ機能モジュールの発生中異常を、ネットワーク構成情報上に表示する機能があります。異常発生したスレーブと異常要因を特定するために使用します。機能の説明は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の、異常が発生したスレーブの特定と異常要因の特定に関する記載を参照してください。

● Sysmac Studio によるイベントログの表示

Sysmac Studio によって、発生したコントローライベントの履歴を［コントローライベントログ］タブで確認できます。

「表示設定」で、表示対象のイベントログ、重要度を選択します。
ユーザが選択したイベントの詳細が詳細情報画面に表示されます。



CJ シリーズ高機能ユニット内の異常履歴も［コントローライベントログ］タブに表示されます。この場合は詳細な情報は表示されません。詳細を確認するには、表示されているイベントコードをもとに、各ユニットのマニュアルに記載されているエラーコードの説明を参照してください。エラーコードとイベントコードの関係は「1-3-1 CPU ユニットが動作できる異常の種類 (P.1-11)」の「コントローライベントの詳細 (P.1-14)」に記載されています。

参考

- Sysmac Studio には、発生源が EtherCAT マスタ機能モジュールのイベントログを、ネットワーク構成情報上に表示する機能があります。異常発生したスレーブと異常要因を特定するために使用します。機能の説明は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の、異常が発生したスレーブの特定と異常要因の特定に関する記載を参照してください。
- イベントログをファイルに保存してオフラインでイベントログビューアに表示することもできます。イベントログビューアの詳細については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください。

Sysmac Studio による異常の解除

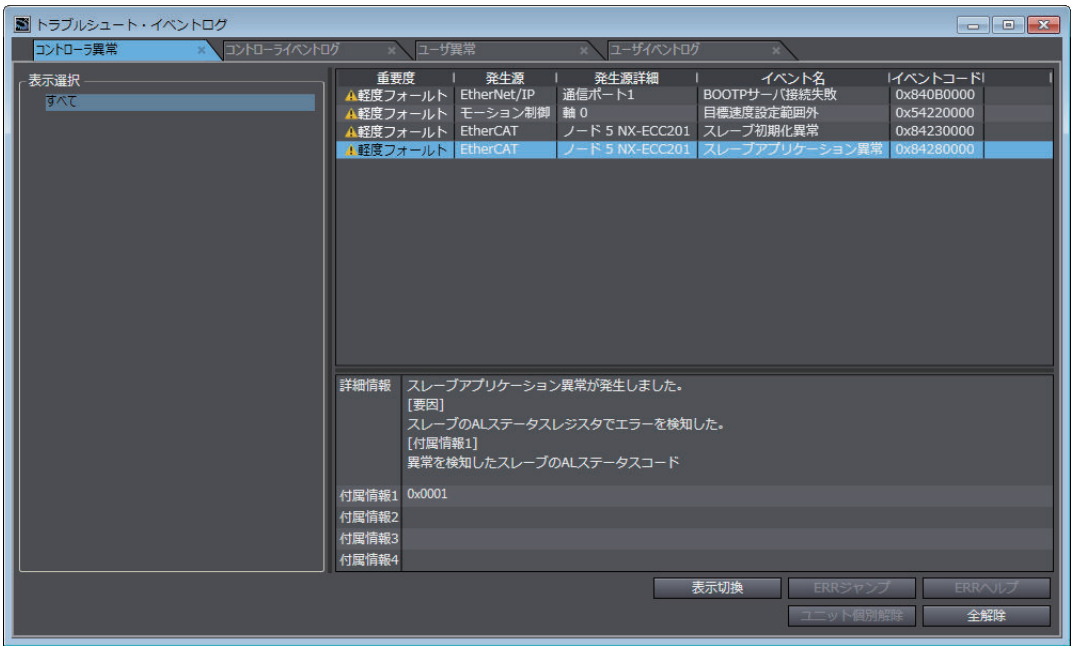
Sysmac Studio によりコントローラで発生している異常を解除することができます。
CPU ユニット Ver.1.05 以降と、Sysmac Studio Ver.1.06 以降との組み合わせでは、「ユニット個別解除」も使用可能です。

異常を解除するには、発生しているコントローラ異常の要因を特定し、あらかじめその要因を取り除くことが必要です。

発生している異常の要因と処置・対策の方法は、トラブルシュートダイアログに表示されます。異常項目のリストから任意の項目を選択することで、その異常に関して以下の情報が表示されます。
［表示切換］ボタンを押下することで、「詳細情報、付属情報」表示と「処置・対策」表示を切り換えます。

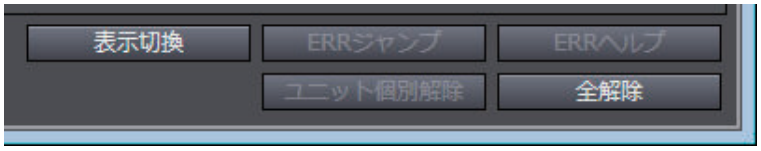
表示項目	内容
詳細情報	発生要因（推定原因）など異常の詳細情報
付属情報 1～4	発生源に関するより詳しい情報
処置・対策	発生要因（推定原因）に対応した異常復旧の方法

表示された異常の発生要因や異常の発生状況を確認のうえ、表示された該当の処置・対策を実施し、異常の要因を取り除いてください。



異常要因を取り除くには、実施する「処置・対策」の項目を選択します。
「処置・対策」の該当項目を選択すると、その内容によって［ERR ジャンプ］ボタンまたは［ERR ヘルプ］ボタンが有効になります。（「処置・対策」の内容によっては、いずれのボタンも有効にならない場合があります。）
有効となったボタンを押下して、表示されるガイドに従い処置作業を進めてください。

発生している異常項目すべてに対して処置作業が完了したら、［ユニット個別解除］ボタン、または［全解除］ボタンを押下することで発生している異常が解除されます。
ただし、異常の要因が取り除かれていない異常や、処置後に電源再投入／コントローラリセットが必要な異常では、再度異常が発生します。



ボタンの種類	内容
ERR ジャンプ	処置・対策が、Sysmac Studio 上の各種設定の変更である場合、有効となります。ボタンを押すと編集画面に自動的にジャンプします。
ERR ヘルプ	設定画面にジャンプできない場合の修正方法や「付属情報」の説明を表示します
ユニット個別解除	選択したユニットで現在発生中の異常を解除します
全解除	現在発生中のすべての異常を解除し、異常を再度読み込みます

［ERR ジャンプ］ボタンによる処置作業には、あらかじめ Sysmac Studio と、接続されている CPU ユニットの間のデータの同期が必要です。
同期の方法は、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください。

操作権限の認証を有効にしている場合は、コントローラ異常の解除には、あらかじめ操作権限の認証が必要です。
解除が可能な権限は「操作者」、「保全者」、「設計者」、「管理者」のいずれかです。「操作者」の場合は、都度認証が必要です。
操作権限に関する詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

Sysmac Studio からコントローラリセットを行った場合は、全機能モジュールのコントローラ異常が解除されます。
ただし、異常の要因が取り除かれていない場合は、再度異常が発生します。

2-3-2　表示器を使った異常の確認と解除

オムロン製表示器を NJ/NX シリーズ CPU ユニットに EtherNet/IP ネットワーク経由で接続することで、コントローラで発生した異常の内容を確認し、解除することができます。（トラブルシュータ）
表示器のトラブルシュータを使用する場合は、表示器を CPU ユニットの内蔵 EtherNet/IP ポートで接続してください。

使用上の注意

表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 (P.A-225)」を参照してください。

表示器による発生中異常の確認

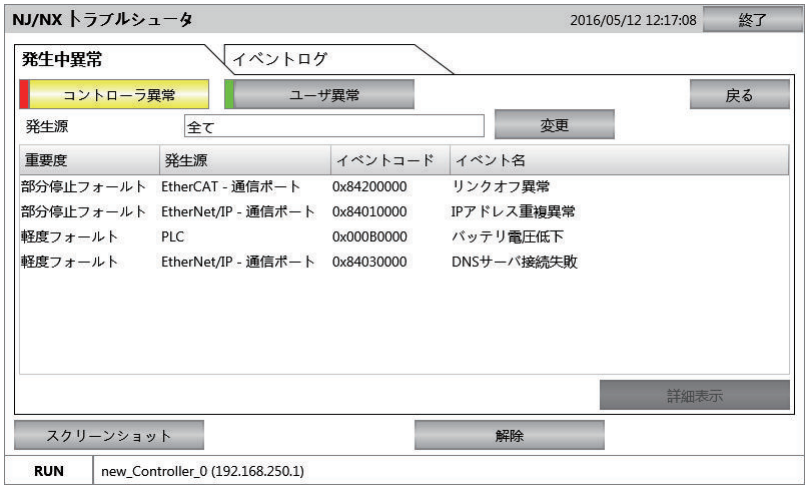
コントローラで発生した異常は、接続している表示器のトラブルシュータにより確認できます。トラブルシュータでは、発生中の異常の詳細情報と対処方法を参照できます。
表示器のトラブルシュータの詳細については、 各表示器のマニュアルを参照してください。

以下に NA シリーズプログラマブルターミナルでの画面を例に確認方法の概要を説明します。

NA シリーズの NJ/NX トラブルシュータのコントローラステータス一覧画面で、接続しているすべてのコントローラのコントローラ名称とステータスを確認できます。異常が発生しているコントローラのステータスには「Error」が表示されます。



異常発生中のコントローラを選択して［コントローラ異常表示］ボタンを押下すると、コントローラ異常一覧画面に切り替わります。コントローラ異常一覧表示画面では、選択したコントローラに発生中のコントローラ異常を一覧で確認できます。

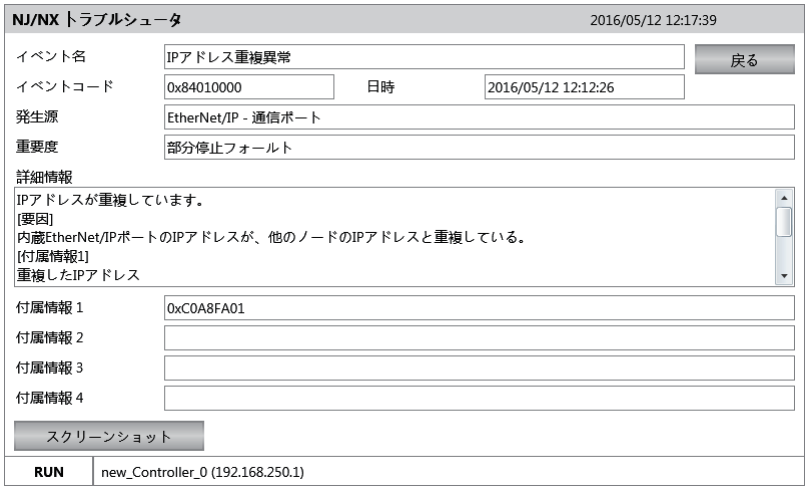


表示器による異常の解除

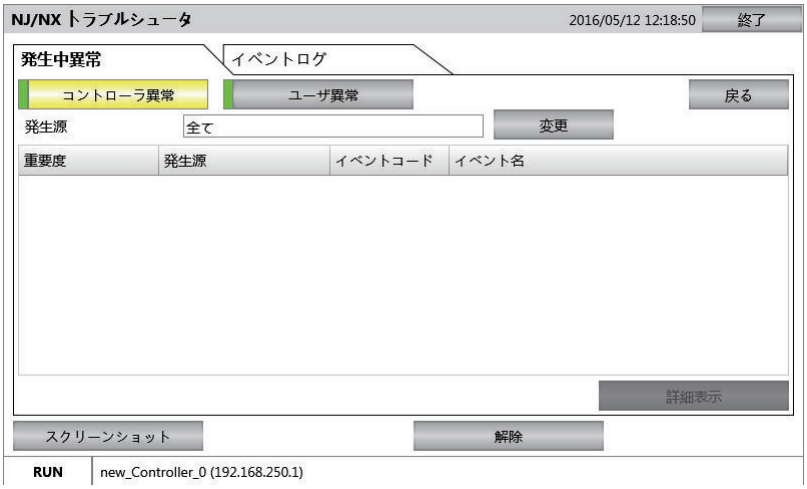
表示器のトラブルシュータを使用することで、コントローラで発生している異常を解除することができます。
異常を解除するには、発生しているコントローラ異常の要因を特定し、あらかじめ異常の要因を取り除くことが必要です。

以下に NA シリーズプログラマブルターミナルでの画面を例に確認方法の概要を説明します。

異常の要因や対処方法を知るには、コントローラ異常一覧画面で異常項目を選択し、［詳細表示］ボタンを押下します。詳細画面に切り替わり、選択した異常の要因と対処方法が表示されます。
表示された異常の発生要因を確認のうえ、表示された対処方法に従い処置作業を進めてください。



発生している異常項目すべてに対して処置作業が完了したら、コントローラ異常一覧画面の［解除］ボタンを押下することで、発生している異常がすべて解除されます。



コントローラステータス一覧画面に戻り、コントローラのステータスを確認します。異常がすべて解除されたコントローラのステータスには「Normal」が表示されます。



ただし、異常の要因が取り除かれていない異常や、処置後に電源再投入／コントローラリセットが必要な異常では再度発生します。

表示器のトラブルシュータの詳細については、各表示器のマニュアルを参照してください。

2-3-3　ユーザプログラムによる異常の確認と解除

コントローラでは、異常の発生状況をユーザプログラム上で確認することができます。これによって、異常の発生状況に応じた動作をユーザプログラム上で組み込むことができます。そのためには専用命令を使用します。
専用命令にはコントローラ異常の取得命令と解除命令があります。

コントローラ異常の取得命令

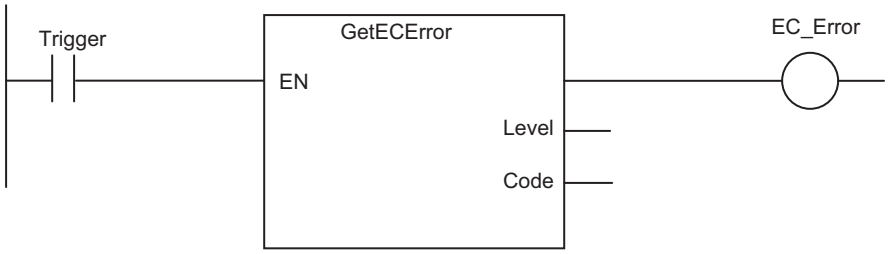
異常ステータスの取得は機能モジュールごとに用意された異常ステータス取得命令にて行います。
機能モジュールごとの異常ステータス取得命令は以下のとおりです。

命令名称	命令	機能
PLC 異常ステータス取得	GetPLCError	PLC 機能モジュールで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します
I/O バス異常ステータス取得	GetCJBError	NJ シリーズ CPU ユニットの I/O バスで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します
NX バス異常ステータス取得	GetNXBError	NX シリーズ CPU ユニットの NX バス機能モジュールで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスを取得します
NX ユニット異常ステータス取得	GetNXUnitError	NX シリーズ CPU ユニットの NX バス機能モジュールにおいて、指定した NX バスのマスタまたは NX ユニットで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します
X バス異常ステータス取得	GetXBError	X バスユニットのコントローラ異常の、最重要のステータスを取得します
X バスユニット異常ステータス取得	GetXBUnitError	X バス上のユニットで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと最重要のイベントコードを取得します
モーション制御異常ステータス取得	GetMCError	モーション制御機能モジュールで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します
EtherNet/IP 異常ステータス取得	GetEIPError	EtherNet/IP 機能モジュールで発生中のコントローラ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します
EtherCAT 異常ステータス取得	GetECError	EtherCAT マスタ機能モジュールが検出した通信ポート異常およびマスタ異常の、最重要のステータスと、最重要のイベントコードを取得します

各命令の詳細な仕様や使い方は『NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編 (SBCA-468)』を参照してください。

EtherCAT マスタでの異常検知の例：

名称	データ型	初期値	コメント
Trigger	BOOL	FALSE	取得条件
EC_Error	BOOL	FALSE	EtherCAT マスタ異常有無



コントローラ異常の解除命令

ユーザプログラム上で異常解除命令を使用することで、コントローラで発生している異常を解除することができます。
異常を解除するには、発生しているコントローラ異常の要因を特定し、あらかじめ異常の要因を取り除くことが必要です。
異常解除は機能モジュールごとに用意された以下の異常解除命令にて行います。

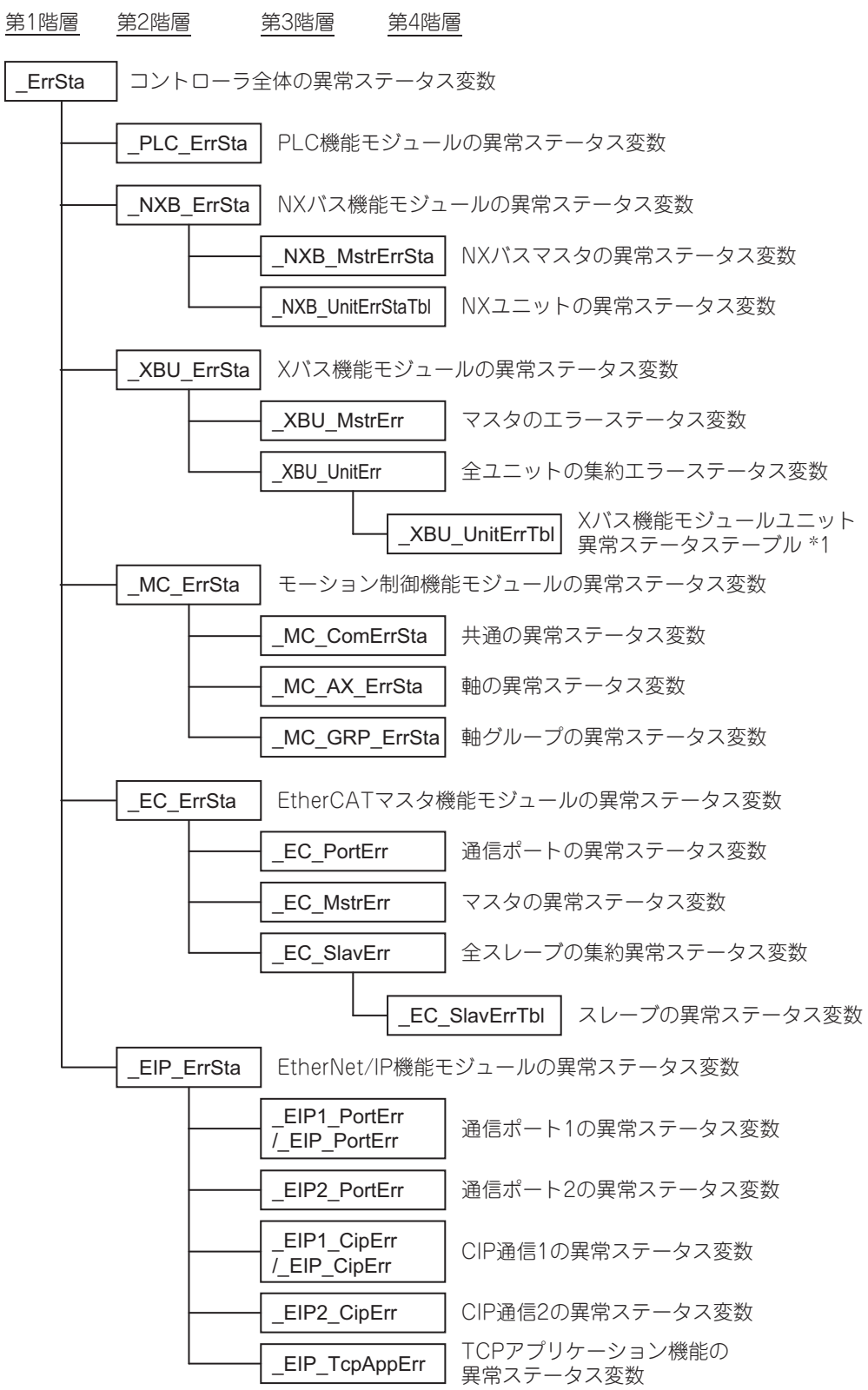
命令名称	命令	機能
PLC 異常解除	ResetPLCError	PLC 機能モジュールで発生中のコントローラ異常を解除します
I/O バス異常解除	ResetCJBError	NJ シリーズ CPU ユニットの I/O バスで発生中のコントローラ異常を解除します
NX バス異常解除	ResetNXBError	NX バス機能モジュールで発生中のコントローラ異常を解除します
X バスユニット異常解除	ResetXBUnitError	X バス上のユニットで発生中のコントローラ異常を解除します
モーション制御異常解除	ResetMCError	モーション制御機能モジュールで発生中のコントローラ異常を解除します
EtherCAT 異常解除	ResetECError	EtherCAT マスタ機能モジュールで発生中のコントローラ異常を解除します

各命令の詳細な仕様や使い方は『NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編 (SBCA-468)』を参照してください。

2-3-4　システム定義変数による異常の確認

システム定義変数には異常の状態を表す異常ステータス変数があり、階層構造になっています。各階層の異常ステータスは、その下位の階層の異常ステータスの情報を OR 論理により集約しています。
異常ステータス変数は、通信を介して外部から状態を参照することができます。
システム定義変数に関する詳細は『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

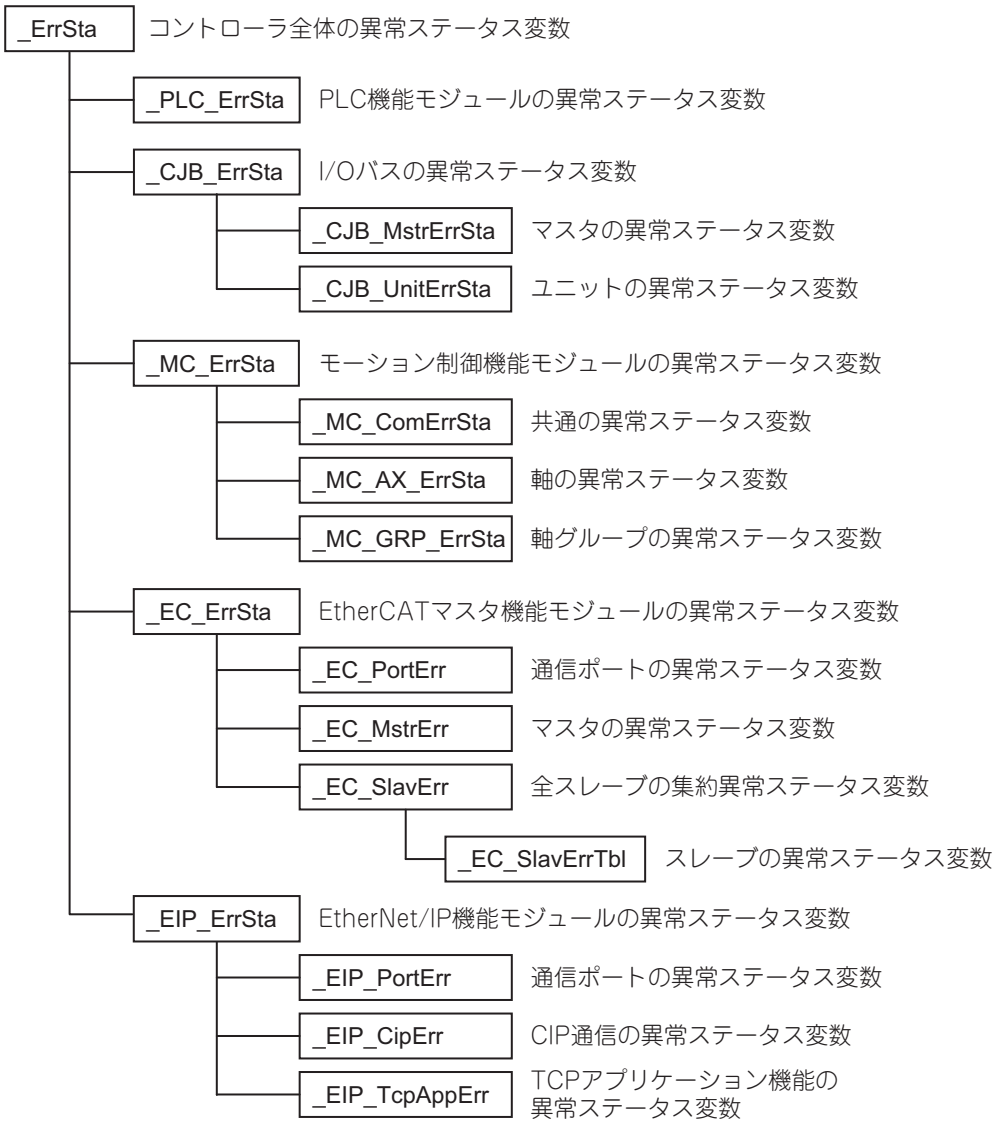
● NX シリーズ CPU ユニットの場合



*1. 本変数の下にはデバイス変数があります。デバイス変数の詳細については、各 X バスユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

● NJ シリーズ CPU ユニットの場合

第1階層　第2階層　第3階層　第4階層



2-4 サポートソフトがオンライン接続できない場合の対処方法

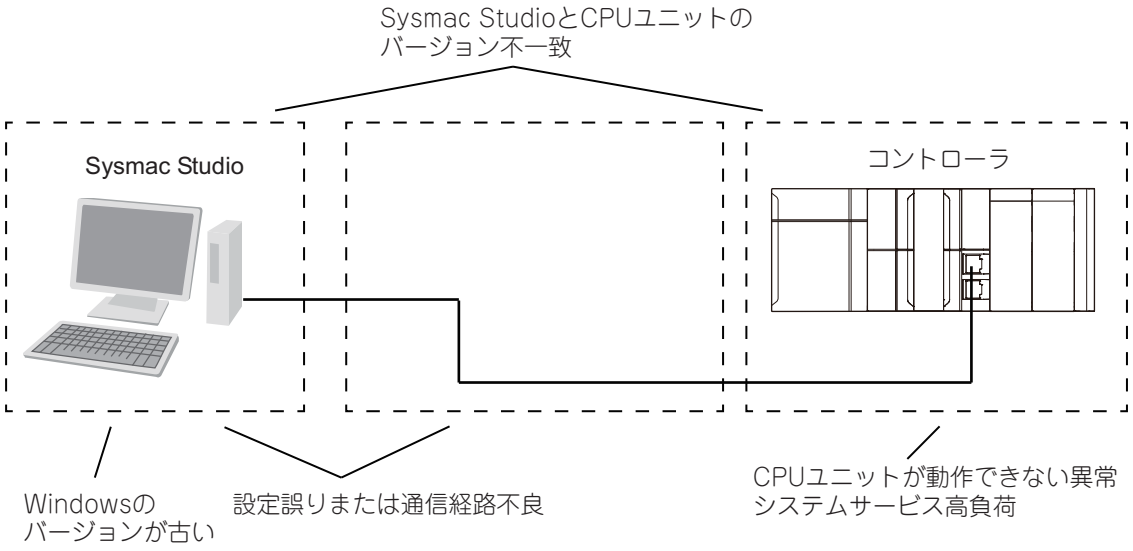
ここではサポートソフトがオンライン接続できない場合の対処方法を説明します。

2-4-1 Sysmac Studio がオンライン接続できない場合の対処方法

Sysmac Studio が CPU ユニットとオンライン接続できない場合の対処方法を説明します。

Sysmac Studio がオンライン接続できない要因と対処方法

Sysmac Studio が CPU ユニットとオンライン接続できない場合に考えられる要因として以下があります。



要因	説明	対処方法
設定誤りまたは通信経路不良	Sysmac Studio を CPU ユニットとオンライン接続するための設定に誤りがある。または、通信経路が不良である	「設定誤りまたは通信経路不良の場合の対処方法 (P.2-26)」を参照してください。

要因	説明	対処方法
Sysmac Studio と CPU ユニットのセキュア通信対応の不一致	セキュア通信に対応している CPU ユニットには、セキュア通信に対応した Sysmac Studio を使用する必要がある	セキュア通信に対応している Sysmac Studio を使用するか、または、CPU ユニットのディップスイッチを「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」に設定してください。 ただし、CPU ユニットがセキュア通信バージョン 2 に設定されている場合は、ディップスイッチを「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」に設定してもオンライン接続できません。 • セキュア通信バージョン 2 に対応している Sysmac Studio を使用してオンライン接続してください。 • セキュア通信バージョン 2 に設定されている CPU ユニットをセキュア通信バージョン 1 で使用できるようにするには、セキュア通信バージョン 2 に対応している Sysmac Studio を使用して管理者権限のあるユーザでオンライン接続し、セキュア通信バージョン 1 に設定を変更してください。 セキュア通信に対応している CPU ユニットとユニットバージョン、および Sysmac Studio のバージョンの組み合わせについては、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編 (SBCA-467)』を参照してください。
Windows のバージョンが古い	Windows 10 バージョン 1709 以前の場合、Sysmac Studio はセキュア通信に対応している CPU ユニットに接続できない	セキュア通信に対応している CPU ユニットにオンライン接続するには、Sysmac Studio には Windows 10 バージョン 1803 以降の PC を使用してください。または、以下の両方を実施してください。 • CPU ユニットのディップスイッチを「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」に設定して CPU ユニットを再起動してください。ディップスイッチの設定については、CPU ユニットのユーザーズマニュアル ハードウェア編のディップスイッチの説明を参照してください。 • セキュア通信に対応していない CPU ユニットで作成したバックアップファイルを、セキュア通信に対応している CPU ユニットに SD メモリカードでリストアしてください。
CPU ユニットが動作できない異常	CPU ユニットの動作が停止する異常が発生している	「2-1-1 CPU ユニットが動作しているかの確認 (P.2-2)」を参照してください。
システムサービス高負荷*1	CPU ユニットのシステムサービスが高負荷な状態にあり、Sysmac Studio と接続するための時間が確保できない	「セーフモードでの立ち上げ」機能を使用してください。詳細は、「システムサービス高負荷の場合の対処方法 (P.2-34)」を参照してください。

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合だけです。

（注）CPU ユニットの EherNet/IP NET ERRLED が点灯または点滅している場合は、EtherNet/IP 機能モジュールの異常により EtherNet/IP 経由でオンライン接続できない場合があります。ペリフェラル(USB) ポートを持つ CPU ユニットの場合は、「USB-直接接続」で接続できるか確認してください。ペリフェラル(USB) ポートを持たない CPU ユニットの場合は、「Ethernet-直接接続」で接続できるか確認してください。

使用上の注意

- NX シリーズ CPU ユニットで EtherNet/IP ポートに Sysmac Studio を直接接続する場合は、通信ポート 1 に接続してください。通信ポート 2 では Sysmac Studio を直接接続できません。
- 形 NX102 CPU ユニットで Packet Filter（簡易）機能を有効に設定した場合、以下の制限があります。
  a）接続許可登録されていない IP アドレスを持つパソコンでの Sysmac Studio の接続はできません。事前に接続を許可するパソコンの IP アドレスが正しく登録されていることを確認してください。
  b）Sysmac Studio を CPU ユニットに［Ethernet-直接接続］で接続することはできません。［コントローラ］-［通信設定］で接続方法が「Ethernet-HUB 接続」になっているか確認してください。
- CIP メッセージサーバを［使用しない］に設定している場合、SysmacStudio を CPU ユニットに［USB-リモート接続］で接続することはできません。
- Packet Filter(簡易)設定、PacketFilter 設定を誤って設定すると、Sysmac Studio を CPU ユニットに接続できなくなります。NJ シリーズ CPU ユニットは USB 直接接続にて、形 NX701 CPU ユニット、形 NX102 CPU ユニットおよび形 NX1P2 CPU ユニットはセーフモードを使用して、Sysmac Studio を CPU ユニットに接続して設定を見直してください。

CPU ユニットの RUN LED の状態から発生要因を絞り込めます。該当する発生要因の対処方法を実施してください。

○：発生要因

RUN LED	要因		
	設定誤りまたは通信経路不良	CPU ユニットが動作できない異常	システムサービス高負荷*3
●（消灯）	○	○	－
⊙*1（点滅：2s 周期）	－	○*2	－
⊙*3（点滅：3s 周期）	－	○（電源接続不正）	－
○（点灯）	○	－	○

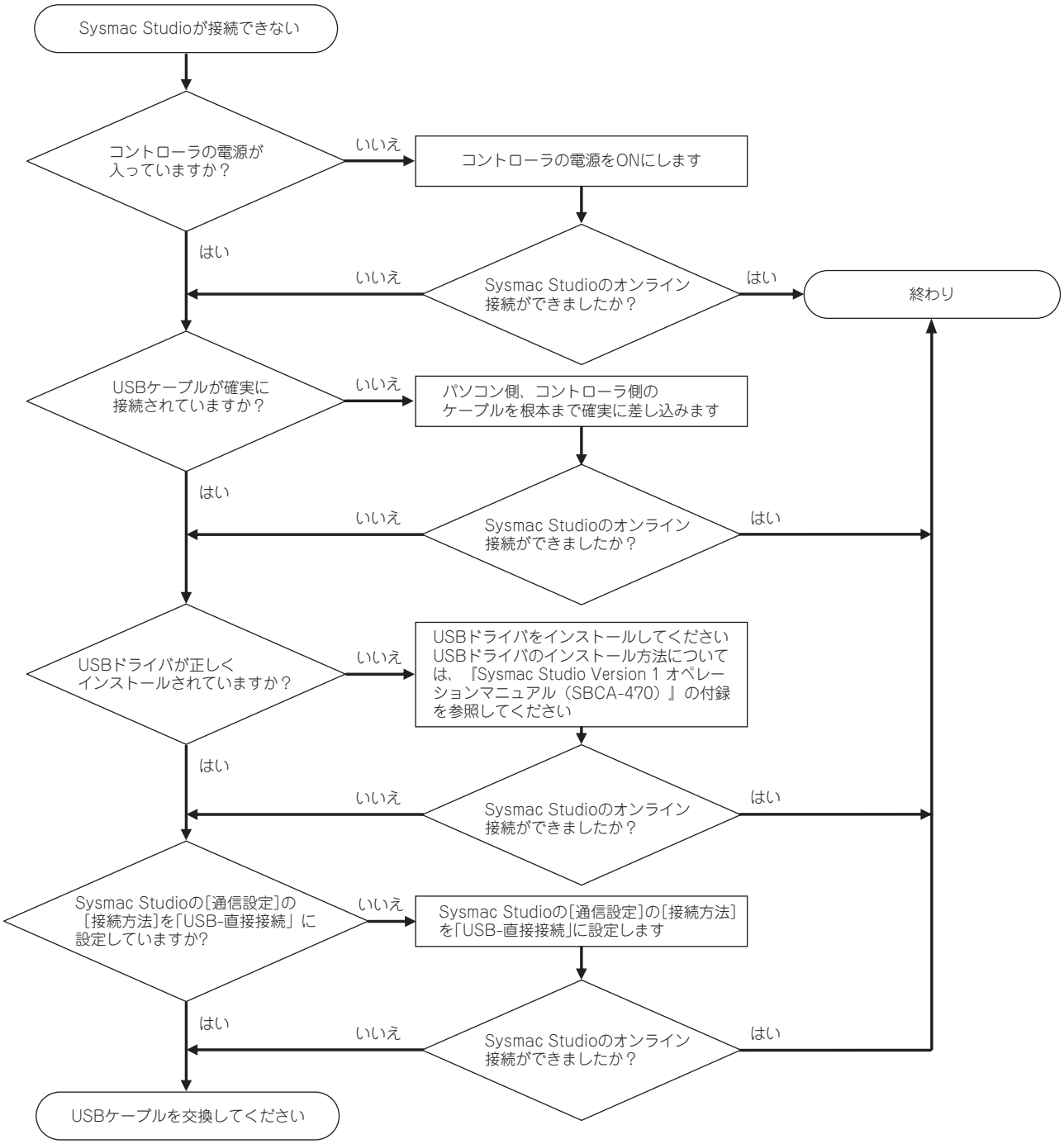
*1. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. 同時に ERROR LED が点灯しているか、RUN LED の 2s 周期の点滅が 30 秒以上継続している場合が「CPU ユニットが動作できない異常」です。
*3. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。

要因ごとの対処方法

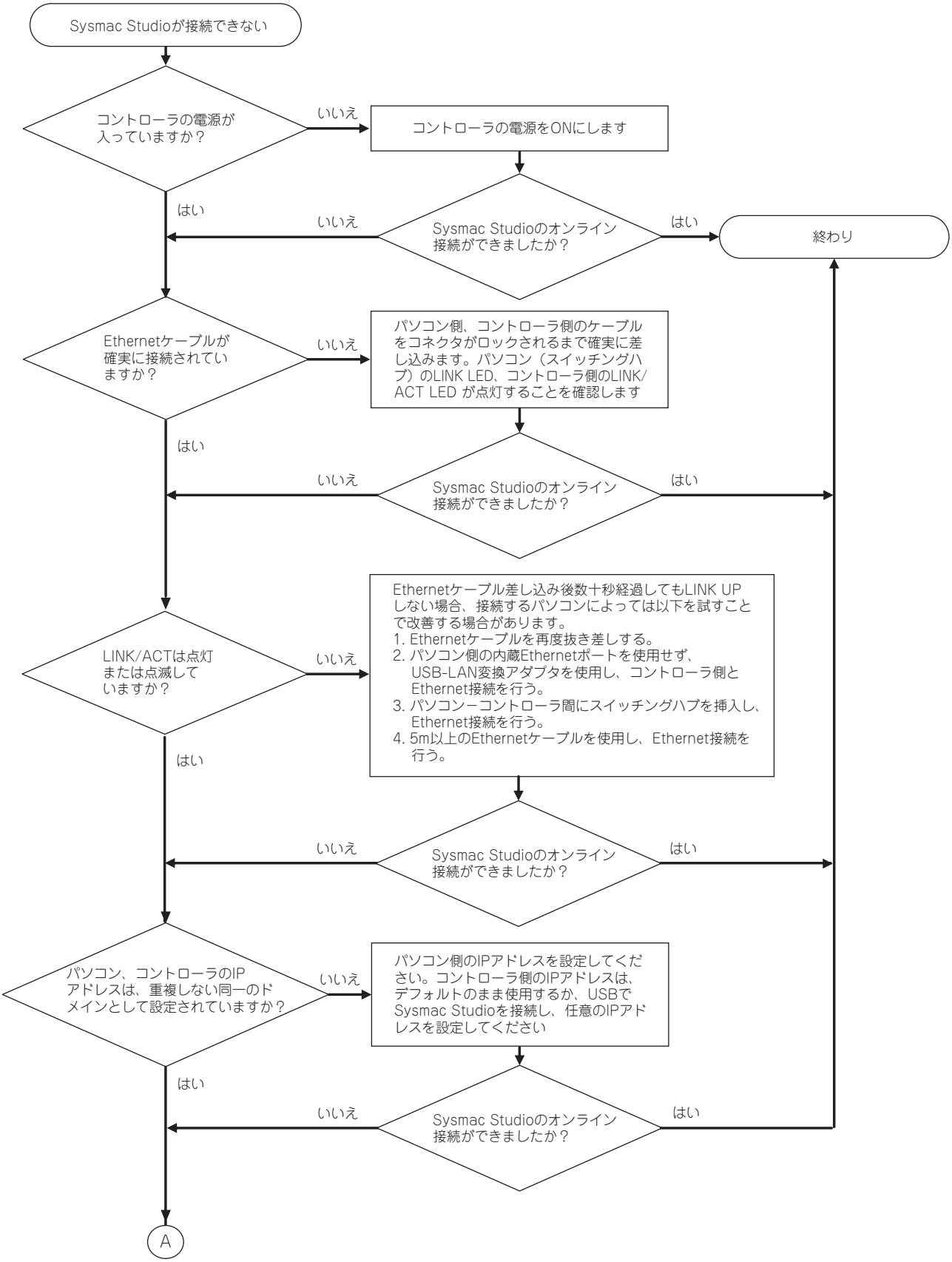
「設定誤り、通信経路不良」、および「システムサービス高負荷」の場合の対処方法を説明します。

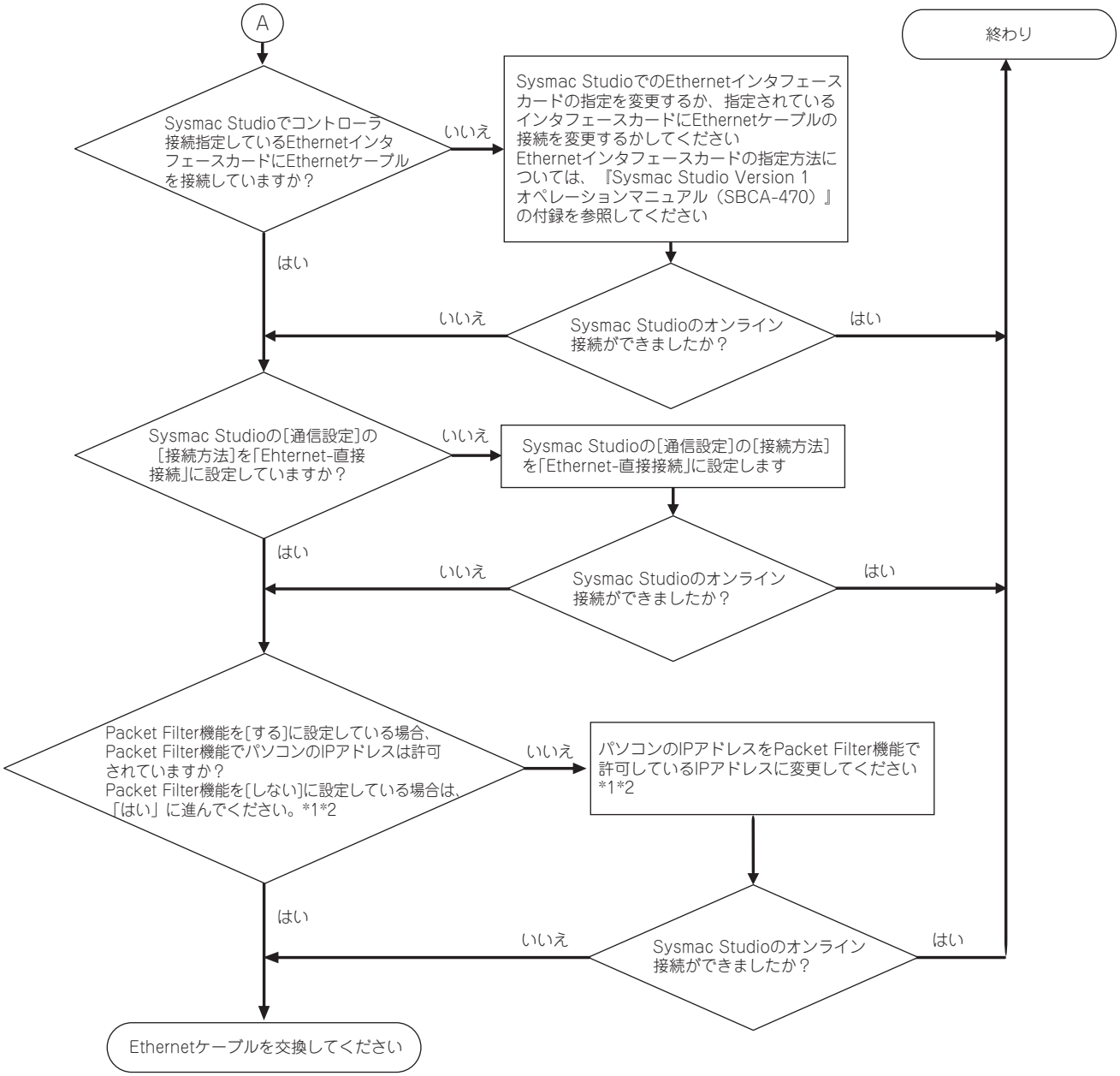
設定誤りまたは通信経路不良の場合の対処方法

● USB-直接接続



● Ethernet-直接接続

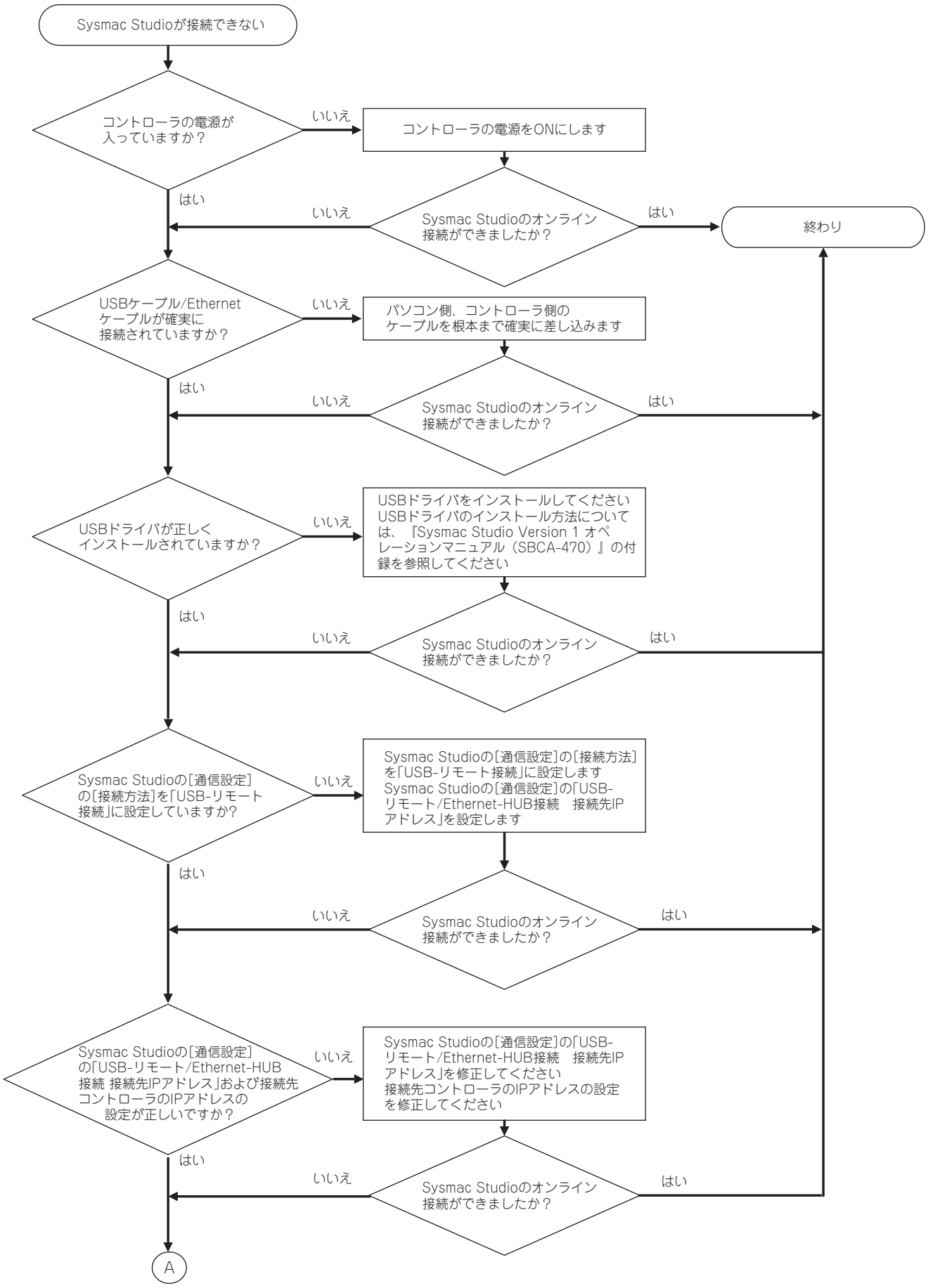


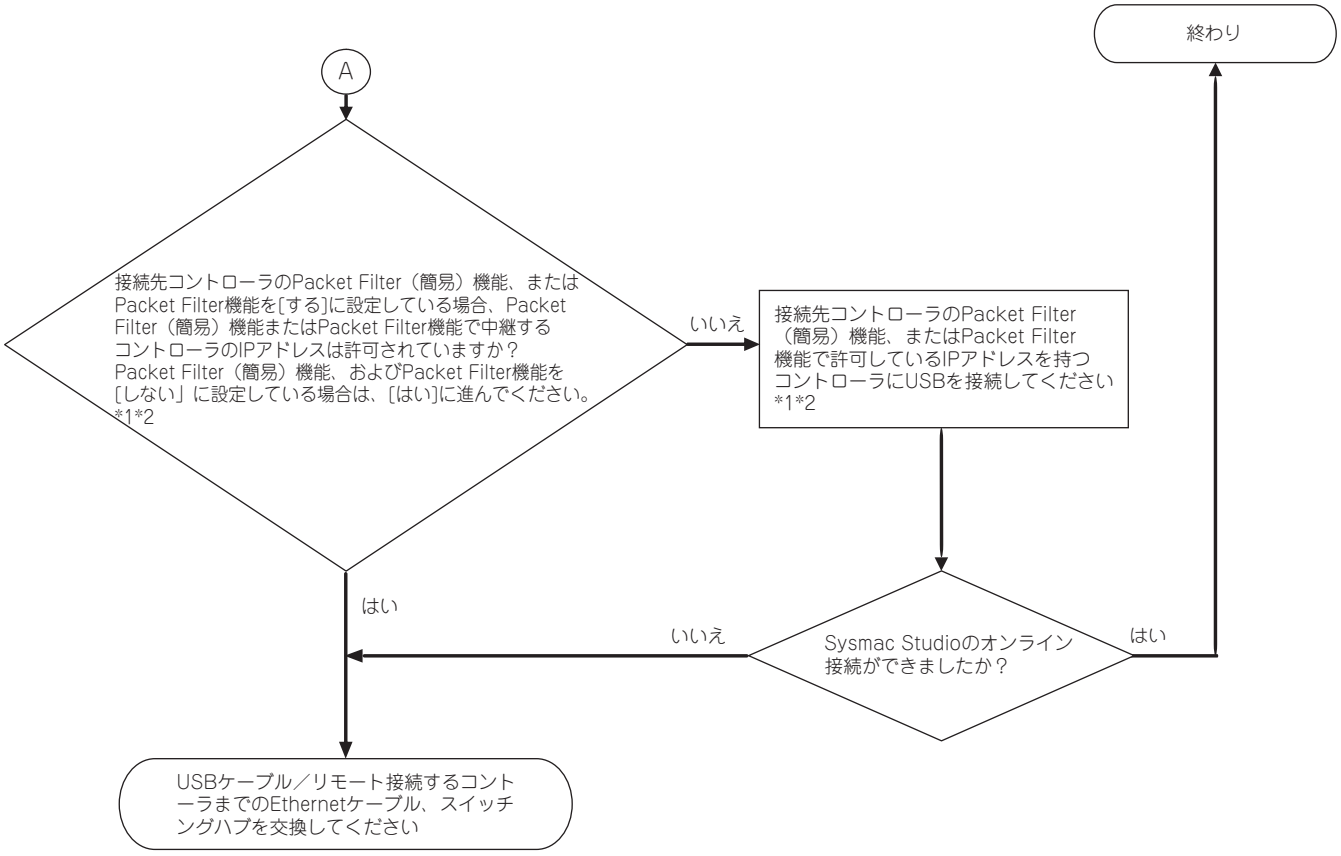


*1 Packet Filter機能設定の詳細は、『NJ/NXシリーズ CPUユニット 内蔵EtherNet/IPポート ユーザーズマニュアル（SBCD-377）』を参照してください。

*2 PacketFilter設定を誤って設定すると、Sysmac StudioをCPUユニットに接続できなくなります。NJシリーズCPUユニットおよび形NX701 CPUユニットはUSB直接接続にて、形NX502、形NX102および形NX1P2 CPUユニットはセーフモードを使用して、Sysmac StudioをCPUユニットに接続してください。セーフモードの詳細は、「Packet Filter機能またはPacket Filter（簡易）機能の設定誤りの場合の対処方法」を参照してください。

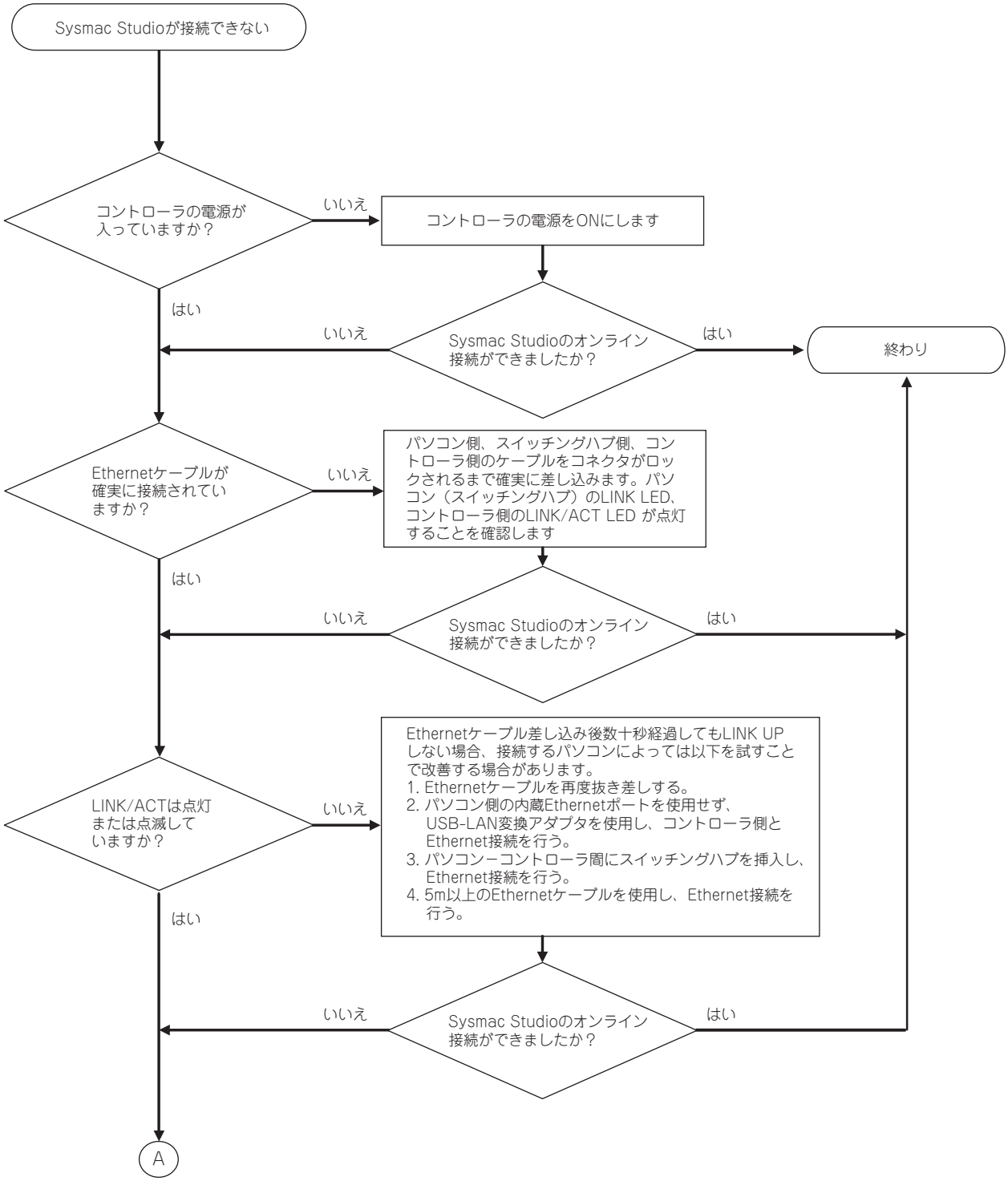
● USB-リモート接続

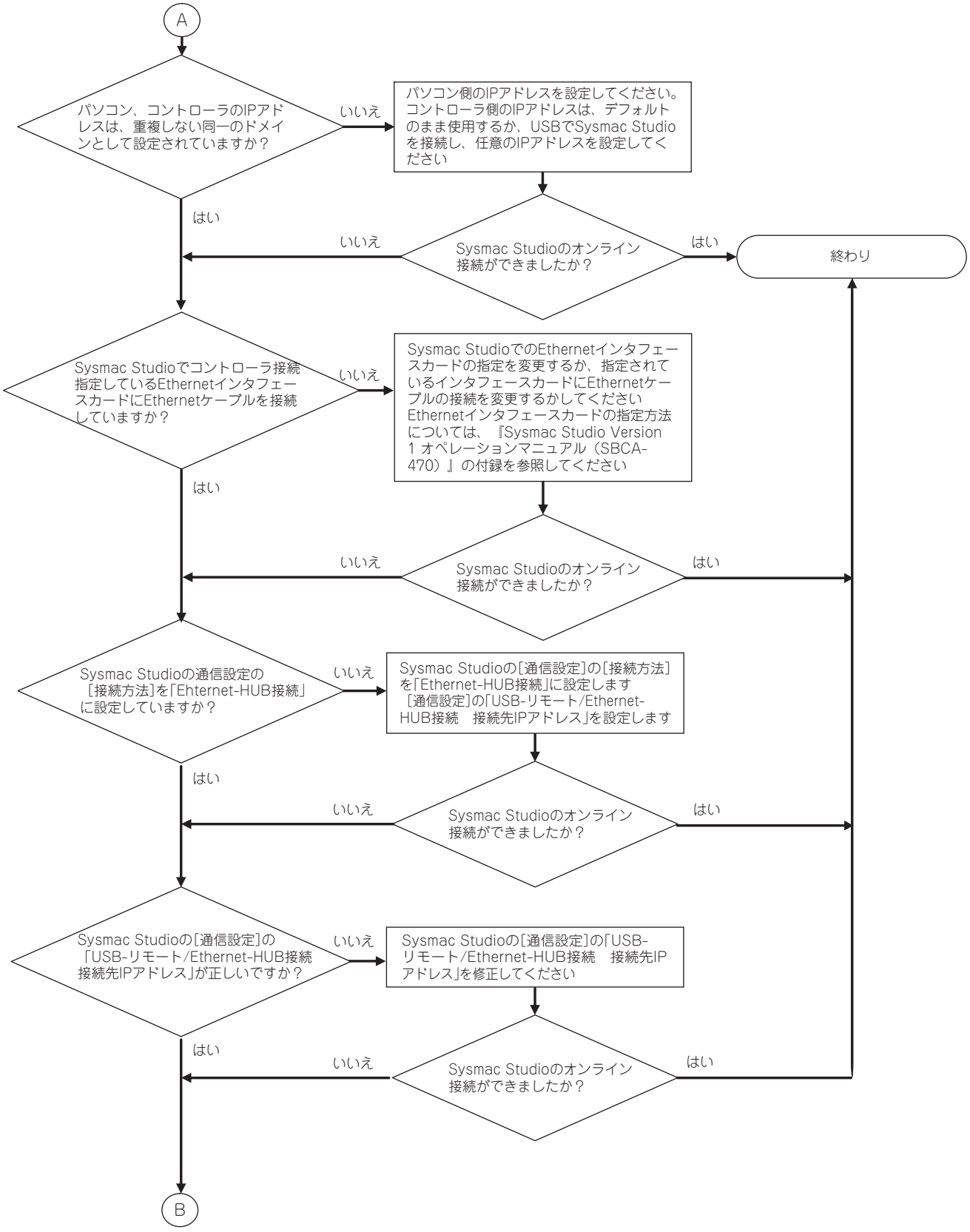

Sysmac Studioが接続できない
コントローラの電源が入っていますか？
いいえ
コントローラの電源をONにします
はい
いいえ
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
はい
終わり
USBケーブル/Ethernetケーブルが確実に接続されていますか？
いいえ
パソコン側、コントローラ側のケーブルを根本まで確実に差し込みます
はい
いいえ
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
はい
USBドライバが正しくインストールされていますか？
いいえ
USBドライバをインストールしてください
USBドライバのインストール方法については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル（SBCA-470）』の付録を参照してください
はい
いいえ
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
はい
Sysmac Studioの[通信設定]の[接続方法]を「USB-リモート接続」に設定していますか?
いいえ
Sysmac Studioの[通信設定]の[接続方法]を「USB-リモート接続」に設定します
Sysmac Studioの[通信設定]の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続　接続先IPアドレス」を設定します
はい
いいえ
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
はい
Sysmac Studioの[通信設定]の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続 接続先IPアドレス」および接続先コントローラのIPアドレスの設定が正しいですか？
いいえ
Sysmac Studioの[通信設定]の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続　接続先IPアドレス」を修正してください
接続先コントローラのIPアドレスの設定を修正してください
はい
いいえ
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
はい
A

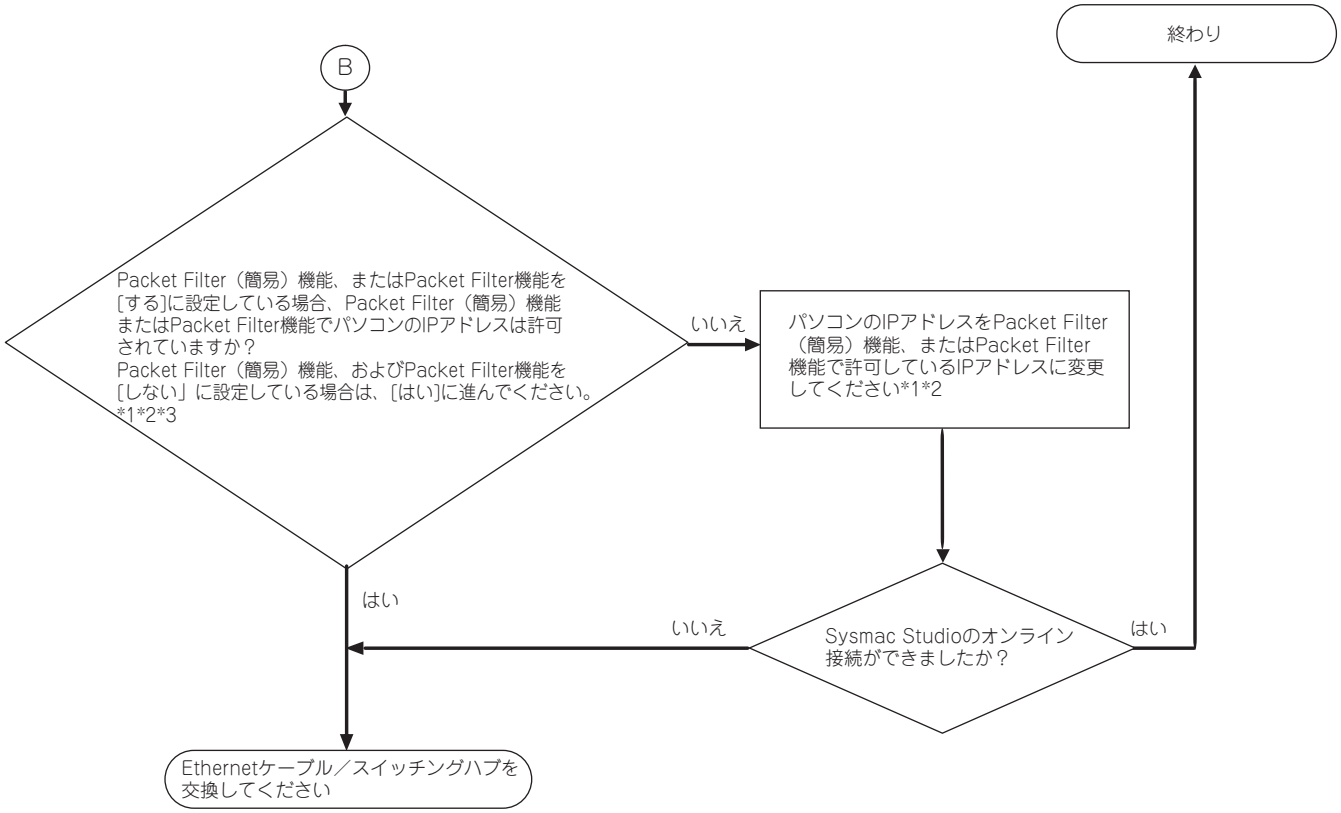


*1 Packet Filter（簡易）機能設定、およびPacket Filter機能設定の詳細は、『NJ/NXシリーズ CPUユニット 内蔵EtherNet/IPポート ユーザーズマニュアル（SBCD-377)』を参照してください。
*2 Packet Filter（簡易）機能設定、PacketFilter設定を誤って設定すると、Sysmac StudioをCPUユニットに接続できなくなります。NJシリーズCPUユニットおよび形NX701 CPUユニットはUSB直接接続にて、形NX502、形NX102および形NX1P2 CPUユニットはセーフモードを使用して、Sysmac StudioをCPUユニットに接続してください。セーフモードの詳細は、「Packet Filter機能またはPacket Filter（簡易）機能の設定誤りの場合の対処方法」を参照してください。

● Ethernet-HUB 接続




A
パソコン、コントローラのIPアドレスは、重複しない同一のドメインとして設定されていますか？
いいえ
パソコン側のIPアドレスを設定してください。コントローラ側のIPアドレスは、デフォルトのまま使用するか、USBでSysmac Studioを接続し、任意のIPアドレスを設定してください
はい
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
いいえ
はい
終わり
Sysmac Studioでコントローラ接続指定しているEthernetインタフェースカードにEthernetケーブルを接続していますか？
いいえ
Sysmac StudioでのEthernetインタフェースカードの指定を変更するか、指定されているインタフェースカードにEthernetケーブルの接続を変更するかしてください Ethernetインタフェースカードの指定方法については、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル（SBCA-470）』の付録を参照してください
はい
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
いいえ
はい
Sysmac Studioの通信設定の［接続方法］を「Ehternet-HUB接続」に設定していますか？
いいえ
Sysmac Studioの［通信設定］の［接続方法］を「Ethernet-HUB接続」に設定します ［通信設定］の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続　接続先IPアドレス」を設定します
はい
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
いいえ
はい
Sysmac Studioの［通信設定］の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続 接続先IPアドレス」が正しいですか？
いいえ
Sysmac Studioの［通信設定］の「USB-リモート/Ethernet-HUB接続　接続先IPアドレス」を修正してください
はい
Sysmac Studioのオンライン接続ができましたか？
いいえ
はい
B

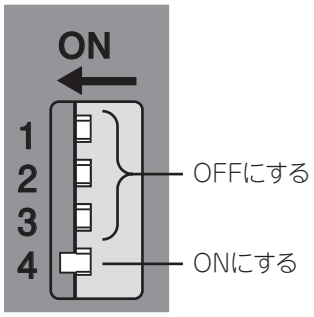


*1 Packet Filter（簡易）機能設定、およびPacket Filter機能設定の詳細は、『NJ/NXシリーズ CPUユニット 内蔵EtherNet/IPポート ユーザーズマニュアル（SBCD-377)』を参照してください。
*2 Packet Filter（簡易）機能設定、PacketFilter設定を誤って設定すると、Sysmac StudioをCPUユニットに接続できなくなります。NJシリーズCPUユニットおよび形NX701 CPUユニットはUSB直接接続にて、形NX502、形NX102および形NX1P2 CPUユニットはセーフモードを使用して、Sysmac StudioをCPUユニットに接続してください。セーフモードの詳細は、「Packet Filter機能またはPacket Filter（簡易）機能の設定誤りの場合の対処方法」を参照してください。
*3 Packet Filter機能を[する]に設定したXバスユニットにSysmac Studioを接続している場合は、Sysmac StudioをCPUユニットの内蔵EtherNet/IPポートから接続して、XバスユニットのPacket Filterの設定を修正してください。

システムサービス高負荷の場合の対処方法

NJ シリーズ CPU ユニットでは、タスク実行での処理が多い場合に、システムサービスが高負荷となり Sysmac Studio が CPU ユニットに接続できなくなることがあります。
「セーフモードでの立ち上げ」機能を使用することで Sysmac Studio を CPU ユニットに接続できるようになります。以下を実施してください。

1 **CPU ユニットのディップスイッチを下図のようにセットし、コントローラの電源を再投入してください。**
CPU ユニットがセーフモードで立ち上がります。



2 **Sysmac Studio を CPU ユニットにオンライン接続し、実施したい作業を行ってください。**
CPU ユニットの運転中に Sysmac Studio を接続できるようにするには、十分なシステムサービス時間を確保してください。そのためには、プライマリ定周期タスクの周期を長く設定するか、プライマリ定周期タスクのユーザプログラム実行量を削減します。
プライマリ定周期タスクの設定については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』を参照してください。

3 **ディップスイッチをすべて OFF に戻してコントローラの電源を再投入し、CPU ユニットを通常の状態で立ち上げてください。**

● セーフモード時の動作

セーフモードでコントローラを起動した場合は、「運転モード」に設定している場合でも、電源投入時に「プログラムモード」で動作します。これにより CPU ユニットのシステムサービス処理の割合が増え、Sysmac Studio が CPU ユニットにオンライン接続しやすくなります。また、ユーザプログラムを実行させたくないときにも使用できます。
CPU ユニットは監視情報のコントローライベントを発生し、イベントログに「セーフモード」を記録します。

参考

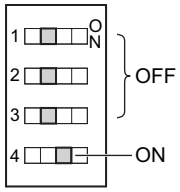
セーフモード時の動作は、CPU ユニットのユニットバージョンにより異なります。

項目	CPU ユニットのユニットバージョン	
	Ver.1.02 以前	Ver.1.03 以降
動作モード	「電源投入時モード」の設定に従って動作	「電源投入時モード」の設定に関係なく「プログラムモード」で動作
動作モードの変更	不可	可
コントローライベントの重要度	全停止フォールト	監視情報

Packet Filter 機能または Packet Filter（簡易）機能の設定誤りの場合の対処方法

Packet Filter 機能、または Packet Filter（簡易）機能の設定を誤ると、Sysmac Studio を CPU ユニットに接続できなくなります。形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットはセーフモードを使用して、Sysmac Studio を CPU ユニットに接続して、Packet Filter 設定または、Packet Filter(簡易)設定を見直してください。

1 **CPU ユニットのディップスイッチを下図のようにセットし、コントローラの電源を再投入してください。**
CPU ユニットがセーフモードで立ち上がります。



2 **Sysmac Studio を CPU ユニットにオンライン接続し、Packet Filter、または Packet Filter（簡易）の設定を見直してください。**
設定の詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の「Packet Filter」、または「Packet Filter（簡易）」を参照してください。

3 **ディップスイッチをすべて OFF に戻してコントローラの電源を再投入し、CPU ユニットを通常の状態で立ち上げてください。**

4 **Sysmac Studio が、CPU ユニットにオンライン接続できるか確認してください。**
Packet Filter（簡易）機能を使用している場合、［コントローラ］-［通信設定］にて、接続方法が「Ethernet-HUB 接続」となっているか確認してください。Packet Filter（簡易）機能が有効な場合、「Ethernet-直接接続」での接続はできません。

● セーフモード時の動作

セーフモードでコントローラを起動した場合は、Packet Filter 機能、Packet Filter（簡易）機能が無効で動作します。これにより、任意のパソコンから Sysmac Studio を CPU ユニットにオンライン接続できるようになります。
CPU ユニットは監視情報のコントローライベントを発生し、イベントログに「セーフモード」を記録します。

参考

セーフモード時の動作は、以下になります。

項目	動作
動作モード	「電源投入時モード」の設定に関係なく「プログラムモード」で動作
動作モードの変更	可
コントローライベントの重要度	監視情報

2-4-2 Network Configurator がオンライン接続できない場合の対処方法

Network Configurator が CPU ユニットとオンライン接続できない場合の対処方法は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』を参照してください。

2-4-3 CX-ConfiguratorFDT がオンライン接続できない場合の対処方法

CX-ConfiguratorFDT が CPU ユニットとオンライン接続できない場合の対処方法は、『NX/GX シリーズ IO-Link システム ユーザーズマニュアル(SBCD-371)』、または『NXR シリーズ EtherNet/IP 対応 IO-Link マスタユニット ユーザーズマニュアル(SBCD-379)』を参照してください。

2-4-4 CX-Integrator がオンライン接続できない場合の対処方法

CX-Integrator が CPU ユニットとオンライン接続できない場合の対処方法は、『CX-Integrator CS/CJ/CP/NSJ/NJ シリーズ用ネットワークコンフィグレーションツール オペレーションマニュアル(SBCA-347)』を参照してください。

2-4-5 CX-Protocol がオンライン接続できない場合の対処方法

CX-Protocol が CPU ユニットとオンライン接続できない場合の対処方法は、『CX-Protocol オペレーションマニュアル(SBCA-307)』を参照してください。

3

異常の内容と処置

本章では、NJ/NX シリーズの CPU ユニットで発生する異常（イベント）とトラブル、およびその処置に ついて詳細に説明します。
CPU ユニットの標準以外の形式だけで発生する異常（イベント）、および接続機器で発生する異常（イベント）については、「付録 (P.A-1)」に異常の一覧だけが記載されています。異常の詳細については各製品のマニュアルを参照してください。

3-1 表の見方 3-2
3-1-1 異常一覧の見方 3-2
3-1-2 異常の説明の見方 3-3

3-2 PLC 機能モジュールの異常 3-4
3-2-1 異常一覧 3-4
3-2-2 異常の説明 3-68
3-2-3 その他のトラブルと処置 3-331

3-3 NX バス機能モジュールの異常 3-332
3-3-1 異常一覧 3-332
3-3-2 異常の説明 3-335

3-4 X バス機能モジュールの異常 3-348
3-4-1 異常一覧 3-348
3-4-2 異常の説明 3-349

3-5 X バスユニット共通機能モジュールの異常 3-358
3-5-1 異常一覧 3-358
3-5-2 異常の説明 3-361

3-6 モーション制御機能モジュールの異常 3-377
3-6-1 異常一覧 3-377
3-6-2 異常の説明 3-402
3-6-3 その他のトラブルと処置 3-499

3-7 EtherNet/IP 機能モジュールの異常 3-503
3-7-1 異常一覧 3-503
3-7-2 異常の説明 3-510
3-7-3 その他のトラブルと処置 3-551

3-8 EtherCAT マスタ機能モジュールの異常 3-552
3-8-1 異常一覧 3-552
3-8-2 異常の説明 3-561

3-9 OPC UA 機能の異常 3-618
3-9-1 異常一覧 3-618
3-9-2 異常の説明 3-626
3-9-3 その他のトラブルと処置 3-647

3-1 表の見方

異常（イベント）は各発生源で機能分類ごとに記載されています。また、異常以外のイベントも併せて記載されています。

参考

命令やモーション制御命令のエラーコードの内容を確認するには、エラーコードに対応するイベントコードの説明を参照してください。命令で発生するイベントは、「3-2 PLC 機能モジュールの異常 (P.3-4)」、モーション制御命令のイベントは、「3-6 モーション制御機能モジュールの異常 (P.3-377)」に記載されています。イベントコードとエラーコードの関係は、「イベントコードとエラーコードの関係 (P.1-22)」を参照してください。

バージョンにより発生するイベントが異なる場合には、イベントが発生するバージョンが次のような表現を用いて記載されています。

- CPU ユニットのユニットバージョンの場合、“CPU ユニットのユニットバージョン Ver.X.XX”または“Ver.X.XX”
- 設定ユニットバージョン*1 の場合、“設定ユニットバージョン Ver.X.XX”

*1. 本マニュアルでは、プロジェクトに設定されているユニットバージョンを“設定ユニットバージョン”と呼びます。設定ユニットバージョンは、Sysmac Studio のデバイス選択画面でプロジェクトに設定します。

3-1-1 異常一覧の見方

異常一覧の内容は以下のとおりです。

項目	説明
イベントコード	NJ/NX シリーズのコントローラで発生した異常（イベント）のコードです。16 進数 8 けたで表されます。 イベントコード欄の( )内は、イベントコードが発生する CPU ユニットのユニットバージョン、または設定ユニットバージョンを示します。 イベントコード欄の[ ]内は、そのイベントが発生する CPU ユニットを示します。すべての CPU ユニットで発生する場合は記載しません。
イベント名	異常（イベント）の名称です。
内容	異常（イベント）の内容です。
発生要因（推定原因）	推定される異常（イベント）発生の要因です。
重要度	異常（イベント）による制御に対する影響の大きさを表します。 略称は以下を意味しています。 全：全停止フォールトレベル 部：部分停止フォールトレベル 軽：軽度フォールトレベル 監：監視情報 般：一般情報 記号は以下を意味しています。 ○：システムにより定義されている重要度 ⊙：ユーザが変更可能な重要度 *1
参照先	異常（イベント）の詳細が記載されているページ番号です。

*1. 変更可能な重要度がある場合にだけ記載します。

3-1-2 異常の説明の見方

各異常の説明で使用する表の各項目の意味を［ ］内に示します。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">［異常（イベント）の名称です。］</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">［異常（イベント）のコードです。］</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">［異常（イベント）の内容です。］</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td>［異常（イベント）が発生した箇所です。］</td><td>発生源詳細</td><td>［発生源の詳細です。］</td><td>検出タイミング</td><td>［異常検出のタイミングです。］</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>［制御に対する影響の大きさです。］ *1</td><td>復旧方法</td><td>［異常の要因を除去した後に、状態を正常に戻すための方法です。］</td><td>ログカテゴリ</td><td>［保存されるログの種類です。］ *2</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>［ユーザプログラムの実行状態です。］ *3</td><td>動作</td><td colspan="2">［異常（イベント）発生時の動作に関する特記事項です。］</td></tr>
<tr><td>LED</td><td colspan="5">［内蔵 EtherNet/IP ポート用 LED、内蔵 EtherCAT ポート用 LED の表示状態です。発生源が EtherCAT マスタ機能モジュール、EtherNet/IP 機能モジュールの時のみ記載します。］</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td colspan="5">［異常を検知するシステム定義変数、異常の影響を受けるシステム定義変数、異常の原因となるシステム定義変数の変数名とデータ型、名称です。］ *4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="5">［異常（イベント）の発生要因と処置対策、再発防止方法です。］</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">［Sysmac Studio／NS シリーズ表示器で表示される付属情報内容です。］ *5</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">［その他の注意点、制約事項、補足説明などです。ユーザが選択可能な重要度がある場合は、選択可能な重要度、復旧方法、動作などの関連事項を記載します。］</td></tr>
<tr><td>アクセスログのユーザ名</td><td colspan="5">［ログカテゴリがアクセスログの場合の、アクセスログを発生させたユーザ名です。アクセスログのユーザ名が記録される異常（イベント）のみ記載します。］</td></tr>
</table>

*1. 次のいずれかになります。
全停止フォールト：全停止フォールトレベル
部分停止フォールト：部分停止フォールトレベル
軽度フォールト：軽度フォールトレベル
監視情報
一般情報

*2. 次のいずれかになります。
システムログ：システムイベントログ
アクセスログ：アクセスイベントログ

*3. 次のいずれかになります。
継続：ユーザプログラムの実行を継続します。
停止：ユーザプログラムの実行を停止します。
開始：ユーザプログラムの実行を開始します。

*4. 本項目にはデバイス変数もまとめて書いています。
システム定義変数とデバイス変数の違いは以下になります。
システム定義変数：変数名がアンダーバー（_）で始まります。
デバイス変数：変数名がアンダーバー（_）以外で始まります。

*5. 表示器のトラブルシュータの対応範囲については、「A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 (P.A-225)」の付録を参照してください。

3-2 PLC 機能モジュールの異常

PLC 機能モジュールで発生する異常（イベント）を記載します。
以下の機能分類があります。

- 自己診断
- CJ ユニット構成
- 内蔵 I/O、オプションボード
- タスク
- コントローラ操作
- FINS 通信
- 命令

参考

- 命令のイベントは CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降でサポートされています。
- 命令のイベントを発生させるには、コントローラ設定の［イベントログ設定］で、［命令エラー出力］を［する］に設定してください。デフォルト設定では命令のイベントは発生しません。
  イベントログ設定は、Sysmac Studio Ver.1.03 以降で使用できます。

3-2-1 異常一覧

自己診断関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00090000Hex	ディップスイッチ設定エラー	ディップスイッチの設定の誤りを検出しました	• ディップスイッチの設定の誤り	○					P.3-68
000D0000Hex	内部バスチェックエラー	内部バスで致命的なエラーが発生しました	• 導電性異物混入 • ノイズ • CPU ユニット故障	○					P.3-68
000E0000Hex	不揮発性メモリ寿命	不揮発性メモリの消去回数が規定値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が規定値をオーバーしました	• 不揮発性メモリの寿命	○					P.3-69
00110000Hex 〔形 NX502、形 NX701〕	CPU ユニット内部温度オーバー（運転停止）	CPU ユニット内部の温度が高温になったため、運転を停止しました	• 使用周囲温度が高い	○					P.3-70

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00130000Hex （Ver.1.13 以降） [形 NX102、形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.16 以降） [形 NX701、形 NJ5 ハードウェアリビジョン Rev.B] （Ver.1.17 以降） [形 NJ3 ハードウェアリビジョン Rev.A、形 NJ1 ハードウェアリビジョン Rev.A]	メインメモリチェックエラー	CPU ユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました	• 導電性異物混入 • ノイズ • ソフトエラー • CPU ユニット故障	○					P.3-71
10010000Hex	不揮発性メモリ修復あり	不揮発性メモリのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムの修復またはフォーマットを実行しました。ただし、以前のファイルが削除された可能性があります	• BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した	○					P.3-72
10020000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています	• BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した • CPU ユニットの故障	○					P.3-73
10080000Hex	メインメモリチェックエラー	CPU ユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました	• 導電性異物混入 • ノイズ • ソフトエラー • CPU ユニット故障	○					P.3-73
100A0000Hex （Ver.1.10 以降） [NJ シリーズ、形 NX701]	バッテリバックアップメモリへの保存未実行	ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理のバッテリバックアップメモリへの保存処理が実行できませんでした。	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-74
100B0000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています	• BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF した • BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した • CPU ユニットの故障	○					P.3-75
100C0000Hex （Ver.1.03 以降）	イベント重要度設定異常	イベント重要度設定ファイルの内容が不正です	• イベント重要度設定のダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断したためイベント重要度設定が不正 • メモリオールクリア中にコントローラを電断したためイベント重要度設定が不正 • 不揮発性メモリの故障	○					P.3-75
100F0000Hex [形 NX102、形 NX1P2、形 NX502]	保持変数の現在値復元失敗	起動時に保持変数の現在値の復元に失敗し、初期化されました	• ソフトウェアにエラーが発生した • バックアップメモリの故障	○					P.3-76

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10100000Hex [形 NX102、形 NX1P2、形 NX502]	保持変数の現在値保存未実行	ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理の保持変数の現在値の保存処理が実行できませんでした	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-77
40010000Hex [NJ シリーズ]	PLC システム処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-78
40020000Hex	PLC システム処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-78
40030000Hex	PLC システム処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-78
40040000Hex [形 NX701、形 NX1P2]	PLC システム処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-79
40050000Hex [形 NX701、形 NX1P2]	PLC システム処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-79
00070000Hex	時計発振停止	時計(RTC)の発振が停止していました。時計(RTC)の時刻が不正です	• バッテリの電圧低下 • バッテリのコネクタのはずれ • バッテリがない			○	⊙		P.3-79
00080000Hex	時計故障	CPU ユニットの時計(RTC)が故障しました	• CPU ユニットの時計の故障			○			P.3-80
000B0000Hex	バッテリ電圧低下	バッテリ電圧が低下しました	• バッテリの電圧低下 • バッテリのコネクタのはずれ • バッテリがない			○	⊙		P.3-80
000C0000Hex [NJ シリーズ、形 NX502、形 NX701]	CPU ユニット内部温度オーバー	CPU ユニット内部の温度が既定値以上になりました	• 使用周囲温度が高い			○			P.3-81
00120000Hex [形 NX502、形 NX701]	ファン回転数低下	ファンの回転数が既定値以下になりました	• ファンの動作を妨げる障害物がある • ファンの寿命 • ファンの故障			○	⊙		P.3-81
00150000Hex (Ver.1.60 以降) [NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2、NX502] (Ver.1.32 以降) [形 NX701]	不揮発性メモリ寿命警告	不揮発性メモリの消去回数が警告値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が警告値をオーバーしました。	• 不揮発性メモリの寿命			○	⊙		P.3-82
10090000Hex [NJ シリーズ、形 NX701]	バッテリバックアップメモリチェックエラー	CPU ユニット内部のバッテリバックアップメモリのチェックでエラーを検出しました	• バッテリの電圧低下 • バッテリのコネクタのはずれ • バッテリがない			○	⊙		P.3-83
000F0000Hex	SD メモリカード種別不正	非対応の SD メモリカードです	• CPU ユニットに使用できない SD メモリカードが挿入されている				○		P.3-84

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00100000Hex	SD メモリカード寿命	SD メモリカードの消去回数が規定値をオーバーした。または不良ブロック数が規定値をオーバーしました	• SD メモリカードの寿命			⊙	○		P.3-84
10030000Hex	SD メモリカードフォーマット不正	SD メモリカードのファイルフォーマットが FAT16/FAT32 ではありません	• CPU ユニットに装着した SD メモリカードのファイルフォーマットが FAT16/FAT32 でない				○		P.3-85
10040000Hex	SD メモリカード修復あり	ファイルシステムのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムを修復しました。ただし、ファイルが削除された可能性があります	• SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した • SD PWR LED 点灯中に、SD メモリカードを抜いた • SD メモリカードの故障			⊙	○		P.3-85
10060000Hex	SD メモリカードデータ破壊	SD メモリカードに存在すべきファイルがないか、破壊されています	• SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した • SD PWR LED 点灯中に、SD メモリカードを抜いた • SD メモリカードの故障			⊙	○		P.3-86
10070000Hex	SD メモリカードアクセス中電源断	SD メモリカードアクセス中にコントローラの電源断が発生しました	• SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				○		P.3-86
10130000Hex [形 NX102、形 NX1P2]	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています				○		P.3-87
10310000Hex （Ver.1.02 以降）	SD メモリカードの不正な取り外し	SD メモリカードの取り外し処理が失敗しました	• SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを取り外した				○		P.3-87

CJ ユニット構成関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04010000Hex 〔NJ シリーズ〕	I/O バスチェックエラー	CPU ユニットと各スロットに接続されたユニット間のデータ伝送にエラーが発生しました。 または、コントローラの電源投入時、すべての高機能 I/O ユニットおよび CPU 機能ユニットに対する認識を完了できませんでした	• I/O 接続ケーブルの抜け・はずれ、断線 • 導電性異物混入 • 異物のコネクタ内部への侵入によるコネクタ接触不良 • ノイズ • ユニット故障	○					P.3-88
24010000Hex 〔NJ シリーズ〕	未サポートユニット接続	サポート外の CJ ユニット／電源ユニットが装着されています	• サポート外の CJ ユニット／電源ユニットを検出した	○					P.3-89
24020000Hex 〔NJ シリーズ〕	I/O 点数オーバー	接続されている CJ ユニットの I/O 総点数が、CPU ユニットの最大既定値を超えています	• CJ ユニットの I/O 総点数が 2560 点を超えている	○					P.3-89
24030000Hex 〔NJ シリーズ〕	エンドカバー未接続	CPU ラックまたは増設ラックの右端にエンドカバーが接続されていません	• CPU ラックまたは増設ラックの右端にエンドカバーが装着されていない • エンドカバーの接続が不良	○					P.3-90
24040000Hex 〔NJ シリーズ〕	ユニット／増設ラック接続不正	ユニットまたは増設ラックの接続台数が CPU ユニットの既定値を超えています。 または、割込入力ユニットを、範囲外のスロットまたは増設ラックに装着しています	• 1 ラックに 11 台以上のユニットを接続している • 増設ラックの接続台数が 3 台を超えている • 割込入力ユニットの装着台数が 2 台を超えている • 割込入力ユニットを範囲外のスロットまたは増設ラックに装着している	○					P.3-90
24050000Hex 〔NJ シリーズ〕	ユニット番号重複	高機能ユニットの号機 No.／ユニット番号が重複しています	• 高機能ユニットの号機 No.／ユニット番号が重複している • 複数号機分占有する高機能 I/O ユニットと他の高機能 I/O ユニットの号機 No.が重複している	○					P.3-91
34010000Hex 〔NJ シリーズ〕	I/O 設定チェックエラー	CPU ユニット内のユニット構成上のユニットの機種と実際に接続されているユニットの機種が不一致です	• CPU ユニット内のユニット構成に登録されているユニットと、実際に接続されているユニットの機種または高機能ユニットの号機 No.が異なっている	○					P.3-92
44400000Hex 〔NJ シリーズ〕	PLC 機能処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-92
64010000Hex 〔NJ シリーズ〕	高機能ユニットアクセス不可	CPU ユニットと高機能ユニット間のデータ交換にエラーが発生しました	• 高機能ユニットのロータリスイッチまたはディップスイッチの設定誤り • 高機能ユニット側のエラー • ユニットの接続不良 • ノイズ • ユニット故障			○			P.3-93

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
102D0000Hex（Ver.1.03 以降）[NJ シリーズ]	バックアップ実行失敗（CJ ユニット）	CJ ユニットのバックアップが異常終了しました	• ユニット構成に関連する異常が発生している • 高機能ユニットに関連する異常が発生している • 高機能ユニットがリスタート中である • CPU ユニット内のユニット構成に登録されているユニットと、実際に接続されているユニットの機種または高機能ユニットの号機 No.が異なっている • CPU ユニット／CJ ユニットの故障				○		P.3-94
102E0000Hex（Ver.1.03 以降）[NJ シリーズ]	リストア実行失敗（CJ ユニット）	CJ ユニットのリストアが異常終了しました	• ユニット構成に関連する異常が発生している • 高機能ユニットに関連する異常が発生している • バックアップファイル内のユニット構成と実際のユニット構成が異なっている • 高機能ユニットがリスタート中である • 高機能ユニットの固有のリストア条件を満たしていない • バックアップファイルが壊れている • CPU ユニット／CJ ユニットの故障				○		P.3-95
30200000Hex（Ver.1.02 以降）[NJ シリーズ]	未サポートのユニット設定	サポート外の高機能ユニット設定になっています	• CPU ユニットでサポートされていない高機能ユニット設定にした				○		P.3-96
80010000Hex [NJ シリーズ]	不正パケット破棄	メッセージ通信で不正パケットを受信し、破棄しました	• ノイズ				○		P.3-96
04020000Hex [NJ シリーズ]	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。					○	P.3-96
44410000Hex [NJ シリーズ]	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。					○	P.3-97

内蔵 I/O、オプションボード関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
05440000Hex 〔形 NX1P2〕	オプションボード異常	動作中にオプションボードが外れた、装着された、またはオプションボードのハードウェア異常が発生しました	• 動作中にオプションボードが外れた、または、装着された • オプションボードのハードウェアで異常を検知した			○			P.3-98
35940000Hex 〔形 NX1P2〕	オプションボード構成照合異常	オプションボード構成設定と実構成が異なっています	• オプションボード構成設定と実構成が異なっている • オプションボードが正しく取り付けられていない			○			P.3-98
35950000Hex 〔形 NX1P2〕	未サポートオプションボード装着	実構成上に未サポートのオプションボードがあります	• 実構成上に未サポートのオプションボードがある			○			P.3-99
88130000Hex 〔形 NX1P2〕	アナログオプションボード起動異常	アナログオプションボードの起動時にエラーが発生しました	• アナログオプションボードが正しく取り付けられていない。または、アナログオプションボードが故障している			○			P.3-99
88140000Hex 〔形 NX1P2〕	アナログオプションボード通信異常	アナログオプションボードの動作中に通信エラーが発生しました	• アナログオプションボード上の LED が点滅の場合、動作中にアナログオプションボードとの通信でエラーが発生した • アナログオプションボード上の LED が点灯の場合、アナログオプションボードが WDT エラーとなった			○			P.3-100

タスク関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
60020000Hex	タスク実行タイムアウト	タスクの実行がタイムアウト検出時間を超えました	• タイムアウト検出時間の設定が短すぎる • タスク周期の設定が短すぎる • ユーザプログラムの規模が大きい • 処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている • タスク優先度の誤り • イベントタスクの実行頻度が高い	○					P.3-101
60030000Hex	I/O リフレッシュ周期オーバー	プライマリ定周期タスク、定周期タスクのタスク周期内に I/O リフレッシュが完了しない状態が連続して発生しました	• タスク周期の設定が短すぎる • 周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り • タスクの周期で I/O リフレッシュするユニット／スレーブ数が多い • イベントタスクの実行頻度が高い	○					P.3-102
60040000Hex	システムサービス時間不足	設定されているシステムサービス実行時間を確保できませんでした	• タスク実行、タグデータリンクサービスの空き時間がない • システムサービス監視設定で、システムサービス実行間隔が短すぎる、または、システムサービス実行時間割合が長すぎる	○					P.3-103
60010000Hex	タスク周期オーバー	プライマリ定周期タスク、定周期タスクにおいて、設定周期内にタスクの実行が終わりませんでした	• タスク周期の設定が短すぎる • ユーザプログラムの規模が大きい • 処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている • 周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り • イベントタスクの実行頻度が高い			○			P.3-104
60050000Hex	タスク周期オーバー	プライマリ定周期タスク、定周期タスクにおいて、設定周期内にタスクの実行が終わりませんでした	• タスク周期の設定が短すぎる • ユーザプログラムの規模が大きい • 処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている • 周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り • イベントタスクの実行頻度が高い				○		P.3-105

コントローラ操作関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10200000Hex	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定転送エラー	ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定を正しくを転送できませんでした	• ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定のダウンロード中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正 • オンラインエディット操作中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正 • メモリオールクリア中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正 • リストア中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正 • メモリオールクリアのあとに必要なコントローラの電源再投入が実施されていない • 不揮発性メモリの故障	○					P.3-106
10210000Hex	ユーザプログラム実行用 ID 不正	ユーザプログラムと CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID が一致していません	• ユーザプログラムおよび CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID が一致していない • CPU ユニットにユーザプログラム実行用 ID が設定されているが、ユーザプログラムには設定されていない	○					P.3-107
10240000Hex	不正なユーザプログラム	ユーザプログラムが不正です	• ファンクションブロック／ファンクションのネスティングの階層が制限を超えている	○					P.3-107
10250000Hex	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定不正	使用メモリが上限をオーバーしているか、ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定データが壊れています	• データ量の上限値オーバー • メインメモリ容量オーバー • 不揮発性メモリの劣化、故障	○					P.3-108

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10270000Hex （Ver.1.03 以降）	自動転送開始エラー	自動転送の実行前チェックで異常を検出しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードに「autoload」フォルダが存在しない • SD メモリカードの「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの「autoload」フォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない • 転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない • SD メモリカードの修復が実行された • CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 自動転送コマンドファイル(AutoloadCommand.ini)の記述内容が不正 • SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、自動転送対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードの故障 • 転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い • CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 予期しないエラーが発生した	○					P.3-109

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10280000Hex（Ver.1.03 以降）	自動転送実行エラー	自動転送が異常終了しました	• 自動転送対象データの読み出しに失敗した • 自動転送中に SD メモリカードが抜き取られた • SD メモリカードの「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの「autoload」フォルダのバックアップファイルが壊れている • SD メモリカードの故障 • 予期しないエラーが発生した ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量が不足している • SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた	○					P.3-111

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10330000Hex（Ver.1.11 以降）	SD メモリカードプログラム転送実行前エラー	SD メモリカードプログラム転送の実行前チェックで異常を検出しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない • 転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない • CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、自動転送対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードの故障 • CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 予期しないエラーが発生した • 転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	○					P.3-112

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10340000Hex（Ver.1.11 以降）	SD メモリカードプログラム転送実行エラー	SD メモリカードプログラム転送が異常終了しました	• SD メモリカードプログラム転送対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードププログラム転送中に SD メモリカードが抜き取られた • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている • SD メモリカードの故障 • 予期しないエラーが発生した ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量が不足している • SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた	○					P.3-115
40110000Hex	PLC 機能処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-116
40160000Hex（Ver.1.02 以前）[NJ シリーズ]	セーフモード	コントローラをセーフモードで起動しました	• CPU ユニットのディップスイッチをセーフモードに設定してコントローラの電源を ON した	○					P.3-117
44420000Hex（Ver.1.05 以降）	PLC 機能処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-117
40120000Hex	PLC 機能処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した		○				P.3-118
35EF0000Hex（Ver.1.63 以降）[形 NX502]	オートメーションプレイバック起動異常	オートメーションプレイバック機能が起動できません	• オートメーションプレイバック機能が利用できない CPU ユニットで、オートメーションプレイバック機能を使う設定がされている。			○			P.3-118
40130000Hex	PLC 機能処理異常	PLC 機能モジュールの一部で致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-119
95770000Hex（Ver.1.63 以降 Ver.1.65 未満）[形 NX502]	変数のサンプリング上限	変数のサンプリング可能な上限値に達しました	• 変数のサンプリング可能な数量、サイズもしくは処理能力が上限を超えた			○			P.3-120
95790000Hex（Ver.1.65 以降）[形 NX502]	変数のサンプリング上限	変数のサンプリング可能な上限値に達しました	• 変数のサンプリング可能な数量、サイズもしくは処理能力が上限を超えた			○	⊙		P.3-121

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10230000Hex	イベントログ保存失敗	イベントログの保存に失敗しました	• バッテリ電圧低下による電断保持失敗 • イベントログエリアのデータが不正				○		P.3-122
10260000Hex	トレース設定転送失敗	トレース設定の転送中に電断が発生しました	• トレース設定の転送中に電断した				○		P.3-122
10290000Hex（Ver.1.03 以降）	バックアップ開始失敗	バックアップの実行前チェックで異常を検出しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている • ［SD メモリカードへのバックアップ禁止］設定が［禁止する］に設定されている • 他のバックアップ機能が動作中である • 同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である • ユーザ操作によりバックアップを中止した • Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • SD メモリカードの故障 • 予期しないエラーが発生した				○		P.3-123
102A0000Hex（Ver.1.03 以降）	バックアップ実行失敗	バックアップが異常終了しました	• SD メモリカードの容量が不足している • バックアップ対象データの保存に失敗した • バックアップ中に SD メモリカードが抜き取られた • ユニット／スレーブのバックアップに失敗した • ユーザ操作によりバックアップを中止した • カムテーブル保存命令、または CPU ユニット名称の更新が実行中である • Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • パソコンへのバックアップ対象データの保存に失敗した • SD メモリカードの故障 • 予期しないエラーが発生した ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている • バックアップ対象データである SD メモリカードの/D フォルダが存在しない				○		P.3-125

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
102B0000Hex（Ver.1.03 以降）	リストア開始失敗	リストアの実行前チェックで異常を検出しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードのバックアップファイルが壊れている、または、必ずリストアするデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない • リストア先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い • リストア先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない • SD メモリカードの修復が実行された • CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • リストアコマンドファイル(RestoreCommand.ini)の記述内容が不正 • 他のバックアップ機能が動作中である • 同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である • Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、リストア対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードの故障 • リストア先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い • リストア先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い • CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 予期しないエラーが発生した				○		P.3-127

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
			システム定義変数による指示の場合は、以下もご確認ください • コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」が「使用しない」に設定されている • コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」の「パスワード」と、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.Password とが一致しない • CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリ カードバックアップ機能のリストアをシステム定義変数による指示で開始可能な設定で はない • システム定義変数で指定するフォルダが存在しない • システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量が不足している						
102C0000Hex（Ver.1.03 以降）	リストア実行失敗	リストアが異常終了しました	• リストア対象データの読み出しに失敗した • リストア中に SD メモリカードが抜き取られた • ユニット／スレーブのリストアに失敗した • SD メモリカードの故障 • 予期しないエラーが発生した ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量が不足している • SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた				○		P.3-130

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10320000Hex（Ver.1.11 以降）	SD メモリカードプログラム転送開始失敗	SD メモリカードプログラム転送の開始前チェックで異常を検出しました	• コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム 転送」が「使用しない」に設定されている • コントローラ設定の「システム定義変数による転送」の「パスワード」と、システム 定義変数 _Card1PrgTransferCmd.Password とが一致しない • CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードプログラム転送を開始可能な設定ではない • SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.DirName で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない • 転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない • CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 他のバックアップ機能が動作中である • 同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である • システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd で、転送必須のファイルが転送対象になっていない				○		P.3-131

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
			• SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、SD メモリカードプログラム転送対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードの故障 • CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 予期しないエラーが発生した • 転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い						

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
103E0000Hex（Ver.1.14 以降）	リストア実行前チェック失敗	SD メモリカードリストアのシステム定義変数による指示の実行前チェックで異常を検出しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない • SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない • 転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンよ り古い • 転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない • CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、SD メモリカードプログラム 転送対象データの読み出しに失敗した • SD メモリカードの故障 • CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 予期しないエラーが発生した • 転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続 サービスのバージョンより古い • 転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い				○		P.3-134
103F0000Hex	オンラインエディット転送失敗	オンラインエディット転送に失敗しました	• 変数の数の上限値超過 • 変数の初期値あり／なしを変更した				○		P.3-136

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
152C0000Hex （Ver.1.63 以降） [形 NX502]	変数ログ保存失敗	変数ログが保存できませんでした	• 変数ログの保存条件が成立しましたが、以下の要因により変数ログが生成できませんでした • 保存先のストレージが何らかの理由で使用できない • 保存先のストレージが書き込み禁止になっている • 保存先ストレージのファイル数、ディレクトリ数が最大数である			⊙	○		P.3-137
10630000Hex （Ver.1.31 以降） [形 NX102] （Ver.1.60 以降） [形 NX502]	セーフティデータロギングの開始失敗	セーフティデータロギングの開始に失敗しました	• ＳＤメモリカードが未装着 • ロギング設定ファイルが存在しない • ロギング設定ファイルのロギング設定番号が重複 • ロギング設定ファイルのロギング設定番号が仕様範囲外 • ロギング設定ファイルが不正 • セーフティマスタコネクションが全て確立していない • ロギング設定ファイルで指定されたロギング対象変数へのアクセスが不可				○		P.3-138
10640000Hex （Ver.1.31 以降） [形 NX102] （Ver.1.60 以降） [形 NX502]	セーフティデータログファイル保存失敗	セーフティデータロギングのログファイル保存に失敗しました	• ロギング開始後、ＳＤメモリカードを抜き出した。 • SD メモリカードがライトプロテクトされている。 • ＳＤメモリカードの空き容量が不足している。 • ＳＤメモリカードのファイル数が最大数を超えた。 • ＳＤメモリカードの故障。				○		P.3-139
40140000Hex	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。				○		P.3-139
40170000Hex （Ver.1.03 以降）	セーフモード	コントローラをセーフモードで起動しました	• コントローラをセーフモードで起動した				○		P.3-140
64050000Hex （Ver.1.63 以降） [形 NX502]	変数ログ保存先容量警告	変数ログの保存先ストレージの空き容量が、設定値で指定した容量を下回りました	• 変数ログの保存先ストレージの空き容量が、指定した容量以下になった			⊙	○		P.3-140
64060000Hex （Ver.1.63 以降） [形 NX502]	変数ログの同時性なし	変数のサンプリングが終了するまでに次のタスク周期のタスクが開始したため、現在の状態で変数ログの出力をすると、変数ログのデータの同時性が確保できません	• 以下の要因により、変数のサンプリングが終了するまでに次のタスク周期のタスクが開始した • サンプリング対象の変数が多い • タスク周期におけるタスク実行時間の比率が高い			⊙	○		P.3-141
64070000Hex （Ver.1.63 以降） [形 NX502]	変数のサンプリング未実施周期の発生	変数のサンプリングが省略された周期が発生しました	• 以下の要因により、変数のサンプリングが省略される周期が発生した • サンプリング対象の変数が多い • タスク周期における空き時間が短い			⊙	○		P.3-142

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64080000Hex （Ver.1.69 以降） [NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2] （Ver.1.36 以降） [形 NX701]	セキュア通信強制開始	強制的にセキュア通信で起動しました	• セキュア通信バージョン設定が 2、かつ CPU ユニットのディップスイッチ設定が「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」で起動した				○		P.3-143
80230000Hex （Ver.1.05 以降）	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常が発生しています	• 通信ケーブルの断線 • 通信ケーブルのコネクタのはずれ • NX メッセージ通信の負荷が高い				○		P.3-144
90470000Hex （Ver.1.31 以降） [形 NX102] （Ver.1.60 以降） [形 NX502]	セーフティデータロギング中断	実行中のセーフティデータロギングが中断されました	• セーフティデータロギング実行中にサービススイッチ操作により中断された • セーフティマスタコネクションの通信異常が発生した、または、セーフティ CPU ユニットがセーフティプロセスデータ通信の継続ができない動作モードに遷移した • NX バスがリスタートされた • コントローラの設定またはプログラムが変更された				○		P.3-145
95760000Hex （Ver.1.63 以降） [形 NX502]	変数ログの上書き実施	古い変数ログを消去し、新しい変数ログを保存しました	• 変数ログの保存先ストレージの空き容量が不足している、または指定した容量以下になった			⊙	○		P.3-145
40150000Hex	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。					○	P.3-146
44430000Hex （Ver.1.05 以降）	PLC システム情報	PLC 機能モジュールの内部情報です	• PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。					○	P.3-146
90010000Hex	時刻の変更	時刻を変更しました	• 時刻を変更した					○	P.3-147
90020000Hex	タイムゾーンの変更	タイムゾーンを変更しました	• タイムゾーンを変更した					○	P.3-147
90030000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	オンライン接続開始	Sysmac Studio のオンライン接続を開始しました	• Sysmac Studio のオンライン接続を開始した					○	P.3-148
90040000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	オンライン接続終了	Sysmac Studio のオンライン接続を終了しました	• Sysmac Studio のオンライン接続を終了した					○	P.3-148

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90050000Hex（Ver.1.10 以降）	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定のダウンロード	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定をダウンロードしました	• ユーザプログラム／コントローラ構成・設定をダウンロードした					○	P.3-149
90070000Hex（Ver.1.10 以降）	オンラインエディット転送	ユーザプログラムをオンラインエディットしました	• ユーザプログラムをオンラインエディットし、コントローラに反映した					○	P.3-150
90080000Hex	強制値リフレッシュのセット	強制値リフレッシュのセットが指定されました	• ユーザが強制値リフレッシュのセットを指定した					○	P.3-150
90090000Hex	強制値リフレッシュのリセット	強制値リフレッシュのリセットが指定されました	• ユーザが強制値リフレッシュのリセットを指定した					○	P.3-151
900A0000Hex	強制値リフレッシュの全解除	強制値リフレッシュのすべての解除が指定されました	• ユーザが強制値リフレッシュのすべての解除を指定した					○	P.3-151
900B0000Hex	メモリオールクリア	メモリオールクリアを実行しました	• 管理者権限をもつユーザがメモリオールクリアした					○	P.3-151
900C0000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました	• ユーザがイベントログをクリアした					○	P.3-152
900F0000Hex（Ver.1.03 以降）	自動転送完了	自動転送を完了しました	• 自動転送を完了した					○	P.3-152
90110000Hex	電源投入	電源投入されました	• 電源投入された					○	P.3-153
90120000Hex	電源断	電源断されました	• 電源断された					○	P.3-153
90130000Hex	運転開始	運転開始しました	• 運転開始を受け付けた					○	P.3-153
90140000Hex	運転停止	運転停止しました	• 運転停止を受け付けた					○	P.3-154
90150000Hex	リセット実行	リセットを実行しました	• リセット指示を受け付けた					○	P.3-154
90160000Hex	ユーザプログラム実行用 ID 書込	CPU ユニットにユーザプログラム実行用 ID が設定または変更されました	• 管理者権限をもつユーザが CPU ユニットのユーザプログラム実行用 ID を変更した					○	P.3-155
90170000Hex（Ver.1.49 以降）[形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2]（Ver.1.60 以降）[形 NX502]（Ver.1.29 以降）[形 NX701]	認証設定の転送	認証設定が転送されました	• 認証設定が転送された					○	P.3-155
90180000Hex	発生中コントローラ異常の全解除	発生中異常を全解除しました	• ユーザが発生中異常を全解除した					○	P.3-156
90190000Hex	強制値リフレッシュの解除	強制値リフレッシュの解除が指定されました	• ユーザが強制値リフレッシュの解除を指定した					○	P.3-156
901A0000Hex（Ver.1.03 以降）	バックアップ開始	バックアップを開始しました	• バックアップを開始した					○	P.3-156
901B0000Hex（Ver.1.03 以降）	バックアップ完了	バックアップを正常終了しました	• バックアップを正常終了した					○	P.3-157
901C0000Hex（Ver.1.03 以降）	リストア開始	リストアを開始しました	• リストアを開始した					○	P.3-157
901D0000Hex（Ver.1.03 以降）	リストア完了	リストアを正常終了しました	• リストアを正常終了した					○	P.3-158

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90200000Hex （Ver.1.11 以降）	SD メモリカードプログラム転送開始	SD メモリカードプログラム転送を開始しました	• SD メモリカードプログラム転送を開始した					○	P.3-158
90210000Hex （Ver.1.11 以降）	SD メモリカードプログラム転送完了	SD メモリカードプログラム転送を完了しました	• SD メモリカードプログラム転送を完了した					○	P.3-159
90290000Hex （Ver.1.32 以降） [形 NX102] （Ver.1.21 以降） [形 NX701-□□00, 形 NX1P2, 形 NJ501（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301、形 NJ101-□□00]	設定ユニットバージョンの変更	設定ユニットバージョンが変更されました	• 転送／リストア先のコントローラ内のプロジェクトの設定ユニットバージョンと、転送／リストア元のプロジェクトの設定ユニットバージョンが異なった • 出荷状態またはメモリオールクリア状態からプロジェクトの転送／リストアを実施した					○	P.3-159
902A0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	運転モードへの変更指示	運転モードへの変更指示を受けました	• 運転モードへの変更指示をうけた					○	P.3-160
902B0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	プログラムモードへの変更指示	プログラムモードへの変更指示を受けました	• プログラムモードへの変更指示をうけた					○	P.3-160
902C0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	アクセス権強制解放	アクセス権が強制解放されました	• アクセス権が強制解放された					○	P.3-161
902D0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	CPU ユニット名称の変更	CPU ユニット名称が変更されました	• CPU ユニット名称が変更された					○	P.3-161

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
902E0000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	CPU ユニットへの書込プロテクト設定	CPU ユニットへの書込プロテクトが設定されました	• CPU ユニットへの書込プロテクトが設定された					○	P.3-162
902F0000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	運転モード書替設定の書き込み	運転モード書替設定が書き込みされました	• 運転モード書替設定が書き込みされた					○	P.3-162
90300000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	バックアップ開始指示	Sysmac Studio からのバックアップの開始指示を受けました	• Sysmac Studio からのバックアップの開始指示を受けた					○	P.3-163
90310000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	リストア開始指示	Sysmac Studio からのリストアの開始指示を受けました	• Sysmac Studio からのリストアの開始指示を受けた					○	P.3-163
90320000Hex (Ver.1.60 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.32 以降) [形 NX701]	ファームウェアアップデート禁止設定の変更	ファームウェアアップデート禁止設定が変更されました	• ファームウェアアップデート禁止設定が変更された					○	P.3-164
90330000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	オムロン保守の開始指示	オムロンの保守担当者による保守作業が開始されました	• オムロンの保守担当者による保守作業が開始された					○	P.3-164

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90340000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	オムロン保守の終了指示	オムロンの保守担当者による保守作業が終了されました	• オムロンの保守担当者による保守作業が終了された					○	P.3-165
90460000Hex （Ver.1.31 以降） [形 NX102] （Ver.1.60 以降） [形 NX502]	セーフティデータロギング開始	セーフティデータロギングを開始しました	セーフティデータロギングが開始条件を満たして開始された					○	P.3-165
90480000Hex （Ver.1.31 以降） [形 NX102] （Ver.1.60 以降） [形 NX502]	セーフティデータロギング終了	実行中のセーフティデータロギングがトリガ条件を満たして終了しました	セーフティデータロギング設定で指定されたトリガ条件が発生し、セーフティデータロギングが終了した					○	P.3-166
90A20000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ認証の有効化	ユーザ認証を有効にしました	ユーザ認証を有効化した					○	P.3-166
90A30000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ認証の無効化	ユーザ認証を無効にしました	ユーザ認証を無効化した					○	P.3-167
90A40000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ追加	ユーザを追加しました	ユーザを追加した					○	P.3-167
90A50000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ削除	ユーザを削除しました	ユーザを削除した					○	P.3-168

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90A60000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ権限変更	ユーザ権限を変更しました	ユーザ権限を変更した					○	P.3-168
90A70000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード変更	ユーザパスワードを変更しました	ユーザパスワードを変更した					○	P.3-169
90A80000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード有効期限管理の有効化	ユーザパスワードの有効期限管理を有効にしました	ユーザパスワードの有効期限管理を有効化した					○	P.3-169
90A90000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード有効期限管理の無効化	ユーザパスワードの有効期限管理を無効にしました	ユーザパスワードの有効期限管理を無効化した					○	P.3-170
90AA0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード有効期間変更	ユーザパスワードの有効期間を変更しました	ユーザパスワードの有効期間を変更した					○	P.3-170
90AB0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ認証の操作ロック有効化	ユーザ認証の操作ロックを有効にしました	ユーザ認証の操作ロックを有効化した					○	P.3-171

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90AC0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ認証の操作ロック無効化	ユーザ認証の操作ロックを無効にしました	ユーザ認証の操作ロックを無効化した					○	P.3-171
90AD0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザ認証の操作ロック時間変更	ユーザ認証の操作ロック時間を変更しました	ユーザ認証の操作ロック時間を変更した					○	P.3-172
90AE0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限認証の有効化	操作権限認証を有効にしました	操作権限認証を有効化した					○	P.3-172
90AF0000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限認証の無効化	操作権限認証を無効にしました	操作権限認証を無効化した					○	P.3-173
90B00000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限パスワード変更	操作権限パスワードを変更しました	操作権限パスワードを変更した					○	P.3-173
90B10000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	パスワード入力省略時の操作権限変更	パスワード入力時の操作権限を変更しました	パスワード入力時の操作権限を変更した					○	P.3-174

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90B20000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限認証の操作ロック有効化	操作権限認証の操作ロックを有効にしました	操作権限認証の操作ロックを有効化した					○	P.3-174
90B30000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限認証の操作ロック無効化	操作権限認証の操作ロックを無効にしました	操作権限認証の操作ロックを無効化した					○	P.3-175
90B40000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	操作権限認証の操作ロック時間変更	操作権限認証の操作ロック時間を変更しました	操作権限認証の操作ロック時間を変更した					○	P.3-175
90B50000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード期日前通知の有効化	ユーザパスワード期日前通知を有効にしました	• ユーザパスワード期日前通知を有効にした					○	P.3-176
90B60000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード期日前通知の無効化	ユーザパスワード期日前通知を無効にしました	• ユーザパスワード期日前通知を無効にした					○	P.3-176
90B70000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	ユーザパスワード期日前通知日数変更	ユーザパスワードの期日前通知日数を変更しました	• ユーザパスワードの期日前通知日数を変更した					○	P.3-177

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90B80000Hex（Ver.1.69 以降）〔NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2〕（Ver.1.36 以降）〔形 NX701〕	セキュア通信バージョン変更	セキュア通信バージョンを変更しました	• セキュア通信バージョンを変更した					○	P.3-177
95720000Hex（Ver.1.63 以降）〔形 NX502〕	オートメーションプレイバック設定変更	オートメーションプレイバック機能の設定が変更されました	• 設定を変更したプロジェクトで同期した					○	P.3-178
95730000Hex（Ver.1.63 以降）〔形 NX502〕	変数のサンプリング開始	変数のサンプリングが開始しました	• 変数のサンプリング開始条件が成立した					○	P.3-178
95740000Hex（Ver.1.63 以降）〔形 NX502〕	変数のサンプリング停止	変数のサンプリングが停止しました	• 変数のサンプリング停止条件が成立した					○	P.3-178
95750000Hex（Ver.1.63 以降 Ver.1.65 未満）〔形 NX502〕	変数ログ出力完了	変数ログの出力が完了しました	• 変数ログの保存条件が成立し、出力が完了した					○	P.3-179
95780000Hex（Ver.1.65 以降）〔形 NX502〕	変数ログ出力完了	変数ログの出力が完了しました	• 変数ログの保存条件が成立し、出力が完了した					○	P.3-179

FINS 通信関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
14010000Hex [NJ シリーズ]	CPU 高機能ユニットシステム設定エリアエラー	CPU 高機能ユニットシステム設定エリアのメモリチェックでエラーを検出しました	• CPU 高機能ユニットシステム設定のダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断			○			P.3-180
34100000Hex [NJ シリーズ、形 NX701-□□20、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2]	IP アドレステーブル設定エラー	IP アドレステーブルの設定が不正です	• IP アドレス変換方式が「併用方式」、「IP アドレステーブル方式」に設定されているが、IP アドレステーブルの設定が不正			○			P.3-180
34130000Hex [NJ シリーズ、形 NX701-□□20、形 NX502、形 NX102]	FINS/TCP コネクションテーブル設定エラー	FINS/TCP コネクションテーブルが不正です	• FINS/TCP コネクションテーブルのダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断した			○			P.3-181
34110000Hex [NJ シリーズ、形 NX701-□□20、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2]	送信先ノード不明	送信先ノードが不明です	• FINS メッセージを送信する時に送信先ノードが見つからなかった				○		P.3-181
80100000Hex [NJ シリーズ、形 NX701-□□20、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2]	パケット破棄	パケットを破棄しました	• CPU ユニット宛の FINS レスポンスを受信した • FINS レスポンス送信先ユニットが存在しない				○		P.3-182
80110000Hex [NJ シリーズ]	パケット破棄	パケットを破棄しました	• 2002byte を超える FINS レスポンスを配信しようとした • 2002byte を超える FINS レスポンスをルーチングした • ルーチングエラー「該当号機なし」のパケットを受信した • ルーチングエラー「ルーチング異常」のパケットを受信した • ルーチングエラー「ルーチングテーブル未登録」のパケットを受信した • ルーチングエラー「イベントエリアサイズオーバー」のパケットを受信した • 内部バッファに空き容量がなくなった • 高負荷により FINS メッセージのルーチングに失敗した				○		P.3-183

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80120000Hex 〔NJ シリーズ、形 NX701-□□20、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2〕	パケット破棄	パケットを破棄しました	• 送信先ネットワークアドレス(DNA)=自ネット、送信先ノードアドレス(DA1)≠自ノードの FINS レスポンスを受信した • 送信先ネットワークアドレス(DNA)≧80Hex のハブネットワークアドレス指定の FINS コマンドまたは FINS レスポンスを受信した • 内部バッファに空き容量がなくなった • 最小コマンド長に満たない FINS コマンドを受信した • 最大コマンド長を超える FINS コマンドを受信した • パケット送信に失敗した • 高負荷により FINS メッセージのルーチングに失敗した。または、送信元ネットワークアドレス(SNA)=0 である、内蔵 EtherNet/IP ポート宛のコマンドを受信した • 内蔵 EtherNet/IP ポート宛の FINS レスポンスを受信した • ルーチングテーブルが未登録のときに、FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した • ルーチングテーブルの異常が発生しているときに、FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した • 中継回数オーバーの FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した • ルーチングテーブルに宛先アドレスが未設定のため送信不可 • ［内蔵 EtherNet/IP ポート設定］の［FINS ノードアドレス設定］が 0 または 255 のためルーチングできない				○		P.3-184

命令関連

命令で発生する異常（イベント）の一覧を示します。イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#0400 の場合は、54010400Hex のイベントコードの説明を参照してください。
命令のイベントコードは CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降でサポートされています。

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54010415Hex	ファームウェア異常	命令実行時に異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した		○				P.3-186
54010400Hex	入力値範囲外	命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えています。または、整数 0 で除算／剰余演算を行いました	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えている。または、整数 0 で除算／剰余演算を行った				○		P.3-186
54010401Hex	数値関係不正	命令の入力パラメータの値の関係が条件を満たしていません。または、命令実行演算中／結果の数値が条件を満たしませんでした	• 入力パラメータの値の関係が条件を満たしていない • 命令実行演算中／結果の数値が条件を満たしていない				○		P.3-187
54010402Hex	浮動小数点数エラー	命令の浮動小数点数の入力パラメータに対して数値以外が入力されました	• 命令の浮動小数点数の入力パラメータに対して数値以外が入力された				○		P.3-187
54010403Hex	非 BCD	命令の BCD の入力パラメータに対して BCD データでない値が入力されました	• 命令の BCD の入力パラメータに対して 16 進数の A、B、C、D、E、F が入力されました				○		P.3-188
54010404Hex	符号付き BCD エラー	命令の符号付き BCD データの入力パラメータに対して最上位けたに不正な値が入力されました	• 命令の符号付き BCD データの入力パラメータに対して最上位けたに不正な値が入力された • BCD フォーマットに「_BCD0」が指定されている場合は、最上位けたが 2～F となっている。 • BCD フォーマットに「_BCD2」が指定されている場合は、最上位けたが A,B,C,D,E のいずれかとなっている • BCD フォーマットに「_BCD3」が指定されている場合は、最上位けたが B,C,D,E となっている				○		P.3-188
54010405Hex	指定ビット位置不正	命令で指定されたビット位置が不正です	• 命令で指定されたビット位置が指定されたデータの範囲を超えている				○		P.3-189

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54010406Hex	領域範囲外指定	命令で指定されたデータのメモリアドレスやデータサイズが不適切です	• 命令で指定されたデータのメモリアドレスが、有効範囲外である。または、命令で指定されたデータのサイズが、有効範囲を超えている。変数のデータ型とデータサイズとが合っていないことなどが考えられる				○		P.3-189
54010407Hex	領域オーバー	命令の演算結果が、出力パラメータのデータ領域の範囲を超えています	• 配列要素数など、命令の処理結果が出力パラメータのデータ領域の範囲を超えている				○		P.3-190
54010409Hex	コントローラ異常解除失敗	コントローラ異常未発生の状態で、コントローラ異常解除命令を実行しました	• コントローラ異常未発生の状態で、コントローラ異常解除命令を実行した				○		P.3-190
5401040BHex	ユーザ異常解除失敗	ユーザ異常未発生の状態で、ユーザ異常解除命令を実行しました	• ユーザ異常未発生の状態で、ユーザ異常解除命令を実行した				○		P.3-191
5401040CHex	ユーザ異常最大件数	ユーザ異常命令で最大件数を超えるユーザ異常を発生させようとしました	• ユーザ異常命令で最大件数を超えるユーザ異常を発生させようとした				○		P.3-191
5401040DHex 〔NJ シリーズ〕	指定ユニット不正	命令で指定されたユニットが存在しません	• ユニット構成情報として存在しないユニットを指定した • ユニット構成情報に存在するが実体が存在しないユニットを指定した				○		P.3-192
5401040FHex 〔NJ シリーズ〕	ユニットリスタート失敗	高機能ユニットのリスタートに失敗しました	• 高機能ユニットが処理中				○		P.3-192
54010410Hex	文字列フォーマット異常	命令に入力された文字列が正しい文字列ではありません	• 文字列を数値に変換する命令の入力文字列が数値を表す文字列または正の数値を表す文字列でない • 入力文字列が NULL 文字で終わっていない				○		P.3-193
54010411Hex	指定プログラム不正	命令で指定されたプログラムが存在しません	• 該当命令で指定されたプログラムが存在していないか削除された				○		P.3-193
54010413Hex 〔NJ シリーズ〕	メモリ非アドレス指定	CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数が CJ ユニット用メモリに指定されていません	• CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数が CJ ユニット用メモリに AT 指定されていません				○		P.3-194
54010414Hex	スタックアンダーフロー	スタックにデータが存在しません	• データが存在しないスタックからデータを取り出そうとした				○		P.3-194
54010416Hex	配列の要素数・次元数不正	命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲を超えています	• 命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲を超えた				○		P.3-195
54010417Hex	指定タスク不正	命令で指定されたタスクが存在しません	• 指定したタスクが存在しない				○		P.3-195
54010418Hex	指定タスク不許可	命令で指定されたタスクが指定を許可されていません	• 自タスクを指定した、またはプライマリ周期タスクおよび周期タスクを指定した				○		P.3-196

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54010419Hex	データ型不正	命令で使用できない型のデータが入力／入出力に指定されています	• 命令で使用できない型のデータを入力／入出力に指定した				○		P.3-196
5401041AHex	命令多重起動	多重起動できない命令を多重起動しました	• 多重起動できない命令を複数同時に実行しようとした				○		P.3-197
5401041BHex（Ver.1.02 以降）	データ容量超過	命令に渡されたデータが大きすぎて処理できません	• 命令が処理できる容量よりも大きいデータが命令に渡された				○		P.3-197
5401041CHex（Ver.1.04 以降）	データサイズ不一致	命令の入力／入出力で指定されたデータが対象パラメータのサイズと一致しません	• 対象パラメータのサイズと一致しないサイズのデータを命令の入力／入出力に指定した				○		P.3-198
5401041DHex（Ver.1.05 以降）	命令同時実行リソースオーバ	同時に実行できる該当命令群のリソースを超えて命令が実行されました	• 同時に実行できる個数を超えて該当命令が実行された。				○		P.3-198
54010421Hex（Ver.1.50 以降）[NJ シリーズ, 形 NX102, 形 NX1P2]（Ver.1.32 以降）[形 NX701]	プログラムハッシュコード取得失敗	プログラムハッシュコードの取得に失敗しました	• ユーザプログラムの転送に失敗した。 • CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトに、命令が必要とする情報が含まれていなかった。 • 不揮発性メモリの故障				○		P.3-199
54010800Hex [NJ シリーズ, 形 NX102 ,形 NX502]	FINS 異常	FINS コマンドの送受信で異常が発生しました	• FINS コマンドの送受信で異常が発生した				○		P.3-199
54010801Hex [NJ シリーズ, 形 NX102 ,形 NX502]	FINS ポート使用不可	FINS ポートが使用中です	• FINS ポートが使用中				○		P.3-200
54010C00Hex [NJ シリーズ]	シリアル通信モード不正	シリアルコミュニケーションユニットが、命令の実行に必要なシリアル通信モードになっていません	• シリアルコミュニケーションユニットのシリアル通信ポートが、命令が前提とするモードに設定されていません				○		P.3-200
54010C03Hex（Ver.1.11 以降）	受信バッファフル	受信バッファがフルの状態になりました	• 受信バッファがフルになりました				○		P.3-201
54010C04Hex（Ver.1.11 以降）	ポート多重起動	同時に実行できないシリアル通信命令が実行されました	• 同時に実行できない命令の実行中に、当該命令が起動された				○		P.3-201
54010C05Hex（Ver.1.11 以降）	パリティエラー	受信データにパリティエラーが発生しました	• 通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない • ノイズ				○		P.3-202
54010C06Hex（Ver.1.11 以降）	フレーミングエラー	受信データにフレーミングエラーが発生しました	• 通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない • ノイズ				○		P.3-202
54010C07Hex（Ver.1.11 以降）	オーバーランエラー	受信データにオーバーランエラーが発生しました	• 伝送速度が速すぎるため、受信処理中に次のデータを受信した				○		P.3-203
54010C08Hex（Ver.1.11 以降）	CRC 不一致	受信データの CRC が一致しませんでした	• 誤ったメッセージを受信した • ノイズ				○		P.3-203

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54010C0BHex（Ver.1.11 以降）	シリアル通信タイムアウト	シリアル通信でタイムアウトが発生しました	• 相手デバイスとの配線ができていない • 相手デバイスの電源が入っていない • 通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない • ノイズ				○		P.3-204
54010C0CHex（Ver.1.11 以降）	対象外ポートへの命令実行	本命令の対象となっていないポートを指定して、命令を実行しました	• 本命令の対象となっていないポートを指定して、命令を実行した				○		P.3-204
54010C0DHex（Ver.1.13 以降）	CIF ユニット初期化	CIF ユニットが初期化されたため、CIF ユニットにバッファされていた送受信データが消失しました	CIF ユニットが初期化された				○		P.3-205
54010C10Hex（Ver.1.11 以降）	Modbus 例外レスポンス	Modbus のスレーブから例外コードが返ってきました	• Modbus スレーブで異常を検出した				○		P.3-205
54010C11Hex（Ver.1.11 以降）	Modbus レスポンス不正	Modebus スレーブからのレスポンスが想定外のものでした	• Modebus スレーブからのレスポンスの Function Code またはデータサイズが不正				○		P.3-206
54011400Hex	SD メモリカード使用不可	命令実行時に SD メモリカードへのアクセスに失敗しました	• SD メモリカードが取り付けられていないか正しく挿入されていない • SD メモリカードが壊れている • SD メモリカードスロットが壊れている				○		P.3-206
54011401Hex	SD メモリカードライトプロテクト	命令実行時に、ライトプロテクトされている SD メモリカードへ書込を行おうとしました	• ライトプロテクトされている SD メモリカードへ書込を行おうとした				○		P.3-207
54011402Hex	SD メモリカード容量不足	命令実行中の SD メモリカードへの書込時に、SD メモリカードの容量不足が発生しました	• SD メモリカードの容量不足が発生した				○		P.3-207
54011403Hex	指定ファイル不正	命令で指定されたファイルが存在しません。または、指定されたファイルが破損しています	• 指定されたファイルが存在しない • 指定されたファイルが破損している • 接触不良などにより、SD カードに正常にアクセスできない				○		P.3-208
54011404Hex	ファイル・ディレクトリ最大数超過	命令実行中のファイル／ディレクトリ作成時に、ファイル／ディレクトリ数が最大数を超えました	• ファイル／ディレクトリ数が最大数を超えた				○		P.3-208
54011405Hex	ファイルアクセス中	命令で指定したファイルが使用中のためアクセスできませんでした	• 他の命令によりアクセス中のファイルに、別の命令で書込や読出を行おうとした				○		P.3-209
54011406Hex	オープンモード不一致	命令でのファイル操作がファイルのオープンモードと一致していません	• ファイルオープン命令で指定されたファイルのオープンモードと、その後の SD メモリカード用命令によるファイル操作に不整合がある				○		P.3-209

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54011407Hex	オフセット範囲外	命令で指定したオフセットで指定されるアドレスにアクセスできません	• ファイルサイズを超えてアクセスしようとした				○		P.3-210
54011408Hex	空ディレクトリ以外	ディレクトリ削除命令を実行、またはディレクトリの名称を変更しようとしましたが、ディレクトリの中身が空ではありません	• ディレクトリ削除命令を実行しようとしたが、ディレクトリの中身が空でない • ディレクトリの名称を変更しようとしたが、ディレクトリの中にディレクトリが存在する				○		P.3-210
54011409Hex	同一ファイル名あり	命令で指定されたファイルと同一名のファイルが存在するため、命令を実行できませんでした	• 命令で指定された作成ファイルと同一名のファイルがすでに存在している				○		P.3-211
5401140AHex	指定ファイル書込禁止	命令実行時に、ライトプロテクトされているファイルまたはディレクトリへ書込を行おうとしました	• 命令で指定された書込ファイルまたはディレクトリにライトプロテクトがかかっている				○		P.3-211
5401140BHex	ファイルオープン最大数超過	命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えました	• 命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えた				○		P.3-212
5401140CHex	指定ディレクトリ不正	命令で指定されたディレクトリが存在しません	• 命令で指定されたディレクトリが存在しない				○		P.3-212
5401140DHex	ファイル・ディレクトリ名最大長超過	命令で指定されたファイル名またはディレクトリ名が長すぎます	• 命令で指定された作成ファイル名または作成ディレクトリ名が長すぎる				○		P.3-213
5401140EHex	SD メモリカードアクセス失敗	SD メモリカードのアクセスに失敗しました	• SD メモリカードが壊れている • SD メモリカードスロットが壊れている				○		P.3-213
5401140FHex（Ver.1.08 以降）	バックアップ機能既実行	他のバックアップ機能が動作しています	• 他のバックアップ機能が動作している				○		P.3-214
54011410Hex（Ver.1.08 以降）	バックアップ実行不可	他の機能が実行中のためバックアップが実行できませんでした	• オンラインエディットの実行中に命令を実行した • カムテーブル保存命令の実行中に命令を実行した • CPU ユニット名称更新の実行中に命令を実行した				○		P.3-214
54011411Hex（Ver.1.08 以降）	ユニット／スレーブバックアップ失敗	ユニット／スレーブのバックアップに失敗しました	• ユニット／スレーブのバックアップに失敗した				○		P.3-215
54011800Hex	EtherCAT 通信エラー	命令実行時に、EtherCAT ネットワークへのアクセスに失敗しました	• EtherCAT ネットワークが実行可能状態でない				○		P.3-215
54011801Hex	EtherCAT スレーブ不在	命令実行時に、対象スレーブへのアクセスに失敗しました	• 対象スレーブが存在しない • 対象スレーブが実行可能状態ではない				○		P.3-216

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54011802Hex	EtherCAT タイムアウト	命令実行時に、EtherCAT スレーブへのアクセスがタイムアウトしました	• 対象スレーブとの通信がタイムアウトした				○		P.3-216
54011803Hex	受信バッファオーバー	命令実行時に、EtherCAT スレーブからの受信データが受信バッファをオーバーしました	• スレーブからの受信データサイズが受信バッファをオーバーした				○		P.3-217
54011804Hex	SDO アボートエラー	命令実行時に、EtherCAT スレーブから SDO アボートエラーを受信しました	• スレーブ仕様に依存				○		P.3-217
54011805Hex	パケットモニタ保存中	EtherCAT のパケットモニタファイル保存中にパケットモニタ操作関連命令が実行されました	• EtherCAT のパケットモニタの保存中にパケットモニタ操作関連命令が実行された				○		P.3-218
54011806Hex	パケットモニタ機能未開始	EtherCAT のパケットモニタ停止中にパケットモニタ停止命令が実行されました	• EtherCAT のパケットモニタ機能の停止中にパケットモニタ停止命令を実行した				○		P.3-218
54011807Hex	パケットモニタ機能動作中	EtherCAT のパケットモニタ動作中にパケットモニタ開始命令が実行されました	• EtherCAT のパケットモニタ機能の動作中に再度パケットモニタ開始命令を実行した				○		P.3-219
54011808Hex	通信リソースオーバー	同時に 32 個を超える EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が実行されました	• 同時に 32 個を超える EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が実行された。EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令は以下のとおり • EC_CoESDOWrite 命令 • EC_CoESDORead 命令 • EC_ConnectSlave 命令 • EC_DisconnectSlave 命令 • EC_ChangeEnableSetting 命令 • EC_StartMon 命令 • EC_SaveMon 命令 • EC_StopMon 命令 • EC_CopyMon 命令 • IOL_ReadObj 命令 • IOL_WriteObj 命令 • EC_GetMasterStatistics 命令 • EC_ClearMasterStatistics 命令 • EC_GetSlaveStatistics 命令 • EC_ClearSlaveStatistics 命令				○		P.3-220
54011809Hex（Ver.1.01 以降）	パケットモニタ機能非サポート	パケットモニタ機能は、使用できません。	• パケットモニタ機能を搭載していない CPU ユニットに対して、パケットモニタ機能の命令が実行された				○		P.3-221

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401180AHex（Ver.1.40 以降）	対象スレーブへの命令実行不可	命令が実行できない状態のスレーブに対して命令を実行しました	• 無効状態のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令または EC_ConnectSlave 命令を実行した • 離脱状態のスレーブに対して、EC_ChangeEnableSetting 命令を実行した • リングトポロジ上のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令または EC_ChangeEnableSetting 命令を実行した				○		P.3-222
5401180DHex（Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降）	診断・統計情報ログ機能実行中	診断・統計情報ログ機能が動作中のため、マスタ／スレーブ診断・統計情報命令が実行できません	• 診断・統計情報ログ機能が動作中に、マスタ診断・統計情報命令（EC_GetMasterStatistics,EC_ClearMasterStatistics）、またはスレーブ診断・統計情報命令（EC_GetSlaveStatistics,EC_ClearSlaveStatistics）が実行された				○		P.3-223
5401180EHex（Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降）	マスタ診断・統計情報命令多重起動不可	同時に複数のマスタ診断・統計情報命令を実行したため、マスタ診断・統計情報命令が実行できません	• マスタ診断・統計情報命令（EC_GetMasterStatistics,EC_ClearMasterStatistics）を実行中に、同時にマスタ診断・統計情報命令を実行した				○		P.3-223
5401180FHex（Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降）	スレーブ診断・統計情報命令多重起動不可	同時に複数のスレーブ診断・統計情報命令を実行したため、スレーブ診断・統計情報命令が実行できません	• スレーブ診断・統計情報命令（EC_GetSlaveStatistics,EC_ClearSlaveStatistics）を実行中に、同時にスレーブ診断・統計情報命令を実行した				○		P.3-224
54011C00Hex	Explicit 異常	CIP 通信命令にて Explicit メッセージでエラーレスポンスコードが返ってきました	• 異常の内容に依存				○		P.3-224
54011C01Hex	ルートパス不正	CIP 通信命令で指定したルートパスのフォーマットが不正です	• CIP 通信命令で指定したルートパスのフォーマットが不正 • CIP 通信命令で指定したホスト名のアドレス解決に失敗した				○		P.3-225
54011C02Hex	CIP ハンドル不正	CIP 通信命令で指定したハンドルが不正です	• CIP 通信命令で指定したハンドルが不正				○		P.3-225
54011C03Hex	CIP 通信リソースオーバー	同時に実行できる CIP 通信命令のリソースを超えて命令が実行されました	• 同時に 32 個を超える CIP 通信命令が実行された • 同時に 32 個を超えるハンドルを使用しようとした				○		P.3-226

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54011C04Hex	CIP タイムアウト	CIP 通信命令の実行中にタイムアウトが発生しました	• 指定した IP アドレスのデバイスが存在しない • 指定したハンドルの CIP のコネクションがタイムアウトしたため閉じられている • 相手デバイスの電源 OFF • 相手デバイスの通信停止 • 相手デバイスの CIP メッセージ通信停止 • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • 相手デバイスおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、該当命令のパケットが許可されていない • ノイズ				○		P.3-227
54011C05Hex（Ver.1.06 以降）	Class3 コネクション確立失敗	CIP 通信命令で、Class3 コネクションの確立に失敗しました	• Class3(Large_Forward_Open)に対応していないデバイスに対して、CIPOepn 命令を実行した • Class3(Large_Forward_Open)に対応していないデバイスに対して、データサイズを 510 バイト以上に設定して CIPOpenWithDataSize 命令を実行した				○		P.3-228
54011C06Hex（Ver.1.06 以降）	CIP 通信データサイズオーバー	CIP 通信命令で、送信可能なデータサイズを超える Class3Explicit メッセージを送信しようとしました	• CIPRead 命令、CIPWrite 命令、CIPSend 命令の入力変数で設定したデータサイズが、CIPOpenWithDataSize 命令で設定したデータサイズを超えた				○		P.3-228
54012000Hex	自 IP アドレス設定エラー	自 IP アドレスの設定エラーが発生している状態で、命令を実行しました	• 自 IP アドレスの設定エラーが発生している状態で、命令を実行した				○		P.3-229
54012001Hex	TCP/UDP ポート使用不可	命令実行時に、UDP または、TCP ポートがすでに使用されています	• UDP、または TCP ポートがすでに使用されている				○		P.3-229
54012002Hex	アドレス解決失敗	命令でホスト名指定した相手ノードのアドレス解決に失敗しました	• 該当命令で指定したホスト名が間違っている • コントローラの hosts 設定／DNS 設定が間違っている • DNS サーバの設定が間違っている				○		P.3-230
54012003Hex	ソケット状態異常	ソケットサービス命令実行時の状態が適切ではありません	• SktUDPCreate 命令の場合 入力変数「SrcUdpPort」で指定した UDP ポートが下記のいずれか • すでにオープン済み • クローズ処理中 • SktUDPRcv 命令の場合 • 指定したソケットが受信処理中 • 指定したソケットがクローズされた				○		P.3-231

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
			• SktUDPSend 命令の場合 • 指定したソケットが送信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • SktTCPAccept 命令の場合 指定した TCP ポートが下記のいずれか • オープン処理中 • クローズ処理中 • 同一の IP アドレス、TCP ポートから、本命令がすでにコネクション確立している • SktTCPConnect 命令の場合 • 入力変数「SrcTcpPort」で指定した TCP ポートがすでにオープン済み • 入力変数「DstAdr」で指定した相手ノードが存在しない • 入力変数「DstAdr」、「DstTcpPort」で指定した相手ノードがコネクト待ちでない • SktTCPRcv 命令の場合 • 指定したソケットが受信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • SktTCPSend 命令の場合 • 指定したソケットが送信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • 指定したソケットの送信バッファがいっぱいである（接続先が電源 OFF、回線切断等） • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • SktClearBuf の場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • ［形 NX102, 形 NX1P2 CPU ユニットバージョン Ver.1.50 以降、および形 NX502 Ver.1.60 以降］ SktTLSConnect の場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている						

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
			• ［形 NX102, 形 NX502］ ModbusTCPCmd の場合 　• ソケット処理中の場合 　• ソケットが閉じられている場合 　• 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • ［形 NX102, 形 NX502］ ModbusTCPRead の場合 　• ソケット処理中の場合 　• ソケットが閉じられている場合 　• 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • ［形 NX102, 形 NX502］ ModbusTCPWrite の場合 　• ソケット処理中の場合 　• ソケットが閉じられている場合 　• 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • SktSetOption 命令の場合 　• 指定したソケットが既に送受信を開始している 　• 指定したソケットが対応していないオプションタイプを指定した						
54012004Hex	自 IP アドレス未決定	ソケットサービス命令実行時に自 IP アドレスが決定されていません	• BOOTP サーバの設定異常 • BOOTP サーバが不在 • 起動直後で自 IP アドレスが未決定				○		P.3-233
54012006Hex	ソケットタイムアウト	ソケットサービス命令でタイムアウトが発生しました	• SktTCPAccept 命令：ユーザの指定したタイムアウト時間以内に相手ノードからのコネクション要求がなかった • SktTCPRcv 命令、SktUDPRcv 命令：ユーザの指定したタイムアウト時間以内に相手ノードからのデータが受信できなかった				○		P.3-234
54012007Hex	ソケットハンドル不正	ソケットサービス命令で指定したハンドルが不正です	• ソケットサービス命令で指定したハンドルが不正				○		P.3-235
54012008Hex	ソケット通信リソースオーバー	同時に実行できるソケットサービス命令のリソースを超えて命令が実行されました	• 同時に 32 個（形 NX102 は 64 個）を超えるソケットサービス命令が実行された • 同時に 30 個（形 NX102 では 60 個、CPU ユニット Ver.1.02 以前では 16 個）を超えるソケットハンドルを使用しようとした				○		P.3-235

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401200AHex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00]	TLS セッション名不正	指定した TLS セッション名がセキュアソケット設定にありません	セキュアソケット設定に指定された TLS セッション名が設定されていない				○		P.3-236
5401200BHex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00]	証明書アクセス失敗	証明書およびセキュアソケット設定が転送されていないか、証明書にパスワードが設定されているため、証明書にアクセスできませんでした	• コントローラにクライアント証明書が転送されていない • 転送されたクライアント証明書にパスワードが設定されている • セキュアソケット設定が存在しない、もしくはセキュアソケット設定の内容が誤っている				○		P.3-237
5401200CHex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00]	TLS セッション確立エラー	TLS セッションの確立に失敗しました	• コントローラにクライアント証明書が転送されていない • クライアント秘密鍵の内容が不正 • セキュアソケット通信の確立に失敗しました				○		P.3-238
5401200EHex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00]	TLS セッションハンドル不正	セキュアソケットサービス命令で指定した TLS セッションハンドルが不正です	セキュアソケットサービス命令で指定した TLS セッションハンドルが不正				○		P.3-239
5401200FHex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00]	TLS のエラー	セキュアソケット通信中にエラーが発生しました	セキュアソケット通信中にエラーが発生した				○		P.3-239

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54012400Hex（Ver.1.02 以降）	実行権限なし	実行が不可能な状態で EtherNet/IP ポートの設定を変更する命令を実行しました	• EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポートのリスタート中に、EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令を実行した • CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットのリスタート中に、そのユニットの設定を変更する命令を実行した • 命令または CIP メッセージによる EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポートの設定変更中に、EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令を実行した • 命令または CIP メッセージによる CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定変更中に、そのユニットの設定を変更する命令を実行した • 命令で指定したユニット（または、号機番号）が EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポート、CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットでない				○		P.3-240
54012401Hex（Ver.1.02 以降）	設定反映失敗	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットで変更された設定が反映できませんでした	• CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令の実行中に、そのユニットまたは内蔵 EtherNet/IP ポートがリスタートした				○		P.3-241
54012402Hex（Ver.1.02 以降）	命令同時実行数オーバー	コントローラ通信設定の命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました	• 同時に 2 つ以上のコントローラ通信設定の命令が実行された				○		P.3-241
54012403Hex（Ver.1.08 以降）	FTP クライアント実行数オーバー	FTP クライアント通信命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました	• 同時に 4 つ以上の FTP クライアント通信命令が実行された				○		P.3-242
54012404Hex（Ver.1.08 以降）	ファイル数制限オーバー	FTP クライアント通信命令で、ワイルドカード指定の対象となるファイルが 1000 個を超えています	• FTP クライアント通信命令で、ファイル名をワイルドカード指定した場合に、対象となるファイルが 1000 個を超えている				○		P.3-242
54012405Hex（Ver.1.08 以降）	指定ディレクトリ不正(FTP)	FTP クライアント通信命令で、指定したディレクトリがコントローラに存在しないか、または不正なパスを指定しました	• FTP クライアント通信命令で、指定したディレクトリがコントローラに存在しないか、または不正なパスを指定した				○		P.3-243

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54012406Hex（Ver.1.08 以降）	FTP サーバ接続失敗	FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバが、ネットワーク上に存在しないか FTP サービスを停止しています	• FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバがネットワーク上に存在しない • FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバが FTP サービスを停止している • 指定した接続先 FTP サーバおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、FTP 通信が許可されていない				○		P.3-243
54012407Hex（Ver.1.08 以降）	接続先 FTP サーバ実行失敗	FTP クライアント通信命令で、接続先 FTP サーバからエラーが返ってきました	• FTP クライアント通信命令で、接続先 FTP サーバに要求した処理が、接続先 FTP サーバ側で実行に失敗した • コントローラの Packet Filter 機能が有効の場合に FTP サーバからのパケットが許可されていない[*1]				○		P.3-244
54012408Hex（Ver.1.08 以降）	SD メモリカードアクセス失敗(FTP)	FTP クライアントから SD メモリカードへのアクセスに失敗しました	• SD メモリカードが未装着 • FTP クライアント通信命令の実行中に SD メモリカードが抜き取られた • SD メモリカードの容量が不足している • SD メモリカードがライトプロテクトされている				○		P.3-245
54012409Hex（Ver.1.08 以降）	指定ファイル不在	FTP クライアント通信命令で、指定したファイルがコントローラに存在しません	• FTP クライアント通信命令で、指定したファイルがコントローラに存在しない				○		P.3-245
5401240AHex（Ver.1.08 以降）	指定ファイル上書き禁止	FTP クライアント通信命令で、同名のファイルを上書きしない指定としているため転送しませんでした	• FTP クライアント通信命令で、上書き指定が「ファイルを上書きしない」であり、指定したファイル名と同名のファイルが転送先に存在しているため転送しなかった				○		P.3-246
5401240BHex（Ver.1.08 以降）	指定ファイル削除失敗	FTP クライアント通信命令で、転送済みファイルを削除できませんでした	• FTP クライアント通信命令で、転送後ファイル削除指定が「転送済みファイルを削除する」となっているが、指定したファイルの属性が読み取り専用のため削除できなかった • FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されているため削除できなかった				○		P.3-246
5401240CHex（Ver.1.08 以降）	指定ファイルアクセス失敗	FTP クライアント通信命令で、ファイルのアクセスに失敗したため、FTP 転送に失敗しました	• FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されている • FTP クライアント通信命令で、指定した書込ファイルまたはディレクトリにライトプロテクトがかかっている				○		P.3-247

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401240DHex（Ver.1.10 以降）	IP アドレス設定不正	命令で指定されたポートの IP アドレス設定と他ポート設定との間で設定不正があるため、命令を実行できませんでした	• 命令で指定されたポートのネットワークアドレスが、他ポートのネットワークアドレスと重複している • 命令で指定されたポートと他ポートの設定がすべて未使用となっている				○		P.3-248
54012C00Hex（Ver.1.05 以降）	NX メッセージ異常	NX メッセージでエラーレスポンスが返ってきました	• 異常の内容に依存				○		P.3-248
54012C01Hex（Ver.1.05 以降）	NX メッセージリソースオーバー	同時に実行できる NX メッセージ命令のリソースを超えて命令が実行されました	• 同時に 32 個を超える NX メッセージ命令が実行された				○		P.3-249
54012C02Hex（Ver.1.05 以降）	NX メッセージタイムアウト	NX メッセージの実行中にタイムアウトが発生しました	• 指定した NX ユニットが存在しない • NX メッセージがタイムアウトしたため閉じられている • 相手ユニットの電源 OFF • 相手ユニットの通信停止 • 通信ケーブルのコネクタはずれ • 通信ケーブルの断線 • ノイズ				○		P.3-249
54012C03Hex（Ver.1.05 以降）	NX メッセージ長不正	NX メッセージの長さが不正です	• WriteDat または Path で指定したサイズが長すぎる				○		P.3-250
54012C05Hex（Ver.1.05 以降）	NX メッセージネットワーク異常（EtherCAT）	NX メッセージの経路上の EtherCAT 通信で異常が発生しました	• NX メッセージの経路のうち EtherCAT 通信で異常が発生している				○		P.3-250
54012C06Hex（Ver.1.05 以降）	指定ユニット外部リスタート既実行	命令実行時に、すでに Sysmac Studio からリスタートが実行されています	• 命令実行時に、すでに Sysmac Studio からリスタートが実行されている				○		P.3-251
54012C07Hex（Ver.1.05 以降）	命令対象外ユニット指定	指定したユニットのスレーブノードアドレスに、該当命令の対象外のスレーブが接続されています	• 指定したユニットのスレーブノードアドレスに、該当命令の対象外のスレーブが接続されている				○		P.3-251
54012C08Hex（Ver.1.10 以降）	累積通電時間記録不正	累積通電時間の読み出しに失敗しました	• 不揮発性メモリの故障				○		P.3-252
54013461Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	PDO マッピングが正しくありません	• モーション命令で必要な PDO マッピングがされていない • 該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した • オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸に対して、トリガ条件として Z 相（_mcEncoderMark）を指定してモーション命令を起動した				○		P.3-252
54014800Hex（Ver.1.12 以降）	デバイスエラー受信	デバイスからのエラーレスポンスを受信しました	• デバイスからエラーレスポンスを受信した				○		P.3-253
54014801Hex（Ver.1.12 以降）	指定ユニット不在	指定したユニットが存在しません	• 指定した位置に IO-Link マスタユニットが接続／装着されていない				○		P.3-253

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54014802Hex（Ver.1.12 以降）	メッセージ処理数オーバー	IO-Link マスタが他のアプリケーションからのメッセージを処理中なので命令を実行できません	• IO-Link マスタが他のアプリケーション（命令実行または、ツール接続）からのメッセージを処理中のため、命令を実行できない				○		P.3-254
54014803Hex（Ver.1.12 以降）	指定ユニット状態異常	指定したユニットがメッセージを受け付けられる状態ではありません	• 指定したユニットがメッセージを受け付けられる状態ではありません				○		P.3-254
54014804Hex（Ver.1.12 以降）	同時実行数オーバー	同時に実行できる命令数を超えています	• 同時に実行する NX メッセージ命令と EtherCAT 通信命令の合計数が 32 個を超えた				○		P.3-255
54014805Hex（Ver.1.12 以降）	通信タイムアウト	通信実行中にタイムアウトが発生しました	• メッセージ応答時間より通信タイムアウト時間が小さい • EtherCAT または IO-Link のケーブルの断線 • ノイズ • デバイスの故障				○		P.3-255
54014806Hex（Ver.1.12 以降）	モード不正	指定した IO-Link マスタのポートが IO-Link モードではありません	• 指定した IO-Link マスタのポートが IO-Link モードでない				○		P.3-256
54014807Hex（Ver.1.12 以降）	I/O 電源 OFF 状態	指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源が供給されていません	• 指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源が供給されていない				○		P.3-256
54014808Hex（Ver.1.12 以降）	照合異常発生	指定した IO-Link マスタのポートに照合異常または通信異常が発生しています	• 指定した IO-Link マスタのポートに照合異常または通信異常が発生している				○		P.3-257
54014809Hex（Ver.1.12 以降）	デバイスポート設定不正	デバイスポートの設定が正しくありません	• デバイスポートの設定が正しくない				○		P.3-257
54015420Hex	電子ギア分子設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumerator」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-258
54015421Hex	電子ギア分母設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominator」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-258
54015422Hex	目標速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-258
54015423Hex	加速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-259
54015424Hex	減速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-259

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015425Hex	ジャーク設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Jerk」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-259
54015427Hex	トルク傾斜設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TorqueRamp」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-260
54015428Hex	主軸係数設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterScaling」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-260
54015429Hex	従軸係数設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveScaling」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-260
5401542AHex	定寸速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「FeedVelocity」に指定されたパラメータが範囲外です	• 定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）が初期値のまま（0）である				○		P.3-261
5401542BHex	バッファモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-261
5401542CHex	座標系選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-261
5401542DHex	円弧補間モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CircMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-262
5401542EHex	方向選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-262
5401542FHex	経路選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「PathChoice」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-262
54015430Hex	位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceType」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-263
54015431Hex	移動方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-263

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015432Hex	トランジションモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ「TransitionMode」を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定				○		P.3-264
54015433Hex	継続方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更されました	• 入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更された				○		P.3-264
54015434Hex	加減算方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CombineMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-265
54015435Hex	同期開始条件指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「LinkOption」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-265
54015436Hex	主軸従軸同一	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが同一				○		P.3-265
54015437Hex	主軸補助軸同一	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」のパラメータが同一				○		P.3-266
54015438Hex	主軸／従軸軸番号非昇順	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸番号が昇順ではありません	• 命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」指定時、命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが非昇順				○		P.3-266
54015439Hex	カムテーブル指定不正	モーション制御命令の入力変数「CamTable」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力変数「CamTable」にカムデータ変数以外を指定				○		P.3-267

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401543AHex	同期停止中	モーション制御の同期制御命令が実行されましたが、実行可能な条件ではありません	• MC_CamOut（カム動作解除）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令実行中でない • MC_GearOut（ギア動作解除）命令が実行されたが MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令実行中でない • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令、MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令が実行中でない				○		P.3-267
5401543BHex	モーション命令再起動不可	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました	• 再起動できないモーション制御命令の再起動				○		P.3-268
5401543CHex	モーション命令多重起動不可	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました	• 同じ対象（MC 共通／軸）に対して同時に実行できない機能を複数実行				○		P.3-268
5401543DHex	軸種別不適合	エンコーダ軸に対して動作命令を実行しました	• エンコーダ軸に対して動作命令を実行				○		P.3-269
5401543EHex	多軸協調動作中の命令起動不可	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました • 軸グループ有効状態では使用できないロボット命令を実行しました	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行 • 軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform 命令を実行				○		P.3-269
5401543FHex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました	• 軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動 • 軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_RobotJog				○		P.3-270
54015440Hex	軸グループ有効不可	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令の実行に失敗しました	• MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に停止中でない軸が存在した • MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令実行中の軸が存在した				○		P.3-270

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015441Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました	• サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行 • MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した				○		P.3-271
54015442Hex	構成軸強制停止中エラー	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました	• 構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した				○		P.3-271
54015443Hex	モーション命令多重起動数オーバー	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました	• 軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた • 軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた				○		P.3-272
54015444Hex	移動量不足	位置決め命令の多重起動／再起動時に、指定された減速度または加速度で指定通りの動作が実行できません	• ［加減速オーバー］を「異常として停止する」に設定しているときに、位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度／加速度での目標位置停止ができない				○		P.3-272
54015445Hex	ブレンディング中継速度に到達するための移動量不足	中継速度に加減速するための移動量が不足しています	• ［加減速オーバー］に「異常として停止する」が設定されているときに、現指令を中継速度に加減速するための移動量が不足した				○		P.3-273
54015446Hex	台形パターンカム等速移動量不足	主軸の等速移動量が「0」未満です	• MC_MoveLink（台形パターンカム）命令において、主軸の等速移動量が「0」未満				○		P.3-273
54015447Hex	位置指定ギア動作目標速度不足	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、従軸の「目標速度」が小さいため、必要な速度に到達しません	• MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、入力変数「Velocity（目標速度）」の値が（命令起動時の主軸速度×ギア比）より小さい				○		P.3-274
54015448Hex	円弧補間始点終点同一	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に始点と終点が同じ位置です。または、通過点指定方式の指定時に始点と終点と通過点が同じ位置です	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、始点と終点の位置が同一 • MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式が指定され、始点と終点と通過点の位置が同一				○		P.3-274
54015449Hex	円弧補間中心点指定位置範囲外	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式の指定時に、中心点の位置指定が許容範囲を超えています	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式が指定され、始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の［中心点補正許容率］で指定した許容範囲を超えた				○		P.3-275

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401544AHex	カウントモード設定による命令起動異常	カウントモードがロータリモードに設定されている軸に対してロータリモードで使用できない命令を実行しました	• カウントモードがロータリモードに設定されている軸をロータリモードで使用できない命令で使用				○		P.3-275
5401544CHex	パラメータ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-275
5401544DHex	停止方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「StopMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-276
5401544EHex	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::LatchID」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-276
5401544FHex	MC 設定書込の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • パラメータ指定と設定値のデータ型が一致していない				○		P.3-276
54015450Hex	トリガ入力条件のモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::Mode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-277
54015451Hex	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::InputDrive」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-277
54015453Hex	モーション命令再起動不可（軸指定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Axis」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-277
54015454Hex	モーション命令再起動不可（バッファモード選択）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「BufferMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-278
54015455Hex	モーション命令再起動不可（方向選択）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Direction」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-278
54015456Hex	モーション命令再起動不可（繰り返しモード）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Periodic」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-279

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015457Hex	モーション命令再起動不可（軸グループ指定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「AxesGroup」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-279
54015458Hex	モーション命令再起動不可（躍動設定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Jerk」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-280
54015459Hex	モーション命令再起動不可（主軸）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Master」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-280
5401545AHex	モーション命令再起動不可（MasterOffset）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterOffset」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-281
5401545BHex	モーション命令再起動不可（MasterScaling）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterScaling」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-281
5401545CHex	モーション命令再起動不可（MasterStartDistance）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterStartDistance」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-282
5401545DHex	モーション命令再起動不可（Continuous）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Continuous」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-282
5401545EHex	モーション命令再起動不可（MoveMode）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MoveMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-283
5401545FHex	補助軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在していません	• 命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在しない変数				○		P.3-283
54015460Hex	軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在していません	• 命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在しない変数				○		P.3-283

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015461Hex	軸グループ指定不正	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません	• 命令の「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数 • 命令の「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない				○		P.3-284
54015462Hex	主軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Master」に指定された軸が不正です	• 命令の入力変数「Master」に指定された軸が存在しない変数 • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の場合に、入力変数「Master」に指定された軸が同期主軸でない • 主軸と従軸を割り付けているタスクが同一でない				○		P.3-284
54015463Hex	モーション命令再起動不可（SlaveOffset）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveOffset」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-285
54015464Hex	モーション命令再起動不可（SlaveScaling）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveScaling」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-285
54015465Hex	モーション命令再起動不可（StartPosition）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartPosition」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-286
54015466Hex	原点未確定状態での命令起動異常	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令が実行されました	• 原点未確定状態で高速原点復帰が実行された • 原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令が実行された • 原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令を実行 MC_SetKinTransform MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_GroupMon MC_RobotJog				○		P.3-286
54015467Hex	モーション命令再起動不可（位置種別）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「ReferenceType」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-287
54015468Hex	未使用軸指定（主軸）	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸です	• モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸				○		P.3-287

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015469Hex	開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-287
5401546AHex	終了位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-288
5401546BHex	開始位置／終了位置・大小関係不正（リニアモード）	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータよりも小さい値です	• カウントモードがリニアモードの時、命令の入力パラメータで「LastPosition」の値が「FirstPosition」の値よりも小さい				○		P.3-288
5401546CHex	主軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-288
5401546DHex	従軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-289
5401546EHex	トリガ入力条件のラッチ ID 重複	モーション制御命令で指定されたラッチ ID が複数の命令で重複しています	• MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同じラッチ ID が同時に使用されている • MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令以外で使用中のラッチを MC_AbortTrigger（外部ラッチ無効）命令で中止しようとした				○		P.3-289
5401546FHex	ジャークオーバーライド値範囲外	モーション制御命令の入力変数「JerkFactor」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-290
54015470Hex	加減速度オーバーライド値範囲外	モーション制御命令の入力変数「AccFactor」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-290
54015471Hex	開始位置方式指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「StartMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-290
54015472Hex	モーション命令再起動不可（開始位置方式）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した				○		P.3-291

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015474Hex	未使用軸指定（補助軸）	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸です	• 命令の「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸				○		P.3-291
54015475Hex	位置指定ギア指定値異常	モーション制御命令に入力された速度／加速度／減速度では同期動作できません	• 命令に入力された速度／加速度／減速度では指定された同期の動作を行えない				○		P.3-291
54015476Hex	位置指定ギア主軸速度ゼロ	モーション制御命令の起動時に主軸の速度が「0」です	• 命令の起動時に主軸の速度が「0」				○		P.3-292
54015478Hex	目標位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外				○		P.3-292
54015479Hex	移動距離範囲外	モーション制御命令の入力変数「Distance」に指定されたパラメータが範囲外、または「Distance」の値を加算した目標位置が範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている • リニアモードの軸において、移動距離を加算した目標位置をパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-293
5401547AHex	カムテーブル始点位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「StartPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-293
5401547BHex	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterStartDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-293
5401547CHex	円弧補間半径指定異常	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に指定された半径で円弧の軌跡が作成できません	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、指定された半径では円弧の軌跡が作成できない				○		P.3-294
5401547DHex	円弧補間半径オーバーフロー	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径が最大値を超えました	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えた				○		P.3-294
5401547EHex	円弧軸指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CircAxes」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「CircAxes」に指定された軸が軸グループ設定の構成軸に含まれていない • 「CircAxes」の 2 軸に同一の軸を指定している				○		P.3-295

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401547FHex	補助軸／従軸・軸番号非昇順	モーション制御命令で指定された入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータの値が昇順に並んでいません	• 命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが非昇順				○		P.3-295
54015480Hex	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明しました。または、計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明しました	• 有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明した • 計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明した				○		P.3-296
54015481Hex	MC 設定書込の対象範囲外	モーション制御命令の入力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-296
54015482Hex	主軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-296
54015483Hex	主軸加速移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInACC」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-297
54015484Hex	主軸減速移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInDEC」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-297
54015487Hex	実行モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ExecutionMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-297
54015488Hex	軸間偏差許容値範囲外	モーション制御命令の入力変数「PermittedDeviation」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-298
54015489Hex	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが範囲外です	• 通過点指定または中心指定の場合、「AuxPoint」の値をパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている • 半径指定の場合、「AuxPoint[0]」の絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-298
5401548AHex	終点指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「EndPoint」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-298

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401548BHex	従軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-299
5401548CHex	位相補正量範囲外	モーション制御命令の入力変数「PhaseShift」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-299
5401548DHex	定寸距離範囲外	モーション制御命令の入力変数「FeedDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-299
5401548EHex	補助軸／従軸同一	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが同一				○		P.3-300
5401548FHex	相対位置選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Relative」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-300
54015490Hex	カムトランジション指定選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamTransition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-300
54015491Hex	同期制御解除モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「OutMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-301
54015492Hex	外部ラッチ有効命令実行不可	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行しました	• エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行した				○		P.3-301
54015493Hex	主軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterOffset」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-301
54015494Hex	従軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveOffset」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-302
54015495Hex	指令現在位置カウント選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CmdPosMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-302

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015496Hex	主軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-302
54015497Hex	主軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-303
54015498Hex	補助軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-303
54015499Hex	補助軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-303
5401549AHex	主軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-304
5401549BHex	補助軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-304
5401549CHex	目標位置リングカウンタ範囲外	実行された命令の目標位置がリングカウンタの範囲外のため、動作することができません	• リングカウンタ範囲に 0 が含まれない設定のときに、高速原点復帰が実行された				○		P.3-304
5401549DHex（Ver.1.01 以降）	軸グループ構成軸設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Axes」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 軸グループの構成軸を割り付けているタスクが同一でない				○		P.3-305
5401549EHex（Ver.1.04 以降）	軸使用設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AxisUse」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-305
54015700Hex（Ver.1.03 以降）	原点復帰パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-306

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015702Hex（Ver.1.04 以降）	軸未使用切り替え異常	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました	• 停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した				○		P.3-306
54015703Hex（Ver.1.06 以降）	軸使用切り替え不可	使用実軸最大数または使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました	• 使用実軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した • 使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した				○		P.3-307
54015720Hex（Ver.1.04 以降）	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常	使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が不正です	• MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、未使用軸から使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が正しくない • モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した • 不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命				○		P.3-307
54015721Hex（Ver.1.04 以降）	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが設定されていません	• 使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが PDO マッピング設定に設定されていない • モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した • 不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命 • ［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令が実行された				○		P.3-308
54015722Hex（Ver.1.06 以降）	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、実行できない命令を起動しました	• フィードバック位置オーバーフローまたはアンダーフローの発生中に、実行できない命令を起動した				○		P.3-308
54015723Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-309
54015724Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「FirstOnPosition」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-309
54015725Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「LastOnPosition」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-309

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015726Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の方向選択範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「AxisDirection」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-310
54015727Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「CamSwitchMode」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-310
54015728Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「Duration」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-311
54015729Hex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OnCompensation」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-311
5401572AHex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OffCompensation」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-312
5401572BHex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-312
5401572CHex（Ver.1.06 以降）	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-313
5401572DHex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-313
5401572EHex（Ver.1.06 以降）	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」と「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が一致していません	• 命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致していない				○		P.3-314
5401572FHex（Ver.1.06 以降）	モーション命令多重起動不可（主軸）	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更しました	• 命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更				○		P.3-314

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015730Hex（Ver.1.06 以降）	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更しました	• 命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更				○		P.3-315
54015731Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の同一トラック番号の数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定したスイッチ構造体型変数の「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数の範囲外				○		P.3-315
5401573AHex（Ver.1.08 以降）	軸パラメータ書込不可	未使用軸以外の軸に対して該当命令を起動しました	• 使用軸または未作成軸に対して該当命令を起動した				○		P.3-316
5401573BHex（Ver.1.08 以降）	軸パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-316
5401573CHex（Ver.1.08 以降）	カムプロパティ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-317
5401573DHex（Ver.1.08 以降）	カムノード設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-317
5401573EHex（Ver.1.08 以降）	カムノード型指定不正	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが _sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが _sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外				○		P.3-318
5401573FHex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成ノード数不足	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase の値が「0」です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase（主軸位相）の値が「0」				○		P.3-318
54015740Hex（Ver.1.08 以降）	カムノード主軸位相非昇順	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、Phase の値が要素番号順に昇順となっていません	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、Phase（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となっていない				○		P.3-319
54015741Hex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成データ点数過多	生成するカムデータ数が、モーション制御命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えています	• 生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えている				○		P.3-319

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015742Hex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成変位オーバーフロー	生成するカムテーブルの Distance が REAL 型で表現できる範囲を超えています	• 生成するカムテーブルの Distance が REAL 型で表現できる範囲を超えている				○		P.3-320
54015743Hex（Ver.1.08 以降）	生成中止カムテーブルの使用	該当命令の入力変数「CamTable」に生成中止されたカムデータ変数が指定されています	• MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の異常で生成中止されたカムデータ変数が、該当命令の入力変数「CamTable」に指定されている				○		P.3-320
54015749Hex（Ver.1.10 以降）	実行 ID 設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-321
5401574AHex（Ver.1.10 以降）	位置オフセット範囲外	モーション制御命令の入力変数「OffsetPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 位置オフセットをパルス単位に変換したときに、符号付き 40 ビットの範囲を超えている				○		P.3-321
5401574BHex（Ver.1.10 以降）	PDS 状態遷移指令選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionCmd」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		P.3-321
5401574CHex（Ver.1.13 以降）	単軸位置制御軸モーション命令起動不可	単軸位置制御軸に対し実行できない動作命令を実行しました	• 単軸位置制御軸に対し、実行できない動作命令を実行した				○		P.3-322
54015751Hex（Ver.1.32 以降）[形 NX102] （Ver.1.21 以降）[形 NX701-□□00, 形 NX1P2, 形 NJ501（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301、形 NJ101-□□00]	カムモニタモード選択設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamMonitorMode」に指定されたカムモニタモード選択が範囲外です	• カムモニタモード選択が設定の範囲外				○		P.3-322
54015752Hex（Ver.1.32 以降）[形 NX102] （Ver.1.21 以降）[形 NX701-□□00, 形 NX1P2, 形 NJ501（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301、形 NJ101-□□00]	カムモニタ値データ型不一致	モーション制御命令の入出力変数「CamMonitorValue」に指定されたカムモニタ値変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致です	• カムモニタ値に指定した変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致				○		P.3-323
54015800Hex [形 NX502]	X バスユニット不在	指定したユニットが存在しません	• 指定した X バスユニットが存在しない				○		P.3-323
54015801Hex [形 NX502]	レスポンスタイムアウト	指定したユニットからの応答がありませんでした	• X バスユニット起動異常、X バスユニット通信異常、X バス機能処理異常発生のいずれかにより、指定したユニットとの通信が停止 • 指定されたレスポンス監視時間が短い				○		P.3-324

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015C00Hex 〔形 NX502〕	指定ユニット/ポート番号実行不可	実行が不可能な状態でタグデータリンク制御命令を実行しました。または、指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートが存在しません	• EtherNet/IP ポートのリスタート中、または Network Configurator からタグデータリンク設定をダウンロード中に命令が実行された • 指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートが存在しない				○		P.3-324
54015C01Hex 〔形 NX502〕	命令同時実行数オーバー	タグデータリンク制御命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました	• 同時に 2 つ以上のタグデータリンク制御命令が実行された				○		P.3-325
54015C03Hex 〔形 NX502〕	ターゲットノード IP アドレス不在	指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートにターゲットノード IP アドレスとのコネクション設定が存在しません	• 指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートにターゲットノード IP アドレスとのコネクション設定が存在しない				○		P.3-325
54015C04Hex 〔形 NX502〕	コネクション通信異常	ターゲットノード IP アドレスで指定したターゲットノードと通信できません	• ターゲットノードが正しく接続されていない • ターゲットノードの電源が入っていない • Ethernet ケーブルの断線、はずれ • ノイズ				○		P.3-326
54015C05Hex 〔形 NX502〕	コネクション設定異常	ターゲットノードから異常レスポンスを受信しました	• コネクション設定が間違っている				○		P.3-326
54016440Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行 • 通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外				○		P.3-327
54016441Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行 • 通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外				○		P.3-328

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54016442Hex	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました	• 指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った • 位置決めの指令を実行した • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した • 方向を特定できない指令（同期機能、トルク制御）を実行した				○		P.3-328
54016443Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行				○		P.3-329
54016444Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行				○		P.3-329
54017422Hex	サーボ主回路電源オフ状態	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました	• サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行				○		P.3-330

*1. 以下の CPU ユニットで発生する要因です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

3-2-2 異常の説明

自己診断関連

イベント名	ディップスイッチ設定エラー			イベントコード	00090000Hex	
内容	ディップスイッチの設定の誤りを検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ディップスイッチの設定の誤り		ディップスイッチをすべて OFF にしてください		ディップスイッチの設定について正しく運用してください	
付属情報	付属情報 1：ディップスイッチの読出値：0000 0000Hex～0000 000FHex					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	内部バスチェックエラー			イベントコード	000D0000Hex	
内容	内部バスで致命的なエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1。Sysmac Studio 接続不可の可能性あり		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	導電性異物混入		周囲に導電性異物がある場合には、CPU ユニット内部をエアブローしてください		制御盤付近での金属加工作業を実施しないでください。またごみ･粉塵の少ない環境で作業を実施してください。 また制御盤は閉めてください	
	ノイズ • バス信号のデータ化け • バス I/F 回路部の誤動作		上記の処置で本異常が解除されない場合は、FG、電源ラインなど侵入経路を調査して、ノイズ対策を実施してください		ノイズ対策を実施してください	
	CPU ユニット故障 • 内部バスの断線		上記 2 つの処置を行っても本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	本異常発生時、CPU ユニットは停止しますが、本異常はイベントログに記録されます。コントローラを電源再投入して本異常が解除されれば、イベントログを確認することで本異常の発生を確認することができます。ただし、異常発生箇所によっては、再起動できない場合もあります					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	不揮発性メモリ寿命			イベントコード	000E0000Hex	
内容	不揮発性メモリの消去回数が規定値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が規定値をオーバーしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／定期的
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	不揮発性メモリの寿命		CPU ユニットを交換してください		ユーザプログラムやアプリケーションによっては、不揮発性メモリの寿命を早めてしまう可能性があります。下記(1)、(2)について確認してください。 (1) システム定義変数や専用命令による SD メモリカードバックアップ処理の実行頻度 (2) MC_SaveCamTable 命令や ChangeIPAdr 命令など不揮発性メモリに書き込みを行う命令の実行頻度 上記(1)、(2)の実行が失敗する場合は、その要因を除去した後に再実行するようにしてください。失敗する要因が除去されていないままリトライすると、不揮発性メモリの消去回数が増加し、不揮発性メモリの寿命を早めてしまう可能性があります。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	CPU ユニット内部温度オーバー（運転停止）			**イベントコード**	00110000Hex	
内容	CPU ユニット内部の温度が高温になったため、運転を停止しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止[*1]。Sysmac Studio 接続不可。		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	使用周囲温度が高い		使用周囲温度を 0～55℃に入るように、周囲環境を整備してください • 通風スペースを十分とってください • ヒータ、トランス、大容量の抵抗など発熱量の高い機器の真上に取り付けることは避けてください • 周囲温度が 55℃以上になるときは、強制ファンまたはクーラを設置してください		常に周囲温度が 0～55℃になるように周囲環境を整備してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	メインメモリチェックエラー			イベントコード	00130000Hex *1	
内容	CPU ユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*2		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		—		—	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	導電性異物混入		周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください		制御盤付近での金属加工作業を実施しないでください。 制御盤は閉めた状態で使用してください	
	ノイズ • メモリデータ化け • マイコン暴走 • メモリ書き込み回路誤動作		上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください		ノイズ対策を実施してください	
	ソフトエラー • 宇宙線／放射能によるデータ化け		上記の要因でなく、CPU ユニットを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
	CPU ユニット故障 • メモリ素子故障 • メモリ周辺回路故障				定期点検を行ってください	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.13 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701、形 NJ5 ハードウェアリビジョン Rev.B：Ver.1.16 以降
- 形 NJ3 ハードウェアリビジョン Rev.A：Ver.1.17 以降
- 形 NJ1 ハードウェアリビジョン Rev.A：Ver.1.17 以降

*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">不揮発性メモリ修復あり</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">10010000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">不揮発性メモリのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムの修復またはフォーマットを実行しました。ただし、以前のファイルが削除された可能性があります</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>全停止フォールト</td><td>復旧方法</td><td>電源再投入／コントローラリセット</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>停止</td><td>動作</td><td colspan="3">停止*1</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td>変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td></td><td>なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td>発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td>BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした</td><td colspan="2" rowspan="2">Sysmac Studio でプロジェクトを照合し、照合一致している場合は電源再投入またはコントローラリセットして本異常が解除されるか確認してください。解除された場合は、装置が正しく動作するか確認してください。
照合不一致または異常解除されない場合、装置が正しく動作しない場合は、Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトを再ダウンロードしてください。
電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は、メモリが壊れていますので CPU ユニットを交換してください。
なお、プロジェクトを再ダウンロードせずにコントローラを電源再投入またはコントローラリセットすると、意図しない動作をする可能性があり非常に危険です</td><td colspan="2">BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください</td></tr>
<tr><td></td><td>BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した</td><td colspan="2">電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：修復内容
• 0000 0000Hex：ファイルシステム修復成功
• 0000 0001Hex：フォーマット実行</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">必ずプロジェクトの照合一致の確認と装置の動作確認、またはプロジェクトの再転送を行ってください。これを行わずにコントローラの電源再投入またはコントローラリセットを行うと、意図しない動作をする可能性があり非常に危険です</td></tr>
</table>

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	不揮発性メモリデータ破壊			イベントコード	10020000Hex	
内容	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした		Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトをダウンロードしてください		BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください	
	BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください	
	CPU ユニットの故障		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	メインメモリチェックエラー			イベントコード	10080000Hex	
内容	CPU ユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	導電性異物混入		周囲に導電性異物がある場合は、CPU ユニット内部をエアブローしてください		制御盤付近での金属加工作業を実施しないでください。 制御盤は閉めた状態で使用してください	
	ノイズ • メモリデータ化け • マイコン暴走 • メモリ書き込み回路誤動作		上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください		ノイズ対策を実施してください	
	ソフトエラー • 宇宙線／放射能によるデータ化け		上記の要因でなく、CPU ユニットを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
	CPU ユニット故障 • メモリ素子故障 • メモリ周辺回路故障				定期点検を行ってください	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">バッテリバックアップメモリへの保存未実行</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">100A0000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理のバッテリバックアップメモリへの保存処理が実行できませんでした</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>全停止フォールト</td><td>復旧方法</td><td>電源再投入</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>停止</td><td>動作</td><td colspan="3">停止*2。保持属性を持つ変数、CJ シリーズユニット用メモリ DM/EM/HR が前回の電断直前の値ではないため、処置対策を実施していない場合は、次回の電源投入時にユーザプログラムやユニットが正常動作しない可能性あり</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_RetainUnexec*3</td><td colspan="2">BOOL</td><td>電断保持未実行フラグ</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ソフトウェアにエラーが発生した</td><td colspan="2">以下を行ってください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 絶対値エンコーダ付きサーボモータを使用している場合、電源投入後、サーボ ON し、軸のフィードバック現在位置を確認してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">本異常が発生した場合、以下の値は、前回の電源投入時の値となります。
• 保持変数（保持属性あり、または保持エリアに AT 指定された変数）
• CJ ユニット用メモリの保持エリア
• 絶対値エンコーダ原点位置オフセットデータ

処置完了後に電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください
保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの現在値や絶対値エンコーダ原点位置オフセットデータが意図しない値でユーザプログラムが動作しないよう、必要に応じて、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)をインタロック条件としてユーザプログラムにて対策を行ってください</td></tr>
</table>

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。
*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。
*3. 以下の CPU ユニットで使用できるシステム定義変数です。
- NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.64 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.35 以降

イベント名	不揮発性メモリデータ破壊			イベントコード	100B0000Hex	
内容	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした		Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトをダウンロードしてください		BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください	
	BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください	
	CPU ユニットの故障		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	イベント重要度設定異常			イベントコード	100C0000Hex	
内容	イベント重要度設定ファイルの内容が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	イベント重要度設定のダウンロード中にコントローラを電断／SysmacStudio との通信を切断したためイベント重要度設定が不正		メモリオールクリアを実行した後、イベント重要度設定ファイルを再転送してください		ダウンロード中にコントローラを電断／SysmacStudio との通信を切断しないでください	
	メモリオールクリア中にコントローラを電断したためイベント重要度設定が不正				メモリオールクリア中にコントローラを電断しないでください	
	不揮発性メモリの故障		上記の処置を行っても本異常が頻発する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">保持変数の現在値復元失敗</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">100F0000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">起動時に保持変数の現在値の復元に失敗し、初期化されました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>全停止フォールト</td><td>復旧方法</td><td>電源再投入／コントローラリセット</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>停止</td><td>動作</td><td colspan="3">停止*1。
保持属性を持つ変数、CJ シリーズユニット用メモリ DM/EM/HR が破壊されたため、ユーザプログラムやユニットが正常動作しない可能性あり</td></tr>
<tr><td rowspan="3">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_RetainFail</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">電断保持失敗フラグ</td></tr>
<tr><td colspan="2">_RetainUnexec*2</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">電断保持未実行フラグ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">• ソフトウェアにエラーが発生した
• バックアップメモリの故障</td><td colspan="2">以下を行ってください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください（形 NX502、形 NX102、および形 NX1P2 の場合）
• 本異常が再発する場合は、CPU ユニットを交換してください</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">以下の値は、初期値となっています
• 保持変数（保持属性あり、または保持エリアに AT 指定された変数）
• CJ ユニット用メモリの保持エリア

• 処置完了後に電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの現在値が意図しない値でユーザプログラムが動作しないよう、必要に応じて、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)をインタロック条件としてユーザプログラムにて対策を行ってください</td></tr>
</table>

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。
*2. 以下の CPU ユニットで使用できるシステム定義変数です。
- 形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.64 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.35 以降

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">保持変数の現在値保存未実行</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">10100000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理の保持変数の現在値の保存処理が実行できませんでした(形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 の場合)（通信コントロールユニットの場合）
強制シャットダウンされた、またはソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理の保持変数の現在値の保存処理が実行できませんでした（NY シリーズの場合）</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>全停止フォールト</td><td>復旧方法</td><td>電源再投入</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>停止</td><td>動作</td><td colspan="3">停止*1。
保持属性を持つ変数、CJ シリーズユニット用メモリ DM/EM/HR が前回の電断直前の値でないため、ユーザプログラムやユニットが正常動作しない可能性あり</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_RetainUnexec*2</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">電断保持未実行フラグ</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">強制シャットダウンされた（NY シリーズの場合）</td><td colspan="2" rowspan="2">以下を行ってください。
• 保持変数の値を確認し、正しい値に変更してください（NY シリーズの場合）
• 絶対値エンコーダ付きサーボモータを使用している場合、電源投入後サーボ ON し、軸のフィードバック現在位置を確認してください

（以下、形 NX502、形 NX102 および形 NX1P2 の場合）
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください</td><td colspan="2">強制シャットダウン以外の方法でシャットダウンしてください（NY シリーズの場合）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ソフトウェアにエラーが発生した</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">以下の値は、前回の電源投入時の値となっています
• 絶対値エンコーダ原点位置オフセットデータ
• 保持変数（保持属性あり、または保持エリアに AT 指定された変数）
• CJ ユニット用メモリの保持エリア

• 処置完了後に電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの現在値や絶対値エンコーダ原点位置オフセットデータが意図しない値でユーザプログラムが動作しないよう、必要に応じて、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)をインタロック条件としてユーザプログラムにて対策を行ってください</td></tr>
</table>

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。
*2. 以下の CPU ユニットで使用できるシステム定義変数です。
• 形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.64 以降

イベント名	PLC システム処理異常			イベントコード	40010000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止[*1]。Sysmac Studio 接続不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC システム処理異常			イベントコード	40020000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止[*1]		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC システム処理異常			イベントコード	40030000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止[*1]		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC システム処理異常			イベントコード	40040000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止[*1]。Sysmac Studio 接続不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC システム処理異常			イベントコード	40050000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止[*1]。Sysmac Studio 接続不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	時計発振停止			イベントコード	00070000Hex	
内容	時計(RTC)の発振が停止していました。時計(RTC)の時刻が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	システム時刻が不定。CJ ユニットの記録する時刻情報も不定		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_CurrentTime		DATE_AND_TIME		システム時刻	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	バッテリの電圧低下		バッテリを交換してください。その後、時計(RTC)の時刻を合わせてください		バッテリの定期的な交換を実施してください	
	バッテリのコネクタのはずれ		コネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください。その後、時計(RTC)の時刻を合わせてください		衝撃・振動の影響を確認してください	
	バッテリがない		バッテリを装着してください。その後、時計(RTC)の時刻を合わせてください		バッテリを装着してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	本異常のチェックは電源投入時のみ行われます 重要度を監視情報に変更できます。監視情報に変更した場合、復旧は不要となります					

イベント名	時計故障			イベントコード	00080000Hex	
内容	CPU ユニットの時計(RTC)が故障しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	システム時刻が不定。CJ ユニットの記録する時刻情報も不定		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_CurrentTime		DATE_AND_TIME		システム時刻	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットの時計の故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	バッテリ電圧低下			イベントコード	000B0000Hex	
内容	バッテリ電圧が低下しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_SelfTest_LowBattery		BOOL		バッテリ電圧低下フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	バッテリの電圧低下		バッテリを交換してください		バッテリの定期的な交換を実施してください	
	バッテリのコネクタのはずれ		コネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください		衝撃・振動の影響を確認してください	
	バッテリがない		バッテリを装着してください		バッテリを装着してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	NJ シリーズ CPU ユニット、形 NX701 CPU ユニットの場合、次回電断後に、ユーザデータが失われる可能性あり 形 NX1P2、形 NX102 CPU ユニットの場合、次回電断後に、時刻データが失われる可能性あり 重要度を監視情報に変更できます。監視情報に変更した場合、復旧は不要となります					

イベント名	CPU ユニット内部温度オーバー			イベントコード	000C0000Hex	
内容	CPU ユニット内部の温度が規定値以上になりました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_SelfTest_HighTemperature		BOOL		CPU ユニット内部温度オーバーフラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用周囲温度が高い		使用周囲温度を 0～ 55℃に入るように、周囲環境を整備してください • 通風スペースを十分とってください • ヒータ、トランス、大容量の抵抗など発熱量の高い機器の真上に取り付けることは避けてください • 周囲温度が 55℃以上になるときは、強制ファンまたはクーラを設置してください		常に周囲温度が 0～55℃になるように周囲環境を整備してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	ファン回転数低下			イベントコード	00120000Hex	
内容	ファンの回転数が規定値以下になりました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_SelfTest_LowFanRevolution		BOOL		FAN 回転数低下フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファンの動作を妨げる障害物がある		ファンの動作を妨げる障害物を取り除いてください		ファンの動作を妨げる障害物がない状態で使用してください	
	ファンの寿命		形 NX701 CPU ユニット：ファンユニットを交換してください *1 形 NX502 CPU ユニット：CPU ユニットを交換してください NY シリーズ：ファンユニットを交換してください 「自己診断関連 (P.3-68)」		形 NX701 CPU ユニット：ファンユニットの定期的な交換を実施してください 形 NX502 CPU ユニット：なし	
	ファンの故障					
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ファンユニットの交換方法や寿命については、『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編 (SBCA-418)』を参照してください。

イベント名	不揮発性メモリ寿命警告			**イベントコード**	00150000Hex*1	
内容	不揮発性メモリの消去回数が警告値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が警告値をオーバーしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／定期的
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_StorageDeteriorated		BOOL		不揮発性メモリ寿命警告フラグ	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	不揮発性メモリの寿命		不揮発性メモリの寿命が近づきました。CPU ユニットを交換してください。		ユーザプログラムやアプリケーションによっては、不揮発性メモリの寿命を早めてしまう可能性があります。下記(1)、(2)について確認してください。 (1) システム定義変数や専用命令による SD メモリカードバックアップ処理の実行頻度 (2) MC_SaveCamTable 命令や ChangeIPAdr 命令など不揮発性メモリに書き込みを行う命令の実行頻度 上記(1)、(2)の実行が失敗する場合は、その要因を除去した後に再実行するようにしてください。失敗する要因が除去されていないままリトライすると、不揮発性メモリの消去回数が増加し、不揮発性メモリの寿命を早めてしまう可能性があります。	
付属情報	なし					
注意点／備考	このままコントローラを使用し続けると、不揮発性メモリの読み書きに失敗する可能性があります。これにより、コントローラの起動失敗、ユーザプログラムの転送失敗などの異常が発生する恐れがあります。					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2、形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.32 以降

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">バッテリバックアップメモリチェックエラー</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">10090000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">CPU ユニット内部のバッテリバックアップメモリのチェックでエラーを検出しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール／モーション制御機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>PLC 機能モジュールの場 合：なし
モーション制御機能モジュールの場合：MC 共通</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラ リセット時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">保持属性を持つ変数、CJ シリーズユニット用メモリ DM/EM/HR が破壊されたため、ユーザプログラムやユニットが正常動作しない可能性あり</td></tr>
<tr><td rowspan="3">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_RetainFail</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">電断保持失敗フラグ</td></tr>
<tr><td colspan="2">_RetainUnexec*1</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">電断保持未実行フラグ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリの電圧低下</td><td colspan="2">• バッテリを交換してください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください</td><td colspan="2">バッテリの定期的な交換を実施してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリのコネクタのはずれ</td><td colspan="2">• コネクタが正しく嵌合しているかを確認し、コネクタを再接続してください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください</td><td colspan="2">衝撃・振動の影響を確認してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリがない</td><td colspan="2">• バッテリを装着してください
• 保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの値を確認し、正しい値に変更してください
• 処置が完了したら、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください</td><td colspan="2">バッテリを装着してください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">以下の値は、初期値となっています
• 保持変数（保持属性あり、または保持エリアに AT 指定された変数）
• CJ ユニット用メモリの保持エリア

処置完了後に電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)を FALSE にしてください
保持変数と CJ ユニット用メモリの保持エリアの現在値が意図しない値でユーザプログラムが動作しないよう、必要に応じて、電断保持未実行フラグ(_RetainUnexec)をインタロック条件としてユーザプログラムにて対策を行ってください</td></tr>
</table>

*1. 以下の CPU ユニットで使用できるシステム定義変数です。
- NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.64 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.35 以降

イベント名	SD メモリカード種別不正			イベントコード	000F0000Hex	
内容	非対応の SD メモリカードです					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／SD メモリカード装着時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	SD PWR LED は消灯。SD メモリカードへの給電停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1Ready		BOOL		SD メモリカード使用可フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに使用できない SD メモリカードが挿入されている		SD メモリカードを形 HMC-SD291、形 HMC-SD491、または形 HMC-SD1A1 に交換してください。 以下の場合は、形 HMC-SD491、または形 HMC-SD1A1 に交換してください • CPU ユニットが形 NJ501-□□□□で、ハードウェアリビジョンが"A"、かつユニットバージョンが Ver.1.15 以降		SD メモリカードは形 HMC-SD291、形 HMC-SD491、または形 HMC-SD1A1 を使用してください。 以下の場合は、形 HMC-SD491、または形 HMC-SD1A1 を使用してください • CPU ユニットが形 NJ501-□□□□で、ハードウェアリビジョンが"A"、かつユニットバージョンが Ver.1.15 以降	
付属情報	付属情報 1：SD メモリカードが UHS-I 対応でない場合は"Not UHS-I"					
注意点／備考	なし					

イベント名	SD メモリカード寿命			イベントコード	00100000Hex	
内容	SD メモリカードの消去回数が規定値をオーバーしました。または不良ブロック数が規定値をオーバーしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／定期的
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1Deteriorated		BOOL		SD メモリカード寿命警告フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードの寿命		SD メモリカード内の必要なファイルをバックアップしてください。または SD メモリカードを交換してください		SD メモリカードの定期的な交換を実施してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	• SD メモリカード内のデータが失われる可能性あり • ユーザプログラムが正常動作しない可能性あり • 重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」となります • SD メモリカードの寿命検知機能は CPU ユニットのユニットバージョンと SD メモリカードの組み合わせにより使用可能かどうかが決まります。『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編(SBCA-467)』の「サポートする SD メモリカードおよびフォルダ／ファイル仕様」の説明を参照してください。					

イベント名	SD メモリカードフォーマット不正			イベントコード	10030000Hex	
内容	SD メモリカードのファイルフォーマットが FAT16／FAT32 ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／SD メモリカード装着時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	SD PWR LED は消灯。Sysmac Studio から SD メモリカードのフォーマット可能		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1Ready		BOOL		SD メモリカード使用可フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに装着した SD メモリカードのファイルフォーマットが FAT16／FAT32 でない		誤った SD メモリカードを CPU ユニットに装着していないか確認してください。 誤った SD メモリカードを装着している場合は、正しい SD メモリカードに交換してください。 正しい SD メモリカードを装着している場合は、正しくフォーマットして使用してください		オムロン製の SD メモリカードを使用してください。また SD メモリカードのフォーマットをパソコンで行わないでください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	SD メモリカード修復あり			イベントコード	10040000Hex	
内容	ファイルシステムのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムを修復しました。ただし、ファイルが削除された可能性があります					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	ファイルが削除された場合は、ユーザプログラムが正常動作しない可能性あり		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした		正しいファイルが存在するか、また装置が正しく動作するか確認してください。 正しいファイルが存在しない場合、または装置が正しく動作しない場合は、SD メモリカードへ正しいファイルをダウンロードしてください。CPU ユニットを電源再投入またはコントローラリセットして装置が正しく動作することを確認してください		SD BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください	
	SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください	
	SD PWR LED 点灯中に、SD メモリカードを抜いた				SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを抜かないでください	
	SD メモリカードの故障		上記の発生要因でなく、本異常が発生する場合は、SD メモリカードを交換し、SD メモリカードへ正しいファイルをダウンロードしてください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	検出タイミングの「電源投入時／コントローラリセット時」は、「電源投入時の SD メモリカード診断」を行う設定にしている場合です 重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」となります					

イベント名	SD メモリカードデータ破壊			イベントコード	10060000Hex	
内容	SD メモリカードに存在すべきファイルがないか、破壊されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	SD PWR LED は消灯。Sysmac Studio から SD メモリカードのフォーマット可能。 ユーザプログラムが正常動作しない可能性あり		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1Ready		BOOL		SD メモリカード使用可フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした		SD メモリカードをフォーマットし正しいファイルをダウンロードしてください		SD BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください	
	SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください	
	SD PWR LED 点灯中に、SD メモリカードを抜いた				SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを抜かないでください	
	SD メモリカードの故障		上記の処置で本異常が解除されない場合は、SD メモリカードを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	検出タイミングの「電源投入時／コントローラリセット時」は、「電源投入時の SD メモリカード診断」を行う設定にしている場合です 重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」となります					

イベント名	SD メモリカードアクセス中電源断			イベントコード	10070000Hex	
内容	SD メモリカードアクセス中にコントローラの電源断が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	ファイルが壊れた場合は、ユーザプログラムに依存		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1PowerFail		BOOL		SD メモリカードアクセス中電源断フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした		正しいファイルが存在するか、また装置が正しく動作するか確認してください。 正しいファイルが存在しない場合、または装置が正しく動作しない場合は、SD メモリカードへ正しいファイルをダウンロードしてください。CPU ユニットを電源再投入またはコントローラリセットして装置が正しく動作することを確認してください。 処置が完了したら、SD メモリカードアクセス中電源断フラグ(_Card1PowerFail)を FALSE にしてください		SD BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください	
	SD BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した				電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください	
付属情報	なし					
注意点／備考	処置完了後に SD メモリカードアクセス中電源断フラグを FALSE にしてください					

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	10130000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	SD メモリカードの不正な取り外し			イベントコード	10310000Hex	
内容	SD メモリカードの取り外し処理が失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	SD メモリカード取り外し時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを取り外した		SD メモリカード内のファイルが正しいか確認してください。ファイルが正しくない場合は、SD メモリカードへ正しいファイルをダウンロードしてください		給電停止ボタンを押し、SD PWR LED が消灯したことを確認してから SD メモリカードを取り出してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

CJ ユニット構成関連

イベント名	I/O バスチェックエラー			**イベントコード**	04010000Hex	
内容	CPU ユニットと各スロットに接続されたユニット間のデータ伝送にエラーが発生しました。 または、コントローラの電源投入時、すべての高機能 I/O ユニットおよび CPU 機能ユニットに対する認識を完了できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	I/O バスマスタ	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*1		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	−	−
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	I/O 接続ケーブルの抜け・はずれ、断線	I/O 接続ケーブルのコネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください。I/O ケーブルが断線している場合は、I/O 接続ケーブルを交換してください	稼動時に確実に嵌合していることを確認してください。 振動・衝撃の影響を確認してください
	導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、各ユニット内部をエアブローしてください	制御盤付近での金属加工作業を実施しないようにしてください。 制御盤は閉めた状態で使用してください
	異物のコネクタ内部への侵入によるコネクタ接触不良	コネクタに異物が付着している場合は、コネクタを脱着するなどして異物を取り除いてください	ごみ・粉塵の少ない環境で作業を実施してください
	ノイズ • バス信号のデータ化け • バス I/F 回路部の誤動作	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ライン、I/O 接続ケーブルなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください	ノイズ対策を実施してください
	ユニット故障 • CPU ユニット • 高機能 I/O ユニット • CPU 高機能ユニット • I/O 接続ケーブル	上記の要因でなく、CPU ユニットを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は、取り付けているユニットまたは CPU ユニットを交換してください	定期点検を行ってください
付属情報	なし		
注意点／備考	なし		

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	未サポートユニット接続			イベントコード	24010000Hex	
内容	サポート外の CJ ユニット／電源ユニットが装着されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サポート外の CJ ユニット／電源ユニットを検出した		サポート外の CJ ユニット／電源ユニットを取りはずすか、必要なサポートされているユニットに交換してください		本 CPU ユニットでサポートされているユニットを使用してください	
付属情報	付属情報 1：異常を検知したラック No.：0〜3 付属情報 2：異常を検知したスロット No.：0〜9 付属情報 3：ユニット種別を表すプロファイルコード					
注意点／備考	増設ラックに接続された未サポート電源ユニットに対しては本異常は発生しません。増設ラックに接続する電源ユニットについてはサポートされていることを十分に確認のうえ使用してください					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	I/O 点数オーバー			イベントコード	24020000Hex	
内容	接続されている CJ ユニットの I/O 総点数が、CPU ユニットの最大既定値を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CJ シリーズ基本 I/O ユニットの I/O 総点数が 2560 点を超えている		CJ シリーズ基本 I/O ユニットの総点数を 2560 点以下としてください		CJ シリーズ基本 I/O ユニットの総点数を 2560 点以下としてください	
付属情報	付属情報 1：CJ シリーズ基本 I/O ユニットの総点数					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	エンドカバー未接続			イベントコード	24030000Hex	
内容	CPU ラックまたは増設ラックの右端にエンドカバーが接続されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		–		–	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ラックまたは増設ラックの右端にエンドカバーが装着されていない		エンドカバーが正しく接続されているか取付状態や破損などを確認し、エンドカバーを正しく接続してください		エンドカバーを含むユニット構成で構築してください	
	エンドカバーの接続が不良				エンドカバーの接続時に正しく接続されていることを確認してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	ユニット／増設ラック接続不正			イベントコード	24040000Hex	
内容	ユニットまたは増設ラックの接続台数が CPU ユニットの既定値を超えています。 または、割込入力ユニットを、範囲外のスロットまたは増設ラックに装着しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		–		–	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	1 ラックに 11 台以上のユニットを接続している		1 ラックに接続するユニット数を 10 台以下としてください		接続上限数を確認し、その範囲内で構成を構築してください	
	増設ラックの接続台数が 3 台を超えている		増設ラックを 3 台以下としてください			
	割込入力ユニットの装着台数が 2 台を超えている		割込入力ユニットを 2 台以下としてください			
	割込入力ユニットを範囲外のスロットまたは増設ラックに装着している		割込入力ユニットを CPU ラックのスロット No.0～4 に装着してください			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	ユニット番号重複			イベントコード	24050000Hex	
内容	高機能ユニットの号機 No.／ユニット番号が重複しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	高機能ユニットの号機 No.／ユニット番号が重複している		各高機能ユニット前面のロータリスイッチで設定されている号機 No.／ユニット番号に重複がないかを目視確認し、重複がある場合は、重複しているユニットの号機 No.／ユニット番号を変更してください		ユニット構成の構築時に号機 No.／ユニット番号が重複しないようにしてください。複数号機分占有する高機能 I/O ユニットが構成に含まれる場合には、その占有分が重複しないように特に注意してください	
	複数号機分占有する高機能 I/O ユニットと他の高機能 I/O ユニットの号機 No.が重複している		複数号機分占有する高機能 I/O ユニットが構成に含まれるか確認し、含まれる場合は、その高機能ユニットが占有する号機 No.に重複がないかを確認し、重複がある場合は、重複しているユニットの号機 No.／ユニット番号を変更してください			
付属情報	付属情報 1：異常を検知したラック No.：0〜3 付属情報 2：異常を検知したスロット No.：0〜9 付属情報 3：高機能 I/O ユニットの場合：重複した号機 No.+20Hex CPU 高機能ユニットの場合：重複したユニット番号+10Hex					
注意点／備考	高機能 I/O ユニットは機種によって、1〜4 号機分を占有しますので注意してください					

*1.　詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	I/O 設定チェックエラー			イベントコード	34010000Hex	
内容	CPU ユニット内のユニット構成上のユニットの機種と実際に接続されているユニットの機種が不一致です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ユニット構成・設定の転送時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	CPU ユニット内のユニット構成に登録されているユニットと、実際に接続されているユニットの機種または高機能ユニットの号機 No.が異なっている	CPU ユニット内のユニット構成と実際のユニット構成が一致するように、CPU ユニット内のユニット構成の設定を変更、または実際のユニット構成を変更してください	CPU ユニット内のユニット構成と実際のユニット構成が一致するようにしてください

付属情報	付属情報 1：CPU ラックで異常を検出した最も若いスロット No.：0〜9、CPU ラック正常時は 10 付属情報 2：増設ラック 1 で異常を検出した最も若いスロット No.：0〜9、増設ラック 1 正常時は 10 付属情報 3：増設ラック 2 で異常を検出した最も若いスロット No.：0〜9、増設ラック 2 正常時は 10 付属情報 4：増設ラック 3 で異常を検出した最も若いスロット No.：0〜9、増設ラック 3 正常時は 10
注意点／備考	なし

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC 機能処理異常			イベントコード	44400000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	ソフトウェアにエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし

付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報
注意点／備考	なし

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	高機能ユニットアクセス不可			**イベントコード**	64010000Hex	
内容	CPU ユニットと高機能ユニット間のデータ交換に異常が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	CJ シリーズユニット	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当ユニットの停止		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	−	−
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	高機能ユニットのロータリスイッチまたはディップスイッチの設定誤り • ノードアドレスの誤り • 通信モードの誤り • 通信速度の誤り	該当ユニットのロータリスイッチまたはディップスイッチの設定を修正してください。該当ユニットの 7 セグ LED の表示で設定誤りの内容を確認することができます	高機能ユニットのロータリスイッチ、ディップスイッチを正しく設定してください
	高機能ユニット側のエラー	高機能ユニット側のエラー該当ユニットのマニュアルを参照してエラーの切り分けと処置を行ってください	各ユニットのマニュアルを参照し、正しく使用してください
	ユニットの接続不良	ユニットの接続不良コネクタをきちんとかみ合わせてユニット同士を接続し、上下に付いている黄色のスライダを背面側にスライドさせ、ロックしてください	ユニット同士の接続が確実に行われていることを確認してください。振動･衝撃の影響を確認してください
	ノイズ • パス信号のデータ化け	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください	ノイズ対策を実施してください
	ユニット故障	上記の要因でなく、コントローラを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は高機能ユニットを交換してください	定期点検を行ってください
付属情報	付属情報 1： • 高機能 I/O ユニットの場合：異常が発生した号機 No.+20Hex • CPU 高機能ユニットの場合：異常が発生したユニット番号+10Hex 付属情報 2：システム情報		
注意点／備考	なし		

イベント名	バックアップ実行失敗（CJ ユニット）			イベントコード	102D0000Hex *1	
内容	CJ ユニットのバックアップが異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	バックアップ実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユニット構成に関連する異常が発生している（付属情報 1：異常の詳細が 4 のとき）		ユニット構成に関連する異常を取り除いてください		ユニット構成に関連する異常が発生していない状態でバックアップを行ってください	
	高機能ユニットに関連する異常が発生している（付属情報 1：異常の詳細が 2 のとき）		高機能ユニットに関連する異常を取り除いてください		高機能ユニットに関連する異常を取り除いてください	
	高機能ユニットがリスタート中である（付属情報 1：異常の詳細が 2 のとき）		高機能ユニットのリスタートを指示していない状態で再度バックアップを行ってください		バックアップ中は、高機能ユニットのリスタート操作を行わないでください。リスタート中にバックアップを行わないでください	
	CPU ユニット内のユニット構成に登録されているユニットと、実際に接続されているユニットの機種または高機能ユニットの号機 No.が異なっている（付属情報 1：異常の詳細が 5 のとき）		CPU ユニット内のユニット構成と実際のユニット構成が一致するように、CPU ユニット内のユニット構成の設定を変更、または実際のユニット構成を変更してください		CPU ユニット内のユニット構成と実際のユニット構成が一致している状態でバックアップを行ってください	
	CPU ユニット／CJ ユニットの故障（付属情報 1：異常の詳細が 1 のとき）		上記の要因でない場合は、CPU ユニットまたは CJ ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 1：バックアップファイルの作成に失敗した • 2：高機能ユニットとの通信に失敗した • 4：CJ ユニットの認識に失敗した • 5：CPU ユニット内のユニット構成と実際のユニット構成が一致していない 付属情報 2：異常を検知したラック No.：0～3（異常の詳細が 2 のとき） 付属情報 3：異常を検知したスロット No.：0～9（異常の詳細が 2 のとき） 付属情報 4：システム情報（異常の詳細が 2 のとき）					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア実行失敗（CJ ユニット）			イベントコード	102E0000Hex *1	
内容	CJ ユニットのリストアが異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	リストア実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユニット構成に関連する異常が発生している（付属情報 1：異常の詳細が 4 のとき）		ユニット構成に関連する異常を取り除いてください		ユニット構成に関連する異常が発生していない状態でリストアを行ってください	
	高機能ユニットに関連する異常が発生している（付属情報 1：異常の詳細が 2 のとき）		高機能ユニットに関連する異常を取り除いてください		高機能ユニットに関連する異常が発生していない状態でリストアを行ってください	
	バックアップファイル内のユニット構成と実際のユニット構成が異なっている（付属情報 1：異常の詳細が 5 のとき）		バックアップしたときのユニット構成と実際のユニット構成が一致するようにしてください		バックアップしたときのユニット構成と実際のユニット構成が一致していることを確認してからリストアを行ってください	
	高機能ユニットがリスタート中である（付属情報 1：異常の詳細が 2 のとき）		高機能ユニットのリスタートを指示していない状態で再度リストアを行ってください		リストア中は、高機能ユニットのリスタート操作を行わないでください。リスタート中にリストアを行わないでください	
	高機能ユニットの固有のリストア条件を満たしていない（付属情報 1：異常の詳細が 3 のとき）		高機能ユニットのマニュアルでリストア条件を確認し、そのリストア条件に従ってください		高機能ユニットのマニュアルでリストア条件を確認し、そのリストア条件に従ってください	
	バックアップファイルが壊れている（付属情報 1：異常の詳細が 3 のとき）		SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットし、バックアップファイルを格納してください		SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください	
	CPU ユニット／CJ ユニットの故障（付属情報 1：異常の詳細が 1 のとき）		上記の要因でない場合は、CPU ユニットまたは CJ ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 1：バックアップファイルの読出に失敗した • 2：高機能ユニットとの通信に失敗した • 3：高機能ユニットのリストアに失敗した • 4：CJ ユニットの認識に失敗した • 5：バックアップファイル内のユニット構成と実際のユニット構成が一致していない 付属情報 2：異常を検知したラック No.：0～3（異常の詳細が 2, 3 のとき） 付属情報 3：異常を検知したスロット No.：0～9（異常の詳細が 2, 3 のとき） 付属情報 4：システム情報（異常の詳細が 2 のとき）					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	未サポートのユニット設定			イベントコード	30200000Hex *1	
内容	サポート外の高機能ユニット設定になっています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットでサポートされていない高機能ユニット設定にした		CPU ユニットでサポートされていない高機能ユニット設定にならないように、異常が発生しているユニットの高機能ユニット設定を変更してください		CPU ユニットのマニュアルを参照し、サポートされている高機能ユニット設定だけを使用してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するイベントです。

イベント名	不正パケット破棄			イベントコード	80010000Hex	
内容	メッセージ通信で不正パケットを受信し、破棄しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ノイズ • バス信号のデータ化け		コントローラを電源再投入し、本異常が発生しないか確認してください。本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください		ノイズ対策を実施してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	04020000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。		−		−	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	44410000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	I/O バスマスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。		―		―	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

内蔵 I/O、オプションボード関連

イベント名	オプションボード異常			**イベントコード**	05440000Hex	
内容	動作中にオプションボードが外れた、装着された、またはオプションボードのハードウェア異常が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	オプションボード: Slot1,Slot2	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	エラーが発生したスロットは動作不可		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_PLC_OptBoardSta	ARRAY[1..2] OF _sOPTBOARD_STA	オプションボードステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	動作中にオプションボードが外れた、または、装着された	コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください	動作中は、オプションボードを外したり装着したりしないでください
	オプションボードのハードウェアで異常を検知した	コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください。本異常が再発する場合は、エラーが発生したスロットのオプションボードを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1: 異常要因 • 1: 動作中にオプションボードが外れた • 2: 動作中にオプションボードが装着された • 3: オプションボードのハードウェア異常 付属情報 2: システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	オプションボード構成照合異常			**イベントコード**	35940000Hex	
内容	オプションボード構成設定と実構成が異なっています					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	オプションボード: Slot1,Slot2	**検出タイミング**	電源投入時／ダウンロード時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	構成不一致のスロットは動作不可		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_PLC_OptBoardSta	ARRAY[1..2] OF _sOPTBOARD_STA	オプションボードステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	オプションボード構成設定と実構成が異なっている	オプションボード構成設定と実構成が一致するように、オプションボード構成設定、または実構成を変更してください。オプションボード構成設定を変更した場合、コントローラへのダウンロードを行ってください	同左
	オプションボードが正しく取り付けられていない	コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください	同左

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	未サポートオプションボード装着			イベントコード	35950000Hex	
内容	実構成上に未サポートのオプションボードがあります					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	オプションボード: Slot1,Slot2	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	エラーが発生したスロットは動作不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_PLC_OptBoardSta		ARRAY[1..2] OF _sOPTBOARD_STA		オプションボードステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	実構成上に未サポートのオプションボードがある		サポート外のオプションボードを取り外してください		サポート対象のオプションボードを使用してください	
付属情報	付属情報 1: システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	アナログオプションボード起動異常			イベントコード	88130000Hex	
内容	アナログオプションボードの起動時にエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	オプションボード: Slot1,Slot2	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	エラーが発生したスロットは動作不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_PLC_OptBoardSta		ARRAY[1..2] OF _sOPTBOARD_STA		オプションボードステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	アナログオプションボードが正しく取り付けられていない。または、アナログオプションボードが故障している		コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください。本異常が再発する場合は、エラーが発生したスロットのオプションボードを交換してください		同左	
付属情報	付属情報 1: システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	アナログオプションボード通信異常			**イベントコード**	88140000Hex	
内容	アナログオプションボードの動作中に通信エラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	オプションボード: Slot1,Slot2	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	エラーが発生したスロットは動作不可。異常解除し、通信が正常に戻ると動作を再開		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_PLC_OptBoardSta		ARRAY[1..2] OF _sOPTBOARD_STA		オプションボードステータス	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	アナログオプションボード上の LED が点滅の場合、動作中にアナログオプションボードとの通信でエラーが発生した		異常解除してください。異常解除しても本異常が発生する場合は、コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください。その後も発生する場合は、エラーが発生したスロットのオプションボードを交換してください		同左	
	アナログオプションボード上の LED が点灯の場合、アナログオプションボードが WDT エラーとなった		コントローラの電源を OFF し、オプションボードを正しく取り付けてください。本異常が再発する場合は、エラーが発生したスロットのオプションボードを交換してください		同左	
付属情報	付属情報 1: システム情報					
注意点／備考	なし					

タスク関連

イベント名	タスク実行タイムアウト			**イベントコード**	60020000Hex	
内容	タスクの実行がタイムアウト検出時間を超えました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止[*1]		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_<タスク名称>_Exceeded		BOOL		タスク周期超過フラグ	
	_<タスク名称>_ExceedCount		UDINT		タスク周期超過回数	
	_<タスク名称>_LastExecTime		TIME		前回タスク実行時間	
	_<タスク名称>_MaxExecTime		TIME		タスク実行時間最大値	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	タイムアウト検出時間の設定が短すぎる		タイムアウト検出時間を大きな値に変更してください		あらかじめ、処置対策の内容を考慮してタスク設計してください	
	タスク周期の設定が短すぎる		タスク周期を大きな値に変更してください			
	ユーザプログラムの規模が大きい		短い周期の実行が必要ない処理を、より優先度の低い周期タスクへ移動するなど、タスク内の処理の分割を行ってください			
	処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている		プログラム中で繰り返し回数が不正に大きくなっている箇所があれば、繰り返し回数が正しくなるようにプログラムを修正してください。繰り返し回数を確認するには、ユーザプログラム内にトラップを仕掛け、実行回数をモニタします			
	タスク優先度の誤り		該当タスクのタスク優先度を高く設定してください。または他のタスク優先度を低く設定してください			
	イベントタスクの実行頻度が高い		イベントタスクの実行頻度が小さくなるようにしてください。またはイベントタスクのタスク優先度を低く設定してください			
付属情報	付属情報 1：異常が発生したタスク名					
注意点／備考	なし					

*1.　詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	I/O リフレッシュ周期オーバー			**イベントコード**	60030000Hex	
内容	プライマリ定周期タスク、定周期タスクのタスク周期内に I/O リフレッシュが完了しない状態が連続して発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止[*1]		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_<タスク名称>_Exceeded	BOOL	タスク周期超過フラグ
	_<タスク名称>_ExceedCount	UDINT	タスク周期超過回数
	_<タスク名称>_LastExecTime	TIME	前回タスク実行時間
	_<タスク名称>_MaxExecTime	TIME	タスク実行時間最大値

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	タスク周期の設定が短すぎる	タスク実行時間を確認し、タスク周期をそれに合った値に変更してください	あらかじめ、処置対策の内容を考慮してタスク設計してください
	周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り	周期タスクのタスク優先度を高く設定してください。またはイベントタスクのタスク優先度を周期タスクよりも低く設定してください	
	タスクの周期で I/O リフレッシュするユニット／スレーブ数が多い	タスク内の I/O リフレッシュ処理を他のタスクへ移動するなど、タスク内の I/O リフレッシュの処理の分割を行ってください	
	イベントタスクの実行頻度が高い	イベントタスクの実行頻度が小さくなるようにしてください。またはイベントタスクのタスク優先度を低く設定してください	

付属情報	付属情報 1：異常が発生したタスク名
注意点／備考	なし

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	システムサービス時間不足			**イベントコード**	60040000Hex	
内容	設定されているシステムサービス実行時間を確保できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*1		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_<タスク名称>_Exceeded		BOOL		タスク周期超過フラグ	
	_<タスク名称>_ExceedCount		UDINT		タスク周期超過回数	
	_<タスク名称>_LastExecTime		TIME		前回タスク実行時間	
	_<タスク名称>_MaxExecTime		TIME		タスク実行時間最大値	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	タスク実行、タグデータリンクサービスの空き時間がない		タスク実行の空き時間とタグデータリンク設定を確認し、タスク実行とタグデータリンクサービスの時間を確保するためにタスク周期、またはタグデータリンク設定のパケットインターバル（RPI）を大きな値に変更してください		あらかじめ、処置対策の内容を考慮してシステムサービス監視設定の設定を行ってください	
	システムサービス監視設定で、システムサービス実行間隔が短すぎる、または、システムサービス実行時間割合が長すぎる		システムサービスで実行する処理への影響を実動作で確認した上で、システムサービス実行間隔を長い値に変更するか、システムサービス実行時間割合を小さい値に変更してください			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	タスク周期オーバー			**イベントコード**	60010000Hex	
内容	プライマリ定周期タスク、定周期タスクにおいて、設定周期内にタスクの実行が終わりませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	設定周期内にタスクの実行が完了しない場合、I/O リフレッシュ動作は以下となります • CJ ユニット：I/O リフレッシュは実行しません。タスクの実行が完了した後、次の周期で I/O リフレッシュを実行します • EtherCAT スレーブ、CPU ユニット上の NX ユニット、X バスユニット、内蔵 I/O： 出力：前回の周期の値を出力します。 入力：I/O リフレッシュは行いますが、入力データは実行中のユーザプログラムに反映されません。 設定周期内にタスクの実行が終了しなかった場合、装置全体の制御が不能となる可能性がありますのでご注意ください		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_<タスク名称>_Exceeded	BOOL	タスク周期超過フラグ
	_<タスク名称>_ExceedCount	UDINT	タスク周期超過回数
	_<タスク名称>_LastExecTime	TIME	前回タスク実行時間
	_<タスク名称>_MaxExecTime	TIME	タスク実行時間最大値

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	タスク周期の設定が短すぎる	タスク実行時間を確認し、タスク周期をそれに合った値に変更してください	あらかじめ、処置対策の内容を考慮してタスク設計してください
	ユーザプログラムの規模が大きい	短い周期の実行が必要ない処理を、より優先度の低い周期タスクへ移動するなど、タスク内の処理の分割を行ってください	
	処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている	プログラム中で繰り返し回数が不正に大きくなっている箇所があれば、繰り返し回数が正しくなるようにプログラムを修正してください。繰り返し回数を確認するには、ユーザプログラム内にトラップを仕掛け、実行回数をモニタします	
	周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り	周期タスクのタスク優先度を高く設定してください。またはイベントタスクのタスク優先度を周期タスクよりも低く設定してください	
	イベントタスクの実行頻度が高い	イベントタスクの実行頻度が小さくなるようにしてください。またはイベントタスクのタスク優先度を低く設定してください	

付属情報	付属情報 1：異常が発生したタスク名
注意点／備考	タスク設定により異常の重要度を「監視情報」に変更することができます

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">タスク周期オーバー</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">60050000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">プライマリ定周期タスク、定周期タスクにおいて、設定周期内にタスクの実行が終わりませんでした</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>常時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">設定周期内にタスクの実行が完了しない場合、I/O リフレッシュ動作は以下となります
• CJ ユニット：I/O リフレッシュは実行しません。タスクの実行が完了した後、次の周期で I/O リフレッシュを実行します
• EtherCAT スレーブ、CPU ユニット上の NX ユニット、X バスユニット、内蔵 I/O：
出力：前回の周期の値を出力します。
入力：I/O リフレッシュは行いますが、入力データは実行中のユーザプログラムに反映されません。
設定周期内にタスクの実行が終了しなかった場合、装置全体の制御が不能となる可能性がありますのでご注意ください</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_<タスク名称>_Exceeded</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">タスク周期超過フラグ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_<タスク名称>_ExceedCount</td><td colspan="2">UDINT</td><td colspan="2">タスク周期超過回数</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_<タスク名称>_LastExecTime</td><td colspan="2">TIME</td><td colspan="2">前回タスク実行時間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_<タスク名称>_MaxExecTime</td><td colspan="2">TIME</td><td colspan="2">タスク実行時間最大値</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">タスク周期の設定が短すぎる</td><td colspan="2">タスク実行時間を確認し、タスク周期をそれに合った値に変更してください</td><td colspan="2" rowspan="5">あらかじめ、処置対策の内容を考慮してタスク設計してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ユーザプログラムの規模が大きい</td><td colspan="2">短い周期の実行が必要ない処理を、より優先度の低い周期タスクへ移動するなど、タスク内の処理の分割を行ってください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">処理の繰り返し回数が、意図しない大きな値になっている</td><td colspan="2">プログラム中で繰り返し回数が不正に大きくなっている箇所があれば、繰り返し回数が正しくなるようにプログラムを修正してください。繰り返し回数を確認するには、ユーザプログラム内にトラップを仕掛け、実行回数をモニタします</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">周期タスク、イベントタスクのタスク優先度の誤り</td><td colspan="2">周期タスクのタスク優先度を高く設定してください。またはイベントタスクのタスク優先度を周期タスクよりも低く設定してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">イベントタスクの実行頻度が高い</td><td colspan="2">イベントタスクの実行頻度が小さくなるようにしてください。またはイベントタスクのタスク優先度を低く設定してください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：異常が発生したタスク名</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">タスク設定により異常の重要度を「監視情報」に変更した場合の異常です</td></tr>
</table>

コントローラ操作関連

イベント名	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定転送エラー		**イベントコード**	10200000Hex		
内容	ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定を正しく転送できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール NX バス機能モジュール EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	なし、I/O バスマスタ	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*1		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	―	―

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定のダウンロード中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正	Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトをダウンロードしてください。 付属情報が登録されている場合はコントローラの電源を再投入した後、上記対策を実施してください。 Sysmac Studio からメモリオールクリアを実行できない場合は、SD メモリカードからのリストアにより、コントローラにプロジェクトを転送してください	ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定のダウンロード中にコントローラを電断しないでください
	オンラインエディット操作中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正		オンラインエディット操作中にコントローラを電断しないでください
	メモリオールクリア中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正		メモリオールクリア中にコントローラを電断しないでください
	リストア中にコントローラを電断したためプログラムまたはコントローラ構成・設定が不正		リストア中にコントローラを電断しないでください
	メモリオールクリアのあとに必要なコントローラの電源再投入が実施されていない	コントローラの電源を再投入後、コントローラにプロジェクトを転送してください	設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降のプロジェクトがダウンロードされたコントローラをメモリオールクリアしたあとに、Sysmac Studio Ver.1.29 未満で設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満のプロジェクトをダウンロードする場合は、メモリオールクリアしたあとにコントローラの電源を再投入してください
	不揮発性メモリの故障	上記の処置を行っても本異常が頻発する場合は、CPU ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：発生要因詳細 • なし：ダウンロード中の電断、またはオンラインエディット中の電断、リストア中の電断 • Downloading/preDownloading：上記以外の要因の場合の異常発生タイミング（転送中／転送準備中）
注意点／備考	なし

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	ユーザプログラム実行用 ID 不正			イベントコード	10210000Hex	
内容	ユーザプログラムと CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID が一致していません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザプログラムのダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザプログラムおよび CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID が一致していない		ユーザプログラムと CPU ユニットのユーザプログラム実行用 ID が同じになるように設定を修正してください		ユーザプログラムと CPU ユニットのユーザプログラム実行用 ID は同じものを設定してください。 ユーザプログラムおよび CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID は表示されないため、記録しておいてください	
	CPU ユニットにユーザプログラム実行用 ID が設定されているが、ユーザプログラムには設定されていない		ユーザプログラムにユーザプログラム実行用 ID を設定しない場合は、CPU ユニットに対してメモリオールクリアを行い、CPU ユニットに設定されたユーザプログラム実行用 ID をクリアしてください			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	不正なユーザプログラム			イベントコード	10240000Hex	
内容	ユーザプログラムが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファンクションブロック／ファンクションのネスティングの階層が制限を超えている		ファンクションブロック／ファンクションのネスティングの階層が制限を超えている箇所を調べて、制限以下になるようにユーザプログラムを修正してください。その後、再度ユーザプログラムをダウンロードしてください		ファンクションブロック／ファンクションのネスティングの階層が制限以下になるようにユーザプログラムを作成してください。 Sysmac Studio でプログラムチェックを行うことでネスティングの階層が制限以下であることをチェックすることができます	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定不正			**イベントコード**	10250000Hex	
内容	使用メモリが上限をオーバーしているか、ユーザプログラムまたはコントローラ構成・設定データが壊れています					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止[*1]		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	−	−

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	データ量の上限値オーバー	本異常と同時に個数制限に関するイベントが発生している場合は、そのイベントの処置対策に従って使用個数が範囲内になるようプログラム・設定を修正してダウンロードしてください	なし
	メインメモリ容量オーバー	本異常と同時に個数制限に関するイベントが発生していない場合は、メモリオールクリアして電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。解除される場合はプロジェクトのプログラムを共通化するなどサイズを削減してダウンロードしてください	
	不揮発性メモリの劣化、故障	2 つ目の処置対策で本異常が再度発生する場合は CPU ユニットを交換してください	

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	自動転送開始エラー			イベントコード	10270000Hex *1	
内容	自動転送の実行前チェックで異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*2		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが未装着		SD メモリカードを装着してください		SD メモリカードを装着してください	
	SD メモリカードが種別不正		SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください		SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください	
	SD メモリカードのフォーマット不正		SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマット後、「autoload」フォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください		フォーマットされた SD メモリカードを使用し、「autoload」フォルダを作成後、「autoload」フォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください	
	SD メモリカードに「autoload」フォルダが存在しない		SD メモリカードに「autoload」フォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください			
	SD メモリカードの「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない		「autoload」フォルダにバックアップファイルを格納してください			
	SD メモリカードの「autoload」フォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない		「autoload」フォルダに再度バックアップファイルを格納してください。この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直して「autoload」フォルダに格納してください			
	転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い		バックアップを実行した CPU ユニットのユニットバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットのバージョンに合ったバックアップファイルを「autoload」フォルダに格納してください		CPU ユニットのユニットバージョンとバックアップファイルのユニットバージョンが合うようにしてください	
	転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない		バックアップを実行した CPU ユニットの形式と一致する CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの形式に一致するバックアップファイルを「autoload」フォルダに格納してください		CPU ユニットの形式とバックアップファイルの CPU ユニットの形式が一致するようにしてください	
	SD メモリカードの修復が実行された		「autoload」フォルダにバックアップファイル、自動転送コマンドファイルがない場合は、再度ファイルを格納してください		なし	
	CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効		自動転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください		自動転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください	
	自動転送コマンドファイル(AutoloadCommand.ini)の記述内容が不正		自動転送コマンドファイルの記述内容で、転送必須のファイルの転送を「yes」に設定してください		自動転送コマンドファイルの記述内容で、転送必須のファイルの転送を「yes」に設定してください	

	SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、自動転送対象データの読み出しに失敗した	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ処置対策を実施してください	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ再発防止を実施してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンに合ったバックアップファイルを「autoload」フォルダに格納してください	CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンとバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンが合うようにしてください
	転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの Robot バージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの Robot バージョンに合ったバックアップファイルを「autoload」フォルダに格納してください	CPU ユニットの Robot バージョンとバックアップファイルの Robot バージョンが合うようにしてください
	CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	予期しないエラーが発生した		
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0004Hex：SD メモリカードの修復実行 • 0101Hex：「autoload」フォルダが存在しない • 0102Hex：「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0104Hex：自動転送コマンドファイルの記述内容が不正 • 0105Hex：バックアップファイルに、必ず転送するデータが存在しない • 0201Hex：CPU ユニットのユニットバージョンが古い • 0202Hex：CPU ユニットの形式が一致しない • 0203Hex：CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 0209Hex：CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 0211Hex：CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンまたは Robot バージョンが古い • 0301Hex：自動転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した		
注意点／備考	なし		

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。
*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	自動転送実行エラー			イベントコード	10280000Hex *1	
内容	自動転送が異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*2		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	―	―

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	自動転送対象データの読み出しに失敗した	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットし、「autoload」フォルダを作成後、「autoload」フォルダにバックアップファイルを格納してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	自動転送中に SD メモリカードが抜き取られた	「autoload」フォルダにバックアップファイルが格納された SD メモリカードを装着して、再度電源投入して自動転送を実行してください	自動転送中に SD メモリカードを抜き取らないでください
	SD メモリカードの「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない	SD メモリカードに「autoload」フォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	フォーマットされた SD メモリカードを使用し、「autoload」フォルダを作成後、「autoload」フォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードの「autoload」フォルダのバックアップファイルが壊れている	「autoload」フォルダに再度バックアップファイルを格納してください。この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直して「autoload」フォルダに格納してください	
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	予期しないエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください		
	SD メモリカードがライトプロテクトされている	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください
	SD メモリカードの容量が不足している	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください	十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリを削除してください	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリは定期的に削除してください

付属情報

付属情報 1：異常の詳細
- 0001Hex：SD メモリカードが抜き取られた
- 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0005Hex：SD メモリカードの容量不足（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0006Hex：ファイル、またはディレクトリの最大数を超過（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0102Hex：「autoload」フォルダにバックアップファイルが存在しない
- 0103Hex：バックアップファイルが壊れている
- 0301Hex：自動転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障
- 7F01Hex：予期しないエラーが発生した

注意点／備考　なし

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。
*2.　詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	SD メモリカードプログラム転送実行前エラー			**イベントコード**	10330000Hex *1	
内容	SD メモリカードプログラム転送の実行前チェックで異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	コントローラリセット後の、SD メモリカードプログラム転送の実行前
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*2		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_Card1PrgTransferSta	_sPRGTRANSFER_STA	SD メモリカード　プログラム転送ステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	SD メモリカードが未装着	SD メモリカードを装着してください	SD メモリカードを装着してください
	SD メモリカードが種別不正	SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください	SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのフォーマット不正	SD メモリカードを SysmacStudio でフォーマット後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	フォーマットされた SD メモリカードを使用し、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダが存在しない	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	
	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない		
	SD メモリカードの、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに再度バックアップファイルを格納してください。 この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直してシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	
	転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットのユニットバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットのバージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットのユニットバージョンとバックアップファイルのユニットバージョンが合うようにしてください

	転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない	バックアップを実行した CPU ユニットの形式と一致する CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットの形式に一致するバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの形式とバックアップファイルの CPU ユニットの形式が一致するようにしてください
	CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください
	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルが転送対象になっていない	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください
	SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、自動転送対象データの読み出しに失敗した	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ処置対策を実施してください	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ再発防止を実施してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した 予期しないエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンとバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンが合うようにしてください
	転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの Robot バージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの Robot バージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの Robot バージョンとバックアップファイルの Robot バージョンが合うようにしてください

付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0004Hex：SD メモリカードの修復実行 • 0101Hex：SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダが存在しない • 0102Hex：SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0104Hex：システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • 0105Hex：バックアップファイルに、必ず転送するデータが存在しない • 0201Hex：CPU ユニットのユニットバージョンが古い • 0202Hex：CPU ユニットの形式が一致しない • 0203Hex：CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 0209Hex：CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 0211Hex：CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンまたは Robot バージョンが古い • 0214Hex：CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードプログラム転送を開始可能な設定ではない • 0301Hex：プログラム転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した
注意点／備考	なし

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。
*2.　詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	SD メモリカードプログラム転送実行エラー			**イベントコード**	10340000Hex *1	
内容	SD メモリカードプログラム転送が異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	SD メモリカードプログラム転送の実行中
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*2		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_Card1PrgTransferSta	_sPRGTRANSFER_STA	SD メモリカード　プログラム転送ステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	SD メモリカードプログラム転送対象データの読み出しに失敗した	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットし、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルを格納してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	SD メモリカードププログラム転送中に SD メモリカードが抜き取られた	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが格納された SD メモリカードを装着して、再度 SD メモリカードプログラム転送を実行してください	SD メモリカードプログラム転送中に SD メモリカードを抜き取らないでください
	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	フォーマットされた SD メモリカードを使用し、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードの、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに再度バックアップファイルを格納してください。この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直してシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	予期しないエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし

	ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください		
	SD メモリカードがライトプロテクトされている	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください
	SD メモリカードの容量が不足している	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください	十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリを削除してください	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリは定期的に削除してください
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカードが抜き取られた • 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0005Hex：SD メモリカードの容量不足（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0006Hex：ファイル、またはディレクトリの最大数を超過（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0102Hex：SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0301Hex：SD メモリカードプログラム転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した		
注意点／備考	なし		

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。
*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC 機能処理異常			**イベントコード**	40110000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	停止*1		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		—		—	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	セーフモード			イベントコード	40160000Hex *1	
内容	コントローラをセーフモードで起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*2		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットのディップスイッチをセーフモードに設定してコントローラの電源を ON した		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	セーフモードでコントローラを起動した場合は、コントローラの電源投入時の動作モードが「運転モード」の場合でも、ユーザプログラムは実行されません					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以前で発生するイベントです。
*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC 機能処理異常			イベントコード	44420000Hex *1	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	全停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*2		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するイベントです。
*2. 詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	オートメーションプレイバック起動異常			イベントコード	35EF0000Hex *1	
内容	オートメーションプレイバック機能が起動できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	CPU ユニットの起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	オートメーションプレイバック機能を使用しない設定に変更し、Sysmac Studio の同期機能で設定を転送する	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_Status		_sAPB_STATUS		APB サービスステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オートメーションプレイバック機能が利用できない CPU ユニットで、オートメーションプレイバック機能を使う設定がされている		オートメーションプレイバック機能を使用しない設定に変更し、Sysmac Studio の同期画面で転送してください		オートメーションプレイバック機能が利用できる CPU ユニットで、オートメーションプレイバック機能を使う設定をしてください	
付属情報	付属情報 1：CPU ユニットの形式 付属情報 2：CPU ユニットのユニットバージョン					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	PLC 機能処理異常			イベントコード	40120000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	停止*1		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 全停止フォールトレベルの異常の場合と同じ動作となります。詳細は、「全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時の入出力動作 (P.1-19)」を参照してください。

イベント名	PLC 機能処理異常			イベントコード	40130000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの一部で致命的な異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報[*1] 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 「devb-mmcsd」と格納されていた場合、SD メモリカードを交換し、CPU ユニットの電源を再投入してください。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">変数のサンプリング上限</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">95770000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">変数のサンプリング可能な上限値に達しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>変数のサンプリング開始時</td></tr>
<tr><td rowspan="2">異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>オートメーションプレイバック機能で収集対象を変更し、Sysmac Studio の同期機能で設定を転送する</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_APB_Status</td><td colspan="2">_sAPB_STATUS</td><td colspan="2">APB サービスステータス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">変数のサンプリング可能な数量、サイズもしくは処理能力が上限を超えた</td><td colspan="2">以下の処置にて、変数のサンプリングが動作可能な収集設定に調整してください。
• 収集対象のプログラム POU を減らす
• タスク周期時間を伸ばす
• 軸変数をサンプリング対象から除外する（プライマリ定周期タスクの場合のみ）</td><td colspan="2">収集対象を、変数ログに残す必要のある変数を含むプログラム POU に限定する</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：サンプリングが実行できないタスク種別
• 0：プライマリ定周期タスク
• 1：定周期タスク
付属情報 2：要因の種別
• 0：変数の合計数が上限を超えた
• 1：変数の合計サイズが上限を超えた
• 2：処理能力が上限を超えた
付属情報 3
• 付属情報 2 が 0：サンプリング対象に設定されている変数の合計数
• 付属情報 2 が 1：サンプリング対象に設定されている変数の合計サイズ（バイト）
• 付属情報 2 が 2：0 固定
付属情報 4：異常が発生した際の収集設定番号</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">• 変数のサンプリングは停止します</td></tr>
</table>

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降 Ver.1.65 未満で発生するイベントです。

イベント名	変数のサンプリング上限			イベントコード	95790000Hex *1	
内容	変数のサンプリング可能な上限値に達しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数のサンプリング開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	オートメーションプレイバック機能で収集対象を変更し、Sysmac Studio の同期機能で設定を転送する	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_Status		_sAPB_STATUS		APB サービスステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数のサンプリング可能な数量、サイズもしくは処理能力が上限を超えた		以下の処置にて、変数のサンプリングが動作可能な収集設定に調整してください。 • 収集対象のプログラム POU を減らす • タスク周期時間を伸ばす • 軸変数をサンプリング対象から除外する（プライマリ定周期タスクの場合のみ）		収集対象を、変数ログに残す必要のある変数を含むプログラム POU に限定する	
付属情報	付属情報 1：サンプリングが実行できないタスク種別 • 0：プライマリ定周期タスク • 1：定周期タスク 付属情報 2：要因の種別 • 0：変数の合計数が上限を超えた • 1：変数の合計サイズが上限を超えた • 2：処理能力が上限を超えた 付属情報 3 • 付属情報 2 が 0：サンプリング対象に設定されている変数の合計数 • 付属情報 2 が 1：サンプリング対象に設定されている変数の合計サイズ（KB） • 付属情報 2 が 2：0 固定 付属情報 4：異常が発生した際の収集設定番号					
注意点／備考	• 変数のサンプリングは停止します • 重要度を監視情報に変更できます。監視情報に変更した場合、復旧は不要となります					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.65 以降で発生するイベントです。

イベント名	イベントログ保存失敗			**イベントコード**	10230000Hex	
内容	イベントログの保存に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	開始	**動作**	影響なし。ただし、過去のイベントログの一部、または全部の読み出し不可		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	バッテリ電圧低下による電断保持失敗（NJ/NX シリーズの場合）		バッテリを交換してください		バッテリの定期的な交換	
	強制シャットダウンされた（NY シリーズの場合）		なし		強制シャットダウン以外の方法でシャットダウンしてください	
	イベントログエリアのデータが不正（NY シリーズの場合）		産業用 PC を電源再投入しても本異常が再発する場合は、イベントログエリアのハードウェア故障の可能性があります。産業用 PC のイベントログ機能を使用する場合は、産業用 PC を交換してください		なし	
	イベントログエリアのデータが不正（NJ/NX シリーズの場合）		CPU ユニットを電源再投入しても本異常が再発する場合は、イベントログエリアのハードウェア故障の可能性があります。CPU ユニットのイベントログ機能を使用する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0：全カテゴリのログの保存に失敗 • 1：システムイベントログの保存に失敗 • 2：アクセスイベントログの保存に失敗 • 100：ユーザイベントログの保存に失敗					
注意点／備考	なし					

イベント名	トレース設定転送失敗			**イベントコード**	10260000Hex	
内容	トレース設定の転送中に電断が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	トレース設定の転送中に電断した		トレース設定を再転送してください		トレース設定の転送中に電断しないでください	
付属情報	なし					
注意点／備考	本異常発生時にはすべてのトレース設定が初期化されます					

イベント名	バックアップ開始失敗			イベントコード	10290000Hex *1	
内容	バックアップの実行前チェックで異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからのバックアップ指示時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが未装着		SD メモリカードを装着してください		SD メモリカードを装着してください	
	SD メモリカードが種別不正		SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください		SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください	
	SD メモリカードのフォーマット不正		SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットしてください		フォーマットされた SD メモリカードを使用してください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください	
	SD メモリカードがライトプロテクトされている		SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください		SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください	
	[SD メモリカードへのバックアップ禁止] 設定が「禁止する」に設定されている		[SD メモリカードへのバックアップ禁止] 設定を解除してください		[SD メモリカードへのバックアップ禁止] 設定を使用しないでください	
	他のバックアップ機能が動作中である		他のバックアップ機能の実行が完了してから再度バックアップ操作を行ってください		他のバックアップ機能の実行中はバックアップ操作を行わないでください	
	同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である		同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが完了してから再度バックアップ操作を行ってください		同期、オンラインエディット、メモリオールクリアの実行中はバックアップ操作を行わないでください	
	ユーザ操作によりバックアップを中止した		なし		なし	
	Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した		ケーブルの接続を確認してください。いったんオフラインにし、再度オンライン接続してからバックアップを実行してください		ケーブルが断線していないことを確認してください。ケーブルが確実に接続されていることを確認してください	
	SD メモリカードの故障		上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください		SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください	
	予期しないエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	

付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：コントローラ→SD メモリカード（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：コントローラ→SD メモリカード（システム変数による指示） • 0103Hex：コントローラ→SD メモリカード（Sysmac Studio 操作による指示、または各機能モジュール固有のトリガ） • 0104Hex：コントローラ→SD メモリカード（命令による指示） • 0201Hex：コントローラ→パソコン 付属情報 2：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている • 0204Hex：「SD メモリカードへのバックアップ禁止」設定が「禁止する」に設定されている • 0205Hex：他のバックアップ機能が実行中 • 0206Hex：同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが実行中 • 0207Hex：システム定義変数で指定したディレクトリ名に禁止文字を使用している • 0401Hex：ユーザ操作によりバックアップを中止した • 0501hex：Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	バックアップ実行失敗			イベントコード	102A0000Hex *1	
内容	バックアップが異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	バックアップ実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードの容量が不足している		十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください		十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください	
	バックアップ対象データの保存に失敗した		CPU ユニットへの書込操作を行わない状態で再度バックアップを行ってください		バックアップ中は、CPU ユニットへの書込操作を行わないでください	
	バックアップ中に SD メモリカードが抜き取られた		SD メモリカードを装着してください		SD メモリカードを装着してください	
	ユニット／スレーブのバックアップに失敗した		「バックアップ実行失敗（CJ ユニット）」（102D0000Hex）または「バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）」（102F0000Hex）の処置対策を参照してください		「バックアップ実行失敗（CJ ユニット）」（102D0000Hex）または「バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）」（102F0000Hex）の再発防止を参照してください	
	ユーザ操作によりバックアップを中止した		なし		なし	
	カムテーブル保存命令、または CPU ユニット名称の更新が実行中である		カムテーブル保存命令、または CPU ユニット名称の更新が完了してから操作してください		カムテーブル保存命令、または CPU ユニット名称の更新中は、バックアップを行わないでください	
	Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した		ケーブルの接続を確認してください。いったんオフラインにし、再度オンライン接続してからバックアップを実行してください		ケーブルが断線していないことを確認してください。ケーブルが確実に接続されていることを確認してください	
	パソコンへのバックアップ対象データの保存に失敗した		パソコンのハードディスクの空き容量を増やしてください		ハードディスクの空き容量が十分であることを確認してからバックアップを行ってください	
	SD メモリカードの故障		上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください		SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください	
	予期しないエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
	ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください					
	SD メモリカードのフォーマット不正		SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットしてください		フォーマットされた SD メモリカードを使用してください	
	SD メモリカードがライトプロテクトされている		SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください		SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください	
	バックアップ対象データである SD メモリカードの/D フォルダが存在しない		CPU ユニットを電源再投入し、/D フォルダを工場出荷時状態に戻す、または Sysmac Studio からダウンロードを行ってください		SD メモリカードの/D フォルダを削除しないでください	

付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：コントローラ→SD メモリカード（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：コントローラ→SD メモリカード（システム変数による指示） • 0103Hex：コントローラ→SD メモリカード（Sysmac Studio 操作による指示、または各機能モジュール固有のトリガ） • 0104Hex：コントローラ→SD メモリカード（命令による指示） • 0201Hex：コントローラ→パソコン 付属情報 2：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカードが抜き取られた • 0001Hex：SD メモリカードが抜きとられた、またはフォーマット不正（ロボット統合 CPU ユニットの場合で、操作種別が 0201Hex のとき） • 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0005Hex：SD メモリカードの容量不足 • 0006Hex：ファイル、またはディレクトリの最大数を超過 • 0106Hex：SD メモリカードに/D フォルダが見つからない（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0206Hex：カムテーブル保存命令、または CPU ユニット名称の更新が実行中 • 0210Hex：指定ディレクトリと同名のファイルが存在 • 0302Hex：バックアップ対象データの保存失敗、SD メモリカードの故障 • 0304Hex：ユニット／スレーブのバックアップに失敗した • 0401Hex：ユーザ操作によりバックアップを中止した • 0501Hex：Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • 0502Hex：パソコンへのバックアップ対象データの保存に失敗した • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア開始失敗			イベントコード	102B0000Hex *1	
内容	リストアの実行前チェックで異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからのリストア指示時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	システム定義変数による指示の場合					
	_Card1RestoreSta		_sRESTORE_STA		SD メモリカード　リストアステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが未装着		SD メモリカードを装着してください		SD メモリカードを装着してください	
	SD メモリカードが種別不正		SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください		SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください	
	SD メモリカードのフォーマット不正		SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマット後、バックアップファイルを格納してください		フォーマットされた SD メモリカードを使用し、バックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください	
	SD メモリカードにバックアップファイルが存在しない		SD メモリカードの指定したフォルダにバックアップファイルを格納してください			
	SD メモリカードのバックアップファイルが壊れている、または、必ずリストアするデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない		再度バックアップを取り直してしてください			
	リストア先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い		バックアップを実行した CPU ユニットのユニットバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットのバージョンに合ったバックアップファイルを指定してください		CPU ユニットのユニットバージョンとバックアップファイルのユニットバージョンが合うようにしてください	
	リストア先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない		バックアップを実行した CPU ユニットの形式と一致する CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの形式に一致するバックアップファイルを指定してください		CPU ユニットの形式とバックアップファイルの CPU ユニットの形式が一致するようにしてください	
	SD メモリカードの修復が実行された		SD メモリカードの指定したフォルダにバックアップファイル、リストアコマンドファイルがない場合は、再度ファイルを格納してください		なし	
	CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効		リストア機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください		リストア機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください	
	リストアコマンドファイル(RestoreCommand.ini)の記述内容が不正		リストアコマンドファイルの記述内容で、リストア必須のファイルの転送を「yes」に設定してください		リストアコマンドファイルの記述内容で、リストア必須のファイルの転送を「yes」に設定してください	
	他のバックアップ機能が動作中である		他のバックアップ機能の実行が完了してから再度リストア操作を行ってください		他のバックアップ機能の実行中はリストア操作を行わないでください	
	同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である		同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが完了してから再度リストア操作を行ってください		同期、オンラインエディット、メモリオールクリアの実行中はリストア操作を行わないでください	

	Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した	ケーブルの接続を確認してください。いったんオフラインにし、再度オンライン接続してからバックアップを実行してください	ケーブルが断線していないことを確認してください。ケーブルが確実に接続されていることを確認してください
	SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、リストア対象データの読み出しに失敗した	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ処置対策を実施してください	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ再発防止を実施してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	リストア先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンに合ったバックアップファイルを指定してください	CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンとバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンが合うようにしてください
	リストア先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの Robot バージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの Robot バージョンに合ったバックアップファイルを指定してください	CPU ユニットの Robot バージョンとバックアップファイルの Robot バージョンが合うようにしてください
	CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	予期しないエラーが発生した		
	システム定義変数による指示の場合は、以下もご確認ください		
	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」が「使用しない」に設定されている	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」を「使用する」にしてください	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」を「使用する」にしてください
	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」の「パスワード」と、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.Password とが一致しない	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」の「パスワード」を、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.Password に設定してください	コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」の「パスワード」を、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.Password に設定してください
	CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードバックアップ機能のリストアをシステム定義変数による指示で開始可能な設定ではない	CPU ユニットのディップスイッチ設定を、すべて OFF にしてから、SD メモリカードバックアップ機能のリストアをシステム定義変数による指示で開始してください	CPU ユニットのディップスイッチ設定を、すべて OFF にしてから、SD メモリカードバックアップ機能のリストアをシステム定義変数による指示で開始してください
	システム定義変数で指定するフォルダが存在しない	システム定義変数で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	システム定義変数で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください
	システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない	システム定義変数で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください	システム定義変数で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください
	ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください		
	SD メモリカードがライトプロテクトされている	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください
	SD メモリカードの容量が不足している	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください	十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください

付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：SD メモリカード→コントローラ（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：SD メモリカード→コントローラ（システム定義変数による指示） • 0201Hex：パソコン→コントローラ 付属情報 2：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0004Hex：SD メモリカードの修復実行 • 0005Hex：SD メモリカードの容量不足（ロボット統合 CPU ユニットの場合） • 0101Hex：SD メモリカードに、システム定義変数_Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない • 0102Hex：バックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0104Hex：リストアコマンドファイルの記述内容が不正、または、システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • 0105Hex：バックアップファイルに、必ず転送するデータが存在しない • 0201Hex：CPU ユニットのユニットバージョンが古い • 0202Hex：CPU ユニットの形式が一致しない • 0203Hex：CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 0205Hex：他のバックアップ機能が実行中 • 0206Hex：同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが実行中 • 0209Hex：CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 0211Hex：CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンまたは Robot バージョンが古い • 0212Hex：コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」が「使用しない」に設定されている • 0213Hex：コントローラ設定の「システム定義変数によるリストア」の「パスワード」と、システム定義変数_Card1RestoreCmd.Password とが一致しない • 0214Hex：CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードバックアップ機能のリストアをシステム定義変数による指示で開始可能な設定ではない • 0301Hex：リストア対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 0501Hex：Sysmac Studio とのオンライン接続が切断した • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した
注意点／備考	なし

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア実行失敗			イベントコード	102C0000Hex *1	
内容	リストアが異常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	リストア実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_Card1RestoreSta	_sRESTORE_STA	SD メモリカード　リストアステータス

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	リストア対象データの読み出しに失敗した	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットし、バックアップファイルを格納してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	リストア中に SD メモリカードが抜き取られた	バックアップファイルが格納された SD メモリカードを装着して、再度リストアを実行してください	リストア中に SD メモリカードを抜き取らないでください
	ユニット／スレーブのリストアに失敗した	「リストア実行失敗(CJ ユニット)」(102E0000Hex)または「リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ)」(10300000Hex)の処置対策を参照してください	「リストア実行失敗(CJ ユニット)」(102E0000Hex)または「リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ)」(10300000Hex)の再発防止を参照してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	予期しないエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	ロボット統合 CPU ユニットの場合は、以下もご確認ください		
	SD メモリカードがライトプロテクトされている	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください
	SD メモリカードの容量が不足している	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください	十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのファイルシステムで扱うことのできるファイル、またはディレクトリの最大数を超えた	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリを削除してください	SD メモリカードの不要なファイル、ディレクトリは定期的に削除してください

付属情報

付属情報 1：操作種別
- 0101Hex：SD メモリカード→コントローラ（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示）
- 0102Hex：SD メモリカード→コントローラ（システム定義変数による指示）
- 0201Hex：パソコン→コントローラ

付属情報 2：異常の詳細
- 0001Hex：SD メモリカードが抜き取られた
- 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0005Hex：SD メモリカードの容量不足（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0006Hex：ファイル、またはディレクトリの最大数を超過（ロボット統合 CPU ユニットの場合）
- 0102Hex：バックアップファイルが存在しない
- 0103Hex：バックアップファイルが壊れている
- 0301Hex：リストア対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障
- 0303Hex：ユニット／スレーブのリストアに失敗した
- 7F01Hex：予期しないエラーが発生した

注意点／備考　なし

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	SD メモリカードプログラム転送開始失敗		イベントコード	10320000Hex *1	
内容	SD メモリカードプログラム転送の開始前チェックで異常を検出しました				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	なし	検出タイミング	SD メモリカードプログラム転送の開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	―	動作	影響なし		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_Card1PrgTransferSta	_sPRGTRANSFER_STA	SD メモリカード　プログラム転送ステータス

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」が「使用しない」に設定されている	コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」を「使用する」に設定してください	コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」を「使用する」に設定してください
	コントローラ設定の「システム定義変数による転送」の「パスワード」と、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.Password とが一致しない	コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」の「パスワード」を、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.Password に設定してください	コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」の「パスワード」を、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.Password に設定してください
	CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードプログラム転送を開始可能な設定ではない	CPU ユニットのディップスイッチ設定を、すべて OFF にしてから、SD メモリカードプログラム転送を開始してください	CPU ユニットのディップスイッチ設定を、すべて OFF にしてから、SD メモリカードプログラム転送を開始してください
	SD メモリカードが未装着	SD メモリカードを装着してください	SD メモリカードを装着してください
	SD メモリカードが種別不正	SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください	SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのフォーマット不正	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマット後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	フォーマットされた SD メモリカードを使用し、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成後、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダが存在しない	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	
	SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない		
	SD メモリカードの、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに再度バックアップファイルを格納してください。 この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直してシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	

	転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットのユニットバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットのバージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットのユニットバージョンとバックアップファイルのユニットバージョンが合うようにしてください
	転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない	バックアップを実行した CPU ユニットの形式と一致する CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットの形式に一致するバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの形式とバックアップファイルの CPU ユニットの形式が一致するようにしてください
	CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの［電源投入時の書込プロテクト］を「しない」に設定してください
	他のバックアップ機能が動作中である	他のバックアップ機能の実行が完了してから再度バックアップ操作を行ってください	他のバックアップ機能の実行中はバックアップ操作を行わないでください
	同期、オンラインエディットまたはメモリオールクリアが実行中である	同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが完了してから再度バックアップ操作を行ってください	同期、オンラインエディット、メモリオールクリアの実行中はバックアップ操作を行わないでください
	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルが転送対象になっていない	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください	システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください
	SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、SD メモリカードプログラム転送対象データの読み出しに失敗した	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ処置対策を実施してください	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ再発防止を実施してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	予期しないエラーが発生した		
	転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンとバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンが合うようにしてください

	転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの Robot バージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットの Robot バージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの Robot バージョンとバックアップファイルの Robot バージョンが合うようにしてください
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0004Hex：SD メモリカードの修復実行 • 0101Hex：SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダが存在しない • 0102Hex：SD メモリカードに、システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd.DirName」で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0104Hex：システム定義変数「_Card1PrgTransferCmd」で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • 0105Hex：バックアップファイルに、必ず転送するデータが存在しない • 0201Hex：CPU ユニットのユニットバージョンが古い • 0202Hex：CPU ユニットの形式が一致しない • 0203Hex：CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 0205Hex：他のバックアップ機能が実行中 • 0206Hex：同期、オンラインエディット、メモリオールクリアが実行中 • 0209Hex：CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 0211Hex：CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンまたは Robot バージョンが古い • 0212Hex：コントローラ設定の「システム定義変数によるプログラム転送」が「使用しない」に設定されている • 0213Hex：コントローラ設定の「システム定義変数による転送」の「パスワード」と、システム定義変数 _Card1PrgTransferCmd.Password とが一致しない • 0214Hex：CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードプログラム転送を開始可能な設定ではない • 0301Hex：プログラム転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した		
注意点／備考	なし		

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア実行前チェック失敗			**イベントコード**	103E0000Hex[*1]	
内容	SD メモリカードリストアのシステム定義変数による指示の実行前チェックで異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	システム定義変数によるリストアでの、コントローラリセット後のリストア実行前
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_Card1RestoreSta	_sRESTORE_STA	SD メモリカード　リストアステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	SD メモリカードが未装着	SD メモリカードを装着してください	SD メモリカードを装着してください
	SD メモリカードが種別不正	SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください	SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのフォーマット不正	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマット後、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	フォーマットされた SD メモリカードを使用し、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダを作成後、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルを格納しておいてください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない	SD メモリカードに、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダを作成し、バックアップファイルを格納してください	
	SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない		
	SD メモリカードの、システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダのバックアップファイルが壊れている、または、必ず転送するデータが SD メモリカードのバックアップファイルに存在しない	システム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダに再度バックアップファイルを格納してください。この処置を行っても再度本異常が発生する場合は再度バックアップを取り直してシステム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダに格納してください	
	転送先の CPU ユニットのユニットバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルのユニットバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットのユニットバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットのバージョンに合ったバックアップファイルをシステム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットのユニットバージョンとバックアップファイルのユニットバージョンが合うようにしてください

	転送先の CPU ユニットの形式が SD メモリカードのバックアップファイルの CPU ユニットの形式と一致しない	バックアップを実行した CPU ユニットの形式と一致する CPU ユニットに交換してください。 または、使用する CPU ユニットの形式に一致するバックアップファイルをシステム定義変数 _Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダに格納してください	CPU ユニットの形式とバックアップファイルの CPU ユニットの形式が一致するようにしてください
	CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの「電源投入時の書込プロテクト」を「しない」に設定してください	SD メモリカードプログラム転送機能を使用する場合は、CPU ユニットの「電源投入時の書込プロテクト」を「しない」に設定してください
	システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない	システム定義変数で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください	システム定義変数で、転送必須のファイルの転送を「TRUE」に設定してください
	SD メモリカードの故障またはフォーマット不正により、SD メモリカードプログラム転送対象データの読み出しに失敗した	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ処置対策を実施してください	「SD メモリカードのフォーマット不正」、「SD メモリカードの故障」の場合と同じ再発防止を実施してください
	SD メモリカードの故障	上記の要因でない場合は SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。 また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した 予期しないエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし
	転送先の CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンに合ったバックアップファイルを指定してください	CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンとバックアップファイルの DB 接続サービスのバージョンが合うようにしてください
	転送先の CPU ユニットの Robot バージョンが SD メモリカードのバックアップファイルの Robot バージョンより古い	バックアップを実行した CPU ユニットの Robot バージョンと同じか新しい CPU ユニットに交換してください。または、使用する CPU ユニットの Robot バージョンに合ったバックアップファイルを指定してください	CPU ユニットの Robot バージョンとバックアップファイルの Robot バージョンが合うようにしてください

付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0102Hex：SD メモリカード→コントローラ（システム定義変数による指示） 付属情報 2：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0004Hex：SD メモリカードの修復実行 • 0101Hex：SD メモリカードに、システム定義変数_Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダが存在しない • 0102Hex：SD メモリカードに、システム定義変数_Card1RestoreCmd.DirName で指定するフォルダにバックアップファイルが存在しない • 0103Hex：バックアップファイルが壊れている • 0104Hex：システム定義変数で、転送必須のファイルが転送対象になっていない • 0105Hex：バックアップファイルに、必ず転送するデータが存在しない • 0201Hex：CPU ユニットのユニットバージョンが古い • 0202Hex：CPU ユニットの形式が一致しない • 0203Hex：CPU ユニットの書込プロテクト機能が有効 • 0209Hex：CPU ユニットが前回電断時に電断処理に失敗した • 0211Hex：CPU ユニットの DB 接続サービスのバージョンまたは Robot バージョンが古い • 0214Hex：CPU ユニットのディップスイッチ設定が、SD メモリカードリストア　システム定義変数による指示を開始可能な設定ではない • 0301Hex：プログラム転送対象データの読出失敗、SD メモリカードの故障 • 7F01Hex：予期しないエラーが発生した
注意点／備考	なし

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.14 以降で発生するイベントです。

イベント名	オンラインエディット転送失敗			**イベントコード**	103F0000Hex	
内容	オンラインエディット転送に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	オンラインエディット転送時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	変数の数の上限値超過		メモリ使用状況を確認し、保持変数定義数および非保持変数定義数が上限値を超過しないように再設計してください		プログラム作成時、メモリ使用状況を確認し、保持変数定義数および非保持変数定義数が上限値を超過しないように設計してください	
	変数の初期値あり／なしを変更した		変数の初期値あり／なしの変更をやめてオンラインエディット転送してください		変数の初期値あり／なしの変更は同期で行うようにしてください	
付属情報	付属情報 1：失敗要因 • 0001Hex:変数の数の上限値超過 • 0002Hex:変数初期値あり／なし変更					
注意点／備考						

イベント名	変数ログ保存失敗			**イベントコード**	152C0000Hex *1	
内容	変数ログが保存できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	変数ログ保存条件の成立時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	異常要因を除去し、異常解除する	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_APB_LogStatus		ARRAY[1..2][1..2] OF _sAPB_LOG_STATUS		APB ログ出力ステータス	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	変数ログの保存条件が成立しましたが、以下の要因により変数ログが生成できませんでした • 保存先のストレージが何らかの理由で使用できない • 保存先のストレージが書き込み禁止になっている • 保存先ストレージのファイル数、ディレクトリ数が最大数である		変数ログ保存先のストレージを利用可能な状態にしてください		変数ログ保存先のストレージが利用可能な状態であることを確認の上、変数ログを出力するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：ストレージ種別 1：SD メモリカード 付属情報 2：異常要因 • 1400Hex：保存先のストレージが何らかの理由で使用できない • 1401Hex：保存先のストレージが書き込み禁止になっている • 1402Hex：保存先ストレージのファイル数、ディレクトリ数が最大数である 付属情報 3：変数ログ出力設定名					
注意点／備考	異常解除を実行すると、変数ログの保存を再度試みます					

*1.　形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	セーフティデータロギング開始失敗			イベントコード	10630000Hex *1	
内容	セーフティデータロギングの開始に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	セーフティデータロギング開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	ＳＤメモリカードが未装着	ＳＤメモリカードを装着してください。	SD メモリカードの装着を確認してから、ロギングを開始してください。
	ロギング設定ファイルが存在しない	ロギング設定ファイルをＳＤメモリカードの所定の位置“/SFLog/”に格納してください。	ロギング設定ファイルを所定の位置“/SFLog/”に格納してください。
	ロギング設定ファイルのロギング設定番号が重複	必要のないロギング設定ファイルを削除してください。	重複したロギング設定番号のロギング設定ファイルを置かないようにしてください。
	ロギング設定ファイルのロギング設定番号が仕様範囲外	ロギング実行環境に転送されたプロジェクトにて、再度ロギング設定ファイルを作成してください。	Sysmac Studio のプロジェクトを変更した場合は、ロギング設定を転送しなおしてください。Sysmac Studio が生成したロギング設定ファイルを他の方法で編集しないでください。
	ロギング設定ファイルが不正	ロギング実行環境に転送されたプロジェクトにて、再度ロギング設定ファイルを作成してください。	Sysmac Studio のプロジェクトを変更した場合は、ロギング設定を転送しなおしてください。Sysmac Studio が生成したロギング設定ファイルを他の方法で編集しないでください。
	セーフティマスタコネクションが全て確立していない	セーフティマスタコネクションが全て確立してからセーフティデータロギングを開始してください。	セーフティマスタコネクションが全て確立してからセーフティデータロギングを開始してください。
	ロギング設定ファイルで指定されたロギング対象変数へのアクセスが不可	ロギング実行環境に転送されたプロジェクトにて、再度ロギング設定ファイルを作成してください。	Sysmac Studio のプロジェクトを変更した場合は、ロギング設定を転送しなおしてください。Sysmac Studio が生成したロギング設定ファイルを他の方法で編集しないでください。

付属情報	付属情報 1：失敗要因 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：ロギング設定ファイルなし • 0003Hex：ロギング設定番号重複 • 0004Hex：ロギング設定番号が仕様範囲外 • 0005Hex：ロギング設定ファイル不正 • 0006Hex：セーフティマスタコネクション未確立 • 0007Hex：ロギング対象変数へのアクセス不可
注意点／備考	セーフティ CPU ユニットが妥当性未確認の状態ではセーフティデータロギングを開始できません。

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102 CPU ユニットバージョン Ver.1.31 以降で発生するイベントです。

イベント名	セーフティデータログファイル保存失敗			イベントコード	10640000Hex *1	
内容	セーフティデータロギングのログファイル保存に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	セーフティデータロギングファイル保存処理実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ロギング開始後、ＳＤメモリカードを抜き出した。		SD メモリカードを装着してください。		ロギング実行中にＳＤメモリカードを抜かないでください。	
	SD メモリカードがライトプロテクトされている。		ＳＤメモリカードのライトプロテクトを解除してください。		ＳＤメモリカードのライトプロテクトは解除した状態でロギングを開始してください。	
	ＳＤメモリカードの空き容量が不足している。		十分な空き容量のあるＳＤメモリカードに交換してください。		十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください。	
	ＳＤメモリカードのファイル数が最大数を超えた。		SD メモリカードに格納されたファイルを削除し、ファイル数を削減してください。		定期的にファイルを削除し、ファイル数を削減してください。	
	ＳＤメモリカードの故障。		上記の要因でない場合は、SD メモリカードを交換してください。		書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください。	
付属情報	付属情報 1：失敗要因 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：ライトプロテクト • 0003Hex：空き容量不足 • 0004Hex：ファイル最大数超過 • 0005Hex：その他 付属情報 2：保存失敗したログファイル名					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102 CPU ユニットバージョン Ver.1.31 以降で発生するイベントです。

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	40140000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。		－		－	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	セーフモード			イベントコード	40170000Hex *1	
内容	コントローラをセーフモードで起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	－		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	コントローラをセーフモードで起動した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	セーフモードでコントローラを起動した場合は、コントローラの電源投入時の動作モードが「運転モード」の場合でも、「プログラムモード」で動作します					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数ログ保存先容量警告			イベントコード	64050000Hex *1	
内容	変数ログの保存先ストレージの空き容量が、設定値で指定した容量を下回りました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数のサンプリング実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	異常解除を実行する	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数ログの保存先ストレージの空き容量が、設定値で指定した容量以下になった		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：ストレージ種別 1：SD メモリカード 付属情報 2：設定値(MB)					
注意点／備考	• 本イベントはストレージの空き容量が不足しつつある状況を通知するイベントです。変数ログの出力を制御するものではありません • 空き容量の確認は変数ログを出力する際に実施されます					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">変数ログの同時性なし</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">64060000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">変数のサンプリングが終了するまでに次のタスク周期のタスクが開始したため、現在の状態で変数ログの出力をすると、変数ログのデータの同時性が確保できません</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>変数のサンプリング実行中</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>オートメーションプレイバック機能の設定を変更したプロジェクトを、Sysmac Studio の同期機能で転送する</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_APB_Status</td><td colspan="2">_sAPB_STATUS</td><td colspan="2">APB サービスステータス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">以下の要因により、変数のサンプリングが終了するまでに次のタスク周期のタスクが開始した
• サンプリング対象の変数が多い
• タスク周期におけるタスク実行時間の比率が高い</td><td colspan="2">以下の処置にて、変数のサンプリングがタスク周期内で完了するように調整してください
• 収集対象のプログラム POU を減らす
• タスク周期時間を伸ばす
• 軸変数をサンプリング対象から除外する（プライマリ定周期タスクの場合のみ）</td><td colspan="2">収集対象を、変数ログに残す必要のある変数を含むプログラム POU に限定する</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：タスク周期内にサンプリングが完了できなかったタスク種別
• 0：プライマリ定周期タスク
• 1：定周期タスク
付属情報 2：当該タスクのサンプリング対象変数の数
付属情報 3：当該タスクのサンプリングが開始し、終了するまでに要した最大時間（μs）
付属情報 4：対処が必要な収集設定の収集設定番号</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">• 変数のサンプリングは継続します
• 同時性が確保できない変数ログを出力しないよう、変数のサンプリングを停止する設定ができます
• 本イベントは一度発生すると、変数のサンプリングが停止するまで再発しません</td></tr>
</table>

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数のサンプリング未実施周期の発生			**イベントコード**	64070000Hex *1	
内容	変数のサンプリングが省略された周期が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	変数のサンプリング実行中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	オートメーションプレイバック機能の設定を変更したプロジェクトを、Sysmac Studio の同期機能で転送する	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_APB_Status	_sAPB_STATUS	APB サービスステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	以下の要因により、変数のサンプリングが省略される周期が発生した • サンプリング対象の変数が多い • タスク周期における空き時間が短い	以下の処置にて、変数のサンプリングがタスク周期内で完了するように調整してください • 収集対象のプログラム POU を減らす • タスク周期時間を伸ばす • 軸変数をサンプリング対象から除外する（プライマリ定周期タスクの場合のみ）	収集対象を、変数ログに残す必要のある変数を含むプログラム POU に限定する

付属情報	付属情報 1：サンプリングが省略された周期があるタスク種別 • 0：プライマリ定周期タスク • 1：定周期タスク 付属情報 2：当該タスクのサンプリング対象変数の数 付属情報 3：当該タスクのサンプリングが開始し、終了するまでに要した最大時間（μs） 付属情報 4：対処が必要な収集設定の収集設定番号
注意点／備考	• 変数のサンプリングは継続します • 本イベントが発生した場合、設定により変数のサンプリングを停止し、変数ログを出力しないようにすることができます • 本イベントは一度発生すると、変数のサンプリングが停止するまで再発しません

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	セキュア通信強制開始			イベントコード	64080000Hex *1	
内容	強制的にセキュア通信で起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セキュア通信バージョン設定が 2、かつ CPU ユニットのディップスイッチ設定が「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」で起動した		セキュア通信バージョン 2 で使用する場合は、CPU ユニットのディップスイッチ 1、2 を OFF にしてから、CPU ユニットを起動してください。 「セキュア通信未対応の Sysmac Studio、NA 接続許可」を利用する場合は、管理者権限でセキュア通信バージョンを 1 に設定変更してください。		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニットバージョン Ver.1.69 以降、および形 NX701 の CPU ユニットバージョン Ver1.36 以降で発生するイベントです。

イベント名	NX メッセージ通信異常			イベントコード	80230000Hex *1	
内容	メッセージ通信で異常が発生しています					
発生源	PLC 機能モジュール EtherCAT マスタ機能モジュール EtherNet/IP 機能モジュール NX バス機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	NX メッセージ送受信時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	通信ケーブルの断線	通信ケーブルが断線していないか確認し、断線している場合は、ケーブルを交換してください	使用する通信ケーブルが断線していないことを確認してください
	通信ケーブルのコネクタのはずれ	コネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください	通信ケーブルが確実に接続されていることを確認してください
	NX メッセージ通信の負荷が高い	NX メッセージを送信する命令の使用頻度を減らしてください。 または、命令の入力変数「TimeOut」の値を大きくしてください。 複数の Sysmac Studio を接続している場合は、同時操作の頻度を減らしてください	NX メッセージを送信する命令の使用頻度を減らしてください。 または、命令の入力変数「TimeOut」の値を大きくしてください。 複数の Sysmac Studio を接続している場合は、同時操作の頻度を減らしてください

付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：通信の種類 • 0：NX バス • 1：EtherCAT • 65535：ユニット内部（ルーティング処理）
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するイベントです。

イベント名	セーフティデータロギング中断			イベントコード	90470000Hex *1	
内容	実行中のセーフティデータロギングが中断されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	セーフティデータロギング実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_PLC_SFLogSta		ARRAY[0..1] OF _sSFLOG_STA		セーフティデータロギングステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セーフティデータロギング実行中にサービススイッチ操作により中断された		－		－	
	セーフティマスタコネクションの通信異常が発生した、または、セーフティ CPU ユニットがセーフティプロセスデータ通信の継続ができない動作モードに遷移した		直近で発生しているセーフティプロセスデータ通信関連イベントを確認し、必要な処置・対策を実施してください。または、セーフティ CPU ユニットをセーフティプロセスデータ通信の実行が可能な動作モードに変更してください。		セーフティプロセスデータ通信が意図せず途絶しない状況で、セーフティデータロギングを実行してください。	
	NX バスがリスタートされた		－		－	
	コントローラの設定またはプログラムが変更された		－		－	
付属情報	付属情報 1：中断したロギング設定番号 付属情報 2：出力ログファイル名 付属情報 3:中断要因 • 1：サービススイッチの押下 • 2：セーフティマスタコネクション未確立 • 3：NX バスのリスタート • 4：コントローラ設定またはプログラムの変更					
注意点／備考	• 中断されたセーフティデータロギングは中断要因が解除されても自動で再開しません。 • 保存されるログデータは、トリガ後比率設定に関係なく、中断要因発生以前のデータだけです。					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102 CPU ユニットバージョン Ver.1.31 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数ログの上書き実施			イベントコード	95760000Hex *1	
内容	古い変数ログを消去し、新しい変数ログを保存しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数ログ保存条件の成立時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	異常解除を実行する	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数ログの保存先ストレージの空き容量が不足している、または指定した容量以下になった		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：ストレージ種別 1：SD メモリカード 付属情報 2：設定値(MB)					
注意点／備考	本イベントが発生すると、古い変数ログは削除されています					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	40150000Hex	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。		－		－	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	PLC システム情報			イベントコード	44430000Hex *1	
内容	PLC 機能モジュールの内部情報です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	PLC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。		－		－	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するイベントです。

イベント名	時刻の変更			イベントコード	90010000Hex	
内容	時刻を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_CurrentTime		DATE_AND_TIME		システム時刻	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	時刻を変更した		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 3：変更前時刻					
注意点／備考	NTP 機能、または NTP 時計補正命令(SetTime)による時刻の変更はイベントログに記録されません 本イベントのタイムスタンプは、時刻変更後の時刻になります					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	タイムゾーンの変更			イベントコード	90020000Hex	
内容	タイムゾーンを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ダウンロード時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_CurrentTime		DATE_AND_TIME		システム時刻	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	タイムゾーンを変更した		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	オンライン接続開始			イベントコード	90030000Hex*1	
内容	Sysmac Studio のオンライン接続を開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	オンライン接続開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio のオンライン接続を開始した		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニット、かつ Sysmac Studio Ver.1.50 以降の組み合わせでで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	オンライン接続終了			イベントコード	90040000Hex*1	
内容	Sysmac Studio のオンライン接続を終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	オンライン接続終了時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio のオンライン接続を終了した		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニット、かつ Sysmac Studio Ver.1.50 以降の組み合わせでで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定のダウンロード			**イベントコード**	90050000Hex *1	
内容	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定をダウンロードしました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定のダウンロード時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	ダウンロードされたユーザプログラム／コントローラ設定にしたがい動作開始		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定をダウンロードした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 3：デバイス出力保持状態 • 1：保持 • 2：非保持					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*2	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。
*2. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	オンラインエディット転送			**イベントコード**	90070000Hex *1	
内容	ユーザプログラムをオンラインエディットしました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	オンラインエディットの転送開始時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	変更されたユーザプログラムにしたがい動作		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザプログラムをオンラインエディットし、コントローラに反映した		−		−	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*2	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。
*2. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	強制値リフレッシュのセット			**イベントコード**	90080000Hex	
内容	強制値リフレッシュのセットが指定されました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザからの指示時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	強制値リフレッシュにしたがい動作		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザが強制値リフレッシュのセットを指定した		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	強制値リフレッシュのリセット			イベントコード	90090000Hex	
内容	強制値リフレッシュのリセットが指定されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	強制値リフレッシュにしたがい動作		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザが強制値リフレッシュのリセットを指定した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	強制値リフレッシュの全解除			イベントコード	900A0000Hex	
内容	強制値リフレッシュのすべての解除が指定されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	強制値リフレッシュをすべて解除し、元のユーザプログラムにしたがい動作		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザが強制値リフレッシュのすべての解除を指定した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	メモリオールクリア			イベントコード	900B0000Hex	
内容	メモリオールクリアを実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	工場出荷状態に戻ります		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	管理者権限をもつユーザがメモリオールクリアした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	イベントログのクリア			**イベントコード**	900C0000Hex	
内容	イベントログをクリアしました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザからの指示時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザがイベントログをクリアした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 3：クリア対象 • 0：全カテゴリのログをクリア • 1：システムイベントログをクリア • 2：アクセスイベントログをクリア • 100：ユーザイベントログをクリア					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	自動転送完了			**イベントコード**	900F0000Hex *1	
内容	自動転送を完了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	電源投入時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	自動転送されたユーザコントローラ構成・設定にしたがい動作開始		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	自動転送を完了した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	電源投入			イベントコード	90110000Hex	
内容	電源投入されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	動作開始		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	電源投入された		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	電源断			イベントコード	90120000Hex	
内容	電源断されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源断時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	全停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	電源断された		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	運転開始			イベントコード	90130000Hex	
内容	運転開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	運転モードへの移行時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	開始	動作	ユーザプログラム実行開始		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	運転開始を受け付けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：デバイス出力保持状態 • 1：保持 • 2：非保持					
注意点／備考	なし					

イベント名	運転停止			イベントコード	90140000Hex	
内容	運転停止しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	プログラムモードへの移行時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	停止	動作	ユーザプログラム停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	運転停止を受け付けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：デバイス出力保持状態 • 1：保持 • 2：非保持					
注意点／備考	なし					

イベント名	リセット実行			イベントコード	90150000Hex	
内容	リセットを実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	リセット後、動作開始		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リセット指示を受け付けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザプログラム実行用 ID 書込			イベントコード	90160000Hex	
内容	CPU ユニットにユーザプログラム実行用 ID が設定または変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ダウンロード時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	管理者権限をもつユーザが CPU ユニットのユーザプログラム実行用 ID を変更した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
アクセスログのユーザ名*1	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで登録する項目です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	認証設定の転送			イベントコード	90170000Hex*1	
内容	認証設定が転送されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	認証設定が転送された		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニット、かつ Sysmac Studio Ver.1.50 以降の組み合わせでで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	発生中コントローラ異常の全解除			イベントコード	90180000Hex	
内容	発生中異常を全解除しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常要因が除去されている異常の解除		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザが発生中異常を全解除した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	強制値リフレッシュの解除			イベントコード	90190000Hex	
内容	強制値リフレッシュの解除が指定されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	強制値リフレッシュを解除し、元のユーザプログラムにしたがい動作		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザが強制値リフレッシュの解除を指定した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	バックアップ開始			イベントコード	901A0000Hex *1	
内容	バックアップを開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	バックアップ開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	バックアップを開始した		－		－	
付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：コントローラ→SD メモリカード（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：コントローラ→SD メモリカード（システム変数による指示） • 0103Hex：コントローラ→SD メモリカード（Sysmac Studio 操作による指示、または各機能モジュール固有のトリガ） • 0104Hex：コントローラ→SD メモリカード（命令による指示） • 0201Hex：コントローラ→パソコン					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	バックアップ完了			イベントコード	901B0000Hex *1	
内容	バックアップを正常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	バックアップ処理正常終了時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	バックアップを正常終了した		−		−	
付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：コントローラ→SD メモリカード（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：コントローラ→SD メモリカード（システム変数による指示） • 0103Hex：コントローラ→SD メモリカード（Sysmac Studio 操作による指示、または各機能モジュール固有のトリガ） • 0104Hex：コントローラ→SD メモリカード（命令による指示） • 0201Hex：コントローラ→パソコン					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア開始			イベントコード	901C0000Hex *1	
内容	リストアを開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	リストア開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	−	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リストアを開始した		−		−	
付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：SD メモリカード→コントローラ（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：SD メモリカード→コントローラ（システム定義変数による指示） • 0201Hex：パソコン→コントローラ					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	リストア完了			**イベントコード**	901D0000Hex *1	
内容	リストアを正常終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	リストア処理正常終了時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	リストア完了後は、運転を開始できません。コントローラの電源を OFF した後、CPU ユニットのディップスイッチをすべて OFF にしてから、電源を再投入すると、リストアされたユーザプログラム／設定に従い動作を開始します		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_Card1RestoreSta		_sRESTORE_STA		SD メモリカード　リストアステータス	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	リストアを正常終了した		－		－	
付属情報	付属情報 1：操作種別 • 0101Hex：SD メモリカード→コントローラ（CPU ユニット前面スイッチ操作による指示） • 0102Hex：SD メモリカード→コントローラ（システム定義変数による指示） • 0201Hex：パソコン→コントローラ					
注意点／備考	なし					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するイベントです。

イベント名	SD メモリカードプログラム転送開始			**イベントコード**	90200000Hex *1	
内容	SD メモリカードプログラム転送を開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	SD メモリカードプログラム転送開始時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	SD メモリカードプログラム転送を開始した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。

イベント名	SD メモリカードプログラム転送完了			イベントコード	90210000Hex *1	
内容	SD メモリカードプログラム転送を完了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	SD メモリカードプログラム転送完了時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_Card1PrgTransferSta		_sPRGTRANSFER_STA		SD メモリカード　プログラム転送ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードプログラム転送を完了した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。

イベント名	設定ユニットバージョンの変更			イベントコード	90290000Hex *1	
内容	設定ユニットバージョンが変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ダウンロード時／リストア時／メモリオールクリア時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_ProjectUnitVersion *2		ARRAY[0..1] OF USINT		設定ユニットバージョン	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	転送／リストア先のコントローラ内のプロジェクトの設定ユニットバージョンと、転送／リストア元のプロジェクトの設定ユニットバージョンが異なった		－		－	
	出荷状態またはメモリオールクリア状態からプロジェクトの転送／リストアを実施した		－		－	
付属情報	付属情報 1：変更前設定ユニットバージョン メジャーバージョンとマイナーバージョンを表示する。出荷状態およびメモリオールクリア状態の場合は、0 を表示する 例）出荷状態の場合:0 付属情報 2：変更後設定ユニットバージョン メジャーバージョンとマイナーバージョンを表示する。メモリオールクリア状態の場合は、0 を表示する 例）Ver.1.21 の場合:121					
注意点／備考	なし					

*1.　形 NX102-□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.32 以降、および形 NX701-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-□□□□（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.21 以降で発生するイベントです。

*2.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.40 以降で使用できるシステム定義変数です。

イベント名	運転モードへの変更指示			イベントコード	902A0000Hex*1	
内容	運転モードへの変更指示を受けました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	運転モードへの変更指示を受けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	プログラムモードへの変更指示			イベントコード	902B0000Hex*1	
内容	プログラムモードへの変更指示を受けました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	プログラムモードへの変更指示を受けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	アクセス権強制解放			イベントコード	902C0000Hex*1	
内容	アクセス権が強制解放されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	アクセス権が強制解放された		−		−	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CPU ユニット名称の変更			イベントコード	902D0000Hex*1	
内容	CPU ユニット名称が変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニット名称が変更された		−		−	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CPU ユニットへの書込プロテクト設定			イベントコード	902E0000Hex*1	
内容	CPU ユニットへの書込プロテクトが設定されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットへの書込プロテクトが設定された		−		−	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	運転モード書替設定の書き込み			イベントコード	902F0000Hex*1	
内容	運転モード書替設定が書き込みされました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	運転モード書替設定が書き込みされた		−		−	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニット、かつ Sysmac Studio Ver.1.50 以降の組み合わせでで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	バックアップ開始指示			イベントコード	90300000Hex*1	
内容	Sysmac Studio からのバックアップの開始指示を受けました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio からのバックアップの開始指示を受けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	リストア開始指示			イベントコード	90310000Hex*1	
内容	Sysmac Studio からのリストアの開始指示を受けました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio からのリストアの開始指示を受けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ファームウェアアップデート禁止設定の変更			イベントコード	90320000Hex*1	
内容	ファームウェアアップデート禁止設定が変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ダウンロード時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファームウェアアップデート禁止設定が変更された		－		－	
付属情報	付属情報 1：設定内容 • 1：ファームウェアアップデートの実行を禁止 • 2：ファームウェアアップデートの実行を許可					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.32 以降

イベント名	オムロン保守の開始指示			イベントコード	90330000Hex*1	
内容	オムロン保守担当者による保守作業が開始されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	オムロン保守担当者からの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オムロンの保守担当者による保守作業が開始された		－		－	
付属情報	付属情報 1：作業者の名前					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	オムロン保守の終了指示			イベントコード	90340000Hex*1	
内容	オムロン保守担当者による保守作業が終了されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	オムロン保守担当者からの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オムロンの保守担当者による保守作業が終了された		－		－	
付属情報	付属情報 1：作業者の名前					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	セーフティデータロギング開始			イベントコード	90460000Hex *1	
内容	セーフティデータロギングを開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	セーフティデータロギング開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_PLC_SFLogSta		ARRAY[0..1] OF _sSFLOG_STA		セーフティデータロギングステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セーフティデータロギングが開始条件を満たして開始された		－		－	
付属情報	付属情報 1：開始したロギング設定番号					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102 CPU ユニットバージョン Ver.1.31 以降で発生するイベントです。

イベント名	セーフティデータロギング終了			**イベントコード**	90480000Hex *1	
内容	実行中のセーフティデータロギングがトリガ条件を満たして終了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	セーフティデータロギング終了時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_PLC_SFLogSta		ARRAY[0..1] OF _sSFLOG_STA		セーフティデータロギングステータス	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	セーフティデータロギング設定で指定されたトリガ条件が発生し、セーフティデータロギングが終了した		－		－	
付属情報	付属情報 1：終了したロギング設定番号 付属情報 2：出力ログファイル名					
注意点／備考	複数のセーフティデータロギングが実行されている場合、SD メモリカードの抜き挿しはすべてのセーフティデータロギングが完了し、SD メモリカードへの保存が完了したことを確認してから行ってください					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102 CPU ユニットバージョン Ver.1.31 以降で発生するイベントです。

イベント名	ユーザ認証の有効化			**イベントコード**	90A20000Hex*1	
内容	ユーザ認証を有効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザ認証を有効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ認証の無効化			イベントコード	90A30000Hex*1	
内容	ユーザ認証を無効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザ認証を無効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ追加			イベントコード	90A40000Hex*1	
内容	ユーザを追加しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザを追加した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：設定された権限 • 0： 管理者 • 1： 設計者 • 2： 保全者 • 3： 操作者 • 4： 観察者 付属情報 2： 追加されたユーザの名前					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ削除			**イベントコード**	90A50000Hex*1	
内容	ユーザを削除しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	−				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザを削除した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：削除されたユーザの名前					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ権限変更			**イベントコード**	90A60000Hex*1	
内容	ユーザの権限を変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	−				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザの権限を変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：設定された権限 • 0： 管理者 • 1： 設計者 • 2： 保全者 • 3： 操作者 • 4： 観察者 付属情報 2： 権限が変更されたユーザの名前					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード変更			イベントコード	90A70000Hex*1	
内容	ユーザパスワードを変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザパスワードを変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：パスワードが変更されたユーザの名前					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード有効期限管理の有効化			イベントコード	90A80000Hex*1	
内容	ユーザパスワードの有効期限管理を有効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザパスワードの有効期限管理を有効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード有効期限管理の無効化			イベントコード	90A90000Hex*1	
内容	ユーザパスワードの有効期限管理を無効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザパスワードの有効期限管理を無効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード有効期間変更			イベントコード	90AA0000Hex*1	
内容	ユーザパスワードの有効期間を変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザパスワードの有効期間を変更した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ認証の操作ロック有効化			イベントコード	90AB0000Hex*1	
内容	ユーザ認証の操作ロックを有効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザ認証の操作ロックを有効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ認証の操作ロック無効化			イベントコード	90AC0000Hex*1	
内容	ユーザ認証の操作ロックを無効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザ認証の操作ロックを無効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザ認証の操作ロック時間変更			**イベントコード**	90AD0000Hex*1	
内容	ユーザ認証の操作ロック時間を変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザ認証の操作ロック時間を変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：設定時間					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限認証の有効化			**イベントコード**	90AE0000Hex*1	
内容	操作権限認証を有効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	操作権限認証設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	操作権限認証を有効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限認証の無効化			イベントコード	90AF0000Hex*1	
内容	操作権限認証を無効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	操作権限認証設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	操作権限認証を無効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限パスワード変更			イベントコード	90B00000Hex*1	
内容	操作権限パスワードを変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	操作権限認証設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	操作権限パスワードを変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：パスワード変更された権限 • 0： 管理者 • 1： 設計者 • 2： 保全者 • 3： 操作者 • 4： 観察者					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	パスワード入力省略時の操作権限変更			**イベントコード**	90B10000Hex*1	
内容	パスワード入力省略時の操作権限を変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	操作権限認証設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	パスワード入力省略時の操作権限を変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：設定された権限 • 0： 管理者 • 1： 設計者 • 2： 保全者 • 3： 操作者 • 4： 観察者					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限認証の操作ロック有効化			**イベントコード**	90B20000Hex*1	
内容	操作権限認証の操作ロックを有効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	操作権限認証設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	操作権限認証の操作ロックを有効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限認証の操作ロック無効化			イベントコード	90B30000Hex*1	
内容	操作権限認証の操作ロックを無効にしました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	操作権限認証設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	操作権限認証の操作ロックを無効化した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	操作権限認証の操作ロック時間変更			イベントコード	90B40000Hex*1	
内容	操作権限認証の操作ロック時間を変更しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	操作権限認証設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	操作権限認証の操作ロック時間を変更した。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：設定時間					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード期日前通知の有効化			**イベントコード**	90B50000Hex*1	
内容	ユーザパスワード期日前通知を有効にしました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザ認証設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザパスワード期日前通知を有効にした		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード期日前通知の無効化			**イベントコード**	90B60000Hex*1	
内容	ユーザパスワード期日前通知を無効にしました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	ユーザ認証設定変更時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザパスワード期日前通知を無効にした		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ユーザパスワード期日前通知日数変更			イベントコード	90B70000Hex*1	
内容	ユーザパスワードの期日前通知日数を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	ユーザアカウント設定変更時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザパスワードの期日前通知日数を変更した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	Sysmac Studio の Ver.1.50 以降を使用した際に登録します。					
アクセスログのユーザ名	ユーザ名					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	セキュア通信バージョン変更			イベントコード	90B80000Hex *1	
内容	セキュア通信バージョンを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	セキュア通信バージョンの変更時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セキュア通信バージョンを変更した		－		－	
付属情報	付属情報 1：変更前のセキュア通信バージョン 付属情報 2：変更後のセキュア通信バージョン					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. NJ シリーズ、形 NX502、形 NX102、形 NX1P2 の CPU ユニットバージョン Ver.1.69 以降、および形 NX701 の CPU ユニットバージョン Ver1.36 以降で発生するイベントです。

イベント名	オートメーションプレイバック設定変更			イベントコード	95720000Hex *1	
内容	オートメーションプレイバック機能の設定が変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	Sysmac Studio と同期した時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_Status		_sAPB_STATUS		APB サービスステータス	
	_APB_LogStatus		ARRAY[1..2][1..2] OF _sAPB_LOG_STATUS		APB ログ出力ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定を変更したプロジェクトで同期した		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1.　形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数のサンプリング開始			イベントコード	95730000Hex *1	
内容	変数のサンプリングが開始しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数のサンプリング開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_Status		_sAPB_STATUS		APB サービスステータス	
	_APB_LogStatus		ARRAY[1..2][1..2] OF _sAPB_LOG_STATUS		APB ログ出力ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数のサンプリング開始条件が成立した		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数のサンプリング停止			イベントコード	95740000Hex *1	
内容	変数のサンプリングが停止しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数のサンプリング停止時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_Status		_sAPB_STATUS		APB サービスステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数のサンプリング停止条件が成立した		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降で発生するイベントです。

イベント名	変数ログ出力完了			イベントコード	95750000Hex *1	
内容	変数ログの出力が完了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数ログの出力完了
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_LogStatus		ARRAY[1..2][1..2] OF _sAPB_LOG_STATUS		APB ログ出力ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数ログの保存条件が成立し、出力が完了した		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：ストレージ種別 1：SD メモリカード 付属情報 2：変数ログ出力設定名 付属情報 3：変数ログの収集時間（秒） 付属情報 4：サンプリング対象変数容量（バイト）					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.63 以降 Ver.1.65 未満で発生するイベントです。

イベント名	変数ログ出力完了			イベントコード	95780000Hex *1	
内容	変数ログの出力が完了しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	変数ログの出力完了
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_APB_LogStatus		ARRAY[1..2][1..2] OF _sAPB_LOG_STATUS		APB ログ出力ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	変数ログの保存条件が成立し、出力が完了した		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：ストレージ種別 1：SD メモリカード 付属情報 2：変数ログ出力設定名 付属情報 3：変数ログの収集時間（秒） 付属情報 4：サンプリング対象変数容量（KB）					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.65 以降で発生するイベントです。

FINS 通信関連

イベント名	CPU 高機能ユニットシステム設定エリアエラー			イベントコード	14010000Hex	
内容	CPU 高機能ユニットシステム設定エリアのメモリチェックでエラーを検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／CPU 高機能ユニットシステム設定エリアの書込時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除／電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	CPU 高機能ユニットが停止する可能性あり		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	―	―

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	CPU 高機能ユニットシステム設定のダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断	メモリオールクリア、または CPU 高機能ユニットシステム設定を再度ダウンロードしてください。本異常が再発する場合は、CPU ユニットを交換してください	CPU 高機能ユニットシステム設定のダウンロード時にはコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断しないでください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	IP アドレステーブル設定エラー			イベントコード	34100000Hex	
内容	IP アドレステーブルの設定が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／内蔵 EtherNet/IP ポートリスタート時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	FINS/UDP 通信機能使用不可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	―	―

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	IP アドレス変換方式が「併用方式」、「IP アドレステーブル方式」に設定されているが、IP アドレステーブルの設定が不正	IP アドレステーブルの設定を修正してください	IP アドレステーブルを正しく設定してください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	FINS/TCP コネクションテーブル設定エラー			イベントコード	34130000Hex	
内容	FINS/TCP コネクションテーブルが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／内蔵 EtherNet/IP ポートリスタート時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	FINS/TCP 通信機能使用不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FINS/TCP コネクションテーブルのダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断した		FINS/TCP コネクションテーブルを再度ダウンロードしてください		FINS/TCP コネクションテーブルのダウンロード中にコントローラを電断／Sysmac Studio との通信を切断しないでください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	送信先ノード不明			イベントコード	34110000Hex	
内容	送信先ノードが不明です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	FINS メッセージ送信時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。パケットは破棄		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FINS メッセージを送信する時に送信先ノードが見つからなかった		FINS/UDP 通信方式の送信先ノードの設定を修正してください。または、送信元の FINS メッセージを確認し、送信先ノードアドレスを修正してください		FINS/UDP 通信方式の送信先ノードを正しく設定してください。または、送信元の FINS メッセージの送信先ノードアドレスが正しいことを確認してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">パケット破棄</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">80100000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">パケットを破棄しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>なし</td><td>検出タイミング</td><td>FINS メッセージ受信時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU ユニット宛の FINS レスポンスを受信した</td><td colspan="2" rowspan="2">送信元の FINS メッセージ内容を修正してください</td><td colspan="2" rowspan="2">FINS メッセージを正しく設定してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">FINS レスポンス送信先ユニットが存在しない</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：パケット破棄要因
• 01Hex：CPU ユニット宛 FINS レスポンス受信
• 02Hex：レスポンス送信失敗</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">なし</td></tr>
</table>

イベント名	パケット破棄			**イベントコード**	80110000Hex	
内容	パケットを破棄しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	なし	**検出タイミング**	FINS メッセージ受信時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	1： 2002byte を超える FINS レスポンスを配信しようとした		2002byte を超える FINS レスポンスを配信しないようにしてください		送信元の FINS メッセージを正しく設定してください	
	2： 2002byte を超える FINS レスポンスをルーチングした					
	3： ルーチングエラー「該当号機なし」のパケットを受信した		送信元の FINS メッセージを確認し、レスポンスフレーム、または応答不要のコマンドフレームで指定する号機番号を、存在する号機番号に修正してください			
	4： ルーチングエラー「ルーチング異常」のパケットを受信した		送信元の FINS メッセージを確認し、レスポンスフレーム、または応答不要のコマンドフレームで指定する号機番号をルーチングテーブルに存在する号機番号に修正してください			
	5： ルーチングエラー「ルーチングテーブル未登録」のパケットを受信した		送信元の FINS メッセージを確認し、ルーチングテーブルに送信先ネットワークアドレスが登録されるように修正してください			
	6： ルーチングエラー「イベントエリアサイズオーバー」のパケットを受信した		送信元の FINS メッセージを確認し、レスポンスフレーム、または応答不要のコマンドフレームがイベントエリアのサイズ以下になるように修正してください			
	7： 内部バッファに空き容量がなくなった		送信元の FINS メッセージの発行頻度を減らしてください		FINS メッセージの発行頻度をなるべく少なくするようにしてください	
	8： 高負荷により FINS メッセージのルーチングに失敗した					
付属情報	付属情報 1：パケット破棄要因 1：01 Hex、2：02 Hex、3：03 Hex、4：04 Hex、5：05 Hex、6：06 Hex、7：07 Hex、8：08 Hex 各番号は上記発生要因の番号に対応					
注意点／備考	なし					

イベント名	パケット破棄			イベントコード	80120000Hex	
内容	パケットを破棄しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	なし	検出タイミング	FINS メッセージ受信時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	1： 送信先ネットワークアドレス（DNA）=自ネット、送信先ノードアドレス（DA1）≠自ノードの FINS レスポンスを受信した	IP アドレステーブルの設定を修正してください	IP アドレステーブルの設定が正しいことを確認してください
	2： 送信先ネットワークアドレス（DNA）≧80Hex のハブネットワークアドレス指定の FINS コマンドまたは FINS レスポンスを受信した	送信元の FINS メッセージが、送信先ネットワークアドレス（DNA）≧80Hex のハブネットワークアドレスを指定しないように修正してください	送信元の FINS メッセージが、送信先ネットワークアドレス（DNA）≧80Hex のハブネットワークアドレスを指定しないことを確認してください
	3： 内部バッファに空き容量がなくなった	送信元の FINS メッセージの発行頻度を減らしてください	FINS メッセージの発行頻度をなるべく少なくするようにしてください
	4： 最小コマンド長に満たない FINS コマンドを受信した	送信元の FINS コマンドが最小コマンド長以上になるように修正してください	送信元の FINS コマンドを最小コマンド長以上になるようにしてください
	5： 最大コマンド長を超える FINS コマンドを受信した	送信元の FINS コマンドが最大コマンド長以下になるように修正してください	送信元の FINS コマンドを最大コマンド長以下になるようにしてください
	6： パケット送信に失敗した	送信先ノードがネットワークに加入していない場合は、加入させてください	送信先ノードがネットワークに加入していることを確認してください
	7： 高負荷により FINS メッセージのルーチングに失敗した。または、送信元ネットワークアドレス（SNA）=0 である、内蔵 EtherNet/IP ポート宛のコマンドを受信した	送信元の FINS メッセージの発行頻度を減らしてください。または、送信元の FINS メッセージの送信元ネットワークアドレス（SNA）を修正してください	FINS メッセージの発行頻度をなるべく少なくするようにしてください。または、送信元の FINS メッセージの送信元ネットワークアドレス（SNA）を正しく設定してください
	8： 内蔵 EtherNet/IP ポート宛の FINS レスポンスを受信した	送信元の FINS メッセージ内容を修正してください	FINS メッセージを正しく設定してください
	9： ルーチングテーブルが未登録のときに、FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した	ルーチングテーブルを登録してください	ルーチングテーブルを登録してください
	A： ルーチングテーブルの異常が発生しているときに、FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した	ルーチングテーブルを登録しなおしてください。ルーチングテーブルに異常がある場合は、「ユーザプログラム／コントローラ構成・設定不正」（10250000Hex）が発生します	なし
	B： 中継回数オーバーの FINS レスポンスまたは応答不要コマンドを受信した	送信元のルーチングテーブルのゲートウェイカウンタの設定値を大きくしてください	送信元のルーチングテーブルのゲートウェイカウンタをシステムの構成に合わせて設定してください
	C： ルーチングテーブルに宛先アドレスが未設定のため送信不可	ルーチングテーブルに宛先アドレスを登録してください	ルーチングテーブルに宛先アドレスを登録してください
	D： [内蔵 EtherNet/IP ポート設定]の[FINS ノードアドレス設定]が 0 または 255 のためルーチングできない	Sysmac Studio で[内蔵 EtherNet/IP ポート設定]の[FINS ノードアドレス設定]を 0 または 255 以外にしてください	[内蔵 EtherNet/IP ポート設定]の[TCP/IP 設定]で IP アドレスの下位 8 ビットを 0 または 255 としている場合は、[IP アドレス⇔FINS ノードアドレス変換方式]で[自動生成方式]以外を選択してください

付属情報	付属情報 1：パケット破棄要因 1：01 Hex、2：02 Hex、3：03 Hex、4：04 Hex、5：05 Hex、 6：06 Hex、7：07 Hex、8：08 Hex、9：09 Hex、A：0A Hex、 B：0B Hex、 C：0C Hex、 D：0D Hex 各番号は上記発生要因の番号に対応
注意点／備考	なし

命令関連

命令で発生する異常（イベントコード）の詳細情報を示します。イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#0400 の場合は、54010400Hex のイベントコードの説明を参照してください。
命令のイベントコードは CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降でサポートされています。

イベント名	ファームウェア異常			**イベントコード**	54010415Hex	
内容	命令実行時に異常を検出しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	異常解除不可	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx)。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	入力値範囲外			**イベントコード**	54010400Hex	
内容	命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えています。 または、整数 0 で除算／剰余演算を行いました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	―	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えている。または、整数 0 で除算／剰余演算を行った		該当命令の入力変数の範囲を確認し、入力パラメータが範囲を超えないよう、または整数 0 で除算／剰余演算しないようにしてください		命令への入力パラメータの値が入力範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx)。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	数値関係不正			イベントコード	54010401Hex	
内容	命令の入力パラメータの値の関係が条件を満たしていません。 または、命令実行演算中／結果の数値が条件を満たしませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	入力パラメータの値の関係が条件を満たしていない		該当命令の入力変数の意味と関係を確認し、入力パラメータの値の関係が満たされるように修正してください		命令への入力パラメータの値が入力変数の関係を満たすようにしてください	
	命令実行演算中／結果の数値が条件を満たしていない		該当命令の処理を確認し、不適切な演算結果を招かないような入力パラメータの値にしてください		命令の処理を確認し、処理演算で本異常の発生要因を生じない入力パラメータにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	浮動小数点数エラー			イベントコード	54010402Hex	
内容	命令の浮動小数点数の入力パラメータに対して数値以外が入力されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の浮動小数点数の入力パラメータに対して数値以外が入力された		該当命令の浮動小数点数の入力パラメータに数値を入力するように修正してください		命令の浮動小数点数の入力パラメータは数値にしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	非 BCD			イベントコード	54010403Hex	
内容	命令の BCD の入力パラメータに対して BCD データでない値が入力されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の BCD の入力パラメータに対して 16 進数の A、B、C、D、E、F が入力されました		該当命令の BCD の入力パラメータに BCD データを入力するように修正してください		命令の BCD の入力パラメータは BCD データにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	符号付き BCD エラー			イベントコード	54010404Hex	
内容	命令の符号付き BCD データの入力パラメータに対して最上位けたに不正な値が入力されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の符号付き BCD データの入力パラメータに対して最上位けたに不正な値が入力された。 • BCD フォーマットに「_BCD0」が指定されている場合は、最上位けたが 2～F になっている。 • BCD フォーマットに「_BCD2」が指定されている場合は、最上位けたが A,B,C,D,E のいずれかとなっている。 • BCD フォーマットに「_BCD3」が指定されている場合は、最上位けたが B,C,D,E となっている。		該当命令の BCD の入力パラメータに正しい符号付き BCD データを入力するように修正してください		命令の符号付き BCD データの入力パラメータの最上位けたに正しい値を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定ビット位置不正			イベントコード	54010405Hex	
内容	命令で指定されたビット位置が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定されたビット位置が指定されたデータの範囲を超えている		該当命令で指定されるビット位置が、指定されたデータの範囲に収まるように修正してください		命令で指定されるビット位置が指定されたデータの範囲に収まるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	領域範囲外指定			イベントコード	54010406Hex	
内容	命令で指定されたデータのメモリアドレスやデータサイズが不適切です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定されたデータのメモリアドレスが、有効範囲外である。または、命令で指定されたデータのサイズが、有効範囲を超えている。変数のデータ型とデータサイズとが合っていないことなどが考えられる		該当命令で指定されるデータのメモリアドレスやデータサイズを、有効範囲内に収めるように修正してください		命令で指定されるデータのメモリアドレスやデータサイズが、有効範囲内に収まるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	領域オーバー			イベントコード	54010407Hex	
内容	命令の演算結果が、出力パラメータのデータ領域の範囲を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	配列要素数など、命令の処理結果が出力パラメータのデータ領域の範囲を超えている		該当命令の処理結果が出力パラメータのデータ領域の範囲に収まるような入力パラメータになるように修正してください		命令の処理結果が出力パラメータのデータ領域の範囲に収まるような入力パラメータにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	コントローラ異常解除失敗			イベントコード	54010409Hex	
内容	コントローラ異常未発生の状態で、コントローラ異常解除命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。出力やユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	コントローラ異常未発生の状態で、コントローラ異常解除命令を実行した		コントローラ異常が発生しているときに該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		コントローラ異常が発生しているときに該当命令を実行するようなプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ユーザ異常解除失敗			イベントコード	5401040BHex	
内容	ユーザ異常未発生の状態で、ユーザ異常解除命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。出力やユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザ異常未発生の状態で、ユーザ異常解除命令を実行した		ユーザ異常が発生しているときに該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		ユーザ異常が発生しているときに該当命令を実行するようなプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ユーザ異常最大件数			イベントコード	5401040CHex	
内容	ユーザ異常命令で最大件数を超えるユーザ異常を発生させようとしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了。出力やユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザ異常命令で最大件数を超えるユーザ異常を発生させようとした		ユーザ異常解除命令を実行してください。 ユーザ異常件数を確認するには、システム定義変数のユーザ異常件数をモニタします		ユーザ異常命令を呼ぶ条件にユーザ異常件数をチェックするようなプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定ユニット不正			イベントコード	5401040DHex	
内容	命令で指定されたユニットが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。出力やユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユニット構成情報として存在しないユニットを指定した		該当命令で指定される号機 No.／ユニット番号が、ユニット構成に存在し、かつ実体が存在するユニットを指定するように修正してください		命令で指定される号機 No.／ユニット番号は、ユニット構成に存在し、かつ実体が存在するユニットを指定するようにしてください	
	ユニット構成情報に存在するが実体が存在しないユニットを指定した					
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ユニットリスタート失敗			イベントコード	5401040FHex	
内容	高機能ユニットのリスタートに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。出力やユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	高機能ユニットが処理中		しばらくしてから、再度高機能ユニットをリスタートしてください		高機能ユニットのステータスが処理中でないことを確認してから、高機能ユニットをリスタートするよう、プログラムを変更してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	文字列フォーマット異常			イベントコード	54010410Hex	
内容	命令に入力された文字列が正しい文字列ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	文字列を数値に変換する命令の入力文字列が数値を表す文字列または正の数値を表す文字列でない		該当命令に入力されている文字列がその命令に適した文字列になるように修正してください		文字列を数値に変換する命令の場合は、変換する入力文字列が数値を表すようにしてください。正数の条件がある場合は正数を表すようにしてください	
	入力文字列が NULL 文字で終わっていない		該当命令に入力されている文字列が NULL 文字で終わるように修正してください		文字列を数値に変換する命令の場合は、入力文字列が NULL 文字で終わるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定プログラム不正			イベントコード	54010411Hex	
内容	命令で指定されたプログラムが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	該当命令で指定されたプログラムが存在していないか削除された		該当命令で指定されるプログラムが、存在しているプログラムになるように修正してください。 または、該当命令で指定されているプログラムを追加してください		命令で指定されるプログラムは、存在しているプログラムにしてください。 または、使用するプログラムを削除しないように注意してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	メモリ非アドレス指定			イベントコード	54010413Hex	
内容	CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数が CJ ユニット用メモリに指定されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数が CJ ユニット用メモリに AT 指定されていません		CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数を AT 指定で CJ ユニット用メモリに指定するよう修正してください		CJ ユニット用メモリで指定する必要がある変数を AT 指定で CJ ユニット用メモリに指定するようプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	スタックアンダーフロー			イベントコード	54010414Hex	
内容	スタックにデータが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	データが存在しないスタックからデータを取り出そうとした		スタックにデータを格納後に、データを取り出すよう、プログラムを修正してください		スタックにデータを格納後に、データを取り出すよう、プログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	配列の要素数・次元数不正			イベントコード	54010416Hex	
内容	命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲を超えた		命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲内に収まるように修正してください		命令の配列の入出力パラメータに対して、要素数・次元数が範囲内になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定タスク不正			イベントコード	54010417Hex	
内容	命令で指定されたタスクが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定したタスクが存在しない		存在するタスクを指定するようプログラムを修正してください		存在するタスクを指定するようプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定タスク不許可			イベントコード	54010418Hex	
内容	命令で指定されたタスクが指定を許可されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	自タスクを指定した、またはプライマリ周期タスクおよび周期タスクを指定した		イベントタスクかつ自タスク以外を指定するようプログラムを修正してください		イベントタスクかつ他のタスクを指定するようプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	データ型不正			イベントコード	54010419Hex	
内容	命令で使用できない型のデータが入力／入出力に指定されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で使用できない型のデータを入力／入出力に指定した		該当命令の入力／入出力変数の型を確認し、入力するデータを使用できる型に修正してください		該当命令の入力／入出力変数の型を確認し、使用できる型でデータを入力してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	命令多重起動			イベントコード	5401041AHex	
内容	多重起動できない命令を多重起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	多重起動できない命令を複数同時に実行しようとした		多重起動できない命令では、実行しているインスタンスが完了してから別のインスタンスを実行するようにプログラムを修正してください		多重起動できない命令では、実行しているインスタンスが完了してから別のインスタンスを実行するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	データ容量超過			イベントコード	5401041BHex *1	
内容	命令に渡されたデータが大きすぎて処理できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令が処理できる容量よりも大きいデータが命令に渡された		該当命令に渡せるデータ容量以下の大きさのデータを命令に渡すようにプログラムを修正してください		命令が処理できるデータ容量を確認し、それ以下の大きさのデータを命令に渡してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するエラーコード（16#041B）です。

イベント名	データサイズ不一致			イベントコード	5401041CHex *1	
内容	命令の入力／入出力で指定されたデータが対象パラメータのサイズと一致しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	対象パラメータのサイズと一致しないサイズのデータを命令の入力/入出力に指定した		対象パラメータのサイズを確認し、入力するデータのサイズが一致するようにプログラムを修正してください		対象パラメータのサイズを確認し、入力するデータのサイズが一致するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するエラーコード（16#041C）です。

イベント名	命令同時実行リソースオーバ			イベントコード	5401041DHex *1	
内容	同時に実行できる該当命令群のリソースを超えて命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に実行できる個数を超えて該当命令が実行された。		同時に実行する該当命令が最大個数以下になるようにプログラムを修正してください		同時に実行する該当命令が最大個数以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#041D）です。

イベント名	プログラムハッシュコード取得失敗			イベントコード	54010421Hex*1	
内容	プログラムハッシュコードの取得に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザプログラムの転送に失敗した		ユーザプログラムを再度転送してください		なし	
	CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトに、命令が必要とする情報が含まれていなかった		ユーザプログラムをリビルドし、再度転送してください		なし	
	不揮発性メモリの故障		上記の処置を行っても本異常が発生する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：通常表示なし。表示ありの場合は異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　以下の CPU ユニットで発生するエラーコード(16#0421)です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.50 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.32 以降

イベント名	FINS 異常			イベントコード	54010800Hex	
内容	FINS コマンドの送受信で異常が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FINS コマンドの送受信で異常が発生した		該当命令の出力変数「ErrorIDEx」の値を確認し、本マニュアルで該当命令の拡張エラーコード「ErrorIDEx」の説明を参照してください		命令の「ErrorIDEx」の説明をあらかじめ参照してプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	FINS ポート使用不可			イベントコード	54010801Hex	
内容	FINS ポートが使用中です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了。通信出力、ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FINS ポートが使用中		入力条件として、「_Port_isAvailable」を a 接点で挿入するようプログラムを修正してください		入力条件として、「_Port_isAvailable」を a 接点で挿入するようプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	シリアル通信モード不正			イベントコード	54010C00Hex	
内容	シリアルコミュニケーションユニットが、命令の実行に必要なシリアル通信モードになっていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおり終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	シリアルコミュニケーションユニットのシリアル通信ポートが、命令が前提とするモードに設定されていません		命令が実行に必要なシリアル通信モードに設定を変更してください。または設定してあるモードで実行可能な命令だけを使用するようにプログラムを修正してください		シリアルコミュニケーションユニットを、命令が実行に必要なシリアル通信モードに設定しておいてください。または設定してあるモードで実行可能な命令だけを使用するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	受信バッファフル			イベントコード	54010C03Hex *1	
内容	受信バッファがフルの状態になりました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。本異常で終了した場合でも、受信データ格納先に格納可能なサイズのデータ格納は行います		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	以下の要因により、受信バッファがフルになりました • 相手デバイスの送信頻度が高い • 伝送速度が速すぎる • バッファからの受信処理頻度が低い		以下の対策のいずれか、またはすべてを行って、受信バッファがフルの状態が発生しないようにしてください • 相手デバイスの送信頻度を低くする • 伝送速度を遅くする • バッファからの受信処理頻度を上げる		以下の 4 つの要素を考慮し、受信バッファがフルの状態が発生しないように使用してください • 相手デバイスの送信頻度 • 伝送速度 • バッファからの受信処理頻度 • フロー制御の採用	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C03）です。

イベント名	ポート多重起動			イベントコード	54010C04Hex *1	
内容	同時に実行できないシリアル通信命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に実行できない命令の実行中に、当該命令が起動された		同時に実行できない命令との排他処理を行うようプログラムを修正してください		同時に実行できない命令との排他処理を行うようプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • 同時に実行できないシリアル通信命令については、各命令の説明を参照してください					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C04）です。

イベント名	パリティエラー			イベントコード	54010C05Hex *1	
内容	受信データにパリティエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください	
	ノイズ		ノイズ対策を行ってください		ノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C05）です。

イベント名	フレーミングエラー			イベントコード	54010C06Hex *1	
内容	受信データにフレーミングエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください	
	ノイズ		ノイズ対策を行ってください		ノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C06）です。

イベント名	オーバーランエラー			イベントコード	54010C07Hex *1	
内容	受信データにオーバーランエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	伝送速度が速すぎるため、受信処理中に次のデータを受信した		伝送速度を小さくしてください		伝送速度を小さくしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C07）です。

イベント名	CRC 不一致			イベントコード	54010C08Hex *1	
内容	受信データの CRC が一致しませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	誤ったメッセージを受信した		相手デバイス側の CRC 生成方法が意図したとおりになるようにしてください		相手デバイス側の CRC 生成方法が意図したとおりであるか確認してください	
	ノイズ		受信し直してください。またはノイズ対策を行ってください		ノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C08）です。

イベント名	シリアル通信タイムアウト			イベントコード	54010C0BHex *1	
内容	シリアル通信でタイムアウトが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	相手デバイスとの配線ができていない		相手デバイスとの配線に問題がないかを確認し、問題がある場合は配線を修正してください		相手デバイスとの配線ができていることを確認してください	
	相手デバイスの電源が入っていない		相手デバイスの電源を ON してください		相手デバイスの電源が ON になっていることを確認してください	
	通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください		通信設定、伝送速度の設定を相手デバイスと合わせてください	
	ノイズ		ノイズ対策を行ってください		ノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C0B）です。

イベント名	対象外ポートへの命令実行			イベントコード	54010C0CHex *1	
内容	本命令の対象となっていないポートを指定して、命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	本命令の対象となっていないポートを指定して、命令を実行した		本命令の対象となっているポートをデバイスポート構造体により指定して命令を実行してください		本命令の対象となっているポートをデバイスポート構造体により指定して命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C0C）です。

イベント名	CIF ユニット初期化			イベントコード	54010C0DHex *1	
内容	CIF ユニットが初期化されたため、CIF ユニットにバッファされていた送受信データが消失しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CIF ユニットが初期化された		必要によりデータの送信または受信をやり直してください		CIF ユニットに送受信データをバッファするプログラムの実行中には、CIF ユニットのリスタートを行わないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.13 以降で発生するエラーコード（16#0C0D）です。

イベント名	Modbus 例外レスポンス			イベントコード	54010C10Hex *1	
内容	Modbus のスレーブから例外コードが返ってきました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Modbus スレーブで異常を検出ました		ErrorIDEx の値 16#0000_00xx の xx を確認し、Modbus 規約書を参照して原因を特定し対策を行ってください。 Modbus 規約書の参照先は該当命令の説明を参照してください		相手デバイスも含めて、Modbus 規約に従ってユーザプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C10）です。

イベント名	Modbus レスポンス不正			イベントコード	54010C11Hex *1	
内容	Modebus スレーブからのレスポンスが想定外のものでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。通信出力は命令の仕様にしたがいます		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Modebus スレーブからのレスポンスの Function Code またはデータサイズが不正		オプションの送信ディレイや受信監視時間など、相手デバイスとの送受信のシーケンスを見直してください		レスポンスが返ってくる前に次のコマンドを送信しないようユーザプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するエラーコード（16#0C11）です。

イベント名	SD メモリカード使用不可			イベントコード	54011400Hex	
内容	命令実行時に SD メモリカードへのアクセスに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが取り付けられていないか正しく挿入されていない		SD メモリカードを確実に取り付けてください		SD メモリカードが確実に取り付けられていることを確認してください	
	SD メモリカードが壊れている		正常が確認されている SD メモリカードに交換してください		なし	
	SD メモリカードスロットが壊れている		上記 2 つの処置を行っても本異常が再発する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	SD メモリカードライトプロテクト			イベントコード	54011401Hex	
内容	命令実行時に、ライトプロテクトされている SD メモリカードへ書込を行おうとしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ライトプロテクトされている SD メモリカードへ書込を行おうとした		SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください。解除するには SD メモリカード側面のツマミをロック位置（LOCK）から書込可能位置に移動します		SD メモリカードへ書込を行う場合は、ライトプロテクトされていない SD メモリカードを使用してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	SD メモリカード容量不足			イベントコード	54011402Hex	
内容	命令実行中の SD メモリカードへの書込時に、SD メモリカードの容量不足が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードの容量不足が発生した		十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください		SD メモリカードへ追加で書込を行う場合は、十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • SD メモリカードのアクセス中に SD メモリカードを取りはずさないでください。SD メモリカードやそのデータが壊れることがあります					

イベント名	指定ファイル不正			イベントコード	54011403Hex	
内容	命令で指定されたファイルが存在しません。または、指定されたファイルが破損しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定されたファイルが存在しない		該当命令で指定されるファイル名が存在するファイル名になるように修正してください。またはファイル名を命令で指定された名称に修正してください		命令で指定されるファイル名は、存在するファイル名にしてください	
	指定されたファイルが破損している		別のファイル名を指定してください		なし	
	接触不良などにより、SD カードに正常にアクセスできない		SD カードを再挿入、または交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ファイル・ディレクトリ最大数超過			イベントコード	54011404Hex	
内容	命令実行中のファイル／ディレクトリ作成時に、ファイル／ディレクトリ数が最大数を超えました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファイル／ディレクトリ数が最大数を超えた		不要なファイル／ディレクトリを削除してください。または、ファイル／ディレクトリ数が FAT16 / FAT32 での最大数に対して十分余裕のある SD メモリカードに交換してください		ファイル／ディレクトリ数が多くなりすぎないように、不要になったファイル／ディレクトリは適宜削除してください。 また、ファイルが増え続ける運用をする場合は、定期的に SD メモリカードの交換を行うようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ファイルアクセス中			イベントコード	54011405Hex	
内容	命令で指定したファイルが使用中のためアクセスできませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	他の命令によりアクセス中のファイルに、別の命令で書込や読出を行おうとした		ファイルにアクセスする他の命令の出力変数「Busy」が FALSE であることを条件として該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		ファイルにアクセスする複数の命令を実行する場合は、それらの出力変数「Busy」を命令の実行条件に使用して命令が同時に実行されないようなプログラムを作成します	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	オープンモード不一致			イベントコード	54011406Hex	
内容	命令でのファイル操作がファイルのオープンモードと一致していません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファイルオープン命令で指定されたファイルのオープンモードと、その後の SD メモリカード用命令によるファイル操作に不整合がある		ファイルオープン命令で指定されるオープンモードを、ファイル操作に合ったモードになるように修正してください		ファイルオープン命令で指定されるオープンモードは、その後のファイル操作に合ったモードになるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	オフセット範囲外			**イベントコード**	54011407Hex	
内容	命令で指定したオフセットで指定されるアドレスにアクセスできません					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ファイルサイズを超えてアクセスしようとした		該当命令で指定されるオフセットを小さくしてください		ファイルフォーマットの識別情報などをファイル内に含めておき、そのチェックをして適切にファイルシークするプログラムに変更してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	空ディレクトリ以外			**イベントコード**	54011408Hex	
内容	ディレクトリ削除命令を実行、またはディレクトリの名称を変更しようとしましたが、ディレクトリの中身が空ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ディレクトリ削除命令を実行しようとしたが、ディレクトリの中身が空でない		該当ディレクトリ内のファイルをすべて削除してください		ディレクトリを削除する命令を使用する場合、またはディレクトリの名称を変更する場合は、事前にディレクトリの中身を確認しておいてください	
	ディレクトリの名称を変更しようとしたが、ディレクトリの中にディレクトリが存在する		該当ディレクトリ内のディレクトリをすべて削除してください			
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	同一ファイル名あり			イベントコード	54011409Hex	
内容	命令で指定されたファイルと同一名のファイルが存在するため、命令を実行できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定された作成ファイルと同一名のファイルがすでに存在している		該当命令で指定されるファイル名がすでに存在するファイル名と重複しないように修正してください。または、あらかじめ該当ファイルを削除してください		ファイルを作成する命令を使用する場合は、命令で指定されるファイル名がすでに存在するファイル名と重複しないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • ファイルを削除する場合は、必要なファイルでないことを確認してから削除してください					

イベント名	指定ファイル書込禁止			イベントコード	5401140AHex	
内容	命令実行時に、ライトプロテクトされているファイルまたはディレクトリへ書込を行おうとしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定された書込ファイルまたはディレクトリにライトプロテクトがかかっている		該当命令で指定している書込ファイルのライトプロテクトを解除してください。または、書込ファイル名を変更してください		書込ファイルにはライトプロテクトをかけないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • ファイルのライトプロテクトを解除する場合は、そのファイルが上書しても良いファイルであることを確認してください					

イベント名	ファイルオープン最大数超過			イベントコード	5401140BHex	
内容	命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えた		同時にオープンするファイル数を減らすようにプログラムを修正してください		使用するファイル数を少なくしてください。または、同時にオープンするファイル数が多くなりすぎないように、オープンが不要になったファイルはクローズするようなプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指定ディレクトリ不正			イベントコード	5401140CHex	
内容	命令で指定されたディレクトリが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定されたディレクトリが存在しない		該当命令で指定されるディレクトリが存在するディレクトリになるように修正してください。または、該当ディレクトリを事前に作成してください		ディレクトリを参照する命令を使用する場合は、命令で指定されるディレクトリは、存在しているディレクトリになるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ファイル・ディレクトリ名最大長超過		イベントコード	5401140DHex	
内容	命令で指定されたファイル名またはディレクトリ名が長すぎます				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令で指定された作成ファイル名または作成ディレクトリ名が長すぎる		該当命令で指定されるファイル名またはディレクトリ名が FAT16 / FAT32 の制限以内になるようにプログラムを修正してください		指定されるファイル名またはディレクトリ名が FAT16 / FAT32 の制限以内になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	SD メモリカードアクセス失敗		イベントコード	5401140EHex	
内容	SD メモリカードのアクセスに失敗しました				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが壊れている		SD メモリカードを交換してください		なし	
	SD メモリカードスロットが壊れている		上記の処置を行っても本異常が発生する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	バックアップ機能既実行			イベントコード	5401140FHex *1	
内容	他のバックアップ機能が動作しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	他のバックアップ機能が動作している		他のバックアップ機能の実行が完了してから、再度、命令を実行してください		他のバックアップ機能の実行中に、バックアップを行わないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#140F）です。

イベント名	バックアップ実行不可			イベントコード	54011410Hex *1	
内容	他の機能が実行中のためバックアップが実行できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オンラインエディットの実行中に命令を実行した		オンラインエディットが完了してから、再度、命令を実行してください		オンラインエディットの実行中に、バックアップを行わないようにしてください	
	カムテーブル保存命令の実行中に命令を実行した		カムテーブル保存命令が完了してから、再度、命令を実行してください		カムテーブル保存命令の実行中に、バックアップを行わないようにしてください	
	CPU ユニット名称更新の実行中に命令を実行した		CPU ユニット名称更新が完了してから、再度、命令を実行してください		CPU ユニット名称更新の実行中に、バックアップを行わないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#1410）です。

イベント名	ユニット／スレーブバックアップ失敗			イベントコード	54011411Hex *1	
内容	ユニット／スレーブのバックアップに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。ユニットの動作への影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユニット／スレーブのバックアップに失敗した		「バックアップ実行失敗（CJ ユニット）」（102D0000Hex）または「バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）」（102F0000Hex）の処置対策を参照してください		「バックアップ実行失敗（CJ ユニット）」（102D0000Hex）または「バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）」（102F0000Hex）の再発防止を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#1411）です。

イベント名	EtherCAT 通信エラー			イベントコード	54011800Hex	
内容	命令実行時に、EtherCAT ネットワークへのアクセスに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT ネットワークが実行可能状態でない		EtherCAT マスタ状態のステータスで EtherCAT ネットワークの動作状態を確認し、必要な処置を行って要因を取り除いてください		異常の内容に依存	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	EtherCAT スレーブ不在			イベントコード	54011801Hex	
内容	命令実行時に、対象スレーブへのアクセスに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	対象スレーブが存在しない		存在するノードアドレスを指定してください		対象スレーブには、存在するノードアドレスを指定してください	
	対象スレーブが実行可能状態ではない		対象スレーブのステータスを確認し、対象スレーブを実行可能状態にしてください		対象スレーブは実行可能状態にしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	EtherCAT タイムアウト			イベントコード	54011802Hex	
内容	命令実行時に、EtherCAT スレーブへのアクセスがタイムアウトしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	対象スレーブとの通信がタイムアウトした		対象スレーブの動作状態を確認し、必要な処置を行って要因を取り除いてください		異常の内容に依存	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	受信バッファオーバー			イベントコード	54011803Hex	
内容	命令実行時に、EtherCAT スレーブからの受信データが受信バッファをオーバーしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。スレーブからのデータ受信不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	スレーブからの受信データサイズが受信バッファをオーバーした		受信バッファのサイズをスレーブからの受信データサイズ以上に設定してください		受信バッファのサイズはスレーブからの受信データサイズ以上に設定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	SDO アボートエラー			イベントコード	54011804Hex	
内容	命令実行時に、EtherCAT スレーブから SDO アボートエラーを受信しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	スレーブ仕様に依存		スレーブのマニュアルを参照して処置を行ってください		スレーブのマニュアルを参照して防止策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	パケットモニタ保存中			イベントコード	54011805Hex	
内容	EtherCAT のパケットモニタファイル保存中にパケットモニタ操作関連命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT のパケットモニタの保存中にパケットモニタ操作関連命令が実行された		パケットモニタ保存完了後にパケットモニタ操作関連命令を実行してください。パケットモニタの保存が完了したかどうかは、パケットモニタ保存中ステータスで確認することができます		パケットモニタ操作関連命令はパケットモニタ保存完了後に実行してください。パケットモニタの保存が完了したかどうかは、パケットモニタ保存中ステータスで確認することができます	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	パケットモニタ機能未開始			イベントコード	54011806Hex	
内容	EtherCAT のパケットモニタ停止中にパケットモニタ停止命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT のパケットモニタ機能の停止中にパケットモニタ停止命令が実行された		パケットモニタ機能の開始後にパケットモニタ停止命令を実行してください。パケットモニタ機能動作中かどうかは、パケットモニタ機能動作ステータスで確認することができます		パケットモニタ停止命令はパケットモニタ機能の開始後に実行してください。パケットモニタ機能動作中かどうかは、パケットモニタ機能動作ステータスで確認することができます	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	パケットモニタ機能動作中			イベントコード	54011807Hex	
内容	EtherCAT のパケットモニタ動作中にパケットモニタ開始命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT のパケットモニタ機能の動作中に再度パケットモニタ開始命令が実行された		パケットモニタ機能の停止後にパケットモニタ開始命令を実行してください。パケットモニタ機能停止中かどうかは、パケットモニタ機能動作ステータスで確認することができます		パケットモニタ開始命令はパケットモニタ機能の停止後に実行してください。パケットモニタ機能停止中かどうかは、パケットモニタ機能動作ステータスで確認することができます	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	通信リソースオーバー			イベントコード	54011808Hex	
内容	同時に 32 個を超える EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	同時に 32 個を超える EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が実行された。EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令は以下のとおり • EC_CoESDOWrite 命令 • EC_CoESDORead 命令 • EC_ConnectSlave 命令 • EC_DisconnectSlave 命令 • EC_ChangeEnableSetting 命令 • EC_StartMon 命令 • EC_SaveMon 命令 • EC_StopMon 命令 • EC_CopyMon 命令 • IOL_ReadObj 命令 • IOL_WriteObj 命令 • EC_GetMasterStatistics 命令 • EC_ClearMasterStatistics 命令 • EC_GetSlaveStatistics 命令 • EC_ClearSlaveStatistics 命令	同時に実行する EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が 32 個以下になるようにプログラムを修正してください	同時に実行する EtherCAT 通信命令／IO-Link 通信命令が 32 個以下になるようにプログラムを作成してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

イベント名	パケットモニタ機能非サポート			イベントコード	54011809Hex *1	
内容	パケットモニタ機能は、使用できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	パケットモニタ機能を搭載していない CPU ユニットに対して、パケットモニタ機能の命令が実行された		EC_StartMon,EC_SaveMon,EC_StopMon,EC_CopyMon 命令を実行しないでください。 パケットモニタを使用する場合は、パケットモニタ機能を搭載した CPU ユニットの機種を使用してください		パケットモニタ機能を搭載していない CPU ユニットの機種に対して、パケットモニタ機能の命令を実行しないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.01 以降で発生するエラーコード（16#1809）です。

イベント名	対象スレーブへの命令実行不可		イベントコード	5401180AHex *1	
内容	命令が実行できない状態のスレーブに対して命令を実行しました				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了	

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	―	―

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	無効状態のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令または EC_ConnectSlave 命令を実行した	無効状態のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令および EC_ConnectSlave 命令を実行しないようにプログラムを修正してください	無効状態のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令および EC_ConnectSlave 命令を実行しないようにプログラムを作成してください
	離脱状態のスレーブに対して、EC_ChangeEnableSetting 命令を実行した	離脱状態のスレーブに対して、EC_ChangeEnableSetting 命令を実行しないようにプログラムを修正してください	離脱状態のスレーブに対して、EC_ChangeEnableSetting 命令を実行しないようにプログラムを作成してください
	リングトポロジ上のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令または EC_ChangeEnableSetting 命令を実行した	リングトポロジ上のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令および EC_ChangeEnableSetting 命令を実行しないようにプログラムを修正してください	リングトポロジ上のスレーブに対して、EC_DisconnectSlave 命令および EC_ChangeEnableSetting 命令を実行しないようにプログラムを作成してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.40 以降で発生するエラーコード（16#180A）です。

イベント名	診断・統計情報ログ機能実行中			イベントコード	5401180DHex*1	
内容	診断・統計情報ログ機能が動作中のため、マスタ／スレーブ診断・統計情報命令が実行できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_StatisticsLogBusy		BOOL		診断統計情報ログ実行状態フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	診断・統計情報ログ機能が動作中に、マスタ診断・統計情報命令（EC_GetMasterStatistics,EC_ClearMasterStatistics）、またはスレーブ診断・統計情報命令（EC_GetSlaveStatistics,EC_ClearSlaveStatistics）が実行された		診断・統計情報ログ機能が実行されているときは、マスタ診断・統計情報命令、またはスレーブ診断・統計情報命令を実行しないようにプログラムを修正してください		システム定義変数「_EC_StatisticsLogBusy」がFALSE の状態のときに、マスタ診断・統計情報命令、またはスレーブ診断・統計情報命令を実行するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降で発生するイベントです。

イベント名	マスタ診断・統計情報命令多重起動不可			イベントコード	5401180EHex*1	
内容	同時に複数のマスタ診断・統計情報命令を実行したため、マスタ診断・統計情報命令が実行できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	マスタ診断・統計情報命令（EC_GetMasterStatistics,EC_ClearMasterStatistics）を実行中に、同時にマスタ診断・統計情報命令を実行した		マスタ診断・統計情報命令を実行中に、同時にマスタ診断・統計情報命令を実行しないようにプログラムを修正してください		マスタ診断・統計情報命令を実行中に、同時にマスタ診断・統計情報命令を実行しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降で発生するイベントです。

イベント名	スレーブ診断・統計情報命令多重起動不可		イベントコード	5401180FHex*1		
内容	同時に複数のスレーブ診断・統計情報命令を実行したため、スレーブ診断・統計情報命令が実行できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	スレーブ診断・統計情報命令（EC_GetSlaveStatistics,EC_ClearSlaveStatistics）を実行中に、同時にスレーブ診断・統計情報命令を実行した		スレーブ診断・統計情報命令を実行中に、同時にスレーブ診断・統計情報命令を実行しないようにプログラムを修正してください		スレーブ診断・統計情報命令を実行中に、同時にスレーブ診断・統計情報命令を実行しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.64 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.64 以降で発生するイベントです。

イベント名	Explicit 異常		イベントコード	54011C00Hex		
内容	CIP 通信命令にて Explicit メッセージでエラーレスポンスコードが返ってきました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	異常の内容に依存		該当命令の出力変数「ErrorIDEx」の値を確認し、本マニュアルの CIP メッセージ異常コードの説明を参照してください		異常の内容に依存します。本マニュアルの CIP メッセージ異常コードの説明を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ルートパス不正			イベントコード	54011C01Hex	
内容	CIP 通信命令で指定したルートパスのフォーマットが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CIP 通信命令で指定したルートパスのフォーマットが不正		該当命令で指定するルートパスが正しくなるようにプログラムを修正してください		命令で指定するルートパスが正しくなるようにプログラムを作成してください	
	CIP 通信命令で指定したホスト名のアドレス解決に失敗した		「アドレス解決失敗」(54012002Hex)の処置対策を参照してください		「アドレス解決失敗」(54012002Hex)の再発防止を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	CIP ハンドル不正			イベントコード	54011C02Hex	
内容	CIP 通信命令で指定したハンドルが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CIP 通信命令で指定したハンドルが不正		該当命令で指定するハンドルが CIPOpen 命令で取得したハンドルになるようにプログラムを修正してください		命令で指定するハンドルが CIPOpen 命令で取得したハンドルになるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">CIP 通信リソースオーバー</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">54011C03Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">同時に実行できる CIP 通信命令のリソースを超えて命令が実行されました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>命令</td><td>検出タイミング</td><td>命令実行時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">該当命令を仕様どおりに終了</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">同時に 32 個を超える CIP 通信命令が実行された</td><td colspan="2">同時に実行する CIP 通信命令が 32 個以下になるようにプログラムを修正してください</td><td colspan="2">同時に実行する CIP 通信命令が 32 個以下になるようにプログラムを作成してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">同時に 32 個を超えるハンドルを使用しようとした</td><td colspan="2">同時に使用するハンドルが 32 個以下になるようにプログラムを修正してください</td><td colspan="2">同時に使用するハンドルが 32 個以下になるようにプログラムを作成してください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：異常の発生箇所
付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号
付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし
付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">CIP タイムアウト</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">54011C04Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">CIP 通信命令の実行中にタイムアウトが発生しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>命令実行時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="2">該当命令を仕様どおりに終了</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">指定した IP アドレスのデバイスが存在しない</td><td colspan="2">指定する IP アドレスと相手デバイスの IP アドレスが一致するように修正してください</td><td>指定する IP アドレスと送信先のデバイスの IP アドレスが一致するようにしてください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">指定したハンドルの CIP コネクションがタイムアウトしたため閉じられている</td><td colspan="2">コネクションのタイムアウト時間以内に該当命令を実行してください。またはコネクションのタイムアウト時間を長くしてください</td><td>コネクションのタイムアウト時間以内に該当命令を実行するようにしてください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">相手デバイスの電源 OFF</td><td colspan="2" rowspan="2">相手デバイスの状態を確認し、正常に起動してください</td><td rowspan="2">相手デバイスの状態を確認し、正常に起動してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">相手デバイスの通信停止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">相手デバイスの CIP メッセージ通信停止</td><td colspan="2">正常に CIP メッセージ通信を開始させてください</td><td>正常に CIP メッセージ通信を開始させて、該当命令を実行するようにしてください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ</td><td colspan="2">コネクタが正しく嵌合しているかを確認し、再接続してください</td><td>コネクタを確実に接続してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線</td><td colspan="2">Ethernet ケーブルを交換してください</td><td>なし</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">相手デバイスおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、該当命令のパケットが許可されていない</td><td colspan="2">相手デバイスおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、該当命令のパケットを許可してください</td><td>相手デバイスおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、該当命令のパケットを許可して、該当命令を実行するようにしてください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ノイズ</td><td colspan="2">ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください</td><td>ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：異常の発生箇所
付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号
付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし
付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります</td></tr>
</table>

イベント名	Class3 コネクション確立失敗			イベントコード	54011C05Hex *1	
内容	CIP 通信命令で、Class3 コネクションの確立に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対して、CIPOepn 命令を実行した		Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対しては、CIPOpenWithDataSize 命令を使用し、データサイズが 509 バイト以下になるようにプログラムを修正してください		Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対しては、CIPOpenWithDataSize 命令を使用し、データサイズが 509 バイト以下になるようにプログラムを作成してください	
	Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対して、データサイズを 510 バイト以上に設定して CIPOpenWithDataSize 命令を実行した		Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対しては、CIPOpenWithDataSize 命令のデータサイズが 509 バイト以下になるようにプログラムを修正してください		Class3（Large_Forward_Open）に対応していないデバイスに対しては、CIPOpenWithDataSize 命令のデータサイズが 509 バイト以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#1C05）です。

イベント名	CIP 通信データサイズオーバー			イベントコード	54011C06Hex *1	
内容	CIP 通信命令で、送信可能なデータサイズを超える Class3 Explicit メッセージを送信しようとしました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CIPRead 命令、CIPWrite 命令、CIPSend 命令の入力変数で設定したデータサイズが、CIPOpenWithDataSize 命令で設定したデータサイズを超えた		該当命令のデータサイズが CIPOpenWithDataSize 命令で設定したデータサイズ以下となるように、プログラムを修正してください。 または、該当命令のデータサイズ以上となるように、CIPOpenWithDataSize 命令のデータサイズを設定して、コネクションを確立してください		該当命令のデータサイズが、CIPOpenWithDataSize 命令で設定したデータサイズ以下となるように、プログラムを作成してください。 または、該当命令のデータサイズ以上となるように、CIPOpenWithDataSize 命令のデータサイズを設定して、コネクションを確立してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#1C06）です。

イベント名	自 IP アドレス設定エラー			イベントコード	54012000Hex	
内容	自 IP アドレスの設定エラーが発生している状態で、命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	自 IP アドレスの設定エラーが発生している状態で、命令を実行した		該当命令実行時に「TCP/IP 基本設定エラー」（IP アドレスの設定エラー）が発生しています。「TCP/IP 基本設定エラー」の処置対策を行い、異常を取り除いてください		「TCP/IP 基本設定異常」（IP アドレスの設定エラー）が発生しないように正しく IP アドレスの設定を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	TCP/UDP ポート使用不可			イベントコード	54012001Hex	
内容	命令実行時に、UDP または、TCP ポートがすでに使用されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	UDP または、TCP ポートがすでに使用されている		該当命令で指定しているポート番号を未使用のポート番号になるようにプログラムを修正してください		使用されているポート番号を命令で指定しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	アドレス解決失敗			**イベントコード**	54012002Hex	
内容	命令でホスト名指定した相手ノードのアドレス解決に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	該当命令で指定したホスト名が間違っている		該当命令で指定するホスト名を正しいホスト名に修正してください		命令で正しいホスト名を指定していることを確認してください	
	コントローラの hosts 設定／DNS 設定が間違っている		コントローラの hosts 設定／DNS 設定を修正してください		コントローラの hosts 設定／DNS 設定に間違いがないことを確認してください	
	DNS サーバの設定が間違っている		DNS サーバの設定を修正してください		DNS サーバの設定に間違いがないことを確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ソケット状態異常			イベントコード	54012003Hex	
内容	ソケットサービス命令実行時の状態が適切ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• SktUDPCreate 命令の場合 入力変数「SrcUdpPort」で指定した UDP ポートが下記のいずれか • すでにオープン済み • クローズ処理中 • SktUDPRcv 命令の場合 • 指定したソケットが受信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • SktUDPSend 命令の場合 • 指定したソケットが送信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • SktTCPAccept 命令の場合 指定した TCP ポートが下記のいずれか • オープン処理中 • クローズ処理中 • 同一の IP アドレス、TCP ポートから、本命令がすでにコネクション確立している • SktTCPConnect 命令の場合 • 入力変数「SrcTcpPort」で指定した TCP ポートがすでにオープン済み • 入力変数「DstAdr」で指定した相手ノードが存在しない • 入力変数「DstAdr」、「DstTcpPort」で指定した相手ノードがコネクト待ちでない • SktTCPRcv 命令の場合 • 指定したソケットが受信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている		該当命令に対応する本異常の発生要因を取り除いてください		発生要因の状態で命令を実行しないようにしてください	

	• SktTCPSend 命令の場合 • 指定したソケットが送信処理中 • 指定したソケットがクローズされた • 指定したソケットの送信バッファがいっぱいである（接続先が電源 OFF、回線切断等） • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • SktClearBuf の場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • [形 NX102, 形 NX1P2 CPU ユニットバージョン Ver.1.50 以降、および形 NX502 Ver.1.60 以降] SktTLSConnect の場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • [形 NX102, 形 NX502] ModbusTCPCmd の場合 • ソケット処理中の場合 • ソケットが閉じられている場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • [形 NX102, 形 NX502] ModbusTCPRead の場合 • ソケット処理中の場合 • ソケットが閉じられている場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • [形 NX102, 形 NX502] ModbusTCPWrite の場合 • ソケット処理中の場合 • ソケットが閉じられている場合 • 指定したソケットハンドルが既にセキュアソケット通信に使用されている • SktSetOption 命令の場合 • 指定したソケットが既に送受信を開始している • 指定したソケットが対応していないオプションタイプを指定した		
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000		
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります		

イベント名	自 IP アドレス未決定			**イベントコード**	54012004Hex	
内容	ソケットサービス命令実行時に自 IP アドレスが決定されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	―	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	BOOTP サーバの設定異常		BOOTP サーバの設定に誤りがある場合は設定を修正してください		BOOTP サーバの設定に誤りがないことを確認してください	
	BOOTP サーバが不在		BOOTP サーバが正常にネットワークに接続されているか、正常に起動しているかを確認し、BOOTP サーバに接続できるようにしてください		BOOTP サーバが正常にネットワークに接続され、正常に起動していることを確認してください	
	起動直後で自 IP アドレスが未決定		自 IP アドレスが決定されるのを待ってからソケットサービス命令を実行してください		自 IP アドレスが決定されるのを待ってからソケットサービス命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ソケットタイムアウト			イベントコード	54012006Hex	
内容	ソケットサービス命令でタイムアウトが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	SktTCPAccept 命令：ユーザの指定したタイムアウト時間以内に相手ノードからのコネクション要求がなかった	該当命令を実行してからタイムアウトまでの間に、相手ノードからコネクション要求が実施されるようにシステムやプログラムを修正してください。またはタイムアウト時間を大きくしてください	命令を実行してからタイムアウトまでの間に、相手ノードからコネクション要求が実施されるようにシステムやプログラムを作成してください
		コントローラの Packet Filter 設定に相手ノードからのパケットを許可してください*1	コントローラの Packet Filter 設定に相手ノードからのパケットを許可して、命令を実行するようにしてください
	SktTCPRcv 命令、SktUDPRcv 命令：ユーザの指定したタイムアウト時間以内に相手ノードからのデータが受信できなかった	該当命令を実行してからタイムアウトまでの間に、相手ノードからデータ送信が実施されるようにシステムやプログラムを修正してください。またはタイムアウト時間を大きくしてください	命令を実行してからタイムアウトまでの間に、相手ノードからデータ送信が実施されるようにシステムやプログラムを作成してください
		コントローラの Packet Filter 設定に相手ノードからのパケットを許可してください*1	コントローラの Packet Filter 設定に相手ノードからのパケットを許可して、命令を実行するようにしてください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

*1. 以下の CPU ユニットでの処置対策です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	ソケットハンドル不正			イベントコード	54012007Hex	
内容	ソケットサービス命令で指定したハンドルが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソケットサービス命令で指定したハンドルが不正		該当命令で指定するソケットハンドルが以下のいずれかの命令で取得されたハンドルになるようにプログラムを修正してください • SktUDPCreate 命令 • SktTCPConnect 命令 • SktTCPAccept 命令 ただし、セキュアソケットサービス命令では、以下の命令で取得されたハンドルを指定するようにプログラムを修正してください • SktTCPConnect 命令		該当命令で指定するソケットハンドルが以下のいずれかの命令で取得されたハンドルになるようにプログラムを作成してください • SktUDPCreate 命令 • SktTCPConnect 命令 • SktTCPAccept 命令 ただし、セキュアソケットサービス命令では、以下の命令で取得されたハンドルを指定するようにプログラムを修正してください • SktTCPConnect 命令	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ソケット通信リソースオーバー			イベントコード	54012008Hex	
内容	同時に実行できるソケットサービス命令のリソースを超えて命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に 32 個（形 NX102 は 64 個）を超えるソケットサービス命令が実行された		同時に実行するソケットサービス命令が 32 個（形 NX102 は 64 個）以下になるようにプログラムを修正してください		同時に実行するソケットサービス命令が 32 個（形 NX102 は 64 個）以下になるようにプログラムを作成してください	
	同時に 30 個（形 NX102 では 60 個、CPU ユニット Ver.1.02 以前では 16 個）を超えるソケットハンドルを使用しようとした		同時に使用するソケットハンドルが 30 個（形 NX102 では 60 個、CPU ユニット Ver.1.02 以前では 16 個）以下になるようにプログラムを修正してください		同時に使用するソケットハンドルが 30 個（形 NX102 では 60 個、CPU ユニット Ver.1.02 以前では 16 個）以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	TLS セッション名不正			イベントコード	5401200AHex*1	
内容	指定した TLS セッション名がセキュアソケット設定にありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セキュアソケット設定に指定された TLS セッション名が設定されていない		セキュアソケット設定で設定した TLS セッション名を指定するようにプログラムを修正してください		セキュアソケット設定で設定した TLS セッション名を指定するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.46 以降、形 NX102-□□20 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.37 以降で発生するエラーコード（16#200A）です。

イベント名	証明書アクセス失敗			イベントコード	5401200BHex*1	
内容	証明書およびセキュアソケット設定が転送されていないか、証明書にパスワードが設定されているため、証明書にアクセスできませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	コントローラにクライアント証明書が転送されていない		［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用してクライアント証明書をコントローラへ転送してください		［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用してクライアント証明書をコントローラへ転送してから命令を実行してください	
	転送されたクライアント証明書にパスワードが設定されている		［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用してパスワードが設定されていないクライアント証明書をコントローラへ再送してください		パスワードが設定されていないクライアント証明書を使用してください	
	セキュアソケット設定が存在しない、もしくはセキュアソケット設定ファイルの内容が誤っている		［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用してセキュアソケット設定を作成または修正し、コントローラへ転送してください		［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用してセキュアソケット設定を作成し、 コントローラへ転送してから命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.46 以降、形 NX102-□□20 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.37 以降で発生するエラーコード（16#200B）です。

*2. セキュアソケットサービス機能の設定方法は、CPU ユニットのユニットバージョン、設定ユニットバージョン、および Sysmac Studio のバージョンによって異なります。それらのバージョンによっては、［セキュアソケット設定］ダイアログボックスではなく、セキュアソケット設定コマンドを使用する場合があります。 詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の、「Sysmac Studio のセキュアソケット設定機能の使用手順」を参照してください。

イベント名	TLS セッション確立エラー			イベントコード	5401200CHex*1	
内容	TLS セッションの確立に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	クライアント証明書の内容が不正	［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用して、クライアント証明書をコントローラへ再送してください	クライアント証明書に誤りがないことを確認してください
	クライアント秘密鍵の内容が不正	［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 を使用して、クライアント秘密鍵をコントローラへ再送してください	クライアント秘密鍵に誤りがないこと確認してください
	セキュアソケット通信の確立に失敗しました	セキュアソケット通信ログの出力を有効にして、ログの内容を確認し、対策を実施してください	セキュアソケット通信ログの出力を有効にして、セキュア通信が正常であることを確認してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.46 以降、形 NX102-□□20 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.37 以降で発生するエラーコード（16#200C）です。

*2. セキュアソケットサービス機能の設定方法は、CPU ユニットのユニットバージョン、設定ユニットバージョン、および Sysmac Studio のバージョンによって異なります。それらのバージョンによっては、［セキュアソケット設定］ダイアログボックスではなく、セキュアソケット設定コマンドを使用する場合があります。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の、「Sysmac Studio のセキュアソケット設定機能の使用手順」を参照してください。

イベント名	TLS セッションハンドル不正			イベントコード	5401200EHex*1	
内容	セキュアソケットサービス命令で指定した TLS セッションハンドルが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セキュアソケットサービス命令で指定した TLS セッションハンドルが不正		該当命令で指定するソケットハンドルが、SktTLSConnect 命令で取得されたソケットハンドルになるようにプログラムを修正してください		該当命令で指定するソケットハンドルが、SktTLSConnect 命令で取得されたソケットハンドルになるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.46 以降、形 NX102-□□20 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.37 以降で発生するエラーコード（16#200E）です。

イベント名	TLS のエラー			イベントコード	5401200FHex *1	
内容	セキュアソケット通信中にエラーが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	セキュアソケット通信中にエラーが発生した		セキュアソケット通信ログの出力を有効にして、ログの内容を確認し、対策を実行してください		セキュアソケット通信ログの出力を有効にして、セキュア通信が正常であることを確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX502 CPU ユニットバージョン Ver.1.60 以降、形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.46 以降、形 NX102-□□20 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.37 以降で発生するエラーコード（16#200F）です。

イベント名	実行権限なし			イベントコード	54012400Hex *1	
内容	実行が不可能な状態で EtherNet/IP ポートの設定を変更する命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポートのリスタート中に、EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令を実行した		EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットのリスタートや設定変更が終了してから設定を変更する命令を実行してください		EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットのリスタート、設定変更が行われていないときに設定を変更する命令を実行してください	
	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットのリスタート中に、そのユニットの設定を変更する命令を実行した					
	命令または CIP メッセージによる EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポートの設定変更中に、EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令を実行した					
	命令または CIP メッセージによる CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定変更中に、そのユニットの設定を変更する命令を実行した					
	命令で指定したユニット（または、号機番号）が EtherNet/IP ポート、または Ethernet ポート、CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットでない		EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの号機番号を命令で指定するようにしてください。ユニット構成が間違っている場合は、ユニット構成を正しくしてください		EtherNet/IP ポート、Ethernet ポート、または CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの号機番号を命令で指定するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するエラーコード（16#2400）です。

イベント名	設定反映失敗			イベントコード	54012401Hex *1	
内容	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットで変更された設定が反映できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因その処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令の実行中に、そのユニットまたは内蔵 EtherNet/IP ポートがリスタートした		CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット、内蔵 EtherNet/IP ポートのリスタートが終了してから、設定を変更する命令を再度実行してください		CJ シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定を変更する命令の実行中に、そのユニットや内蔵 EtherNet/IP ポートをリスタートしないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するエラーコード（16#2401）です。

イベント名	命令同時実行数オーバー			イベントコード	54012402Hex *1	
内容	コントローラ通信設定の命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に 2 つ以上のコントローラ通信設定の命令が実行された		同時に実行するコントローラ通信設定の命令が 1 つになるようにプログラムを修正してください		同時に実行するコントローラ通信設定の命令が 1 つになるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するエラーコード（16#2402）です。

イベント名	FTP クライアント実行数オーバー			イベントコード	54012403Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に 4 つ以上の FTP クライアント通信命令が実行された		同時に実行する FTP クライアント通信命令が 3 つ以下になるようにプログラムを修正してください		同時に実行する FTP クライアント通信命令が 3 つ以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2403）です。

イベント名	ファイル数制限オーバー			イベントコード	54012404Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、ワイルドカード指定の対象となるファイルが 1000 個を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、ファイル名をワイルドカード指定した場合に、対象となるファイルが 1000 個を超えている		FTP クライアント通信命令で、ワイルドカードの対象となるファイル数が 1000 個以下になるようにプログラムを修正してください		FTP クライアント通信命令で、ワイルドカードの対象となるファイル数が 1000 個以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2404）です。

イベント名	指定ディレクトリ不正（FTP）			イベントコード	54012405Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、指定したディレクトリがコントローラに存在しないか、または不正なパスを指定しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、指定したディレクトリがコントローラに存在しないか、または不正なパスを指定した		FTP クライアント通信命令で、SD メモリカードに存在するディレクトリを指定するようにプログラムを修正してください		FTP クライアント通信命令で、SD メモリカードに存在するディレクトリを指定するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2405）です。

イベント名	FTP サーバ接続失敗			イベントコード	54012406Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバが、ネットワーク上に存在しないか FTP サービスを停止しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバがネットワーク上に存在しない		FTP クライアント通信命令で、ネットワーク上に存在する FTP サーバを指定するようにプログラムを修正してください		FTP クライアント通信命令で、ネットワーク上に存在する FTP サーバを指定するようにプログラムを作成してください	
	FTP クライアント通信命令で、指定した接続先 FTP サーバが FTP サービスを停止している		指定した接続先 FTP サーバの FTP サービスを起動し、再度、命令を実行してください		指定した接続先 FTP サーバの FTP サービスが停止していないことを確認してから、命令を実行するようにしてください	
	指定した接続先 FTP サーバおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、FTP 通信が許可されていない		指定した接続先 FTP サーバおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、FTP 通信を許可してください		指定した接続先 FTP サーバおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、FTP 通信を許可してから、命令を実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2406）です。

イベント名	接続先 FTP サーバ実行失敗			**イベントコード**	54012407Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、接続先 FTP サーバからエラーが返ってきました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	FTP クライアント通信命令で、接続先 FTP サーバに要求した処理が、接続先 FTP サーバ側で実行に失敗した		接続先 FTP サーバからのレスポンスコードを、該当命令の出力変数「ErrorIDEx」の値で確認し、本マニュアルで該当命令の拡張エラーコード「ErrorIDEx」の説明を参照してください		命令の「ErrorIDEx」の説明をあらかじめ参照してプログラムを作成してください	
	コントローラの Packet Filter 機能が有効の場合に FTP サーバからのパケットが許可されていない*2		コントローラの Packet Filter 設定に FTP サーバからのパケットを許可してください		コントローラの Packet Filter 設定に FTP サーバからのパケットを許可してから、命令を実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2407）です。
*2. 以下の CPU ユニットで発生する要因です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	SD メモリカードアクセス失敗（FTP）			イベントコード	54012408Hex *1	
内容	FTP クライアントから SD メモリカードへのアクセスに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SD メモリカードが未装着		SD メモリカードを装着し、再度、命令を実行してください		SD メモリカードを装着してください	
	FTP クライアント通信命令の実行中に SD メモリカードが抜き取られた		SD メモリカードを装着し、再度、命令を実行してください		FTP クライアント通信命令の実行中に SD メモリカードを抜き取らないでください	
	SD メモリカードの容量が不足している		十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください		十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください	
	SD メモリカードがライトプロテクトされている		SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください		SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2408）です。

イベント名	指定ファイル不在			イベントコード	54012409Hex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが存在しない		FTP クライアント通信命令で、存在するファイルを指定するようにプログラムを修正してください		FTP クライアント通信命令で、存在するファイルを指定するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#2409）です。

イベント名	指定ファイル上書き禁止			イベントコード	5401240AHex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、同名のファイルを上書きしない指定としているため転送しませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、上書き指定が「ファイルを上書きしない」であり、指定したファイル名と同名のファイルが転送先に存在しているため転送しなかった		FTP クライアント通信命令で、上書き指定を「ファイルを上書きする」とし、再度、命令を実行してください。 または、転送先か転送元のいずれかのファイル名を変更し、再度、命令を実行してください		FTP クライアント通信命令で、上書き指定を「ファイルを上書きする」としてください。 または、転送先と転送元のファイル名が異なるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#240A）です。

イベント名	指定ファイル削除失敗			イベントコード	5401240BHex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、転送済みファイルを削除できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、転送後ファイル削除指定が「転送済みファイルを削除する」となっているが、指定したファイルの属性が読み取り専用のため削除できなかった		FTP クライアント通信命令で、転送後ファイル削除指定を「転送済みファイルを削除しない」とし、再度、命令を実行してください。 または、転送元のファイルの属性を書き込み可能となるように変更し、再度、命令を実行してください		FTP クライアント通信命令で、転送後ファイル削除指定を「転送済みファイルを削除しない」としてください。 または、転送元のファイルの属性を読み取り専用にしないでください	
	FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されているため削除できなかった		FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されていないときに、命令を実行してください		FTP クライアント通信命令で、指定したファイルを、他のアプリケーションで使用しないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#240B）です。

イベント名	指定ファイルアクセス失敗			イベントコード	5401240CHex *1	
内容	FTP クライアント通信命令で、ファイルのアクセスに失敗したため、FTP 転送に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されている		FTP クライアント通信命令で、指定したファイルが他のアプリケーションで使用されていないときに、命令を実行してください		FTP クライアント通信命令で、指定したファイルを、他のアプリケーションで使用しないようにしてください	
	FTP クライアント通信命令で、指定した書込ファイルまたはディレクトリにライトプロテクトがかかっている		FTP クライアント通信命令で、指定した書込ファイルのライトプロテクトを解除してください。または、書込ファイル名を変更してください		FTP クライアント通信命令で、指定する書込ファイルにはライトプロテクトをかけないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#240C）です。

イベント名	IP アドレス設定不正			イベントコード	5401240DHex *1	
内容	命令で指定されたポートの IP アドレス設定と他ポート設定との間で設定不正があるため、命令を実行できませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令で指定されたポートのネットワークアドレスが、他ポートのネットワークアドレスと重複している	該当命令で指定されるネットワークアドレスが、他ポートのネットワークアドレスと重複しないように修正してください。 または、あらかじめ他ポートのネットワークアドレスを変更してください。	IP アドレスを変更する命令を使用する場合は、命令で指定されるネットワークアドレスが、他ポートのネットワークアドレスと重複しないようにしてください
	命令で指定されたポートと他ポートの設定がすべて未使用となっている	該当命令で指定するポートの設定を「使用しない」以外に修正してください。 または、あらかじめ他ポートの未使用設定を変更してください。	IP アドレスを変更する命令を使用する場合は、命令で指定されるポートと他ポートの設定がすべて未使用とならないようにしてください

付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 2: 異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するエラーコード（16#240D）です。

イベント名	NX メッセージ異常			イベントコード	54012C00Hex *1	
内容	NX メッセージでエラーレスポンスコードが返ってきました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	異常の内容に依存	該当命令の出力変数「ErrorIDEx」の値を確認し、本マニュアルの NX メッセージ異常コードの説明を参照してください	異常の内容に依存します。本マニュアルの NX メッセージ異常コードの説明を参照してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C00）です。

イベント名	NX メッセージリソースオーバー			イベントコード	54012C01Hex *1	
内容	同時に実行できる NX メッセージ命令のリソースを超えて命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に 32 個を超える NX メッセージ命令が実行された		同時に実行する NX メッセージ命令が 32 個以下になるようにプログラムを修正してください		同時に実行する NX メッセージ命令が 32 個以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C01）です。

イベント名	NX メッセージタイムアウト			イベントコード	54012C02Hex *1	
内容	NX メッセージの実行中にタイムアウトが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した NX ユニットが存在しない		ユニット指定と相手ユニットの構成などが一致するように修正してください		ユニット指定と相手ユニットの構成などが一致するようにしてください	
	NX メッセージがタイムアウトしたため閉じられている		該当命令の入力変数「TimeOut」で指定されているレスポンス監視時間を長くしてください		適切なレスポンス監視時間を入力変数「TimeOut」に指定してから命令を実行してください	
	相手ユニットの電源 OFF		相手ユニットの状態を確認し、正常に起動してください		相手ユニットの状態を確認し、正常に起動してください	
	相手ユニットの通信停止					
	通信ケーブルのコネクタのはずれ		コネクタが正しく嵌合しているかを確認し、再接続してください		コネクタを確実に接続してください	
	通信ケーブルの断線		通信ケーブルを交換してください		なし	
	ノイズ		ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください		ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C02）です。

イベント名	NX メッセージ長不正			イベントコード	54012C03Hex *1	
内容	NX メッセージの長さが不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	WriteDat または Path で指定したサイズが長すぎる		WriteDat または Path で指定したサイズが制限以内になるようにプログラムを修正してください		WriteDat または Path で指定したサイズが制限以内になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C03）です。

イベント名	NX メッセージネットワーク異常（EtherCAT）			イベントコード	54012C05Hex *1	
内容	NX メッセージの経路上の EtherCAT 通信で異常が発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX メッセージの経路のうち EtherCAT 通信で異常が発生している		EtherCAT 通信で発生している異常を確認し、異常を解除してから該当命令を実行してください		異常の内容に依存	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C05）です。

イベント名	指定ユニット外部リスタート既実行			イベントコード	54012C06Hex *1	
内容	命令実行時に、すでに Sysmac Studio からリスタートが実行されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令実行時に、すでに Sysmac Studio からリスタートが実行されている		すでに Sysmac Studio からリスタートが実行されている場合は、命令からリスタートする必要はありません		運転中に Sysmac Studio からリスタートしないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C06）です。

イベント名	命令対象外ユニット指定			イベントコード	54012C07Hex *1	
内容	指定したユニットのスレーブノードアドレスに、該当命令の対象外のスレーブが接続されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定したユニットのスレーブノードアドレスに、該当命令の対象外のスレーブが接続されている		ネットワーク構成情報で指定されている該当命令の対象ユニットを接続してください		指定したユニットのスレーブノードアドレスに、該当命令の対象外のスレーブを接続しないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.05 以降で発生するエラーコード（16#2C07）です。

イベント名	累積通電時間記録不正			イベントコード	54012C08Hex *1	
内容	累積通電時間の読み出しに失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	不揮発性メモリの故障		累積通電時間の読み出しに失敗したユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するエラーコード（16#2C08）です。

イベント名	プロセスデータオブジェクト設定不足			イベントコード	54013461Hex	
内容	PDO マッピングが正しくありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	モーション命令で必要な PDO マッピングがされていない		該当命令で必要な PDO マッピングを行ってください。 必要な PDO マッピングについては、該当命令の「機能説明」を参照してください		使用する命令で必要な PDO マッピングを行ってください。 各命令で必要な PDO マッピング（サーボドライバの設定）については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編(SBCE-433)』を参照してください	
	該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した		該当命令に対応する機能を持たない対象機器があります。 対象機器のマニュアルを参照して、該当命令に対応しているか確認し、対応していない命令を実行しないようにプログラムを修正してください		対象機器のマニュアルを参照し、対応していない命令を実行しないようにプログラムを作成してください	
	オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸に対して、トリガ条件として Z 相（_mcEncoderMark）を指定してモーション命令を起動した		オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸では、トリガ条件に外部入力（_mcEXT）を使用してください		オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸では、トリガ条件に外部入力（_mcEXT）を使用してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	デバイスエラー受信			イベントコード	54014800Hex *1	
内容	デバイスからのエラーレスポンスを受信しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	デバイスからエラーレスポンスを受信した		デバイスが返信したエラーコードが命令の出力変数 ErrorType に出力されます。対象デバイスのマニュアルでエラーの内容を確認して処置を行ってください		デバイスのマニュアルでエラー原因を確認してプログラム作成、命令実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4800）です。

イベント名	指定ユニット不在			イベントコード	54014801Hex *1	
内容	指定したユニットが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した位置に IO-Link マスタユニットが接続／装着されていない		指定した位置に IO-Link マスタユニットを接続／装着してください。または、IO-Link マスタユニットが接続／装着されている位置を指定してください		指定する位置に IO-Link マスタユニットを接続／装着してください。または、IO-Link マスタユニットが接続／装着されている位置を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4801）です。

イベント名	メッセージ処理数オーバー			イベントコード	54014802Hex *1	
内容	IO-Link マスタが他のアプリケーションからのメッセージを処理中なので命令を実行できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	IO-Link マスタが他のアプリケーション（命令実行または、ツール接続）からのメッセージを処理中のため、命令を実行できない		再度命令を実行してください		アプリケーション（命令実行または、ツール接続）でメッセージの排他制御処理をするか、または、リトライ回数を大きくしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4802）です。

イベント名	指定ユニット状態異常			イベントコード	54014803Hex *1	
内容	指定したユニットがメッセージを受け付けられる状態ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定したユニットがメッセージを受け付けられる状態でない		再度命令を実行してください		本異常が発生した場合には、再度命令を実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4803）です。

イベント名	同時実行数オーバー			イベントコード	54014804Hex *1	
内容	同時に実行できる命令数を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に実行する NX メッセージ命令と EtherCAT 通信命令の合計数が 32 個を超えた		同時に実行する NX メッセージ命令と EtherCAT 通信命令の合計数が 32 個以下になるようにプログラムを修正してください		同時に実行する NX メッセージ命令と EtherCAT 通信命令の合計数が 32 個以下になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4804）です。

イベント名	通信タイムアウト			イベントコード	54014805Hex *1	
内容	通信実行中にタイムアウトが発生しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	メッセージ応答時間より通信タイムアウト時間が小さい		メッセージ応答時間を計算し、メッセージ応答時間より大きな通信タイムアウト時間を設定してください		メッセージ応答時間を計算し、メッセージ応答時間より大きな通信タイムアウト時間を設定してください	
	EtherCAT または IO-Link のケーブルの断線		ケーブルを交換してください		なし	
	ノイズ		ノイズ対策を行ってください		ノイズ対策を行ってください	
	デバイスの故障		該当デバイスを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4805）です。

イベント名	モード不正			イベントコード	54014806Hex *1	
内容	指定した IO-Link マスタのポートが IO-Link モードではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した IO-Link マスタのポートが IO-Link モードでない		指定した IO-Link マスタのポートを IO-Link モードにしてから、再度命令を実行してください		指定する IO-Link マスタのポートを IO-Link モードにしてから、命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4806）です。

イベント名	I/O 電源 OFF 状態			イベントコード	54014807Hex *1	
内容	指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源が供給されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源が供給されていない		指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源を供給してから命令を実行してください		指定した IO-Link マスタのポートに I/O 電源が供給されていることを確認してから命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4807）です。

イベント名	照合異常発生			イベントコード	54014808Hex *1	
内容	指定した IO-Link マスタのポートに照合異常または通信異常が発生しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した IO-Link マスタのポートに照合異常または通信異常が発生している		異常を解消してから、再度命令を実行してください		異常が発生していない状態で、命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4808）です。

イベント名	デバイスポート設定不正			イベントコード	54014809Hex *1	
内容	デバイスポートの設定が正しくありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	デバイスポートの設定が正しくない		IO-Link マスタユニットの種別を確認し、デバイスポートのデバイスタイプ、指定ユニット、指定スレーブ、ポート番号を確認してください		IO-Link マスタユニットの種別に合わせて、デバイスポートのデバイスタイプ、指定ユニット、指定スレーブ、ポート番号を設定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorType）					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.12 以降で発生するエラーコード（16#4809）です。

イベント名	電子ギア分子設定範囲外			イベントコード	54015420Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumerator」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	電子ギア分母設定範囲外			イベントコード	54015421Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominator」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	目標速度設定範囲外			イベントコード	54015422Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	加速度設定範囲外			イベントコード	54015423Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	減速度設定範囲外			イベントコード	54015424Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	ジャーク設定範囲外			イベントコード	54015425Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Jerk」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トルク傾斜設定範囲外			イベントコード	54015427Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TorqueRamp」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸係数設定範囲外			イベントコード	54015428Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterScaling」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	従軸係数設定範囲外			イベントコード	54015429Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveScaling」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	定寸速度設定範囲外			イベントコード	5401542AHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FeedVelocity」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）が初期値のまま（0）である		定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）に正の値を指定してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	バッファモード選択範囲外			イベントコード	5401542BHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	座標系選択範囲外			イベントコード	5401542CHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	円弧補間モード選択範囲外			イベントコード	5401542DHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CircMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	方向選択範囲外			イベントコード	5401542EHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	経路選択範囲外			イベントコード	5401542FHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PathChoice」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	位置種別選択範囲外			イベントコード	54015430Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceType」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	移動方法選択範囲外			イベントコード	54015431Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トランジションモード選択範囲外			イベントコード	54015432Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	[BufferMode]で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ[TransitionMode]を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定		[BufferMode]で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定する場合は[TransitionMode]を「_mcTMNone」に指定、[TransitionMode]を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定する場合には[BufferMode]で「_mcBlendingLow」、「_mcBlendingPrevious」、「_mcBlendingNext」、「_mcBlendingHigh」を指定してください		[BufferMode]で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定する場合は[TransitionMode]を「_mcTMNone」に指定、[TransitionMode]を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定する場合には[BufferMode]で「_mcBlendingLow」、「_mcBlendingPrevious」、「_mcBlendingNext」、「_mcBlendingHigh」を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	継続方法選択範囲外			イベントコード	54015433Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Continuous （Reserved)」の値が変更されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更された		入力変数「Continuous (Reserved)」の値を変更しないようにプログラムを修正してください		入力変数「Continuous (Reserved)」の値を変更しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	加減算方法選択範囲外			イベントコード	54015434Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CombineMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	同期開始条件指定範囲外			イベントコード	54015435Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「LinkOption」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸従軸同一			イベントコード	54015436Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸が同じです					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください		命令の入力変数「Master」と「Slave」には異なる軸を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸補助軸同一			イベントコード	54015437Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定された軸が同じです					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	ー	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください		命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」には異なる軸を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸／従軸　軸番号非昇順			イベントコード	54015438Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸番号が昇順ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	ー	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」指定時、命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが非昇順		該当命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」を指定する場合には、該当命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定される軸番号が昇順になるようにパラメータを修正してください。または、主軸位置種別選択で「_mcCommand」を指定してください		変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」を指定する場合には、入力変数の主軸と従軸が昇順になるように指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カムテーブル指定不正			イベントコード	54015439Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamTable」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamTable」にカムデータ変数以外を指定		該当命令の入力変数「CamTable」に指定されるパラメータがカムデータ変数になるようにパラメータを修正してください		命令の入力変数の「CamTable」にはカムデータ変数を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	同期停止中			イベントコード	5401543AHex	
内容	モーション制御の同期制御命令が実行されましたが、実行可能な条件ではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• MC_CamOut（カム動作解除）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令実行中でない • MC_GearOut（ギア動作解除）命令が実行されたが MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令実行中でない • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令、MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令が実行中でない		該当命令の実行時に実行可能な条件になるようにプログラムを修正してください		同期制御命令の実行時には実行可能な条件になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可			イベントコード	5401543BHex	
内容	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	再起動できないモーション制御命令の再起動		該当命令の出力変数「Busy」がFALSE になるまで入力変数「Execute」が立ち上がらないようにプログラムを修正してください		再起動できない命令を使用する場合は、入力変数「Execute」の立上げ条件にその命令の出力変数「Busy」が FALSE であること含むようにしてください。または、再度命令を起動する前に一旦命令を停止するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令多重起動不可			イベントコード	5401543CHex	
内容	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同じ対象（MC 共通／軸）に対して同時に実行できない機能を複数実行		該当命令の多重起動の仕様を確認し、同時に実行できない命令を同時に実行しないようにプログラムを修正してください		使用する命令の多重起動の仕様を確認し、同時に実行できない命令を同時に実行しないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸種別不適合			**イベントコード**	5401543DHex	
内容	エンコーダ軸に対して動作命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	ー	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	エンコーダ軸に対して動作命令を実行		該当命令の軸種別設定にサーボ軸または仮想サーボ軸を指定するか、エンコーダ軸に対して該当動作命令を実行しないようにプログラムを修正してください		動作命令はサーボ軸または仮想サーボ軸に対して実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	多軸協調動作中の命令起動不可			**イベントコード**	5401543EHex	
内容	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました • 軸グループ有効状態で使用できないロボット命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令多重起動開始時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	ー	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行		該当軸や該当軸グループが多軸協調動作中でないときに該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		多軸協調動作中でない軸または軸グループに軸動作命令を実行するようにしてください	
	軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform（キネマティクス変換設定）命令を実行		軸グループ無効時に、該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		軸グループ無効時に、該当命令を実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動			イベントコード	5401543FHex	
内容	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動		軸グループを有効状態にした後に該当命令を実行するようにプログラムを修正してください。軸グループを有効状態にするには MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行してください		軸グループを有効にしてから多軸協調動作命令を実行してください。軸グループを有効状態にするには MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行してください	
	軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 • MC_MoveTimeAbsolute（時間指定絶対値位置指令）命令 • MC_SyncLinearConveyor（コンベア同期動作開始）命令 • MC_SyncOut（同期動作解除）命令 • MC_RobotJog（軸グループジョグ送り）命令					
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸グループ有効不可			イベントコード	54015440Hex	
内容	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令の実行に失敗しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に停止中でない軸が存在した		構成軸のすべてが停止中のときに、MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを修正してください。軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です		構成軸のすべてが停止中のときに、MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを作成してください。軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です	
	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令実行中の軸が存在した		構成軸のすべてで MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令が実行されていないときに MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを修正してください		構成軸のすべてで MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令が実行されていないときに MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようなプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示			イベントコード	54015441Hex	
内容	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行		サーボ ON 後に該当命令を実行するようにプログラムを修正してください		サーボ ON 後に軸動作命令を実行するようにしてください	
	MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した		EtherCAT マスタのシステム定義変数「_EC_PDSlavTbl」（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）が FALSE になっている場合は、その要因を取り除き、「_EC_PDSlavTbl」が TRUE になった後に、MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを実行してください		コントローラの電源 ON やダウンロード直後、またはスレーブの通信異常の解除、離脱、再加入、無効、有効直後に MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを実行する場合は、EtherCAT マスタのシステム定義変数の「_EC_PDSlavTbl」（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）が TRUE になったことを確認してから実行するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	構成軸強制停止中エラー			イベントコード	54015442Hex	
内容	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した		構成軸の強制停止命令の入力変数「Execute」を FALSE にして実行を止め、異常解除を実行した後に動作指令を与えるようにしてください		構成軸の強制停止命令の入力変数「Execute」を FALSE にして終了させてから軸グループの動作命令を実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令多重起動数オーバー			イベントコード	54015443Hex	
内容	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた		該当命令実行時にバッファリング数が上限を超えないようにプログラムを修正してください		軸命令の場合は、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えないようにしてください	
	軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた				軸グループ命令の場合は、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	移動量不足			イベントコード	54015444Hex	
内容	位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度または加速度で指定通りの動作を実行できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	［加減速オーバー］を「異常として停止する」に設定しているときに、位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度／加速度での目標位置停止ができない		該当命令の動作仕様に基づき、位置決め動作が多重起動／再起動するタイミングで指定した減速度、または加速度で目標位置を超過しないようにプログラムを修正してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定に変更してください		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定にしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	プレンディング中継速度に到達するための移動量不足			イベントコード	54015445Hex	
内容	中継速度に加減速するための移動量が不足しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	［加減速オーバー］に「異常として停止する」が設定されているときに、現指令を中継速度に加減速するための移動量が不足した		該当命令の動作仕様に基づき、移動量が不足しないようにプログラムを修正してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定に変更してください		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定にしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	台形パターンカム等速移動量不足			イベントコード	54015446Hex	
内容	主軸の等速移動量が「0」未満です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveLink（台形パターンカム）命令において、主軸の等速移動量が「0」未満		（主軸移動距離≧主軸加速移動距離＋主軸減速移動距離）となるようプログラムを修正してください		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	位置指定ギア動作目標速度不足			イベントコード	54015447Hex	
内容	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、従軸の［目標速度］が小さいため、必要な速度に到達しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、入力変数「Velocity（目標速度）」の値が（命令起動時の主軸速度×ギア比）より小さい		該当命令の動作仕様に基づき、（命令起動時の主軸速度×ギア比）より大きくなるように入力変数「Velocity（目標速度）」の値を設定してください		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	円弧補間始点終点同一			イベントコード	54015448Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に始点と終点が同じ位置です。または、通過点指定方式の指定時に始点と終点と通過点が同じ位置です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、始点と終点の位置が同一		該当命令の始点と終点の位置が同一の状態で半径指定方式を指定しないようにプログラムを修正してください		半径指定方式の円弧補間を実行する場合は、始点と終点が同一にならないようにしてください	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式が指定され、始点と終点と通過点の位置が同一		該当命令の始点と終点と通過点の位置が同一の状態で通過点指定方式を指定しないようにプログラムを修正してください		通過点指定方式の円弧補間を実行する場合は、始点と終点と通過点が同一にならないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	円弧補間中心点指定位置範囲外			イベントコード	54015449Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式の指定時に、中心点の位置指定が許容範囲を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式が指定され、始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の［中心点補正許容率］で指定した許容範囲を超えた		始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の［中心点補正許容率］で指定した許容範囲よりも小さくなるような中心点が設定されるように修正してください		始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の［中心点補正許容率］で指定した許容範囲以下になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カウントモード設定による命令起動異常			イベントコード	5401544AHex	
内容	カウントモードがロータリモードに設定されている軸に対してロータリモードで使用できない命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カウントモードがロータリモードに設定されている軸をロータリモードで使用できない命令で使用		該当命令で指定している該当軸のカウントモードの設定をリニアモードに変更してください		使用する命令が実行できるカウントモードを確認して軸のカウントモードを設定してください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	パラメータ選択範囲外			イベントコード	5401544CHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	停止方法選択範囲外			イベントコード	5401544DHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StopMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外			イベントコード	5401544EHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::LatchID」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	MC 設定書込の設定範囲外			イベントコード	5401544FHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	パラメータ指定と設定値のデータ型が一致していない		パラメータ指定と設定値のデータ型が一致するように修正してください		パラメータ指定と設定値のデータ型は一致させてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トリガ入力条件のモード選択範囲外			イベントコード	54015450Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::Mode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外			イベントコード	54015451Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::InputDrive」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（軸指定）			イベントコード	54015453Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Axis」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（バッファモード選択）			**イベントコード**	54015454Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「BufferMode」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令再起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（方向選択）			**イベントコード**	54015455Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Direction」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令再起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（繰り返しモード）			イベントコード	54015456Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Periodic」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（軸グループ指定）			イベントコード	54015457Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「AxesGroup」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（躍動設定）			イベントコード	54015458Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Jerk」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（主軸）			イベントコード	54015459Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Master」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（MasterOffset）			イベントコード	5401545AHex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterOffset」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（MasterScaling）			イベントコード	5401545BHex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterScaling」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（MasterStartDistance）		イベントコード	5401545CHex		
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterStartDistance」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（Continuous）		イベントコード	5401545DHex		
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Continuous」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（MoveMode）			イベントコード	5401545EHex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MoveMode」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸指定不正			イベントコード	5401545FHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在していません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在しない変数		該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸指定不正			イベントコード	54015460Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在していません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在しない変数		該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸グループ指定不正			イベントコード	54015461Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.MFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数	該当命令で指定されている軸グループを存在する軸グループ変数に修正してください	命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください
	命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない	該当命令で指定されている軸グループを使用軸グループに設定してください	入力変数「AxesGroup」に指定する軸グループは使用軸グループに設定してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

イベント名	主軸指定不正			イベントコード	54015462Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」に指定された軸が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.MFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 軽度フォールト発生中
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力変数「Master」に指定された軸が存在しない変数	該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください	命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください
	MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の場合に、入力変数「Master」に指定された軸が同期主軸でない	MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の入力変数「Master」に入力されている変数を同期制御命令の主軸に指定されている軸に修正してください	MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の入力変数「Master」に入力されている変数は、同期制御命令の主軸に指定されている軸にしてください
	主軸と従軸を割り付けているタスクが同一でない	該当命令の入力変数「Master」と入力変数「Slave」に入力している軸を、同一タスクに割り付けてください	主軸と従軸には、同一タスクに割り付けられている軸を指定してください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

イベント名	モーション命令再起動不可（SlaveOffset）			イベントコード	54015463Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveOffset」を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（SlaveScaling）			イベントコード	54015464Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveScaling」を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（StartPosition）			イベントコード	54015465Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartPosition」を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	原点未確定状態での命令起動異常			イベントコード	54015466Hex	
内容	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令が実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点未確定状態で高速原点復帰が実行された		原点復帰によって原点を確定してから該当する高速原点復帰を実行してください		原点復帰により原点確定した状態にしてから高速原点復帰命令を実行してください	
	原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令が実行された		原点復帰によってすべての構成軸の原点を確定してから該当する補間命令を実行してください		原点復帰によりすべての構成軸の原点を確定してから補間命令を実行してください	
	原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令が実行された • MC_SetKinTransform（キネマティクス変換設定）命令 • MC_MoveTimeAbsolute（時間指定絶対値位置指令）命令 • MC_SyncLinearConveyor（コンベア同期動作開始）命令 • MC_SyncOut（同期動作解除）命令 • MC_GroupMon（軸グループモニタ）命令 • MC_RobotJog（軸グループジョグ送り）命令					
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • 原点復帰実行後でも、「現在位置変更」命令を実行した場合、原点未確定状態になるため、改めて原点復帰の実行により原点確定状態にすることが必要です					

イベント名	モーション命令再起動不可（位置種別）			イベントコード	54015467Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「ReferenceType」を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	未使用軸指定（主軸）			イベントコード	54015468Hex	
内容	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸		該当命令で指定されている主軸を使用軸に修正してください		モーション制御命令で指定する主軸には使用軸を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	開始位置設定範囲外			イベントコード	54015469Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	終了位置設定範囲外			イベントコード	5401546AHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	開始位置／終了位置・大小関係不正（リニアモード）			イベントコード	5401546BHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータよりも小さい値です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カウントモードがリニアモードの時、命令の入力パラメータで［LastPosition］の値が「FirstPosition」の値よりも小さい		該当命令で指定されている［LastPosition］の値が「FirstPosition」の値以上となるように修正してください。 または、カウントモードをロータリモードに変更してください		該当命令で指定されている［LastPosition］の値が「FirstPosition」の値以上となるようにプログラムを作成してください。または、該当軸のカウントモードがロータリモードになっていることを確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸同期位置設定範囲外			イベントコード	5401546CHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	従軸同期位置設定範囲外			イベントコード	5401546DHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	トリガ入力条件のラッチ ID 重複			イベントコード	5401546EHex	
内容	モーション制御命令で指定されたラッチ ID が複数の命令で重複しています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同じラッチ ID が同時に使用されている		同じラッチ ID が該当命令と他の命令で同時に使用されないようにプログラムを修正してください。異なるラッチ ID を使用するようにするか、同じラッチ ID を使用する命令を同時に実行しないようにしてください。なお、MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の実行中はラッチ機能 1/2 とも使用中の扱いとなります		MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同時に同じラッチ ID を使用しないようにしてください	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令以外で使用中のラッチを MC_AbortTrigger（外部ラッチ無効）命令で中止しようとした		外部ラッチ有効命令以外で使用中のラッチを外部ラッチ無効命令で中止しないようにしてください		外部ラッチ有効命令以外で使用中のラッチは、外部ラッチ無効命令を実行しないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • ラッチ ID を変更する場合、他の命令でそのラッチ ID が同時に使用されていないことを確認してください					

イベント名	ジャークオーバーライド値範囲外			イベントコード	5401546FHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「JerkFactor」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	加減速度オーバーライド値範囲外			イベントコード	54015470Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AccFactor」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	開始位置方式指定範囲外			イベントコード	54015471Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StartMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	モーション命令再起動不可（開始位置方式）			イベントコード	54015472Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartMode」のパラメータを変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起同時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	未使用軸指定（補助軸）			イベントコード	54015474Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸		該当命令で指定されている軸を使用軸に設定してください。または使用軸を指定するようにパラメータを修正してください		命令で指定する軸は使用軸にしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	位置指定ギア指定値異常			イベントコード	54015475Hex	
内容	モーション制御命令に入力された速度／加速度／減速度では同期動作できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令に入力された速度／加速度／減速度では指定された同期の動作を行えない		MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令の動作仕様に基づき、同期動作可能な設定になるようにプログラムを修正してください		使用する命令の処理を確認し、同期動作可能な設定になるように設定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	位置指定ギア主軸速度ゼロ			イベントコード	54015476Hex	
内容	モーション制御命令の起動時に主軸の速度が「0」です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の起動時に主軸の速度が「0」		該当命令の起動時に主軸の速度が「0」にならないようにプログラムを修正してください		命令の実行時に主軸の速度が「0」にならないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	目標位置設定範囲外			イベントコード	54015478Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外		ロータリモードの軸においては、目標位置をリング設定の範囲内になるように修正してください		ロータリモードの軸においては、目標位置をリング設定の範囲内になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	移動距離範囲外			イベントコード	54015479Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Distance」に指定されたパラメータが範囲外、または「Distance」の値を加算した目標位置が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている		該当命令の入力変数「Distance」で指定される入力パラメータを移動距離や目標位置が範囲外にならないように修正してください		命令で移動距離や目標位置が範囲外にならないようにプログラムを作成してください	
	リニアモードの軸において、移動距離を加算した目標位置をパルス単位に変換したときに、符号付き 40 ビットの範囲を超えている					
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カムテーブル始点位置設定範囲外			イベントコード	5401547AHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StartPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外			イベントコード	5401547BHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterStartDistance」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	円弧補間半径指定異常			イベントコード	5401547CHex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に指定された半径で円弧の軌跡が作成できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、指定された半径では円弧の軌跡が作成できない		円弧の軌跡が作成できるように半径を修正してください		使用する命令の処理を確認し、円弧の軌跡が作成できるような半径を設定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	円弧補間半径オーバーフロー			イベントコード	5401547DHex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径が最大値を超えました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えた		該当命令を動作仕様に基づき、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えないように入力パラメータを修正してください。 通過点指定の場合： 始点、通過点、終点 中心点指定の場合： 始点、終点、中心点		使用する命令の処理を確認し、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えないような入力パラメータにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	• 異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります • 半径指定方式の場合に半径が最大値を超えたときは、「通過点位置／中心位置／半径指定範囲外」異常が出ます					

イベント名	円弧軸指定範囲外			イベントコード	5401547EHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CircAxes」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		該当命令に入力されているパラメータを入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	「CircAxes」に指定された軸が軸グループ設定の構成軸に含まれていない		「CircAxes」に指定する軸を軸グループ構成に含むように設定を変更してください		「CircAxes」に指定する軸を軸グループ構成に含めておいてください	
	「CircAxes」の 2 軸に同一の軸を指定している		「CircAxes」に指定する 2 軸が異なる軸になるように修正してください		「CircAxes」で指定する 2 軸が異なるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸／従軸・軸番号非昇順			イベントコード	5401547FHex	
内容	モーション制御命令で指定された入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータの値が昇順に並んでいません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが非昇順		該当命令の「Auxiliary」と「Slave」の入力パラメータに指定する軸番号が昇順になるように修正してください		「Auxiliary」と「Slave」に指定する軸番号が昇順になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常			イベントコード	54015480Hex	
内容	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明しました。または、計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明した		カムデータを位相が昇順になるように修正してください		カムテーブルデータの位相が昇順になるようにしてください	
	計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明した		カムテーブルのデータを「0」以外の位相も含むように修正してください		カムテーブルのデータを「0」以外の位相も含むようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	MC 設定書込の対象範囲外			イベントコード	54015481Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸移動距離指定範囲外			イベントコード	54015482Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistance」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸加速移動距離指定範囲外			イベントコード	54015483Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInACC」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸減速移動距離指定範囲外			イベントコード	54015484Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInDEC」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	実行モード選択範囲外			イベントコード	54015487Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ExecutionMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸間偏差許容値範囲外			イベントコード	54015488Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PermittedDeviation」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外			イベントコード	54015489Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	通過点指定または中心指定の場合、「AuxPoint」の値をパルス単位に変換したときに、符号付き 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	半径指定の場合、「AuxPoint[0]」の絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている					
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	終点指定範囲外			イベントコード	5401548AHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「EndPoint」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	従軸移動距離指定範囲外			イベントコード	5401548BHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveDistance」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	位相補正量範囲外			イベントコード	5401548CHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PhaseShift」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	定寸距離範囲外			イベントコード	5401548DHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FeedDistance」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸／従軸同一			イベントコード	5401548EHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定された軸が同じです					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください		命令の入力変数の補助軸と従軸には異なる軸を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	相対位置選択範囲外			イベントコード	5401548FHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Relative」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	カムトランジション指定選択範囲外			イベントコード	54015490Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamTransition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	同期制御解除モード選択範囲外			イベントコード	54015491Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「OutMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	外部ラッチ有効命令実行不可			イベントコード	54015492Hex	
内容	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行した		エンコーダ軸に対して「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定しないようプログラムを修正してください		「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの外部ラッチ有効命令を実行する場合は、サーボ軸に対し実行するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸オフセット設定範囲外			イベントコード	54015493Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterOffset」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	従軸オフセット設定範囲外			イベントコード	54015494Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveOffset」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指令現在位置カウント選択範囲外			イベントコード	54015495Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CmdPosMode」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸ギア比分子範囲外			イベントコード	54015496Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸ギア比分母範囲外			イベントコード	54015497Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸ギア比分子範囲外			イベントコード	54015498Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸ギア比分母範囲外			イベントコード	54015499Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	主軸位置種別選択範囲外			イベントコード	5401549AHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeMaster」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	補助軸位置種別選択範囲外			イベントコード	5401549BHex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	目標位置リングカウンタ範囲外			イベントコード	5401549CHex	
内容	実行された命令の目標位置がリングカウンタの範囲外のため、動作することができません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときに、高速原点復帰が実行された		リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときは、高速原点復帰を実行することはできません。高速原点復帰を行わないようにプログラムを修正してください。または該当軸のリングカウンタの範囲に 0 が含まれる設定になるよう変更してください		リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときは、高速原点復帰を実行することはできません。高速原点復帰を行わないようにプログラムを作成してください。または該当軸のリングカウンタの範囲に 0 が含まれる設定になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	軸グループ構成軸設定範囲外			イベントコード	5401549DHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「Axes」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
	軸グループの構成軸を割り付けているタスクが同一でない		該当命令の入力変数「Axes」で指定される軸を、すべて同一タスクに割り付けてください		軸グループの構成軸には、同一タスクに割り付けられている軸を指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.01 以降で発生するエラーコード（16#549D）です。

イベント名	軸使用設定範囲外			イベントコード	5401549EHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxisUse」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するエラーコード（16#549E）です。

イベント名	原点復帰パラメータ設定範囲外			イベントコード	54015700Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降で発生するエラーコード（16#5700）です。

イベント名	軸未使用切り替え異常			イベントコード	54015702Hex *1	
内容	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した		異常解除を実行し、軸が停止しているとき、指令速度飽和中でないときに MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行してください。 軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です。軸変数の「Details.VelLimit」が TRUE のとき、その軸は指令速度飽和中です		軸が停止しているとき、指令速度飽和中でないときに MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するエラーコード（16#5702）です。

イベント名	軸使用切り替え不可			イベントコード	54015703Hex *1	
内容	使用実軸最大数または使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用実軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した		使用している CPU ユニットの使用実軸最大数を超えないようにプログラムを修正してください		使用している CPU ユニットの使用実軸最大数を超えないようにプログラムを作成してください	
	使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した		使用している CPU ユニットの使用モーション制御サーボ軸最大数を超えないようにプログラムを修正してください		使用している CPU ユニットの使用モーション制御サーボ軸最大数を超えないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5703）です。

イベント名	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常			イベントコード	54015720Hex *1	
内容	使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が不正です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、未使用軸から使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が正しくない		Sysmac Studio を使用して、異常が発生した軸の［軸使用］を［使用軸］に変更し、異常箇所を確認して修正してください。異常が発生しなければ［未使用軸］に再変更してダウンロードしてください		［使用軸］の設定で正常に動作することを確認してから、［未使用軸］としてダウンロードしてください	
	モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した		Sysmac Studio からモーション制御パラメータ設定をダウンロードしてください		パラメータ設定の保存中に電源断しないでください	
	不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するエラーコード（16#5720）です。

イベント名	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定			イベントコード	54015721Hex *1	
内容	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが設定されていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが PDO マッピング設定に設定されていない		Sysmac Studio の［PDO マッピング設定の編集］で、異常が発生した軸の必須オブジェクトを設定してください。 必須オブジェクトについては、『NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル モーション編 (SBCE-434)』を参照してください。		［使用軸］の設定で正常に動作することを確認してから、［未使用軸］としてダウンロードしてください	
	モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した		Sysmac Studio からモーション制御パラメータ設定をダウンロードしてください		パラメータ設定の保存中に電源断しないでください	
	不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
	［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令が実行された		［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しないようにプログラムを修正してください		［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するエラーコード（16#5721）です。

イベント名	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中			イベントコード	54015722Hex *1	
内容	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、実行できない命令を起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	フィードバック位置オーバーフローまたはアンダーフローの発生中に、実行できない命令を起動した		異常解除を実行し、「現在位置変更」または「原点復帰」により、オーバーフローまたはアンダーフロー状態を解除してください		オーバーフローまたはアンダーフローが発生しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5722）です。

イベント名	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外			イベントコード	54015723Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5723）です。

イベント名	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外			イベントコード	54015724Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「FirstOnPosition」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5724）です。

イベント名	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外			イベントコード	54015725Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「LastOnPosition」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5725）です。

イベント名	スイッチ構造体の方向選択範囲外			**イベントコード**	54015726Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「AxisDirection」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5726）です。

イベント名	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外			**イベントコード**	54015727Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「CamSwitchMode」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5727）です。

イベント名	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外			イベントコード	54015728Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「Duration」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5728）です。

イベント名	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外			イベントコード	54015729Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OnCompensation」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5729）です。

イベント名	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外		イベントコード	5401572AHex *1		
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OffCompensation」の値が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572A）です。

イベント名	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外		イベントコード	5401572BHex *1		
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572B）です。

イベント名	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外			イベントコード	5401572CHex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572C）です。

イベント名	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外			イベントコード	5401572DHex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572D）です。

イベント名	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致			**イベントコード**	5401572EHex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」と「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が一致していません					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致していない		該当命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致するように修正してください		命令の入出力変数に指定する出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572E）です。

イベント名	モーション命令多重起動不可（主軸）			**イベントコード**	5401572FHex *1	
内容	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更		該当命令の多重起動時に入出力変数「Master」の値を変更しないようにプログラムを修正してください		該当命令の多重起動時に入出力変数「Master」の値を変更しないようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#572F）です。

イベント名	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）		イベントコード	54015730Hex *1	
内容	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更しました				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了	
システム定義変数	変数名		データ型		名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止
	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更		該当命令の多重起動時に入出力変数「ReferenceType」の値を変更しないようにプログラムを修正してください		該当命令の多重起動時に入出力変数「ReferenceType」の値を変更しないようにプログラムを作成してください
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし				
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります				

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5730）です。

イベント名	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外		イベントコード	54015731Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の同一トラック番号の数が範囲外です				
発生源	PLC 機能モジュール	発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了	
システム定義変数	変数名		データ型		名称
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止
	命令の入出力変数に指定したスイッチ構造体型変数の「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数の範囲外		「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数を超えないように値を修正してください		「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数を超えないようにしてください
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし				
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります				

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.06 以降で発生するエラーコード（16#5731）です。

イベント名	軸パラメータ書込不可			イベントコード	5401573AHex *1	
内容	未使用軸以外の軸に対して該当命令を起動しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用軸または未作成軸に対して該当命令を起動した		MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、対象軸を未使用軸に変更した後に該当命令を起動するようにプログラムを修正してください		該当命令の起動時に、対象軸が未使用軸となるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573A）です。

イベント名	軸パラメータ設定範囲外			イベントコード	5401573BHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが有効範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータまたはパラメータ間の不整合事項は付属情報で確認できます		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。 入力変数の有効範囲は MC_WriteAxisParameter（軸パラメータ書込）命令を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573B）です。

イベント名	カムプロパティ設定範囲外			イベントコード	5401573CHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが有効範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータは付属情報で確認できます		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573C）です。

イベント名	カムノード設定範囲外			イベントコード	5401573DHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが有効範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータは付属情報で確認できます		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573D）です。

イベント名	カムノード型指定不正			イベントコード	5401573EHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが_sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが_sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外		該当命令の入力変数にsMC_CAM_NODE 型の配列変数を指定するようにプログラムを修正してください		該当命令の入力変数にsMC_CAM_NODE 型の配列変数を指定するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573E）です。

イベント名	カムテーブル生成ノード数不足			イベントコード	5401573FHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase の値が「0」です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase（主軸位相）の値が「0」		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase（主軸位相）の値が「0」以外となるようにプログラムを修正してください		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、要素番号 0 の Phase（主軸位相）の値が「0」以外となるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#573F）です。

イベント名	カムノード主軸位相非昇順			イベントコード	54015740Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、Phase の値が要素番号順に昇順となっていません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、Phase（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となっていない。または、有効桁 8 桁め以降の切り捨ての結果、非昇順となった		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、Phase（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となるようにプログラムを修正してください		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、Phase（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#5740）です。

イベント名	カムテーブル生成データ点数過多			イベントコード	54015741Hex *1	
内容	生成するカムデータ数が、モーション制御命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えている		生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えないようにプログラムを修正してください。 生成するカムテーブルのカムデータ数は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください		生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えないようにプログラムを作成してください。 生成するカムテーブルのカムデータ数は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#5741）です。

イベント名	カムテーブル生成変位オーバーフロー			イベントコード	54015742Hex *1	
内容	生成するカムテーブルの Distance が REAL 型で表現できる範囲を超えています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時／命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	生成するカムテーブルの Distance が REAL 型で表現できる範囲を超えている		入力変数「CamNodes」の Curve（曲線形状）に 3 次曲線または 5 次曲線を指定している場合、Distance がオーバーフローしないように InitVel（初期速度）、ConnectingVel（接続速度）、ConnectingAcc（接続加速度）の値を修正してください。Distance の計算方法は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください		入力変数「CamNodes」の Curve（曲線形状）に 3 次曲線または 5 次曲線を指定している場合、Distance がオーバーフローしないように InitVel（初期速度）、ConnectingVel（接続速度）、ConnectingAcc（接続加速度）の値を指定してください。Distance の計算方法は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#5742）です。

イベント名	生成中止カムテーブルの使用			イベントコード	54015743Hex *1	
内容	該当命令の入力変数「CamTable」に生成中止されたカムデータ変数が指定されています					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の異常で生成中止されたカムデータ変数が、該当命令の入力変数「CamTable」に指定されている		MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の出力変数 ErrorID（エラーコード）、ErrorParameterCode（パラメータ詳細コード）、ErrorNodePointIndex（ノードポイント要素番号）を確認し、正常なカムデータ変数を生成するようにプログラムを修正してください		MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令が正常なカムデータ変数を生成するようにプログラムを作成してください。または、MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令が正常に完了した場合だけ、該当命令を起動するようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.08 以降で発生するエラーコード（16#5743）です。

イベント名	実行 ID 設定範囲外			イベントコード	54015749Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		命令の入力変数「ExecID」に指定される入力パラメータが範囲内になるようにプログラムを修正してください		命令の入力変数「ExecID」に指定される入力パラメータが範囲内になるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するエラーコード（16#5749）です。

イベント名	位置オフセット範囲外			イベントコード	5401574AHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「OffsetPosition」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するエラーコード（16#574A）です。

イベント名	PDS 状態遷移指令選択範囲外			イベントコード	5401574BHex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「TransitionCmd」に指定されたパラメータが範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するエラーコード（16#574B）です。

イベント名	単軸位置制御軸モーション命令起動不可		イベントコード	5401574CHex *1		
内容	単軸位置制御軸に対し実行できない動作命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	単軸位置制御軸に対し、実行できない動作命令を実行した		命令で指定している軸の軸基本設定の制御機能に「0: すべて」を設定してください。 または、軸基本設定の制御機能に「0: すべて」が設定されている軸を指定するようにしてください		同左	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.13 以降で発生するエラーコード（16#574C）です。

イベント名	カムモニタモード選択設定範囲外		イベントコード	54015751Hex *1		
内容	モーション制御命令の入力変数「CamMonitorMode」に指定されたカムモニタモード選択が範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カムモニタモード選択が設定の範囲外		正しいカムモニタモード選択に修正してください		カムモニタモード選択を正しく設定してください	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX102-□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.32 以降、および形 NX701-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-□□□□（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.21 以降で発生するエラーコード(16#5751)です。

イベント名	カムモニタ値データ型不一致			イベントコード	54015752Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「CamMonitorValue」に指定されたカムモニタ値変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カムモニタ値に指定した変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致		正しいカムモニタ値に指定した変数のデータ型に修正してください		カムモニタ値に指定した変数のデータ型を正しく設定してください	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生箇所 付属情報 3: 異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

*1. 形 NX102-□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.32 以降、および形 NX701-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-□□□□（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.21 以降で発生するエラーコード(16#5752)です。

イベント名	X バスユニット不在			イベントコード	54015800Hex	
内容	指定したユニットが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定した X バスユニットが存在しない		ユニット指定と相手ユニットの構成などが一致するように修正してください		ユニット指定と相手ユニットの構成などが一致するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx)。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	レスポンスタイムアウト			イベントコード	54015801Hex	
内容	指定したユニットからの応答がありませんでした					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	X バスユニット起動異常、X バスユニット通信異常、X バス機能処理異常発生のいずれかにより、指定したユニットとの通信が停止		指定したユニットの異常状態を復旧し、正常に起動してください		指定したユニットに異常がないことを確認し、実施してください	
	指定されたレスポンス監視時間が短い		レスポンス監視時間の値を見直してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	指定ユニット/ポート番号実行不可			イベントコード	54015C00Hex	
内容	実行が不可能な状態でタグデータリンク制御命令を実行しました。または、指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートが存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• EtherNet/IP ポートのリスタート中、または Network Configurator からタグデータリンク設定をダウンロード中に命令が実行された • 指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートが存在しない		• EtherNet/IP ポートのリスタートや設定変更が終了してから命令を実行してください • X バスユニットの構成設定に存在する指定ユニット、ポート番号を指定してください • 該当命令で指定されるユニットが正しく接続されていることを確認してください		• EtherNet/IP ポートのリスタートや設定変更が行われていないときに命令を実行してください • X バスユニットの構成設定に存在する指定ユニット、ポート番号を指定してください • 該当命令で指定されるユニットを正しく接続してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	命令同時実行数オーバー			イベントコード	54015C01Hex	
内容	タグデータリンク制御命令が、同時に実行可能な数を超えて実行されました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同時に 2 つ以上のタグデータリンク制御命令が実行された		同時に実行するタグデータリンク制御命令が 1 つになるようにプログラムを修正してください		同時に実行するタグデータリンク制御命令が 1 つになるようにプログラムを作成してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	ターゲットノード IP アドレス不在			イベントコード	54015C03Hex	
内容	指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートにターゲットノード IP アドレスとのコネクション設定が存在しません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指定ユニット、ポート番号で指定した EtherNet/IP ポートにターゲットノード IP アドレスとのコネクション設定が存在しない		該当命令で指定される EtherNet/IP ポートのコネクション設定に存在するターゲットノード IP アドレスを指定してください		該当命令で指定される EtherNet/IP ポートのコネクション設定に存在するターゲットノード IP アドレスを指定してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	コネクション通信異常			イベントコード	54015C04Hex	
内容	ターゲットノード IP アドレスで指定したターゲットノードと通信できません					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• ターゲットノードが正しく接続されていない • ターゲットノードの電源が入っていない • Ethernet ケーブルの断線、はずれ • ノイズ		• ターゲットノードが正しく接続されていることを確認してください。 • ターゲットノードの電源が入っていることを確認してください • Ethernet ケーブルが断線していないこと、はずれていないことを確認してください • ノイズが発生していないことを確認してください		• ターゲットノードが正しく接続された状態にしてください • ターゲットノードの電源が入った状態にしてください • Ethernet ケーブルを交換し、確実に接続された状態にしてください • ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	コネクション設定異常			イベントコード	54015C05Hex	
内容	ターゲットノードから異常レスポンスを受信しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	コネクション設定が間違っている		コネクション設定を修正し、Network Configurator や Sysmac Studio からダウンロードしてください		正しいコネクション設定を作成し、Network Configurator や Sysmac Studio からダウンロードしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	なし					

イベント名	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー			**イベントコード**	54016440Hex	
内容	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	ー	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外	該当命令の入力変数「Position」で指定されているパラメータを正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください	命令の入力変数「Position」に指定される入力パラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください
	開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行	該当命令での移動方向が正方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを修正してください	開始位置が正方向ソフトウェアリミット範囲外の場合は、移動方向が正方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを作成してください
	通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外	該当命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータを正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください	通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください

付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります

イベント名	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー		イベントコード	54016441Hex		
内容	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外		該当命令の入力変数「Position」で指定されているパラメータを負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください		命令の入力変数「Position」に指定される入力パラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください	
	開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行		該当命令での移動方向が負方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを修正してください		開始位置が負方向ソフトウェアリミット範囲外の場合は、移動方向が負方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを作成してください	
	通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外		該当命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータを負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください		通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中		イベントコード	54016442Hex		
内容	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った • 位置決めの指令を実行した • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した • 方向を特定できない指令（同期機能、トルク制御）を実行した		異常解除を実行し、原点復帰あるいは現在位置プリセットにより、オーバーフロー／アンダーフロー状態を解除してください		オーバーフロー／アンダーフローを発生させないようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	正方向限界入力中			イベントコード	54016443Hex	
内容	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行		異常解除を実行し、負方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。再度本異常が発生する場合は、正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定、起動指令の実行条件を確認し、間違いを修正してください。論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください		正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定、起動命令の実行条件に間違いがないことを確認してください。論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	負方向限界入力中			イベントコード	54016444Hex	
内容	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	命令	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行		異常解除を実行し、正方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。再度本異常が発生する場合は、負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定、起動指令の実行条件を確認し、間違いを修正してください。論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください		負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定、起動命令の実行条件に間違いがないことを確認してください。論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

イベント名	サーボ主回路電源オフ状態			**イベントコード**	54017422Hex	
内容	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	命令	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行		本異常が発生している軸のサーボドライバの主回路電源を「ON」してからサーボ ON を実行してください		サーボドライバの主回路電源を「ON」してからサーボ ON を実行してください	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります					

3-2-3 その他のトラブルと処置

セキュリティ関連

No.	トラブル	処置
1	管理者のパスワードを忘れた	設定された管理者のパスワードを確認することはできません。管理者のパスワードは忘れないようにメモをとるなど記録しておいてください
2	Sysmac Studio で操作ロックが解除できない	操作ロックの解除はオンライン接続時の認証権限以上で行ってください
3	Sysmac Studio での操作権限認証時に操作ロックされる	操作権限認証で 5 回連続パスワードを間違った場合は、10 分間操作ロックされます。操作ロックが解除されるまでお待ちください
4	操作に必要な操作権限認証を行ってオンライン接続したが、特定の操作で操作権限認証を要求される	以下の機能では操作ミスによる装置や人への危害を防ぐために、機能実行の度に操作権限認証を行います •「操作者」による I/O モニタ（書込） •「保全者」による動作モード変更 •「保全者」によるオンラインエディット開始
5	操作者が離席中など不在で Sysmac Studio の操作ロックを解除できない	操作者以上の操作権限認証により操作ロックを解除できます。この場合の操作権限は操作者の操作権限（Sysmac Studio 接続時に認証された操作権限）となります
6	一部（以下）の操作時にユーザプログラムデータが読み出せない • モニタ 変数 • 動作指示 セット／リセット、強制値リフレッシュ操作、オンラインエディット、データトレース操作、MC 試運転、ユーザプログラム（実行用 ID の CPU ユニットへのセット） • 同期／アップロード／照合／バックアップ POU アルゴリズム	ユーザプログラムのダウンロード時に、復元情報なし転送を行っています。通常のユーザプログラム転送を行うことで読み出せるようになります
7	一部（以下）の操作時に、CPU ユニットへの書込ができない • 名称 CPU ユニット名称 • 動作指示 オンラインエディット、メモリオールクリア、イベントログクリア、ユーザプログラム実行用 ID の CPU ユニットへのセット • 同期／ダウンロード ユーザプログラム、CPU・増設ラックの構成・設定、EtherCAT 設定、コントローラ設定、軸設定、カムテーブル設定、データトレース設定、ユーザイベント設定、リストア	CPU ユニットの書込プロテクトを「書込許可」にします
8	ユーザプログラムのユーザプログラム実行用 ID の変更方法がわからない	ユーザプログラム実行用 ID は一度設定すると変更／削除できません
9	ユーザプログラムのユーザプログラム実行用 ID を忘れた	設定されたユーザプログラム実行用 ID を確認することはできません。ユーザプログラム実行用 ID は忘れないようにメモをとるなど記録しておいてください
10	CPU ユニットのユーザプログラム実行用 ID を忘れた	設定されたユーザプログラム実行用 ID を確認することはできません。再度ユーザプログラム実行用 ID を設定してください。またはメモリオールクリアして CPU ユニット内のユーザプログラム実行用 ID をクリアしてください

3-3 NX バス機能モジュールの異常

NX バス機能モジュールで発生する異常（イベント）を記載します。

3-3-1 異常一覧

NX バス関連

形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットでは、スレーブターミナルの 1 つのイベントに対して、より具体的な名称を持つ複数のイベントが対応する場合があります。詳細は、「A-7 形 NX102、形 NX1P2 とスレーブターミナルの NX バス関連イベントの対応 (P.A-229)」を参照してください。

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04100000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX バスコントローラ異常	NX バスでエラーが発生しました	• CPU ユニットと NX ユニットの間で I/O 通信異常が発生した		○				P.3-335
04110000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX バスハードウェア異常	NX バス機能モジュールでハードウェアの異常を検出しました	• NX バスに関するハードウェアの異常を検知した		○				P.3-335
10600000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX バスメモリチェックエラー	NX バス機能モジュール内部のメモリチェックでエラーを検出しました	• 内部保護回路のメモリチェックにより、エラーを検出した		○				P.3-336
10610000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニット動作設定の読み出し失敗	NX ユニット動作設定の読み出し処理に失敗しました。CPU ユニットを電源再投入すると、前回正常に保存完了したときの設定値となります	• CPU ユニットに NX ユニット動作設定が正しく保存できていない		○				P.3-336
24D00000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニット装着台数超過	NX ユニットの装着台数が CPU ユニットの規定値を超えています	CPU ユニットに規定台数を超える NX ユニットを装着している		○				P.3-337
24D20000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニット総 I/O データサイズ超過	装着されている NX ユニットの総 I/O データサイズが、CPU ユニットの最 大規定値を超えています	• 装着されている NX ユニットの総 I/O データサイズが、CPU ユニットの最大規定値を超えている		○				P.3-337
356D0000Hex（Ver.1.40 以降）	パラメータ転送未実行	NX ユニットのパラメータが転送されていません	NX ユニットのパラメータが転送されていない		○				P.3-338
35900000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニットバージョン不整合	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報より古い NX ユニットが装着されています	実構成で装着されている NX ユニットのバージョンが、CPU ユニットに登録されているユニット構成情報のユニットバージョンより古い		○				P.3-338

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35910000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	未登録 NX ユニット装着	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在しない NX ユニットが装着されています。本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから 一番近い NX ユニットだけがイベント登 録されます	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報には存在しないユニットが装着されている • NX ユニットの装着設定が「無効」のユニットが装着されている		○				P.3-339
35930000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニットのシリアル番号不一致	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報とは異なるシリアル番号の NX ユニットが装着されています	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報で設定したシリアル番号の NX ユニットが装着されていない		○				P.3-340
44440000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX バス機能処理異常	NX バス機能モジュールで致命的な異常を検出しました	ソフトウェアにエラーが発生した		○				P.3-340
85540000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	他のイベントによる NX バスの I/O 通信停止	NX バスの I/O 通信を実施できない異常が発生したため、NX バスの I/O 通信を停止しました	• 縮退運転対象である軽度フォールトの異常（他のイベント）が発生しており、縮退運転設定が「停止する」となっているため、I/O 通信を停止した •「登録 NX ユニット未装着」が発生しており、実構成が I/O 通信を開始できない構成となっているため、I/O 通信を停止した		○				P.3-341
35920000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	登録 NX ユニット未装着	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する NX ユニットが装着されていません。本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから一番近い NX ユニットだけがイベント登 録されます	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する NX ユニットが装着されていない • NX ユニット電源追加供給ユニットの電源が ON していな い			○			P.3-341
85500000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX バス通信異常	NX バス通信を正常に行えない通信の異 常を検出しました。本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから一番近い NX ユニットだけがイベント登 録されます	• 振動／衝撃による NX バスコネクタの接触不良 • NX バスコネクタへの過度のノイズ印加 • NX ユニットが外れた • NX ユニットの異常			○			P.3-342
85510000Hex [形 NX102, 形 NX1P2]	NX ユニット通信タイムアウト	NX ユニットへの I/O データ通信で異常が発生しました	• イベント「NX バス通信異常」が発生している • NX ユニットの異常			○			P.3-342

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
85520000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX ユニット初期化異常	NX ユニットの初期化に失敗しました	• CPU ユニットに保存されているユニット構成情報での初期処理に失敗した • イベント「NX バス通信異常」が発生している • アナログユニットの全チャネルの有効／無効設定が「無効」に設定されている • NX ユニットが初期処理に失敗した			○			P.3-343
85530000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX ユニット起動異常	NX ユニットの起動に失敗しました	NX ユニットで起動異常が発生した			○			P.3-343
103C0000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	バックアップ実行失敗（NX ユニット）	NX ユニットのバックアップが異常終了しました	• ほかに NX バス機能モジュールに関する異常が発生している •「NX バス通信異常」が発生している • NX ユニットからバックアップデータを受信できない				○		P.3-344
103D0000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	リストア実行失敗（NX ユニット）	NX ユニットのリストアが異常終了しました	• ほかに NX バス機能モジュールに関する異常が発生している •「NX バス通信異常」が発生している • NX ユニットへバックアップデータを送信できない • バックアップファイルと実際のユニット構成が不一致				○		P.3-345
10620000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX ユニット用イベントログの保存失敗	NX ユニット用イベントログの保存または読み出しに失敗しています。 このまま継続運転しても制御に支障はありませんが、CPU ユニットの電源断時にイベントログが保存されない可能性があります	• NX ユニット用イベントログエリアのデータが不正				○		P.3-345
44450000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX バスシステム情報	NX バス機能モジュールの内部情報です	• NX バス機能モジュールの内部情報です					○	P.3-346
95800000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX バスのリスタート実行	NX バスのリスタートを実行しました	NX バスのリスタート指示を受け付けた					○	P.3-346
95810000Hex 〔形 NX102, 形 NX1P2〕	NX ユニットのメモリオールクリア実行	NX ユニットの動作設定を初期化しました	NX ユニットのメモリオールクリア操作を受け付けた					○	P.3-347

3-3-2 異常の説明

NX バス関連

イベント名	NX バスコントローラ異常			**イベントコード**	04100000Hex	
内容	NX バスでエラーが発生しました					
発生源	NX バス機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バス通信中
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	CPU ユニットと NX ユニットの間で I/O 通信異常が発生した		CPU ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バスハードウェア異常			**イベントコード**	04110000Hex	
内容	NX バス機能モジュールでハードウェアの異常を検出しました					
発生源	NX バス機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	NX バスに関するハードウェアの異常を検知した		CPU ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バスメモリチェックエラー			イベントコード	10600000Hex	
内容	NX バス機能モジュール内部のメモリチェックでエラーを検出しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	内部保護回路のメモリチェックにより、エラーを検出した		CPU ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX ユニット動作設定の読み出し失敗			イベントコード	10610000Hex	
内容	NX ユニット動作設定の読み出し処理に失敗しました。 CPU ユニットを電源再投入すると、前回正常に保存完了したときの設定値となります					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに NX ユニット動作設定が正しく保存できていない		NX ユニット動作設定を確認し、正しい設定に変更してください		CPU ユニットへのユニット動作設定の転送中や NX_SaveParam 命令の実行中に、CPU ユニットを電源断しないでください	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX ユニット装着台数超過			イベントコード	24D00000Hex	
内容	NX ユニットの装着台数が CPU ユニットの規定値を超えています					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	• 上限装着台数以内の位置にある NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可 • 上限装着台数を超える位置にある NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに規定台数を超える NX ユニットを装着している		CPU ユニットに装着する NX ユニットを規定台数以下にしてください		規定台数の範囲内で NX ユニットを装着してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX ユニット総 I/O データサイズ超過			イベントコード	24D20000Hex	
内容	装着されている NX ユニットの総 I/O データサイズが、CPU ユニットの最大規定値を超えています					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	装着されている NX ユニットの総 I/O データサイズが、CPU ユニットの最大規定値を超えている		CPU ユニットに装着する NX ユニットを減らすことにより、総 I/O データサイズを最大規定値以下にしてください		CPU ユニットに装着する NX ユニットを減らすことにより、総 I/O データサイズを最大規定値以下にしてください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	パラメータ転送未実行			イベントコード	356D0000Hex *1	
内容	NX ユニットのパラメータが転送されていません					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／運転モード変更時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		–		–	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX ユニットのパラメータが転送されていない		Sysmac Studio で NX ユニットのパラメータを転送後、電源再投入またはコントローラリセットをしてください		コントローラのリセットが必要なダウンロードを実施した場合には、NX ユニットのパラメータ転送が必要です。Sysmac Studio のメッセージの表示内容に従い、ダウンロードをしてください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.40 以降で発生するイベントです。

イベント名	NX ユニットバージョン不整合			イベントコード	35900000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報より古い NX ユニットが装着されています					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	• 異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可 • 異常が発生していない NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		–		–	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	実構成で装着されている NX ユニットのバージョンが、CPU ユニットに登録されているユニット構成情報のユニットバージョンより古い		実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、実構成で装着されている NX ユニットのバージョンを用いたユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、実構成の NX ユニットをユニット構成情報のユニットバージョン以上のものに交換してください		Sysmac Studio の比較・マージ画面での比較結果が「互換なし」と表示されていないことが確認できたユニット構成情報を、CPU ユニットにダウンロードしてください	
付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：異常が発生している NX ユニットのユニット構成情報でのユニットバージョン					
注意点／備考	なし					

イベント名	未登録 NX ユニット装着			イベントコード	35910000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在しない NX ユニットが装着されています。 本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから一番近い NX ユニットだけがイベント登録されます					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	• 異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可 • 異常が発生していない NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報には存在しないユニットが装着されている	実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する NX ユニットを追加したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する NX ユニットを取り外してください	CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトと、システム構成を一致させてください
	NX ユニットの装着設定が「無効」のユニットが装着されている	実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する NX ユニットの装着設定を「有効」にしたユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する NX ユニットを取り外してください	

付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットの装着位置
注意点／備考	なし

イベント名	NX ユニットのシリアル番号不一致			イベントコード	35930000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報とは異なるシリアル番号の NX ユニットが装着されています					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	• 異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可 • 異常が発生していない NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		—		—	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報で設定したシリアル番号の NX ユニットが装着されていない		ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する NX ユニットのシリアル番号を一致させてください。実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する NX ユニットのシリアル番号を設定したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください		シリアル番号照合「有効」への設定は、実際に装着したユニットのシリアル番号を Sysmac Studio のプロジェクトに読み出したうえで、行ってください	
付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：異常が発生している NX ユニットのユニット構成情報でのシリアル番号					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バス機能処理異常			イベントコード	44440000Hex	
内容	NX バス機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		—		—	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	他のイベントによる NX バスの I/O 通信停止			イベントコード	85540000Hex	
内容	NX バスの I/O 通信を実施できない異常が発生したため、NX バスの I/O 通信を停止しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	縮退運転対象である軽度フォールトの異常（他のイベント）が発生しており、縮退運転設定が「停止する」となっているため、I/O 通信を停止した		本イベントの発生要因となった他のイベントの異常を取り除いてください		縮退運転の対象となる異常が発生したときに I/O 通信を継続させたい場合は、縮退運転設定を「縮退する」に変更してください	
	「登録 NX ユニット未装着」が発生しており、実構成が I/O 通信を開始できない構成となっているため、I/O 通信を停止した					
付属情報	付属情報 1：本イベントの発生要因となったイベントコード 付属情報 2：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	登録 NX ユニット未装着			イベントコード	35920000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する NX ユニットが装着されていません。 本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから一番近い NX ユニットだけがイベント登録されます					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する NX ユニットが装着されていない		ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する NX ユニットを装着してください。実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する NX ユニットを削除したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください		CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトとシステム構成を一致させてください	
	NX ユニット電源追加供給ユニットの電源が ON していない		NX ユニット電源追加供給ユニットの電源を ON してください		CPU ラックへのユニット電源の供給は、同一のユニット電源から配線するようにしてください	
付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バス通信異常			イベントコード	85500000Hex	
内容	NX バス通信を正常に行えない通信の異常を検出しました。 本イベントに該当する NX ユニットが複数存在する場合、CPU ユニットから一番近い NX ユニットだけがイベント登録されます					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット／NX バスのリスタート	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常が発生している NX ユニット以降の位置にある NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	振動／衝撃による NX バスコネクタの接触不良	NX ユニット、エンドカバーを確実に取り付け、エンドプレートで固定してください	ユーザーズマニュアルに従った設置をしてください
	NX バスコネクタへの過度のノイズ印加	ユーザーズマニュアルに沿ってノイズ対策を実施してください	
	NX ユニットが外れた	外れた NX ユニットを再度取り付けてください	
	NX ユニットの異常	該当の NX ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は NX ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号
注意点／備考	なし

イベント名	NX ユニット通信タイムアウト			イベントコード	85510000Hex	
内容	NX ユニットへの I/O データ通信で異常が発生しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	イベント「NX バス通信異常」が発生している	「NX バス通信異常」の処置対策を行ってください	「NX バス通信異常」の再発防止を行ってください
	NX ユニットの異常	該当の NX ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は NX ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	NX ユニット初期化異常			イベントコード	85520000Hex	
内容	NX ユニットの初期化に失敗しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時／異常解除時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CPU ユニットに保存されているユニット構成情報での初期処理に失敗した		Sysmac Studio を接続して、CPU ユニットへユニット構成情報を再設定してください		CPU ユニットおよび NX ユニットにユニット構成情報をダウンロードしてください	
	イベント「NX バス通信異常」が発生している		「NX バス通信異常」の処置対策を行ってください		「NX バス通信異常」の再発防止を行ってください	
	アナログユニットの全チャネルの有効/無効設定が「無効」に設定されている		最低 1 つのチャネルの有効/無効設定を「有効」に設定してください		アナログユニットは、最低 1 つのチャネルの有効/無効設定を「有効」に設定してください	
	NX ユニットが初期処理に失敗した		該当の NX ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は NX ユニットを交換してください		アナログユニットは、最低 1 つのチャネルの有効/無効設定を「有効」に設定してください	
付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX ユニット起動異常			イベントコード	85530000Hex	
内容	NX ユニットの起動に失敗しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時／NX バスのリスタート時／異常解除時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	CPU ユニットの電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	異常が発生している NX ユニットは、I/O 通信不可、メッセージ不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX ユニットで起動異常が発生した		該当の NX ユニットを電源再投入してください。本異常が再発する場合は NX ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常が発生している NX ユニットの装着位置 付属情報 2：システム情報					
注意点／備考	なし					

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">バックアップ実行失敗（NX ユニット）</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">103C0000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">NX ユニットのバックアップが異常終了しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">NX バス機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>マスタ</td><td>検出タイミング</td><td>バックアップ実行時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>監視情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">ほかに NX バス機能モジュールに関する異常が発生している</td><td colspan="2">NX バス機能モジュールに関する異常を確認し、処置対策を行ってください</td><td colspan="2" rowspan="3">NX バスに関連する異常が発生していない状態でバックアップを行ってください</td></tr>
<tr><td colspan="2">イベント「NX バス通信異常」が発生している</td><td colspan="2">「NX バス通信異常」の処置対策を実施してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">NX ユニットからバックアップデータを受信できない</td><td colspan="2">該当の NX ユニットの異常を解除してください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1：異常の発生箇所
• 0:NX バスマスタ
• 1 以上:NX ユニットのユニット番号
付属情報 2：異常要因
• 1:NX バス機能モジュールに関する異常が発生
• 2:NX ユニットとの通信に失敗
付属情報 3：システム情報</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">なし</td></tr>
</table>

イベント名	リストア実行失敗（NX ユニット）			イベントコード	103D0000Hex	
内容	NX ユニットのリストアが異常終了しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	リストア実行時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ほかに NX バス機能モジュールに関する異常が発生している		NX バス機能モジュールに関する異常を確認し、処置対策を行ってください		NX バスに関連する異常が発生しない状態でリストアを行ってください	
	イベント「NX バス通信異常」が発生している		「NX バス通信異常」の処置対策を実施してください			
	NX ユニットへバックアップデータを送信できない		該当の NX ユニットの異常を解除してください			
	バックアップファイルと実際のユニット構成が不一致		NX ユニットのリビジョンはバックアップ時と同等か、それ以上としてください。シリアル番号チェック基準を「設定値= 実機」としてスレーブを交換する場合は、リストア機能を使わずに、Sysmac Studio でネットワーク構成を変更し、ダウンロード、およびスレーブパラメータの転送を行ってください			
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 • 0:NX バスマスタ • 1 以上:NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：異常要因 • 1:NX バス機能モジュールに関する異常が発生 • 2:NX ユニットとの通信に失敗 • 3:バックアップファイルと実際のユニット構成が不一致 付属情報 3：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX ユニット用イベントログの保存失敗			イベントコード	10620000Hex	
内容	NX ユニット用イベントログの保存または読み出しに失敗しています。 このまま継続運転しても制御に支障はありませんが、CPU ユニットの電源断時にイベントログが保存されない可能性があります					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	CPU ユニットの電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	過去のイベントログの一部、または全部の読み出し不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX ユニット用イベントログエリアのデータが不正		CPU ユニットを電源再投入しても本異常が再発する場合は、NX ユニット用イベントログエリアのハードウェア故障の可能性があります。CPU ユニットのイベントログ機能を使用する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バスシステム情報			イベントコード	44450000Hex	
内容	NX バス機能モジュールの内部情報です					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX バス機能モジュールの内部情報です		－		－	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	NX バスのリスタート実行			イベントコード	95800000Hex	
内容	NX バスのリスタートを実行しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	NX バスのリスタート時／NX ユニットのリスタート時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_NXB_UnitIOActiveTbl		ARRAY [0..n] OF BOOL *1		NX ユニット I/O データ通信中ステータス	
	_NXB_UnitMsgActiveTbl		ARRAY [0..n] OF BOOL *1		NX ユニットメッセージ通信可能ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX バスのリスタート指示を受け付けた		－		－	
付属情報	付属情報 1：リスタート種別 • 0:NX バスのリスタート • 1:NX ユニットのリスタート 付属情報 2：リスタートを実行したユニットのユニット番号 • 0:NX バスマスタ • 1 以上:NX ユニット					
注意点／備考	なし					

*1. n は形 NX1P2 では 8、形 NX102 では 32 です。

イベント名	NX ユニットのメモリオールクリア実行			イベントコード	95810000Hex *1	
内容	NX ユニットの動作設定を初期化しました					
発生源	NX バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	NX ユニットのメモリオールクリア時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_NXB_UnitIOActiveTbl		ARRAY [0..32] OF BOOL		NX ユニット I/O データ通信中ステータス	
	_NXB_UnitMsgActiveTbl		ARRAY [0..32] OF BOOL		NX ユニットメッセージ通信可能ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NX ユニットのメモリオールクリア操作を受け付けた		メモリオールクリアを実行した NX ユニットのユニット動作設定を、必要に応じて設定してください。 付属情報 2 が 0 以外の場合は、NX バス機能モジュールおよび対象 NX ユニットで発生している軽度フォールト以上の異常を確認し、必要な処置対策を実施してください。		−	
付属情報	付属情報 1：メモリオールクリアを実行した NX ユニットのユニット番号 付属情報 2：メモリオールクリアの実行結果 • 0: 成功 • 1: ハードウェア異常 • 2: 初期化失敗 • 3: 初期化不可					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.18 以降で発生するイベントです。

3-4 X バス機能モジュールの異常

X バス機能モジュールで発生する異常（イベント）を記載します。

3-4-1 異常一覧

X バス関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
15100000Hex [形 NX502]	X バスユニット構成設定異常	不揮発性メモリに保存していた X バスユニット構成設定を消失しました	• X バスユニット構成設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された • 不揮発性メモリの故障		○				P.3-349
24C00000Hex [形 NX502]	X バスユニット装着台数超過	X バスユニットの接続台数が CPU ユニットの既定値を超えています	• 既定台数を超える X バスユニットを接続している		○				P.3-350
24C10000Hex [形 NX502]	未対応 X バスユニット装着	サポート外の X バスユニットが装着されています	• サポート外の X バスユニットを検出した		○				P.3-350
44300000Hex [形 NX502]	X バス機能処理異常	X バス機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した		○				P.3-351
35600000Hex [形 NX502]	X バスユニットバージョン不整合	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報より古い X バスユニットが装着されています	• 実構成で装着されている X バスユニットのバージョンが、CPU ユニットに登録されているユニット構成情報のユニットバージョンより古い			○			P.3-351
35610000Hex [形 NX502]	未登録 X バスユニット装着	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在しない X バスユニットが装着されています。該当するすべての X バスユニットごとにイベントが登録されます	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報には存在しないユニットが装着されている • X バスユニットの装着設定が「無効」のユニットが装着されている			○			P.3-352
35620000Hex [形 NX502]	登録 X バスユニット未装着	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する X バスユニットが装着されていません。該当するすべての X バスユニットごとにイベントが登録されます	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報の X バスユニットが装着されていない			○			P.3-353
35630000Hex [形 NX502]	X バスユニットのシリアル番号不一致	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報とは異なるシリアル番号の X バスユニットが装着されています	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報で設定したシリアル番号の X バスユニットが装着されていない			○			P.3-354

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
85A00000Hex [形 NX502]	X バスユニット起動異常	X バスユニットの起動に失敗しました	• X バスユニットで起動異常が発生した			○			P.3-355
85A10000Hex [形 NX502]	X バスユニット通信異常	X バス通信を正常に行えない通信の異常を検出しました。該当するすべての X バスユニットごとにイベントが登録されます	• 振動／衝撃による X バスコネクタの接触不良 • X バスコネクタへの過度のノイズ印加 • X バスユニットが外れた • X バスユニットの異常			○			P.3-356
15110000Hex [形 NX502]	X バスユニットバックアップ実行失敗	X バスユニットのバックアップに失敗しました	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報と実構成が一致しない				○		P.3-356
15120000Hex [形 NX502]	X バスユニットリストア実行失敗	X バスユニットのリストアに失敗しました	• バックアップファイルのユニット構成情報と実構成が一致しない				○		P.3-357

3-4-2 異常の説明

X バス関連

イベント名	X バスユニット構成設定異常			イベントコード	15100000Hex	
内容	不揮発性メモリに保存していた X バスユニット構成設定を消失しました					
発生源	X バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／X バスユニット構成情報のダウンロード時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	X バスユニット構成情報ダウンロード	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	−		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	• X バスユニット構成設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された • 不揮発性メモリの故障	Sysmac Studio から X バスユニット構成設定とすべての X バスユニット設定をダウンロードしてください。 上記の処置を行っても本異常が再発する場合は、不揮発性メモリの故障です。CPU ユニットを交換後、Sysmac Studio から全設定をダウンロードしてください	ダウンロード中またはメモリクリア中に電源を切らないようにしてください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	Xバスユニット装着台数超過			イベントコード	24C00000Hex	
内容	Xバスユニットの接続台数がCPUユニットの既定値を超えています					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	既定台数を超えるXバスユニットを接続している		接続するXバスユニットを既定台数以下にしてください。 本異常解消後は全Xバスユニットの設定をダウンロードしてください		接続上限数の範囲内でユニット構成を行ってください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	未対応Xバスユニット装着			イベントコード	24C10000Hex	
内容	サポート外のXバスユニットが装着されています					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サポート外のXバスユニットを検出した		サポート外のXバスユニットを取りはずしてください。 本異常解消後は全Xバスユニットの設定をダウンロードしてください		CPUユニットでサポートされているXバスユニットを使用してください	
付属情報	付属情報1：異常を検知したXバスユニットのNo.：1～4					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバス機能処理異常			イベントコード	44300000Hex	
内容	Xバス機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報1：システム情報 付属情報2：システム情報 付属情報3：システム情報 付属情報4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバスユニットバージョン不整合			イベントコード	35600000Hex	
内容	CPUユニットに登録されているユニット構成情報より古いXバスユニットが装着されています					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／Xバスユニット構成情報のダウンロード時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／Xバスユニット構成情報ダウンロード／Xバスユニットリスタート（Xバスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	実構成で装着されているXバスユニットのバージョンが、CPUユニットに登録されているユニット構成情報のユニットバージョンより古い		実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、実構成で装着されているXバスユニットのバージョンを用いたユニット構成情報をCPUユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、実構成のXバスユニットをユニット構成情報のユニットバージョン以上のものに交換してください。 本異常解消後は全Xバスユニットの設定をダウンロードしてください		比較・マージ画面での比較結果が「互換なし」と表示されていないことが確認できたユニット構成情報を、CPUユニットにダウンロードしてください	
付属情報	付属情報1：異常を検知したXバスユニットのNo.：1～4 付属情報2：ユニット構成情報のユニットバージョン					
注意点／備考	なし					

イベント名	未登録 X バスユニット装着			イベントコード	35610000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在しない X バスユニットが装着されています。 該当するすべての X バスユニットごとにイベントが登録されます					
発生源	X バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／X バスユニット構成情報のダウンロード時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニット構成情報ダウンロード／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	• CPU ユニットに登録されているユニット構成情報には存在しないユニットが装着されている • X バスユニットの装着設定が「無効」のユニットが装着されている	• 実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する X バスユニットを追加したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する X バスユニットを取り外してください • 実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する X バスユニットの装着設定を「有効」にしたユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する X バスユニットを取り外してください 本異常解消後は全 X バスユニットの設定をダウンロードしてください	CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトとシステム構成を一致させてください

付属情報	付属情報 1： 1～4：X バスユニットの装着位置
注意点／備考	なし

イベント名	登録 X バスユニット未装着			イベントコード	35620000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報に存在する X バスユニットが装着されていません。 該当するすべての X バスユニットごとにイベントが登録されます					
発生源	X バス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／X バスユニット構成情報のダウンロード時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニット構成情報ダウンロード／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	−		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	−	−

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報の X バスユニットが装着されていない	ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する X バスユニットを装着してください。実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する X バスユニットを削除したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。 本異常解消後は全 X バスユニットの設定をダウンロードしてください	CPU ユニットにダウンロードしたプロジェクトとシステム構成を一致させてください。

付属情報	付属情報 1：異常を検知した X バスユニットの No.：1～4
注意点／備考	なし

イベント名	X バスユニットのシリアル番号不一致			**イベントコード**	35630000Hex	
内容	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報とは異なるシリアル番号の X バスユニットが装着されています					
発生源	X バス機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／X バスユニット構成情報のダウンロード時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニット構成情報ダウンロード／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	－		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	－	－

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	CPU ユニットに登録されているユニット構成情報で設定したシリアル番号の X バスユニットが装着されていない	ユニット構成情報に実構成を合わせる場合は、該当する X バスユニットのシリアル番号を一致させてください。実構成にユニット構成情報を合わせる場合は、該当する X バスユニットのシリアル番号を設定したユニット構成情報を CPU ユニットにダウンロードしてください。 本異常解消後は全 X バスユニットの設定をダウンロードしてください	シリアル番号照合「有効」への設定は、実際に装着したユニットのシリアル番号を Sysmac Studio のプロジェクトに読み出したうえで、行ってください

付属情報	付属情報 1：異常を検知した X バスユニットの No.：1～4 付属情報 2：ユニット構成情報のシリアル番号
注意点／備考	なし

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">X バスユニット起動異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">85A00000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">X バスユニットの起動に失敗しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">X バス機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>マスタ</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／X バスユニット構成情報のダウンロード時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>電源再投入／コントローラリセット／X バスユニット構成情報ダウンロード／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">X バスユニットで起動異常が発生した</td><td colspan="2">電源再投入してください。本異常が再発する場合は X バスユニットを交換してください</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：異常を検知した X バスユニットの No.：1～4
付属情報 2：システム情報</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">なし</td></tr>
</table>

イベント名	Xバスユニット通信異常			イベントコード	85A10000Hex	
内容	Xバス通信を正常に行えない通信の異常を検出しました。 該当するすべてのXバスユニットごとにイベントが登録されます					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／Xバスユニット構成情報ダウンロード／Xバスユニットリスタート（Xバスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	振動／衝撃によるXバスコネクタの接触不良	Xバスユニットを確実に取り付け、エンドプレートで固定してください	ユーザーズマニュアルに従った設置をしてください
	Xバスコネクタへの過度のノイズ印加	ユーザーズマニュアルに沿ってノイズ対策を実施してください	ユーザーズマニュアルに従った設置をしてください
	Xバスユニットが外れた	外れたXバスユニットを再度取り付けてください	ユーザーズマニュアルに従った設置をしてください
	Xバスユニットの異常	電源再投入してください。本異常が再発する場合はXバスユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報1：異常を検知したXバスユニットのNo.：1～4 付属情報2：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	Xバスユニットバックアップ実行失敗			イベントコード	15110000Hex	
内容	Xバスユニットのバックアップに失敗しました					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	バックアップ実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	－		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	CPUユニットに登録されているユニット構成情報と実構成が一致しない	ユニット構成情報に実構成を合わせる、または実構成にユニット構成情報を合わせた上で、バックアップしてください	ユニット構成情報と実構成が一致している状態でバックアップしてください

付属情報	付属情報1：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	Xバスユニットリストア実行失敗			イベントコード	15120000Hex	
内容	Xバスユニットのリストアに失敗しました					
発生源	Xバス機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	リストア実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	−		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	バックアップファイルのユニット構成情報と実構成が一致しない		バックアップファイルのユニット構成情報に実構成を合わせる、または実構成と同じユニット構成情報を持つバックアップファイルを使用し、リストアしてください		バックアップファイルのユニット構成情報と実構成が一致している状態でリストアしてください	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

3-5 X バスユニット共通機能モジュールの異常

X バスユニット共通機能モジュールで発生する異常（イベント）を記載します。

3-5-1 異常一覧

X バスユニット共通関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00640000Hex	メインメモリチェックエラー	X バスユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました	• 導電性異物混入 • ノイズ 　• メモリデータ化け 　• マイコン暴走 　• メモリ書き込み回路誤動作 • ソフトエラー 　• 宇宙線／放射能によるデータ化け • X バスユニット故障 　• メモリ素子故障 　• メモリ周辺回路故障			○			P.3-361
00650000Hex	不揮発性メモリ寿命警告	不揮発性メモリの消去回数が警告値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が警告値をオーバーしました	• 不揮発性メモリの寿命			○	⊙		P.3-362
11000000Hex	X バスユニット設定転送エラー	ユニット設定を正しく転送できませんでした	• ユニット設定のダウンロード中にコントローラを電断したためユニット設定が不正 • メモリオールクリア中にコントローラを電断したためユニット設定が不正 • リストア中にコントローラを電断したためユニット設定が不正 • 不揮発性メモリの故障			○			P.3-363
110C0000Hex	X バスユニット設定不正	使用メモリが上限をオーバーしているか、X バスユニット設定データが壊れています	• データ量の上限値オーバー • メインメモリ容量オーバー • 不揮発性メモリの劣化、故障			○			P.3-364
110D0000Hex	保持変数の現在値保存未実行	ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理の保持変数の現在値の保存処理が実行できませんでした	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-365

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
110E0000Hex	不揮発性メモリ修復あり	不揮発性メモリのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムの修復またはフォーマットを実行しました。ただし、以前のファイルが削除された可能性があります	• BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した			○			P.3-366
110F0000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています	• BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした • BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した • X バスユニットの故障			○			P.3-367
11100000Hex	メインメモリチェックエラー	X バスユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました	• 導電性異物混入 • ノイズ • メモリデータ化け • マイコン暴走 • メモリ書き込み回路誤動作 • ソフトエラー • 宇宙線／放射能によるデータ化け • X バスユニット故障 • メモリ素子故障 • メモリ周辺回路故障			○			P.3-368
41000000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-368
41010000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-369
41020000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-369
41050000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-370
41060000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			P.3-370
65900000Hex	I/O リフレッシュ周期オーバー	プライマリ定周期タスク、定周期タスクのタスク周期内に I/O リフレッシュが完了しない状態が連続して発生しました	• タスクの周期で I/O リフレッシュするタグデータリンク通信が多い			○			P.3-370
11010000Hex	イベントログ保存失敗	イベントログの保存に失敗しました	• イベントログエリアのデータが不正				○		P.3-371
11110000Hex	X バス共通システム情報	X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です	• X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています				○		P.3-371

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
41030000Hex	X バスユニットシステム情報	X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です	• X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています				○		P.3-372
41040000Hex	X バスユニットシステム情報	X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です	• X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています					○	P.3-372
91000000Hex	X バスユニット設定のダウンロード	ユニット設定をダウンロードしました	• ユニット設定をダウンロードした					○	P.3-373
91020000Hex	X バスユニット設定のメモリオールクリア	メモリオールクリアを実行しました	• 管理者権限をもつユーザがメモリオールクリアした					○	P.3-373
91030000Hex	発生中異常の全解除	発生中異常を全解除しました	• ユーザが発生中異常を全解除した					○	P.3-374
91040000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました	• ユーザがイベントログをクリアした					○	P.3-374
91050000Hex	電源投入	電源投入されました	• 電源投入された					○	P.3-374
91060000Hex	電源断	電源断されました	• 電源断された					○	P.3-375
910F0000Hex	アクセス権強制解放	アクセス権が強制解放されました	• アクセスが権強制解放された					○	P.3-375
91110000Hex	オムロン保守の開始指示	オムロンの保守担当者による保守作業が開始されました	• オムロンの保守担当者による保守作業が開始されました					○	P.3-375
91120000Hex	オムロン保守の終了指示	オムロンの保守担当者による保守作業が終了されました	• オムロンの保守担当者による保守作業が終了されました					○	P.3-376
91130000Hex	イベントログ保存停止	一部イベントログの保存ができませんでした	• EIP ユニットの電源断によりイベント保存処理が停止しました					○	P.3-376

3-5-2　異常の説明

X バスユニット共通関連

イベント名	メインメモリチェックエラー			**イベントコード**	00640000Hex	
内容	X バスユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	停止		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	－	－

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、X バスユニット内部をエアブローしてください	制御盤付近での金属加工作業を実施しないでください。 制御盤は閉めた状態で使用してください
	ノイズ • メモリデータ化け • マイコン暴走 • メモリ書き込み回路誤動作	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください	ノイズ対策を実施してください
	ソフトエラー • 宇宙線／放射能によるデータ化け		なし
	X バスユニット故障 • メモリ素子故障 • メモリ周辺回路故障	不揮発性メモリの寿命が近づきました。X バスユニットを交換してください	定期点検を行ってください

付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	不揮発性メモリ寿命警告			**イベントコード**	00650000Hex	
内容	不揮発性メモリの消去回数が警告値をオーバーしました。またはメモリの不良ブロック数が警告値をオーバーしました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）／定期的
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	不揮発性メモリの寿命		不揮発性メモリの寿命が近づきました。X バスユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	X バスユニット設定転送エラー			イベントコード	11000000Hex	
内容	ユニット設定を正しく転送できませんでした					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	• ユニット設定のダウンロード中にコントローラを電断したためユニット設定が不正 • メモリオールクリア中にコントローラを電断したためユニット設定が不正 • リストア中にコントローラを電断したためユニット設定が不正	Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトをダウンロードしてください。 付属情報が登録されている場合はコントローラの電源を再投入した後、上記対策を実施してください。 Sysmac Studio からメモリーオールクリアが実行できない場合は、SD メモリカードからのリストアにより、ユニット設定を転送してください	• ユニット設定のダウンロード中にコントローラを電断しないでください • メモリオールクリア中にコントローラを電断しないでください • リストア中にコントローラを電断しないでください
	不揮発性メモリの故障	上記の処置を行っても本異常が頻発する場合は、ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：発生要因詳細 なし： ダウンロード中の電断、リストア中の電断 Downloading/preDownloading： 上記以外の要因の場合の異常発生タイミング（転送中／転送準備中）
注意点／備考	なし

イベント名	Xバスユニット設定不正			**イベントコード**	110C0000Hex	
内容	使用メモリが上限をオーバーしているか、Xバスユニット設定データが壊れています					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	なし／1～4：Xバスユニットの装着位置	**検出タイミング**	ダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	停止		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	－	－

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	データ量の上限値オーバー	本異常と同時に個数制限に関するイベントが発生している場合は、そのイベントの処置対策に従って使用個数が範囲内になるようプログラム・設定を修正してダウンロードしてください	なし
	メインメモリ容量オーバー	本異常と同時に個数制限に関するイベントが発生していない場合は、メモリオールクリアして電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 解除される場合はプロジェクトのプログラムを共通化するなどサイズを削減してダウンロードしてください	
	不揮発性メモリの劣化、故障	2つ目の処置対策で本異常が再度発生する場合はXバスユニットを交換してください	

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	保持変数の現在値保存未実行			**イベントコード**	110D0000Hex	
内容	ソフトウェアにエラーが発生したため、電断時処理の保持変数の現在値の保存処理が実行できませんでした					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	停止		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ソフトウェアにエラーが発生した		コントローラを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合は X バスユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	不揮発性メモリ修復あり			**イベントコード**	110E0000Hex	
内容	不揮発性メモリのチェックでエラーを検出し、ファイルシステムの修復またはフォーマットを実行しました。ただし、以前のファイルが削除された可能性があります					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	停止		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	－	－

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした	Sysmac Studio でプロジェクトを照合し、照合一致している場合は、電源再投入／コントローラリセット／ユニットリスタートのいずれかを実行して本異常が解除されるかを確認してください。解除された場合は、装置が正しく動作するかを確認してください。 照合不一致または異常解除されない場合や、装置が正しく動作しない場合は、Sysmac Studio からイベント発生源詳細の X バスユニットに対してメモリオールクリアをした後、X バスユニットに対して設定を再ダウンロードしてください。 電源再投入／コントローラリセット／ユニットリスタートのいずれかを実行しても本異常が解除されない場合は、メモリが壊れていますので X バスユニットを交換してください。 なお、プロジェクトを再ダウンロードせずに電源再投入／コントローラリセット／ユニットリスタートのいずれかを実行すると、意図しない動作をする可能性があり非常に危険です	BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください
	BUSY LED 点灯中の瞬停により、コントローラに電断が発生した		電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください

付属情報	付属情報 1：修復内容 00000000Hex：ファイルシステム修復成功、00000001Hex：フォーマット実行
注意点／備考	必ずプロジェクトの照合一致の確認と装置の動作確認、またはプロジェクトの再転送を行ってください。 上記を行わずにコントローラの電源再投入またはコントローラリセットを行うと、意図しない動作をする可能性があり非常に危険です

イベント名	不揮発性メモリデータ破壊			イベントコード	110F0000Hex	
内容	不揮発性メモリに存在すべきファイルがないか、破壊されています					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ユニットリスタート時（ユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	BUSY LED 点灯中に、コントローラの電源を OFF にした	Sysmac Studio からメモリオールクリアした後、プロジェクトをダウンロードしてください	BUSY LED 点灯中は電源を OFF にしないでください
	BUSY LED 点灯中に、瞬停によりコントローラに電断が発生した		電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください
	X バスユニットの故障	上記の処置で本異常が解除されない場合は、X バスユニットを交換してください	なし

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	メインメモリチェックエラー			イベントコード	11100000Hex	
内容	Xバスユニット内部のメインメモリのチェックでエラーを検出しました					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	導電性異物混入	周囲に導電性異物がある場合は、Xバスユニット内部をエアブローしてください	制御盤付近での金属加工作業を実施しないでください。 制御盤は閉めた状態で使用してください
	ノイズ • メモリデータ化け • マイコン暴走 • メモリ書き込み回路誤動作	上記の要因でない場合は、コントローラを電源再投入し、本異常が解除されるか確認してください。 本異常が頻発する場合は、FG、電源ラインなどノイズ侵入経路を調査し、ノイズ対策を実施してください	ノイズ対策を実施してください
	ソフトエラー • 宇宙線／放射能によるデータ化け		なし
	Xバスユニット故障 • メモリ素子故障 • メモリ周辺回路故障	上記の要因でなく、コントローラを電源再投入またはコントローラリセットしても本異常が解除されない場合はXバスユニットを交換してください	定期点検を行ってください

付属情報	付属情報1：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	Xバスユニット共通機能処理異常			イベントコード	41000000Hex	
内容	Xバスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	ソフトウェアにエラーが発生した	当社営業または販売店にお問い合わせください	なし

付属情報	付属情報1：システム情報 付属情報2：システム情報 付属情報3：システム情報 付属情報4：システム情報
注意点／備考	なし

イベント名	X バスユニット共通機能処理異常			イベントコード	41010000Hex	
内容	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	X バスユニット共通機能処理異常			イベントコード	41020000Hex	
内容	X バスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバスユニット共通機能処理異常			イベントコード	41050000Hex	
内容	PLC 機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止 Sysmac Studio 接続不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバスユニット共通機能処理異常			イベントコード	41060000Hex	
内容	Xバスユニット共通機能モジュールで致命的な異常を検出しました					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	停止 Sysmac Studio 接続不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した		当社営業または販売店にお問い合わせください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	I/O リフレッシュ周期オーバー			イベントコード	65900000Hex	
内容	プライマリ定周期タスク、定周期タスクのタスク周期内に I/O リフレッシュが完了しない状態が連続して発生しました					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	タスクの周期で I/O リフレッシュするタグデータリンク通信が多い		タスク内のタグデータリンク通信の割り当ては、変数のタスク間排他制御設定で他のタスクへ移動するなど、タスク内の I/O リフレッシュの処理の分割を行ってください		あらかじめ、処置対策の内容を考慮してタスク設計してください	
付属情報	付属情報 1：異常が発生したタスク名。以下のいずれか PrimaryTask：プライマリ定周期タスク PeriodicTask0：定周期タスク					
注意点／備考	なし					

イベント名	イベントログ保存失敗			**イベントコード**	11010000Hex	
内容	イベントログの保存に失敗しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	電源投入時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	影響なし。ただし、過去のイベントログの一部、または全部の読み出し不可		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	イベントログエリアのデータが不正		コントローラを電源再投入しても本異常が再発する場合は、イベントログエリアのハードウェア故障の可能性があります。X バスユニットのイベントログ機能を使用する場合は、X バスユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0：全カテゴリのログ保存に失敗 • 1：システムログの保存に失敗 • 2：アクセスログの保存に失敗 • 100：ユーザログの保存に失敗					
注意点／備考	なし					

イベント名	X バス共通システム情報			**イベントコード**	11110000Hex	
内容	X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です。					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		**発生源詳細**	1～4：X バスユニットの装着位置	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット／X バスユニットリスタート（X バスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	－	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	X バスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバスユニットシステム情報			イベントコード	41030000Hex	
内容	Xバスユニット共通機能モジュールの内部情報です					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット／Xバスユニットリスタート（Xバスユニットリスタート機能搭載バージョンのみ）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Xバスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています		－		－	
付属情報	付属情報1：システム情報 付属情報2：システム情報 付属情報3：システム情報 付属情報4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	Xバスユニットシステム情報			イベントコード	41040000Hex	
内容	Xバスユニット共通機能モジュールの内部情報です					
発生源	Xバスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：Xバスユニットの装着位置	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Xバスユニット共通機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています		－		－	
付属情報	付属情報1：システム情報 付属情報2：システム情報 付属情報3：システム情報 付属情報4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	X バスユニット設定のダウンロード			イベントコード	91000000Hex	
内容	ユニット設定をダウンロードしました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	ユニット設定のダウンロード時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	ダウンロードされたユニット設定にしたがい動作開始		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユニット設定をダウンロードした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：(Reserve) • 2：Ethernet 直接接続 • 3：EthernetHUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 3：ダウンロード種別 • 1：デバイス出力保持ダウンロード • 2：デバイス出力非保持ダウンロード 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	X バスユニット設定のメモリオールクリア			イベントコード	91020000Hex	
内容	メモリオールクリアを実行しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	工場出荷状態に戻る		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	管理者権限をもつユーザがメモリオールクリアした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：(Reserve) • 2：Ethernet 直接接続 • 3：EthernetHUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	発生中異常の全解除			イベントコード	91030000Hex	
内容	発生中異常を全解除しました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	異常要因が除去されている異常の解除		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザが発生中異常を全解除した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	イベントログのクリア			イベントコード	91040000Hex	
内容	イベントログをクリアしました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ユーザがイベントログをクリアした		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：(Reserve) • 2：Ethernet 直接接続 • 3：EthernetHUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 3：クリア対象 • 0：全カテゴリのログをクリア • 1：システムイベントログをクリア • 2：アクセスイベントログをクリア • 100：ユーザイベントログをクリア 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	電源投入			イベントコード	91050000Hex	
内容	電源投入されました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	動作開始		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	電源投入された		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	電源断			イベントコード	91060000Hex	
内容	電源断されました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	電源断時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	全停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	電源断された		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	アクセス権強制解放			イベントコード	910F0000Hex	
内容	アクセス権が強制解放されました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	ユーザからの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	なし	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	アクセス権が強制解放された		－		－	
付属情報	付属情報 1 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または EthernetHUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	オムロン保守の開始指示			イベントコード	91110000Hex	
内容	オムロンの保守担当者による保守作業が開始されました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	オムロン保守担当者からの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	なし	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オムロンの保守担当者による保守作業が開始されました		－		－	
付属情報	付属情報 1：作業者の名前 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	オムロン保守の終了指示			イベントコード	91120000Hex	
内容	オムロンの保守担当者による保守作業が終了されました					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	オムロン保守担当者からの指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	なし	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	オムロンの保守担当者による保守作業が終了されました		－		－	
付属情報	付属情報 1：作業者の名前 付属情報 4：CPU ユニットに設定したユーザ名（ユーザ認証していない場合は NULL が入る）					
注意点／備考	なし					

イベント名	イベントログ保存停止			イベントコード	91130000Hex	
内容	一部イベントログの保存ができませんでした					
発生源	X バスユニット共通機能モジュール		発生源詳細	1～4：X バスユニットの装着位置	検出タイミング	電源投入時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	－	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EIP ユニットの電源断によりイベント保存処理が停止しました		－		－	
付属情報	付属情報 1：保存できなかったログの種類 • 1：システムログ • 2：アクセスログ 付属情報 2：保存できなかった重要操作*1 のアクセスログの有無 • 1：あり • 2：なし • 3：不明					
注意点／備考	なし					

*1. 重要操作とは、以下のオンライン操作を指します。
- コントローラへのオンライン操作
- 管理者、設計者、保全者だけが行える操作のうち、ユーザプログラム変更/コントローラ設定変更/コントローラ状態変更に該当する操作

3-6 モーション制御機能モジュールの異常

モーション制御機能モジュールで発生する異常（イベント）の一覧です。
以下の機能分類があります。
- モーション制御機能
- モーション制御命令

「モーション制御命令」の異常はモーション制御命令実行時に発生する異常です。イベントとして通知されるとともに、イベントコードの上位 4 けたがモーション命令の出力変数「ErrorID」、およびモーション制御システム変数「*.Lvl.Code」にエラーコードとして出力されます。エラーコードからトラブルシュートする場合は、対応するイベントコードに記載されている処置を行ってください。

3-6-1 異常一覧

モーション制御機能関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
44210000Hex	モーション制御機能処理異常	モーション制御機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した	○					P.3-402
14600000Hex	絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常	電源 OFF 中保持している絶対値エンコーダの現在位置を消失しました	• 保持変数がバッテリバックアップの場合、CPU ユニットのバッテリの寿命 • ソフトウェアにエラーが発生した • バックアップメモリの故障		○				P.3-403
14610000Hex	モーション制御パラメータ設定異常	不揮発性メモリに保存していたモーション制御パラメータ設定を消失しました。または、未対応の EtherCAT スレーブが軸に割りついています。	• モーション制御パラメータ設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された • 未対応の EtherCAT スレーブが軸に割りつけられている • 不揮発性メモリの故障		○				P.3-404
14620000Hex	カムデータ読み出し異常	不揮発性メモリに保存しているカムデータを消失しました	• カムデータの保存中の電断 • 不揮発性メモリの故障		○				P.3-404
34600000Hex	必須プロセスデータオブジェクト未設定	軸種別に対して必須のオブジェクトが PDO に割り付けられていません	• 軸種別がサーボ軸またはエンコーダ軸のときに必要な PDO マッピングがされていません • 不揮発性メモリの故障		○				P.3-405
34630000Hex	軸割付スレーブ無効	軸に割り付いているスレーブが無効設定になっています	• 軸に割り付いているスレーブが無効設定になっている		○				P.3-406
34640000Hex	軸割付スレーブネットワーク構成情報未登録	軸に割り付いているスレーブがネットワーク構成情報に登録されていません	• 軸に割り付いているスレーブが EtherCAT のネットワーク構成情報に登録されていない		○				P.3-406
44200000Hex	モーション制御初期化異常	システムに致命的な障害が発生し、モーション制御の初期化に失敗しました	• ハード故障		○				P.3-407

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74200000Hex	モーション制御周期オーバー	プライマリ定周期タスクの処理が 2 制御周期以内で完了しませんでした	• プライマリ定周期タスクのプログラムの処理内容が多い		○				P.3-407
14630000Hex	カムテーブル保存処理失敗	カムテーブルのファイル保存に失敗しました	• カムテーブルのファイル保存に失敗した			○			P.3-408
54770000Hex	カム動作中カムテーブルデータ異常	カムテーブルの位相が昇順ではありません	• カム動作中にカムテーブルの位相が昇順になっていないデータを検出した • カム動作中にカムテーブルの始点の位相と変位が 0 でないことを検出した • カム動作中に、カムテーブルの終点の位相をパルス単位に変換したときに 1 パルス以上でないことを検出した			○			P.3-408
54850000Hex	即停止命令起動	即停止(MC_ImmediateStop)命令が実行されました	• 即停止命令が実行された			○			P.3-408
54860000Hex	軸グループ即停止命令起動	軸グループ即停止(MC_GroupImmediateStop)命令が実行されました	• 軸グループ即停止命令が実行された			○			P.3-409
64450000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー	軸が動作している途中で、位置が正方向ソフトウェアリミットを超えました	• 位置が正方向ソフトウェアリミットを超えた			○			P.3-409
64460000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー	軸が動作している途中で、位置が負方向ソフトウェアリミットを超えました	• 位置が負方向ソフトウェアリミットを超えた			○			P.3-409
64470000Hex	インポジションチェック時間オーバー	位置決め完了チェックが監視時間内に完了しませんでした	• 位置決め完了までに時間がかかっている			○			P.3-410
64480000Hex	位置偏差オーバー	指令現在位置とフィードバック現在位置の偏差が位置偏差オーバー値を超えました	• 位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている			○			P.3-410
64490000Hex	即停止入力	即停止入力が ON になりました	• 即停止入力信号を検知した • 即停止信号の接続または即停止入力の論理設定が間違っている			○			P.3-411
644A0000Hex	正方向限界入力検出	正方向限界入力が ON になりました	• 正方向限界入力信号を検知した • 正方向限界入力信号の接続または正方向限界入力の論理設定が間違っている			○			P.3-411
644B0000Hex	負方向限界入力検出	負方向限界入力が ON になりました	• 負方向限界入力信号を検知した • 負方向限界入力信号の接続または負方向限界入力の論理設定が間違っている			○			P.3-412

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64560000Hex	位置偏差不正	指令された位置とフィードバック現在位置の差をパルス単位に変換したときに 30 ビット以上となりました	• 指令された軸の移動量では軸の最高速度を超えるため、最高速度を超えないように指令現在位置が制限された • 位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている			○			P.3-412
64570000Hex	サーボ OFF 異常	軸グループの異常発生により、軸がサーボ OFF されました	• 軸グループの異常発生により、軸がサーボ OFF された			○			P.3-413
64580000Hex	絶対値エンコーダ現在位置算出不可	電断保持している絶対値エンコーダ情報から正しく現在位置を復元できません	• 単位変換設定、リングカウンタ設定またはサーボドライバ設定のリングカウンタ設定が変更された • 復元した位置がパルス単位で符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-413
64590000Hex	多軸協調動作中の原点未確定	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の原点が未確定になりました	• 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の指令位置またはフィードバック位置のオーバーフローまたはアンダーフローが発生し、原点が未確定になった • 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸でスレーブ通信異常が発生し、原点が未確定になった • 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸のスレーブが離脱またはスレーブ無効化し、原点が未確定になった			○			P.3-414
74210000Hex	サーボ主回路電源オフ検出	サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路電源を OFF しました	• サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路の電源断			○			P.3-414
74230000Hex	割り込み定寸位置決め・割り込み信号なし	MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の実行中に割り込み入力がありませんでした	• ラッチ有効範囲指定が不適切 • 割り込み信号の配線が間違っている • 割り込み信号を出力するセンサが故障している			○			P.3-415
74240000Hex	原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました	• 正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている • 原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている • 入力信号センサ配線間違い、故障			○			P.3-415
74250000Hex	原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、原点復帰方向の限界信号を検出しました	• 正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている • 原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている • 入力信号センサ配線間違い、故障			○			P.3-416

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74260000Hex	原点復帰両方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に両側の限界信号を検出しました	• 限界信号の配線間違い • 限界センサの取り付け位置の誤り • 限界信号の接点論理の誤り • 限界センサの故障			○			P.3-416
74270000Hex	原点近傍・原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました	• 原点近傍信号、限界信号の配線間違い • 原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点近傍センサ、限界センサの故障			○			P.3-417
74280000Hex	原点近傍・原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました	• 原点近傍信号、限界信号の配線間違い • 原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点近傍センサ、限界センサの故障			○			P.3-417
74290000Hex	原点入力・原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました	• 原点入力信号、限界信号の配線間違い • 原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点入力信号出力機器、限界センサの故障			○			P.3-418
742A0000Hex	原点入力・原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました	• 原点入力信号、限界信号の配線間違い • 原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点入力信号出力機器、限界センサの故障			○			P.3-418
742B0000Hex	原点入力マスク量不正	MC_Home（原点復帰）命令、またはMC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令において、原点入力マスク量設定値が適切ではありません	• 原点復帰動作モードが「近傍退避・原点入力マスク距離指定」の場合に、原点入力マスク距離の設定値が、原点復帰速度から原点復帰アプローチ速度に減速するための移動量として不足している			○			P.3-419
742C0000Hex	原点入力なし	原点復帰中に原点信号入力がありません。または、原点確定入力がないまま、限界信号が検出されました	• 原点復帰中に原点信号入力がない。 • 原点確定入力がないまま、限界信号が検出された			○			P.3-419
742D0000Hex	原点近傍入力なし	原点復帰中に原点近傍信号入力がありませんでした	• 「原点近傍信号あり」の設定時の原点復帰中に原点近傍信号入力がなかった			○			P.3-420
742F0000Hex	スレーブ異常検知	軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットが異常を検知しました	• 軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットが異常を検知した			○			P.3-420

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74300000Hex	軸グループ構成軸異常発生	軸グループの構成軸に異常が発生しました	• 軸グループ動作中に構成軸に異常が発生した			○			P.3-420
74330000Hex	MC 共通の異常発生中	MC 共通異常が発生しています	• 部分停止フォールトレベルの MC 共通の異常が発生している			○			P.3-421
74340000Hex	ラッチ位置オーバーフロー	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がオーバーフローしています	• MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がオーバーフロー			○			P.3-421
74350000Hex	ラッチ位置アンダーフロー	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がアンダーフローしています	• MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がアンダーフロー			○			P.3-421
74360000Hex	主軸同期方向異常	主軸が同期方向とは逆向きに移動しつづけました	• 主軸と従軸が同期する方向に対して、主軸が逆向きに移動しつづけオーバーフローした			○			P.3-422
74370000Hex	サーボ ON 中スレーブ離脱	サーボ ON 中に軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットに対して次のいずれかが発生しました。 • 離脱／交換された • 無効化された • NX シリーズ CPU ユニットの NX バスがリスタートされた	• サーボ ON 中に軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットに対して次のいずれかが発生した。 • 離脱／交換された • 無効化された • NX シリーズ CPU ユニットの NX バスがリスタートされた			○			P.3-422
74380000Hex	定寸距離オーバーフロー	MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の割り込み入力後の目標位置が、オーバーフロー／アンダーフローしました	• MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の割り込み入力後の目標位置をパルス数単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの範囲を超えた			○			P.3-423
74390000Hex	サーボドライバの制御モード切替異常	制御モード切り替え時に、処理が所定の時間内に完了しませんでした	• MC_SyncMoveVelocity（サイクリック同期速度制御）命令の停止時に、所定の減速処理が完了しなかった • オムロン製サーボドライバ 1S シリーズまたは G5 シリーズを使用している場合に、MC_TorqueControl（トルク制御）命令の停止時に、所定の減速処理が完了しなかった • 制御モード(CSP/CSV/CST)の切り替え指令後、1 秒以内サーボドライバのモード切り替えが完了しなかった			○			P.3-423

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
743A0000Hex	主軸位置読み出し異常	同期制御命令の主軸の位置に異常が発生したため、同期制御命令を実行することができません	• 同期制御命令の主軸のEtherCATのプロセスデータ通信が未確立、またはNXユニットのI/Oデータを制御に使用できない • 同期制御命令の主軸でスレーブ離脱またはスレーブ無効化が発生 • 同期制御命令の主軸で、絶対値エンコーダ現在位置算出不可(64580000Hex)を検出 • 同期制御命令の主軸が未使用軸			○			P.3-424
743B0000Hex	補助軸位置読み出し異常	同期制御命令の補助軸の位置に異常が発生したため、同期制御命令を実行することができません	• 同期制御命令の補助軸のEtherCATのプロセスデータ通信が未確立、またはNXユニットのI/Oデータを制御に使用できない • 同期制御命令の補助軸でスレーブ離脱またはスレーブ無効化が発生 • 同期制御命令の補助軸で、絶対値エンコーダ現在位置算出不可(64580000Hex)を検出 • 同期制御命令の補助軸が未使用軸			○			P.3-425
84400000Hex	スレーブ通信異常	軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットとの通信に異常が発生しました	• 軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットとの通信に異常が発生した			○			P.3-425
571D0000Hex（Ver.1.02 からVer.1.09 まで）	モーション制御異常解除命令数過多	ResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が100個を超えています	• ファンクションブロックのインスタンス内も含め、ユーザプログラムで宣言されているResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が100個を超えている				○		P.3-426
644C0000Hex	位置偏差警告	位置偏差が位置偏差警告値を超えました	• 位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている				○		P.3-426
644D0000Hex	速度警告	指令速度が速度警告値を超えました	• 指令速度が速度警告値を超えた			⊙	○		P.3-427
644E0000Hex	加速度警告	指令加速度が加速度警告値を超えました	• 指令加速度が加速度警告値を超えた			⊙	○		P.3-427
644F0000Hex	減速度警告	指令減速度が減速度警告値を超えました	• 指令減速度が減速度警告値を超えた			⊙	○		P.3-427
64500000Hex	正方向トルク警告	トルク指令値が正方向トルク警告値を超えました	• トルク指令値が正方向トルク警告値を超えた			⊙	○		P.3-428
64510000Hex	負方向トルク警告	トルク指令値が負方向トルク警告値を超えました	• トルク指令値が負方向トルク警告値を超えた			⊙	○		P.3-428
64520000Hex	指令位置オーバーフロー	指令位置に対応するパルス数がオーバーフローしました	• リニアモード時に、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き40ビットの上限値を超えた			⊙	○		P.3-429

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64530000Hex	指令位置アンダーフロー	指令位置に対応するパルス数がアンダーフローしました	• リニアモード時に、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの下限値を超えた			⊙	○		P.3-429
64540000Hex	フィードバック位置オーバーフロー	フィードバック位置に対応するパルス数がオーバーフローしました	• フィードバック位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの上限値を超えた			⊙	○		P.3-430
64550000Hex	フィードバック位置アンダーフロー	フィードバック位置に対応するパルス数が範囲をアンダーフローしました	• フィードバック位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの下限値を超えた			⊙	○		P.3-430
74320000Hex	スレーブ監視情報検知	EtherCAT スレーブ、または NX ユニットの警告を検知しました	• 軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが警告を検知した			⊙	○		P.3-431
743C0000Hex	カムテーブル保存命令実行不可	他操作が不揮発性メモリにアクセス中のため、カムテーブルのファイル保存が実行できませんでした	• 他操作（Sysmac Studio による転送、データトレースなど）が不揮発性メモリにアクセス中に MC_SaveCamTable（カムテーブル保存）命令が実行された				○		P.3-431
94200000Hex	ブレンディングの中継速度到達までの移動量不足通知	ブレンディング中継速度に加減速するための移動量が不足しています	• ［加減速オーバー］に「加減速度を急激にする（ブレンディングをバッファードに切り替える）」が設定されている場合において、Blending 指定時、プロファイル作成の結果、加減速オーバーが発生するため Buffered 扱いに変更した • Blending 指定時、既に目標位置に到達しておりプロファイルが正しく描けないため、Buffered 扱いに変更した			⊙	○		P.3-432
94210000Hex	MC 試運転画面からの異常解除実行	Sysmac Studio の試運転画面から異常解除が実行されました	• Sysmac Studio の試運転画面から異常解除が実行された					○	P.3-432
94220000Hex	スレーブ異常コード確定	「スレーブ異常検知」の発生により、スレーブから異常コードが通知されました	• 「スレーブ異常検知」(742F0000Hex)の発生により、スレーブから異常コードが通知されました					○	P.3-433

モーション制御命令関連

モーション制御命令で発生する異常（イベント）の一覧を示します。イベントコードの上位 4 けたがモーション制御命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、モーション制御命令のエラーコードが 16#3461 の場合は、34610000Hex のイベントコードの説明を参照してください。

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34610000Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	PDO マッピングが正しくありません	• モーション命令で必要な PDO マッピングがされていない • 該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した • オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸に対して、トリガ条件として Z 相(_mcEncoderMark)を指定してモーション命令を起動した			○			P.3-434
54200000Hex	電子ギア分子設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumerator」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-435
54210000Hex	電子ギア分母設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominator」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-435
54220000Hex	目標速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-435
54230000Hex	加速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-436
54240000Hex	減速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-436
54250000Hex	ジャーク設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Jerk」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-436
54270000Hex	トルク傾斜設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TorqueRamp」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-437
54280000Hex	主軸係数設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterScaling」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-437

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54290000Hex	従軸係数設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveScaling」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-437
542A0000Hex	定寸速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「FeedVelocity」に指定されたパラメータが範囲外です	• 定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）が初期値のまま(0)である			○			P.3-438
542B0000Hex	バッファモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-438
542C0000Hex	座標系選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-438
542D0000Hex	円弧補間モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CircMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-439
542E0000Hex	方向選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-439
542F0000Hex	経路選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「PathChoice」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-439
54300000Hex	位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceType」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-440
54310000Hex	移動方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-440
54320000Hex	トランジションモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ「TransitionMode」を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定			○			P.3-441
54330000Hex	継続方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更されました	• 入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更された			○			P.3-441

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54340000Hex	加減算方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CombineMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-442
54350000Hex	同期開始条件指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「LinkOption」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-442
54360000Hex	主軸従軸同一	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが同一			○			P.3-442
54370000Hex	主軸補助軸同一	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」のパラメータが同一			○			P.3-443
54380000Hex	主軸／従軸軸番号非昇順	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸番号が昇順ではありません	• 命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」指定時、命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが非昇順			○			P.3-443
54390000Hex	カムテーブル指定不正	モーション制御命令の入力変数「CamTable」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力変数「CamTable」にカムデータ変数以外を指定			○			P.3-443
543A0000Hex	同期停止中	モーション制御の同期制御命令が実行されましたが、実行可能な条件ではありません	• MC_CamOut（カム動作解除）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令実行中でない • MC_GearOut（ギア動作解除）命令が実行されたがMC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令実行中でない • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令、MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令が実行中でない			○			P.3-444
543B0000Hex	モーション命令再起動不可	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました	• 再起動できないモーション制御命令の再起動			○			P.3-444
543C0000Hex	モーション命令多重起動不可	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました	• 同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行			○			P.3-445
543D0000Hex	軸種別不適合	エンコーダ軸に対して動作命令を実行しました	• エンコーダ軸に対して動作命令を実行			○			P.3-445

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
543E0000Hex	多軸協調動作中の命令起動不可	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました。 • 軸グループ有効状態では使用できないロボット命令を実行しました。	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行 • 軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform（キネマティクス変換設定）命令を実行			○			P.3-446
543F0000Hex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました	• 軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動 • 軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 • MC_MoveTimeAbsolute（時間指定絶対値位置指令）命令 • MC_SyncLinearConveyor（コンベア同期動作開始）命令 • MC_SyncOut（同期動作解除）命令 • MC_RobotJog（軸グループジョグ送り）命令			○			P.3-446
54400000Hex	軸グループ有効不可	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令の実行に失敗しました	• MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に停止中でない軸が存在した • MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令実行中の軸が存在した			○			P.3-447
54410000Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました	• サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行 • MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した			○			P.3-447
54420000Hex	構成軸強制停止中エラー	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました	• 構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した			○			P.3-448
54430000Hex	モーション命令多重起動数オーバー	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました	• 軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた • 軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた			○			P.3-448
54440000Hex	移動量不足	位置決め命令の多重起動／再起動時に、指定された減速度または加速度で指定通りの動作が実行できません	• ［加減速オーバー］を「異常として停止する」に設定しているときに、位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度／加速度での目標位置停止ができない			○			P.3-449

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54450000Hex	ブレンディング中継速度に到達するための移動量不足	中継速度に加減速するための移動量が不足しています	• ［加減速オーバー］に「異常として停止する」が設定されているときに、現指令を中継速度に加減速するための移動量が不足した			○			P.3-449
54460000Hex	台形パターンカム等速移動量不足	主軸の等速移動量が「0」未満です	• MC_MoveLink（台形パターンカム）命令において、主軸の等速移動量が「0」未満			○			P.3-450
54470000Hex	位置指定ギア動作目標速度不足	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、従軸の「目標速度」が小さいため、必要な速度に到達しません	• MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、入力変数「Velocity（目標速度）」の値が（命令起動時の主軸速度×ギア比）より小さい			○			P.3-450
54480000Hex	円弧補間始点終点同一	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に始点と終点が同じ位置です。または、通過点指定方式の指定時に始点と終点と通過点が同じ位置です	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、始点と終点の位置が同一 • MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式が指定され、始点と終点と通過点の位置が同一			○			P.3-450
54490000Hex	円弧補間中心点指定位置範囲外	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式の指定時に、中心点の位置指定が許容範囲を超えています	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式が指定され、始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の「中心点補正許容率」で指定した許容範囲を超えた			○			P.3-451
544A0000Hex	カウントモード設定による命令起動異常	カウントモードがロータリモードに設定されている軸に対してロータリモードで使用できない命令を実行しました	• カウントモードがロータリモードに設定されている軸をロータリモードで使用できない命令で使用			○			P.3-451
544C0000Hex	パラメータ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-451
544D0000Hex	停止方法選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「StopMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-452
544E0000Hex	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::LatchID」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-452
544F0000Hex	MC 設定書込の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • パラメータ指定と設定値のデータ型が一致していない			○			P.3-452

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54500000Hex	トリガ入力条件のモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::Mode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-453
54510000Hex	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::InputDrive」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-453
54530000Hex	モーション命令再起動不可（軸指定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Axis」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-453
54540000Hex	モーション命令再起動不可（バッファモード選択）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「BufferMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-454
54550000Hex	モーション命令再起動不可（方向選択）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Direction」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-454
54560000Hex	モーション命令再起動不可（繰り返しモード）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Periodic」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-455
54570000Hex	モーション命令再起動不可（軸グループ指定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「AxesGroup」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-455
54580000Hex	モーション命令再起動不可（躍動設定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Jerk」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-456
54590000Hex	モーション命令再起動不可（主軸）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Master」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-456
545A0000Hex	モーション命令再起動不可（MasterOffset）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterOffset」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-457
545B0000Hex	モーション命令再起動不可（MasterScaling）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterScaling」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-457

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
545C0000Hex	モーション命令再起動不可（MasterStartDistance）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterStartDistance」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-457
545D0000Hex	モーション命令再起動不可（Continuous）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Continuous」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-458
545E0000Hex	モーション命令再起動不可（MoveMode）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MoveMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-458
545F0000Hex	補助軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在していません	• 命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在しない変数			○			P.3-458
54600000Hex	軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在していません	• 命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在しない変数			○			P.3-459
54610000Hex	軸グループ指定不正	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません	• 命令の「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数 • 命令の「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない			○			P.3-459
54620000Hex	主軸指定不正	モーション制御命令の入力変数「Master」に指定された軸が不正です	• 命令の入力変数「Master」に指定された軸が存在しない変数 • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の場合に、入力変数「Master」に指定された軸が同期主軸でない • 主軸と従軸を割り付けているタスクが同一でない			○			P.3-460
54630000Hex	モーション命令再起動不可（SlaveOffset）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveOffset」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-460
54640000Hex	モーション命令再起動不可（SlaveScaling）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveScaling」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-461

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54650000Hex	モーション命令再起動不可（StartPosition）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartPosition」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-461
54660000Hex	原点未確定状態での命令起動異常	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令が実行されました	• 原点未確定状態で高速原点復帰が実行された • 原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令が実行された • 原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令を実行 MC_SetKinTransform MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_GroupMon MC_RobotJog			○			P.3-462
54670000Hex	モーション命令再起動不可（位置種別）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「ReferenceType」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-462
54680000Hex	未使用軸指定（主軸）	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸です	• モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸			○			P.3-463
54690000Hex	開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-463
546A0000Hex	終了位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-463
546B0000Hex	開始位置／終了位置・大小関係不正（リニアモード）	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータよりも小さい値です	• カウントモードがリニアモードの時、命令の入力パラメータで「LastPosition」の値が「FirstPosition」の値よりも小さい			○			P.3-464
546C0000Hex	主軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-464
546D0000Hex	従軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-464

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
546E0000Hex	トリガ入力条件のラッチ ID 重複	モーション制御命令で指定されたラッチ ID が複数の命令で重複しています	• MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同じラッチ ID が同時に使用されている • MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令以外で使用中のラッチを MC_AbortTrigger（外部ラッチ無効）命令で中止しようとした			○			P.3-465
546F0000Hex	ジャークオーバーライド値範囲外	モーション制御命令の入力変数「JerkFactor」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-465
54700000Hex	加減速度オーバーライド値範囲外	モーション制御命令の入力変数「AccFactor」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-466
54710000Hex	開始位置方式指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「StartMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-466
54720000Hex	モーション命令再起動不可（開始位置方式）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartMode」のパラメータを変更しました	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した			○			P.3-466
54740000Hex	未使用軸指定（補助軸）	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸です	• 命令の「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸			○			P.3-467
54750000Hex	位置指定ギア指定値異常	モーション制御命令に入力された速度／加速度／減速度では同期動作できません	• 命令に入力された速度／加速度／減速度では指定された同期の動作を行えない			○			P.3-467
54760000Hex	位置指定ギア主軸速度ゼロ	モーション制御命令の起動時に主軸の速度が「0」です	• 命令の起動時に主軸の速度が「0」			○			P.3-467
54780000Hex	目標位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外			○			P.3-468
54790000Hex	移動距離範囲外	モーション制御命令の入力変数「Distance」に指定されたパラメータが範囲外、または「Distance」の値を加算した目標位置が範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている • リニアモードの軸において、移動距離を加算した目標位置をパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-468

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
547A0000Hex	カムテーブル始点位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「StartPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-469
547B0000Hex	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterStartDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-469
547C0000Hex	円弧補間半径指定異常	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に指定された半径で円弧の軌跡が作成できません	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、指定された半径では円弧の軌跡が作成できない			○			P.3-469
547D0000Hex	円弧補間半径オーバーフロー	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径が最大値を超えました	• MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えた			○			P.3-470
547E0000Hex	円弧軸指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CircAxes」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「CircAxes」に指定された軸が軸グループ設定の構成軸に含まれていない • 「CircAxes」の 2 軸に同一の軸を指定している			○			P.3-470
547F0000Hex	補助軸／従軸・軸番号非昇順	モーション制御命令で指定された入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータの値が昇順に並んでいません	• 命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが非昇順			○			P.3-471
54800000Hex	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明しました。または、計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明しました	• 有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明した • 計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明した			○			P.3-471
54810000Hex	MC 設定書込の対象範囲外	モーション制御命令の入力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-471
54820000Hex	主軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-472
54830000Hex	主軸加速移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInACC」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-472

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54840000Hex	主軸減速移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInDEC」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-472
54870000Hex	実行モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ExecutionMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-473
54880000Hex	軸間偏差許容値範囲外	モーション制御命令の入力変数「PermittedDeviation」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-473
54890000Hex	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが範囲外です	• 通過点指定または中心指定の場合、「AuxPoint」の値をパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている • 半径指定の場合、「AuxPoint」[0]」の絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-473
548A0000Hex	終点指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「EndPoint」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-474
548B0000Hex	従軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-474
548C0000Hex	位相補正量範囲外	モーション制御命令の入力変数「PhaseShift」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-474
548D0000Hex	定寸距離範囲外	モーション制御命令の入力変数「FeedDistance」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-475
548E0000Hex	補助軸／従軸同一	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定された軸が同じです	• 命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが同一			○			P.3-475
548F0000Hex	相対位置選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Relative」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-475
54900000Hex	カムトランジション指定選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamTransition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-476

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54910000Hex	同期制御解除モード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「OutMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-476
54920000Hex	外部ラッチ有効命令実行不可	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行しました	• エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行した			○			P.3-476
54930000Hex	主軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「MasterOffset」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-477
54940000Hex	従軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「SlaveOffset」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-477
54950000Hex	指令現在位置カウント選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CmdPosMode」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-477
54960000Hex	主軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-478
54970000Hex	主軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-478
54980000Hex	補助軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-478
54990000Hex	補助軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-479
549A0000Hex	主軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeMaster」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-479

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
549B0000Hex	補助軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-479
549C0000Hex	目標位置リングカウンタ範囲外	実行された命令の目標位置がリングカウンタの範囲外のため、動作することができません	• リングカウンタ範囲に 0 が含まれない設定のときに、高速原点復帰が実行された			○			P.3-480
549D0000Hex（Ver.1.01 以降）	軸グループ構成軸設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Axes」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 軸グループの構成軸を割り付けているタスクが同一でない			○			P.3-480
549E0000Hex（Ver.1.04 以降）	軸使用設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AxisUse」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-481
57000000Hex（Ver.1.03 以降）	原点復帰パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-481
57020000Hex（Ver.1.04 以降）	軸未使用切り替え異常	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました	• 停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した			○			P.3-482
57030000Hex（Ver.1.06 以降）	軸使用切り替え不可	使用実軸最大数または使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました	• 使用実軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した • 使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した			○			P.3-482
57200000Hex（Ver.1.04 以降）	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常	使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が不正です	• MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、未使用軸から使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が正しくない • モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した • 不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命			○			P.3-483

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
57210000Hex（Ver.1.04 以降）	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが設定されていません	• 使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが PDO マッピング設定に設定されていない • モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した • 不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命 • ［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令が実行された			○			P.3-483
572F0000Hex（Ver.1.06 以降）	モーション命令多重起動不可（主軸）	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更しました	• 命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更			○			P.3-484
57300000Hex（Ver.1.06 以降）	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更しました	• 命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更			○			P.3-484
573A0000Hex（Ver.1.08 以降）	軸パラメータ書込不可	未使用軸以外の軸に対して該当命令を起動しました	• 使用軸または未作成軸に対して該当命令を起動した			○			P.3-484
573B0000Hex（Ver.1.08 以降）	軸パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-485
573C0000Hex（Ver.1.08 以降）	カムプロパティ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-486
573D0000Hex（Ver.1.08 以降）	カムノード設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが有効範囲外です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-486
573E0000Hex（Ver.1.08 以降）	カムノード型指定不正	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが _sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが _sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外			○			P.3-487
573F0000Hex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成ノード数不足	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」の値が「0」です	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」（主軸位相）の値が「0」			○			P.3-487

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
57400000Hex（Ver.1.08 以降）	カムノード主軸位相非昇順	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、「Phase」の値が要素番号順に昇順となっていません	• 命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、「Phase」（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となっていない。または、有効桁 8 桁め以降の切り捨ての結果、非昇順となった			○			P.3-487
57410000Hex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成データ点数過多	生成するカムデータ数が、モーション制御命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えています	• 生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えている			○			P.3-488
57420000Hex（Ver.1.08 以降）	カムテーブル生成変位オーバーフロー	生成するカムテーブルの「Distance」が REAL 型で表現できる範囲を超えています	• 生成するカムテーブルの「Distance」が REAL 型で表現できる範囲を超えている			○			P.3-488
57430000Hex（Ver.1.08 以降）	生成中止カムテーブルの使用	該当命令の入力変数「CamTable」に生成中止されたカムデータ変数が指定されています	• MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の異常で生成中止されたカムデータ変数が、該当命令の入力変数「CamTable」に指定されている			○			P.3-489
57490000Hex（Ver.1.10 以降）	実行 ID 設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-489
574A0000Hex（Ver.1.10 以降）	位置オフセット範囲外	モーション制御命令の入力変数「OffsetPosition」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている			○			P.3-489
574B0000Hex（Ver.1.10 以降）	PDS 状態遷移指令選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionCmd」に指定されたパラメータが範囲外です	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			P.3-490
574C0000Hex（Ver.1.13 以降）	単軸位置制御軸モーション命令起動不可	単軸位置制御軸に対して、実行できない動作命令を実行しました	単軸位置制御軸に対して、実行できない動作命令を実行した			○			P.3-490
57510000Hex（Ver.1.32 以降）〔形 NX102〕 （Ver.1.21 以降）〔形 NX701-□□00, 形 NX1P2, 形 NJ501（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301、形 NJ101-□□00〕	カムモニタモード選択設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CamMonitorMode」に指定されたカムモニタモード選択が範囲外です	• カムモニタモード選択が設定の範囲外			○			P.3-490

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
57520000Hex （Ver.1.32 以降） [形 NX102] （Ver.1.21 以降） [形 NX701-□□00, 形 NX1P2, 形 NJ501（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301、形 NJ101-□□00]	カムモニタ値データ型不一致	モーション制御命令の入出力変数「CamMonitorValue」に指定されたカムモニタ値変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致です	• カムモニタ値に指定した変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致			○			P.3-491
64400000Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行 • 通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外			○			P.3-491
64410000Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行 • 通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外			○			P.3-492
64420000Hex	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました	• 指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った • 位置決めの指令を実行した • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した • 方向を特定できない指令（同期機能、トルク制御）を実行した			○			P.3-492
64430000Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行			○			P.3-493

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64440000Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行			○			P.3-493
74220000Hex	サーボ主回路電源オフ状態	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました	• サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行			○			P.3-494
57220000Hex（Ver.1.06 以降）	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、実行できない命令を起動しました	• フィードバック位置オーバーフローまたはアンダーフローの発生中に、実行できない命令を起動した				○		P.3-494
57230000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-494
57240000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「FirstOnPosition」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-495
57250000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「LastOnPosition」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-495
57260000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の方向選択範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「AxisDirection」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-495
57270000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「CamSwitchMode」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-496
57280000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「Duration」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-496
57290000Hex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OnCompensation」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-496
572A0000Hex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OffCompensation」の値が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外				○		P.3-497

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
572B0000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-497
572C0000Hex（Ver.1.06 以降）	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-497
572D0000Hex（Ver.1.06 以降）	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外				○		P.3-498
572E0000Hex（Ver.1.06 以降）	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」と「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が一致していません	• 命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致していない				○		P.3-498
57310000Hex（Ver.1.06 以降）	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の同一トラック番号の数が範囲外です	• 命令の入出力変数に指定したスイッチ構造体型変数の「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数の範囲外				○		P.3-498

3-6-2 異常の説明

モーション制御機能関連

バージョン関連情報

NX シリーズ CPU ユニットの場合、_MC_AX[*]で始まる変数名は、_MC1_AX[*]、_MC2_AX[*]の場合があります。同様に_MC_GRP[*]で始まる変数名は、_MC1_GRP[*]、_MC2_GRP[*]の場合があります。

イベント名	モーション制御機能処理異常			**イベントコード**	44210000Hex	
内容	モーション制御機能モジュールで致命的な異常を検出しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	MC 共通	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	全停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	停止	**動作**	軸制御不可。コントローラ停止。		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ソフトウェアにエラーが発生した。		当社営業または販売店にお問い合わせください。		なし	
付属情報	付属情報 1: システム情報 付属情報 2: システム情報 付属情報 3: システム情報 付属情報 4: システム情報					
注意点／備考	なし					

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">14600000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">電源 OFF 中保持している絶対値エンコーダの現在位置を消失しました。</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">モーション制御機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>MC 共通</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>部分停止フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">軸制御不可。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_MC_COM.PFaultLvl.Active</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">MC 共通 部分停止フォールト発生中</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">保持変数がバッテリバックアップの場合、CPU ユニットのバッテリの寿命</td><td colspan="2">CPU ユニットのバッテリを交換後、異常解除を行い、原点復帰を実行し原点を確定してください。</td><td colspan="2">保持変数がバッテリバックアップの場合、CPU ユニットのバッテリを定期的に交換してください。
バッテリの寿命については『NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-418)』、または『NJ シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-466)』を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ソフトウェアにエラーが発生した
バックアップメモリの故障</td><td colspan="2" rowspan="2">本異常が再発する場合は、CPU ユニットを交換後、異常解除を行い、原点復帰を実行し原点を確定してください。</td><td colspan="2" rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">なし</td></tr>
</table>

イベント名	モーション制御パラメータ設定異常			イベントコード	14610000Hex	
内容	不揮発性メモリに保存していたモーション制御パラメータ設定を消失しました。または、未対応の EtherCAT スレーブが軸に割りついています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸制御不可。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.PFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 部分停止フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	モーション制御パラメータ設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された。	Sysmac Studio からモーション制御パラメータ設定をダウンロードしてください。	パラメータ設定の保存中に電源を切らないようにしてください。
	未対応の EtherCAT スレーブが軸に割りつけられている	Sysmac Studio から未対応 EtherCAT スレーブの軸割付を外して設定をダウンロードしてください。	なし
	不揮発性メモリの故障	上記の処置を行っても本異常が再発する場合は、不揮発性メモリの故障です。CPU ユニットを交換後、Sysmac Studio から軸設定を含む全設定をダウンロードしてください。	なし

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	カムデータ読み出し異常			イベントコード	14620000Hex	
内容	不揮発性メモリに保存しているカムデータを消失しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸制御不可。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.PFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 部分停止フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	カムデータの保存中の電断	Sysmac Studio からカムデータをダウンロードしてください。	カムデータの保存中に電源を切らないようにしてください。
	不揮発性メモリの故障	上記の処置を行っても本異常が再発する場合は、不揮発性メモリの故障です。CPU ユニットを交換後、Sysmac Studio から軸設定を含む全設定をダウンロードしてください。	なし

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	必須プロセスデータオブジェクト未設定			**イベントコード**	34600000Hex	
内容	軸種別に対して必須のオブジェクトが PDO に割り付けられていません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		**発生源詳細**	MC 共通	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	軸制御不可。		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_COM.PFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 部分停止フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	軸種別がサーボ軸またはエンコーダ軸のときに対して必要な PDO マッピングがされていません。		• 該当軸種別で必要な PDO マッピングを行ってください。必要な PDO マッピングについては、ユーザーズマニュアル モーション制御編の付録にある、該当サーボドライバの設定に関する記載を参照してください。 • NX シリーズ EtherCAT カプラユニットを使用している場合は、EtherCAT カプラユニットの I/O データに、NX ユニット I/O データ通信中ステータスを設定してください。		• 使用する軸種別で必要な PDO マッピングを行ってください。必要な PDO マッピングについては、ユーザーズマニュアル モーション制御編の付録にある、該当サーボドライバの設定に関する記載を参照してください。 • NX シリーズ EtherCAT カプラユニットを使用している場合は、EtherCAT カプラユニットの I/O データに、NX ユニット I/O データ通信中ステータスを設定してください。	
	不揮発性メモリの故障		上記の処置を行っても本異常が再発する場合は、不揮発性メモリの故障です。CPU ユニットを交換後、Sysmac Studio から軸パラメータ設定を含む全設定をダウンロードしてください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸割付スレーブ無効			イベントコード	34630000Hex	
内容	軸に割り付いているスレーブが無効設定になっています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸制御不可。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.PFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 部分停止フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	軸に割り付いているスレーブが無効設定になっている。	軸割付の該当スレーブの EtherCAT の設定であるスレーブ有効／無効設定を［有効］にしてください。 スレーブがない場合は、該当軸の［軸種別］を［仮想軸］に設定してください。	軸割付のスレーブの EtherCAT の設定であるスレーブ有効／無効設定を［有効］にしてください。 スレーブがないが、プログラムのために軸を使用する場合は、［軸種別］を［仮想軸］にしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	軸割付スレーブネットワーク構成情報未登録			イベントコード	34640000Hex	
内容	軸に割り付いているスレーブがネットワーク構成情報に登録されていません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時／サーボ ON 開始時／未使用軸から使用軸に切替時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸制御不可。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.PFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 部分停止フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	軸に割り付いているスレーブが EtherCAT のネットワーク構成情報に登録されていない。	軸に割り付いているスレーブを EtherCAT のネットワーク構成情報に登録してください。または該当軸の［軸種別］を［仮想軸］に設定してください。	軸に割り付けているスレーブをネットワーク構成情報に登録してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	モーション制御初期化異常			イベントコード	44200000Hex	
内容	システムに致命的な障害が発生し、モーション制御機能モジュールの初期化に失敗しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸制御不可。モーション制御命令実行不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.PFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 部分停止フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ハード故障		CPU ユニットを交換してください。		なし	
付属情報	付属情報 1: システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション制御周期オーバー			イベントコード	74200000Hex	
内容	プライマリ定周期タスクの処理が 2 制御周期以内で完了しませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	全軸の動作不可。動作中の軸は即停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.PFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 部分停止フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	プライマリ定周期タスクのプログラムの処理内容が多い。		プライマリ定周期タスクのプログラムの処理内容を少なくするか、動作に問題が発生しない範囲で制御周期をより大きな値に設定してください。 タスクの周期は Sysmac Studio の「タスク周期モニタ」で確認できます。		必ず一定周期で実行したい処理だけをプライマリ定周期タスクのプログラムで記述してください。またはプライマリ定周期タスクの周期は必要十分な長さに設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カムテーブル保存処理失敗			イベントコード	14630000Hex	
内容	カムテーブルのファイル保存に失敗しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除／電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	不揮発性メモリに保存されているカムテーブルが壊れている可能性があるため、カムテーブル読み出し時に異常が発生する場合があります。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カムテーブルのファイル保存に失敗した。		再度保存を実行しなおしてください。再発する場合は、不揮発性メモリの故障です。CPU ユニットを交換してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カム動作中カムテーブルデータ異常			イベントコード	54770000Hex	
内容	カムテーブルの位相が昇順ではありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カム動作中にカムテーブルの位相が昇順になっていないデータを検出した。		位相が昇順になるようにカムテーブルデータを修正してください。		カムテーブルデータは位相が昇順になるようにしてください。	
	カム動作中にカムテーブルの始点の位相と変位が「0」でないことを検出した。		始点の位相と変位が「0」になるようにカムテーブルデータを修正してください。		カムテーブルデータは始点の位相と変位が「0」になるようにしてください。	
	カム動作中に、カムテーブルの終点の位相をパルス単位に変換したときに 1 パルス以上でないことを検出した。		終点の位相をパルス単位に変換したときに 1 パルス以上になるようにカムテーブルデータを修正してください。		カムテーブルデータは終点の位相をパルス単位に変換したときに 1 パルス以上になるようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	即停止命令起動			イベントコード	54850000Hex	
内容	即停止（MC_ImmediateStop）命令が実行されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸は、即停止命令の入力変数「StopMode（停止方法選択）」の設定に従い即停止。 該当軸が軸グループ動作中の場合、他の軸は［軸グループ停止方法］に従う。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	即停止命令が実行された。		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸グループ即停止命令起動			イベントコード	54860000Hex	
内容	軸グループ即停止（MC_GroupImmediateStop）命令が実行されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの軸は、軸パラメータの［即停止入力停止方法］の設定に従い全軸即停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸グループ即停止命令が実行された。		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	正方向ソフトウェアリミットオーバー			イベントコード	64450000Hex	
内容	軸が動作している途中で、位置が正方向ソフトウェアリミットを超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	［ソフトウェアリミット機能］設定に従う。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	位置が正方向ソフトウェアリミットを超えた。		ソフトウェアリミットを超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。		（予期しない原因によりソフトウェアリミットを超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	正方向ソフトウェアリミットの設定を変更する場合は安全性を考慮した設定にしてください。					

イベント名	負方向ソフトウェアリミットオーバー			イベントコード	64460000Hex	
内容	軸が動作している途中で、位置が負方向ソフトウェアリミットを超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	［ソフトウェアリミット機能］設定に従う。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	位置が負方向ソフトウェアリミットを超えた。		ソフトウェアリミットを超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。		（予期しない原因によりソフトウェアリミットを超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	負方向ソフトウェアリミットの設定を変更する場合は安全性を考慮した設定にしてください。					

イベント名	インポジションチェック時間オーバー			イベントコード	64470000Hex	
内容	位置決め完了チェックが監視時間内に完了しませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	位置決め完了までに時間がかかっている。	位置決め完了に時間がかかる原因を調査し、その原因を取り除いてください。あるいは、サーボドライバの調整、またはインポジションチェック時間、インポジション幅を調整してください。 サーボドライバを調整する場合は、ループゲインを大きくしてください。ただし、制御が発振しない適度な範囲にするよう注意してください。	位置決め動作の追従性が悪くなる要因や、振動はできる限り排除します。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	位置偏差オーバー			イベントコード	64480000Hex	
内容	指令現在位置とフィードバック現在位置の偏差が位置偏差オーバー値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。	位置決め動作の追従性が悪くなる要因を取り除いてください。 または、［位置偏差オーバー値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。	位置決め動作の追従性が悪くなる要因はできる限り排除してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	即停止入力			イベントコード	64490000Hex	
内容	即停止入力が ON になりました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	［即停止入力停止方法］設定に従う。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	即停止入力信号を検知した。		即停止入力信号を OFF にしてください。		（即停止入力を検出することが目的のため、防止不要）	
	即停止信号の接続または即停止入力の論理設定が間違っている。		即停止入力信号が OFF でも異常が発生する場合は、即停止信号の接続、即停止入力の論理設定を修正してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。		即停止信号の接続、即停止入力の論理設定が正しいことを確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	異常解除するには、即停止入力を OFF にしてください。					

イベント名	正方向限界入力検出			イベントコード	644A0000Hex	
内容	正方向限界入力が ON になりました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	［限界入力停止方法］設定に従う。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	正方向限界入力信号を検知した。		異常解除を行い、正方向限界を超えない位置まで負方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。 限界を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。		正方向限界入力を検出することが目的のため、防止不要。ただし、正方向限界入力を超えないようにプログラムを作成してください。	
	正方向限界入力信号の接続または正方向限界入力の論理設定が間違っている。		正方向限界入力信号が発生していない場合は、正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定を修正してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。		正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定が正しいことを確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	負方向限界入力検出			イベントコード	644B0000Hex	
内容	負方向限界入力が ON になりました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	［限界入力停止方法］設定に従う。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	負方向限界入力信号を検知した。	異常解除を行い、負方向限界を超えない位置まで正方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。 限界を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。	負方向限界入力を検出することが目的のため、防止不要。ただし、負方向限界入力を超えないようにプログラムを作成してください。
	負方向限界入力信号の接続または負方向限界入力の論理設定が間違っている。	負方向限界入力信号が発生していない場合は、負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定を確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。	負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定が正しいことを確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	位置偏差不正			イベントコード	64560000Hex	
内容	指令された位置とフィードバック現在位置の差をパルス単位に変換したときに 30 ビット以上となりました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ OFF		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	指令された軸の移動量では軸の最高速度を超えるため、最高速度を超えないように指令現在位置が制限された。	最高速度を超えないようにプログラムまたは電子ギア比を修正してください。	最高速度を超えないようにプログラムを作成、電子ギア比を設定してください。
	位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。	位置決め動作の追従性が悪くなる要因を取り除いてください。	位置決め動作の追従性が悪くなる要因はできる限り排除してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	サーボ OFF 異常			イベントコード	64570000Hex	
内容	軸グループの異常発生により、軸がサーボ OFF されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ OFF		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸グループの異常発生により、軸がサーボ OFF された。		異常の要因を確認し、対処してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	本異常は、軸グループの異常発生によりサーボ OFF された軸が、MC_Power（運転可）命令により再びサーボ ON されないように、インターロックとして軸を異常とするものです。 ［軸グループ停止方法］で「即停止し、同時にサーボ OFF を実行（フリーラン停止）」を選択している場合だけ発生します。					

イベント名	絶対値エンコーダ現在位置算出不可			イベントコード	64580000Hex	
内容	電断保持している絶対値エンコーダ情報から正しく現在位置を復元できません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時／サーボ ON 開始時／未使用軸から使用軸に切替時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• 単位変換設定、リングカウンタ設定またはサーボドライバ設定のリングカウンタ設定が変更された。 • 復元した位置がパルス単位で符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		異常解除後、原点復帰を実施してください。原点復帰は、復元した位置が符号付き 40 ビットの範囲を超えないように、絶対値エンコーダをセットアップした位置の付近で実施してください。		リングカウンタ上限設定値など位置に関連するパラメータを変更した場合は、原点復帰をやり直してください。原点復帰は、復元した位置が符号付き 40 ビットの範囲を超えないように、絶対値エンコーダをセットアップした位置の付近で実施してください。 また、MC_Power（運転可）命令の実行、未使用軸から使用軸への切替、および電断／電源投入はエンコーダの位置が符号付き 40 ビットの範囲外のときには行わないでください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	多軸協調動作中の原点未確定			イベントコード	64590000Hex	
内容	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の原点が未確定になりました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの減速停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の指令位置またはフィードバック位置のオーバーフローまたはアンダーフローが発生し、原点が未確定になった。	指令位置／フィードバック位置がオーバーフロー／アンダーフローしない範囲で動作するようにプログラムを修正してください。	指令位置／フィードバック位置がオーバーフロー／アンダーフローしない範囲で動作するようにプログラムを作成してください。
	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸でスレーブ通信異常が発生し、原点が未確定になった。	スレーブ通信異常の処置対策を行い、原点を確定してください。	なし
	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸のスレーブが離脱またはスレーブ無効化し、原点が未確定になった。	離脱またはスレーブ無効化したスレーブを再加入させ、原点を確定してください。	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸のスレーブを離脱またはスレーブ無効化させないでください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	サーボ主回路電源オフ検出			イベントコード	74210000Hex	
内容	サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路電源を OFF しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	サーボ ON 中常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ OFF		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路の電源断。	本異常が発生している軸のサーボドライバの主回路電源を ON してから、異常解除を行った後、サーボ ON してください。	サーボ OFF してからサーボドライバの主回路電源を OFF してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	割り込み定寸位置決め・割り込み信号なし			イベントコード	74230000Hex	
内容	MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の実行中に割り込み入力がありませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の減速停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ラッチ有効範囲指定が不適切。		該当命令のラッチ有効範囲指定が間違っている場合はラッチ有効範囲指定を修正してください。		動作とセンサ位置の関係から適切なラッチ有効範囲を指定してください。	
	割り込み信号の配線が間違っている。		該当命令に対応する割り込み信号の配線が間違っている場合は配線を正しくしてください。		割り込み信号の配線に間違いがないことを確認してください。	
	割り込み信号を出力するセンサが故障している。		上記 2 つの原因でない場合は、割り込み信号を出力するセンサの故障です。本異常が発生している命令に対応する割り込み信号を出力するセンサなどを交換してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点復帰逆方向限界入力検出			イベントコード	74240000Hex	
内容	原点復帰動作中に、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている。		限界入力時に異常としない場合は、正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作を「反転する」に設定してください。		あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。	
	原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている。		入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置を再確認して限界信号に到達しないように修正してください。			
	入力信号センサ配線間違い、故障。		入力信号センサの配線の修正、交換を行ってください。			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点復帰方向限界入力検出			イベントコード	74250000Hex	
内容	原点復帰動作中に、原点復帰方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている。	限界入力時に異常としない場合は、正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作を「反転する」に設定してください。	あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。
	原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている。	入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置を再確認して限界信号に到達しないように修正してください。	
	入力信号センサ配線間違い、故障。	入力信号センサの配線の修正、交換を行ってください。	

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	原点復帰両方向限界入力検出			イベントコード	74260000Hex	
内容	原点復帰動作中に、同時に両側の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	限界信号の配線間違い。	限界信号の配線を修正してください。	あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。
	限界センサの取り付け位置の誤り。	両側の限界信号が同時に「ON」にならないように限界センサの取り付け位置を修正してください。	
	限界信号の接点論理の誤り。	限界信号の a 接点／b 接点を修正してください。	
	限界センサの故障。	限界センサを交換してください。	

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	原点近傍・原点復帰逆方向限界入力検出			イベントコード	74270000Hex	
内容	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点近傍信号、限界信号の配線間違い。		原点近傍信号、限界信号の配線を修正してください。		あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。	
	原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り。		原点近傍入力信号と限界信号が同時に「ON」にならないように原点近傍センサまたは限界センサの取り付け位置を修正してください。			
	原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り。		原点近傍センサ、限界センサの a 接点／b 接点を修正してください。			
	原点近傍センサ、限界センサの故障。		原点近傍センサ、限界センサを交換してください。			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点近傍・原点復帰方向限界入力検出			イベントコード	74280000Hex	
内容	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点近傍信号、限界信号の配線間違い。		原点近傍信号、限界信号の配線を修正してください。		あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。	
	原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り。		原点近傍入力信号と限界信号が同時に「ON」にならないように原点近傍センサまたは限界センサの取り付け位置を修正してください。			
	原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り。		原点近傍センサ、限界センサの a 接点／b 接点を修正してください。			
	原点近傍センサ、限界センサの故障。		原点近傍センサ、限界センサを交換してください。			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点入力・原点復帰逆方向限界入力検出			イベントコード	74290000Hex	
内容	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点入力信号、限界信号の配線間違い。		原点入力信号、限界信号の配線を修正してください。		あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。	
	原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り。		原点入力信号と限界信号が同時に「ON」にならないように原点入力センサまたは限界センサの取り付け位置を修正してください。			
	原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り。		原点入力信号、限界センサの a 接点／b 接点を修正してください。			
	原点入力信号出力機器、限界センサの故障。		原点入力信号出力機器、限界センサを交換してください。			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点入力・原点復帰方向限界入力検出			イベントコード	742A0000Hex	
内容	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点入力信号、限界信号の配線間違い。		原点入力信号、限界信号の配線を修正してください。		あらかじめ発生要因に記載されている内容に問題がないことを確認してください。	
	原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り。		原点入力信号と限界信号が同時に「ON」にならないように原点入力センサまたは限界センサの取り付け位置を修正してください。			
	原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り。		原点入力信号、限界センサの a 接点／b 接点を修正してください。			
	原点入力信号出力機器、限界センサの故障。		原点入力信号出力機器、限界センサを交換してください。			
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点入力マスク量不正			イベントコード	742B0000Hex	
内容	MC_Home（原点復帰）命令、またはMC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令において、原点入力マスク量の設定値が適切ではありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	原点復帰動作モードが「近傍退避・原点入力マスク距離指定」の場合に、原点入力マスク距離の設定値が、原点復帰速度から原点復帰アプローチ速度に減速するための移動量として不足している。		原点入力マスク量、原点復帰速度、原点復帰アプローチ速度を確認し、MC_Home（原点復帰）命令、またはMC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の動作仕様に基づき、減速のための移動量が不足しないように設定変更してください。		MC_Home（原点復帰）命令、またはMC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の動作仕様を確認しておき、原点入力マスク量、原点復帰速度、原点復帰アプローチ速度を、減速のための移動量が不足しないように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点入力なし			イベントコード	742C0000Hex	
内容	原点復帰中に原点信号入力がありません。または、原点確定入力がないまま、限界信号が検出されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• 原点復帰中に原点信号入力がない。 • 原点確定入力がないまま、限界信号が検出された。		原点入力の設定、配線を確認し、MC_Home（原点復帰）命令、またはMC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の動作仕様に基づき、原点復帰動作中に原点信号が入力されるように修正してください。 または、原点入力されてから限界信号が検出されるようにしてください。		原点復帰動作中に原点信号が入力されるように設定してください。 原点入力されてから限界信号が検出されるようにしてください。 また原点入力の配線間違いがないことを確認してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点近傍入力なし			イベントコード	742D0000Hex	
内容	原点復帰中に原点近傍信号入力がありませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	原点復帰の実行状態に応じた停止方法で停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	「原点近傍信号あり」の設定時の原点復帰中に原点近傍信号入力がなかった。		原点近傍入力の設定、配線を確認し、MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の動作仕様に基づき、原点復帰中に原点近傍信号が入力されるように修正してください。		原点復帰動作中に原点近傍信号が入力されるように設定してください。また原点近傍入力の配線間違いがないことを確認してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	スレーブ異常検知			イベントコード	742F0000Hex	
内容	軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが異常を検知しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当する軸のサーボ OFF。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが異常を検知した。		スレーブで発生している異常、または「スレーブ異常コード確定」（94220000Hex）で通知されるスレーブの異常コードを確認し必要な処置対策を行ってください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸グループ構成軸異常発生			イベントコード	74300000Hex	
内容	軸グループの構成軸に異常が発生しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	構成軸が即停止したときは、[軸グループ停止方法] 設定の動作に従います。 それ以外は補間軌跡停止します。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸グループ動作中に構成軸に異常が発生した。		軸グループを構成する軸の異常コードを確認し異常原因を除去してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	軸異常の発生時は、その軸を含む軸グループは動作できません。					

イベント名	MC 共通の異常発生中			イベントコード	74330000Hex	
内容	MC 共通の異常が発生しています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	部分停止フォールトレベルの MC 共通異常が発生している。		発生している MC 共通の異常を確認してその異常要因を除去してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	部分停止フォールトレベルの MC 共通異常発生時は、軸および軸グループは動作できません。					

イベント名	ラッチ位置オーバーフロー			イベントコード	74340000Hex	
内容	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がオーバーフローしています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の減速停止。 外部ラッチ有効命令はラッチ位置の取得不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がオーバーフロー。		軸位置がオーバーフローしないようにプログラムを修正してください。		軸位置がオーバーフローしないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	ラッチ位置アンダーフロー			イベントコード	74350000Hex	
内容	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がアンダーフローしています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の減速停止。 外部ラッチ有効命令はラッチ位置の取得不可。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令でラッチした位置がアンダーフロー。		軸位置がアンダーフローしないようにプログラムを修正してください。		軸位置がアンダーフローしないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸同期方向異常			イベントコード	74360000Hex	
内容	主軸が同期方向とは逆向きに移動しつづけました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の減速停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	主軸と従軸が同期する方向に対して、主軸が逆向きに移動しつづけオーバーフローした。		同期開始後の主軸の移動方向・移動量が同期方向になるようにプログラムを修正してください。		同期開始後の主軸の移動方向・移動量が同期方向になるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	サーボ ON 中スレーブ離脱			イベントコード	74370000Hex	
内容	サーボ ON 中に軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットに対して次のいずれかが発生しました。 • 離脱／交換された • 無効化された • NX シリーズ CPU ユニットの NX バスがリスタートされた					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	サーボ ON 中常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ OFF。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーボ ON 中に軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットに対して次のいずれかが発生した。 • 離脱／交換された • 無効化された • NX シリーズ CPU ユニットの NX バスがリスタートされた		該当軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットを再度加入させてください。		EtherCAT スレーブ、または NX ユニットに対して以下を実行する場合は、サーボ OFF してから実行してください。 • 離脱／交換 • 無効化 • NX シリーズ CPU ユニットの NX バスのリスタート	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	定寸距離オーバーフロー			イベントコード	74380000Hex	
内容	MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の割り込み入力後の目標位置が、オーバーフロー／アンダーフローしました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の減速停止。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令の割り込み入力後の目標位置をパルス数単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの範囲を超えた。	割り込み入力後の目標位置のパルス数がパルス数の範囲を超えない指令位置の入力値になるようプログラムを修正してください。	割り込み入力後の目標位置をパルス数単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの範囲を超えないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	サーボドライバの制御モード切替異常			イベントコード	74390000Hex	
内容	制御モード切り替え時に、処理が所定の時間内に完了しませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ OFF。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	MC_SyncMoveVelocity（サイクリック同期速度制御）命令の停止時に、指令速度に「0」を出力し始めてから 10 秒以内にフィードバック現在速度が最高速度の 10%以内に 3 周期連続して収まらなかった。	発生要因にある状態にならないように、指令や負荷を調整してください。	発生要因にある状態にならないように、指令や負荷を調整してください。
	オムロン製サーボドライバ 1S シリーズまたは G5 シリーズを使用している場合に、MC_TorqueControl（トルク制御）命令の停止時に、10 秒以内にフィードバック現在速度が最高速度の 10%以内に 3 周期連続して収まらなかった。		
	制御モード（CSP/CSV/CST）の切り替え指令後、1 秒以内にサーボドライバのモード切り替えが完了しなかった。	サーボドライバに異常が発生していないか、設定が間違っていないかを確認して必要な対処を行ってください。 制御モードを切り替えて制御する場合は、PDO マップに「csp 用参照位置」を設定してください。	サーボドライバに異常が発生していないこと、設定が間違っていないことを確認してください。 制御モードを切り替えて制御する場合は、PDO マップに「csp 用参照位置」を設定してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">主軸位置読み出し異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">743A0000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">同期制御命令の主軸の位置に異常が発生したため、同期制御命令を実行することができません。</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">モーション制御機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>軸</td><td>検出タイミング</td><td>命令起動時／命令実行中</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_MC_AX[*].MFaultLvl.Active</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">軸 軽度フォールト発生中</td></tr>
<tr><td rowspan="5">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">同期制御命令の主軸の EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立、または NX ユニットの I/O データを制御に使用できない。</td><td colspan="2">主軸の EtherCAT マスタシステム変数の_EC_PDSlavTbl（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）が FALSE になっている場合は、主軸の異常を調査してその要因を取り除いてください。
主軸が NX ユニットの場合は、さらに NX ユニットのプロセスデータ通信中ステータスについても、同様の処置対策を行ってください。</td><td colspan="2">電源 ON／ダウンロード直後、またはスレーブ通信異常の解除直後に同期制御命令を実行する場合は、EtherCAT マスタシステム変数の_EC_PDSlavTbl（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）の主軸のノードが TRUE になったことを確認してから、同期制御命令を実行してください。
主軸が NX ユニットの場合は、さらに NX ユニットのプロセスデータ通信中ステータスについても、同様の処置対策を行ってください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">同期制御命令の主軸でスレーブ離脱またはスレーブ無効化が発生。</td><td colspan="2">主軸でスレーブの離脱またはスレーブ無効化を行っていないか確認し、行なっている場合は再加入またはスレーブを有効化させてください。</td><td colspan="2">同期制御命令実行時は、主軸のスレーブ離脱またはスレーブ無効化は行なわないようにしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">同期制御命令の主軸で、絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）を検出。</td><td colspan="2">主軸で絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）を検出していないか確認し、検出している場合は、その異常の処置対策を実施して復旧してください。</td><td colspan="2">絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）の発生中の軸を主軸とした同期制御命令を実行しないでください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">同期制御命令の主軸が未使用軸。</td><td colspan="2">主軸を使用軸にしてください。</td><td colspan="2">同期制御命令実行時は、主軸を未使用軸にしないでください。</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">なし</td></tr>
</table>

イベント名	補助軸位置読み出し異常			イベントコード	743B0000Hex	
内容	同期制御命令の補助軸の位置に異常が発生したため、同期制御命令を実行することができません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時／命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同期制御命令の補助軸のEtherCATのプロセスデータ通信が未確立、またはNXユニットのI/Oデータを制御に使用できない。		補助軸のEtherCATマスタシステム変数の_EC_PDSlavTbl（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）がFALSEになっている場合は、補助軸の異常を調査してその要因を取り除いてください。 補助軸がNXユニットの場合は、さらにNXユニットのプロセスデータ通信中ステータスについても、同様の処置対策を行ってください。		電源ON／ダウンロード直後、またはスレーブ通信異常の解除直後に同期制御命令を実行する場合は、EtherCATマスタシステム変数の_EC_PDSlavTbl（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）の補助軸のノードがTRUEになったことを確認してから、同期制御命令を実行してください。 補助軸がNXユニットの場合は、さらにNXユニットのプロセスデータ通信中ステータスについても、同様の処置対策を行ってください。	
	同期制御命令の補助軸でスレーブ離脱またはスレーブ無効化が発生。		補助軸でスレーブの離脱またはスレーブ無効化を行っていないか確認し、行なっている場合は再加入またはスレーブを有効化させてください。		同期制御命令実行時は、補助軸のスレーブ離脱またはスレーブ無効化は行なわないようにしてください。	
	同期制御命令の補助軸で、絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）を検出。		補助軸で絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）を検出していないか確認し、検出している場合は、その異常の処置対策を実施して復旧してください。		絶対値エンコーダ現在位置算出不可（64580000Hex）の発生中の軸を補助軸とした同期制御命令を実行しないでください。	
	同期制御命令の補助軸が未使用軸。		補助軸を使用軸にしてください。		同期制御命令実行時は、補助軸を未使用軸にしないでください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	スレーブ通信異常			イベントコード	84400000Hex	
内容	軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットとの通信に異常が発生しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボOFF。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸に割り付けられているEtherCATスレーブ、またはNXユニットとの通信に異常が発生した。		EtherCATマスタ機能モジュールまたはNXバス機能モジュールで発生している異常をイベントログで確認し、異常原因を除去してから、本異常の解除を行ってください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	本異常の解除を行っても、軸に割り付けられているスレーブまたはNXユニットが接続されているEtherCATマスタ機能モジュールまたはNXバス機能モジュールの異常解除は行われません。EtherCATマスタ機能モジュールまたはNXバス機能モジュールの異常が解除されていなくても本異常は解除できますが、その場合は軸無効状態を継続します。					

イベント名	モーション制御異常解除命令数過多			イベントコード	571D0000Hex *1	
内容	ResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が 100 個を超えています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時／オンラインエディット時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.Obsr.Active		BOOL		MC 共通 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ファンクションブロックのインスタンス内も含め、ユーザプログラムで宣言されている ResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が 100 個を超えている。		ResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が 100 個以下となるよう、ユーザプログラムを修正してしてください。 同じインスタンスを使用するか、異常解除対象により MC_Reset（軸エラーリセット）命令や MC_GroupReset（軸グループエラーリセット）命令を使用してください。		ResetMCError（モーション制御異常解除）命令のインスタンス数が 100 個以内におさまるようにプログラムを記述してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.02 から Ver.1.09 までの CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	位置偏差警告			イベントコード	644C0000Hex	
内容	位置偏差が位置偏差警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。		位置決め動作の追従性が悪くなる要因を取り除いてください。 または、［位置偏差警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		位置決め動作の追従性が悪くなる要因はできる限り排除してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	速度警告			イベントコード	644D0000Hex	
内容	指令速度が速度警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
	_MC_GRP[*].Obsr.Active		BOOL		軸グループ 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指令速度が速度警告値を超えた。		速度警告値を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。 または、［速度警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		（速度警告値を超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸／軸グループの減速停止」となります。					

イベント名	加速度警告			イベントコード	644E0000Hex	
内容	指令加速度が加速度警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
	_MC_GRP[*].Obsr.Active		BOOL		軸グループ 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指令加速度が加速度警告値を超えた。		加速度警告値を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。 または、［加速度警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		（加速度警告値を超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸／軸グループの減速停止」となります。					

イベント名	減速度警告			イベントコード	644F0000Hex	
内容	指令減速度が減速度警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
	_MC_GRP[*].Obsr.Active		BOOL		軸グループ 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	指令減速度が減速度警告値を超えた。		減速度警告値を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。 または、［減速度警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		（減速度警告値を超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸／軸グループの減速停止」となります。					

イベント名	正方向トルク警告			イベントコード	64500000Hex	
内容	トルク指令値が正方向トルク警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	トルク指令値が正方向トルク警告値を超えた。		トルク警告値を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。 または、［正方向トルク警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		（トルク警告値を超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	負方向トルク警告			イベントコード	64510000Hex	
内容	トルク指令値が負方向トルク警告値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	トルク指令値が負方向トルク警告値を超えた。		トルク警告値を超えた原因を調査し適切な処置を行ってください。 または、［負方向トルク警告値］を問題のない範囲で大きな値に変更してください。		（トルク警告値を超えたことを検出することが目的のため、防止不要）	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	指令位置オーバーフロー			イベントコード	64520000Hex	
内容	指令位置に対応するパルス数がオーバーフローしました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	位置は更新されないが動作継続。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リニアモード時に、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの上限値を超えた。		該当命令でパルス数がパルス数の範囲を超えない指令位置の入力値になるようプログラムを修正、または電子ギア比の設定を変更してください。 オーバーフローの状態から復旧するには、「現在位置変更」または「原点復帰」を行ってください。		電子ギア比の設定と目標位置の設定値を確認し、変換後のパルス数が符号付き 40 ビットの範囲を超えないように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	指令位置アンダーフロー			イベントコード	64530000Hex	
内容	指令位置に対応するパルス数がアンダーフローしました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	位置は更新されないが動作継続。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リニアモード時に、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの下限値を超えた。		該当命令でパルス数がパルス数の範囲を超えない指令位置の入力値になるようプログラムを修正、または電子ギア比の設定を変更してください。 アンダーフローの状態から復旧するには、「現在位置変更」または「原点復帰」を行ってください。		電子ギア比の設定と目標位置の設定値を確認し、変換後のパルス数が符号付き 40 ビットの範囲を超えないように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	フィードバック位置オーバーフロー		イベントコード	64540000Hex		
内容	フィードバック位置に対応するパルス数がオーバーフローしました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	位置は更新されないが動作継続。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	フィードバック位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの上限値を超えた。		該当命令でパルス数がパルス数の範囲を超えないフィードバック位置になるよう、目標位置がパルス数の範囲に対して余裕を持つようにプログラムを修正、または電子ギア比の設定を変更してください。 オーバーフローの状態から復旧するには、「現在位置変更」または「原点復帰」を行ってください。		電子ギア比の設定と目標位置の設定値を確認し、変換後のパルス数が符号付き 40 ビットの範囲に余裕を持って収まるように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	フィードバック位置アンダーフロー		イベントコード	64550000Hex		
内容	フィードバック位置に対応するパルス数がアンダーフローしました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	位置は更新されないが動作継続。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	フィードバック位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビットの下限値を超えた。		該当命令でパルス数がパルス数の範囲を超えないフィードバック位置になるよう、目標位置がパルス数の範囲に対して余裕を持つようにプログラムを修正、または電子ギア比の設定を変更してください。 アンダーフローの状態から復旧するには、「現在位置変更」または「原点復帰」を行ってください。		電子ギア比の設定と目標位置の設定値を確認し、変換後のパルス数が符号付き 40 ビットの範囲に余裕を持って収まるように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	スレーブ監視情報検知			イベントコード	74320000Hex	
内容	EtherCAT スレーブ、または NX ユニットの警告を検知しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸に割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが警告を検知した。		スレーブのワーニングコードを確認し、異常原因を除去してください。		なし	
付属情報	付属情報 1: ドライバワーニングコード					
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。					

イベント名	カムテーブル保存命令実行不可			イベントコード	743C0000Hex	
内容	他操作が不揮発性メモリにアクセス中のため、カムテーブルのファイル保存が実行できませんでした。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.Obsr.Active		BOOL		MC 共通 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	他操作（Sysmac Studio による転送、データトレースなど）が不揮発性メモリにアクセス中に MC_SaveCamTable（カムテーブル保存）命令が実行された。		再度 MC_SaveCamTable（カムテーブル保存）命令を実行してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	ブレンディングの中継速度到達までの移動量不足通知			イベントコード	94200000Hex	
内容	ブレンディング中継速度に加減速するための移動量が不足しています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].Obsr.Active	BOOL	軸 監視情報発生中
	_MC_GRP[*].Obsr.Active	BOOL	軸グループ 監視情報発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	［加減速オーバー］に「加減速度を急激にする（ブレンディングをバッファードに切り替える）」が設定されている場合において、Blending 指定時、プロファイル作成の結果、加減速オーバーが発生するため Buffered 扱いに変更した。	Buffered 扱いに変更したくない場合は、［加減速オーバー］で「加減速度を急激にする（ブレンディングをバッファードに切り替える）」以外を設定してください。	Buffered 扱いに変更したくない場合は、［加減速オーバー］で「加減速度を急激にする（ブレンディングをバッファードに切り替える）」以外を設定してください。
	Blending 指定時、既に目標位置に到達しておりプロファイルが正しく描けないため、Buffered 扱いに変更した。	Buffered 扱いに変更された結果、意図しない動作となる場合は、左記の要因が発生しないようにプログラムを修正してください。	Buffered 扱いに変更された結果、意図しない動作となる場合は、左記の要因が発生しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「異常解除」、動作は「該当軸の減速停止」となります。

イベント名	MC 試運転画面からの異常解除実行			イベントコード	94210000Hex	
内容	Sysmac Studio の試運転画面から異常解除が実行されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	MC 試運転異常解除時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし。		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	Sysmac Studio の試運転画面から異常解除が実行された。	－	－

付属情報	付属情報 1: 実行結果　0000_0000Hex: 全解除成功、0000_0001Hex: 全解除失敗
注意点／備考	なし

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="3">スレーブ異常コード確定</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">94220000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="6">「スレーブ異常検知」の発生により、スレーブから異常コードが通知されました。</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">モーション制御機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>軸</td><td>検出タイミング</td><td>「スレーブ異常検知(742F0000Hex)」の発生後</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>一般情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">「スレーブ異常検知(742F0000Hex)」の発生により、スレーブから異常コードが通知されました。</td><td colspan="2">本異常は、「スレーブ異常検知(742F0000Hex)」に付随して発生する情報です。付属情報のスレーブ異常コードを確認して、必要な処置対策を行ってください。</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="6">付属情報 1: スレーブ異常コード</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="6">オムロン製サーボドライバ 1S シリーズまたは G5 シリーズの場合は、付属情報の下 2 けたにサーボドライバの異常コード（エラー表示 No.のメインの番号）が表示されます。
たとえば、付属情報に「FF13」が表示された場合、エラー表示 No.13（主回路電源不足電圧）がサーボドライバで発生しています。</td></tr>
</table>

モーション制御命令関連

モーション制御命令で発生する異常（イベント）の詳細情報を示します。イベントコードの上位 4 けたがモーション制御命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、モーション制御命令のエラーコードが 16#3461 の場合は、34610000Hex のイベントコードの説明を参照してください。

使用上の注意

ユニットバージョン Ver.1.10 以降の CPU ユニットでは、_MC_AX[*]で始まる変数名は、_MC1_AX[*]、_MC2_AX[*]の場合があります。同様に_MC_GRP[*]で始まる変数名は、_MC1_GRP[*]、_MC2_GRP[*]の場合があります。

イベント名	プロセスデータオブジェクト設定不足			**イベントコード**	34610000Hex	
内容	PDO マッピングが正しくありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		**発生源詳細**	軸	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当軸の動作不可		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	モーション命令で必要な PDO マッピングがされていない。		該当命令で必要な PDO マッピングを行ってください。 必要な PDO マッピングについては、該当命令の「機能説明」を参照してください。		使用する命令で必要な PDO マッピングを行ってください。 各命令で必要な PDO マッピング（サーボドライバの設定）については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル モーション制御編(SBCE-433)』を参照してください。	
	該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した。		該当命令に対応する機能を持たない対象機器があります。 対象機器のマニュアルを参照して、該当命令に対応しているか確認し、対応していない命令を実行しないようにプログラムを修正してください。		対象機器のマニュアルを参照し、対応していない命令を実行しないようにプログラムを作成してください。	
	オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸に対して、トリガ条件として Z 相(_mcEncoderMark)を指定してモーション命令を起動した。		オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸では、トリガ条件に外部入力(_mcEXT)を使用してください。		オムロン製 EtherCAT エンコーダスレーブ GX-EC02□□をマッピングした軸では、トリガ条件に外部入力(_mcEXT)を使用してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	電子ギア分子設定範囲外			イベントコード	54200000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumerator」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	電子ギア分母設定範囲外			イベントコード	54210000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominator」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	目標速度設定範囲外			イベントコード	54220000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	加速度設定範囲外			イベントコード	54230000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	減速度設定範囲外			イベントコード	54240000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	ジャーク設定範囲外			イベントコード	54250000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Jerk」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	トルク傾斜設定範囲外			イベントコード	54270000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TorqueRamp」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸係数設定範囲外			イベントコード	54280000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterScaling」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	従軸係数設定範囲外			イベントコード	54290000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveScaling」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	定寸速度設定範囲外			イベントコード	542A0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FeedVelocity」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）が初期値のまま(0)である。		定寸速度（入力変数「FeedVelocity」）に正の値を指定してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	バッファモード選択範囲外			イベントコード	542B0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	座標系選択範囲外			イベントコード	542C0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	円弧補間モード選択範囲外			イベントコード	542D0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CircMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	方向選択範囲外			イベントコード	542E0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	経路選択範囲外			イベントコード	542F0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PathChoice」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	位置種別選択範囲外			イベントコード	54300000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceType」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_COM.MFaultLvl.Active	BOOL	MC 共通 軽度フォールト発生中
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外	該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。	命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	移動方法選択範囲外			イベントコード	54310000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外	該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。	命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	トランジションモード選択範囲外			イベントコード	54320000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
	「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ「TransitionMode」を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定		「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定する場合は「TransitionMode」を「_mcTMNone」に指定、「TransitionMode」を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定する場合には「BufferMode」で「_mcBlendingLow」、「_mcBlendingPrevious」、「_mcBlendingNext」、「_mcBlendingHigh」を指定してください。		「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定する場合は「TransitionMode」を「_mcTMNone」に指定、「TransitionMode」を「_mcTMCornerSuperimposed」に指定する場合には「BufferMode」で「_mcBlendingLow」、「_mcBlendingPrevious」、「_mcBlendingNext」、「_mcBlendingHigh」を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	継続方法選択範囲外			イベントコード	54330000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	入力変数「Continuous (Reserved)」の値が変更された。		入力変数「Continuous (Reserved)」の値を変更しないようにプログラムを修正してください。		入力変数「Continuous (Reserved)」の値を変更しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	加減算方法選択範囲外			イベントコード	54340000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CombineMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	同期開始条件指定範囲外			イベントコード	54350000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「LinkOption」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸従軸同一			イベントコード	54360000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸が同じです。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください。		命令の入力変数「Master」と「Slave」には異なる軸を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸補助軸同一			イベントコード	54370000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定された軸が同じです。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください。		命令の入力変数「Master」と「Auxiliary」には異なる軸を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸／従軸　軸番号非昇順			イベントコード	54380000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定された軸番号が昇順ではありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」指定時、命令の入力変数「Master」と「Slave」のパラメータが非昇順		該当命令の入力変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」を指定する場合には、該当命令の入力変数「Master」と「Slave」に指定される軸番号が昇順になるようにパラメータを修正してください。または、主軸位置種別選択で「_mcCommand」を指定してください。		変数「ReferenceType」で「_mcLatestCommand」を指定する場合には、入力変数の主軸と従軸が昇順になるように指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カムテーブル指定不正			イベントコード	54390000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamTable」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「MC 共通」の場合: 影響なし 発生源詳細が「軸」の場合: 該当従軸の動作不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamTable」にカムデータ変数以外を指定		該当命令の入力変数「CamTable」に指定されるパラメータがカムデータ変数になるようにパラメータを修正してください。		命令の入力変数の「CamTable」にはカムデータ変数を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	同期停止中			イベントコード	543A0000Hex	
内容	モーション制御の同期制御命令が実行されましたが、実行可能な条件ではありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• MC_CamOut（カム動作解除）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令実行中でない。 • MC_GearOut（ギア動作解除）命令が実行されたがMC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令実行中でない。 • MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令が実行されたが、MC_CamIn（カム動作開始）命令、MC_GearIn（ギア動作開始）命令、MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令が実行中でない。		該当命令の実行時に実行可能な条件になるようにプログラムを修正してください。		同期制御命令の実行時には実行可能な条件になるようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可			イベントコード	543B0000Hex	
内容	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「MC 共通」の場合: 影響なし 発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	再起動できないモーション制御命令の再起動		該当命令の出力変数「Busy」がFALSE になるまで入力変数「Execute」が立ち上がらないようにプログラムを修正してください。		再起動できない命令を使用する場合は、入力変数「Execute」の立上げ条件にその命令の出力変数「Busy」が FALSE であること含むようにしてください。または、再度命令を起動する前に一旦命令を停止するようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令多重起動不可			イベントコード	543C0000Hex	
内容	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸／軸グループ	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「MC 共通」の場合: 影響なし 発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行		該当命令の多重起動の仕様を確認し、同時に実行できない命令を同時に実行しないようにプログラムを修正してください。		使用する命令の多重起動の仕様を確認し、同時に実行できない命令を同時に実行しないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸種別不適合			イベントコード	543D0000Hex	
内容	エンコーダ軸に対して動作命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	エンコーダ軸に対して動作命令を実行		該当命令の軸種別設定にサーボ軸または仮想サーボ軸を指定するか、エンコーダ軸に対して該当動作命令を実行しないようにプログラムを修正してください。		動作命令はサーボ軸または仮想サーボ軸に対して実行するようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	多軸協調動作中の命令起動不可			イベントコード	543E0000Hex	
内容	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました。 • 軸グループ有効状態で使用できないロボット命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	軸グループの減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行	該当軸や該当軸グループが多軸協調動作中でないときに該当命令を実行するようにプログラムを修正してください。	多軸協調動作中でない軸または軸グループに軸動作命令を実行するようにしてください。
	軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform（キネマティクス変換設定）命令を実行	軸グループ無効時に、該当命令を実行するようにプログラムを修正してください。	軸グループ無効時に、該当命令を実行するようにしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動			イベントコード	543F0000Hex	
内容	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動	軸グループを有効状態にした後に該当命令を実行するようにプログラムを修正してください。軸グループを有効状態にするにはMC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行してください。	軸グループを有効にしてから多軸協調動作命令を実行してください。軸グループを有効状態にするにはMC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行してください。
	軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 • MC_MoveTimeAbsolute（時間指定絶対値位置指令）命令 • MC_SyncLinearConveyor（コンベア同期動作開始）命令 • MC_SyncOut（同期動作解除）命令 • MC_RobotJog（軸グループジョグ送り）命令		

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	軸グループ有効不可			イベントコード	54400000Hex	
内容	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令の実行に失敗しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可。構成軸の動作は継続		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に停止中でない軸が存在した。		構成軸のすべてが停止中のときに、MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを修正してください。軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です。		構成軸のすべてが停止中のときに、MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを作成してください。軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です。	
	MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令実行時、構成軸の中に MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令実行中の軸が存在した。		構成軸のすべてで MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令が実行されていないときに MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようにプログラムを修正してください。		構成軸のすべてで MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令が実行されていないときに MC_GroupEnable（軸グループ有効）命令を実行するようなプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示			イベントコード	54410000Hex	
内容	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	動作命令は不起動		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行		サーボ ON 後に該当命令を実行するようにプログラムを修正してください。		サーボ ON 後に軸動作命令を実行するようにしてください。	
	MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した。		EtherCAT マスタのシステム定義変数「_EC_PDSlavTbl」（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）が FALSE になっている場合は、その要因を取り除き、「_EC_PDSlavTbl」が TRUE になった後に、MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを実行してください。		コントローラの電源 ON やダウンロード直後、またはスレーブの通信異常の解除、離脱、再加入、無効、有効直後に MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを実行する場合は、EtherCAT マスタのシステム定義変数の「_EC_PDSlavTbl」（プロセスデータ通信中スレーブテーブル）が TRUE になったことを確認してから実行するようにプログラムを作成してください。	
付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 異常が発生した論理軸番号					
注意点／備考	なし					

イベント名	構成軸強制停止中エラー			イベントコード	54420000Hex	
内容	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した。		構成軸の強制停止命令の入力変数「Execute」を FALSE にして実行を止め、異常解除を実行した後に動作指令を与えるようにしてください。		構成軸の強制停止命令の入力変数「Execute」を FALSE にして終了させてから軸グループの動作命令を実行するようにしてください。	
付属情報	付属情報 1 : 強制停止されている論理軸番号					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令多重起動数オーバー			イベントコード	54430000Hex	
内容	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた。		該当命令実行時にバッファリング数が上限を超えないようにプログラムを修正してください。		軸命令の場合は、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えないようにしてください。	
	軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた。				軸グループ命令の場合は、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	移動量不足			イベントコード	54440000Hex	
内容	位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度または加速度で指定通りの動作を実行できません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	［加減速オーバー］を「異常として停止する」に設定しているときに、位置決め命令の多重起動／再起動時に指定された減速度／加速度での目標位置停止ができない。	該当命令の動作仕様に基づき、位置決め動作が多重起動／再起動するタイミングで指定した減速度、または加速度で目標位置を超過しないようにプログラムを修正してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定に変更してください。	使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定にしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	ブレンディング中継速度に到達するための移動量不足			イベントコード	54450000Hex	
内容	中継速度に加減速するための移動量が不足しています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令多重起動開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	［加減速オーバー］に「異常として停止する」が設定されているときに、現指令を中継速度に加減速するための移動量が不足した。	該当命令の動作仕様に基づき、移動量が不足しないようにプログラムを修正してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定に変更してください。	使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。 または、［加減速オーバー］を「異常として停止する」以外の設定にしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	台形パターンカム等速移動量不足			イベントコード	54460000Hex	
内容	主軸の等速移動量が「0」未満です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveLink（台形パターンカム）命令において、主軸の等速移動量が「0」未満		（主軸移動距離≧主軸加速移動距離＋主軸減速移動距離）となるようプログラムを修正してください。		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	位置指定ギア動作目標速度不足			イベントコード	54470000Hex	
内容	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、従軸の「目標速度」が小さいため、必要な速度に到達しません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令において、入力変数「Velocity（目標速度）」の値が（命令起動時の主軸速度×ギア比）より小さい。		該当命令の動作仕様に基づき、（命令起動時の主軸速度×ギア比）より大きくなるように入力変数「Velocity（目標速度）」の値を設定してください。		使用する命令の動作仕様を確認しておき、本異常が発生しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	円弧補間始点終点同一			イベントコード	54480000Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に始点と終点が同じ位置です。または、通過点指定方式の指定時に始点と終点と通過点が同じ位置です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、始点と終点の位置が同一		該当命令の始点と終点の位置が同一の状態で半径指定方式を指定しないようにプログラムを修正してください。		半径指定方式の円弧補間を実行する場合は、始点と終点が同一にならないようにしてください。	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式が指定され、始点と終点と通過点の位置が同一		該当命令の始点と終点と通過点の位置が同一の状態で通過点指定方式を指定しないようにプログラムを修正してください。		通過点指定方式の円弧補間を実行する場合は、始点と終点と通過点が同一にならないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	円弧補間中心点指定位置範囲外			イベントコード	54490000Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式の指定時に、中心点の位置指定が許容範囲を超えています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、中心点指定方式が指定され、始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の「中心点補正許容率」で指定した許容範囲を超えた。		始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の「中心点補正許容率」で指定した許容範囲よりも小さくなるような中心点が設定されるように修正してください。		始点と中心点の距離と、終点と中心点の距離の差が、軸グループ設定の「中心点補正許容率」で指定した許容範囲以下になるようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カウントモード設定による命令起動異常			イベントコード	544A0000Hex	
内容	カウントモードがロータリモードに設定されている軸に対してロータリモードで使用できない命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カウントモードがロータリモードに設定されている軸をロータリモードで使用できない命令で使用		該当命令で指定している該当軸のカウントモードの設定をリニアモードに変更してください。		使用する命令が実行できるカウントモードを確認して軸のカウントモードを設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	パラメータ選択範囲外			イベントコード	544C0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令非実行		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	停止方法選択範囲外			イベントコード	544D0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StopMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外			イベントコード	544E0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::LatchID」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	MC 設定書込の設定範囲外			イベントコード	544F0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令非実行		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
	パラメータ指定と設定値のデータ型が一致していない。		パラメータ指定と設定値のデータ型が一致するように修正してください。		パラメータ指定と設定値のデータ型は一致させてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	トリガ入力条件のモード選択範囲外			イベントコード	54500000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::Mode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外			イベントコード	54510000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「TriggerInput::InputDrive」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可（軸指定）			イベントコード	54530000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Axis」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可（バッファモード選択）			イベントコード	54540000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「BufferMode」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸/軸グループ	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。	該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。	使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	モーション命令再起動不可（方向選択）			イベントコード	54550000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Direction」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。	該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。	使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	モーション命令再起動不可（繰り返しモード）			イベントコード	54560000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Periodic」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可（軸グループ指定）			イベントコード	54570000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「AxesGroup」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可（躍動設定）			イベントコード	54580000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Jerk」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。	該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。	使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	モーション命令再起動不可（主軸）			イベントコード	54590000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Master」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。	該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。	使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	モーション命令再起動不可(MasterOffset)			イベントコード	545A0000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterOffset」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(MasterScaling)			イベントコード	545B0000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterScaling」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(MasterStartDistance)			イベントコード	545C0000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MasterStartDistance」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(Continuous)			イベントコード	545D0000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「Continuous」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(MoveMode)			イベントコード	545E0000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「MoveMode」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸指定不正			イベントコード	545F0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在していません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。 該当従軸の動作中は該当従軸は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が存在しない変数		該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください。		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸指定不正			イベントコード	54600000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在していません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令非実行		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Axis」に指定された軸が存在しない変数		該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください。		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸グループ指定不正			イベントコード	54610000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令非実行		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数		該当命令で指定されている軸グループを存在する軸グループ変数に修正してください。		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください。	
	命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない。		該当命令で指定されている軸グループを使用軸グループに設定してください。		入力変数「AxesGroup」に指定する軸グループは使用軸グループに設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸指定不正			イベントコード	54620000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Master」に指定された軸が不正です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は該当従軸は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Master」に指定された軸が存在しない変数		該当命令で指定されている軸を存在する変数に修正してください。		命令への入力パラメータに変数を指定する場合は存在する変数を指定してください。	
	MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の場合に、入力変数「Master」に指定された軸が同期主軸でない。		MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の入力変数「Master」に入力されている変数を同期制御命令の主軸に指定されている軸に修正してください。		MC_Phasing（主軸相対値位相補正）命令の入力変数「Master」に入力されている変数は、同期制御命令の主軸に指定されている軸にしてください。	
	主軸と従軸を割り付けているタスクが同一でない。		該当命令の入力変数「Master」と入力変数「Slave」に入力している軸を、同一タスクに割り付けてください。		主軸と従軸には、同一タスクに割り付けられている軸を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(SlaveOffset)			イベントコード	54630000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveOffset」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(SlaveScaling)			イベントコード	54640000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「SlaveScaling」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可(StartPosition)			イベントコード	54650000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartPosition」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	原点未確定状態での命令起動異常			イベントコード	54660000Hex	
内容	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令が実行されました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸/軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	原点未確定状態で高速原点復帰が実行された。	原点復帰によって原点を確定してから該当する高速原点復帰を実行してください。	原点復帰により原点確定した状態にしてから高速原点復帰命令を実行してください。
	原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令が実行された。	原点復帰によってすべての構成軸の原点を確定してから該当する補間命令を実行してください。	原点復帰によりすべての構成軸の原点を確定してから補間命令を実行してください。
	原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令が実行された。 • MC_SetKinTransform（キネマティクス変換設定）命令 • MC_MoveTimeAbsolute（時間指定絶対値位置指令）命令 • MC_SyncLinearConveyor（コンベア同期動作開始）命令 • MC_SyncOut（同期動作解除）命令 • MC_GroupMon（軸グループモニタ）命令 • MC_RobotJog（軸グループジョグ送り）命令		

付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 論理軸番号
注意点／備考	原点復帰実行後でも、「現在位置変更」命令を実行した場合、原点未確定状態になるため、改めて原点復帰の実行により原点確定状態にすることが必要です。

イベント名	モーション命令再起動不可（位置種別）			イベントコード	54670000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「ReferenceType」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。	該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。	使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	未使用軸指定（主軸）			イベントコード	54680000Hex	
内容	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の動作中は該当従軸は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	モーション制御命令で指定された主軸が未使用軸		該当命令で指定されている主軸を使用軸に修正してください。		モーション制御命令で指定する主軸には使用軸を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	開始位置設定範囲外			イベントコード	54690000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	終了位置設定範囲外			イベントコード	546A0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	開始位置／終了位置・大小関係不正（リニアモード）		イベントコード	546B0000Hex		
内容	モーション制御命令の入力変数「LastPosition」に指定されたパラメータが入力変数「FirstPosition」に指定されたパラメータよりも小さい値です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カウントモードがリニアモードの時、命令の入力パラメータで「LastPosition」の値が「FirstPosition」の値よりも小さい		該当命令で指定されている「LastPosition」の値が「FirstPosition」の値以上となるように修正してください。または、カウントモードをロータリモードに変更してください。		該当命令で指定されている「LastPosition」の値が「FirstPosition」の値以上となるようにプログラムを作成してください。または、該当軸のカウントモードがロータリモードになっていることを確認してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸同期位置設定範囲外		イベントコード	546C0000Hex		
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の動作中は該当従軸は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	従軸同期位置設定範囲外		イベントコード	546D0000Hex		
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveSyncPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	トリガ入力条件のラッチ ID 重複			イベントコード	546E0000Hex	
内容	モーション制御命令で指定されたラッチ ID が複数の命令で重複しています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同じラッチ ID が同時に使用されている。		同じラッチ ID が該当命令と他の命令で同時に使用されないようにプログラムを修正してください。異なるラッチ ID を使用するようにするか、同じラッチ ID を使用する命令を同時に実行しないようにしてください。 なお、MC_Home（原点復帰）命令、または MC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令の実行中はラッチ機能 1/2 とも使用中の扱いとなります。		MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令、MC_MoveLink（台形パターンカム）命令、MC_MoveFeed（割り込み定寸位置決め）命令で同時に同じラッチ ID を使用しないようにしてください。	
	MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令以外で使用中のラッチを MC_AbortTrigger（外部ラッチ無効）命令で中止しようとした。		外部ラッチ有効命令以外で使用中のラッチを外部ラッチ無効命令で中止しないようにしてください。		外部ラッチ有効命令以外で使用中のラッチは、外部ラッチ無効命令を実行しないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	ラッチ ID を変更する場合、他の命令でそのラッチ ID が同時に使用されていないことを確認してください。					

イベント名	ジャークオーバーライド値範囲外			イベントコード	546F0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「JerkFactor」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸/軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	加減速度オーバーライド値範囲外			イベントコード	54700000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AccFactor」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸/軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	開始位置方式指定範囲外			イベントコード	54710000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StartMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	モーション命令再起動不可（開始位置方式）			イベントコード	54720000Hex	
内容	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「StartMode」のパラメータを変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令再起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。		該当命令の再起動時に該当入力変数のパラメータが変わらないようにプログラムを修正してください。		使用するモーション制御命令の各入力変数が再起動時に変更可能かをマニュアルで確認し、変更不可能な入力変数では再起動時に入力パラメータが変化しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	未使用軸指定（補助軸）			イベントコード	54740000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の動作中は該当従軸は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」に指定された軸が未使用軸		該当命令で指定されている軸を使用軸に設定してください。または使用軸を指定するようにパラメータを修正してください。		命令で指定する軸は使用軸にしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	位置指定ギア指定値異常			イベントコード	54750000Hex	
内容	モーション制御命令に入力された速度／加速度／減速度では同期動作できません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令に入力された速度／加速度／減速度では指定された同期の動作を行えない。		MC_GearInPos（位置指定ギア動作）命令の動作仕様に基づき、同期動作可能な設定になるようにプログラムを修正してください。		使用する命令の処理を確認し、同期動作可能な設定になるように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	位置指定ギア主軸速度ゼロ			イベントコード	54760000Hex	
内容	モーション制御命令の起動時に主軸の速度が「0」です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の起動時に主軸の速度が「0」		該当命令の起動時に主軸の速度が「0」にならないようにプログラムを修正してください。		命令の実行時に主軸の速度が「0」にならないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	目標位置設定範囲外			イベントコード	54780000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外	該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。	命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。
	ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外	ロータリモードの軸においては、目標位置をリング設定の範囲内になるように修正してください。	ロータリモードの軸においては、目標位置をリング設定の範囲内になるようにしてください。

付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 該当命令の入力変数「Position」のうち、範囲外となっている要素番号
注意点／備考	なし

イベント名	移動距離範囲外			イベントコード	54790000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Distance」に指定されたパラメータが範囲外、または「Distance」の値を加算した目標位置が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている。	該当命令の入力変数「Distance」で指定される入力パラメータを移動距離や目標位置が範囲外にならないように修正してください。	命令で移動距離や目標位置が範囲外にならないようにプログラムを作成してください。
	リニアモードの軸において、移動距離を加算した目標位置をパルス単位に変換したときに、符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	カムテーブル始点位置設定範囲外			イベントコード	547A0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「StartPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外			イベントコード	547B0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterStartDistance」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	円弧補間半径指定異常			イベントコード	547C0000Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式の指定時に指定された半径で円弧の軌跡が作成できません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、半径指定方式が指定され、指定された半径では円弧の軌跡が作成できない。		円弧の軌跡が作成できるように半径を修正してください。		使用する命令の処理を確認し、円弧の軌跡が作成できるような半径を設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	円弧補間半径オーバーフロー			イベントコード	547D0000Hex	
内容	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径が最大値を超えました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令において、通過点指定方式／中心点指定方式のときに、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えた。		該当命令を動作仕様に基づき、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えないように入力パラメータを修正してください。 通過点指定の場合: 始点、通過点、終点 中心点指定の場合: 始点、終点、中心点		使用する命令の処理を確認し、円弧の半径をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えないような入力パラメータにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	半径指定方式の場合に半径が最大値を超えたときは、「通過点位置／中心位置／半径指定範囲外」異常が出ます。					

イベント名	円弧軸指定範囲外			イベントコード	547E0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CircAxes」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		該当命令に入力されているパラメータを入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
	「CircAxes」に指定された軸が軸グループ設定の構成軸に含まれていない。		「CircAxes」に指定する軸を軸グループ構成に含むように設定を変更してください		「CircAxes」に指定する軸を軸グループ構成に含めておいてください	
	「CircAxes」の 2 軸に同一の軸を指定している。		「CircAxes」に指定する 2 軸が異なる軸になるように修正してください。		「CircAxes」で指定する 2 軸が異なるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸／従軸・軸番号非昇順			イベントコード	547F0000Hex	
内容	モーション制御命令で指定された入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータの値が昇順に並んでいません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが非昇順		該当命令の「Auxiliary」と「Slave」の入力パラメータに指定する軸番号が昇順になるように修正してください。		「Auxiliary」と「Slave」に指定する軸番号が昇順になるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常			イベントコード	54800000Hex	
内容	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明しました。または、計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	有効データ数計算中に位相が昇順になっていないことが判明した。		カムデータを位相が昇順になるように修正してください。		カムテーブルデータの位相が昇順になるようにしてください。	
	計算した結果、有効データ数が「0」であることが判明した。		カムテーブルのデータを「0」以外の位相も含むように修正してください。		カムテーブルのデータを「0」以外の位相も含むようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	MC 設定書込の対象範囲外			イベントコード	54810000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸移動距離指定範囲外			イベントコード	54820000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistance」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸加速移動距離指定範囲外			イベントコード	54830000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInACC」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸減速移動距離指定範囲外			イベントコード	54840000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterDistanceInDEC」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	実行モード選択範囲外			イベントコード	54870000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ExecutionMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸間偏差許容値範囲外			イベントコード	54880000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PermittedDeviation」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令非実行		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外			イベントコード	54890000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	通過点指定または中心指定の場合、「AuxPoint」の値をパルス単位に変換したときに、符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
	半径指定の場合、「AuxPoint[0]」の絶対値をパルス単位に変換したときに、40 ビットの範囲を超えている。					
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	終点指定範囲外			イベントコード	548A0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「EndPoint」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可 該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	従軸移動距離指定範囲外			イベントコード	548B0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveDistance」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	位相補正量範囲外			イベントコード	548C0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「PhaseShift」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	定寸距離範囲外			イベントコード	548D0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「FeedDistance」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータの絶対値をパルス単位に変換したときに 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸／従軸同一			イベントコード	548E0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定された軸が同じです。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」のパラメータが同一		該当命令の入力変数「Auxiliary」と「Slave」に指定される軸が異なるようにパラメータを修正してください。		命令の入力変数の補助軸と従軸には異なる軸を指定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	相対位置選択範囲外			イベントコード	548F0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「Relative」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	カムトランジション指定選択範囲外			イベントコード	54900000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamTransition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	同期制御解除モード選択範囲外			イベントコード	54910000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「OutMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	外部ラッチ有効命令実行不可			イベントコード	54920000Hex	
内容	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	エンコーダ軸に対して、入力変数「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの MC_TouchProbe（外部ラッチ有効）命令を実行した。		エンコーダ軸に対して「StopMode」に「_mcImmediateStop（即停止）」を指定しないようプログラムを修正してください。		「_mcImmediateStop（即停止）」を指定してドライバモードの外部ラッチ有効命令を実行する場合は、サーボ軸に対し実行するようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸オフセット設定範囲外			イベントコード	54930000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「MasterOffset」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	従軸オフセット設定範囲外			イベントコード	54940000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「SlaveOffset」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可 該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	指令現在位置カウント選択範囲外			イベントコード	54950000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「CmdPosMode」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸ギア比分子範囲外			イベントコード	54960000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸ギア比分母範囲外			イベントコード	54970000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorMaster」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸ギア比分子範囲外			イベントコード	54980000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioNumeratorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸ギア比分母範囲外			イベントコード	54990000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「RatioDenominatorAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	主軸位置種別選択範囲外			イベントコード	549A0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeMaster」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	補助軸位置種別選択範囲外			イベントコード	549B0000Hex	
内容	モーション制御命令の入力変数「ReferenceTypeAuxiliary」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当従軸の動作不可。該当従軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	目標位置リングカウンタ範囲外			イベントコード	549C0000Hex	
内容	実行された命令の目標位置がリングカウンタの範囲外のため、動作することができません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときに、高速原点復帰が実行された。		リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときは、高速原点復帰を実行することはできません。高速原点復帰を行わないようにプログラムを修正してください。または該当軸のリングカウンタの範囲に 0 が含まれる設定になるよう変更してください。		リングカウンタの範囲に 0 が含まれない設定のときは、高速原点復帰を実行することはできません。高速原点復帰を行わないようにプログラムを作成してください。または該当軸のリングカウンタの範囲に 0 が含まれる設定になるようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	軸グループ構成軸設定範囲外			イベントコード	549D0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「Axes」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸グループの動作不可。該当軸グループの軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
	軸グループの構成軸を割り付けているタスクが同一でない。		該当命令の入力変数「Axes」で指定される軸を、すべて同一タスクに割り付けてください。		軸グループの構成軸には、同一タスクに割り付けられている軸を指定してください。	
付属情報	付属情報 1 : 異常の詳細 01Hex: 型指定異常 02Hex: 配列の要素数が構成軸数より小さい 03Hex: 指定した軸番号が重複、指定した軸番号の軸種別が対象外、指定した軸番号が範囲外 04Hex: 指定した軸番号の軸が単軸位置制御軸であるため構成軸に設定できない					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.01 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸使用設定範囲外			イベントコード	549E0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxisUse」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	使用軸に対する命令の実行で異常が発生した場合は軸の異常となり、未使用軸に対する命令の実行で異常が発生した場合は MC 共通の異常となります。					

*1. ユニットバージョン Ver.1.04 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	原点復帰パラメータ設定範囲外			イベントコード	57000000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	付属情報 1: 異常の詳細 1: 原点復帰動作範囲外、2: 原点入力信号範囲外、3: 原点復帰開始方向範囲外、4: 原点検出方向範囲外、5: 正方向限界入力時動作範囲外、6: 負方向限界入力時動作範囲外、7: 原点復帰速度範囲外、8: 原点復帰アプローチ速度範囲外、9: 原点復帰加速度範囲外、10: 原点復帰減速度範囲外、11: 原点復帰ジャーク範囲外、12: 原点入力マスク距離範囲外、13: 原点位置オフセット範囲外、14: 原点復帰押し当て時間範囲外、15: 原点復帰補正値範囲外、16: 原点補正速度範囲外、100: 原点入力マスク距離がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、101: 原点入力マスク距離がリング長を超えている、102: 原点復帰補正値がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、103: 原点復帰補正値がリング長を超えている、104: 原点位置オフセットがパルス単位変換後 40 ビットを超えている、105: 原点位置オフセットがリング範囲外、106: 原点復帰速度が最高速度を超えている、107: 原点復帰アプローチ速度が最高速度を超えている、108: 原点復帰アプローチ速度≦原点復帰速度となっていない、109: 原点復帰補正速度≦最高速度となっていない、110: 原点復帰加速度が最大加速度を超えている、111: 原点復帰減速度が最大減速度を超えている					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.03 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸未使用切り替え異常			イベントコード	57020000Hex *1	
内容	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	停止中でない、または指令速度飽和中の軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した。		異常解除を実行し、軸が停止しているとき、指令速度飽和中でないときに MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行してください。軸変数の「Status.Disabled」または「Status.Standstill」が TRUE のとき、その軸は停止中です。軸変数の「Details.VelLimit」が TRUE のとき、その軸は指令速度飽和中です。		軸が停止しているとき、指令速度飽和中でないときに MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.04 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸使用切り替え不可			イベントコード	57030000Hex *1	
内容	使用実軸最大数または使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用実軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した。		使用している CPU ユニットの使用実軸最大数を超えないようにプログラムを修正してください。		使用している CPU ユニットの使用実軸最大数を超えないようにプログラムを作成してください。	
	使用モーション制御サーボ軸最大数を超えるように MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行した。		使用している CPU ユニットの使用モーション制御サーボ軸最大数を超えないようにプログラムを修正してください。		使用している CPU ユニットの使用モーション制御サーボ軸最大数を超えないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	付属情報 1: 異常の発生要因 • 1: 使用実軸最大数を超えた • 2: 使用モーション制御サーボ軸最大数を超えた					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常		イベントコード	57200000Hex *1		
内容	使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が不正です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、未使用軸から使用軸に切り替えた軸のモーション制御パラメータ設定が正しくない。		Sysmac Studio を使用して、異常が発生した軸の［軸使用］を［使用軸］に変更し、異常箇所を確認して修正してください。異常が発生しなければ［未使用軸］に再変更してダウンロードしてください。		［使用軸］の設定で正常に動作することを確認してから、［未使用軸］としてダウンロードしてください。	
	モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した。		Sysmac Studio からモーション制御パラメータ設定をダウンロードしてください。		パラメータ設定の保存中に電源断しないでください。	
	不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.04 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定		イベントコード	57210000Hex *1		
内容	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが設定されていません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用軸に切り替えた軸の軸種別の必須オブジェクトが PDO マッピング設定に設定されていない。		Sysmac Studio の［PDO マッピング設定の編集］で、異常が発生した軸の必須オブジェクトを設定してください。 必須オブジェクトについては、ユーザーズマニュアル モーション制御編の PDO マッピングの記載を参照してください。		［使用軸］の設定で正常に動作することを確認してから、［未使用軸］としてダウンロードしてください。	
	モーション制御パラメータ設定のダウンロード中に電源断した。		Sysmac Studio からモーション制御パラメータ設定をダウンロードしてください。		パラメータ設定の保存中に電源断しないでください。	
	不揮発性メモリの故障、または不揮発性メモリの寿命。		上記の処置で本異常が解除されない場合は、CPU ユニットを交換してください。		なし	
	［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令が実行された。		［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しないようにプログラムを修正してください。		［軸使用］が［未使用軸（使用軸に切替不可）］に設定されている軸に対して MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令を実行しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.04 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	モーション命令多重起動不可（主軸）			イベントコード	572F0000Hex *1	
内容	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令多重起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令多重起動時に変更できない入出力変数「Master」を変更		該当命令の多重起動時に入出力変数「Master」の値を変更しないようにプログラムを修正してください。		該当命令の多重起動時に入出力変数「Master」の値を変更しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）			イベントコード	57300000Hex *1	
内容	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令多重起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令多重起動時に変更できない入出力変数「ReferenceType」を変更		該当命令の多重起動時に入出力変数「ReferenceType」の値を変更しないようにプログラムを修正してください。		該当命令の多重起動時に入出力変数「ReferenceType」の値を変更しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸パラメータ書込不可			イベントコード	573A0000Hex *1	
内容	未使用軸以外の軸に対して該当命令を起動しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	使用軸または未作成軸に対して該当命令を起動した。		MC_ChangeAxisUse（軸使用変更）命令で、対象軸を未使用軸に変更した後に該当命令を起動するようにプログラムを修正してください。		該当命令の起動時に、対象軸が未使用軸となるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	軸パラメータ設定範囲外			**イベントコード**	573B0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが有効範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		**発生源詳細**	MC 共通	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入力変数「AxisParameter」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータまたはパラメータ間の不整合事項は付属情報で確認できます。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。 入力変数の有効範囲はMC_WriteAxisParameter（軸パラメータ書込）命令を参照してください。	
付属情報	付属情報 1: 異常の詳細 • 範囲チェックの詳細コード 0000Hex: 表示単位範囲外、0001Hex: モータ 1 回転のパルス数範囲外、0002Hex: モータ 1 回転の移動量範囲外、0003Hex: ワーク側 1 回転の移動量範囲外、0004Hex: ワーク側ギア比範囲外、0005Hex: モータ側ギア比範囲外、0100Hex: 最高速度範囲外、0101Hex: 起動速度範囲外、0102Hex: ジョグ最高速度範囲外、0103Hex: 最大加速度範囲外、0104Hex: 最大減速度範囲外、0105Hex: 加減速オーバー範囲外、0106Hex: 反転時動作範囲外、0107Hex: 速度警告値範囲外、0108Hex: 加速度警告値範囲外、0109Hex: 減速度警告値範囲外、010AHex: 正方向トルク警告値範囲外、010BHex: 負方向トルク警告値範囲外、010CHex: インポジション幅範囲外、010DHex: インポジションチェック時間範囲外、010EHex: フィードバック速度フィルタ時定数範囲外、010FHex: 原点位置範囲範囲外、0200Hex: 即停止入力停止方法範囲外、0201Hex: 限界入力停止方法範囲外、0202Hex: ドライバエラーリセット監視時間範囲外、0203Hex: 正方向トルク制限上限値範囲外、0204Hex: 負方向トルク制限上限値範囲外、0300Hex: ソフトウェアリミット機能範囲外、0301Hex: 正方向ソフトウェアリミット範囲外、0302Hex: 負方向ソフトウェアリミット範囲外、0303Hex: 位置偏差オーバー値範囲外、0304Hex: 位置偏差警告値範囲外、0400Hex: カウントモード範囲外、0401Hex: リングカウンタ上限設定値範囲外、0402Hex: リングカウンタ下限設定値範囲外、0500Hex: 原点復帰動作範囲外、0501Hex: 原点入力信号範囲外、0502Hex: 原点復帰開始方向範囲外、0503Hex: 原点検出方向範囲外、0504Hex: 正方向限界入力時動作範囲外、0505Hex: 負方向限界入力時動作範囲外、0506Hex: 原点復帰速度範囲外、0507Hex: 原点復帰アプローチ速度範囲外、0508Hex: 原点復帰加速度範囲外、0509Hex: 原点復帰減速度範囲外、050AHex: 原点復帰ジャーク範囲外、050BHex: 原点入力マスク距離範囲外、050CHex: 原点位置オフセット範囲外、050DHex: 原点復帰押し当て時間範囲外、050EHex: 原点復帰補正値範囲外、050FHex: 原点復帰補正速度範囲外 • 整合チェックの詳細コード 1000Hex: ワーク側 1 回転の移動量×ワーク側ギア比／モータ側ギア比の値が 0.000000001～2^{32}-1 の範囲外である、1001Hex: モータ 1 回転のパルス数×モータ側ギア比の値が 40 ビットを超えている、1100Hex: パルス単位変換後の最高速度が上限値を超えている *2、1101Hex: 起動速度が最高速度を超えている、1102Hex: ジョグ最高速度が最高速度を超えている、1103Hex: インポジション幅がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1104Hex: 原点位置範囲がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1300Hex: 正方向ソフトウェアリミットがパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1301Hex: 負方向ソフトウェアリミットがパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1302Hex: 正方向ソフトウェアリミット＞負方向ソフトウェアリミットとなっていない、1303Hex: 位置偏差オーバー値がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1304Hex: 位置偏差オーバー値≧位置偏差警告値となっていない、1400Hex: リングカウンタ上限設定値がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1401Hex: リングカウンタ下限設定値がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1402Hex: リングカウンタ上限設定値＞リングカウンタ下限設定値となっていない、1403Hex: ｜リングカウンタ上限設定値－リングカウンタ下限設定値｜がパルス単位変換後 2 以上となっていない、1500Hex: 原点復帰速度が最高速度を超えている、1501Hex: 原点復帰アプローチ速度≦原点復帰速度となっていない、1502Hex: 原点復帰加速度が最大加速度を超えている、1503Hex: 原点復帰減速度が最大減速度を超えている、1504Hex: 原点入力マスク距離がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1505Hex: 原点入力マスク距離がリング長を超えている、1506Hex: 原点位置オフセットがパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1507Hex: 原点位置オフセットがリング範囲外、1508Hex: 原点復帰補正値の絶対値がパルス単位変換後 40 ビットを超えている、1509Hex: 原点復帰補正値の絶対値がリング長を超えている、150AHex: 原点復帰補正速度≦最高速度となっていない （注）複数の異常が発生している場合でも、表示されるコードはひとつだけです。表示の優先順位は「範囲チェックの詳細コード」→「整合チェックの詳細コード」です。						
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

*2. 最高速度の上限値は、ユニットバージョンが Ver.1.10 以前の場合は 500MHz、Ver.1.11 以降の場合は 2,147,483,647Hz です。

イベント名	カムプロパティ設定範囲外			**イベントコード**	573C0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが有効範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		**発生源詳細**	MC 共通	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入力変数「CamProperty」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータは付属情報で確認できます。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	付属情報 1: 異常の詳細 • 0000Hex: 初期速度範囲外 • 0001Hex: 初期加速度範囲外 • 0002Hex: サイクルタイム範囲外					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムノード設定範囲外			**イベントコード**	573D0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが有効範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		**発生源詳細**	MC 共通	**検出タイミング**	命令起動時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。 範囲を超えているパラメータは付属情報で確認できます。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	付属情報 1: 異常の詳細 • 0000Hex: 主軸位相範囲外 • 0001Hex: 従軸変位範囲外 • 0002Hex: 曲線形状範囲外 • 0003Hex: 接続速度範囲外 • 0004Hex: 接続加速度範囲外 • 0005Hex: 位相間隔幅範囲外 付属情報 2: 異常となったノードポイントの要素番号					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムノード型指定不正			イベントコード	573E0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが_sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータが_sMC_CAM_NODE 型の配列変数以外		該当命令の入力変数に sMC_CAM_NODE 型の配列変数を指定するようにプログラムを修正してください。		該当命令の入力変数に sMC_CAM_NODE 型の配列変数を指定するようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムテーブル生成ノード数不足			イベントコード	573F0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」の値が「0」です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」（主軸位相）の値が「0」		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」（主軸位相）の値が「0」以外となるようにプログラムを修正してください。		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、要素番号 0 の「Phase」（主軸位相）の値が「0」以外となるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムノード主軸位相非昇順			イベントコード	57400000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、「Phase」の値が要素番号順に昇順となっていません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「CamNodes」に指定されたパラメータの配列変数で、「Phase」（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となっていない。または、有効桁 8 桁め以降の切り捨ての結果、非昇順となった。		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、「Phase」（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となるようにプログラムを修正してください。		入力変数「CamNodes」に指定するパラメータの配列変数で、「Phase」（主軸位相）の値が要素番号順に昇順となるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	付属情報 1: 異常となったノードポイントの要素番号					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムテーブル生成データ点数過多			イベントコード	57410000Hex *1	
内容	生成するカムデータ数が、モーション制御命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えている。		生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えないようにプログラムを修正してください。 生成するカムテーブルのカムデータ数は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください。		生成するカムテーブルのカムデータ数が、命令の入力変数「CamTable」で指定したカムデータ変数の配列の要素数を超えないようにプログラムを作成してください。 生成するカムテーブルのカムデータ数は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください。	
付属情報	付属情報 1: 異常となったノードポイントの要素番号					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムテーブル生成変位オーバーフロー			イベントコード	57420000Hex *1	
内容	生成するカムテーブルの「Distance」が REAL 型で表現できる範囲を超えています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通	検出タイミング	命令起動時／命令実行中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	生成するカムテーブルの「Distance」が REAL 型で表現できる範囲を超えている。		入力変数「CamNodes」の「Curve」（曲線形状）に 3 次曲線または 5 次曲線を指定している場合、「Distance」がオーバーフローしないように「InitVel」（初期速度）、「ConnectingVel」（接続速度）、「ConnectingAcc」（接続加速度）の値を修正してください。 「Distance」の計算方法は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください。		入力変数「CamNodes」の「Curve」（曲線形状）に 3 次曲線または 5 次曲線を指定している場合、「Distance」がオーバーフローしないように「InitVel」（初期速度）、「ConnectingVel」（接続速度）、「ConnectingAcc」（接続加速度）の値を指定してください。 「Distance」の計算方法は MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令を参照してください。	
付属情報	付属情報 1: 異常となったノードポイントの要素番号					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	生成中止カムテーブルの使用			イベントコード	57430000Hex *1	
内容	該当命令の入力変数「CamTable」に生成中止されたカムデータ変数が指定されています。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	MC 共通／軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_COM.MFaultLvl.Active		BOOL		MC 共通 軽度フォールト発生中	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の異常で生成中止されたカムデータ変数が、該当命令の入力変数「CamTable」に指定されている。		MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令の出力変数「ErrorID」（エラーコード）、「ErrorParameterCode」（パラメータ詳細コード）、「ErrorNodePointIndex」（ノードポイント要素番号）を確認し、正常なカムデータ変数を生成するようにプログラムを修正してください。		MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令が正常なカムデータ変数を生成するようにプログラムを作成してください。または、MC_GenerateCamTable（カムテーブル生成）命令が正常に完了した場合だけ、該当命令を起動するようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.08 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	実行 ID 設定範囲外			イベントコード	57490000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の軸動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「ExecID」に指定されたパラメータが入力変数の範囲外		命令の入力変数「ExecID」に指定される入力パラメータが範囲内になるようにプログラムを修正してください。		命令の入力変数「ExecID」に指定される入力パラメータが範囲内になるようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.10 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	位置オフセット範囲外			イベントコード	574A0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「OffsetPosition」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータをパルス単位に変換したときに符号付き 40 ビットの範囲を超えている。		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.10 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	PDS 状態遷移指令選択範囲外			イベントコード	574B0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「TransitionCmd」に指定されたパラメータが範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外		該当命令で入力変数の範囲を超えないようにパラメータを修正してください。		命令への入力パラメータが入力変数の範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.10 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	単軸位置制御軸モーション命令起動不可			イベントコード	574C0000Hex *1	
内容	単軸位置制御軸に対して、実行できない動作命令を実行しました					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	単軸位置制御軸に対して、実行できない動作命令を実行した		命令で指定している軸の軸基本設定の制御機能に「0: すべて」を設定してください。 または、軸基本設定の制御機能に「0: すべて」が設定されている軸を指定するようにしてください		同左	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.13 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	カムモニタモード選択設定範囲外			イベントコード	57510000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入力変数「CamMonitorMode」に指定されたカムモニタモード選択が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カムモニタモード選択が設定の範囲外		正しいカムモニタモード選択に修正してください		カムモニタモード選択を正しく設定してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX102-□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.32 以降、および形 NX701-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-□□□□（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.21 以降で発生するイベントです。

イベント名	カムモニタ値データ型不一致			イベントコード	57520000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「CamMonitorValue」に指定されたカムモニタ値変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	カムモニタ値に指定した変数のデータ型がカムモニタモード選択と不一致		正しいカムモニタ値に指定した変数のデータ型に修正してください		カムモニタ値に指定した変数のデータ型を正しく設定してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 形 NX102-□□□□の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.32 以降、および形 NX701-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NJ501-□□□□（形 NJ501-□□20 を除く）、形 NJ301-□□□□、形 NJ101-□□00 の CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.21 以降で発生するイベントです。

イベント名	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー			イベントコード	64400000Hex	
内容	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸グループ 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外		該当命令の入力変数「Position」で指定されているパラメータを正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください。		命令の入力変数「Position」に指定される入力パラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください。	
	開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行		該当命令での移動方向が正方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを修正してください。		開始位置が正方向ソフトウェアリミット範囲外の場合は、移動方向が正方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを作成してください。	
	通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外		該当命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータを正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください。		通過点指定されている MC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください。	
付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 論理軸番号					
注意点／備考	なし					

イベント名	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー			イベントコード	64410000Hex	
内容	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可の該当軸。動作中は減速停止 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可。該当軸グループの動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外	該当命令の入力変数「Position」で指定されているパラメータを負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください。	命令の入力変数「Position」に指定される入力パラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください。
	開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行	該当命令での移動方向が負方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを修正してください。	開始位置が負方向ソフトウェアリミット範囲外の場合は、移動方向が負方向ソフトウェアリミット範囲内に向かう方向になるようにプログラムを作成してください。
	通過点指定されているMC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外	該当命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータを負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるように修正してください。	通過点指定されているMC_MoveCircular2D（2 軸円弧補間）命令の入力変数「AuxPoint」で指定されているパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲内になるようにしてください。

付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 論理軸番号
注意点／備考	なし

イベント名	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中			イベントコード	64420000Hex	
内容	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸の動作不可。該当軸の動作中は減速停止		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った。 • 位置決めの指令を実行した。 • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した。 • 方向を特定できない指令（同期機能、トルク制御）を実行した。	異常解除を実行し、原点復帰あるいは現在位置プリセットにより、オーバーフロー／アンダーフロー状態を解除してください。	オーバーフロー／アンダーフローを発生させないようにしてください。

付属情報	なし
注意点／備考	なし

イベント名	正方向限界入力中			イベントコード	64430000Hex	
内容	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行	異常解除を実行し、負方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。再度本異常が発生する場合は、正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定、起動指令の実行条件を確認し、間違いを修正してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。	正方向限界信号の接続、正方向限界入力の論理設定、起動命令の実行条件に間違いがないことを確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。

付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 論理軸番号
注意点／備考	なし

イベント名	負方向限界入力中			イベントコード	64440000Hex	
内容	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸／軸グループ	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	発生源詳細が「軸」の場合: 該当軸の動作不可 発生源詳細が「軸グループ」の場合: 該当軸グループの動作不可		

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸 軽度フォールト発生中
	_MC_GRP[*].MFaultLvl.Active	BOOL	軸グループ 軽度フォールト発生中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行	異常解除を実行し、正方向への復帰動作を行ってください。軸グループ動作命令の実行中に異常が発生した場合は、異常が発生した軸グループを無効にしたうえで上記復帰動作を行なってください。再度本異常が発生する場合は、負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定、起動指令の実行条件を確認し、間違いを修正してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。	負方向限界信号の接続、負方向限界入力の論理設定、起動命令の実行条件に間違いがないことを確認してください。 論理設定は軸パラメータとスレーブ側の設定の両方を確認してください。

付属情報	付属情報 1: 発生源詳細により異なる。 • 軸の場合: 「0」 • 軸グループの場合: 論理軸番号
注意点／備考	なし

イベント名	サーボ主回路電源オフ状態			イベントコード	74220000Hex	
内容	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当軸のサーボ「OFF」		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].MFaultLvl.Active		BOOL		軸 軽度フォールト発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行		本異常が発生している軸のサーボドライバの主回路電源を「ON」してからサーボ ON を実行してください。		サーボドライバの主回路電源を「ON」してからサーボ ON を実行してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中			イベントコード	57220000Hex *1	
内容	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、実行できない命令を起動しました。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	フィードバック位置オーバーフローまたはアンダーフローの発生中に、実行できない命令を起動した。		異常解除を実行し、「現在位置変更」または「原点復帰」により、オーバーフローまたはアンダーフロー状態を解除してください。		オーバーフローまたはアンダーフローが発生しないようにプログラムを作成してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外			イベントコード	57230000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外			イベントコード	57240000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「FirstOnPosition」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外			イベントコード	57250000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「LastOnPosition」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体の方向選択範囲外			イベントコード	57260000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「AxisDirection」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外			イベントコード	57270000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「CamSwitchMode」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外			イベントコード	57280000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「Duration」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外			イベントコード	57290000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OnCompensation」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外			イベントコード	572A0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した「OffCompensation」の値が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバの値が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数のメンバが有効範囲を超えないように値を修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数のメンバの値が有効範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外			イベントコード	572B0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外			イベントコード	572C0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外			イベントコード	572D0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲外		該当命令の入出力変数に指定した構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないように修正してください。		命令の入出力変数に指定する構造体型変数の配列の要素数が範囲を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致			イベントコード	572E0000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Outputs」と「TrackOptions」に指定した構造体型変数の配列の要素数が一致していません。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致していない。		該当命令の入出力変数に指定した出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致するように修正してください。		命令の入出力変数に指定する出力信号構造体型変数とトラックオプション構造体型変数の配列の要素数が一致するようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

イベント名	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外			イベントコード	57310000Hex *1	
内容	モーション制御命令の入出力変数「Switches」に指定した「TrackNumber」の同一トラック番号の数が範囲外です。					
発生源	モーション制御機能モジュール		発生源詳細	軸	検出タイミング	命令起動時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_MC_AX[*].Obsr.Active		BOOL		軸 監視情報発生中	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	命令の入出力変数に指定したスイッチ構造体型変数の「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数の範囲外		「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数を超えないように値を修正してください。		「TrackNumber」に指定した同一トラック番号の数が 1 トラックに指定可能な個数を超えないようにしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. ユニットバージョン Ver.1.06 以降の CPU ユニットで発生するイベントです。

3-6-3　その他のトラブルと処置

本章では、MC 機能モジュールをはじめて使用するとき、または運用開始後に発生するトラブルに対する対処方法を説明します。

事前の確認項目

異常発生時、以下の項目を確認した上で、調査を行ってください。

分類	確認箇所
設置環境	周囲に粉塵はありませんか？
	周囲に混入のおそれのある導電性の異物（金属・カーボンなど）はありませんか？
	周囲の温度は高くありませんか？（仕様の使用周囲温度と比較して）
	周囲の湿気はありませんか？（湿度・水を使用しているなど）
	周囲に腐食性ガスはありませんか？（酸・塩・硫黄など）
	周囲にノイズ源（溶接機・インバータなど）はありませんか？
配線	電源線と信号線が同一配管（ダクト）に配線されていませんか？
	アースは確実に取られていますか？
	電源にはノイズフィルタは付いていますか？
変化	増設工事（溶接工事）は最近されていませんか？
	電源設備の追加は最近されていませんか？
	システム（プログラム含む）の改造／追加などはされていませんか？
事故	近くに落雷はありませんでしたか？
	地絡事故／漏電ブレーカの遮断は起きませんでしたか？
	停電はありませんでしたか？

現象と対策

ここでは、オムロン製サーボドライバ 1S シリーズまたは G5 シリーズとの組み合わせで使用した場合の現象と対策について記載しています。
想定しない動作をする場合は、各種パラメータ設定やカムデータが Sysmac Studio から CPU ユニットへ正しく転送できていない可能性があります。
また、プログラムと MC 機能モジュールの間での変数のやりとりがうまくできていない可能性もあります。
正しいタイミングで変数のやりとりがされているかどうか Sysmac Studio のデータトレース機能で確認してください。

現象	推定原因	確認箇所	対策
モータがロックされない。	MC 機能モジュールからサーボドライバに対して運転指令を出力していない。	プログラムで MC_Power（運転可）命令を実行しているか確認してください。	プログラムを修正してください。
	ドライバの設定異常	ドライバの設定を確認してください。	ドライバの設定を正しく行ってください。
モータが回らない。	サーボドライバの駆動禁止入力が有効となっている。	サーボドライバの駆動禁止入力を確認してください。	サーボドライバの駆動禁止入力を解除してください。 サーボドライバの駆動禁止入力を使用しない設定にしてください。
	ドライバの異常発生	ドライバの異常を確認してください。	異常の場合は、その指示に従ってください。

現象	推定原因	確認箇所	対策
	機械軸がロックしている。	メカリミットに当たっていないか、機械的な巻き込みがないかを確認してください。	手動で機械軸のロックを解除してください。
	CPU ユニットの故障	−	CPU ユニットを交換してください。
原点復帰できない。	異常の発生	異常の内容を確認してください。	異常がある場合は、その指示に従ってください。
	原点近傍入力の誤配線	軸変数の軸入力情報で原点近傍入力センサが ON/OFF するかを確認してください。	正しく配線してください。
	原点入力が正しく配線されていない。	原点入力の配線を確認してください。	正しく配線してください。
	回転方向と限界入力の方向が不一致	限界で反転せずにメカリミットまで動作してしまう場合は、軸変数の軸入力情報で限界入力が ON/OFF するかを確認してください。	限界入力を正しく配線してください。
	限界入力の誤配線	限界入力の配線を確認してください。	正しく配線してください。
	インポジション待ちが FALSE にならない。	サーボドライバのゲインが低くないか確認してください。 インポジション幅が狭くないか確認してください。	サーボドライバのゲインを高くしてください。 インポジション幅を広くしてください。
	原点復帰アプローチ速度が速すぎる。	原点復帰アプローチ速度を確認してください。	MC 機能モジュールの原点復帰アプローチ速度を下げてください。
	軸パラメータが正しく設定されていない。	Sysmac Studio で軸パラメータを確認してください。	軸パラメータを正しく設定したあと、MC 機能モジュールへダウンロードしてください。
	CPU ユニットの故障	−	CPU ユニットを交換してください。
原点復帰した原点が時々変化する。	カップリングなどのメカ的なゆるみ。	モータの軸とカップリング部、その他メカ的な結合部にマジックなどでマーキングしてズレがないかを確認してください。	ズレた結合部の増し締めをしてください。
	Z 相余裕度がない。 原点入力信号の余裕度がない。	サーボモータの 1 回転（エンコーダ 1 回転のパルス数）に近い値、またはゼロ付近の値であれば、センサの取り込みタイミングの微妙な変化によって、モータ 1 回転分のズレが原点復帰時に発生します。	Z 相余裕度のパルスがサーボモータの 1 回転（エンコーダ 1 回転のパルス数）の 1/2 程度になるようにモータのカップリングを外して、1/4 回転程度ずらしてもう一度原点復帰をしてみてください。
モータ回転が不安定	サーボモータのモータ動力線／エンコーダ線の誤配線／欠相など	モータ動力線／エンコーダ線の配線を確認してください。	正しく配線してください。
	モータ軸と機械系を接続しているカップリングの偏心ネジの締め忘れプーリー・ギアのかみ合いによる負荷トルク変動	機械を確認してください。 無負荷（カップリングから先の機械を外す）にして回してみてください。	機械の見直し、調整を行ってください。
	ゲイン調整が不十分	−	サーボモータのオートチューニングを行ってください。 サーボモータのゲインをマニュアル調整してください。

現象	推定原因	確認箇所	対策
	サーボモータ選定ミス（調整できない）	モータ再選定（トルクとイナーシャ比を確認）をしてください。	最適なモータに変更してください。
	サーボモータのモータベアリング破損	サーボドライバの電源を OFF し、ブレーキ付きモータであれば、ブレーキ電源を ON してブレーキを解除してから、モータの動力線を外した状態で（ダイナミックブレーキがかかっている場合があるため）モータの出力軸を手で回してみてください。	サーボモータを交換してください。
	サーボモータのモータ巻き線断線	テスタでモータ動力線の U/V/W 間の抵抗値を確認してください。 バランスが取れていなければ異常です。	サーボモータを交換してください。
回転方向が逆方向	サーボドライバの設定が逆回転の設定になっている。	ジョグ送りで動作させて、ジョグ送り方向と逆方向であれば、サーボドライバの回転方向設定が逆になっています。または、フィードバック信号（A/B 相）が逆になっていて、パラメータで逆回転の設定をしていることがないかを確認してください。	サーボドライバの回転方向を正しく設定し直してください。
	（原点復帰時） 原点近傍センサの極性と原点近傍入力の極性を設定する軸パラメータが不一致	軸パラメータとセンサの極性を再確認してください。	正しい軸パラメータを設定し直してください。
	（原点復帰時） 原点近傍入力の誤配線	軸変数の軸入力情報で原点近傍入力センサが ON/OFF するかを確認してください。	原点近傍入力を正しく配線してください。
起動ができない、位置決め完了が出ない、または遅い。	インポジション幅が狭く位置決め完了に入らない（インポジション幅内になっていないと前の動作が完了していないため次の起動ができない）。	−	インポジション幅を拡げてください。
	サーボドライバのゲインが低い。	−	サーボドライバのゲインを調整してください。
	停止時に外力がかかっていてインポジション幅に入らない。	軸変数の軸入力情報で指令現在位置とフィードバック現在位置の差が、インポジション幅内かどうかを確認してください。	押し当て制御などのように、インポジション幅に入らない停止のしかたをする場合は、偏差カウンタリセットを使用して、強制的に位置決め完了することもできます。
異常音が発生する。	機械の振動	機械の可動部分に異物の浸入、破損、変形、ゆるみがないか点検してください。	不具合箇所を修正してください。
	サーボドライバのゲインの調整が不十分（ゲインが高い）	−	オートチューニングを行ってください。 ゲインをマニュアル調整（下げる）してください。
	モータ選定ミス（調整できない）	モータ再選定（トルクとイナーシャ比を確認）をしてください。	最適なモータに変更してください。

現象	推定原因	確認箇所	対策
	モータ軸と機械を接続しているカップリングが偏心している。	－	モータ／機械の取付けを調整してください。
モータ軸がユラユラ揺れる。	ゲイン調整が不十分（ゲインが低い）	－	オートチューニングを行ってください。 ゲインをマニュアル調整（高くする）してください。
	機械剛性が弱いためゲイン調整ができない。	特に垂直軸、スカラロボット、パレタイザなど軸に曲げ、ねじり荷重が加わるシステムに発生します。	機械剛性を増してください。 ゲインを再調整してください。
	スティックスリップ（粘性の高い静摩擦）が発生する機械構造	－	オートチューニングを行ってください。 ゲインをマニュアル調整してください。
	モータ選定ミス（調整できない）	モータ選定（トルクとイナーシャ比を確認）をしてください。	最適なモータに変更してください。
	故障	－	ドライバを交換してください。 モータを交換してください。
位置ズレする。	位置決めする前から原点位置がずれていた。	「原点復帰した原点が時々変化する」の欄を参照してください。	「原点復帰した原点が時々変化する」の欄を参照してください。
	溶接機・インバータなどからのノイズによる誤動作	近くに溶接機・インバータなどがないか確認してください。	溶接機・インバータなどから分離してください。
	機械系のズレ	ズレが積算されないかを確認（機械の結合部に印を付けてズレを確認します）してください。	機械の締め付け部を増し締めしてください。
Sysmac Studio の MC 試運転機能が使用できない。	他の Sysmac Studio で MC 試運転機能が使用されている。	同じ CPU ユニットに他のサポートソフトが接続されていないか確認してください。	他の Sysmac Studio の MC 試運転機能を終了してください。

3-7 EtherNet/IP 機能モジュールの異常

3-7-1 異常一覧

EtherNet/IP 関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04200000Hex [NJ シリーズ]	通信コントローラ異常	内蔵 EtherNet/IP ポートの通信コントローラのハードウェア異常を検知しました	• 通信コントローラのハードウェア故障		○				P.3-510
14200000Hex [NJ シリーズ]	MAC アドレス異常	不揮発性メモリの MAC アドレスが正しく読み出せませんでした	• 不揮発性メモリの故障		○				P.3-510
14220000Hex	EtherNet/IP 処理異常	EtherNet/IP 機能モジュールで致命的な異常を検知しました	• ハードウェア故障		○				P.3-511
34210000Hex [NJ シリーズ]	Ethernet 基本設定エラー	Ethernet の設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常		○				P.3-511
34220000Hex [NJ シリーズ]	IP アドレス設定異常	IP アドレス設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • BOOTP サーバから取得した IP アドレスが不正 • メモリ異常		○				P.3-512
84010000Hex [NJ シリーズ]	IP アドレス重複異常	IP アドレスが重複しています	• 内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが、他ノードの IP アドレスと重複している		○				P.3-513
84020000Hex [NJ シリーズ]	BOOTP サーバ接続失敗	BOOTP サーバとの接続に失敗しました	• サーバ設定の誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生		○				P.3-513
04210000Hex（Ver.1.10 以降）[NX シリーズ]	通信コントローラ異常	内蔵 EtherNet/IP ポートの通信コントローラのハードウェア異常を検知しました	• 通信コントローラのハードウェア故障			○			P.3-514
14210000Hex	Identity 情報異常	不揮発性メモリの CIP Identity 情報が正しく読み出せませんでした	• 不揮発性メモリの故障			○			P.3-514
14230000Hex（Ver.1.10 以降）	MAC アドレス異常	不揮発性メモリの MAC アドレスが正しく読み出せませんでした	• 不揮発性メモリの故障			○			P.3-515
34200000Hex	タグデータリンク設定エラー	タグデータリンク通信設定の異常を検知しました	• タグデータリンク設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-516
34230000Hex	IP ルートテーブル設定異常	IP ルーチング機能設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-517

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34240000Hex	FTP サーバ設定エラー	FTP サーバの設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • FTP サーバ設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-518
34250000Hex	NTP クライアント設定エラー	NTP クライアントの設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • NTP クライアント設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-518
34260000Hex	SNMP 設定エラー	SNMP エージェント／トラップの設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • SNMP エージェント／トラップ設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-519
34270000Hex	タグ解決異常	タグデータリンクに使用しているタグの解決に失敗しました	• ネットワーク変数とタグ設定でサイズが異なる • タグデータリンク設定入出力方向と、コントローラの変数の入出力方向が不一致 • コントローラにタグ設定に該当するネットワーク変数が存在しない • タグデータリンクに使用しているコントローラの変数の「ネットワーク公開属性」が「入力」であり、かつコンスタント属性である			○			P.3-520
34280000Hex（Ver.1.10 以降）〔NX シリーズ〕	Ethernet 基本設定エラー	Ethernet の設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-521
34290000Hex（Ver.1.10 以降）〔NX シリーズ〕	IP アドレス設定異常	IP アドレス設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • BOOTP サーバから取得した IP アドレスが不正 • メモリ異常			○			P.3-522
342A0000Hex（Ver.1.10 以降）〔NX シリーズ〕	DNS 設定異常	DNS 設定、Hosts 設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			P.3-523
342B0000Hex	LINK 設定未サポート	未サポートの LINK 設定です。LINK 設定 Auto で動作しています	• LINK 設定が Auto 以外の設定を使用できないハードウェアリビジョンの CPU ユニットで、LINK 設定が Auto 以外に設定されている。			○			P.3-524
50010000Hex（Ver.1.02 以降）	コントローラのメモリ容量不足予告	EtherCAT スレーブ構成やネットワーク公開情報などのデータ量が CPU ユニットの規定値を超えました。オンラインエディットなどが使用できない可能性があります	• EtherCAT スレーブ構成やネットワーク公開情報などのデータ量が CPU ユニットの規定値を超えた			○			P.3-524
84030000Hex	DNS サーバ接続失敗	DNS サーバとの接続に失敗しました	• 設定データ誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			P.3-525

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84040000Hex	NTP サーバ接続失敗	NTP サーバとの接続に失敗しました	• 設定データ誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			P.3-525
84070000Hex	タグデータリンクコネクション確立失敗	タグデータリンクのコネクションの確立に失敗しました	• オリジネータとターゲットのタグデータリンクのコネクション情報が不一致 • コネクション数の不足 • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止 • CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をした（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合） • タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えた（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）			○			P.3-526
84080000Hex	タグデータリンクタイムアウト	タグデータリンクでタイムアウトが発生しました	• ターゲットノードの電源 OFF • ターゲットノードの通信停止 • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • EtherNet/IP ポートのリンクオフ • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止 • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 機能が有効の場合にターゲットからのパケットが許可されていない[*1] • ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない • ネットワーク通信負荷による、経路上でのパケット損失 • ノイズ			○			P.3-528
84090000Hex（Ver.1.04 以降）	タグデータリンクコネクション確立タイムアウト	タグデータリンクのコネクション確立時にタイムアウトが発生しました	• ターゲットノードの電源 OFF • ターゲットノードの通信停止 • ターゲットノード、または内蔵 EtherNet/IP ポートの CIP メッセージ通信停止[*1] • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない • 通信経路の異常発生			○	⊙		P.3-530

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
840A0000Hex （Ver.1.10 以降） [NX シリーズ]	IP アドレス重複異常	IP アドレスが重複しています	• 内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが、他ノードの IP アドレスと重複している			○			P.3-531
840B0000Hex （Ver.1.10 以降） [NX シリーズ]	BOOTP サーバ接続失敗	BOOTP サーバとの接続に失敗しました	• サーバ設定の誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			P.3-532
840C0000Hex （Ver.1.10 以降） [NX シリーズ]	ユニット許容通信帯域幅オーバー	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートの合計で、タグデータリンクおよび CIP Safety 通信のユニット許容通信帯域幅を超えるコネクション設定／確立がされました	• 内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートで使用するタグデータリンクおよび CIP Safety 通信のパケット転送レートを合計した使用通信帯域幅(PPS)が、ユニット許容通信帯域幅を超える帯域幅でコネクション確立しようとした			○			P.3-533
840E0000Hex	タグデータリンク タグセット設定数オーバー	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートのタグデータリンクのタグセット合計数が、上限を超えています	• 内蔵 EtherNet/IP ポートごとに設定されたタグデータリンクのタグセットの全ポートにおける合計数が、製品が許容する合計数を超えている			○			P.3-534
54E00000Hex	変数範囲外アクセス検知	タグデータリンクに使用しているタグ変数に対して、範囲外の値のアクセスを検知しました	• 範囲指定した変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて範囲外の値を書き込んだ。または、列挙型の変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて列挙子以外の値を書き込んだ				○		P.3-535
84050000Hex	受信バッファフルのためパケット廃棄	パケットの破棄が発生しました	• ネットワークの輻輳が発生				○		P.3-535
84060000Hex	リンクオフ検知	Ethernet のリンクオフを検知しました	• Ethernet ケーブルの断線、ゆるみ、はずれ • スイッチングハブの電源 OFF • 通信速度不一致 • ノイズ • Identity オブジェクトのリセットを実行 • Network Configurator や Sysmac Studio から EtherNet/IP に関する設定のダウンロード／メモリオールクリア • EtherNet/IP の再起動			⊙	○		P.3-536
840F0000Hex （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	DHCP サーバ接続失敗	DHCP サーバとの接続に失敗しました	• サーバ設定の誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			P.3-537
940F0000Hex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	セキュアソケット通信ログ保存失敗	セキュアソケット通信ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量不足 • SD メモリカードの故障				○		P.3-538
94010000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード開始）	タグデータリンク設定の変更が開始されました	• タグデータリンク設定の変更が開始された					○	P.3-539

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
94020000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード完了）	タグデータリンク設定の変更が完了しました	• タグデータリンク設定の変更が完了した					○	P.3-539
94030000Hex	タグデータリンク操作（起動停止）	Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました	• Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われた					○	P.3-540
94040000Hex	タグデータリンク操作（起動開始）	Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました	• Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われた					○	P.3-541
94050000Hex	リンクオン検知	Ethernet のリンク確立を検知しました	• Ethernet のリンク確立を検知した					○	P.3-542
94060000Hex	通信ポートリスタート	内蔵 EtherNet/IP ポートのリスタートが行われました	• 内蔵 EtherNet/IP ポートのリスタートが行われた					○	P.3-542
94070000Hex	全タグデータリンク通信開始	すべてのノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立しました	• すべてのターゲットノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立した					○	P.3-543
94080000Hex	IP アドレス決定	正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になりました	• 正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になった					○	P.3-544
94090000Hex	BOOTP クライアント起動	BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始しました	• BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始した					○	P.3-544
940A0000Hex	FTP サーバ起動	FTP サーバが正常に稼働を開始しました	• FTP サーバが正常に稼働を開始した					○	P.3-545
940B0000Hex	NTP クライアント起動	NTP クライアントが正常に起動し、NTP サーバへ時刻取得の要求を開始しました	• NTP クライアントが正常に起動し、NTP サーバへ時刻取得の要求を開始した					○	P.3-545
940C0000Hex	SNMP エージェント起動	SNMP エージェントが正常に稼働を開始しました	• SNMP エージェントが正常に稼働を開始した					○	P.3-545

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
940E0000Hex （Ver.1.46 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	セキュアソケット通信ログの開始/停止	セキュアソケット通信ログが開始または停止しました	セキュアソケット通信ログが開始または停止した					○	P.3-546
94100000Hex （Ver.1.46 以降かつ Ver.1.48 以前） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□] （Ver.1.37 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	セキュアソケット設定へのアクセス	[セキュアソケット設定] ダイアログボックスからの設定変更、読み出しがありました	[セキュアソケット設定] ダイアログボックスから設定変更、読み出しが実行された					○	P.3-547
94110000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	セキュアソケット設定へのアクセス	セキュアソケット設定の変更、読み出しがありました	セキュアソケット設定の変更、読み出しが実行された					○	P.3-548
94120000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NX102-□□20] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□□□]	セキュアソケット設定の変更または読み出し	セキュアソケット設定の変更、読み出しがありました	セキュアソケット設定の変更、読み出しが実行された					○	P.3-548
94130000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	IP アドレス変更	IP アドレスが変更されました	IP アドレスが変更された					○	P.3-549
94140000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	SNMP 設定変更	SNMP 設定が変更されました	SNMP 設定が変更された					○	P.3-549

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
94150000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	サブネットマスク変更	サブネットマスクが変更されました	サブネットマスクが変更された					○	P.3-550
96450000Hex	通信ポートリスタート	EtherNet/IP ポートのリスタートが行われました	EtherNet/IP ポートのリスタートが行われた					○	P.3-550

*1. 以下の CPU ユニットで発生する要因です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

3-7-2　異常の説明

EtherNet/IP 関連

イベント名	通信コントローラ異常			**イベントコード**	04200000Hex	
内容	内蔵 EtherNet/IP ポートの通信コントローラのハードウェア異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	EtherNet/IP 通信不可		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	消灯		点灯		−	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EIP_LanHwErr		BOOL		通信コントローラ異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	通信コントローラのハードウェア故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	システム定義変数_EIP_LanHwErr は一度 TRUE になると、コントローラの電源 OFF→ON 以外では FALSE になりません					

イベント名	MAC アドレス異常			**イベントコード**	14200000Hex	
内容	不揮発性メモリの MAC アドレスが正しく読み出せませんでした					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	EtherNet/IP 通信不可		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	消灯		点灯		−	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EIP_MacAdrErr		BOOL		MAC アドレス異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	不揮発性メモリの故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	システム定義変数_EIP_MacAdrErr は一度 TRUE になると、コントローラの電源 OFF→ON 以外では FALSE になりません					

イベント名	EtherNet/IP 処理異常			イベントコード	14220000Hex	
内容	EtherNet/IP 機能モジュールで致命的な異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点灯		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ハードウェア故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	Ethernet 基本設定エラー			イベントコード	34210000Hex	
内容	Ethernet の設定異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	自動復旧／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_EtnCfgErr		BOOL		Ethernet 基本設定異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定をダウンロードしてください		内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常、11Hex：通信速度の設定値が不正 12Hex：通信速度未サポート					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

イベント名	IP アドレス設定異常			**イベントコード**	34220000Hex	
内容	IP アドレス設定の異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	自動復旧（設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	EtherNet/IP 通信不可		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	消灯	点滅（1s 間隔）	－
システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP_IPAdrCfgErr	BOOL	IP アドレス設定異常
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	設定データ誤り	付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください	なし
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断	メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください
	BOOTP サーバから取得した IP アドレスが不正	BOOTP サーバが本ポートに提供する IP アドレスの設定を NJ シリーズに規定されている範囲に修正してください	BOOTP サーバが本ポートに提供する IP アドレスの設定を NJ シリーズに規定されている範囲に設定してください
	メモリ異常	上記で復旧しない場合は CPU ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常 設定値に矛盾がある場合 11Hex：IP アドレス不正、12Hex：サブネットマスク不正、13Hex：デフォルトゲートウェイ不正、14Hex：優先 DNS 不正、15Hex：代替 DNS 不正、16Hex：ドメインネーム不正
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます

イベント名	IP アドレス重複異常			イベントコード	84010000Hex	
内容	IP アドレスが重複しています					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	リンク確立以降常時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	自動復旧（IP アドレス設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可。自 IP アドレス宛てのパケットを破棄します		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_IPAdrDupErr		BOOL		IP アドレス重複異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが、他ノードの IP アドレスと重複している		次のいずれかの処置をしてください • 他ノードの IP アドレスを確認し、重複しないように IP アドレスの設定を修正する • IP アドレスが重複している他ノードをネットワークから離脱させた後、コントローラを電源再投入またはコントローラリセットしてください		ネットワーク内で、各ノードの IP アドレスが互いに重複しないように割り当ててください	
付属情報	付属情報 1：重複した IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex					
注意点／備考	設定された IP アドレスで ARP を送信し、ARP 応答があればアドレス重複異常となります					

イベント名	BOOTP サーバ接続失敗			イベントコード	84020000Hex	
内容	BOOTP サーバとの接続に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	BOOTP 動作時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可。 BOOTP サーバから応答があるまで BOOTP サーバへ要求継続。PLC 機能モジュールとのデータ交換動作（リフレッシュ）は継続。 BOOTP サーバにより IP アドレスを設定しようとした EtherNet/IP ポートに IP アドレスは設定されません		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_BootpErr		BOOL		BOOTP サーバ接続異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーバ設定の誤り		接続先のサーバの設定を修正してください		接続先のサーバの設定が正しいことを確認してください	
	サーバダウン		接続先のサーバが正常に稼働しているか確認し、正常に稼働していない場合は正しく稼働させてください		接続先のサーバが正常に稼働していることを確認してください	
	通信経路の異常発生		サーバへの通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	通信コントローラ異常			イベントコード	04210000Hex *1	
内容	内蔵 EtherNet/IP ポートの通信コントローラのハードウェア異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点灯		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP1_LanHwErr		BOOL		通信ポート 1 通信コントローラ異常	
	_EIP2_LanHwErr		BOOL		通信ポート 2 通信コントローラ異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	通信コントローラのハードウェア故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	システム定義変数_EIP1_LanHwErr または_EIP2_LanHwErr は一度 TRUE になると、コントローラの電源 OFF→ON 以外では FALSE になりません					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	Identity 情報異常			イベントコード	14210000Hex	
内容	不揮発性メモリの CIP Identity 情報が正しく読み出せませんでした					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点灯		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_IdentityErr *1 *3		BOOL		Identity 情報不正	
	_EIP1_IdentityErr *2 *3		BOOL		CIP 通信 1 Identity 情報不正	
	_EIP2_IdentityErr *2 *3		BOOL		CIP 通信 2 Identity 情報不正	
	EIP_Comm1Status.IdentityErr *4		BOOL		CIP 通信 1 Identity 情報不正	
	EIP_Comm2Status.IdentityErr *4		BOOL		CIP 通信 2 Identity 情報不正	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	不揮発性メモリの故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	MAC アドレス異常			イベントコード	14230000Hex *1	
内容	不揮発性メモリの MAC アドレスが正しく読み出せませんでした					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	電源再投入	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点灯		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP1_MacAdrErr		BOOL		通信ポート 1 MAC アドレス異常	
	_EIP2_MacAdrErr		BOOL		通信ポート 2 MAC アドレス異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	不揮発性メモリの故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	システム定義変数_EIP1_MacAdrErr または_EIP2_MacAdrErr は一度 TRUE になると、コントローラの電源 OFF→ON 以外では FALSE になりません					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	タグデータリンク設定エラー			イベントコード	34200000Hex	
内容	タグデータリンク通信設定の異常を検知しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（タグデータリンク設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	タグデータリンク通信不可		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP_TDLinkCfgErr *1 *3	BOOL	タグデータリンク設定異常
	_EIP1_TDLinkCfgErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク設定異常
	_EIP2_TDLinkCfgErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク設定異常
	EIP_Comm1Status.TDLinkCfgErr *4	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク設定異常
	EIP_Comm2Status.TDLinkCfgErr *4	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク設定異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	タグデータリンク設定のダウンロード中の電断	下記のいずれかを行ってください • メモリオールクリア • タグデータリンク設定の際ダウンロード • タグデータリンク設定のクリア	タグデータリンク設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください
	メモリ異常	上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常の種別　01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある
注意点／備考	なし

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	IP ルートテーブル設定異常			**イベントコード**	34230000Hex	
内容	IP ルーチング機能設定の異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧（設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当 IP ルーチング機能設定を使った通信不可		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EIP_IPRTblErr		BOOL		IP ルートテーブル異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください		内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常 設定値に矛盾がある場合 11Hex：IP ルータテーブル設定不正、12Hex：Hosts 設定不正 13Hex：デフォルトゲートウェイ不正、 14Hex：IPForward 設定不正、15Hex：NAT 設定不正、16Hex：PacketFilter 設定不正					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

イベント名	FTP サーバ設定エラー			イベントコード	34240000Hex	
内容	FTP サーバの設定異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	FTP	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（FTP 設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	FTP 動作不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	FTP サーバ設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください		FTP サーバ設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別　01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

イベント名	NTP クライアント設定エラー			イベントコード	34250000Hex	
内容	NTP クライアントの設定異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	NTP	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（NTP 設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	NTP 動作停止		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	NTP クライアント設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください		NTP クライアント設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別　01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

イベント名	SNMP 設定エラー			**イベントコード**	34260000Hex	
内容	SNMP エージェント／トラップの設定異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	SNMP	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧（SNMP 設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	SNMP 動作停止		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	SNMP エージェント／トラップ設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください		SNMP エージェント／トラップ設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常の発生箇所 設定値に矛盾がある場合 01Hex：SNMP エージェント設定、02Hex：SNMP トラップ設定					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

イベント名	タグ解決異常			**イベントコード**	34270000Hex	
内容	タグデータリンクに使用しているタグの解決に失敗しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／Sysmac Studio からの変数変更時／Network Configurator からのデータリンクテーブル変更時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧（タグ設定のダウンロード後）	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	タグ解決に失敗したタグのデータリンクは非動作。それ以外のタグのデータリンクは動作		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP_TagAdrErr *1 *3	BOOL	タグ解決異常
	_EIP1_TagAdrErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 タグ解決異常
	_EIP2_TagAdrErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 タグ解決異常
	EIP_Comm1Status.TagAdrErr *4	BOOL	CIP 通信 1 タグ解決異常
	EIP_Comm2Status.TagAdrErr *4	BOOL	CIP 通信 2 タグ解決異常

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	ネットワーク変数とタグ設定でサイズが異なる	ネットワーク変数に合うようにタグ設定のサイズを修正してください	ネットワーク変数に合うようにタグ設定のサイズを設定してください
	タグデータリンク設定入出力方向と、コントローラの変数の入出力方向が不一致	タグデータリンク設定入出力方向と、コントローラの変数の入出力方向が一致するようにタグ設定またはコントローラ変数の設定を修正してください	タグデータリンク設定入出力方向と、コントローラの変数の入出力方向が一致するようにタグ設定またはコントローラ変数を設定してください
	コントローラにタグ設定に該当するネットワーク変数が存在しない	存在するネットワーク変数をタグに指定するようにタグ設定を修正してください	存在するネットワーク変数をタグに指定するようにタグを設定してください
	タグデータリンクに使用しているコントローラの変数の「ネットワーク公開属性」が［入力］であり、かつコンスタント属性である	「ネットワーク公開属性」が［入力］となっているコントローラ変数のコンスタント属性をはずしてください	「ネットワーク公開属性」が［入力］となっているコントローラの変数にはコンスタント属性をつけないでください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	Ethernet 基本設定エラー			**イベントコード**	34280000Hex *1	
内容	Ethernet の設定異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート 1／通信ポート 2	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	消灯		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EIP1_EtnCfgErr		BOOL		通信ポート 1 Ethernet 基本設定異常	
	_EIP2_EtnCfgErr		BOOL		通信ポート 2 Ethernet 基本設定異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定をダウンロードしてください		内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常、11Hex：通信速度の設定値が不正、12Hex：通信速度未サポート					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	IP アドレス設定異常			イベントコード	34290000Hex *1	
内容	IP アドレス設定の異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2／内部通信ポート 1	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ユーザ操作
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	消灯	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP1_IPAdrCfgErr	BOOL	通信ポート 1 IP アドレス設定異常
	_EIP2_IPAdrCfgErr	BOOL	通信ポート 2 IP アドレス設定異常
	_EIPIn1_IPAdrCfgErr	BOOL	内部通信ポート 1 IP アドレス設定異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	設定データ誤り	付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください	なし
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断	メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください
	BOOTP サーバから取得した IP アドレスが不正	BOOTP サーバが本ポートに提供する IP アドレスの設定を NX シリーズに規定されている範囲に修正してください	BOOTP サーバが本ポートに提供する IP アドレスの設定を NX シリーズに規定されている範囲に設定してください
	メモリ異常	上記で復旧しない場合は CPU ユニットを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常 設定値に矛盾がある場合 11Hex：IP アドレス不正、12Hex：サブネットマスク不正
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	DNS 設定異常			イベントコード	342A0000Hex *1	
内容	DNS 設定、Hosts 設定の異常を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	消灯		点滅（1s 間隔）		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_DNSCfgErr		BOOL		DNS 設定異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		付属情報から異常要因を特定し、正しい設定内容に修正した後、設定を再度ダウンロードしてください		なし	
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断		メモリオールクリアまたは設定を再ダウンロードしてください		内蔵 EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中はコントローラの電源を OFF しないでください	
	メモリ異常		上記で復旧しない場合は CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	付属情報 1：異常の種別 01Hex：不揮発性メモリアクセス異常、02Hex：設定値に矛盾がある 付属情報 2：異常内容の詳細 00Hex：不揮発性メモリアクセス異常 設定値に矛盾がある場合 14Hex：優先 DNS 不正、15Hex：代替 DNS 不正、16Hex：ドメインネーム不正、17Hex：Hosts 設定不正					
注意点／備考	付属情報で、異常発生要因を特定できます					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	LINK 設定未サポート			イベントコード	342B0000Hex	
内容	未サポートの LINK 設定です。LINK 設定 Auto で動作しています。					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート／通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／Sysmac Studio からの同期転送／リストア
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（設定のダウンロード後）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	LINK 設定が Auto 以外の設定を使用できないハードウェアリビジョンの CPU ユニットで、LINK 設定が Auto 以外に設定されている。		SysmacStudio で LINK 設定を Auto に変更して、ダウンロードしてください。		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	CPU ユニット形式、ハードウェアリビジョンにより LINK 設定が Auto 固定となります。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の「LINK 設定ダイアログ」を参照してください。					

イベント名	コントローラのメモリ容量不足予告			イベントコード	50010000Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブ構成やネットワーク公開情報などのデータ量が CPU ユニットの規定値を超えました。オンラインエディットなどが使用できない可能性があります					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール／EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	マスタ／CIP	検出タイミング	電源投入時／ダウンロード時／オンラインエディット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT スレーブ構成やネットワーク公開情報などのデータ量が CPU ユニットの規定値を超えた		EtherCAT スレーブで使用する PDO を減らしてください。 ネットワーク変数が使用するデータ型の数や名前の文字列長を短くしてください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	オンラインエディットなどが使用できない可能性があります					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.02 以降で発生するイベントです。

イベント名	DNS サーバ接続失敗			イベントコード	84030000Hex	
内容	DNS サーバとの接続に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	DNS 動作時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（DNS 設定のダウンロード後）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	DNS を使用した通信停止		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_DNSSrvErr		BOOL		DNS サーバ接続異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		接続先のサーバの指定に間違いがある場合には、サーバ指定を修正して再度ダウンロードしてください		接続先のサーバ指定を正しく行ってください	
	サーバダウン		接続先のサーバが正常に稼働しているか確認し、正常に稼動していない場合は正しく稼動させてください		接続先のサーバが正常に稼働していることを確認してください	
	通信経路の異常発生		サーバへの回線上通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	NTP サーバ接続失敗			イベントコード	84040000Hex	
内容	NTP サーバとの接続に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	NTP	検出タイミング	NTP 動作時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（NTP 設定のダウンロード後）	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	NTP による時刻の取得不可		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EIP_NTPSrvErr		BOOL		NTP サーバ接続異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	設定データ誤り		接続先のサーバの指定に間違いがある場合には、サーバ指定を修正して再度ダウンロードしてください		接続先のサーバ指定を正しく行ってください	
	サーバダウン		接続先のサーバが正常に稼働しているか確認し、正常に稼動していない場合は正しく稼動させてください		接続先のサーバが正常に稼働していることを確認してください	
	通信経路の異常発生		サーバへの回線上通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	処置完了後に「TCP アプリケーション機能の起動」がイベントログに記録されていれば、CPU ユニットが DNS サーバと正常に接続していることが確認できます					

イベント名	タグデータリンクコネクション確立失敗			**イベントコード**	84070000Hex	
内容	タグデータリンクのコネクションの確立に失敗しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	**検出タイミング**	タグデータリンクコネクション確立時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	コネクションの確立に失敗したコネクションのデータリンクは非動作。それ以外のコネクションのデータリンクは動作		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	点滅（1s 周期）	点滅（1s 周期）	－

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP_TDLinkOpnErr *1 *3	BOOL	タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP1_TDLinkOpnErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP2_TDLinkOpnErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm1Status.TDLinkOpnErr *4	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm2Status.TDLinkOpnErr *4	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	オリジネータとターゲットのタグデータリンクのコネクション情報が不一致	タグデータリンクのコネクション情報を修正した後、Network Configurator や Sysmac Studio からデバイスパラメータまたはコネクション設定をダウンロードしてください	タグデータリンクを行う前に、オリジネータとターゲット内でのタグデータリンクのコネクション情報を適合させてください
	コネクション数の不足	Class3 メッセージを減らしてください	データリンク、Class3 メッセージの使用数を減らしてください
	ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止（NJ/NX シリーズの場合）	正常に CIP メッセージ通信を開始させてください	正常に CIP メッセージ通信を開始させてから、タグデータリンクを行ってください
	CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をした（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）	CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をしないでください（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）	CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をしないでください（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）
	タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えた（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）	タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えないでください（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）	タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えないでください（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）

付属情報	付属情報 1：ターゲットノードの IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex 付属情報 2：コネクションインスタンス No.：0～255 *5 付属情報 3：コネクションステータス　例：General Status 01, Additional Status 0117 の場合⇒010000117Hex *5

注意点／備考	• コネクションステータスにて、詳細原因を調べることができます。 『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』のコネクションステータスのコード一覧と処置方法を参照してください • 同一ターゲットノードの複数のコネクションで本異常が同時に発生しても、本イベントは 1 つだけしか発生しません。

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。
*5. 付属情報 2 および付属情報 3 は、CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以前にはありません。

イベント名	タグデータリンクタイムアウト			**イベントコード**	84080000Hex	
内容	タグデータリンクでタイムアウトが発生しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	**検出タイミング**	タグデータリンク通信開始以降常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	対象となるデータリンクコネクションの停止。タグデータリンク異常のターゲットに対して定期的に再コネクション処理を続行		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP_TDLinkErr *1 *3	BOOL	タグデータリンク通信異常
	_EIP1_TDLinkErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク通信異常
	_EIP2_TDLinkErr *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク通信異常
	EIP_Comm1Status.TDLinkErr *4	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク通信異常
	EIP_Comm2Status.TDLinkErr *4	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク通信異常

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	ターゲットノードの電源 OFF	ターゲットノードの状態を確認し、正常に起動してください	ターゲットノードが正常に運転していることを確認してから、タグデータリンクを行ってください
	ターゲットノードの通信停止		
	EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	コネクタが正しく嵌合しているかを確認し、再接続してください	コネクタを確実に接続してください
	EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	EtherNet/IP ポートのリンクオフ	リンクオフの発生要因も含めて「リンクオフ検知」（84060000Hex）を参照してください。	リンクオフの発生要因も含めて「リンクオフ検知」（84060000Hex）を参照してください。
	ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止（NJ/NX シリーズの場合）	正常に CIP メッセージ通信を開始させてください	正常に CIP メッセージ通信を開始させてから、タグデータリンクを行ってください
	内蔵 EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 機能が有効の場合に、ターゲットからのパケットが許可されていない（NJ/NX シリーズの場合）*5	内蔵 EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 設定に、ターゲットからのパケットを許可してください	内蔵 EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 設定にターゲットからのパケットが許可されていることを確認してから、タグデータリンクを行ってください
	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない（NJ/NX シリーズの場合）	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信を許可してください	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていることを確認してから、タグデータリンクを行ってください
	ネットワーク通信負荷による、経路上でのパケット損失	コネクションタイムアウト値を大きくするか、RPI を大きくしてください。またはネットワーク環境、ネットワーク機器を見直してください。	ネットワーク環境が過負荷にならないようにネットワークを設計してください。
	ノイズ	ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください	ノイズが多い場合はノイズ対策を行ってください

付属情報	付属情報 1：コネクションインスタンス No.：0～255 付属情報 2：ターゲットノードの IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex

注意点／備考	• 以下のケースについては、本異常の対象外 ターゲットとしてコネクションしている場合 • 同一ターゲットノードの複数のコネクションで本異常が同時に発生しても、本イベントは 1 つだけしか発生しません。

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。
*5. 以下の CPU ユニットで発生する要因です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	タグデータリンクコネクション確立タイムアウト		イベントコード	84090000Hex *1	
内容	タグデータリンクのコネクション確立時にタイムアウトが発生しました				
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール	発生源詳細	CIP *2/CIP1 *3/CIP2 *3/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*5	検出タイミング	タグデータリンクコネクション確立時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	コネクション確立時にタイムアウトが発生したデータリンクは非動作。タイムアウトしたコネクションに対して定期的に再コネクション処理を続行		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP_TDLinkOpnErr *2 *4	BOOL	タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP1_TDLinkOpnErr *3 *4	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP2_TDLinkOpnErr *3 *4	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm1Status.TDLinkOpnErr *5	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm2Status.TDLinkOpnErr *5	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	ターゲットノードの電源 OFF	ターゲットノードの状態を確認し、正常に起動してください	ターゲットノードが正常に運転していることを確認してから、タグデータリンクを行ってください
	ターゲットノードの通信停止		
	ターゲットノード、または内蔵 EtherNet/IP ポートの CIP メッセージ通信停止（NJ/NX シリーズの場合）*6	正常に CIP メッセージ通信を開始させてください	正常に CIP メッセージ通信を開始させてから、タグデータリンクを行ってください
	EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	コネクタが正しく嵌合しているかを確認し、再接続してください	コネクタを確実に接続してください
	EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない（NJ/NX シリーズの場合）	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信を許可してください	ターゲットノードおよび経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていることを確認してから、タグデータリンクを行ってください
	通信経路の異常発生	通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください	なし

付属情報	付属情報 1：ターゲットノードの IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex
注意点／備考	• 重要度を監視情報に変更できます。監視情報に変更した場合、LED のうち「EtherNet/IP NET ERR」の表示状態は「－（変化なし）」となり、復旧は不要となります • 以下のケースについては、本異常の対象外 ターゲットとしてコネクションしている場合 スイッチングハブとのリンクオフ検知発生によるコネクション確立タイムアウト • 同一ターゲットノードの複数のコネクションで本異常が同時に発生しても、本イベントは 1 つだけしか発生しません。

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するイベントです。
*2. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。

*5. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。
*6. 以下の CPU ユニットで発生する要因です。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	IP アドレス重複異常			**イベントコード**	840A0000Hex *1	
内容	IP アドレスが重複しています					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート 1／通信ポート 2／内部通信ポート 1	**検出タイミング**	リンク確立以降常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧（IP アドレス設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可。該当通信ポートの自 IP アドレス宛てのパケットを破棄します		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	消灯	点滅（1s 間隔）	－
システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP1_IPAdrDupErr	BOOL	通信ポート 1 IP アドレス重複異常
	_EIP2_IPAdrDupErr	BOOL	通信ポート 2 IP アドレス重複異常
	_EIPIn1_IPAdrDupErr	BOOL	内部通信ポート 1 IP アドレス重複異常
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが、他ノードの IP アドレスと重複している	次のいずれかの処置をしてください • 他ノードの IP アドレスを確認し、重複しないように IP アドレスの設定を修正する • IP アドレスが重複している他ノードをネットワークから離脱させた後、コントローラを電源再投入またはコントローラリセットしてください	ネットワーク内で、各ノードの IP アドレスが互いに重複しないように割り当ててください
付属情報	付属情報 1：重複した IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex		
注意点／備考	設定された IP アドレスで ARP を送信し、ARP 応答があればアドレス重複異常となります		

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	BOOTP サーバ接続失敗			イベントコード	840B0000Hex *1	
内容	BOOTP サーバとの接続に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	BOOTP 動作時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可。 BOOTP サーバから応答があるまで BOOTP サーバへ要求継続。PLC 機能モジュールとのデータ交換動作（リフレッシュ）は継続。 BOOTP サーバにより IP アドレスを設定しようとした EtherNet/IP ポートに IP アドレスは設定されません		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	消灯	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP1_BootpErr	BOOL	通信ポート 1 BOOTP サーバ接続異常
	_EIP2_BootpErr	BOOL	通信ポート 2 BOOTP サーバ接続異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	サーバ設定の誤り	接続先のサーバの設定を修正してください	接続先のサーバの設定が正しいことを確認してください
	サーバダウン	接続先のサーバが正常に稼働しているか確認し、正常に稼働していない場合は正しく稼働させてください	接続先のサーバが正常に稼働していることを確認してください
	通信経路の異常発生	サーバへの通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください	なし

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。

イベント名	ユニット許容通信帯域幅オーバー			イベントコード	840C0000Hex *1	
内容	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートの合計で、タグデータリンクおよび CIP Safety 通信*2 のユニット許容通信帯域幅を超えるコネクション設定／確立がされました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP1 /CIP2 /「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 /CIP2」の組み合わせで表示*4	検出タイミング	タグデータリンクコネクション確立時／CIP Safety コネクション確立時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧（設定のダウンロード後）／電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	ユニット許容通信帯域幅を超えるタグデータリンクおよび CIP Safety 通信*2 は非動作		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP_TDLinkOpnErr *3	BOOL	タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP1_TDLinkOpnErr *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	_EIP2_TDLinkOpnErr *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm1Status.TDLinkOpnErr *4	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンクコネクション確立失敗
	EIP_Comm2Status.TDLinkOpnErr *4	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンクコネクション確立失敗

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートで使用するタグデータリンクおよび CIP Safety 通信*2 のパケット転送レートを合計した使用通信帯域幅(PPS)が、ユニット許容通信帯域幅を超える帯域幅でコネクション確立しようとした	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポート PPS を、ユニット許容通信帯域幅内になるようにタグデータリンクおよび CIP Safety 通信*2 のオリジネータノードの設定を変更し、コントローラの電源再投入またはコントローラリセットしてください	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートの PPS が、ユニット許容通信帯域幅に収まるようにタグデータリンクおよび CIP Safety 通信*2 の設定をしてください

付属情報	なし
注意点／備考	EtherNet/IP ポートのタグデータリンクの帯域使用量(PPS)は、Network Configurator の［Ethernet 情報］タブにより確認できます。 Network Configurator による帯域使用量(PPS)の確認方法は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の「ネットワークの通信ステータス確認と処置方法」の「［Ethernet 情報］タブ」の項を参照してください。

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降で発生するイベントです。
*2. CIP Safety 通信に対応した CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	タグデータリンク タグセット設定数オーバー			イベントコード	840E0000Hex*1	
内容	内蔵 EtherNet/IP ポートの全ポートのタグデータリンクのタグセット合計数が、上限を超えています					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP1 /CIP2 /「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*3	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／Sysmac Studio からのダウンロード時／Network Configurator からのダウンロード時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当ポートのタグデータリンク通信が停止		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	点滅（1s 間隔）	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP_TDLinkCfgErr	BOOL	タグデータリンク設定異常
	_EIP1_TDLinkCfgErr	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク設定異常
	_EIP2_TDLinkCfgErr	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク設定異常
	EIP_Comm1Status.TDLinkCfgErr *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク設定異常
	EIP_Comm2Status.TDLinkCfgErr *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク設定異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	内蔵 EtherNet/IP ポートごとに設定されたタグデータリンクのタグセットの全ポートにおける合計数が、製品が許容する合計数を超えている	内蔵 EtherNet/IP ポートごとに設定されるタグデータリンクのタグセットの全ポートにおける合計数が、製品が許容する合計数以下になるようにタグセットの設定数を変更してください	内蔵 EtherNet/IP ポートごとに設定するタグデータリンクのタグセットの数を変更するときに、全ポートのタグセットの合計数が製品が許容する合計数以下であることを事前に確認してください

付属情報	付属情報 1：該当ポートに設定されているタグセットの数 付属情報 2：製品に設定されているタグセットの合計数 付属情報 3：製品が許容するタグセットの合計数
注意点／備考	なし

*1. 形 NX102 CPU ユニットで発生するイベントです。
*2. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	変数範囲外アクセス検知			イベントコード	54E00000Hex	
内容	タグデータリンクに使用しているタグ変数に対して、範囲外の値のアクセスを検知しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート/「CIP1 /CIP2」*1	検出タイミング	変数書込時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	−		−		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	範囲指定した変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて範囲外の値を書き込んだ。 または、列挙型の変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて列挙子以外の値を書き込んだ		範囲指定した変数に対して、範囲内の値を書き込むように書き込み値を修正してください。 または、列挙型の変数に対して、列挙子の値を書き込むように書き込み値を修正してください		範囲指定した変数に対して、範囲内の値を書き込むようにしてください。 または、列挙型の変数に対して、列挙子の値を書き込むようにしてください	
付属情報	なし					
注意点／備考	• 範囲外の値、または列挙子以外の値の書き込みは正常終了していません • 範囲内の値、または列挙子の値の書き込みは正常終了しています					

*1. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	受信バッファフルのためパケット廃棄			イベントコード	84050000Hex	
内容	パケットの破棄が発生しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート*1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2	検出タイミング	リンク確立以降
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	−		−		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ネットワークの輻輳が発生		ネットワーク上で高負荷が発生しています。ネットワーク上に不要なブロードキャストフレームを送信しているノードが無いか確認し、取り除いてください。その後、ネットワーク統計情報の受信フレーム数が減少していることを確認します		ネットワーク上に不要なブロードキャストフレームを送信しないようにしてください。 Ethernet ケーブルをループ状に接続しないようにしてください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	リンクオフ検知			イベントコード	84060000Hex	
内容	Ethernet のリンクオフを検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート *1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2／内部通信ポート 1	検出タイミング	常時
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherNet/IP 通信不可		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	－	－	消灯

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	Ethernet ケーブルの断線、ゆるみ、はずれ	Ethernet ケーブルを確実に接続してください。ケーブルが断線している場合にはケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを確実に接続してください。また、使用するケーブルが断線していないことを確認してください
	スイッチングハブの電源 OFF	スイッチングハブの電源を ON にしてください。 スイッチングハブが故障している場合は、スイッチングハブを交換してください	スイッチングハブの電源を切らないでください
	通信速度不一致	通信相手ノードと同じ通信速度になるように設定を修正してください	通信相手ノードと同じ通信速度の設定を行ってください
	ノイズ	ノイズが多い場合は、ノイズ対策を行ってください	ノイズ対策を行ってください
	以下の操作を行った • Identity オブジェクトのリセットを実行 • Network Configurator や Sysmac Studio から EtherNet/IP に関する設定のダウンロード／メモリオールクリア • EtherNet/IP の再起動	なし。左記の操作を行うと本イベントが発生します	なし。左記の操作を行うと本イベントが発生します

付属情報	なし
注意点／備考	重要度を軽度フォールトに変更できます。軽度フォールトに変更した場合の復旧方法は「自動復旧」となります

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	DHCP サーバ接続失敗			**イベントコード**	840F0000Hex	
内容	DHCP サーバとの接続に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート 1 ／ 通信ポート 2	**検出タイミング**	DHCP 動作時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	自動復旧	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当通信ポートの EtherNet/IP 通信不可。 DHCP サーバから応答があるまで DHCP サーバへ要求継続。PLC 機能モジュールとのデータ交換動作（リフレッシュ）は継続。 DHCP サーバにより IP アドレスを設定しようとした EtherNet/IP ポートに IP アドレスは設定されません		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	消灯		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EIP1_DhcpErr		BOOL		通信ポート 1 DHCP サーバ接続異常	
	_EIP2_DhcpErr		BOOL		通信ポート 2 DHCP サーバ接続異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	サーバ設定の誤り		接続先のサーバの設定を修正してください		接続先のサーバの設定が正しいことを確認してください	
	サーバダウン		接続先のサーバが正常に稼働しているか確認し、正常に稼働していない場合は正しく稼働させてください		接続先のサーバが正常に稼働していることを確認してください	
	通信経路の異常発生		サーバへの通信経路に問題がないかを調査して、問題がある場合には対策を行ってください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	セキュアソケット通信ログ保存失敗			**イベントコード**	940F0000Hex*1	
内容	セキュアソケット通信ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	セキュアソケット通信ログが有効でログを保存できなかった時
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	−	−	−
システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	−	−
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	SD メモリカードが未装着	SD メモリカードを装着してください	SD メモリカードを装着してください
	SD メモリカードが種別不正	SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください	SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードのフォーマット不正	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットしてください	フォーマットされた SD メモリカードを使用してください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください
	SD メモリカードがライトプロテクトされている	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください
	SD メモリカードの容量不足	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください	十分な空き容量のある SD メモリカードを使用してください
	SD メモリカードの故障	SD メモリカードを交換してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。 また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください。 また、SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを抜かないでください
付属情報	なし		
注意点／備考	なし		

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□：Ver.1.46 以降
- 形 NX102-□□20：Ver.1.37 以降
- 形 NX502-1□□□：Ver.1.60 以降

イベント名	タグデータリンク操作（ダウンロード開始）			イベントコード	94010000Hex	
内容	タグデータリンク設定の変更が開始されました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*3	検出タイミング	ユーザ操作時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	点滅（1s 間隔）		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	タグデータリンク設定の変更が開始された		－		－	
付属情報	付属情報 1：コントローラステータス　01Hex：プログラムモード、02Hex：運転モード					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	タグデータリンク操作（ダウンロード完了）			イベントコード	94020000Hex	
内容	タグデータリンク設定の変更が完了しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*3	検出タイミング	ユーザ操作時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	点滅（1s 間隔）		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	タグデータリンク設定の変更が完了した		－		－	
付属情報	付属情報 1：コントローラステータス　01Hex：プログラムモード、02Hex：運転モード					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	タグデータリンク操作（起動停止）			**イベントコード**	94030000Hex	
内容	Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	**検出タイミング**	ユーザ操作時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		

LED	**EtherNet/IP NET RUN**	**EtherNet/IP NET ERR**	**EtherNet/IP LINK/ACT**
	点滅（1s 間隔）	－	－

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EIP_TDLinkStopCmd *1 *3	BOOL	タグデータリンク通信停止スイッチ
	_EIP1_TDLinkStopCmd *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 タグデータリンク通信停止スイッチ
	_EIP2_TDLinkStopCmd *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 タグデータリンク通信停止スイッチ

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われた	－	－

付属情報	付属情報 1： コントローラステータス　01Hex：プログラムモード、02Hex：運転モード 付属情報 2： 操作方法 01Hex： Network Configurator や Sysmac Studio による操作、02Hex：システム定義変数による操作、03Hex：専用命令による操作 付属情報 3： • 付属情報 2 が 03Hex の場合 ターゲットノードの IP アドレス • 付属情報 2 が 03Hex 以外の場合 0
注意点／備考	なし

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">タグデータリンク操作（起動開始）</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">94040000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4</td><td>検出タイミング</td><td>ユーザ操作時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>一般情報</td><td>復旧方法</td><td>－</td><td>ログカテゴリ</td><td>アクセス</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">LED</td><td colspan="2">EtherNet/IP NET RUN</td><td colspan="2">EtherNet/IP NET ERR</td><td colspan="2">EtherNet/IP LINK/ACT</td></tr>
<tr><td colspan="2">点滅（1s 間隔）</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">_EIP_TDLinkStartCmd *1 *3</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">タグデータリンク通信開始スイッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">_EIP1_TDLinkStartCmd *2 *3</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">CIP 通信 1 タグデータリンク通信開始スイッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">_EIP2_TDLinkStartCmd *2 *3</td><td colspan="2">BOOL</td><td colspan="2">CIP 通信 2 タグデータリンク通信開始スイッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">Network Configurator や Sysmac Studio、専用命令、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われた</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1： コントローラステータス　01Hex：プログラムモード、02Hex：運転モード
付属情報 2： 操作方法 01Hex： Network Configurator や Sysmac Studio による操作、02Hex：システム定義変数による操作、03Hex：専用命令による操作
付属情報 3：
• 付属情報 2 が 03Hex の場合
ターゲットノードの IP アドレス
• 付属情報 2 が 03Hex 以外の場合
0</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">なし</td></tr>
</table>

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	リンクオン検知			イベントコード	94050000Hex	
内容	Ethernet のリンク確立を検知しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート *1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2／内部通信ポート 1	検出タイミング	リンク確立時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		点灯	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Ethernet のリンク確立を検知した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	通信ポートリスタート			イベントコード	94060000Hex	
内容	内蔵 EtherNet/IP ポートのリスタートが行われました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート *1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2／内部通信ポート 1	検出タイミング	ユーザ操作時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	内蔵 EtherNet/IP ポートのリスタートが行われた		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	全タグデータリンク通信開始			イベントコード	94070000Hex	
内容	すべてのノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立しました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP *1/CIP1 *2/CIP2 *2/「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*4	検出タイミング	タグデータリンクコネクション確立時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	点灯	－	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EIP_TDLinkAllRunSta *1 *3	BOOL	全タグデータリンク通信中
	_EIP1_TDLinkAllRunSta *2 *3	BOOL	CIP 通信 1 全タグデータリンク通信中
	_EIP2_TDLinkAllRunSta *2 *3	BOOL	CIP 通信 2 全タグデータリンク通信中
	EIP_Comm1Status.TDLinkAllRunSta *4	BOOL	CIP 通信 1 全タグデータリンク通信中
	EIP_Comm2Status.TDLinkAllRunSta *4	BOOL	CIP 通信 2 全タグデータリンク通信中

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	すべてのターゲットノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立した	－	－

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2. NX シリーズ CPU ユニットの場合です。
*3. NX シリーズ EtherNet/IP ユニット以外の場合です。
*4. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

イベント名	IP アドレス決定			イベントコード	94080000Hex	
内容	正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になりました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート *1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2／内部通信ポート 1	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	点灯		−		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になった		−		−	
付属情報	付属情報 1：IP アドレス　例：192.168.250.1 の場合⇒C0A8FA01Hex					
注意点／備考	なし					

*1.　NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2.　NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	BOOTP クライアント起動			イベントコード	94090000Hex	
内容	BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート *1／通信ポート 1 *2／通信ポート 2 *2	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	−		−		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始した		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　NJ シリーズ CPU ユニットの場合です。
*2.　NX シリーズ CPU ユニットの場合です。

イベント名	FTP サーバ起動			イベントコード	940A0000Hex	
内容	FTP サーバが正常に稼働を開始しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	FTP	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	FTP サーバが正常に稼働を開始した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	NTP クライアント起動			イベントコード	940B0000Hex	
内容	NTP クライアントが正常に起動し、NTP サーバへ時刻取得の要求を開始しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	NTP	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	NTP クライアントが正常に起動し、NTP サーバへ時刻取得の要求を開始した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	SNMP エージェント起動			イベントコード	940C0000Hex	
内容	SNMP エージェントが正常に稼働を開始しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	SNMP	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SNMP エージェントが正常に稼働を開始した		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	セキュアソケット通信ログの開始/停止			イベントコード	940E0000Hex*1	
内容	セキュアソケット通信ログが開始または停止しました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／［セキュアソケット設定］ダイアログボックスによる設定変更
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		

LED	EtherNet/IP NET RUN	EtherNet/IP NET ERR	EtherNet/IP LINK/ACT
	－	－	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	セキュアソケット通信ログが開始または停止した	－	－

付属情報	付属情報 1：00Hex：セキュアソケット通信ログの停止、01Hex：セキュアソケット通信ログの開始
注意点／備考	なし

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□：Ver.1.46 以降
- 形 NX102-□□20：Ver.1.37 以降
- 形 NX502-1□□□：Ver.1.60 以降

イベント名	セキュアソケット設定へのアクセス			イベントコード	94100000Hex*1	
内容	［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 からの設定変更、読み出しがありました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート	検出タイミング	［セキュアソケット設定］ダイアログボックスによる設定変更または読み出し
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	［セキュアソケット設定］ダイアログボックス*2 からの設定変更、読み出しがありました		－		－	
付属情報	付属情報 1：00Hex：セキュアソケット設定読み出し、01Hex：セキュアソケット設定書き込み、02Hex： セキュアソケット設定削除 付属情報 2：00Hex：セッション設定へのアクセス、01Hex： セキュアソケット通信ログ設定へのアクセス 付属情報 3： • 付属情報 2 が 00Hex の場合 アクセス対象のセッション ID 0～29：（形 NX102 および形 NX1P2 以外の場合）、0～59：（形 NX102 および形 NX1P2 の場合） • 付属情報 1 が 01Hex かつ付属情報 2 が 01Hex の場合 セキュアソケット通信ログ設定　00Hex：無効、01Hex:有効					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□：Ver.1.46 以降かつ Ver.1.48 以前
- 形 NX102-□□20：Ver.1.37 以降
- 形 NX502-1□□□：Ver.1.60 以降

*2. セキュアソケットサービス機能の設定方法は、CPU ユニットのユニットバージョン、設定ユニットバージョン、および Sysmac Studio のバージョンによって異なります。それらのバージョンによっては、［セキュアソケット設定］ダイアログボックスではなく、セキュアソケット設定コマンドを使用する場合があります。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の、「Sysmac Studio のセキュアソケット設定機能の使用手順」を参照してください。

イベント名	セキュアソケット設定へのアクセス			**イベントコード**	94110000Hex*1	
内容	セキュアソケット設定の変更、読み出しがありました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	セキュアソケット設定の変更または読み出し
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	－		－		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	セキュアソケット設定の変更、読み出しが実行された		－		－	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NX102-□□20：Ver.1.49 以降
- 形 NX502-1□□□：Ver.1.60 以降

イベント名	セキュアソケット設定の変更または読み出し			**イベントコード**	94120000Hex*1	
内容	セキュアソケット設定の変更、読み出しがありました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	セキュアソケット設定の変更または読み出し
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherNet/IP NET RUN**		**EtherNet/IP NET ERR**		**EtherNet/IP LINK/ACT**	
	－		－		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	セキュアソケット設定の変更、読み出しが実行された		－		－	
付属情報	付属情報 1：00Hex：セキュアソケット設定読み出し、01Hex：セキュアソケット設定書き込み、02Hex： セキュアソケット設定削除 付属情報 2：00Hex：セッション設定へのアクセス、01Hex： セキュアソケット通信ログ設定へのアクセス 付属情報 3： • 付属情報 2 が 00Hex の場合 アクセス対象のセッション ID 0～59、255: セキュアソケット設定の初期化実行時 • 付属情報 1 が 01Hex かつ付属情報 2 が 01Hex の場合 セキュアソケット通信ログ設定　00Hex：無効、01Hex:有効					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NX102-□□00、形 NX1P2-□□□□□□、形 NX102-□□20：Ver.1.49 以降
- 形 NX502-1□□□：Ver.1.60 以降

イベント名	IP アドレス変更			イベントコード	94130000Hex*1	
内容	IP アドレスが変更されました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	IP アドレス決定時に前回 IP アドレスからの変化があったとき
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	IP アドレスが変更された		－		－	
付属情報	付属情報 1：変更後 IP アドレス （例）192.168.250.1					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	SNMP 設定変更			イベントコード	94140000Hex*1	
内容	SNMP 設定が変更されました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	SNMP	検出タイミング	SNMP 設定が変更されたとき
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	SNMP 設定が変更された		－		－	
付属情報	付属情報 1：SNMP サービス変更内容 • 1： SNMP サービスを有効化 • 2： SNMP サービスを無効化 • 3： SNMP サービス設定を変更 • 4： 変更なし（1、2、3 以外） 付属情報 2：受付認証 1 変更内容 • 1： 受付認証 1 を有効化 • 2： 受付認証 1 を無効化 • 3： 受付認証 1 設定を変更 • 4： 変更なし（1、2、3 以外） 付属情報 3：受付認証 2 変更内容 • 1： 受付認証 2 を有効化 • 2： 受付認証 2 を無効化 • 3： 受付認証 2 設定を変更 • 4： 変更なし（1、2、3 以外）					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	サブネットマスク変更			イベントコード	94150000Hex*1	
内容	サブネットマスクが変更されました					
発生源	EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	通信ポート 1／通信ポート 2	検出タイミング	IP アドレス決定時に前回サブネットマスクからの変化があったとき
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サブネットマスクが変更された		－		－	
付属情報	付属情報 1：変更後サブネットマスク （例）255.255.255.0					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	通信ポートリスタート			イベントコード	96450000Hex	
内容	EtherNet/IP ポートのリスタートが行われました					
発生源	CPU ユニットの場合、EtherNet/IP 機能モジュール。X バスユニットの場合、X バス EtherNet/IP 機能モジュール		発生源詳細	CIP1 /CIP2 /「1～4：X バスユニットの装着位置」と「CIP1 / CIP2」の組み合わせで表示*1	検出タイミング	ユーザ操作時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherNet/IP NET RUN		EtherNet/IP NET ERR		EtherNet/IP LINK/ACT	
	－		－		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherNet/IP ポートのリスタートが行われた		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合です。

3-7-3 その他のトラブルと処置

現象	処置
タグデータの同時性がない	以下の点をご理解の上、アプリケーションプログラムを作成してください。 • CPU ユニットと内蔵 EtherNet/IP ポートとの間では、コネクション単位のデータ同時性を確保しています。 タグデータリンクでのデータの同期性を確保するためには、タグを割り付けるネットワーク変数に、それぞれ更新タスクを設定してください。詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の、タグデータリンクするデータの同期性についての説明を参照してください。 • 他社製品については、各メーカのマニュアルを参照してください
立ち上げ時など、受信データが意図せず OFF となる	• ユーザプログラムで受信データを使用する場合、通信ステータス 1 の全タグデータリンク通信中フラグか、ターゲットノードであるコントローラの本体運転情報の ON 条件で行ってください。コントローラの運転情報を使用する場合は、送信受信側の両方のタグセットにコントローラステータスを使用してください。 • 出力（送信）のタグ設定で運転停止異常時出力を有効とした場合、CPU ユニット停止異常状態のとき、出力（送信）データが OFF されます。出力（送信）側のコントローラの異常状態を確認してください
タグデータリンクが通信したり途切れたりする	• 形 NX701 CPU ユニットで、10Mbps/100Mbps の設定、もしくは 10M リピータハブ、100M リピータハブ、1000M リピータハブを使用している場合は、1000M スイッチングハブを使用してください。タグデータリンク性能は、スイッチングハブの使用を前提に、オートネゴシエーションによる全二重 1000Mbps で 40000pps の帯域性能を発揮する仕様です。 • 形 NX102 CPU ユニットで、10Mbps の設定、もしくは 10M リピータハブ、100M リピータハブを使用している場合は、100M スイッチングハブを使用してください。タグデータリンク性能は、スイッチングハブの使用を前提に、オートネゴシエーションによる全二重 100Mbps で 12000pps の帯域性能を発揮する仕様です。 • 形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットで、10Mbps の設定、もしくは 10M リピータハブ、100M リピータハブを使用している場合は、100M スイッチングハブを使用してください。タグデータリンク性能は、スイッチングハブの使用を前提に、オートネゴシエーションによる全二重 100Mbps でユニット Ver.1.03 以降の場合は、3000pps となり、ユニット Ver.1.00～1.02 の場合は、1000pps の帯域性能を発揮する仕様です。 • 『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』で EtherNet/IP ネットワークの通信ステータスの確認と処置方法を参照し、［Ethernet 情報］タブで各種エラーカウンタや廃棄パケットカウンタを参考にして、通信路でのノイズ、規格外ケーブルの使用、ケーブル／コネクタの破損、コネクタの緩み、また、想定外の異常な通信負荷、スイッチングハブ間を異常なループ配線としていないかなどを確認してください。 • 通信経路中のスイッチングハブの転送能力に問題がないかスイッチングハブメーカにお問合せください。スイッチングハブをカスケード接続していくと、途中のスイッチングハブで負荷が集中している場合があります。負荷が集中しないようにネットワーク構成を変更してください。 • その他は、NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)で EtherNet/IP ネットワークの通信ステータスの確認と処置方法を参照し、［コネクション］タブでコネクションステータスから、コネクションステータスのコード一覧と処置方法を参照して異常要因を取り除いてください

3-8 EtherCAT マスタ機能モジュールの異常

3-8-1 異常一覧

EtherCAT マスタ関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04400000Hex	通信コントローラ異常	起動時に通信コントローラの異常を検出しました	• 通信コントローラの故障		○				P.3-561
14400000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	MAC アドレス異常	MAC アドレスが不正です	• CPU ユニットの故障		○				P.3-561
34420000Hex（Ver.1.40 以降）	パラメータ転送未実行	スレーブ／ユニットのパラメータが転送されていません	スレーブ／ユニットのパラメータがダウンロードされていない		○				P.3-562
44010000Hex	EtherCAT 処理異常	EtherCAT マスタ機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ソフトウェアにエラーが発生した		○				P.3-563
84200000Hex	リンクオフ異常	マスタリンクオフが発生しました	• マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブル未接続 • 先頭スレーブの電源が投入されていない • マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • マスタと先頭スレーブ間に推奨外の Ethernet ケーブルの使用 • マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線 • マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • 先頭スレーブのハードウェア故障 • 「EtherCAT フレーム受信なし異常」(842E0000Hex)が発生している • 汎用 Ethernet ハブまたはリピータハブが接続されている		○				P.3-564

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
842E0000Hex（Ver.1.11 以降）	EtherCAT フレーム受信なし異常	送信した EtherCAT フレームを受信できませんでした	• EtherCAT スレーブでないユニットが接続されている • EtherCAT スレーブ間、または EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間が、OUT ポート同士で接続されている • EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタがはずれかかっている • EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • ケーブル総延長の設定値で算出した伝送遅延時間が、実際の伝送遅延時間より短い • ネットワーク構成に他社製 EtherCAT スレーブが含まれる、または推奨以外の Ethernet ケーブルを意図的に使用 • ネットワーク構成が、伝送遅延時間を設定したときのネットワーク構成から変更されたことにより、伝送遅延時間が増加 • EtherCAT スレーブのハードウェア故障 • EtherCAT マスタのハードウェア故障 •「不正な配線検知」(843C0000Hex)が発生している		○				P.3-566
24200000Hex	スレーブノードアドレス重複	重複したスレーブノードアドレスを検知しました	• 複数のスレーブに同じノードアドレスが設定されている			○			P.3-568
34400000Hex	ネットワーク構成情報異常	ネットワーク構成情報の異常を検知しました	• ネットワーク構成情報のダウンロード中またはリストア中に、コントローラを電断または Sysmac Studio との通信を切断した			○			P.3-569
34410000Hex（Ver.1.10 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）[形 NX701, 形 NX1P2]	EtherCAT 通信周期設定異常	通信周期の設定値でプロセスデータ通信ができません	• 実際に接続されている構成の伝搬遅延時間が、ユーザ設定のケーブル長により算出された伝搬遅延時間より、大きかった • 設定されたタスク周期（通信周期）が、小さかった			○			P.3-569
84210000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	ネットワーク構成異常	EtherCAT のネットワーク構成が不正です	• スレーブの OUT ポート同士が接続されている • マスタとスレーブがスレーブの OUT ポートで接続されている • EtherCAT マスタに接続できる最大スレーブ数を超えるスレーブが接続されている			○			P.3-570

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84220000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	ネットワーク構成照合異常	ネットワーク構成情報に存在するスレーブが接続されていません。または、ネットワーク構成情報に存在しないスレーブが接続されています	• ネットワーク構成情報で指定されているスレーブが接続されていない • ノードアドレス不一致 • ネットワーク構成情報で指定されているスレーブとは別のスレーブが接続されている • ネットワーク構成情報で指定されていないスレーブが接続されている • Sysmac Studio の［スレーブノードアドレス書込み］を実行した後に、スレーブのノードアドレス設定用のハードウェアスイッチを「0」以外に変更した • スレーブ―スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線			○			P.3-572
84230000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	スレーブ初期化異常	スレーブの初期化に失敗しました	• EtherCAT マスタの処理に異常が発生した • EtherCAT スレーブで初期化異常が発生した • EtherCAT カプラユニットで初期化異常が発生した • 全停止フォールトレベルのコントローラ異常が発生した • Ethernet ケーブルの断線、または指定外のケーブルを使用 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ、接触不良、または部品不良 • 汎用 Ethernet ハブが接続されている • マスタの故障 • スレーブの故障 • ノイズ			○			P.3-574
84280000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	スレーブアプリケーション異常	スレーブアプリケーション異常が発生しました	• スレーブの AL ステータスレジスタでエラーを検知した			○			P.3-576
84290000Hex	プロセスデータ送信異常	プロセスデータの送信に失敗しました	• EtherCAT 通信周期内に EtherCAT フレームが送信できなかった • フレーム送信ジッタオーバーが発生した			○			P.3-577

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
842B0000Hex	プロセスデータ受信タイムアウト	プロセスデータの受信がタイムアウトしました	• ノイズ • 汎用 Ethernet ハブが接続されている • 推奨外の Ethernet ケーブルを使用 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線 • Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • ケーブル総延長の設定値で算出 した伝送遅延時間が、実際の伝送遅延時間より短い • ネットワーク構成に他社製 EtherCAT スレーブが含まれる、または推奨以外の Ethernet ケーブルを意図的に使用 • ネットワーク構成が、伝送遅延時間を設定したときのネットワーク構成から変更されたことにより、伝送遅延時間が増加 • CPU ユニットのタスク周期が短い • リングトポロジに対応していないスレーブを含むリングトポロジ上で、リング断線が発生した			○			P.3-578
842C0000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	プロセスデータ通信異常	プロセスデータの通信で異常が発生しました	• 「離脱」操作または「無効」操作なしに、スレーブが不在となった • スレーブの故障			○			P.3-580
842F0000Hex（Ver.1.13 以降）	プロセスデータ入力値無効異常	EtherCAT マスタがオペレーショナル状態のときに、プロセスデータ通信を正常に行えず、入力データ無効である状態が一定期間継続しました	• Ethernet ケーブルのコネクタがはずれかかっている • Ethernet ケーブルが断線しかかっている • Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • EtherCAT スレーブのハードウェア故障 • ノイズ			○			P.3-581

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84300001Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	スレーブ状態遷移失敗	スレーブの状態遷移に失敗しました	• EtherCAT スレーブの状態遷移中にスレーブに異常が発生した • 推奨外の Ethernet ケーブルを使用 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線 • Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • 汎用 Ethernet ハブが接続されている • ノイズ • EtherCAT マスタ、または EtherCAT スレーブの故障 • EtherCAT スレーブの状態遷移中に EtherCAT マスタが送信するメッセージ通信に対して、スレーブがエラーレスポンスを返信 • MDP 対応スレーブで、［モジュール構成情報送信方法］を［送信する］と設定した場合に、プレオペレーショナルからセーフオペレーショナルへの遷移に失敗した			○			P.3-583
84310002Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	スレーブの不正な切り離し検知	スレーブが不正に切り離されました	• スレーブの電源が OFF された、または Ethernet ケーブルを抜いた • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • 推奨外の Ethernet ケーブルを使用 • Ethernet ケーブルの断線 • Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • リングトポロジ内のスレーブの配線誤り • 動作中にスレーブノードアドレスが変更された			○			P.3-587
84320003Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続）	ネットワーク構成情報に存在しないスレーブが接続されています	• ネットワーク構成情報に存在しないスレーブを接続 • スレーブ最大接続数を超えた • リングトポロジ内のスレーブの配線誤り			○			P.3-589
84330004Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致）	ネットワーク構成情報と実ネットワーク構成で、スレーブが一致していません	• ノードアドレスが不一致 • ネットワーク構成情報にないスレーブが接続されている • リングトポロジ内のスレーブの配線誤り			○			P.3-591
84340000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	スレーブ PDI WDT 異常検知	スレーブの PDI WDT 異常を検知しました	• EtherCAT スレーブの電源電圧が低下した • EtherCAT スレーブの故障 • スレーブからの応答なし（他社製スレーブの場合のみ）			○			P.3-593
84360000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	スレーブ AL ステータス異常検知	EtherCAT スレーブからの AL ステータス異常を検知しました	• EtherCAT スレーブ側での異常発生により、EtherCAT スレーブから EtherCAT マスタへ AL ステータスコードが通知された			○			P.3-594

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84370000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	時刻同期補正失敗	スレーブとの時刻同期に失敗しました	• 状態遷移中にネットワーク構成が変化した • EtherCAT スレーブの故障 • ノイズ			○			P.3-595
84380000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）	ネットワーク構成情報に存在するスレーブが接続されていません	• スレーブの電源が投入されていない • スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • リンク確立が遅い、スレーブの電源起動時間が長すぎることにより、全スレーブ加入待ち時間を超過した • スレーブを接続している Ethernet ケーブルが推奨外のものを使用 • スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線 • スレーブを接続している Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良 • リングトポロジ内のスレーブの配線誤り • スレーブのハードウェア故障			○			P.3-596
843A0000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）	ネットワーク構成情報で設定されていないリングトポロジが、実ネットワーク上に構成されています	• ネットワーク構成情報でリングトポロジを設定せずに、実ネットワーク上にリングトポロジを構成している • ネットワーク構成情報とは異なる箇所に、リングトポロジが構成されている			○			P.3-598
843C0000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	不正な配線検知	EtherCAT ネットワークの配線が不正です	• IN ポート同士または OUT ポート同士が接続されている • 2 つ以上のリングトポロジが構成されている • リング始点ポートとリング終点ポートの組み合わせが不正 • リング始点ポートとリング終点ポートの配線が入れ替わっている • リングトポロジ上の分岐スレーブの配線が誤っている • ネットワーク構成情報に存在しないリングトポロジが、実ネットワーク上に存在する			○			P.3-600
94520000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	電源再投入待ち	異常からの復旧のためにコントローラの電源再投入またはコントローラリセットが必要な状態になりました	• 復旧のために電源再投入またはコントローラリセットが必要なイベントが発生した			○			P.3-601

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
102F0000Hex（Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT スレーブのバックアップが異常終了しました	• EtherCAT マスタースレーブ間の接続が確立されていない（リンクオフ中） • 異常発生により EtherCAT マスタ状態が不正である • EtherCAT のネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致していない • EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した • EtherCAT マスタが他の処理を実行中で、一時的に処理をできない状態である • EtherCAT スレーブの初期化処理に失敗した • EtherCAT スレーブからのバックアップパラメータの取得に失敗した • オムロン製通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した				○		P.3-602
10300000Hex（Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT スレーブのリストアが異常終了しました	• EtherCAT マスタースレーブ間の接続が確立されていない（リンクオフ中） • EtherCAT マスタ-スレーブ間を確実に配線して接続を確立した状態でリストアを行ってください • EtherCAT のネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致していない • EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した • EtherCAT マスタが他の処理を実行中で、一時的に処理をできない状態である • EtherCAT スレーブの初期化処理に失敗した • MX2／RX シリーズ インバータへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した（CPU ユニットのユニットバージョンが Ver.1.10 以前の場合のみ） • EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した • バックアップデータ不正を検知した • バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致していない • オムロン製通信カプラユニットで異常が発生した				○		P.3-604

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10460001Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT スレーブのバックアップが異常終了しました	• EtherCAT マスタがバックアップ開始できない • EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの取得に失敗した • EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した • オムロン製通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した • 離脱中のスレーブに対してバックアップを実行した				○		P.3-607
10470002Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT スレーブのリストアが異常終了しました	• EtherCAT マスタがリストア開始できない • バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致していない • EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した • EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した • バックアップデータ不正を検知した • オムロン製通信カプラユニットで異常が発生した				○		P.3-609
64200000Hex	エマージェンシー・メッセージ検知	エマージェンシー・メッセージを検知しました	• スレーブからエマージェンシー・メッセージを受信した				○		P.3-611
842D0000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）	EtherCAT メッセージ異常	スレーブとのメッセージ通信で異常を検知しました	• 付属情報を参照して確認してください				○		P.3-612
84350000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	不正メールボックス受信	スレーブから不正なメールボックスを受信しました	• スレーブから宛先不正のメッセージを受信				○		P.3-612
84390000Hex（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）	リング断線検知	リング断線状態であることを検知しました	• Ethernet ケーブルを抜いた • スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • 推奨外の Ethernet ケーブルを使用 • スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線 • Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良				○		P.3-613
94400000Hex	スレーブ離脱	スレーブが「離脱」指示により離脱状態となりました	• Sysmac Studio からスレーブの「離脱」操作を行った • EC_DisconnectSlave 命令が実行された					○	P.3-614
94410000Hex	スレーブ再加入	スレーブが「再加入」指示により、離脱状態が解除されました	• Sysmac Studio からスレーブの「再加入」操作を行った • EC_ConnectSlave 命令が実行された					○	P.3-615
94430000Hex	異常解除	発生中の異常の解除指示がされました	• Sysmac Studio から「異常解除」操作を行った • ResetECError 命令が実行された					○	P.3-615

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
94440000Hex（Ver.1.04 以降）	スレーブ無効化	EtherCAT スレーブを無効にしました	• EC_ChangeEnableSetting 命令が実行された					○	P.3-616
94450000Hex（Ver.1.04 以降）	スレーブ有効化	EtherCAT スレーブを有効にしました	• EC_ChangeEnableSetting 命令が実行された					○	P.3-616
94500000Hex（Ver.1.11 以降）	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能開始	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能を開始しました	• システム定義変数「_EC_StatisticsLogEnable」の値が FALSE から TRUE に変化した					○	P.3-617
94510000Hex（Ver.1.11 以降）	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能終了	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能を終了しました	• EtherCAT 診断・統計情報ログ機能の終了要因が発生した					○	P.3-617

3-8-2　異常の説明

異常の説明 内蔵 EtherCAT ポート関連

イベント名	通信コントローラ異常			**イベントコード**	04400000Hex	
内容	起動時に通信コントローラの異常を検出しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		点灯		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EC_LanHwErr		BOOL		通信コントローラ異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	通信コントローラの故障		コントローラリセットしてください。再発する場合は、CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	MAC アドレス異常			**イベントコード**	14400000Hex *1	
内容	MAC アドレスが不正です					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信不可		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		点灯		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EC_MacAdrErr		BOOL		MAC アドレス異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	CPU ユニットの故障		CPU ユニットを交換してください		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。

イベント名	パラメータ転送未実行			イベントコード	34420000Hex *1	
内容	スレーブ／ユニットのパラメータが転送されていません					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／運転モード変更時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	電源再投入／コントローラリセット	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 プレオペレーショナル状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信可能。プロセスデータ通信不可		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	スレーブ／ユニットのパラメータがダウンロードされていない	Sysmac Studio でスレーブ／ユニットのパラメータをダウンロード後、電源再投入またはコントローラリセットをしてください	コントローラのリセットが必要なダウンロードを実施した場合には、Sysmac Studio のメッセージの表示内容に従い、ダウンロードを完了させてください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.40 以降で発生するイベントです。

イベント名	EtherCAT 処理異常			**イベントコード**	44010000Hex	
内容	EtherCAT マスタ機能モジュールで致命的な異常を検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット／通信中
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈マスタ〉 EtherCAT マスタ機能停止 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止。通信中の場合、通信異常が発生し、異常処理はスレーブ設定に従います 異常が発生し、異常処理はスレーブ設定に従います		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		点灯		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ソフトウェアにエラーが発生した		Sysmac Studio で Sysmac コントローラログを取得の上、当社営業または販売店にお問い合わせください。Sysmac コントローラログの取得方法は、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください		なし	
付属情報	付属情報 1：システム情報 付属情報 2：システム情報 付属情報 3：システム情報 付属情報 4：システム情報					
注意点／備考	なし					

イベント名	リンクオフ異常			**イベントコード**	84200000Hex	
内容	マスタリンクオフが発生しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	通信ポート	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	**重要度**	部分停止フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機。初期化状態でない場合は、初期化状態に遷移します。本異常に起因する他の通信異常は異常検知しません 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止。通信中の場合、通信異常が発生し、異常処理はスレーブ設定に従います		

LED	**EtherCAT NET RUN**	**EtherCAT NET ERR**	**EtherCAT LINK/ACT**
	消灯	点滅（1s 間隔）	−

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EC_LinkOffErr	BOOL	リンクオフ異常
	_EC_LinkStatus	BOOL	リンクステータス

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブル未接続	マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルを接続してください	Ethernet ケーブルが接続されていることを確認してください
	先頭スレーブの電源が投入されていない	先頭スレーブの電源を投入してください	先頭スレーブの電源が投入されていることを確認してください
	マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	マスタと先頭スレーブ間に推奨外の Ethernet ケーブルの使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨の Ethernet ケーブルを使用してください
	マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	マスタと先頭スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	先頭スレーブのハードウェア故障	先頭スレーブの電源を再投入し、再発する場合は、スレーブを交換してください	なし
	「EtherCAT フレーム受信なし異常」(842E0000Hex)が発生している[*1]	「EtherCAT フレーム受信なし異常」(842E0000Hex)の処置対策を行ってください	「EtherCAT フレーム受信なし異常」(842E0000Hex)の再発防止を行ってください
	汎用 Ethernet ハブまたはリピータハブが接続されている	汎用 Ethernet ハブまたはリピータハブを取り除いて、EtherCAT 専用分岐スレーブを接続してください	汎用 Ethernet ハブおよびリピータハブを接続しないでください。分岐トポロジまたはリングトポロジを構成したい場合は、EtherCAT 専用分岐スレーブを使用してください

付属情報	なし

注意点／備考	汎用 Ethernet ハブまたはリピータハブが接続されていると、ネットワークの誤動作を防ぐために EtherCAT マスタが EtherCAT 通信を停止し、本異常が発生することがあります。

*1. Sysmac Studio のトラブルシュート機能または表示器のトラブルシュータ機能を使用して確認してください。

イベント名	EtherCAT フレーム受信なし異常			イベントコード	842E0000Hex *1	
内容	送信した EtherCAT フレームを受信できませんでした					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ／スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中 *2／ECAT マスタへのケーブル接続時
異常の属性	重要度	部分停止フォールト	復旧方法	異常解除*3	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機、または初期化状態でない場合は、すべてのスレーブを初期化状態に遷移させます 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止。通信中の場合、通信異常が発生し、異常処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	点滅

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1)～10)のいずれかが発生	付属情報を確認し、異常箇所の特定、および処置対策を行ってください。リングトポロジ内の 2 箇所で本異常が発生している場合は、リング終点ポート以外の箇所に対し、処置対策を行ってください。ノードアドレスの設定を行っていないなどの要因により付属情報で異常箇所の特定ができない場合は、スレーブやケーブルに異常がないかをひとつひとつ確認してください	
	1)EtherCAT スレーブでないデバイスが接続されている	EtherCAT スレーブでないデバイスを取り外してください	EtherCAT スレーブ以外のデバイスを、EtherCAT のネットワークに接続していないこと確認してください
	2)EtherCAT スレーブ間、または EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間が、OUT ポート同士で接続されている	付属情報 3 で示すスレーブ／マスタの該当ポートに接続している Ethernet ケーブルの配線を修正してください	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
	3)EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタがはずれかかっている	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	4)EtherCAT マスタと EtherCAT スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし

	5)ケーブル総延長の設定値で算出した伝送遅延時間が、実際の伝送遅延時間より短い	［ケーブル総延長］を大きい値に変更し、コントローラに再設定してください。 または、［伝送遅延時間］を実測した値で変更し、コントローラに再設定してください。［伝送遅延時間］を実測した値で設定する方法は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット 内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「実測による伝送遅延時間の設定」を参照してください	処置対策と同じ
	6)ネットワーク構成に他社製 EtherCAT スレーブが含まれる、または推奨以外の Ethernet ケーブルを意図的に使用		
	7)ネットワーク構成が、伝送遅延時間を設定したときのネットワーク構成から変更されたことにより、伝送遅延時間が増加		
	8)EtherCAT スレーブのハードウェア故障	該当スレーブの電源を再投入し、再発する場合は、スレーブを交換してください	なし
	9)EtherCAT マスタのハードウェア故障	CPU ユニットの電源を再投入し、再発する場合は、CPU ユニットを交換してください	なし
	10)「不正な配線検知」(843C0000Hex)が発生している *4	「不正な配線検知」(843C0000Hex)の処置対策を行ってください	「不正な配線検知」(843C0000Hex)の再発防止を行ってください
付属情報	付属情報 1：異常発生箇所診断結果 • 0: 異常発生箇所特定不可 （注）1 • 1: 異常発生箇所特定 （注）1 • 2: 異常発生箇所特定中 （注）1 （注）2 （注）1. Sysmac Studio の EtherCAT 関連機能、および EtherCAT 通信命令は実行できません （注）2. 付属情報 1 が 0 または 1 である本イベントが登録されるまでは、CPU ユニットのメモリオールクリアおよびプロジェクトのダウンロードは実行できません 付属情報 2：異常発生箇所（付属情報 1 の値が 1 の場合だけ）（注）3 • 0: マスタ • 0 以外: スレーブのノードアドレス 付属情報 3：異常発生箇所詳細（付属情報 1 の値が 1 の場合だけ）（注）3 • 付属情報 2 がマスタの場合、ポート名は 0 と出力されます • 付属情報 2 がスレーブのノードアドレスの場合、サポートツールで表示されるポート名が出力されます。ただし、ネットワーク構成情報と該当スレーブの実機が照合一致しない場合は、ポート名のデフォルト値として PortA, PortB, PortC, PortD のいずれかの名称が出力されます。 • 付属情報 1 の値が 1 以外の場合、ポート名は 0 と出力されます （注）3. 実ネットワーク上にリングトポロジがある場合は、異常発生箇所を正しく表示できない場合があります。付属情報 2 および 3 に表示された異常発生箇所に問題がない場合は、リング終点ポートのケーブルを一旦取り外したのち、コントローラの電源再投入またはコントローラリセットを実行し、発生したイベントに対する処置対策を実施してください。 付属情報 4：システム情報		
注意点／備考	• 設定ユニットバージョン Ver.1.42 未満の場合、実ネットワーク構成上にリングトポロジが存在するときは、異常発生箇所を特定できません。リング終点ポートのケーブルを取り外したのち、コントローラの電源再投入またはコントローラリセットを実行し、本異常を再度発生させて異常箇所を特定してください。 設定ユニットバージョン Ver.1.42 以降の場合、リングトポロジ内の 2 箇所で本異常が発生しているときは、リング終点ポート以外の箇所に対し、処置対策を行ってください。 • 付属情報 1 が 2 となるのは、設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降だけです。		

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。
*2. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に検出します。
*3. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降では、電源再投入が必要な場合があります。
*4. Sysmac Studio のトラブルシュート機能または表示器のトラブルシュータ機能を使用して確認してください。

イベント名	スレーブノードアドレス重複			**イベントコード**	24200000Hex	
内容	重複したスレーブノードアドレスを検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	スレーブ	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈マスタ〉 【マスタ起動時検出した場合】 通信停止。初期化状態のまま待機します 【縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ、運転中に検出した場合】 正常に動作していたスレーブの動作は継続運転します。 追加されたアドレス重複異常に該当するスレーブ以降のスレーブを初期化状態に抑止 【縮退運転設定を「停止する」に設定し、かつ、運転中に検出した場合】 設定ユニットバージョン Ver1.40 未満の場合： 正常に動作していたスレーブの動作をプレオペレーショナル状態に遷移させます。追加されたアドレス重複異常に該当するスレーブ以降のスレーブを、初期化状態に抑止 設定ユニットバージョン Ver1.40 以降の場合： 正常に動作していたスレーブの動作をセーフオペレーショナル状態に遷移させます。追加されたアドレス重複異常に該当するスレーブ以降のスレーブを、初期化状態に抑止 〈スレーブ〉 エラーなし。 追加された重複異常スレーブとその後続のスレーブはメッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EC_SlavAdrDupErr		BOOL		スレーブノードアドレス重複異常	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	複数のスレーブに同じノードアドレスが設定されている		スレーブのノードアドレススイッチ／ノードアドレス設定値を確認し、重複しないように変更してください		スレーブのノードアドレスが重複しないように設定してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	スレーブノードアドレスが設定された状態でないと、スレーブは使用できません					

イベント名	ネットワーク構成情報異常			イベントコード	34400000Hex	
内容	ネットワーク構成情報の異常を検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_NetCfgErr		BOOL		ネットワーク構成情報異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ネットワーク構成情報のダウンロード中またはリストア中に、コントローラを電断または Sysmac Studio との通信を切断した		メモリオールクリアを実行後、再度マスタへネットワーク構成情報をダウンロードまたはリストアしてください		ネットワーク構成情報のダウンロード中またはリストア中は、コントローラを電断および Sysmac Studio との通信を切断しないでください	
付属情報	付属情報 1：異常の詳細　0001Hex: パラメータ不正、0014Hex: ファイルオープンエラー					
注意点／備考	なし					

イベント名	EtherCAT 通信周期設定異常			イベントコード	34410000Hex *1	
内容	通信周期の設定値でプロセスデータ通信ができません					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	通信開始時
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	自動復旧	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_CycleExceeded		BOOL		EtherCAT 通信周期設定異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	実際に接続されている構成の伝搬遅延時間が、ユーザ設定のケーブル長により算出された伝搬遅延時間より、大きかった		ケーブル長の設定値を実構成と合うように設定してください		ケーブル長の設定値を実構成と合うように設定してください	
	設定されたタスク周期（通信周期）が、小さかった		シミュレータを活用し、通信可能なタスク周期（通信周期）を設定してください		シミュレータを活用し、通信可能なタスク周期（通信周期）を設定してください	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.10 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満で発生するイベントです。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">ネットワーク構成異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">84210000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">EtherCAT のネットワーク構成が不正です</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">EtherCAT マスタ機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／通信中</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">「注意点／備考欄」を参照</td></tr>
<tr><td>LED</td><td colspan="2">EtherCAT NET RUN</td><td colspan="2">EtherCAT NET ERR</td><td>EtherCAT LINK/ACT</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">点滅（1s 間隔）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_NetTopologyErr</td><td colspan="2">BOOL</td><td>ネットワーク構成異常</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">スレーブの OUT ポート同士が接続されている</td><td colspan="2" rowspan="2">Ethernet ケーブルの配線を修正してください</td><td rowspan="2">Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">マスタとスレーブがスレーブの OUT ポートで接続されている</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherCAT マスタに接続できる最大スレーブ数を超えるスレーブが接続されている</td><td colspan="2">不要なスレーブを取外して接続可能な台数以下にしてください</td><td>EtherCAT ネットワーク上に最大スレーブ数を超えるスレーブを接続していないことを確認してください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">異常の詳細　0000Hex:スレーブ台数オーバー、0001Hex:OUT ポート同士の接続</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">動作
〈マスタ〉
• 縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはオペレーショナル状態に遷移し、継続動作。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態に抑止し通信停止
• 縮退運転設定を「停止する」に設定し、かつ電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはプレオペレーショナル状態に遷移し、メッセージ通信のみ可能。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態に抑止し通信停止
• 電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0001Hex である場合：
すべてのスレーブを初期化状態で抑止し、通信停止
• 縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはオペレーショナル状態に遷移し、継続動作。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態に抑止し通信停止
• 縮退運転設定を「停止する」に設定し、かつ通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはプレオペレーショナル状態に遷移し通信停止。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態に抑止し通信停止
• 縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ、通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0001Hex である場合：
正常に動作していたスレーブの動作は継続して運転。ただし DC によるスレーブ間同期を実行している場合、スレーブで同期異常を検出する可能性あり
〈スレーブ〉
• エラーなし
• 縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはオペレーショナル状態で、メッセージ通信、およびプロセスデータ通信可能。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態で、メッセージ通信、およびプロセス通信不可
• 縮退運転設定を「停止する」に設定し、かつ電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合：
先頭から最大スレーブ数までのスレーブはプレオペレーショナル状態で、メッセージ通信可能、プロセスデータ通信不可。最大スレーブ数を超える台数以降は初期化状態で、メッセージ通信、およびプロセス通信不可
• 電源投入時またはコントローラリセット時に検出し、付属情報の異常の詳細が 0001Hex である場合：
すべてのスレーブは初期化状態で、メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可</td></tr>
</table>

	• 縮退運転設定を「縮退する」に設定し、かつ通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合： 異常が発生したスレーブより前のスレーブはオペレーショナル状態で、メッセージ通信、およびプロセスデータ通信可能。異常が発生したスレーブ以降は初期化状態で、メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可 • 縮退運転設定を「停止する」に設定し、かつ通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0000Hex である場合： プレオペレーショナル状態のスレーブはメッセージ通信可能、プロセスデータ通信不可。初期化状態のスレーブはメッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可 • 縮退運転を「縮退する」に設定し、かつ通信中に検出し、付属情報の異常の詳細が 0001Hex である場合： 正常に動作していたスレーブはプロセスデータ通信可能。ただし DC によるスレーブ間同期を実行し、スレーブで同期異常を検出した場合は入力リフレッシュのみ有効。メッセージ通信可能
	分岐スレーブなど、1 機器で複数ノードと扱うスレーブが存在するため、スレーブの数ではなくスレーブノードアドレスの数が制約となります。 また、最大スレーブ数のスレーブが接続されている状態でリング接続をした場合、「0000Hex:スレーブ台数オーバー」として異常検知します

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。

イベント名	ネットワーク構成照合異常			イベントコード	84220000Hex *1	
内容	ネットワーク構成情報に存在するスレーブが接続されていません。または、ネットワーク構成情報に存在しないスレーブが接続されています					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ／スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブをオペレーショナル状態に遷移させます。ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブ以降のスレーブは初期化状態に抑止 〈スレーブ〉 スレーブ通信状態による 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます。ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブ以降のスレーブは初期化状態に抑止 〈スレーブ〉 スレーブ通信状態による		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_NetCfgCmpErr	BOOL	ネットワーク構成照合異常
	【照合不一致の場合】 _EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	ネットワーク構成情報で指定されているスレーブが接続されていない	ネットワーク構成情報で指定されているスレーブを接続してください。または、Sysmac Studio を接続して、該当スレーブを削除したネットワーク構成情報をマスタに設定・保存してください	実際に接続される構成のネットワーク構成情報をマスタに設定･保存してください
	ノードアドレス不一致	スレーブノードアドレス設定をネットワーク構成情報と一致させてください	
	ネットワーク構成情報で指定されているスレーブとは別のスレーブが接続されている	ネットワーク構成情報で指定されているスレーブを接続してください。または、Sysmac Studio を接続して、該当スレーブを正しいスレーブに変更したネットワーク構成情報をマスタに設定･保存してください	
	ネットワーク構成情報で指定されていないスレーブが接続されている	ネットワーク構成情報で指定されていないスレーブをネットワークから取り外してください。または、Sysmac Studio を接続して、該当スレーブを追加したネットワーク構成情報をマスタに設定･保存してください	

	Sysmac Studio の［スレーブノードアドレス書込み］を実行した後に、スレーブのノードアドレス設定用のハードウェアスイッチを「0」以外に変更した	ハードウェアスイッチで設定した値を使用する場合は、異常解除を実行してください。異常解除すると、ハードウェアスイッチと Sysmac Studio で書き込んだ値がスレーブ側で不一致となり「スレーブアプリケーション異常（84280000Hex）」が発生するため、再度、異常解除を実行してください。 スレーブ離脱中またはスレーブ無効中に本異常が発生した場合で、スレーブ再加入またはスレーブ有効とするときは、異常解除を実行した後に、スレーブ再加入またはスレーブ有効とする操作を実行してください。操作を実行すると、「スレーブアプリケーション異常（84280000Hex）」が発生するため、再度、異常解除を実行し、スレーブ再加入またはスレーブ有効とする操作を実行してください。 Sysmac Studio の［スレーブノードアドレス書込み］で設定した値を使用する場合は、ハードウェアスイッチを「0」に設定しスレーブ側の電源を再投入してください	ハードウェアスイッチで設定した値を使用する場合は、異常解除を実行してください。異常解除すると、ハードウェアスイッチと Sysmac Studio で書き込んだ値がスレーブ側で不一致となり「スレーブアプリケーション異常（84280000Hex）」が発生するため、再度、異常解除を実行してください。 スレーブ離脱中またはスレーブ無効中に本異常が発生した場合で、スレーブ再加入またはスレーブ有効とするときは、異常解除を実行した後に、スレーブ再加入またはスレーブ有効とする操作を実行してください。操作を実行すると、「スレーブアプリケーション異常（84280000Hex）」が発生するため、再度、異常解除を実行し、スレーブ再加入またはスレーブ有効とする操作を実行してください。 Sysmac Studio の［スレーブノードアドレス書込み］で設定した値を使用する場合は、ハードウェアスイッチを「0」に設定しスレーブ側の電源を再投入してください
	スレーブ―スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線	上記の要因でない場合は、Ethernet ケーブルの断線箇所を確認しケーブルを交換してください	なし
付属情報	なし		
注意点／備考	ネットワーク構成の照合オプションで照合チェックの項目を追加している場合は、それらの項目についても一致しているかを確認してください		

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。
*2. n は NX シリーズ CPU ユニットでは 512、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">スレーブ初期化異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">84230000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">スレーブの初期化に失敗しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">EtherCAT マスタ機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／異常解除時／全停止フォールトレベルのコントローラ異常発生時</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】
〈マスタ〉
• 初期化→プレオペレーショナル状態遷移に失敗したとき：
異常発生スレーブは初期化状態で通信停止。トポロジで異常発生したスレーブまでのスレーブはオペレーショナル状態に遷移し、継続動作
• プレオペレーショナル以降の状態遷移に失敗したとき：
該当の異常スレーブのみ状態遷移を停止。その他の正常スレーブはオペレーショナル状態まで遷移させて、継続運転
〈スレーブ〉
スレーブ通信状態によります

【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】
〈マスタ〉
• 初期化→プレオペレーショナル状態遷移に失敗したとき：
すべてのスレーブを初期化状態に遷移させて、通信停止
• プレオペレーショナル以降の状態遷移に失敗したとき：
すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させて、通信停止
〈スレーブ〉
スレーブ通信状態によります</td></tr>
<tr><td>LED</td><td colspan="2">EtherCAT NET RUN</td><td colspan="2">EtherCAT NET ERR</td><td>EtherCAT LINK/ACT</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">点滅（1s 間隔）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_SlavInitErr</td><td colspan="2">BOOL</td><td>スレーブ初期化異常</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_CommErrTbl</td><td colspan="2">ARRAY [1..n] OF BOOL *2</td><td>通信異常スレーブテーブル</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherCAT マスタの処理に異常が発生した</td><td colspan="2">Sysmac Studio を接続して、マスタへネットワーク構成情報を再設定･再保存してください。本異常が再発する場合は、スレーブの同期設定、PDO マッピング情報に間違いがないかを確認し、間違いがある場合は修正してください</td><td>スレーブの同期設定、PDO マッピング情報を正しく設定し、マスタへネットワーク構成情報を設定･保存してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherCAT スレーブで初期化異常が発生した</td><td colspan="2">Sysmac Studio の EtherCAT ネットワーク構成で[モジュール構成情報送信方法]を設定できるスレーブと表示されていても、設定できない場合があります。この場合は、[モジュール構成情報送信方法]を[送信しない]にして、再度同期してください。
または、該当の EtherCAT スレーブを電源再投入してください。本異常が再発する場合は EtherCAT スレーブを交換してください</td><td>なし</td></tr>
</table>

	EtherCAT カプラユニットで初期化異常が発生した	Sysmac Studio を EtherCAT カプラユニットの USB ポートに接続して異常の詳細情報を確認し、各異常に応じた処置対処を行ってください	なし
	全停止フォールトレベルのコントローラ異常が発生した	全停止フォールトレベルのコントローラ異常が発生すると、プロセスデータ通信が停止します。この際に「スレーブアプリケーション異常(84280000Hex)」が発生すると、本イベントも発生します。 全停止フォールトレベルのコントローラ異常に対して、処置対策を行ってください	全停止フォールトレベルのコントローラ異常に対して、再発防止を行ってください
	ケーブル総延長の設定値で算出した伝送遅延時間が、実際の伝送遅延時間より短い	[ケーブル総延長] を大きい値に変更し、コントローラに再設定してください。ケーブル長の合計が 1000m 以下の場合は、[ケーブル総延長] に初期値(1000m)を設定してください。	処置対策と同じ
	Ethernet ケーブルの断線、または指定外のケーブルを使用	システムを最初に稼働させたときから、または、ある時から常に本異常が発生するようになった場合は左記の要因が考えられます。 Sysmac Studio の診断・統計情報を使用して EtherCAT の通信状態を確認してください。 マスタとスレーブ間の Ethernet ケーブルが断線している場合、または指定外のケーブルを使用している場合は、ケーブルを交換してください。また、コネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください。汎用 Ethernet ハブが接続されている場合は EtherCAT 専用分岐スレーブに交換してください。CPU ユニットや EtherCAT スレーブが故障している場合は交換してください	断線がないこと、および指定のケーブルを使用していることを確認してください
	Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ、接触不良、または部品不良		Ethernet ケーブルのコネクタが確実に嵌合していることを確認してください
	汎用 Ethernet ハブが接続されている		EtherCAT ネットワークを分岐する場合は、EtherCAT 専用分岐スレーブを使用してください
	マスタの故障		なし
	スレーブの故障		なし
	ノイズ	本異常が不定期に発生する場合はノイズ対策を行ってください	ノイズ対策を行ってください
付属情報	付属情報 1：システム情報 1 付属情報 2：システム情報 2 付属情報 3：システム情報 3 付属情報 4：システム情報 4		
注意点／備考	なし		

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。
*2. n は NX シリーズ CPU ユニットでは 512、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブアプリケーション異常			イベントコード	84280000Hex *1	
内容	スレーブアプリケーション異常が発生しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 スレーブの通信状態は操作せず、運転を継続。AL ステータス異常が発生したスレーブも状態は操作しない 〈スレーブ〉 エラー発生。異常発生スレーブの状態遷移挙動にしたがいます 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 AL ステータス異常発生時にすべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 エラー発生。すべてのスレーブはプレオペレーショナル状態に遷移		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	−	点滅（1s 間隔）	−

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_SlavAppErr	BOOL	スレーブアプリケーション異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	スレーブの AL ステータスレジスタでエラーを検知した	アプリケーション異常が発生した EtherCAT スレーブの異常をスレーブのマニュアルなどに記載の回復手順にしたがい解除してください	なし

付属情報	付属情報 1：異常を検知したスレーブの AL ステータスコード
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。
*2. n は NX シリーズ CPU ユニットでは 512、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	プロセスデータ送信異常		**イベントコード**	84290000Hex	
内容	プロセスデータの送信に失敗しました				
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール	**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	通信中
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 同期スレーブに異常が発生する可能性があります。異常処理はスレーブ設定に従います 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 同期スレーブに異常が発生する可能性があります。異常処理はスレーブ設定に従います 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 同期スレーブに異常が発生する可能性があります。異常処理はスレーブ設定に従います		

LED	**EtherCAT NET RUN**	**EtherCAT NET ERR**	**EtherCAT LINK/ACT**
	－	点滅（1s 間隔）	－
システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EC_PDSendErr	BOOL	プロセスデータ送信異常
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	EtherCAT 通信周期内に EtherCAT フレームが送信できなかった（付属情報 1 が 0000Hex の場合）	Sysmac Studio を接続しプライマリ定周期タスクまたは定周期タスク（実行優先度 5）のタスク周期設定を大きな値に変更し、EtherCAT マスタにネットワーク構成情報を設定・保存してください	十分な処理時間が確保できる、プライマリ定周期タスクまたは定周期タスク（実行優先度 5）のタスク周期を設定してください。 必要な EtherCAT 通信周期はシミュレータで確認してください
	フレーム送信ジッタオーバーが発生した（付属情報 1 が 0001Hex の場合）		
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0000Hex: フレーム生成処理が送信タイミングに間に合わなかった • 0001Hex: フレーム送信ジッタオーバーが発生した 付属情報 2：システム情報		
注意点／備考	なし		

イベント名	プロセスデータ受信タイムアウト			イベントコード	842B0000Hex	
内容	プロセスデータの受信がタイムアウトしました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 異常が発生する可能性があります。異常処理はスレーブ設定に従います 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 プロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	–	点滅（1s 間隔）	–

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_PDTimeoutErr	BOOL	プロセスデータ受信タイムアウト異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1)～11)のいずれかが発生。 診断・統計情報にて、以下の項目を確認してください。 • マスタ診断・統計情報の CRC エラーフレーム受信数 • マスタ診断・統計情報のフレーム受信タイムアウト回数 • スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数 以下の場合は、1)の要因が考えられます。 • マスタ診断・統計情報の CRC エラーフレーム受信数がカウントされている 以下の場合は、2)～6)の要因が考えられます。 • マスタ診断・統計情報の CRC エラーフレーム受信数がカウントされていない • マスタ診断・統計情報のフレーム受信タイムアウト回数がカウントされている • スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数の取得に失敗する		

	1)ノイズ	ノイズ源に対し、適切なノイズ対策を行ってください。対策後、マスタ診断・統計情報の CRC エラーフレーム数がカウントされていないことを確認してください。 ノイズに対する対処方法については、各ユニットのユーザーズマニュアルなどを参照してください	マスタ診断・統計情報で CRC エラーフレーム数がカウントされ続ける場合は、スレーブ診断・統計情報を確認しながら、ノイズ源を取り除くかノイズ対策を行ってください。 ノイズによる影響が除去しきれなくても、イベント通知をしない場合は、［プロセスデータ受信タイムアウト回数］を増やしてください
	2)汎用 Ethernet ハブが接続されている	EtherCAT 専用分岐スレーブに交換してください	EtherCAT ネットワークを分岐する場合は、EtherCAT 専用分岐スレーブを使用してください
	3)推奨外の Ethernet ケーブルを使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨の Ethernet ケーブルを使用してください
	4)Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	5)Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	6)Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	7)ケーブル総延長の設定値で算出した伝送遅延時間が、実際の伝送遅延時間より短い	［ケーブル総延長］を大きい値に変更し、コントローラに再設定してください。 または、［伝送遅延時間］を実測した値で変更し、コントローラに再設定してください。［伝送遅延時間］を実測した値で設定する方法は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「実測による伝送遅延時間の設定」を参照してください	処置対策と同じ
	8)ネットワーク構成に他社製 EtherCAT スレーブが含まれる、または推奨以外の Ethernet ケーブルを意図的に使用		
	9)ネットワーク構成が、伝送遅延時間を設定したときのネットワーク構成から変更されたことにより、伝送遅延時間が増加		
	10)CPU ユニットのタスク周期が短い	Sysmac Studio を接続しプライマリ定周期タスクまたは定周期タスク（実行優先度 5）のタスク周期設定を大きな値に変更し、EtherCAT マスタにネットワーク構成情報を設定・保存してください	十分な処理時間が確保できる、プライマリ定周期タスクまたは定周期タスク（実行優先度 5）のタスク周期を設定してください。 必要な EtherCAT 通信周期はシミュレータで確認してください
	11)リングトポロジに対応していないスレーブを含むリングトポロジ上で、リング断線が発生した	リングトポロジ上には、リングトポロジに対応したスレーブを配置してください	処置対策と同じ
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex:プライマリ定周期タスクで発生 • 0002Hex:定周期タスク（実行優先度 5）で発生		
注意点／備考	本異常は、「PDO 通信連続タイムアウト検出回数」で設定した回数分、連続してプロセスデータ通信用のフレームのタイムアウトが発生した場合に登録されます		

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">プロセスデータ通信異常</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">842C0000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">プロセスデータの通信で異常が発生しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td>EtherCAT マスタ機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>スレーブ</td><td>検出タイミング</td><td>通信中</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>異常解除</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】
〈マスタ〉
運転を継続
〈スレーブ〉
エラー発生。オペレーショナル状態継続。スレーブで PDI ウォッチドッグ異常が発生した場合は、該当スレーブを初期化状態に遷移

【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】
〈マスタ〉
すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます
〈スレーブ〉
エラー発生。停止運転時は、すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移。スレーブで PDI ウォッチドッグ異常が発生した場合は、該当スレーブを初期化状態に遷移</td></tr>
<tr><td>LED</td><td colspan="2">EtherCAT NET RUN</td><td colspan="2">EtherCAT NET ERR</td><td>EtherCAT LINK/ACT</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">点滅（1s 間隔）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_PDCommErr</td><td colspan="2">BOOL</td><td>プロセスデータ通信異常</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_CommErrTbl</td><td colspan="2">ARRAY [1..n] OF BOOL *2</td><td>通信異常スレーブテーブル</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_PDActive</td><td colspan="2">BOOL</td><td>プロセスデータ通信ステータス</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">「離脱」操作または「無効」操作なしに、スレーブが不在となった
• スレーブの電源 OFF
• Ethernet ケーブルの取り外し</td><td colspan="2">• 「離脱」操作または「無効」操作を行ってからスレーブの電源を OFF してください
• 「離脱」操作または「無効」操作を行ってから Ethernet ケーブルを取り外してください</td><td>処置対策と同じ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">「離脱」操作または「無効」操作なしに、スレーブが不在となった
• Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ、接触不良、または部品不良
• Ethernet ケーブルの断線
• 指定外のケーブルを使用</td><td colspan="2">システムを最初に稼働させたときから、または、ある時から常に本異常が発生するようになった場合は左記の要因が考えられます。
Sysmac Studio の診断・統計情報を使用して EtherCAT の通信状態を確認してください。
Ethernet ケーブルが断線している場合、または指定外のケーブルを使用している場合は、ケーブルを交換してください。また、コネクタが正しく嵌合しているかを確認、コネクタを再接続してください。</td><td>• Ethernet ケーブルのコネクタが確実に嵌合していることを確認してください
• Ethernet ケーブルに断線がないことを確認してください
• 指定のケーブルを使用していることを確認してください</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">スレーブの故障</td><td colspan="2">上記の処置を行っても本異常が再発する場合はスレーブを交換してください</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：異常の詳細
• 0001Hex: スレーブ WDT 異常（スレーブの故障）
• 0002Hex: スレーブ離脱（「離脱」操作または「無効」操作なしに、スレーブが不在となった）</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">なし</td></tr>
</table>

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。
*2. n は NX シリーズ CPU ユニットでは 512、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	プロセスデータ入力値無効異常			イベントコード	842F0000Hex *1	
内容	EtherCAT マスタがオペレーショナル状態のときに、プロセスデータ通信を正常に行えず、入力データ無効である状態が一定期間継続しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 プロセスデータ通信を継続 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 プロセスデータ通信を停止し、スレーブ側の出力処理はスレーブ設定に従います 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_IndataInvalidErr	BOOL	プロセスデータ入力値無効異常
	_EC_InDataInvalid	BOOL	入力データ無効
	_EC_InData1Invalid	BOOL	入力データ 1 無効
	_EC_InData2Invalid	BOOL	入力データ 2 無効

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1)～5)のいずれかが発生		
	1)Ethernet ケーブルのコネクタがはずれかかっている	Ethernet ケーブルのコネクタがカチッと音がして固定されるまで確実に接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	2)Ethernet ケーブルが断線しかかっている	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	3)Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	4)EtherCAT スレーブのハードウェア故障	故障している EtherCAT スレーブの特定するため、ネットワークからスレーブをひとつひとつ切り離しながら、システム定義変数「_EC_InDataInvalid」（入力データ無効）、「_EC_InData1Invalid」（入力データ 1 無効）、「_EC_InData2Invalid」（入力データ 2 無効）が FALSE になるまで実施してください。TRUE から FALSE になったときに、切り離ししたスレーブは故障しているため、そのスレーブを交換してください	なし
	5)ノイズ	スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数を確認してください。カウントした箇所でノイズを受けていると考えられます。ノイズを受けていると考えられる箇所に対し、適切なノイズ対策を行ってください。対策後、スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数がカウントされていないことを確認してください	マスタ診断・統計情報でエラーフレーム受信数がカウントされ続けている場合は、スレーブの診断・統計情報を確認しながら、ノイズ源を取り除くかノイズ対策を行ってください
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex: プライマリ定周期タスクで発生 • 0002Hex: 定周期タスク（実行優先度 5）で発生		
注意点／備考	なし		

*1.　CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.13 以降で発生するイベントです。

イベント名	スレーブ状態遷移失敗			イベントコード	84300001Hex *1	
内容	スレーブの状態遷移に失敗しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／異常解除時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 該当の異常スレーブだけ状態遷移を停止。正常スレーブはオペレーショナル状態まで遷移させて、運転を継続 〈スレーブ〉 スレーブ通信状態によります 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 • 初期化→プレオペレーショナル状態遷移に失敗したとき： すべてのスレーブを初期化状態に遷移させます • プレオペレーショナル→セーフオペレーショナル状態遷移に失敗したとき： すべてのスレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます • セーフオペレーショナル→オペレーショナル状態遷移に失敗したとき： すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 スレーブ通信状態によります		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_SlavInitErr	BOOL	スレーブ初期化異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1）～4）が発生。付属情報 1、または付属情報 4 を確認して要因を特定してください		

	1)EtherCAT スレーブの状態遷移中にスレーブに異常が発生した（付属情報 1 が 0002Hex または 0003Hex の場合）	以下の異常の発生により、状態遷移が失敗した可能性があります。発生しているイベントの要因を取り除いてください。 • スレーブの不正な切り離し検知 • スレーブ PDI WDT 異常検知 • スレーブ AL ステータス異常検知 • リンクオフ異常 全停止フォールトレベルのコントローラ異常が発生している場合、プロセスデータ通信が停止するため、「スレーブ AL ステータス異常検知」とともに、本異常が発生する可能性があります。全停止フォールトレベルのコントローラ異常に対して、処置対策を行ってください。上記の発生中の異常がない場合は、SysmacStudio で Sysmac コントローラログを取得の上、当社営業または販売店にお問い合わせください。Sysmac コントローラログの取得方法は、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル(SBCA-470)』を参照してください	「スレーブの不正な切り離し検知」、または「スレーブ PDI WDT 異常検知」のイベントを参照し、再発防止を行ってください。 また、以下を実行中にスレーブの切り離しを行わないでください。 • 異常解除 • 離脱指示 • 再加入指示 • 無効指示 • 有効指示 • リスタート • 離脱、または無効スレーブが加入した後に、システム定義変数「_EC_MBXSlavTbl」（メッセージ通信可能スレーブテーブル）が TRUE になるまで 全停止フォールトレベルのコントローラ異常に対して、再発防止を行ってください
		スレーブの故障により、状態遷移が失敗した可能性があります。上記の処置を行っても本異常が再発する場合はスレーブを交換してください	なし
	2)以下のいずれかの要因により、状態遷移タイムアウトが発生（付属情報 1 が 0001Hex の場合）		
	2-1)推奨外の Ethernet ケーブルを使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨の Ethernet ケーブルを使用してください
	2-2)Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	2-3)Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	2-4)Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	2-5)汎用 Ethernet ハブが接続されている	指定の EtherCAT 専用分岐スレーブに交換してください	EtherCAT ネットワークを分岐する場合は、EtherCAT 専用分岐スレーブを使用してください

	2-6)ノイズ	ノイズ源に対し、適切なノイズ対策を行ってください。対策後、スレーブ診断・統計情報の CRC エラーフレーム数がカウントされていないことを確認してください。 ノイズに対する対処方法については、各ユニットのユーザーズマニュアルなどを参照してください	運転開始前に、スレーブ診断・統計情報を使用し、ノイズ源を特定してください。適切なノイズ対策を実施してください
	2-7)EtherCAT マスタ、または EtherCAT スレーブの故障	CPU ユニット、またはスレーブの故障により、状態遷移タイムアウトが発生した可能性があります。上記の処置を行っても本異常が再発する場合は、CPU ユニット、またはスレーブを交換してください	なし
	3)EtherCAT スレーブの状態遷移中に EtherCAT マスタが送信するメッセージ通信に対して、スレーブがエラーレスポンスを返信 (付属情報 1 が 0004Hex の場合)	付属情報 3 のアボートコードを確認してください。エラーレスポンスを返すスレーブのユーザーズマニュアルを参照し、アボートコードを確認して、処置対策を行ってください 以下は、よくあるアボートコードの処置対策の一例です。 • Sysmac Studio を接続して、マスタへネットワーク構成情報を再設定･再保存してください。本異常が再発する場合は、スレーブの同期設定、PDO マッピング情報に間違いがないかを確認し、間違いがある場合は修正してください 発生要因（推定原因）の 1）2）4）の処置対策を実施しても本異常が発生する場合は、Sysmac コントローラログを取得の上、当社営業または販売店にお問い合わせください。Sysmac コントローラログの取得方法は、『Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル (SBCA-470)』を参照してください	エラーレスポンスを返すスレーブのユーザーズマニュアルを参照し、再発防止を行ってください 処置対策例を実施した場合、スレーブの同期設定、PDO マッピング情報を正しく設定し、マスタへネットワーク構成情報を設定･保存してください。
	4)MDP 対応スレーブで、［モジュール構成情報送信方法］を［送信する］と設定した場合に、プレオペレーショナルからセーフオペレーショナルへの遷移に失敗した (付属情報 4 が以下のいずれかの場合 • 00010004Hex • 00010008Hex • 00020004Hex • 00020008Hex)	Sysmac Studio の EtherCAT ネットワーク構成で［モジュール構成情報送信方法］を設定できるスレーブと表示されていても、設定できない場合があります。この場合は、［モジュール構成情報送信方法］を［送信しない］にして、再度同期してください。 再同期後も本異常が発生する場合は、付属情報 1 を確認して、処置対策を行ってください	なし

付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex: 状態遷移タイムアウト • 0002Hex: スレーブ応答なし • 0003Hex: スレーブ状態遷移拒否 • 0004Hex: SDO 通信レスポンスエラー 付属情報 2：SDO 通信のアクセス先オブジェクト（付属情報 1 が 0004Hex の場合だけ有効） • 上位 16 ビット：CoE のインデックス • 下位 16 ビット：CoE のサブインデックス 付属情報 3：アボートコード（付属情報 1 が 0004Hex の場合だけ有効） 付属情報 4：遷移元および遷移先の状態 • 上位 16 ビット：遷移元の状態 • 下位 16 ビット：遷移先の状態 16 ビットで表示される状態 0001：初期化状態 0002：プレオペレーショナル状態 0004：セーフオペレーショナル状態 0008：オペレーショナル状態
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブの不正な切り離し検知			イベントコード	84310002Hex *1	
内容	スレーブが不正に切り離されました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 切り離されたスレーブと、そのスレーブにディジーチェーンで接続されているスレーブは異常発生し、異常処理はスレーブ設定に従います。それ以外のスレーブはプロセスデータ通信を継続します 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 すべてのスレーブは出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います。切り離されたスレーブとその後続にディジーチェーンで接続されているスレーブは通信異常が発生し、異常処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_PDCommErr	BOOL	プロセスデータ通信異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル
	_EC_PDActive	BOOL	プロセスデータ通信ステータス

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1)～7)のいずれかの要因が発生。 ただし、下記のいずれかに該当するスレーブは除く • 離脱指定したスレーブ • 無効指定したスレーブ		
	1)スレーブの電源が OFF された、または Ethernet ケーブルを抜いた	Ethernet ケーブルが配線されているかを確認し、未接続の配線を接続してください。または、スレーブの電源が入っているかを確認し、電源を再投入してください	スレーブの電源 OFF、または Ethernet ケーブルを取り外してスレーブをネットワークから切り離す場合は、切り離すスレーブへ離脱指定、または切り離すスレーブと、そのスレーブにディジーチェーンで接続されているスレーブへ無効指定を行ってから、実施してください。
	2)スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	3)推奨外の Ethernet ケーブルを使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨の Ethernet ケーブルを使用してください

	4)Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	5)Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	6)リングトポロジ内のスレーブの配線誤り	リングトポロジ内の配線誤りにより、マスタからスレーブが認識されていません。発生源詳細のスレーブの配線を修正してください。 それでも解決しない場合は、実ネットワーク構成上のリング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、異常解除を実行した後、発生したイベントの処置対策を実施してください。 また、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することで、より効率よく処置対策を実施できます	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
	7)動作中にスレーブノードアドレスが変更された	該当スレーブの実機のスレーブノードアドレスとネットワーク構成情報のノードアドレスを一致させてください。実機の構成が正しく、ネットワーク構成情報が誤っている場合は、ネットワーク構成情報のノードアドレスを見直してください	動作中にスレーブノードアドレスを変更しないでください
付属情報	なし		
注意点／備考	• 本異常が発生したスレーブをネットワークに接続後、接続したスレーブの「_EC_EntrySlavTbl[]」（ネットワーク加入スレーブテーブル）の値が TRUE になる前に異常解除を実行すると、「ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）」が発生します • 一時的にケーブル冗長状態が解除されているときにリングトポロジ上で発生要因の 1)～5)が発生した場合も、本異常が発生します。		

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続）			イベントコード	84320003Hex *1	
内容	ネットワーク構成情報に存在しないスレーブが接続されています					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ／スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除*2	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を開始。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を継続。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信不可 通信中： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_NetCfgCmpErr （付属情報 1 が 0001Hex の場合）	BOOL	ネットワーク構成照合異常
	_EC_NetTopologyErr （付属情報 1 が 0002Hex の場合）	BOOL	ネットワーク構成異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	1)ネットワーク構成情報に存在しないスレーブを接続 （付属情報 1 が 0001Hex の場合）	発生源詳細のスレーブに接続されているスレーブに着目し、ネットワーク構成情報にない EtherCAT スレーブを取り除いてください	Sysmac Studio 上のネットワーク構成情報と実ネットワーク構成が一致していることを、比較・マージ、またはネットワーク構成情報で確認してください
	2)スレーブ最大接続数を超えた （付属情報 1 が 0002Hex の場合）	ネットワーク構成情報にない EtherCAT スレーブを取り除いてください	Sysmac Studio 上のネットワーク構成情報と実ネットワーク構成が一致していることを、ネットワーク構成情報で確認してください
	3)リングトポロジ内のスレーブの配線誤り	発生源詳細のスレーブの配線を確認してください。 それでも解決しない場合は、リング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、発生したイベントに対する処置対策を実施してください。 また、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することで、より効率よく処置対策を実施できます	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex: ネットワーク構成情報にないスレーブが接続された • 0002Hex: スレーブ最大接続数を超えた 付属情報 2：ネットワーク構成情報にないスレーブが接続されているポート名（付属情報 1 が 0001Hex のとき） 付属情報 3：システム情報		
注意点／備考	なし		

*1.　設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2.　電源再投入が必要な場合があります。

イベント名	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致）			イベントコード	84330004Hex *1	
内容	ネットワーク構成情報と実ネットワーク構成で、スレーブが一致していません					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 運転を開始 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を開始。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を継続。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止			

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_NetCfgCmpErr	BOOL	ネットワーク構成照合異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	1)ノードアドレスが不一致 （付属情報 1 が 0004Hex の場合）	該当 EtherCAT スレーブのノードアドレスを、ネットワーク構成情報と一致するように変更してください	Sysmac Studio 上のネットワーク構成情報と実ネットワーク構成が一致していることを、比較・マージ、またはネットワーク構成情報で確認してください
	2)ネットワーク構成情報と異なるスレーブが接続されている （付属情報 1 が 0004Hex 以外の場合）	不一致している項目を確認のうえ、実機とネットワーク構成情報が一致するように変更してください。 なお、リビジョンやシリアル番号の照合が不要な場合や完全一致する必要がない場合は、リビジョンチェック基準やシリアル番号チェック基準の設定値を見直してください	Sysmac Studio 上のネットワーク構成情報と実ネットワーク構成が一致していることを、比較・マージ、またはネットワーク構成情報で確認してください
	3)リングトポロジ内のスレーブの配線誤り	発生源詳細のスレーブの配線を確認してください。 それでも解決しない場合は、リング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、発生したイベントに対する処置対策を実施してください。 また、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することで、より効率よく処置対策を実施できます	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
付属情報	付属情報 1：不一致と判断した項目 0000Hex: ベンダー ID 0001Hex: プロダクトコード 0002Hex: リビジョン 0003Hex: シリアル番号 0004Hex: スレーブノードアドレス		
注意点／備考	なし		

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブ PDI WDT 異常検知			イベントコード	84340000Hex *1	
内容	スレーブの PDI WDT 異常を検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 PDI WDT 異常が発生したスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 PDI WDT 異常が発生したスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止。 PDI WDT 異常が発生していないスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_PDCommErr	BOOL	プロセスデータ通信異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル
	_EC_PDActive	BOOL	プロセスデータ通信ステータス

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1）～3）のいずれかが発生		
	1)EtherCAT スレーブの電源電圧が低下した	スレーブの電源電圧が低下していないか確認してください	電源事情が悪い場所では、定格の電圧・周波数の電源が供給できるようにしてください
	2)EtherCAT スレーブの故障	スレーブの電源を再投入してください。再発する場合はスレーブを交換してください	なし
	3)スレーブからの応答なし（他社製スレーブの場合のみ）	スレーブの電源を再投入してください。再発する場合はスレーブメーカにお問い合わせください	なし

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">スレーブ AL ステータス異常検知</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">84360000Hex *1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">EtherCAT スレーブからの AL ステータス異常を検知しました</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">EtherCAT マスタ機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／通信中</td></tr>
<tr><td>異常の属性</td><td>重要度</td><td>軽度フォールト</td><td>復旧方法</td><td>ログカテゴリ</td><td>システム</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="2">【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】
〈マスタ〉
運転を継続
〈スレーブ〉
AL ステータス異常が発生したスレーブは、AL ステータスに応じて状態遷移します

【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】
〈マスタ〉
すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます
〈スレーブ〉
AL ステータス異常が発生したスレーブは、AL ステータスに応じて状態遷移します。
AL ステータス異常が発生していないスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います</td></tr>
<tr><td>LED</td><td colspan="2">EtherCAT NET RUN</td><td colspan="2">EtherCAT NET ERR</td><td>EtherCAT LINK/ACT</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">点滅（1s 間隔）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_SlavAppErr</td><td colspan="2">BOOL</td><td>スレーブアプリケーション異常</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">_EC_CommErrTbl</td><td colspan="2">ARRAY [1..n] OF BOOL *2</td><td>通信異常スレーブテーブル</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EtherCAT スレーブ側での異常発生により、EtherCAT スレーブから EtherCAT マスタへ AL ステータスコードが通知された</td><td colspan="2">付属情報 1 を参照し、異常が発生したスレーブの AL ステータスコードを確認してください。スレーブのマニュアルを参照し、該当コードの異常要因を取り除き、異常解除を実行してください</td><td>スレーブのマニュアルを参照し、再発防止を行ってください</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：AL ステータスコード
付属情報 2：システム情報
付属情報 3：システム情報
付属情報 4：システム情報</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">なし</td></tr>
</table>

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	時刻同期補正失敗			イベントコード	84370000Hex *1	
内容	スレーブとの時刻同期に失敗しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 スレーブ側で異常が発生する可能性があります。スレーブ側の異常処理はスレーブ設定に従います 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	状態遷移中にネットワーク構成が変化した	「スレーブの不正な切り離し検知」の処置対策を実施してください	なし
	EtherCAT スレーブの故障	スレーブの電源を再投入してください。再発する場合はスレーブを交換してください	なし
	ノイズ	スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数を確認してください。カウントした箇所でノイズを受けていると考えられます。ノイズを受けていると考えられる箇所に対し、適切なノイズ対策を行ってください。対策後、スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数がカウントされていないことを確認してください	マスタ診断・統計情報でエラーフレーム受信数がカウントされ続けている場合は、スレーブの診断・統計情報を確認しながら、ノイズ源を取り除くかノイズ対策を行ってください

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。

イベント名	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）			**イベントコード**	84380000Hex *1	
内容	ネットワーク構成情報に存在するスレーブが接続されていません					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	スレーブ	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	異常解除	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 運転を開始 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を開始。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を継続。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信不可 通信中： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います。 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止		

LED	**EtherCAT NET RUN**	**EtherCAT NET ERR**	**EtherCAT LINK/ACT**
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	_EC_NetCfgCmpErr	BOOL	ネットワーク構成照合異常
	_EC_CommErrTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	通信異常スレーブテーブル

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	1)スレーブの電源が投入されていない	スレーブの電源を投入してください	スレーブの電源が投入されていることを確認してください
	2)スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	Ethernet ケーブルのコネクタを接続してください	• Ethernet ケーブルのコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet ケーブルのコネクタが、確実に嵌合していることを確認してください
	3)リンク確立が遅い、スレーブの電源起動時間が長すぎることにより、全スレーブ加入待ち時間を超過した	全スレーブ加入待ち時間を十分長く設定してください	処置対策と同じ
	4)スレーブを接続している Ethernet ケーブルが推奨外のものを使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨の Ethernet ケーブルを使用してください

	5)スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を参照してください
	6)スレーブを接続している Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし
	7)リングトポロジ内のスレーブの配線誤り	リングトポロジ内の配線誤りにより、マスタからスレーブが認識されていません。発生源詳細のスレーブの配線を修正してください。 それでも解決しない場合は、実ネットワーク構成上のリング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、異常解除を実行した後、発生したイベントの処置対策を実施してください。 また、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することで、より効率よく処置対策を実施できます	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
	8)スレーブのハードウェア故障	該当スレーブの電源を再投入し、再発する場合は、スレーブを交換してください	なし
付属情報	なし		
注意点／備考	本異常が発生したスレーブをネットワークに接続後、接続したスレーブの「_EC_EntrySlavTbl[]」(ネットワーク加入スレーブテーブル) の値が TRUE になる前に異常解除を実行すると、「ネットワーク構成照合異常 (スレーブ不在)」が発生します		

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）		イベントコード	843A0000Hex *1	
内容	ネットワーク構成情報で設定されていないリングトポロジが、実ネットワーク上に構成されています				
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール	発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 運転を開始 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を開始 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を継続 ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます。 〈スレーブ〉 プロセスデータ通信を停止 ネットワーク構成情報と照合一致するスレーブは、出力のプロセスデータ通信を停止し、出力処理はスレーブ設定に従います ネットワーク構成情報と照合一致しないスレーブは、メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	なし	－	－

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	以下の 1)～2)のいずれかの要因が発生	以下の処置対策を行ってください。また、リングトポロジに関するイベントへの対処方法については、『NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル (SBCA-469)』の付録の「A-8 イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正 (P.A-230)」も参照してください 効率よく処置対策を実施するために、リング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、発生したイベントに対する処置対策を実施してください。Sysmac Studio の比較・マージ機能も使用することで、より効率よく処置対策を実施できます	
	1)ネットワーク構成情報でリングトポロジを設定せずに、実ネットワーク上にリングトポロジを構成している（付属情報 1 が 0 の場合）	実ネットワーク構成上のリングトポロジの箇所に、ネットワーク構成情報上でリングトポロジを設定してください	Sysmac Studio 上のネットワーク構成情報と実ネットワーク構成が一致していることを、比較・マージ、またはネットワーク構成情報で確認してください
	2)ネットワーク構成情報とは異なる箇所に、リングトポロジが構成されている（付属情報 1 が 0 以外の場合）	実ネットワーク上のリングトポロジを解消したのち、ネットワーク構成情報で設定した位置にリングトポロジを構成してください	上記と同じ
付属情報	付属情報 1：異常発生箇所 • 0: ネットワーク構成情報にリングトポロジが設定されていない • 0 以外: ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス 付属情報 2：ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名（付属情報 1 が 0 以外の場合）		
注意点／備考	なし		

*1.　設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。

イベント名	不正な配線検知			イベントコード	843C0000Hex *1	
内容	EtherCAT ネットワークの配線が不正です					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	軽度フォールト	復旧方法	異常解除*2	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	【縮退運転設定を「縮退する」に設定している場合】 電源投入時/コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止する場合があります 【縮退運転設定を「停止する」に設定している場合】 電源投入時／コントローラリセット時： 〈マスタ〉 初期化状態のまま待機 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信を停止 通信中： 〈マスタ〉 すべてのスレーブをセーフオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 出力のプロセスデータ通信を停止します。出力処理はスレーブ設定に従います。 メッセージ通信および入力のプロセスデータ通信が不可となる場合があります		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	－	点滅（1s 間隔）	－

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_NetTopologyErr	BOOL	ネットワーク構成異常

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	1)IN ポート同士または OUT ポート同士が接続されている	IN ポート同士および OUT ポート同士の接続がないことを確認してください	Ethernet ケーブルの配線に間違いがないことを確認してください
	2)2 つ以上のリングトポロジが構成されている	付属情報 1, 2 以外にリングトポロジが配線されていないことを確認してください	
	3)リング始点ポートとリング終点ポートの組み合わせが不正	付属情報 1, 2 のとおりにリングトポロジが配線されていることを確認してください	
	4)リング始点ポートとリング終点ポートの配線が入れ替わっている	付属情報 1, 2 のとおりにリングトポロジが配線されていることを確認してください	
	5)リングトポロジ上の分岐スレーブの配線が誤っている	リングトポロジ上にある分岐スレーブにおいて、リングトポロジの幹線となる配線が IN ポートと最終ポートを使用していることを確認してください	
	6)ネットワーク構成情報に存在しないリングトポロジが、実ネットワーク上に存在する	ネットワーク構成情報と一致するように、実ネットワーク構成を修正してください	

付属情報	付属情報 1：ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス。ネットワーク構成情報にケーブル冗長化設定がされていない場合は 0 付属情報 2：ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名（ネットワーク構成情報にケーブル冗長化設定がされている場合） 付属情報 3：設定ユニットバージョンにより異なる • Ver.1.42 未満の場合：システム情報 • Ver.1.42 以降の場合： 配線に誤りがあるスレーブのノードアドレス（注）1 配線に誤りがあるスレーブが特定不可の場合は 0 （注）1. 実ネットワーク構成上にリングトポロジが存在するときは、誤りがあるスレーブのノードアドレスを正しく表示できないことがあります。付属情報 3 で異常箇所の特定ができない場合や、付属情報 3 のスレーブに誤りがない場合は、スレーブやケーブルに異常がないかをひとつひとつ確認してください。それでも異常箇所の特定が出来ない場合は、リング終点ポートのケーブルを一旦取り外し、発生したイベントに対する処置対策を実施してください
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. 電源再投入が必要な場合があります。

イベント名	電源再投入待ち			**イベントコード**	94520000Hex *1	
内容	異常からの復旧のためにコントローラの電源再投入またはコントローラリセットが必要な状態になりました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	*2
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト	**復旧方法**	電源再投入／コントローラリセット	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	*2		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		点滅（1s 間隔）		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	復旧のために電源再投入またはコントローラリセットが必要なイベントが発生した		本イベントのきっかけとなったイベントの処置対策を実施したのち、電源再投入またはコントローラリセットを実施してください。本イベントの発生中は、EtherCAT マスタ機能モジュールの発生中異常は異常解除できません		本イベントのきっかけとなったイベントの再発防止を実施してください	
付属情報	付属情報 1：本イベントのきっかけとなったイベントのイベントコード					
注意点／備考	なし					

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。
*2. 本イベントのきっかけとなったイベントに従います。

イベント名	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）（Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）*1			**イベントコード**	102F0000Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブのバックアップが異常終了しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	バックアップ実行中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		－		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	

発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	EtherCAT マスタースレーブ間の接続が確立されていない（リンクオフ中）	EtherCAT マスタ-スレーブ間の配線を確実に行ってください	EtherCAT マスタ-スレーブ間を確実に配線して接続を確立した状態でバックアップを行ってください
	異常発生により EtherCAT マスタ状態が不正である	Sysmac Studio または表示器のトラブルシュート画面で発生している異常を確認し、EtherCAT に関連する異常を取り除いてください	EtherCAT に関連する異常が発生していない状態でバックアップを行ってください
	EtherCAT のネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致していない	ネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致するようにしてください	ネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致している状態でバックアップを行ってください
	EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した	ケーブルの接続を確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください。改善されない場合は EtherCAT スレーブを交換してください	ケーブルの接続を確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください
	EtherCAT マスタが他の処理を実行中で、一時的に処理をできない状態である	再度バックアップを実行してください	なし
	EtherCAT スレーブの初期化処理に失敗した	離脱中スレーブを再加入させてください。また、Sysmac Studio または表示器のトラブルシュート画面で、スレーブ初期化異常、スレーブアプリケーション異常、プロセスデータ通信異常の発生を確認して発生している異常を取り除いてください	離脱中スレーブがない状態、EtherCAT スレーブがネットワークに加入している状態でバックアップを行ってください。また、プロセスデータ通信異常が発生していない状態でバックアップを行ってください
	EtherCAT スレーブからのバックアップパラメータの取得に失敗した	ESI ファイルの誤りの可能性があります。バックアップパラメータとして設定可能になっているパラメータが、実際に取得可能かスレーブメーカに問い合わせてください。取得可能な場合は EtherCAT スレーブの不良です。EtherCAT スレーブを交換してください	なし
	オムロン製通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した	ケーブルの接続を確実に行ってください。NX ユニットを確実に取り付けてください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください。改善されない場合は通信カプラユニット、または NX ユニットを交換してください	ケーブルの接続を確実に行ってください。NX ユニットの取り付けを確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください

付属情報	付属情報 1：異常の詳細（発生要因の記載順に対応しています） • 0001Hex :リンクオフ中 • 0002Hex :マスタ状態不正 • 0003Hex :構成情報とのネットワーク構成不一致 • 0004Hex :スレーブへのリクエスト失敗 • 0005Hex :マスタが一時的に処理をできない状態 • 0006Hex :スレーブ初期化異常、または離脱指令中スレーブあり • 0007Hex :バックアップデータ取得失敗 • 000BHex :オムロン製通信カプラユニットでの異常 付属情報 2：異常の発生箇所 • 0:マスタ • 1 以上:スレーブ（ノードアドレス） 付属情報 3：異常の発生箇所詳細（付属情報 1 が「000BHex」の場合だけ） • 0:通信カプラユニット • 1～63:NX ユニットの NX ユニット番号 付属情報 4：オムロン製通信カプラユニットでの異常の要因（付属情報 1 が「000BHex」の場合だけ） • 2:通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合は、10460001Hex のイベントコードを参照してください。

*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）（Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満）*1			**イベントコード**	10300000Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブのリストアが異常終了しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	リストア実行中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		－		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	EtherCAT マスタースレーブ間の接続が確立されていない（リンクオフ中）		EtherCAT マスタ-スレーブ間の配線を確実に行ってください		EtherCAT マスタ-スレーブ間を確実に配線して接続を確立した状態でリストアを行ってください	
	EtherCAT マスタ-スレーブ間を確実に配線して接続を確立した状態でリストアを行ってください		Sysmac Studio または表示器のトラブルシュート画面で発生している異常を確認し、EtherCAT に関連する異常を取り除いてください		EtherCAT に関連する異常が発生していない状態でリストアを行ってください	
	EtherCAT のネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致していない		ネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致するようにしてください。バックアップ時のリビジョンチェック基準を「チェックなし」に設定した場合でも、スレーブのリビジョンをバックアップ時と同等またはそれ以上としてください。シリアル番号チェック基準を「チェックなし」に設定してバックアップしてください。シリアル番号チェック基準を「設定値=実機」としてスレーブを交換する場合は、リストア機能を使わずに、Sysmac Studio でネットワーク構成を変更し、ダウンロード、およびスレーブパラメータの転送を行ってください。また、ノードアドレスをハードウェアスイッチで設定している場合は、バックアップ時と同じ設定としてください		ネットワーク構成情報と実際のネットワーク構成が一致している状態でリストアを行ってください	
	EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した（付属情報 1 が 0004Hex の場合）		ケーブルの接続を確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください。 改善されない場合は、Sysmac Studio のリストア機能で EtherCAT スレーブを対象外としてリストアを実行してください。この場合、EtherCAT スレーブにバックアップパラメータがリストアされません。リストア実行後に、Sysmac Studio から同期機能を使用して EtherCAT スレーブへパラメータ転送してください。 さらに改善されない場合は EtherCAT スレーブを交換してください		ケーブルの接続を確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください	
	EtherCAT マスタが他の処理を実行中で、一時的に処理をできない状態である		再度リストアを実行してください		なし	

	EtherCAT スレーブの初期化処理に失敗した	Sysmac Studio または表示器のトラブルシュート画面で、スレーブ初期化異常、スレーブアプリケーション異常、プロセスデータ通信異常の発生を確認して発生している異常を取り除いてください	プロセスデータ通信異常が発生していない状態でリストアを行ってください
	MX2／RX シリーズ インバータへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した（CPU ユニットのユニットバージョンが Ver.1.10 以前の場合のみ）	Sysmac Studio のインバータパラメータの転送[パソコン→ドライブ]機能を使って、パラメータをインバータに書き込んでください	インバータの制約により、リストアが行えない場合があります。 その場合は、Sysmac Studio のインバータパラメータの転送[パソコン→ドライブ]機能を使って、パラメータをインバータに書き込んでください
	EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した	ESI ファイルの誤りの可能性があります。バックアップパラメータとして設定可能になっているパラメータが、実際に書き込み可能かスレーブメーカに問い合わせてください。書き込み可能な場合はスレーブの不良です。スレーブを交換してください	なし
	バックアップデータ不正を検知した	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットし、バックアップファイルを格納してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致していない	バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致するようにしてください	バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致している状態でリストアしてください
	オムロン製通信カプラユニットで異常が発生した。 異常の要因は以下 • 通信カプラユニットで、バックアップファイルの読み出しに失敗した（付属情報 4 が 1 の場合） • 通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した（付属情報 4 が 2 の場合） • 通信カプラユニットで、バックアップ時の NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致していない（付属情報 4 が 3 の場合）	• 再度バックアップを実行してください（付属情報 4 が 1 の場合） • ケーブルの接続を確実に行ってください。NX ユニットを確実に取り付けてください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください。改善されない場合は通信カプラユニット、または NX ユニットを交換してください（付属情報 4 が 2 の場合） • バックアップ時の NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致するようにしてください（付属情報 4 が 2 または 3 の場合） • 通信カプラユニットのハードウェアスイッチをバックアップ時の状態と一致するようにしてください（付属情報 4 が 3 の場合）	• Sysmac Studio でフォーマットされた SD メモリカードを使用し、バックアップファイルを格納しておいてください。また、SD BUSY LED 点灯中に SD カードを抜いたり電源断をしたりしないでください（付属情報 4 が 1 の場合） • ケーブルの接続を確実に行ってください。NX ユニットの取り付けを確実に行ってください。ノイズのある環境ではノイズ対策を行ってください（付属情報 4 が 2 の場合） • NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致している状態でリストアを行ってください（付属情報 4 が 2 または 3 の場合） • 通信カプラユニットのハードウェアスイッチがバックアップ時と一致している状態でリストアを行ってください（付属情報 4 が 3 の場合）

付属情報	付属情報 1：異常の詳細（発生要因の記載順に対応しています） • 0001Hex :リンクオフ中 • 0002Hex :マスタ状態不正 • 0003Hex :構成情報とのネットワーク構成不一致 • 0004Hex :スレーブへのリクエスト失敗 • 0005Hex :マスタが一時的に処理をできない状態 • 0006Hex :スレーブ初期化異常 • 0007Hex :バックアップデータ書き込み失敗 • 0008Hex :バックアップデータ不正 • 0009Hex :バックアップ時とのネットワーク構成不一致 • 000AHex :サービス未サポート • 000BHex :オムロン製通信カプラユニットでの異常 付属情報 2：異常の発生箇所 • 0:マスタ • 1 以上:スレーブ（ノードアドレス） 付属情報 3：異常の発生箇所詳細（付属情報 1 が「000BHex」の場合だけ） • 0:通信カプラユニット • 1～63:NX ユニットの NX ユニット番号 付属情報 4：オムロン製通信カプラユニットでの異常の要因（付属情報 1 が「000BHex」の場合だけ） • 1:バックアップファイルの読み出しに失敗 • 2:通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗 • 3:バックアップ時とのユニット構成不一致
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合は、10460001Hex のイベントコードを参照してください。

イベント名	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）*1			**イベントコード**	10460001Hex*1	
内容	EtherCAT スレーブのバックアップが異常終了しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	バックアップ実行中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	−		−		−	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	以下の 1)～5)のいずれかの要因が発生。付属情報 1 を確認して要因を特定してください					
	1)EtherCAT マスタがバックアップ開始できない（付属情報 1 が 0002Hex の場合）		通信ポートまたはマスタのイベントの発生により、バックアップができない状態にあります。発生源詳細が通信ポートまたはマスタのイベントを参照し、要因の特定、および処置対策を行ってください		発生したイベントを参照し、再発防止を行ってください	
	2)EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの取得に失敗した（付属情報 1 が 0007Hex の場合）		バックアップパラメータとして設定可能になっているパラメータが、スレーブのバックアップパラメータ編集画面で表示される順番通り、全て取得可能かスレーブメーカにお問い合わせください。 バックアップパラメータ編集画面で、パラメータの取得に順番がある場合は並べ替えて、取得できないパラメータがある場合は削除してください		処置対策と同じ	
	3)EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した（付属情報 1 が 0004Hex の場合）		a. マスタ、スレーブ、オムロン製通信カプラユニット、NX ユニットで発生しているイベントにより、バックアップパラメータの取得に失敗しました。発生しているイベントを参照し、発生要因の特定および処置対策を行ってください b. コネクタの接触不良、ケーブルの接続不良、ノイズなどにより、バックアップパラメータの取得に失敗した可能性があります。スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数を確認してください。カウントアップする場合は、カウントアップした箇所でコネクタの接触不良、ケーブルの接続不良、ノイズなどが発生している可能性があるため、スレーブ診断・統計情報を確認しながら、コネクタやケーブルの接触を見直す、ノイズ源を取り除くなどの対策を行ってください		a. 発生した異常のイベントを参照し、再発防止を行ってください b. スレーブ診断・統計情報でエラーフレーム受信数がカウントアップしていないことを確認してください。カウントアップする場合は、スレーブ診断・統計情報を確認しながら、コネクタやケーブルの接触を見直す、ノイズ源を取り除くなどの対策を行ってください	
	4)オムロン製通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した（付属情報 1 の値が 000BHex の場合）					
	5)離脱中のスレーブに対してバックアップを実行した（付属情報 1 が 0006Hex の場合）		離脱中のスレーブを再加入させてください		離脱中スレーブがない状態でバックアップを実行してください	

付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0002Hex:マスタ状態不正 • 0004Hex:スレーブへのリクエスト失敗 • 0006Hex:離脱指令中スレーブあり • 0007Hex:バックアップデータ取得失敗 • 000BHex:オムロン製通信カプラユニットでの異常 付属情報 2：異常の発生箇所 • 0:マスタ • 0 以外:スレーブ（ノードアドレス） 付属情報 3：異常の発生箇所詳細 • 付属情報 1 が「000BHex」の場合 0:オムロン製通信カプラユニット 0 以外:NX ユニットの NX ユニット番号 • 付属情報 1 が「0007Hex」の場合、CoE のインデックス、サブインデックス 付属情報 4：異常の要因 • 付属情報 1 が「000BHex」の場合 2:通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗 • 付属情報 1 が「0007Hex」の場合、アボートコード
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合は、102F0000Hex のイベントコードを参照してください。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）（設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降）*1			**イベントコード**	10470002Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブのリストアが異常終了しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	マスタ	**検出タイミング**	リストア実行中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	－	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	－		－		－	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	以下の 1）～6）のいずれかが発生。付属情報 1 を確認して要因を特定してください					
	1)EtherCAT マスタがリストア開始できない（付属情報 1 が 0002Hex の場合）		EtherCAT 機能モジュールで発生している他のイベントが原因で、リストアを開始できません。他に発生しているイベントを確認し、要因の特定、および処置対策を行ってください		発生したイベントを参照し、再発防止を行ったうえで、リストアを実行してください	
	2)バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致していない（付属情報 1 が 0009Hex の場合）		以下のイベントが発生している場合は、発生しているイベントを参照し、発生要因の特定、および処置対策を行ってください • リンクオフ異常 • ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在） • ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致） • ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続） • ネットワーク構成照合異常（リング誤配線） • スレーブの不正な切り離し検知 • 不正な配線検知 • リング断線検知		バックアップ時の EtherCAT のネットワーク構成と実際のネットワーク構成が一致している状態でリストアしてください	
	3)EtherCAT スレーブへのバックアップパラメータの書き込みに失敗した（付属情報 1 が 0007Hex の場合）		バックアップパラメータとして設定可能になっているパラメータが、スレーブのバックアップパラメータ編集画面で表示される順番通り、すべて書き込み可能かスレーブメーカにお問い合わせください。バックアップパラメータ編集画面で、パラメータの書き込みに順番がある場合は並べ替えて、書き込みできないパラメータがある場合は削除してください		なし	
	4)EtherCAT スレーブへのリクエストに失敗した（付属情報 1 が 0004Hex の場合）		a. EtherCAT スレーブに発生している異常のイベントを参照し、発生要因の特定、および処置対策を行ってください b. スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数を確認してください。カウントアップした箇所で、ケーブルの接続不良、コネクタの接触不良、ノイズなどが発生していないか確認して対策を行ってください		a. 発生した異常のイベントを参照し、再発防止を行ってください b. マスタ／スレーブ診断・統計情報でエラーフレーム受信数がカウントアップしていないことを確認してください。カウントアップする場合は、ケーブルの接続不良、コネクタの接触不良、ノイズなどが発生していないか確認して対策を行ってください	

	5)バックアップデータ不正を検知した （付属情報 1 が 0008Hex の場合）	バックアップファイルを再作成してください。 SD メモリカードの場合で、バックアップファイルの再作成に失敗する場合は、Sysmac Studio でフォーマットし、バックアップファイルを格納してください	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください
	6)オムロン製通信カプラユニットで異常が発生した。 （付属情報 1 が 000BHex の場合） 異常の要因は以下 • 通信カプラユニットで、バックアップファイルの読み出しに失敗した（付属情報 4 が 1 の場合） • 通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗した（付属情報 4 が 2 の場合） • 通信カプラユニットで、バックアップ時の NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致していない（付属情報 4 が 3 の場合）	• 付属情報 4 が 1 の場合 再度バックアップを実行してください • 付属情報 4 が 2 の場合 a) マスタまたは通信カプラユニットで発生したイベントにより、通信カプラユニットと通信できない状態です。発生しているイベントを参照し、発生要因の特定、および処置対策を行ってください b) NX ユニットを確実に取り付けてください。 c) スレーブ診断・統計情報のエラーフレーム受信数を確認してください。カウントアップした箇所で、ケーブルの接続不良、コネクタの接触不良、ノイズなどが発生していないか確認して対策を行ってください d) バックアップ時の NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致するようにしてください a)～d)で改善されない場合は通信カプラユニット、または NX ユニットを交換してください • 付属情報 4 が 3 の場合 a) バックアップ時の NX ユニットのユニット構成と実際の NX ユニットのユニット構成が一致するようにしてください b) 通信カプラユニットのハードウェアスイッチをバックアップ時の状態と一致するようにしてください	• 付属情報 4 が 1 の場合 a) バックアップファイルを編集しないでください b) Sysmac Studio でフォーマットされた SD メモリカードを使用し、バックアップファイルを格納しておいてください。また、SD BUSY LED 点灯中に SD カードを抜いたり電源断をしたりしないでください • 付属情報 4 が 2 の場合 a) マスタまたは通信カプラユニットで発生したイベントの要因に対する再発防止を行ってください b) NX ユニットを確実に取り付けてください c) 上記 4)の（b)を参照してください • 付属情報 4 が 3 の場合 通信カプラユニットのハードウェアスイッチがバックアップ時と一致している状態でリストアを行ってください

付属情報	付属情報 1:異常の詳細 • 0002Hex :リストア開始失敗 • 0004Hex :スレーブへのリクエスト失敗 • 0007Hex :バックアップデータ書き込み失敗 • 0008Hex :バックアップデータ不正 • 0009Hex :バックアップ時とのネットワーク構成不一致 • 000BHex :オムロン製通信カプラユニットでの異常 付属情報 2:異常の発生箇所 • 0:マスタ • 0 以外:スレーブ（ノードアドレス） 付属情報 3:異常の発生箇所詳細 • 付属情報 1 が「000BHex」の場合 0:オムロン製通信カプラユニット 0 以外:NX ユニットの NX ユニット番号 • 付属情報 1 が「0007Hex」の場合、CoE のインデックス、サブインデックス 付属情報 4:異常の要因 • 付属情報 1 が「000BHex」の場合 1:バックアップファイルの読み出しに失敗 2:通信カプラユニット、または NX ユニットとの通信に失敗 3:バックアップ時とのユニット構成不一致 • 付属情報 1 が「0007Hex」の場合、アボートコード
注意点／備考	なし

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.03 以降かつ設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合は、10300000Hex のイベントコードを参照してください。

イベント名	エマージェンシー・メッセージ検知			**イベントコード**	64200000Hex	
内容	エマージェンシー・メッセージを検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	スレーブ	**検出タイミング**	通信中
異常の属性	**重要度**	監視情報	**復旧方法**	—	**ログカテゴリ**	システム
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	〈スレーブ〉 エラー発生。その他の動作への影響なし		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	—		—		—	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EC_SlavEmergErr		BOOL		エマージェンシー・メッセージ検知	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	スレーブからエマージェンシー・メッセージを受信した		付属情報 1 を参照し、異常が発生したスレーブのエマージェンシーコードを確認してください。スレーブのマニュアルを参照し、該当コードの異常要因を取り除き、異常解除を実行してください		スレーブのマニュアルを参照し、再発防止を行ってください	
付属情報	付属情報 1：スレーブエマージェンシーコード 付属情報 2：スレーブエラーレジスタオブジェクトの値 付属情報 3：スレーブエマージェンシーデータ。下位 5 バイトのみ有効					
注意点／備考	なし					

イベント名	EtherCAT メッセージ異常			イベントコード	842D0000Hex *1	
内容	スレーブとのメッセージ通信で異常を検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	—	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈スレーブ〉 エラー発生。その他の動作への影響なし		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	—		—		—	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_MsgErr		BOOL		EtherCAT メッセージ異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	付属情報を参照して確認してください		該当するメッセージプロトコルに対応しているスレーブに対してメッセージ処理を行うようにしてください。付属情報で確認した異常詳細内容で示される異常のメッセージを特定し、メッセージを修正してください		スレーブの仕様に合わせたメッセージを使用してください。 またメッセージの宛先に間違いがないことを確認してください	
付属情報	付属情報 1：異常詳細 • 1 バイト目： 00Hex : Error メッセージ受信、02Hex : 不正または未サポートメッセージ廃棄、04Hex : 宛先不正メッセージ廃棄 • 2 バイト目： [送信] 00Hex : Error、01Hex : VoE（AoE）、02Hex : EoE、03Hex : CoE、04Hex : FoE、05Hex : SoE、0FHex : VoE [受信] 80Hex : Error、81Hex : VoE（AoE）、82Hex : EoE、83Hex : CoE、84Hex : FoE、85Hex : SoE、8FHex : VoE 付属情報 2：送信元ノードアドレス。マスタの場合は 0 付属情報 3：送信先ノードアドレス。マスタの場合は 0 付属情報 4：Error サービスデータ。付属情報 1 の 2 バイト目が 00Hex または 80Hex の場合のみ有効					
注意点／備考	なし					

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合に発生するイベントです。

イベント名	不正メールボックス受信			イベントコード	84350000Hex *1	
内容	スレーブから不正なメールボックスを受信しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	通信中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	異常解除	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	動作への影響なし		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	—		—		—	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_MsgErr		BOOL		EtherCAT メッセージ異常	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	スレーブから宛先不正のメッセージを受信 （付属情報 1 が 0002Hex の場合）		メッセージの送信先がネットワーク構成情報に存在する EtherCAT スレーブであるかを確認してください。ネットワーク構成情報に存在する EtherCAT スレーブ宛てにメッセージを送信してください		メッセージの送信先が、ネットワーク構成情報に存在する EtherCAT スレーブであることを確認してください	
付属情報	付属情報 1:異常の詳細 • 0002Hex: 宛先不正のメッセージを受信 • 0002Hex 以外: システム情報 付属情報 2:送信元スレーブノードアドレス 付属情報 3:送信先スレーブノードアドレス（マスタの場合は 0） 付属情報 4:システム情報					
注意点／備考	なし					

*1. 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。

イベント名	リング断線検知			イベントコード	84390000Hex *1	
内容	リング断線状態であることを検知しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／通信中
異常の属性	重要度	監視情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	システム
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 運転を継続 〈スレーブ〉 プロセスデータ通信を継続		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	−	−	−

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_RingBreaking	BOOL	リング断線中
	_EC_RingBreakNodeAdr	UINT	リング断線直前スレーブノードアドレス

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	リングトポロジ上で、以下の 1)〜5)のいずれかの要因が発生	付属情報 1 のスレーブと、リングトポロジ上のその次のスレーブとの間のケーブルにおいて、以下の処置対策を行ってください また、リングトポロジに関するイベントへの対処方法については、『NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル (SBCA-469)』の付録の「A-8 イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正 (P.A-230)」も参照してください	
	1)Ethernet ケーブルを抜いた	ケーブルを接続してください	なし
	2)スレーブ間の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ	コネクタを接続してください	• Ethernet のコネクタが、カチッと音がして固定されるまで確実に接続してください • Ethernet のコネクタが確実に嵌合していることを確認してください
	3)推奨外の Ethernet ケーブルを使用	推奨の Ethernet ケーブルに交換してください	推奨のケーブルを使用してください
	4)スレーブ間の Ethernet ケーブルの断線	Ethernet ケーブルを交換してください	Ethernet ケーブルを配線する前に、ケーブルテスタなどを使用し、断線がないことを確認してください。配線に対する注意事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』の「EtherCAT ネットワークの配線」を確認してください
	5)Ethernet ケーブルのコネクタの接触不良、または部品不良	Ethernet ケーブルを交換してください	なし

付属情報	付属情報 1：断線箇所手前のスレーブノードアドレス
注意点／備考	なし

*1.　設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合に発生するイベントです。

イベント名	スレーブ離脱			**イベントコード**	94400000Hex	
内容	スレーブが「離脱」指示により離脱状態となりました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		**発生源詳細**	スレーブ	**検出タイミング**	通信中のスレーブ離脱指示時
異常の属性	**重要度**	一般情報	**復旧方法**	−	**ログカテゴリ**	アクセス
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満の場合: 〈マスタ〉 該当スレーブを初期化状態に遷移させます。 〈スレーブ〉 メッセージ通信およびプロセスデータ通信不可 設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降の場合: 〈マスタ〉 該当スレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます。 〈スレーブ〉 メッセージ通信可能。プロセスデータ通信不可		
LED	**EtherCAT NET RUN**		**EtherCAT NET ERR**		**EtherCAT LINK/ACT**	
	−		−		−	
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	_EC_DisconnSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		離脱指令中スレーブテーブル	
	_EC_PDSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		プロセスデータ通信中スレーブテーブル	
	_EC_MBXSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		メッセージ通信可能スレーブテーブル	
	_EC_PDActive		BOOL		プロセスデータ通信ステータス	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	Sysmac Studio からスレーブの「離脱」操作を行った		−		−	
	EC_DisconnectSlave 命令が実行された		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブ再加入			イベントコード	94410000Hex	
内容	スレーブが「再加入」指示により離脱状態を解除されました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	通信中のスレーブ再加入指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 該当スレーブをオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信可能		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	−		−		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_DisconnSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		離脱指令中スレーブテーブル	
	_EC_PDSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		プロセスデータ通信中スレーブテーブル	
	_EC_MBXSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		メッセージ通信可能スレーブテーブル	
	_EC_PDActive		BOOL		プロセスデータ通信ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio からスレーブの「再加入」操作を行った		−		−	
	EC_ConnectSlave 命令が実行された		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	異常解除			イベントコード	94430000Hex	
内容	発生中の異常の解除指示がされました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	異常解除指示時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	−	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 現在発生中の異常をいったん解除し、再度ネットワークの照合を実施。異常を再検知しなかった場合は、通信停止中のスレーブをオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 異常が発生していたスレーブはメッセージ通信、およびプロセスデータ通信可能。		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	−		—		−	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_PDSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		プロセスデータ通信中スレーブテーブル	
	_EC_MBXSlavTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		メッセージ通信可能スレーブテーブル	
	_EC_CommErrTbl		ARRAY [1..n] OF BOOL *1		通信異常スレーブテーブル	
	_EC_PDActive		BOOL		プロセスデータ通信ステータス	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	Sysmac Studio から「異常解除」操作を行った		−		−	
	ResetECError 命令が実行された		−		−	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブ無効化			イベントコード	94440000Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブを無効にしました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	切替命令実行時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 該当スレーブをプレオペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 メッセージ通信可能。プロセスデータ通信不可		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	―	―	―

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_PDSlavTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	プロセスデータ通信中スレーブテーブル
	_EC_DisableSlavTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	無効設定スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	EC_ChangeEnableSetting 命令が実行された	―	―

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	スレーブ有効化			イベントコード	94450000Hex *1	
内容	EtherCAT スレーブを有効にしました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	スレーブ	検出タイミング	切替命令実行時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	―	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	〈マスタ〉 該当スレーブを再度オペレーショナル状態に遷移させます 〈スレーブ〉 メッセージ通信、およびプロセスデータ通信可能		

LED	EtherCAT NET RUN	EtherCAT NET ERR	EtherCAT LINK/ACT
	―	―	―

システム定義変数	変数名	データ型	名称
	_EC_PDSlavTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	プロセスデータ通信中スレーブテーブル
	_EC_DisableSlavTbl	ARRAY [1..n] OF BOOL *2	無効設定スレーブテーブル

発生要因とその処置	発生要因（推定原因）	処置対策	再発防止
	EC_ChangeEnableSetting 命令が実行された	―	―

付属情報	なし
注意点／備考	なし

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.04 以降で発生するイベントです。
*2. n は形 NX701 CPU ユニットでは 512、形 NX502 CPU ユニットでは 256、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットおよび NJ シリーズ CPU ユニットでは 192 です。

イベント名	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能開始			イベントコード	94500000Hex *1	
内容	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能を開始しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能の開始時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	EtherCAT スレーブへの非同期通信の応答時間が長くなります		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	－		—		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_StatisticsLogEnable		BOOL		診断統計情報ログ許可	
	_EC_StatisticsLogBusy		BOOL		診断統計情報ログ実行状態フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	システム定義変数「_EC_StatisticsLogEnable」の値が FALSE から TRUE に変化した		－		－	
付属情報	付属情報 1：診断・統計情報ログ機能における SD カードへの自動保存周期 • 0: ワンショットモード • 0 以外: 周期（sec）					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。

イベント名	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能終了			イベントコード	94510000Hex *1	
内容	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能を終了しました					
発生源	EtherCAT マスタ機能モジュール		発生源詳細	マスタ	検出タイミング	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能の終了時
異常の属性	重要度	一般情報	復旧方法	－	ログカテゴリ	アクセス
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
LED	EtherCAT NET RUN		EtherCAT NET ERR		EtherCAT LINK/ACT	
	－		—		－	
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	_EC_StatisticsLogEnable		BOOL		診断統計情報ログ許可	
	_EC_StatisticsLogBusy		BOOL		診断統計情報ログ実行状態フラグ	
	_EC_StatisticsLogErr		BOOL		診断統計情報ログ異常終了フラグ	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	EtherCAT 診断・統計情報ログ機能の終了要因が発生した		－		－	
付属情報	付属情報 1：診断・統計情報ログ機能における SD カードへの自動保存周期 • 0: ワンショットモード • 0 以外: 周期（sec） 付属情報 2：EtherCAT 診断・統計情報ログ機能の終了要因 • 1: システム定義変数「_EC_StatisticsLogEnable」の値が TRUE から FALSE に変化した • 2: ログファイルに 1000 レコード目を保存した • 3: SD メモリカードの空き容量が不足し、ログファイルにレコードを追加できない • 4: SD メモリカードがライトプロテクトされている • 5: SD メモリカードを認識できない • 6: 同期（ダウンロード）またはメモリオールクリアの実行 • 7: 診断・統計情報ログ機能における SD カードへの自動保存周期に不正な値を指定した • 8: マスタ診断・統計情報命令（EC_GetMasterStatistics,EC_ClearMasterStatistics）、またはスレーブ診断・統計情報命令（EC_GetSlaveStatistics,EC_ClearSlaveStatistics）を実行中に、診断・統計情報ログ機能を実行した					
注意点／備考	なし					

*1. CPU ユニットのユニットバージョン Ver.1.11 以降で発生するイベントです。

3-9 OPC UA 機能の異常

OPC UA で発生する異常（イベント）の一覧です。
OPC UA を使用できる CPU ユニットのユニットバージョンと Sysmac Studio の対応バージョンについては、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC UA 編(SBCD-374)』を参照してください。

3-9-1 異常一覧

OPC UA サーバ機能関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
15000000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	実行ログ保存失敗	実行ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました。	• SD メモリカードが未装着。 • SD メモリカードが種別不正。 • SD メモリカードのフォーマット不正。 • SD メモリカードがライトプロテクトされている。 • SD メモリカードの容量不足。 • SD メモリカードの故障。			○	⊙		P.3-626
35D00000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ設定異常	OPC UA サーバ設定が不正です。	• OPC UA サーバ設定転送中にコントローラを電断した。 • メモリオールクリア中にコントローラを電断した。 • リストア中にコントローラを電断したため OPC UA サーバ設定が不正。 • TCP ポートの重複。			○			P.3-627
35D10000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	サーバ証明書有効期限切れ	サーバ証明書が有効期限を過ぎました。	• サーバ証明書に設定されている有効期限が過ぎた。			○	⊙		P.3-627
44180000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA システム処理異常	OPC UA サーバ機能で致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			P.3-628

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
44190000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバのメモリ容量不足	公開する変数のデータ量が、OPC UA サーバの規定値を超えました。	• 公開する変数のデータ量が、OPC UA サーバの規定値を超えた。			○			P.3-632
15020000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	サーバ証明書不一致	CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスとサーバ証明書の IP アドレスが不一致です。	OPC UA サーバ機能を使用する設定のときに、CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスを変更した。 • ChangeIPAdr（IP アドレス変更）命令で CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレス変更命令で IP アドレスを変更した。 • CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレス設定方法が「BOOTP サーバから取得」の場合、電源投入時に IP アドレスが変更された。 • CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが異なる値に設定されているプロジェクトを CPU ユニットにダウンロードした。				○		P.3-628
35D20000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	サーバ証明書有効期限切れ予告	サーバ証明書が有効期限に近づきました。	• サーバ証明書に設定されている有効期限が近づいた。			⊙	○		P.3-629
35D30000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	公開変数数オーバー	OPC UA サーバ機能の構築で、OPC UA クライアントに公開可能な変数の数の上限値を超えました。	• OPC UA サーバ機能がアドレス空間を構築するとき、OPC UA の変数の数が上限値を超えた。				○		P.3-629

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35D40000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	未サポートのデータ型／無効データ	OPC UA サーバの構築で、公開する変数に OPC UA クライアントに公開できないデータ型の変数またはノードがありました。	• 公開する変数に OPC UA サーバで未サポートのデータ型があった。またはグローバル変数、プログラム名、およびユーザ定義のデータ型名に対応するノードに、OPC UA アドレス空間に公開できないノード名の予約語が使用された。 未サポートのデータ型、および無効データは以下のとおり。 • 多次元配列指定された構造体 • 多次元配列をメンバとして含む構造体 • ネスト数が制限値を超えている構造体 • 共用体 • 配列の開始番号が 0 でない変数（例.Array[2..5]） • サイズが制限値を超えている変数 • 要素数が制限値を超えている配列 • メンバ数が制限値を超えている構造体 • マッピングできる変数がない • 登録済みの変数 ID が使われている • 名前空間のノードが作成できない				○		P.3-630
35D50000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	公開バリュー属性数オーバー	OPC UA サーバ機能の構築で OPC UA クライアントにバリュー属性数の上限値を超えました。	• OPC UA サーバ機能がアドレス空間を構築するとき、OPC UA のバリュー属性数が上限値を超えた。				○		P.3-631
35D60000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	構造体定義数オーバー	OPC UA サーバの構築で、OPC UA クライアントに公開する変数の構造体定義数の上限値を超えました。	• OPC UA がアドレス空間を構築するとき、公開する変数の構造体定義数が上限値を超えた。				○		P.3-632
85600000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA クライアント接続拒否	OPC UA クライアントからの接続要求を拒否しました。	• ユーザ認証情報が誤っている。 • クライアント証明書が不正。 • クライアント証明書が拒否した証明書リストに登録されている。 • CA 証明書がクライアント認証または発行者認証の信頼した証明書リストに登録されていない。 • 最大接続可能セッション数を超えている。				○		P.3-633

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
95D00000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ開始	OPC UA サーバ機能を開始しました。	• OPC UA サーバ機能を開始した。					○	P.3-634
95D10000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ停止	OPC UA サーバ機能を停止しました。	• OPC UA サーバ機能を停止した。					○	P.3-634
95D20000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	サーバ証明書生成	サーバ証明書が生成されました。 • サーバ証明書がないときにサーバ証明書を自動生成します。 • サーバ証明書の再生成を行うとサーバ秘密鍵とサーバ証明書を作成します。*1	• サーバ証明書が生成された。					○	P.3-635
95D30000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	クライアント証明書の破棄	受信したクライアント証明書を破棄しました。	• 拒否した証明書リストに登録可能なクライアント証明書の最大数を超えた。					○	P.3-635
95D40000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ証明書およびセキュリティプロファイルのクリア	OPC UA サーバ証明書、セキュリティプロファイルを削除しました。	• OPC UA サーバ機能を搭載していないユニットバージョンの CPU ユニットで作成したバックアップファイルを使用してリストアを実行した。 • OPC UA サーバ機能を搭載していないユニットバージョンのプロジェクトをダウンロードした。 • メモリオールクリアを「OPC UA サーバ証明書、セキュリティプロファイルをクリアする」をチェックして実施した。					○	P.3-636

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
95D60000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	クライアント証明書の追加	クライアント証明書が追加されました。	クライアント証明書が追加された。					○	P.3-636
95D70000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	クライアント証明書の削除	クライアント証明書が削除されました。	クライアント証明書が削除された。					○	P.3-637
95D80000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	クライアント証明書の移動	クライアント証明書が、信頼した証明書に移動されました。	クライアント証明書が、信頼した証明書に移動された。					○	P.3-637
95D90000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	クライアント証明書失効リストの追加	クライアント証明書失効リストが追加されました。	クライアント証明書失効リストが追加された。					○	P.3-638
95DA0000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	クライアント証明書失効リストの削除	クライアント証明書失効リストが削除されました。	クライアント証明書失効リストが削除された。					○	P.3-638

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
95DB0000Hex (Ver.1.49 以降) [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] (Ver.1.60 以降) [形 NX502-1□00] (Ver.1.29 以降) [形 NX701]	サーバ証明書再生成	サーバ証明書が再生成されました。 • サーバ証明書の再生成を行うとサーバ秘密鍵とサーバ証明書を作成します。	• サーバ証明書が再生成された。					○	P.3-639
96200000Hex (Ver.1.43 以降) [形 NJ501-1□00] (Ver.1.60 以降) [形 NX502-1□00] (Ver.1.43 以降) [形 NX102-□□00] (Ver.1.36 以降) [形 NX102-□□20] (Ver.1.24 以降) [形 NX701-1□□□]	セキュリティ設定の転送	セキュリティ設定が転送されました。	セキュリティ設定が転送された。					○	P.3-640
96210000Hex (Ver.1.43 以降) [形 NJ501-1□00] (Ver.1.60 以降) [形 NX502-1□00] (Ver.1.43 以降) [形 NX102-□□00] (Ver.1.36 以降) [形 NX102-□□20] (Ver.1.24 以降) [形 NX701-1□□□]	実行ログクリア	実行ログがクリアされました。	実行ログがクリアされた。					○	P.3-641
96220000Hex (Ver.1.43 以降) [形 NJ501-1□00] (Ver.1.60 以降) [形 NX502-1□00] (Ver.1.43 以降) [形 NX102-□□00] (Ver.1.36 以降) [形 NX102-□□20] (Ver.1.24 以降) [形 NX701-1□□□]	CA 証明書の追加	CA 証明書が追加されました。	CA 証明書が追加された。					○	P.3-641
96230000Hex (Ver.1.43 以降) [形 NJ501-1□00] (Ver.1.60 以降) [形 NX502-1□00] (Ver.1.43 以降) [形 NX102-□□00] (Ver.1.36 以降) [形 NX102-□□20] (Ver.1.24 以降) [形 NX701-1□□□]	CA 証明書の削除	CA 証明書が削除されました。	CA 証明書が削除された。					○	P.3-642

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
96240000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	CA 証明書失効リストの追加	CA 証明書失効リストが追加されました。	CA 証明書失効リストが追加された。					○	P.3-642
96250000Hex （Ver.1.43 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.43 以降） [形 NX102-□□00] （Ver.1.36 以降） [形 NX102-□□20] （Ver.1.24 以降） [形 NX701-1□□□]	CA 証明書失効リストの削除	CA 証明書失効リストが削除されました。	CA 証明書失効リストが削除された。					○	P.3-643
96260000Hex （Ver.1.49 以降） [形 NJ シリーズ、形 NX102、および形 NX1P2] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.29 以降） [形 NX701]	クライアント証明書、CA 証明書の変更	以下のいずれかの証明書に関わる変更が実行されました。 • クライアント証明書の追加／削除／移動 • クライアント証明書失効リストの追加／削除 • CA 証明書の追加／削除／移動 • CA 証明書失効リストの追加／削除	以下のいずれかの証明書に関わる変更が実行された。 • クライアント証明書の追加／削除／移動 • クライアント証明書失効リストの追加／削除 • CA 証明書の追加／削除／移動 • CA 証明書失効リストの追加／削除					○	P.3-644

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。
- 形 NJ501、形 NX102 CPU ユニット：Ver.1.48 以前
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.28 以前

OPC UA 命令関連

イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコードを表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#5000 の場合は、54015000Hex のイベントコードの説明を参照してください。

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015000Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ終了／終了処理中	OPC UA サーバ機能が終了処理中、または、既に終了しているため実行できませんでした。	• OPC UA サーバ機能が終了している状態で OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行した。 • OPC UA サーバ機能の終了処理を実行中に OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行した。				○		P.3-645
54015001Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ初期処理中	OPC UA サーバ機能が初期化中のため実行できませんでした。	• OPC UA サーバ機能の初期化中に OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行した。				○		P.3-646
54015002Hex （Ver.1.17 以降） [形 NJ501-1□00] （Ver.1.60 以降） [形 NX502-1□00] （Ver.1.24 以降） [形 NX102-□□□□、形 NX701-1□□□]	OPC UA サーバ未起動	OPC UA サーバ機能が起動していないため、実行できませんでした。	• OPC UA サーバ機能の設定が「使用しない」となっているときに該当命令を実行した。				○		P.3-646

3-9-2 異常の説明

OPC UA サーバ機能関連

イベント名	実行ログ保存失敗			**イベントコード**	15000000Hex	
内容	実行ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	常時
異常の属性	**重要度**	軽度フォールト		**ログカテゴリ**	システム	
	復旧方法	自動復旧				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		

システム定義変数	**変数名**	**データ型**	**名称**
	なし	―	―
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**	**処置対策**	**再発防止**
	SD メモリカードが未装着。	SD メモリカードを装着してください。	SD メモリカードを装着してください。
	SD メモリカードが種別不正。	SD または SDHC の SD メモリカードに交換してください。	SD または SDHC の SD メモリカードを使用してください。
	SD メモリカードのフォーマット不正。	SD メモリカードを Sysmac Studio でフォーマットしてください。	フォーマットされた SD メモリカードを使用してください。 また、SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。
	SD メモリカードがライトプロテクトされている。	SD メモリカードのライトプロテクトを解除してください。	SD メモリカードのライトプロテクトは解除した状態で使用してください。
	SD メモリカードの容量不足。	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください。	十分な空き容量のある SD メモリカードに交換してください。
	SD メモリカードの故障。	SD メモリカードを交換してください。	SD BUSY LED 点灯中に SD メモリカードを抜いたり電源断をしたりしないでください。 また、書込回数制限にもとづき定期的に SD メモリカードを交換してください。 また、SD PWR LED 点灯中に SD メモリカードを抜かないでください。
付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • 0001Hex：SD メモリカード未装着 • 0002Hex：SD メモリカードの故障、フォーマット不正、種別不正 • 0003Hex：SD メモリカードがライトプロテクトされている • 0005Hex：SD メモリカードの容量不足 • 0302Hex：SD その他の原因による SD メモリカードへのファイルの保存失敗、SD メモリカードの故障		
注意点／備考	なし		

イベント名	OPC UA サーバ設定異常			イベントコード	35D00000Hex	
内容	OPC UA サーバ設定が不正です。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	ダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時
異常の属性	重要度	軽度フォールト		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	自動復旧				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	• OPC UA サーバ機能を開始できません。 • OPC UA サーバ機能の稼働状態は「異常停止中」となります。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	• OPC UA サーバ設定転送中にコントローラを電断した。 • メモリオールクリア中にコントローラを電断した。 • リストア中にコントローラを電断したため OPC UA サーバ設定が不正。		Sysmac Studio から OPC UA サーバ設定を再転送してください。		なし	
	TCP ポート No.の重複		ソケット通信命令、FTP サーバ設定のポート No.と重複している場合、ポート番号が重複しないように設定してください。		ソケット通信命令、FTP サーバ設定のポート No.と重複している場合、ポート No.が重複しないように設定してください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	サーバ証明書有効期限切れ			イベントコード	35D10000Hex	
内容	サーバ証明書が有効期限を過ぎました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	ダウンロード時／電源投入時／コントローラリセット時／ 定期的（24 時間毎）
異常の属性	重要度	軽度フォールト		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	自動復旧				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーバ証明書に設定されている有効期限が過ぎた。		サーバ証明書を再生成してください。		サーバ証明書の有効期限を検討してください。	
付属情報	付属情報 1：サーバ証明書の有効期限 • "YYYY-MM-DD HH:MM:SS"					
注意点／備考	本イベントは、電源再投入またはコントローラリセットをするか、サーバ証明書が再生成されるまで、重複しては登録されません。					

イベント名	OPC UA システム処理異常			イベントコード	44180000Hex	
内容	OPC UA サーバ機能で致命的な異常を検出しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	―
異常の属性	重要度	軽度フォールト		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	―				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	ソフトウェアにエラーが発生した。		電源再投入またはコントローラリセットをしてください。		―	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	サーバ証明書不一致			イベントコード	15020000Hex	
内容	CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスとサーバ証明書の IP アドレスが不一致です。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／ダウンロード時／定期的（24 時間毎）
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	―				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		―		―	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバ機能を使用する設定のときに、CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスを変更した。 • ChangeIPAdr（IP アドレス変更）命令で CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレス変更命令で IP アドレスを変更した。 • CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレス設定方法が「BOOTP サーバから取得」の場合、電源投入時に IP アドレスが変更された。 • CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスが異なる値に設定されているプロジェクトを CPU ユニットにダウンロードした。		CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスを元の設定に戻す、またはサーバ証明書を再生成してください。		CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポートの IP アドレスを変更した後は、サーバ証明書の再生成をしてください。	
付属情報	付属情報 1：サーバ証明書の IP アドレス					
注意点／備考	本イベントは、電源再投入またはコントローラリセットをするか、サーバ証明書が再生成されるまで、重複しては登録されません。					

イベント名	サーバ証明書有効期限切れ予告			イベントコード	35D20000Hex	
内容	サーバ証明書が有効期限に近づきました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／定期的（24 時間毎）
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーバ証明書に設定されている有効期限が近づいた。		サーバ証明書を再生成してください。		サーバ証明書の有効期限を検討してください。	
付属情報	付属情報 1：サーバ証明書の有効期限 • "YYYY-MM-DD HH:MM:SS"					
注意点／備考	本イベントは、電源再投入またはコントローラリセットをするか、サーバ証明書が再生成されるまで、重複しては登録されません。					

イベント名	公開変数数オーバー			イベントコード	35D30000Hex	
内容	OPC UA サーバ機能の構築で、OPC UA クライアントに公開可能な変数の数の上限値を超えました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／リストア時／ダウンロード時／オンラインエディット時
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバ機能がアドレス空間を構築するとき、OPC UA の変数の数が上限値を超えた。		公開する変数の数を OPC UA クライアントに公開可能な上限値以下にしてください。		公開する変数の数を OPC UA クライアントに公開可能な上限値以下にしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	OPC UA サーバ設定が「使用しない」となっている場合、または OPC UA サーバ機能に対応していないプロジェクトを使用している場合は、本イベントは、発生しません。					

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">未サポートのデータ型／無効データ</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">35D40000Hex</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">OPC UA サーバの構築で、公開する変数に OPC UA クライアントに公開できないデータ型の変数またはノードがありました。</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td colspan="2">PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>OPC UA サーバ機能</td><td>検出タイミング</td><td>電源投入時／コントローラリセット時／リストア時／ダウンロード時／オンラインエディット時</td></tr>
<tr><td rowspan="2">異常の属性</td><td>重要度</td><td colspan="2">監視情報</td><td>ログカテゴリ</td><td colspan="2">システム</td></tr>
<tr><td>復旧方法</td><td colspan="5">－</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="3">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td colspan="2">名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td colspan="2">再発防止</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">公開する変数に OPC UA サーバで未サポートのデータ型があった。またはグローバル変数、プログラム名、およびユーザ定義のデータ型名に対応するノードに、OPC UA アドレス空間に公開できないノード名の予約語が使用された。
未サポートのデータ型、および無効データは以下のとおり。
• 多次元配列指定された構造体
• 多次元配列をメンバとして含む構造体
• ネスト数が制限値を超えている構造体
• 共用体
• 配列の開始番号が 0 でない変数（例.Array[2..5]）
• サイズが制限値を超えている変数
• 要素数が制限値を超えている配列
• メンバ数が制限値を超えている構造体
• マッピングできる変数がない
• 登録済みの変数 ID が使われている
• 名前空間のノードが作成できない</td><td colspan="2">以下のデータ型の変数を公開可能なデータ型に変更する。または OPC UA アドレス空間に公開できないノード名の予約語の使用を避けてください。
• 多次元配列指定された構造体
• 多次元配列をメンバとして含む構造体
• ネスト数が制限値を超えている構造体
• 共用体
• 配列の開始番号が 0 でない変数（例.Array[2..5]）
• サイズが制限値を超えている変数
• 要素数が制限値を超えている配列
• メンバ数が制限値を超えている構造体
• マッピングできる変数がない
• 登録済みの変数 ID が使われている
• 名前空間のノードが作成できない</td><td colspan="2">以下のデータ型の変数を公開可能なデータ型に変更する。または OPC UA アドレス空間に公開できないノード名の予約語の使用を避けてください。
• 多次元配列指定された構造体
• 多次元配列をメンバとして含む構造体
• ネスト数が制限値を超えている構造体
• 共用体
• 配列の開始番号が 0 でない変数（例.Array[2..5]）
• サイズが制限値を超えている変数
• 要素数が制限値を超えている配列
• メンバ数が制限値を超えている構造体
• マッピングできる変数がない
• 登録済みの変数 ID が使われている
• 名前空間のノードが作成できない</td></tr>
</table>

付属情報	付属情報 1：異常の詳細 • ビット 00:多次元配列指定された構造体 • ビット 01:多次元構造体をメンバとして含む構造体 • ビット 02:ネスト数が制限値を超えている構造体 • ビット 03:共用体 • ビット 04:配列の開始番号が 0 でない変数（例.Array[2..5]） • ビット 05:サイズが制限値を超えている変数 • ビット 06:要素数が制限値を超えている配列 • ビット 07:メンバ数が制限値を超えている構造体 • ビット 08:マッピング変数なし • ビット 09:登録済み変数 ID • ビット 10:名前空間不正 • ビット 11:グローバル変数、プログラム名、およびユーザ定義のデータ型名に対応するノードに、OPC UA アドレス空間に公開できないノード名の予約語がある
注意点／備考	なし

イベント名	公開バリュー属性数オーバー			**イベントコード**	35D50000Hex	
内容	OPC UA サーバ機能の構築で、OPC UA クライアントに公開するバリュー属性数の上限値を超えました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	電源投入時／コントローラリセット時／リストア時／ダウンロード時／オンラインエディット時
異常の属性	**重要度**	監視情報		**ログカテゴリ**	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	OPC UA サーバ機能がアドレス空間を構築するとき、OPC UA のバリュー属性数が上限値を超えた。		ネットワーク公開属性のグローバル変数の数またはデータ型を確認し、バリュー属性数の上限値以下にしてください。		ネットワーク公開属性のグローバル変数の数またはデータ型を確認し、バリュー属性数の上限値以下にしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	構造体定義数オーバー			イベントコード	35D60000Hex	
内容	OPC UA サーバの構築で、OPC UA クライアントに公開する変数の構造体定義数の上限値を超えました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	電源投入時／コントローラリセット時／リストア時／ダウンロード時／オンラインエディット時
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA がアドレス空間を構築するとき、公開する変数の構造体定義数が上限値を超えた。		公開する変数のデータ型を確認し、構造体定義数を上限値以下にしてください。		公開する変数のデータ型を確認し、構造体定義数を上限値以下にしてください。	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	OPC UA サーバのメモリ容量不足			イベントコード	44190000Hex	
内容	公開する変数のデータ量が、OPC UA サーバの規定値を超えました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	オンラインエディット時／ダウンロード時／OPC UA クライアントからの変数アクセス時
異常の属性	重要度	軽度フォールト		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	自動復旧				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	公開する変数のデータ量が、OPC UA サーバの規定値を超えた。		公開する変数の数を削減してください。		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	OPC UA クライアント接続拒否			**イベントコード**	85600000Hex	
内容	OPC UA クライアントからの接続要求を拒否しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	OPC UA クライアントからの接続要求時
異常の属性	**重要度**	監視情報		**ログカテゴリ**	システム	
	復旧方法	−				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	OPC UA クライアントが接続できません。		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	ユーザ認証情報が誤っている。		正しいユーザ名、パスワードを使用してください。		OPC UA クライアントに正しいユーザ名、パスワードを設定してください。	
	クライアント証明書が不正。		CPU ユニットに登録しているクライアント証明書が正しいものであることを確認してください。		CPU ユニットに正しいクライアント証明書を登録してください。	
			OPC UA クライアントが使用するクライアント証明書を正しいものにしてください。		OPC UA クライアントに正しいクライアント証明書を登録してください。	
	クライアント証明書が拒否した証明書リストに登録されている。		クライアント証明書を信頼した証明書リストに登録してから再接続してください。		接続を許可するクライアントのクライアント証明書を信頼した証明書リストに登録してください。	
	CA 証明書がクライアント認証または発行者認証の信頼した証明書リストに登録されていない。		CA 証明書をクライアント認証または発行者認証の信頼した証明書リストに登録してから再接続してください。		CA 証明書をクライアント認証または発行者認証の信頼した証明書リストに登録してください。	
	最大接続可能セッション数を超えている。		最大接続可能セッション数以下でご使用ください。		最大接続可セッション数以下になるように構成を見直してください。	
付属情報	付属情報 1：接続拒否理由 • 01Hex：ユーザ認証情報不正 • 02Hex：信頼できない証明書 • 04Hex：最大接続可能セッション数を超えている 付属情報 2：詳細情報 • 付属情報 1 が 01Hex のとき：ユーザ名					
注意点／備考	なし					

イベント名	OPC UA サーバ開始			イベントコード	95D00000Hex	
内容	OPC UA サーバを開始しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	OPC UA サーバ機能開始時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバを開始した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	OPC UA サーバ停止			イベントコード	95D10000Hex	
内容	OPC UA サーバを停止しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	OPC_Shutdown（OPC UA シャットダウン）命令を実行時／Sysmac Studio から OPC UA サーバ機能のシャットダウンを実行時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	OPC UA サーバ機能を停止します。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバ機能を停止した。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	• 電源 OFF による OPC UA サーバ機能停止時は、本イベントは登録されません。 • OPC UA サーバ機能を開始するには、電源再投入またはコントローラリセットをしてください。					

イベント名	サーバ証明書生成			イベントコード	95D20000Hex	
内容	サーバ証明書が生成されました。 • サーバ証明書がないときにサーバ証明書を自動生成します。 • サーバ証明書の再生成を行うとサーバ秘密鍵とサーバ証明書を作成します。*1					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	サーバ証明書生成時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	−				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	サーバ証明書が生成された。		なし		なし	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。
- 形 NJ501、形 NX102 CPU ユニット：Ver.1.48 以前
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.28 以前

イベント名	クライアント証明書の破棄			イベントコード	95D30000Hex	
内容	受信したクライアント証明書を破棄しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	OPC UA クライアントからの接続要求時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	−				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	拒否した証明書リストに登録可能なクライアント証明書の最大数を超えた。		拒否した証明書リストに登録されているクライアント証明書を削除してください。		不要なクライアント証明書を拒否した証明書リストから削除してください。	
付属情報	付属情報 1：破棄されたクライアント証明書の IP アドレス					
注意点／備考	なし					

イベント名	OPC UA サーバ証明書およびセキュリティプロファイルのクリア			**イベントコード**	95D40000Hex	
内容	OPC UA サーバ証明書、セキュリティプロファイルを削除しました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	ダウンロード時／リストア時／メモリオールクリアを指定チェックの上実行時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	• OPC UA サーバ機能を搭載していないユニットバージョンの CPU ユニットで作成したバックアップファイルを使用してリストアを実行した。 • OPC UA サーバ機能を搭載していないユニットバージョンのプロジェクトをダウンロードした。 • メモリオールクリアを「OPC UA サーバ証明書、セキュリティプロファイルをクリアする」をチェックして実施した。		－		－	
付属情報	なし					
注意点／備考	なし					

イベント名	クライアント証明書の追加			**イベントコード**	95D60000Hex	
内容	クライアント証明書が追加されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	クライアント証明書の追加成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	クライアント証明書が追加された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：追加されたクライアント証明書の拇印					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	クライアント証明書の削除			イベントコード	95D70000Hex	
内容	クライアント証明書が削除されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	クライアント証明書の削除成功時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	クライアント証明書が削除された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：削除されたクライアント証明書の拇印 付属情報 2：証明書のストア場所 • 0001Hex: 信頼した証明書 • 0002Hex: 拒否した証明書					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	クライアント証明書の移動			イベントコード	95D80000Hex	
内容	クライアント証明書が、信頼した証明書に移動されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	クライアント証明書の移動成功時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	クライアント証明書が、信頼した証明書に移動された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：移動されたクライアント証明書の拇印					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	クライアント証明書失効リストの追加			**イベントコード**	95D90000Hex	
内容	クライアント証明書失効リストが追加されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	クライアント証明書失効リストの追加成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	クライアント証明書失効リストが追加された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：追加されたクライアント証明書失効リストのファイル名					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	クライアント証明書失効リストの削除			**イベントコード**	95DA0000Hex	
内容	クライアント証明書失効リストが削除されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	クライアント証明書失効リストの削除成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	クライアント証明書失効リストが削除された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：削除されたクライアント証明書失効リストのファイル名					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	サーバ証明書再生成			**イベントコード**	95DB0000Hex*1	
内容	サーバ証明書が再生成されました。 • サーバ証明書の再生成を行うとサーバ秘密鍵とサーバ証明書を自動生成します。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	サーバ証明書再生成時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス	
	復旧方法	−				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	サーバ証明書が再生成された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：接続方法 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	セキュリティ設定の転送			**イベントコード**	96200000Hex	
内容	セキュリティ設定が転送されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	セキュリティ設定の転送成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス[*1]	
	復旧方法	−				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		−		−	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	セキュリティ設定が転送された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：接続方法[*2] • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス[*2]					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

*2. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外は付属情報なしです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	実行ログクリア			**イベントコード**	96210000Hex	
内容	実行ログがクリアされました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	実行ログのクリア成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	実行ログがクリアされた。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：接続方法*2 • 1：USB 直接接続 • 2：Ethernet 直接接続 • 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続 付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス*2					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

*2. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外は付属情報なしです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CA 証明書の追加			**イベントコード**	96220000Hex	
内容	CA 証明書が追加されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	CA 証明書の追加成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	CA 証明書が追加された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：追加された CA 証明書の拇印					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CA 証明書の削除			**イベントコード**	96230000Hex	
内容	CA 証明書が削除されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	CA 証明書の削除成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	CA 証明書が削除された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：削除された CA 証明書の拇印					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CA 証明書失効リストの追加			**イベントコード**	96240000Hex	
内容	CA 証明書失効リストが追加されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	CA 証明書失効リストの追加成功時
異常の属性	**重要度**	一般情報		**ログカテゴリ**	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	影響なし		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	CA 証明書失効リストが追加された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：追加された CA 証明書失効リストのファイル名					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

イベント名	CA 証明書失効リストの削除			イベントコード	96250000Hex	
内容	CA 証明書失効リストが削除されました。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	CA 証明書失効リストの削除成功時
異常の属性	重要度	一般情報		ログカテゴリ	アクセス*1	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	影響なし		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	CA 証明書失効リストが削除された。		なし		なし	
付属情報	付属情報 1：削除された CA 証明書失効リストのファイル名					
注意点／備考	なし					
アクセスログのユーザ名	ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名 ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL					

*1. 以下の CPU ユニットの場合だけです。それ以外はシステムです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

<table>
<tr><td>イベント名</td><td colspan="2">クライアント証明書、CA 証明書の変更</td><td>イベントコード</td><td colspan="2">96260000Hex*1</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="5">以下のいずれかの証明書に関わる変更が実行されました。
• クライアント証明書の追加／削除／移動
• クライアント証明書失効リストの追加／削除
• CA 証明書の追加／削除／移動
• CA 証明書失効リストの追加／削除</td></tr>
<tr><td>発生源</td><td>PLC 機能モジュール</td><td>発生源詳細</td><td>OPC UA サーバ機能</td><td>検出タイミング</td><td>以下のいずれかの証明書に関わる変更が実行された時
• クライアント証明書の追加／削除／移動
• クライアント証明書失効リストの追加／削除
• CA 証明書の追加／削除／移動
• CA 証明書失効リストの追加／削除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">異常の属性</td><td>重要度</td><td colspan="2">一般情報</td><td>ログカテゴリ</td><td>アクセス</td></tr>
<tr><td>復旧方法</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td>発生の影響</td><td>ユーザプログラム</td><td>継続</td><td>動作</td><td colspan="2">影響なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム定義変数</td><td colspan="2">変数名</td><td colspan="2">データ型</td><td>名称</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発生要因とその処置</td><td colspan="2">発生要因（推定原因）</td><td colspan="2">処置対策</td><td>再発防止</td></tr>
<tr><td colspan="2">以下のいずれかの証明書に関わる変更が実行された。
• クライアント証明書の追加／削除／移動
• クライアント証明書失効リストの追加／削除
• CA 証明書の追加／削除／移動
• CA 証明書失効リストの追加／削除</td><td colspan="2">なし</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>付属情報</td><td colspan="5">付属情報 1：接続方法
• 1：USB 直接接続
• 2：Ethernet 直接接続
• 3：USB リモート接続または Ethernet HUB 接続
付属情報 2：付属情報 1 が 2 か 3 の場合、接続元の IP アドレス。Proxy 経由の場合、Proxy の IP アドレス</td></tr>
<tr><td>注意点／備考</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td>アクセスログのユーザ名</td><td colspan="5">ユーザ認証機能を使用している場合　：ユーザ名
ユーザ認証機能を使用していない場合：NULL</td></tr>
</table>

*1. 以下の CPU ユニットで発生するイベントです。
- 形 NJ シリーズ、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニット：Ver.1.49 以降
- 形 NX502 CPU ユニット：Ver.1.60 以降
- 形 NX701 CPU ユニット：Ver.1.29 以降

OPC UA 命令関連

以下の OPC UA 命令で発生する異常（イベント）の一覧を示します。イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコードを表します。

OPC UA 命令	名称
OPCUA_Shutdown	OPC UA サーバ機能のシャットダウン

イベント名	OPC UA サーバ終了／終了処理中			**イベントコード**	54015000Hex	
内容	OPC UA サーバ機能が既に終了しています、または、終了処理中です。					
発生源	PLC 機能モジュール		**発生源詳細**	OPC UA サーバ機能	**検出タイミング**	命令実行時
異常の属性	**重要度**	監視情報		**ログカテゴリ**	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	**ユーザプログラム**	継続	**動作**	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	**変数名**		**データ型**		**名称**	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	**発生要因（推定原因）**		**処置対策**		**再発防止**	
	• OPC UA サーバ機能が終了している状態で OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行した。 • OPC UA サーバ機能の終了処理を実行中に OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行した。		コントローラの電源を再投入し、OPC UA サーバ機能を開始してから、該当命令を実行してください。		OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令実行後は、再度該当命令は実行しないようにユーザプログラムを作成してください。または、Sysmac Studio でシャットダウンを指示した後は、該当命令は実行しないようにユーザプログラムを作成してください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります。					

イベント名	OPC UA サーバ初期処理中			イベントコード	54015001Hex	
内容	OPC UA サーバが初期処理中のため実行できませんでした。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバ機能の初期処理中に OPCUA_Shutdown（OPC UA 機能のシャットダウン）命令を実行しました。		該当命令を再度実行してください。		該当命令を再度実行してください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります。					

イベント名	OPC UA サーバ未起動			イベントコード	54015002Hex	
内容	OPC UA サーバ機能が起動していないため、実行できませんでした。					
発生源	PLC 機能モジュール		発生源詳細	OPC UA サーバ機能	検出タイミング	命令実行時
異常の属性	重要度	監視情報		ログカテゴリ	システム	
	復旧方法	－				
発生の影響	ユーザプログラム	継続	動作	該当命令を仕様どおりに終了。		
システム定義変数	変数名		データ型		名称	
	なし		－		－	
発生要因とその処置	発生要因（推定原因）		処置対策		再発防止	
	OPC UA サーバ機能の設定が「使用しない」となっているときに該当命令を実行した。		OPC UA サーバ機能の設定を「使用する」に変更し、コントローラの電源を再投入してから該当命令を実行してください。		OPC UA サーバ機能の設定を「使用する」に変更し、コントローラの電源を再投入してから該当命令を実行してください。	
付属情報	付属情報 1：異常の発生箇所 付属情報 2：異常の発生箇所詳細　回路番号。プログラムセクションの場合はセクション先頭からの回路番号。ST の場合は行番号 付属情報 3：異常が発生した命令の命令名、命令インスタンス名。候補が複数ある場合は複数表示。特定できない場合は表示なし 付属情報 4：拡張エラーコード（ErrorIDEx）がある命令は、拡張エラーコード（ErrorIDEx）。拡張エラーコード（ErrorIDEx）がない命令は、0x00000000					
注意点／備考	異常発生後にプログラムを変更した場合は、付属情報が正しく表示されない可能性があります。					

3-9-3 その他のトラブルと処置

ここでは、OPC UA サーバ特有のトラブルシューティングについて、現象、原因、対策、関連するイベントログ、実行ログを、以下に示します。

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
接続できない	接続先が誤っている	IP アドレスが異なる。	URL として、［OPC UA サーバ設定］－［エンドポイント］と同じ値を指定してください。	－	－
	接続先が誤っている	BOOTP により IP アドレスが変化した。	URL として、［OPC UA サーバ設定］－［エンドポイント］と同じ値を指定してください。	サーバ証明書不一致（15020000Hex）	サーバ証明書不一致（CERT｜0004｜Mismatch_Host）
	接続先が誤っている	ポート No.が異なる、または他の通信サービスと重複している。	URL として、［OPC UA サーバ設定］－［エンドポイント］と同じ値を指定してください。	－	－
	接続先が誤っている	Sysmac Studio、NetworkConfigurator、命令のいずれかで IP アドレスが変更された。	OPC UA クライアントの接続設定を正しい IP アドレスに変更する。Sysmac Studio でサーバ証明書を手動で再生成してください。その後、サーバ証明書をエクポートし、OPC UA クライントにインポートしてください。	サーバ証明書不一致（15020000Hex）	サーバ証明書不一致（CERT｜0004｜Mismatch_Host）
	Ethernet/IP のケーブルが接続されていない	ケーブルが抜けている。 中継する機器の不良等。	ネットワーク環境を確認してください。	－	－
	OPC UA サーバ設定の異常	OPC UA サーバ設定が壊れている	Sysmac Studio を使用してダウンロードを実行してください。	OPC UA サーバ設定異常（35D00000Hex）	OPC UA サーバ機能エラー（SERVER｜0007｜HaltError）
	OPC UA 使用設定の誤り	［OPC UA サーバ設定］－［OPC UA サーバの使用］が「使用しない」に設定されている。	［OPC UA サーバの使用］を「使用する」に設定してください。	－	－
	OPC UA 使用設定の誤り	ユニットバージョンの古いプロジェクトである。	OPC UA 機能を搭載するユニットバージョンに変更し、コントローラに転送してください。	－	－

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
	Packet Filter 設定の誤り	［コントローラ設定］-［内蔵 EtherNet/IP ポート設定］-［TCP/IP 設定］-［Packet Filter］が［する］に設定されていて、OPC UA のパケットが許可されていない。	Packet Filter 設定で、OPC UA のパケットを許可してください。設定の詳細は、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherNet/IP ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-377)』の「Packet Filter」を参照してください。	－	－
	OPCUA が「終了」状態	opcua_shutdown 命令を実行した Sysmac Studio から OPC UA サーバをシャットダウンした。	電源再投入またはコントローラリセットしてください。	OPC UA サーバ停止（95D10000Hex）	OPC UA サーバ機能のシャットダウン（SERVER｜0006｜Shutdown）
	OPC UA が「構築中」状態	ダウンロード、メモリオールクリア、リストア中に OPC UA 機能を使用している。	OPC UA 機能の状態が「稼働中」になってから接続してください。	－	－
	クライアント証明書の不正	クライアント証明書または CA 証明書が、クライアント認証での信頼した証明書に登録されていない。	クライアント証明書を信頼した証明書リストに登録してください。 CA 証明書を、クライアント認証での信頼した証明書に登録してください。 証明書失効リストを、クライアント認証での証明書失効リストに登録してください。	クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	クライアント証明書の不正	クライアント証明書が壊れている。	OPC UA クライアントに正しいクライアント証明書を設定してください。	クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	クライアント証明書の不正	クライアント証明書がクライアント認証での信頼した証明書リストに登録されていない。 または CA 証明書が、クライアント認証での信頼した証明書リスト、または発行者認証での信頼した証明書リストに登録されていない。	クライアント証明書をクライアント認証での信頼した証明書リストに登録してください。 または CA 証明書をクライアント認証での信頼した証明書リスト、または発行者認証での信頼した証明書リストに登録してください。	クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
	CA 署名のクライアント証明書の失効	CA 署名のクライアント証明書が失効している。	ルートまでのすべての CA 証明の失効リストを更新してください。	クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	CA 証明書の失効	CA 証明書自体またはルートまでの CA 証明書が失効している。	ルートまでのすべての CA 証明書の失効リストを更新してください。	クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	サーバ証明書の不正	サーバ証明書の IP アドレスとコントローラの IP アドレスが異なる。	サーバ証明書を再生成し、OPC UA クライアントにインストールしてください。	サーバ証明書不一致（15020000Hex）	サーバ証明書不一致（CERT｜0004｜Mismatch_Host）
	サーバ証明書の不正	サーバ証明書が有効期限切れ	サーバ証明書の適切な有効期限を設定してサーバ証明書を再作成してください。	サーバ証明書有効期限切れ（35D10000Hex）	サーバ証明書の有効期限切れ（CERT｜0003｜Expired_Server）
	匿名ログイン設定不一致	OPC UA クライアントの匿名ログイン設定が、サーバの匿名ログイン設定と一致していない。	サーバとクライアント間の匿名ログイン設定の整合性を確認してください。	－	－
	セキュリティポリシー不一致	OPC UA クライアントが設定したセキュリティポリシーがサーバ側の許容範囲外。	サーバとクライアント間のセキュリティポリシーの整合性を確認してください。 OPC UA クライアントがサポートするセキュリティポリシーを設定してください。	－	－
	セキュリティポリシー不一致	OPC UA クライアントがサーバ証明書の暗号化方式をサポートしていない。	サーバとクライアント間のセキュリティポリシーの整合性を確認してください。	－	－
	自己証明書受け入れ拒否	OPC UA クライアントが OPC UA サーバの自己署名証明書を受け付けない。	自己証明書を受け入れるようにシステム管理者様とご相談ください。	－	－

こんなとき	原因 1	原因 2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
	サーバ証明書の不一致	メモリオールクリアで OPC UA サーバ証明書をクリアした。	サーバ証明書を OPC UA クライアントに再インストールしてください。	OPC UA サーバ証明書および OPC UA セキュリティプロファイルの削除（95D40000Hex）	サーバ証明書の更新（CERT｜0001｜Update_Sever）
	サーバ証明書の不一致	サーバ証明書を再作成した。	サーバ証明書を OPC UA クライアントに再インストールしてください。	－	サーバ証明書の更新（CERT｜0001｜Update_Sever）
	セッション作成時エラー	サポートするセッション数を超えている。	セッション数を 5 つ以下にしてください。	－	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	セッション作成時エラー	NJ OPCUA がサポートしていないデータエンコード方式が指定されている。	OPC UA クライアントの Data Encoding を UA Binary にしてください。	－	－
	セッション作成時エラー	NJ OPCUA がサポートしていないトランスポートプロトコルが指定されている。	OPC UA クライアントの Transport Protocol を UA TCP にしてください。	－	－
	セッション作成時エラー	OPC UA クライアントが入力したユーザ名またはパスワードが、サーバ側の認証設定と一致していない。	サーバとクライアント間のユーザ名またはパスワードの整合性を確認してください。	OPC UA クライアント接続拒否（85600000Hex）	ユーザ認証（AUTH｜0002｜User）
	セッション作成時エラー	OPC UA クライアントのユーザがユーザ認証設定に登録されていない。	正しいユーザ認証設定をしてください。	OPC UA クライアント接続拒否（85600000Hex）	ユーザ認証（AUTH｜0002｜User）
	セッション作成時エラー	ユーザ認証設定を変更した。	正しいユーザ認証設定をしてください。	OPC UA クライアント接続拒否（85600000Hex）	セキュリティ設定の更新（AUTH｜0100｜Update）

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
	セッション作成時エラー	OPC UA クライアントがユーザ証明書での認証を要求している。	OPC UA サーバのセキュリティ設定－匿名ログインを許可してください。 または、 OPC UA クライアントの設定をユーザ名/パスワード認証として接続してください。	OPC UA クライアント接続拒否（85600000Hex）	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）
	セッション作成時エラー	OPC UA サーバの設定がユーザ名/パスワード認証となっているが OPC UA クライアントが anonymous で接続を要求している。	OPC UA サーバの－匿名ログインを許可してください。 または、 OPC UA クライアントの設定をユーザ名/パスワード認証として接続してください。	OPC UA クライアント接続拒否（85600000Hex）	ユーザ認証（AUTH－0002－User）
	クライアント証明書操作を信頼した証明書リストに移動できない。	クライアント証明書の信頼した証明書リストが最大数まで登録済みである。	クライアント証明書を信頼した証明書リストに 32 個を超えて登録することはできません。接続していないクライアントのクライアント証明書を削除してから、信頼した証明書リストに登録してください。	－	－
	クライアント証明書操作が拒否した証明書リストにないため、移動操作ができない。	クライアント証明書の拒否した証明書リストが最大数まで登録済みである。	クライアント証明書を拒否した証明書リストに 32 個を超えて登録することはできません。拒否した証明書リストに登録されている不要なクライアント証明書を削除し、クライアントから再接続します。クライアント証明書が拒否した証明書リストに登録されたあと、信頼した証明書リストに移動してください。	クライアント証明書の破棄（95D30000Hex）	証明書の破棄(CERT｜0102｜Discard_Client)
OPC UA クライアントから変数をブラウズできない	OPC UA クライアントに CPU ユニットのグローバル変数が正しく表示されない。	グローバル変数の公開属性が「非公開」となっている。	CPU ユニットのグローバル変数の公開属性を「公開する」、「入力」または「出力」に設定してください。	－	－
	OPC UA クライアントに CPU ユニットのシステム定義変数が正しく表示されない。	－	システム定義変数は公開できません。 ユーザプログラムでネットワーク公開変数にコピーしてください。	－	－

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
	OPC UA クライアントに CPU ユニットのグローバル変数が正しく表示されない。	公開不可の変数である。	以下の変数は OPCUA サーバ機能での公開変数にはなりません。 OPC UA サーバ機能で公開可能なデータ型に変更してください。 • 多次元配列指定された構造体 • 多次元配列をメンバとして含む構造体 • ネスト数が制限値を超えている構造体 • 共用体 • 配列の開始番号が 0 でない変数 • サイズが制限値を超えている変数 • 要素数が制限値を超えている配列 • メンバ数が制限値を超えている構造体	未サポートのデータ型（35D40000Hex）	未サポートのデータ型を含む変数（SERVER｜0101｜InvalidDataType）
	構造体メンバのノードがない。	構造体メンバ展開はできない。	構造体変数のメンバについては、バリュー属性を参照してください。	－	－
	OPC UA クライアントに CPU ユニットの変数が正しく表示されない。	公開可能な変数の数を超えている。	OPC UA サーバ機能での公開変数の数を上限値以下にしてください。 ネットワーク公開が不要なグローバル変数の公開属性を「非公開」に変更してください。	公開変数数オーバー（35D30000Hex）	公開可能な最大変数数を超えた（SERVER｜0100｜MaxVariables）
	OPC UA クライアントに CPU ユニットの変数が正しく表示されない。	公開可能なバリュー属性数を超えている。	OPC UA サーバ機能での公開変数のバリュー属性数を上限値以下にしてください。 ネットワーク公開が不要なグローバル変数の公開属性を「非公開」に変更してください。	公開バリュー属性数オーバー（35D50000Hex）	公開可能な最大変数数を超えた（SERVER｜0100｜MaxVariables）
	OPC UA クライアントに CPU ユニットの変数が正しく表示されない。	公開可能な構造体定義数を超えている。	OPC UA サーバ機能での公開可能な構造体定義数を上限値以下にしてください。	構造体定義数オーバー（35D60000Hex）	公開可能な最大変数数を超えた（SERVER｜0100｜MaxVariables）

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
変数を読み書きできない	読み書きエラー	OPC UA に公開されていない。	該当変数の公開属性を「公開する」、「入力」または「出力」に設定してください。	－	－
	読み書きエラー	OPC UA が終了状態になっている。	電源再投入またはコントローラリセットしてください。	OPC UA サーバ停止（95D10000Hex）	OPC UA サーバ機能のシャットダウン（SERVER｜0006｜Shutdown）
	読み書きエラー	OPC UA が構築中になっている。	「稼働中」となってからRead/Write してください。	－	－
	読み書きエラー	配列の要素をしてしてアクセスできない。	配列全体を指定してください。	－	－
	読み書きエラー	構造体メンバを指定してアクセスできない。	構造体全体を指定してください。	－	－
	読み書きエラー	EtherNet/IP ケーブルの抜け、切断等の通信障害が発生した。	ネットワーク環境の確認をしてください。	－	アプリケーション認証（AUTH｜0001｜Application）

こんなとき	原因1	原因2	処置	関連するログ	
				イベントログ	実行ログ（カテゴリ｜ログコード｜ログ名）
Subscription の設定ができない	Subscription エラー	Subscription の最大値を超えている。	OPC UA クライアントのサブスクリプションを 100 以下となるように構成してください。	－	－
	Subscription エラー	Monitored Item の最大値を超えている。	OPC UA クライアントの Monitored Item を、形 NJ501-1□00 の場合、2,000 以下、形 NX102-□□□□の場合、1,000 以下となるように構成してください。	－	－
	Subscription エラー	OPC UA が終了状態になっている。	電源再投入またはコントローラリセット後に実行してください。	OPC UA サーバ停止（95D10000Hex）	OPC UA サーバ機能のシャットダウン（SERVER｜0006｜Shutdown）
	Subscription エラー	OPC UA が構築中になっている	「稼働中」となってから実行してください。	－	－
	Subscription エラー	EtherNet/IP ケーブルの抜け、切断等の通信障害が発生した。	ネットワーク環境の確認をしてください	－	OPC UA クライアントからの接続（AUTH｜0001｜Application）
実行ログが記録されない	SD メモリカード未装着	正しい SD メモリカードが CPU ユニットに装着されてない。 • SD メモリカードが壊れている • 未サポートの SD メモリカードである • フォーマットされていない	正しい SD メモリカードを CPU ユニットに装着してください。	実行ログ保存失敗（15000000Hex）	－
	SD メモリカードのライトプロテクト	SD メモリカードのライトプロテクトスイッチが「書き込み禁止」になっている。	SD メモリカードのライトプロテクトスイッチを書き込み可に変更してください。	実行ログ保存失敗（15000000Hex）	－
	設定が正しくない。	［OPC UA サーバ設定］－［実行ログ］－［実行］が「記録しない」に設定されている	［OPC UA サーバ設定］－［実行ログ］－［実行］を「記録する」に設定してください。	－	－

イベントログの詳細については、「3-9 OPC UA 機能の異常 (P.3-618)」を参照してください。
実行ログの詳細については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC UA 編 (SBCD-374)』を参照してください。

A

付録

本章では、CPU ユニットの標準以外の形式だけで発生する異常（イベント）、接続機器で発生する異常（イベント）の一覧、すべての異常（イベント）のイベントコード順の一覧、および表示器のトラブルシュータの対応範囲、および、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットとスレーブターミナルの NX バス関連イベントの対応について説明します。

A-1 CPU ユニットで発生するその他の異常 A-2
A-1-1 DB 接続サービス機能の異常 A-2
A-1-2 GEM サービス機能の異常 A-9
A-1-3 ロボット制御機能の異常 A-14
A-1-4 NJ Robotics 機能の異常 A-30
A-1-5 CNC 機能の異常 A-44

A-2 接続機器で発生する異常 A-58
A-2-1 スレーブターミナルの異常 A-58
A-2-2 EtherCAT スレーブの異常 A-108
A-2-3 CJ シリーズユニットの異常 A-142

A-3 CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴 A-163

A-4 イベントコード順の異常一覧 A-168
A-4-1 異常一覧の見方 A-168
A-4-2 異常一覧 A-170

A-5 表示器のトラブルシュータの対応範囲 A-225
A-5-1 トラブルシュータを使用できる表示器と CPU ユニットの組み合わせ A-225
A-5-2 トラブルシュータが対象とするシステム構成要素 A-226

A-6 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満と Ver.1.40 以降のイベントの対応 A-227

A-7 形 NX102、形 NX1P2 とスレーブターミナルの NX バス関連イベントの対応 A-229

A-8 イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正 A-230
A-8-1 イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正手順のフロー A-232
A-8-2 イベントごとのリングトポロジの配線修正方法 A-234

A-9 X バスユニット関連の動作 A-245
A-9-1 重要度ごとの動作 A-245
A-9-2 イベント発生源となった場合の機能モジュールの動作 A-245

A-10 マニュアル No.変更前の改訂履歴 A-247

A-1　CPU ユニットで発生するその他の異常

NJ/NX シリーズ CPU ユニットの標準以外の形式だけで発生する、「第 3 章 異常の内容と処置(P.3-1)」に記載されていない異常（イベント）の一覧です。異常一覧の見方は、「3-1 表の見方(P.3-2)」を参照してください。
異常の詳細については各製品のマニュアルを参照してください。

A-1-1　DB 接続サービス機能の異常

DB 接続サービス、DB 接続命令で発生する異常（イベント）の一覧です。
DB 接続サービス、DB 接続命令を使用できる CPU ユニットの形式とユニットバージョンは、『NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル(SBCA-411)』を参照してください。
次の機能分類があります。

- DB 接続サービス
- DB 接続命令

DB 接続サービス関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-411	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
14D00000Hex	スプール破壊	スプールが破壊されています	• ユーザアプリケーションからのスプールへの不正な書込み • ［DB 接続サービス設定］の［運転時のサービス開始］を［使用しない］以外から［使用しない］に変更し、再度［使用しない］以外に変更した			○			SBCA-411
14D20000Hex	実行ログ保存失敗	実行ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量不足 • SD メモリカードの故障			○	⊙		SBCA-411
14D30000Hex	SQL 実行失敗ログ保存失敗	SQL 実行失敗ログの SD メモリカードへの保存に失敗しました	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている • SD メモリカードの容量不足 • SD メモリカードの故障			○	⊙		SBCA-411

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35300000Hex	DB 接続設定エラー	DB 接続設定が不正です	• DB 接続設定をダウンロード中にコントローラを電断した • メモリオールクリア中にコントローラを電断したため DB 接続設定が不正 • リストア中にコントローラを電断したため DB 接続設定が不正 • 不揮発性メモリの故障			○			SBCA-411
35310000Hex	DB サーバ証明書エラー	DB サーバ証明書のフォーマットが不正です	• フォーマット(X.509)が不正な DB サーバ証明書をダウンロードした • DB 接続設定転送中に CPU ユニットを電断した • メモリオールクリア中にコントローラを電断したため DB 接続設定が不正 • リストア中にコントローラを電断したため DB 接続設定が不正 • 不揮発性メモリの故障			○			SBCA-411
441C0000Hex	DB 接続システム処理異常	DB 接続サービスで致命的な異常を検知しました	• ソフトウェアエラーが発生した			○			SBCA-411
85100000Hex	DB コネクション異常切断	DB コネクションが異常切断しました	• サーバの電源 OFF • サーバの DB の停止 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線 • ノイズ			○			SBCA-411
95300000Hex	DB 接続サービス開始	DB 接続サービスを開始しました	• DB 接続サービスの開始に成功した					○	SBCA-411
95310000Hex	DB 接続サービス停止	DB 接続サービスを停止しました	• DB 接続サービスを停止した					○	SBCA-411
95320000Hex	DB 接続サービス終了	DB 接続サービスを終了しました	• DB 接続サービスを終了した					○	SBCA-411
95330000Hex	スプールクリア	スプールに保留した SQL 文をクリアしました	• スプールに保留した SQL 文をクリアした					○	SBCA-411
95340000Hex	DB 接続サービス操作（開始）	DB 接続サービスの開始操作をしました	• SysmacStudio を使用して DB 接続サービスの開始操作をした					○	SBCA-411
95350000Hex	DB 接続サービス操作（停止）	DB 接続サービスの停止操作をしました	• SysmacStudio を使用して DB 接続サービスの停止操作をした					○	SBCA-411
95360000Hex	DB 接続サービス操作（終了）	DB 接続サービスの終了操作をしました	• SysmacStudio を使用して DB 接続サービスの終了操作をした					○	SBCA-411
95370000Hex	スプールクリア操作	スプールに保留した SQL 文のクリア操作をしました	• SysmacStudio を使用してスプールに保留した SQL 文のクリア操作をした					○	SBCA-411
95380000Hex	稼働ログのクリア操作	稼働ログのクリア操作をしました	• SysmacStudio を使用して稼働ログのクリア操作をした					○	SBCA-411
95390000Hex	デバッグログ操作（開始）	デバッグログの開始操作をしました	• SysmacStudio を使用してデバッグログの開始操作をした					○	SBCA-411

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
953A0000Hex	デバッグログ操作（停止）	デバッグログの停止操作をしました	• SysmacStudio を使用してデバッグログの停止操作をした					○	SBCA-411

DB 接続命令関連

イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#3000 の場合は、54013000Hex のイベントコードの説明を参照してください。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-411	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54013000Hex	DB 接続サービス未開始	DB 接続サービスが開始していません	• 該当命令を実行する前に、DB 接続サービスの開始指示をしていない • 該当命令を実行する前に、DB 接続サービスの停止指示をした				○		SBCA-411
54013001Hex	DB 接続サービス動作モード変更失敗	DB 接続サービスの動作モードを変更できませんでした	• 「稼働モード」で動作中に、該当命令で「テストモード」への動作モード変更を実行した • 「テストモード」で動作中に、該当命令で「稼働モード」への動作モード変更を実行した • DB 接続サービスが停止処理中に、DB 接続サービスの開始を指示した • DB 接続サービスが停止処理中に DB 接続サービスのシャットダウンを指示した				○		SBCA-411
54013002Hex	DB 接続サービス終了／終了処理中	DB 接続サービスが既に終了しています、または、終了処理中です	• DB 接続サービスが終了している状態で、該当命令を実行した				○		SBCA-411
54013003Hex	DB コネクション名不正	指定した DB コネクション名が DB コネクション設定に設定されていません	• 該当命令の入力変数「DBConnectionName」に指定した DB コネクション名が誤っている • DB コネクション設定の DB コネクション名が誤っている				○		SBCA-411
54013004Hex	DB コネクション接続拒否	DB が接続を拒否しました	• DB コネクション設定で設定したユーザ名、または、パスワードが間違っている				○		SBCA-411
54013005Hex	DB コネクション接続失敗	DB に接続できませんでした	• 指定した IP アドレス、または、指定したホスト名のサーバが存在しない • サーバの電源 OFF • サーバの DB の停止 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線				○		SBCA-411
54013006Hex	DB コネクション既接続	同一の DB コネクション名で既に DB コネクションを接続しています	• 同一の DB コネクション名で既に DB コネクションを接続している状態で、該当命令を実行した				○		SBCA-411
54013007Hex	DB コネクション接続数超過	同時に接続可能な DB コネクション数を超えています	• 同時に接続可能な DB コネクション数が最大の状態で、該当命令を実行した				○		SBCA-411

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54013008Hex	DB コネクション不正	指定した DB コネクションが不正、または、既に DB コネクションが未接続です	• 該当命令の入力変数「DBConnection」に指定した DB コネクションが誤っている • 該当命令の入力変数「DBConnection」に指定した DB コネクションが未接続である				○		SBCA-411
54013009Hex	DB マップ変数不正	指定した DB マップ変数が不正です	• DB マップ変数として、メンバに派生データ型を含む構造体型の変数を指定した • DB マップ変数として構造体型以外の変数を指定した • INSERT 用、UPDATE 用の DB マップ変数として構造体配列変数を指定した				○		SBCA-411
5401300AHex	DB マップ変数未登録	指定した DB マップ変数は登録されていません	• DB_CreateMapping 命令で DB マップ変数を作成していない • DB マップ変数として登録した変数でない変数を「MapVar」に指定した • DB_CreateMapping 命令実行時に指定した DB コネクションと異なる DB コネクションを、該当命令で指定した				○		SBCA-411
5401300BHex	SQL 実行エラー	実行した SQL 文が DB でエラーになりました	• DB マップ変数の構造体のメンバ名と同じ名前のカラムが存在しない • DB_CreateMapping 命令で指定したテーブルが DB に存在しない • DB マップ変数の構造体のメンバの値が、カラムのデータ型に変換できない • カラムの値を、DB マップ変数の構造体のメンバのデータ型に変換できない • DB マップ変数の構造体のメンバの値が、カラムのデータ型の範囲を超えている • 抽出条件で指定したカラムが DB のレコードに存在しない（DB_Select 命令、DB_Update 命令、DB_Delete 命令） • 抽出条件の構文の誤り（DB_Select 命令、DB_Update 命令、DB_Delete 命令） • ソート条件で指定したカラムが DB のレコードに存在しない（DB_Select 命令） • ソート条件の構文の誤り（DB_Select 命令） • テーブルへのアクセス権限がない				○		SBCA-411

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401300CHex	スプール容量超過	スプールの最大容量を超えたため SQL 文を保留できませんでした	• ネットワーク障害などにより DB に接続できない状態が続いている • スプールに保留した SQL 文の再送処理を実行していない（スプールの再送設定が「手動再送」のとき）				○		SBCA-411
5401300EHex	抽出条件不正	入力した抽出条件が不正です	• 入力変数「Where」に NULL 文字(16#00)だけの文字列を指定した				○		SBCA-411
54013010Hex	ログコード範囲外	入力したログコードの値が有効範囲外です	• ログコードに 0～9999 以外を指定した				○		SBCA-411
54013011Hex	DB コネクション異常切断発生中	DB コネクションが異常切断しているため実行できませんでした	• サーバの電源 OFF • サーバの DB の停止 • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線 • ノイズ				○		SBCA-411
54013012Hex	DB 接続命令実行タイムアウト	指定した命令実行タイムアウト時間内に命令が終了しませんでした	• サーバの電源 OFF • Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • Ethernet ケーブルの断線 • サーバの処理時間が長い				○		SBCA-411
54013013Hex	DB 接続サービス異常停止中	DB 接続サービスが異常停止中のため実行できませんでした	• DB 接続設定が壊れている				○		SBCA-411
54013014Hex	スプールデータあり	既にスプールに保留した SQL 文が存在します	• 既にスプールに保留した SQL 文が存在する状態で、DB_Insert 命令、DB_Update 命令を実行した • 既にスプールに保留した SQL 文が存在する状態で、DB_Select 命令、DB_Delete 命令を実行した				○		SBCA-411
54013015Hex	DB 接続サービス初期処理中	DB 接続サービスが初期処理中のため実行できませんでした	• DB 接続サービスの初期処理中に該当命令を実行した				○		SBCA-411
54013016Hex	DB 処理中	サーバ側 DB が処理中のため実行できませんでした	• 前回実行した命令で DB 接続命令実行タイムアウトが発生したが、サーバ側 DB の処理が完了していない状態で該当命令を実行した				○		SBCA-411
54013017Hex	稼働ログ無効	指定した稼働ログが無効のためログを記録できませんでした	• 入力変数「LogType」で実行ログを指定したが、実行ログが無効である • 入力変数「LogType」でデバッグログを指定したが、デバッグログが記録停止中である				○		SBCA-411
54013018Hex	プロシージャハンドル不正	指定したプロシージャハンドルが不正です	• 該当命令の入力変数「ProcHandle」に指定したプロシージャハンドルが誤っている				○		SBCA-411
54013019Hex	対象外データベース種別への命令実行	本命令の対象となっていないデータベース種別を指定して命令が実行されました	• DB コネクション設定で設定したデータベース種別が該当命令ではサポート対象外				○		SBCA-411

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401301AHex	ストアドプロシージャ名不正	指定したストアドプロシージャ名が存在しません	• 該当命令の入力変数「ProcName」で指定された名前のストアドプロシージャがサーバ側 DB に存在しない				○		SBCA-411
5401301BHex	ストアドプロシージャ引数不正	ストアドプロシージャの引数とアタッチした引数の情報が一致しません	• 該当命令の入力変数「ArgIn」、「ArgOut」、「ArgInOut」とサーバ側 DB から取得するストアドプロシージャの引数情報の名前、数、型が一致しない				○		SBCA-411
5401301CHex	ストアドプロシージャ結果セットカラム数不正	ストアドプロシージャの結果セットのカラム数が格納先の構造体型変数のメンバ数と一致しません	• 該当命令により取得された結果セットのカラム数と格納先の構造体型変数のメンバ数が一致しない				○		SBCA-411
5401301EHex	DB 接続サービス未起動	DB 接続サービスが［使用しない］設定です	• DB 接続サービスを［使用しない］設定で該当命令を実行した				○		SBCA-411

A-1-2　GEM サービス機能の異常

GEM サービス、GEM 命令で発生する異常（イベント）の一覧です。
GEM サービス、GEM 命令を使用できる CPU ユニットは、形 NJ501-1340 です。CPU ユニットのユニットバージョンは Ver.1.09 以降です。
次の機能分類があります。

- GEM サービス
- GEM 命令

GEM サービス関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-412	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
14E00000Hex	GEM 設定データ不正	GEM 設定データが不正です	• GEM 設定データ転送中に CPU ユニットを電源断した • メモリオールクリア中にコントローラを電源断したため、GEM 設定データが不正 • 不揮発性メモリの故障			○			SBCA-412
14E20000Hex	スプール破棄	スプールデータが破壊されています	• シャットダウンしないで CPU ユニットを電源断したためスプールデータが壊れた			○			SBCA-412
14E30000Hex	スプール保存失敗	スプールの SD メモリカードへの保存に失敗しました	• SD メモリカードの容量不足 • SD メモリカードの故障			○			SBCA-412
35400000Hex	変数割り付け不正	変数割り付けの解決に失敗しました	• SECS/GEM コンフィグレータで指定した変数がグローバル変数に存在しない • SECS/GEM コンフィグレータで設定した変数のデータ型、コンスタント属性、配列の次元数／要素数がグローバル変数で定義した変数と異なる			○			SBCA-412
35410000Hex	TCP ポート番号不正	ホスト通信用の TCP ポート番号が不正です	• 他機能の TCP ポート番号とホスト通信用の TCP ポート番号が重複している			○			SBCA-412
14E10000Hex	GEM サービスログ保存失敗	GEM サービスログの SD メモリカードへの書き込みにエラーが発生しました	• SD メモリカードの容量不足 • SD メモリカードの故障				○		SBCA-412
14E40000Hex	SD メモリカード不正	SD メモリカードが装着されていない、または書き込みできない SD メモリカードが装着されています	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードが種別不正 • SD メモリカードのフォーマット不正 • SD メモリカードがライトプロテクトされている				○		SBCA-412
66000000Hex	送信トランザクションキューオーバー	送信トランザクションが、一時保管できる容量を上回りました	• 送信トランザクションを処理する能力が小さい				○		SBCA-412

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
66010000Hex	受信トランザクションキューオーバー	受信トランザクションが、一時保管できる容量を上回りました	• 受信トランザクションを処理する能力が小さい				○		SBCA-412
66020000Hex	SECS メッセージ長オーバー	ホストへ送信する SECS メッセージ長が、上限を超えています	• ホストへ送信する SECS メッセージ長が、上限を超えている				○		SBCA-412
95420000Hex	GEM サービス起動	GEM サービスが正常に起動しました	• GEM サービスが正常に起動した					○	SBCA-412
95430000Hex	シャットダウン処理完了	シャットダウン処理が正常に完了しました	• シャットダウン処理が正常に完了した					○	SBCA-412
95440000Hex	GEM 設定データ変更	GEM 設定データを変更しました	• SECS/GEM コンフィグレータから GEM 設定データを変更した					○	SBCA-412
95450000Hex	SD メモリカード正常	書き込みができる SD メモリカードが装着されています	• 書き込みできる SD メモリカードが装着されている					○	SBCA-412

GEM 命令関連

イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#0400 の場合は、54010400Hex のイベントコードの説明を参照してください。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-468	NJ/NX シリーズ コマンドリファレンスマニュアル 基本編
SBCA-412	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54010400Hex	入力値範囲外	命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えています または、整数 0 で除算／剰余演算を行いました	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲を超えている。または、整数 0 で除算／剰余演算を行った				○		SBCA-468
54010419Hex	データ型不正	命令で使用できない型のデータが入力／入出力に指定されています	• 命令で使用できない型のデータを入力／入出力に指定した				○		SBCA-468
5401041DHex	命令同時実行リソースオーバ	同時に実行できる該当命令群のリソースを超えて命令が実行されました	• 同時に実行できる個数を超えて該当命令が実行された。				○		SBCA-468
54013810Hex	GEM サービスの動作状態が初期処理状態	GEM サービスの動作状態が「初期処理状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「初期処理状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013811Hex	GEM サービスの動作状態が装置起動状態	GEM サービスの動作状態が「装置起動状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「装置起動状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013812Hex	GEM サービスの動作状態が装置初期処理状態	GEM サービスの動作状態が「装置初期処理状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「装置初期処理状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013813Hex	GEM サービスの動作状態が装置稼働状態	GEM サービスの動作状態が「装置稼働状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「装置稼働状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013814Hex	GEM サービスの動作状態が停止状態	GEM サービスの動作状態が「停止状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「停止状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013815Hex	GEM サービスの動作状態が異常停止状態	GEM サービスの動作状態が「異常停止状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「異常停止状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013816Hex	GEM サービスの動作状態がシャットダウン処理中状態	GEM サービスの動作状態が「シャットダウン処理中状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「シャットダウン処理中状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54013817Hex	GEM サービスの動作状態がシャットダウン処理完了状態	GEM サービスの動作状態が「シャットダウン処理完了状態」で命令を実行しました	• GEM サービスの動作状態が「シャットダウン処理完了状態」で当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013818Hex	未受信状態	ホストから SECS メッセージを受信せずに命令を実行しました	• ホストから該当する SECS メッセージを受信せずに当該命令を実行した				○		SBCA-412
54013819Hex	命令多重起動	本命令実行以前に実行された別インスタンスの同命令によるトランザクション処理が完了していません	• 別インスタンスの同命令によるトランザクション処理が未完了の時に、本命令を実行した				○		SBCA-412
5401381AHex	状態遷移中	本命令実行以前に実行された別インスタンスの同命令により状態遷移が完了していません	• 別インスタンスの GEM_ChangeCommState 命令により通信状態が「EnabledNotComm」で、本命令を実行した • 別インスタンスの GEM_ChangeControlState 命令によりコントロール状態が「AttemptOnline」で、本命令を実行した				○		SBCA-412
5401381BHex	トランザクションリソース不足	本命令実行時に、バッファリング可能なトランザクション数が上限に達していました	• バッファリング可能なトランザクション数が上限に達した状態で、本命令を実行した				○		SBCA-412
54013820Hex	文字数オーバー	設定文字数より多い文字列を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで設定した文字数より多い文字列を指定した				○		SBCA-412
54013821Hex	サイズ不正	不正な配列また不正な配列数を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで設定した最大テーブル数より大きい値を指定した				○		SBCA-412
54013822Hex	無効設定	無効設定した命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで無効設定した GEM 性能に該当する命令を実行した				○		SBCA-412
54013824Hex	CEID 未定義	未定義な CEID を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで未定義な「CEID」を指定した				○		SBCA-412
54013825Hex	ALID 未定義	未定義な ALID を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで未定義な「ALID」を指定した				○		SBCA-412
54013826Hex	CCODE 未定義	未定義な CCODE を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで未定義な「CCODE」を指定した				○		SBCA-412
54013827Hex	メッセージ番号未定義	未定義なメッセージ番号を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで未定義な「メッセージ番号」を指定した				○		SBCA-412
54013828Hex	HSMS 通信設定範囲外	範囲外となる HSMS 通信設定を指定して命令を実行しました	• 範囲外の HSMS 通信設定を指定した				○		SBCA-412
54013829Hex	TID 範囲外	範囲外の TID を指定して命令を実行しました	• 範囲外の「TID」を指定した				○		SBCA-412

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401382CHex	ECID 未定義	未定義な ECID を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで未定義な「ECID」を指定した				○		SBCA-412
5401382DHex	型不一致	異なるデータ型の値を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで登録した装置定数のデータ型と異なるデータ型を指定した				○		SBCA-412
5401382EHex	装置定数値範囲外	指定した装置定数値が範囲外となる値を指定して命令を実行しました	• SECS/GEM コンフィグレータで登録した装置定数の上下限値に対し、範囲外となる値を指定した				○		SBCA-412
5401382FHex	CPNAME 不正	受信した「CPNAME」と異なる「CPNAME」を設定して命令を実行しました	• 受信した「CPNAME」と異なる「CPNAME」を指定した				○		SBCA-412
54013830Hex	HCACK 範囲外	範囲外の HCACK の値を指定して命令を実行しました	• 「HCACK」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013831Hex	CPACK 範囲外	範囲外の CPACK を指定して命令を実行しました	• 「CPACK」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013832Hex	CEPACK 範囲外	範囲外の CEPACK を指定して命令を実行しました	• 「CEPACK」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013833Hex	ACKC7 範囲外	範囲外の ACKC7 を指定して命令を実行しました	• 「ACKC7」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013834Hex	ACKC7A 範囲外	範囲外の ACKC7A を指定して命令を実行しました	• 「ACKC7A」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013835Hex	ACKC10 範囲外	範囲外の ACKC10 の値を指定して命令を実行しました	• 「ACKC10」で範囲外の値を指定した、				○		SBCA-412
54013836Hex	EAC 範囲外	範囲外の EAC の値を指定して命令を実行しました	• 「EAC」で範囲外の値を指定した				○		SBCA-412
54013838Hex	SECS メッセージ不正	不正な SECS メッセージが設定してあるメッセージ番号を指定して命令を実行しました	• 命令仕様と異なる SECS メッセージが設定してあるメッセージ番号を指定した				○		SBCA-412

A-1-3　ロボット制御機能の異常

ロボット制御機能およびロボット制御命令で発生する異常（イベント）の一覧です。
ロボット制御機能およびロボット制御命令を使用できる CPU ユニットは、形 NJ501-R□□□です。
CPU ユニットのユニットバージョンは Ver.1.41 以降です。

ロボット制御機能関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-436	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
17C00000Hex	ロボット制御パラメータ設定異常	不揮発性メモリに保存していたロボット制御パラメータ設定を消失しました。	• ロボット制御パラメータ設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または SysmacStudio との通信が切断された。 • CPU ユニット内蔵不揮発性メモリの故障		○				SBCE-436
17C10000Hex	ロボット制御機能有効中の SD メモリカード取り外し	ロボット制御機能が有効なときに、SD メモリカードを取り外しました。	• ロボット制御機能が有効なときに、SD メモリカードを取り外した。 • ロボット制御機能が有効なときに、SD メモリカード上のロボット制御機能に関連するファイルを編集または削除した。		○				SBCE-436
17C20000Hex	SD メモリカード未挿入時ロボット制御機能有効	SD メモリカードを挿入せずに、ロボット制御機能を有効にしました。	• SD メモリカードを挿入せずに、ロボット基本設定に 1 つ以上ロボットデバイスを割り付け、ロボット制御機能を有効に設定している。 • SD メモリカードを挿入しているが、書込み禁止、容量不足、破損などにより SD メモリカードに書き込みができない。		○				SBCE-436
37C00000Hex	必須プロセスデータオブジェクト未設定	ロボットに対して必須のオブジェクトを PDO に割り付けていません。	• ロボットに必要な PDO マッピングがされていない。 • 不揮発性メモリの故障		○				SBCE-436
37C20000Hex	ロボット設定の不整合検出	不揮発性メモリに保存されるロボット設定と SD メモリカードに保存されるロボット設定との間に不整合を検出しました。	• SD メモリカードを交換した。 • SD メモリカード内のロボット制御機能に関連するファイルを Sysmac Studio を使わずに書き換えた。		○				SBCE-436
47C00000Hex	ロボット制御初期化異常	ロボット制御機能モジュールの初期化に失敗しました。	CPU ユニットの故障		○				SBCE-436
47C10000Hex	ロボット制御機能モジュールシステム異常	ロボット制御機能モジュールで致命的な異常を検出しました。	ロボット制御機能モジュールで致命的な異常を検出した。		○				SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
75000000Hex	ロボット制御周期オーバー	プライマリ定周期タスクのタスク周期内にロボット制御処理が完了しない状態が2回連続して発生しました。	• プライマリ定周期タスクで実行するユーザプログラムの量に対し、プライマリ定周期タスクのタスク周期が短い。 • プライマリ定周期タスクのタスク周期に対して、実行するロボット制御命令が多い。		○				SBCE-436
47C20000Hex	ロボット制御機能モジュールで予期しない異常が発生しました。	ロボット制御機能モジュールで予期しない異常を検出した。				○			SBCE-436
55100000Hex	ロボット制御命令再起動不可	再起動できないロボット制御命令を再起動しました。	入力変数に「Execute」（起動）を持つロボット制御命令の実行中に、入力変数「Execute」（起動）が再び立ち上がった。			○			SBCE-436
55110000Hex	V+タスク番号設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「TaskNo」（タスク番号）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55120000Hex	ロボット指定不正	ロボット制御命令の入出力変数「Robot」（ロボット）で指定したロボットが存在していません。	命令の入出力変数「Robot」（ロボット）に指定したロボット変数_RC_RBT[ ]配列の添え字に用いている変数の値が、存在しないロボットを指している。			○			SBCE-436
55130000Hex	パラメータリスト指定不正	ロボット制御命令の入力変数「PrgParam」（パラメータリスト）の値が不正です。	命令の入力変数「PrgParam」（パラメータリスト）で指定したパラメータリストの長さが有効範囲外			○			SBCE-436
55140000Hex	開始ステップ設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「StartStep」（開始ステップ）で指定したパラメータが範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55150000Hex	目標位置設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Position」（目標位置）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55160000Hex	左右設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「LeftyRighty」（左右設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55170000Hex	上下設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「AboveBelow」（上下設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
55180000Hex	反転設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「Flip」（反転設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55190000Hex	速度プロファイル選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityProfile」（速度プロファイル）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
551A0000Hex	速度モード選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityMode」（速度選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
551B0000Hex	速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityRatio」（速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
551C0000Hex	回転速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「RotationVelocityRatio」（回転速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
551D0000Hex	速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「Velocity」（速度）の値が範囲外です。 ロボット制御命令の入力変数「Velocity」（速度）、または入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「Velocity」（速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
551E0000Hex	加速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「AccelerationRatio」（加速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
551F0000Hex	減速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「DecelerationRatio」（減速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55200000Hex	位置決め精度選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「NullingTolerance」（位置決め精度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55210000Hex	回転制限選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「SingleTurn」（回転制限）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55220000Hex	バッファモード選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BufferMode」（バッファモード選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55230000Hex	目標位置指定方法設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「PositionMode」（目標位置指定方法）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55240000Hex	マスタ装置 ID 設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55250000Hex	ベルト ID 設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltID」（ベルト番号）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55260000Hex	倍率設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）のメンバ「ScaleFactor」（倍率）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55270000Hex	座標系設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）または「RobotData」（ロボットデータ）のメンバ「CoordTransform」（座標系）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
55280000Hex	上流側リミット設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）のメンバ「Upstream」（上流側リミット）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55290000Hex	下流側リミット設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）のメンバ「Downstream」（下流側リミット）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552A0000Hex	センサ座標系設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）のメンバ「SensorCoordTransform」（センサ座標系）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552B0000Hex	位置種別選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）または「RobotData」（ロボットデータ）のメンバ「ReferenceType」（位置種別選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552C0000Hex	軸割り当て範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxesGroupData」（軸グループデータ）のメンバ「Assignment」（軸割り当て）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552D0000Hex	オフセット位置設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「OffsetPosition」（オフセット位置）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552E0000Hex	離脱高さ設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「DepartHeight」（離脱高さ）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
552F0000Hex	目標補正値設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Offset」（目標補正量）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
55300000Hex	加速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Acceleration」（加速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55310000Hex	減速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Deceleration」（減速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55320000Hex	ジャーク設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Jerk」（ジャーク）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55330000Hex	ロボット制御権獲得未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御権獲得が完了していないロボットに対して、ロボット制御権の獲得完了が必要な命令を実行しました。	ロボット制御権の獲得が完了していないロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行			○			SBCE-436
55340000Hex	同期比率設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）、「RobotData」（ロボットデータ）で指定された「SyncRatio」（同期比率）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55350000Hex	ツール座標変換設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ToolCoordTransform」（ツール変換座標）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-436
55360000Hex	ロボット制御命令多重起動不可	同時に実行できないロボット制御命令を複数実行しました。	同時に実行できないロボット制御命令を複数実行			○			SBCE-436
55370000Hex	同期中のロボット制御命令実行不可	同期中のロボットに対して、同期中には実行できない命令を実行しました。	同期中のロボットに対して、RC_MoveDirect（ロボット関節補間）命令を実行			○			SBCE-436
55380000Hex	マスタ装置指定不正	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が未定義か、装置の種類が正しくありません。	• 命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が定義されていない。 • RC_ReadBeltLatch（ベルトラッチ値取得）命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置の種類が、ベルトではない。			○			SBCE-436
55390000Hex	軸割り当て不正	軸グループ座標系の同じ要素に、複数の軸を重複して割り当てました。	RC_DefineGroup（マスタ軸グループ定義）命令の入力変数「AxesGroupData」（軸グループデータ）の「Assignment」（軸割り当て）で、指定値が重複			○			SBCE-436
553A0000Hex	同期停止中	同期中でないロボットに対して同期中にしか実行できない命令を実行しました。	同期中でないロボットに対して RC_SyncOut（ロボット同期解除）命令または RC_MasterOffset（マスタ位置補正）命令を実行			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
553C0000Hex	ロボット制御命令多重起動数オーバー	ロボット制御命令の多重起動数が上限を超えました。	実行中のロボット制御命令とバッファ中のロボット制御命令の合計数が「8」を超えた。			○			SBCE-436
553D0000Hex	キャリブレーション未完了でのロボット制御命令実行	キャリブレーションが完了していないロボットに対して、キャリブレーション完了が必要な命令を実行しました。	• キャリブレーションが完了していないロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行 • キャリブレーションが完了していないロボットに対して、マスタ装置とロボットを同期制御する命令を実行			○			SBCE-436
553E0000Hex	ハイパワー OFF でのロボット制御命令実行	ハイパワーが OFF の状態にあるロボットに対して、ハイパワー ON が必要な命令を実行しました。	ハイパワーが OFF のロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行			○			SBCE-436
553F0000Hex	ロボット制御権獲得済み	ロボット制御権を獲得済みのロボットに対して、再度ロボット制御権を獲得、またはキャリブレーションを実行しようとしました。	対象のロボットがすでにシーケンス制御プログラムで制御権を獲得済み			○			SBCE-436
55400000Hex	マニュアルモードもしくは COMP モード以外のモードでのロボット制御命令実行	マニュアルモード、もしくは COMP モード以外のモードのロボットを対象とした、ロボット制御命令を実行しました。	• 制御対象のロボットがマニュアルモードである。 • 制御対象のオートモードのロボットが、COMP モードでない。			○			SBCE-436
55410000Hex	マスタ軸指定不正	マスタ装置として指定した軸が存在しません。	命令の入出力変数「Axis」（軸）で指定した軸が存在しない変数			○			SBCE-436
55420000Hex	マスタ軸グループ指定不正	マスタ装置として指定した軸グループが存在しません。	命令の入出力変数「AxesGroup」（軸グループ）で指定した軸グループが存在しない変数			○			SBCE-436
55430000Hex	マスタロボット指定不正	マスタ装置として指定したロボットが存在しません。	命令の入出力変数「MasterRobot」（マスタロボット）で指定したロボットが存在しない変数			○			SBCE-436
55440000Hex	ロボット制御命令実行不可	ロボット制御機能モジュールが運転中ではありません。	ロボット制御機能モジュールが運転中でないときに、ロボット制御命令を実行			○			SBCE-436
55450000Hex	マスタ装置同期制御中	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置は、同期制御で使用中です。	同期制御で使用中のマスタ装置に対して、マスタ装置の定義を上書きしようとした。			○			SBCE-436
55460000Hex	マスタ位置補正有効中	同一のロボットに対して、複数のマスタ位置補正命令を有効にしました。	すでにマスタ位置補正中のロボットに対して、別のマスタ位置補正命令を有効にしようとした。			○			SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
55470000Hex	マスタ装置同時定義	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が、ほかの命令でマスタ装置に定義されています。	命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置に対して、同時に複数の定義を実行しようとした。			○			SBCE-436
55480000Hex	プログラム名指定不正	ロボット制御命令の入力変数「PrgName」（プログラム名）で指定したプログラム名が不正です。	命令の入力変数「PrgName」（プログラム名）で指定したプログラム名の長さが有効範囲外			○			SBCE-436
55490000Hex	ベルトラッチ値同時取得不可	同一のベルトに対して、複数のベルトラッチ取得命令を同時に実行しました。	すでにベルトラッチ値取得命令を実行中のベルトに対して、別のベルトラッチ値取得命令を実行しようとした。			○			SBCE-436
554A0000Hex	未サポート機能の実行	サポートしていない機能を実行しました。	対象のロボットがサポートしていない機能を実行した。			○			SBCE-436
554B0000Hex	IP アドレス指定不正	ロボット制御命令の入力変数「IPAddr」の値が不正です。	命令の入力変数「IPAddr」で指定したパラメータリストの長さが有効範囲外			○			SBCE-436
554C0000Hex	ビジョンエラー発生	シーケンス制御プログラムから IPC Application Controller のビジョン機能実行中に、エラーが発生しました。	IPC Application Controller のビジョン機能実行中にエラーが発生			○			SBCE-436
75010000Hex	ロボット制御共通の異常発生	ロボット制御共通の異常が発生しています。	部分停止フォールトレベルのロボット制御共通異常が発生			○			SBCE-436
75020000Hex	EtherCAT スレーブ離脱異常	ロボットに割り付けている EtherCAT スレーブに対して、次のいずれかが発生しました。 • 離脱または交換された。 • 無効化された。	ロボットに割り付けている EtherCAT スレーブに対して、次のいずれかが発生 • 離脱、または交換 • 無効化			○			SBCE-436
75030000Hex	ロボットエラー発生	ロボット制御命令を実行中のロボットで、エラーが発生しました。	ロボット制御命令を実行中のロボットでエラーが発生			○			SBCE-436
75040000Hex	ロボット制御周期オーバー	プライマリ定周期タスクのタスク周期内にロボット制御処理が完了しない状態が 2 回連続して発生しました。	• プライマリ定周期タスクで実行するユーザプログラムの量に対し、プライマリ定周期タスクのタスク周期が短い。 • プライマリ定周期タスクのタスク周期に対して、実行するロボット制御命令が多い。			○			SBCE-436
85800000Hex	EtherCAT スレーブ通信異常	ロボットに割り付けている EtherCAT スレーブとの通信に異常が発生しました。	ロボットに割り付けている EtherCAT スレーブとの通信に異常が発生			○			SBCE-436
96040000Hex	V+プログラムエラー	V+プログラムで、エラーが発生しました。	実行中の V+プログラムでエラーが発生					○	SBCE-436
96050000Hex	V+プログラム警告	V+プログラムが、警告メッセージを発行しました。	実行中の V+プログラムが警告メッセージを発行					○	SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
96060000Hex	V+プログラム情報	V+プログラムが、情報メッセージを発行しました。	実行中の V+プログラムが情報メッセージを発行					○	SBCE-436
96090000Hex	ロボットマニュアルモード開始	ロボットをマニュアルモードにしました。	ロボットをマニュアルモードにした。					○	SBCE-436
960A0000Hex	ロボットオートモード開始	ロボットをオートモードにしました。	ロボットをオートモードにした。					○	SBCE-436

ロボット制御命令関連

イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#5510 の場合は、54015510Hex のイベントコードの説明を参照してください。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-436	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015510Hex	ロボット制御命令再起動不可	再起動できないロボット制御命令を再起動しました。	入力変数に「Execute」（起動）を持つロボット制御命令の実行中に、入力変数「Execute」（起動）が再び立ち上がった。				○		SBCE-436
54015511Hex	V+タスク番号設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「TaskNo」（タスク番号）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015512Hex	ロボット指定不正	ロボット制御命令の入出力変数「Robot」（ロボット）で指定したロボットが存在していません。	命令の入出力変数「Robot」（ロボット）に指定したロボット変数_RC_RBT[ ]配列の添え字に用いている変数の値が、存在しないロボットを指している。				○		SBCE-436
54015513Hex	パラメータリスト指定不正	ロボット制御命令の入力変数「PrgParam」（パラメータリスト）の値が不正です。	命令の入力変数「PrgParam」（パラメータリスト）で指定したパラメータリストの長さが有効範囲外				○		SBCE-436
54015514Hex	開始ステップ設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「StartStep」（開始ステップ）で指定した値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015515Hex	目標位置設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Position」（目標位置）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015516Hex	左右設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「LeftyRighty」（左右設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015517Hex	上下設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「AboveBelow」（上下設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015518Hex	反転設定選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ArmConfig」（アームコンフィグレーション）のメンバ「Flip」（反転設定）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015519Hex	速度プロファイル選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityProfile」（速度プロファイル）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401551AHex	速度モード選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityMode」（速度選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401551BHex	速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「VelocityRatio」（速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401551CHex	回転速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「RotationVelocityRatio」（回転速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401551DHex	速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「Velocity」（速度）の値が範囲外です。 ロボット制御命令の入力変数「Velocity」（速度）、または入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「Velocity」（速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401551EHex	加速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「AccelerationRatio」（加速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401551FHex	減速度比設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「DecelerationRatio」（減速度比）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015520Hex	位置決め精度選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「NullingTolerance」（位置決め精度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015521Hex	回転制限選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MotionParams」（動作パラメータ）のメンバ「SingleTurn」（回転制限）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015522Hex	バッファモード選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BufferMode」（バッファモード選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015523Hex	目標位置指定方法設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「PositionMode」（目標位置指定方法）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015524Hex	マスタ装置ID設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置ID）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015525Hex	ベルトID設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltID」（ベルト番号）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015526Hex	倍率設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）のメンバ「ScaleFactor」（倍率）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015527Hex	座標系設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）または「RobotData」（ロボットデータ）のメンバ「CoordTransform」（座標系）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015528Hex	上流側リミット設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）のメンバ「Upstream」（上流側リミット）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015529Hex	下流側リミット設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）のメンバ「Downstream」（下流側リミット）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552AHex	センサ座標系設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「BeltData」（ベルトデータ）、「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）のメンバ「SensorCoordTransform」（センサ座標系）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552BHex	位置種別選択範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）または「RobotData」（ロボットデータ）のメンバ「ReferenceType」（位置種別選択）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552CHex	軸割り当て範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxesGroupData」（軸グループデータ）のメンバ「Assignment」（軸割り当て）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552DHex	オフセット位置設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「OffsetPosition」（オフセット位置）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552EHex	離脱高さ設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「DepartHeight」（離脱高さ）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
5401552FHex	目標補正値設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Offset」（目標補正量）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015530Hex	加速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Acceleration」（加速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015531Hex	減速度設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Deceleration」（減速度）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015532Hex	ジャーク設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「Jerk」（ジャーク）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015533Hex	ロボット制御権獲得未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御権獲得が完了していないロボットに対して、ロボット制御権の獲得完了が必要な命令を実行しました。	ロボット制御権の獲得が完了していないロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行				○		SBCE-436
54015534Hex	同期比率設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「AxisData」（軸データ）、「AxesGroupData」（軸グループデータ）、「RobotData」（ロボットデータ）で指定された「SyncRatio」（同期比率）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015535Hex	ツール座標変換設定範囲外	ロボット制御命令の入力変数「ToolCoordTransform」（ツール変換座標）の値が範囲外です。	命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-436
54015536Hex	ロボット制御命令多重起動不可	同時に実行できないロボット制御命令を複数実行しました。	同時に実行できないロボット制御命令を複数実行				○		SBCE-436
54015537Hex	同期中のロボット制御命令実行不可	同期中のロボットに対して、同期中には実行できない命令を実行しました。	同期中のロボットに対して、RC_MoveDirect（ロボット関節補間）命令を実行				○		SBCE-436
54015538Hex	マスタ装置指定不正	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が未定義か、装置の種類が正しくありません。	• 命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が定義されていない。 • RC_ReadBeltLatch（ベルトラッチ値取得）命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置の種類が、ベルトではない。				○		SBCE-436
54015539Hex	軸割り当て不正	軸グループ座標系の同じ要素に、複数の軸を重複して割り当てました。	RC_DefineGroup（マスタ軸グループ定義）命令の入力変数「AxesGroupData」（軸グループデータ）の「Assignment」（軸割り当て）で、指定値が重複				○		SBCE-436
5401553AHex	同期停止中	同期中でないロボットに対して同期中にしか実行できない命令を実行しました。	同期中でないロボットに対してRC_SyncOut（ロボット同期解除）命令またはRC_MasterOffset（マスタ位置補正）命令を実行				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401553CHex	ロボット制御命令多重起動数オーバー	ロボット制御命令の多重起動数が上限を超えました。	実行中のロボット制御命令とバッファ中のロボット制御命令の合計数が「8」を超えた。				○		SBCE-436
5401553DHex	キャリブレーション未完了でのロボット制御命令実行	キャリブレーションが完了していないロボットに対して、キャリブレーション完了が必要な命令を実行しました。	• キャリブレーションが完了していないロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行 • キャリブレーションが完了していないロボットに対して、マスタ装置とロボットを同期制御する命令を実行				○		SBCE-436
5401553EHex	ハイパワー OFF でのロボット制御命令実行	ハイパワーが OFF の状態にあるロボットに対して、ハイパワー ON が必要な命令を実行しました。	ハイパワーが OFF のロボットに対して、ロボットを制御する命令を実行				○		SBCE-436
5401553FHex	ロボット制御権獲得済み	ロボット制御権を獲得済みのロボットに対して、再度ロボット制御権を獲得、またはキャリブレーションを実行しようとしました。	対象のロボットがすでにシーケンス制御プログラムで制御権を獲得済み				○		SBCE-436
54015540Hex	マニュアルモードもしくは COMP モード以外のモードでのロボット制御命令実行	マニュアルモード、もしくは COMP モード以外のモードのロボットを対象とした、ロボット制御命令を実行しました。	• 制御対象のロボットがマニュアルモードである。 • 制御対象のオートモードのロボットが、COMP モードでない。				○		SBCE-436
54015541Hex	マスタ軸指定不正	マスタ装置として指定した軸が存在しません。	命令の入出力変数「Axis」（軸）で指定した軸が存在しない変数				○		SBCE-436
54015542Hex	マスタ軸グループ指定不正	マスタ装置として指定した軸グループが存在しません。	命令の入出力変数「AxesGroup」（軸グループ）で指定した軸グループが存在しない変数				○		SBCE-436
54015543Hex	マスタロボット指定不正	マスタ装置として指定したロボットが存在しません。	命令の入出力変数「MasterRobot」（マスタロボット）で指定したロボットが存在しない変数				○		SBCE-436
54015544Hex	ロボット制御命令実行不可	ロボット制御機能モジュールが運転中ではありません。	ロボット制御機能モジュールが運転中でないときに、ロボット制御命令を実行				○		SBCE-436
54015545Hex	マスタ装置同期制御中	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置は、同期制御で使用中です。	同期制御で使用中のマスタ装置に対して、マスタ装置の定義を上書きしようとした。				○		SBCE-436
54015546Hex	マスタ位置補正有効中	同一のロボットに対して、複数のマスタ位置補正命令を有効にしました。	すでにマスタ位置補正中のロボットに対して、別のマスタ位置補正命令を有効にしようとした。				○		SBCE-436

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015547Hex	マスタ装置同時定義	ロボット制御命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置が、ほかの命令でマスタ装置に定義されています。	命令の入力変数「MasterID」（マスタ装置 ID）で指定したマスタ装置に対して、同時に複数の定義を実行しようとした。				○		SBCE-436
54015548Hex	プログラム名指定不正	ロボット制御命令の入力変数「PrgName」（プログラム名）で指定したプログラム名が不正です。	命令の入力変数「PrgName」（プログラム名）で指定したプログラム名の長さが有効範囲外				○		SBCE-436
54015549Hex	ベルトラッチ値同時取得不可	同一のベルトに対して、複数のベルトラッチ値取得命令を同時に実行しました。	すでにベルトラッチ値取得命令を実行中のベルトに対して、別のベルトラッチ値取得命令を実行しようとした。				○		SBCE-436
5401554AHex	未サポート機能の実行	サポートしていない機能を実行しました。	対象のロボットがサポートしていない機能を実行した。				○		SBCE-436
5401554BHex	IP アドレス指定不正	ロボット制御命令の入力変数「IPAddr」の値が不正です。	命令の入力変数「IPAddr」で指定したパラメータリストの長さが有効範囲外				○		SBCE-436

A-1-4　NJ Robotics 機能の異常

NJ Robotics 機能およびロボット命令で発生する異常（イベント）の一覧です。
NJ Robotics 機能およびロボット命令を使用できる CPU ユニットは、形 NJ501-4□□□、および形 NJ501-R□□□です。CPU ユニットのユニットバージョンは Ver.1.09 以降です。

NJ Robotics 機能関連

イベントコードの上位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#5422 の場合は、54220000Hex のイベントコードの説明を参照してください。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-421	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54220000Hex	目標速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
54230000Hex	加速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
54240000Hex	減速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
542B0000Hex	バッファモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
542C0000Hex	座標系選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが設定範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
542E0000Hex	方向選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCA-421
54320000Hex	トランジションモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ「TransitionMode」を「_mcTMNone」以外に指定			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
543B0000Hex	モーション命令再起動不可	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました。	• 再起動できないモーション制御命令の再起動			○			SBCA-421
543C0000Hex	モーション命令多重起動不可	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました。	• 同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行			○			SBCA-421
543E0000Hex	多軸協調動作中の命令起動不可	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました。 • 軸グループ有効状態では使用できないロボット命令を実行しました。	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行 • 軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform 命令を実行			○			SBCA-421
543F0000Hex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました。	• 軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動 • 軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_RobotJog			○			SBCA-421
54410000Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました。	• サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行 • MC_Home 命令、または MC_HomeWithParameter 命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行			○			SBCA-421
54420000Hex	構成軸強制停止中エラー	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました。	• 構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した。			○			SBCA-421
54430000Hex	モーション命令多重起動数オーバー	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました。	• 軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた。 • 軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた。			○			SBCA-421
54570000Hex	モーション命令再起動不可（軸グループ指定）	モーション制御命令の再起動時に変更できない入力変数「AxesGroup」のパラメータを変更しました。	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。			○			SBCA-421
54610000Hex	軸グループ指定不正	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません。	• 命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数 • 命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない。			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54660000Hex	原点未確定状態での命令起動異常	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令、ロボット命令が実行されました。	• 原点未確定状態で高速原点復帰を実行 • 原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令を実行 • 原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令を実行 MC_SetKinTransform MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_GroupMon MC_RobotJog			○			SBCA-421
54780000Hex	目標位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外			○			SBCA-421
57050000Hex	キネマティクス変換未対応命令	キネマティクス変換が設定された軸グループに、使用できない命令が起動されました。	• キネマティクス変換が設定された軸グループに対して次の命令を起動 MC_MoveLinear MC_MoveLinearAbsolute MC_MoveLinearRelative MC_MoveCircular2D MC_ChangeAxesInGroup			○			SBCA-421
57060000Hex	軸グループとキネマティクスの構成不一致	指定された軸グループと指定されたキネマティクスの構成要素が一致していません。	• 軸グループの軸数と指定されたロボット（キネマティクスタイプ）の軸数が一致していない。 • 軸グループの構成軸のカウントモードと指定されたロボット（キネマティクスタイプ）のカウントモードが一致していない。 • 軸グループの構成軸の表示単位と指定されたロボット（キネマティクスタイプ）の表示単位が一致していない。			○			SBCA-421
57070000Hex	キネマティクスタイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「KinTransform」で指定された「KinType」が範囲外です。	• 「KinType」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57080000Hex	キネマティクスパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「KinTransform」で指定された「KinParam」または「ExpansionParam」が範囲外です。	• 「KinParam」が設定の範囲外 • 「ExpansionParam」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57090000Hex	ワークスペースタイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Workspace」で指定された「WorkspaceType」が範囲外です。	• 「WorkspaceType」が設定の範囲外			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
570A0000Hex	ワークスペースパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Workspace」で指定された「WorkspaceParam」が範囲外です。	• 「WorkspaceParam」が設定の範囲外			○			SBCA-421
570B0000Hex	座標系番号不正	モーション制御命令の入力変数「CSID」で指定された座標系の ID が設定の範囲外、または定義されていません。	• 座標系の ID が設定の範囲外 • 指定された座標系の ID が MC_DefineCoordSystem 命令で定義されていない。			○			SBCA-421
570C0000Hex	座標系変換パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordTransform」で指定された座標系変換パラメータ「Pose」が範囲外です。	• 座標系変換パラメータ「Pose」が設定の範囲外			○			SBCA-421
570D0000Hex	トランジションパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionParameter」で指定されたトランジションパラメータが設定の範囲外です。	• トランジションパラメータが設定の範囲外			○			SBCA-421
570F0000Hex	キネマティクス計算不可	インバースキネマティクス、またはダイレクトキネマティクスの計算ができません。	• キネマティクスパラメータが設定の範囲外 • ロボットのいずれかの軸（A0～A2）が、ダイレクトキネマティクスの計算ができない位置に止まっている。 • インバースキネマティクスの計算ができない機械座標系の目標位置が指定された。			○			SBCA-421
57100000Hex	キネマティクス変換未設定	指定された軸グループにキネマティクス変換が設定されていません。	• 軸グループにキネマティクス変換が設定されていない。			○			SBCA-421
57110000Hex	目標位置可動範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定された目標位置がロボットの可動範囲外です。	• 目標位置がロボットの可動範囲外			○			SBCA-421
57120000Hex	速度異常検出値の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxVelocity」が範囲外です。	• 「MaxVelocity」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57130000Hex	加速度異常検出値の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxAcceleration」が範囲外です。	• 「MaxAcceleration」が設定の範囲外			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
57140000Hex	軌跡目標時間の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajTime」が範囲外です。	• 「TrajTime」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57150000Hex	軌跡タイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MoveTrajType」が範囲外です。	• 「MoveTrajType」または「SyncTrajType」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57160000Hex	軌跡トランジション設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajTransition」が範囲外です。	• 「TrajTransition」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57170000Hex	軌跡移動距離の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajDistance」が範囲外です。	• 「TrajDistance」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57190000Hex	初期製品位置ワークスペース範囲外	モーション制御命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」に指定された製品の位置がワークスペースの範囲外です。	• 「InitWorkpiecePosition」がワークスペースの範囲外			○			SBCA-421
571A0000Hex	コンベア軸指定不正	モーション制御命令の入出力変数「ConveyorAxis」に指定された軸が正しくありません。	• 指定された軸が「AxesGroup」に指定した軸グループに登録されている。 • 指定された軸が［未使用軸］である。 • コンベア軸の単位が不正			○			SBCA-421
571B0000Hex	目標位置ワークスペース範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定された目標位置がワークスペースの範囲外です。	• 「Position」がワークスペースの範囲外			○			SBCA-421
571C0000Hex	同期解除実行不可	MC_SyncOut 命令が実行できません。	• MC_SyncLinearConveyor 命令を未実行 • MC_SyncLinearConveyor 命令を実行中だが、同期中ではない。			○			SBCA-421
571E0000Hex	キネマティクス数オーバー	キネマティクスの設定数が限界を超えました。	• MC_SetKinTransform 命令によるキネマティクスの設定数を超えた。			○			SBCA-421
571F0000Hex	キネマティクス初期化異常	キネマティクスの初期化に失敗しました。	• ロボットのいずれかの軸（A0～A3）が、ダイレクトキネマティクスの計算ができない位置に止まっている。			○			SBCA-421
57320000Hex	ツール番号不正	モーション制御命令の入力変数「ToolID」に指定されたツール ID が範囲外、または定義されていません。	• 「ToolID」が設定の範囲外 • 指定されたツール ID が MC_DefineToolTransform 命令で定義されていない。			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
57330000Hex	ツール系パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「ToolTransform」で指定された変換パラメータが範囲外です。	• 変換パラメータが設定の範囲外			○			SBCA-421
57340000Hex	未対応トランジションデータ	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」で指定したトランジションモードは、動作中の命令またはバッファされた命令に対応していません。	• 入力変数「TransitionParameter」に設定したパラメータでは、入力変数「TransitionMode」で設定したトランジションモードの実行ができない。 • バッファされた命令に設定した軌跡データでは、入力変数「TransitionMode」で設定したトランジションモードの実行ができない。			○			SBCA-421
57360000Hex	オフセット機能実行不可	MC_SyncLinearConveyor 命令は、Phase6 でしかオフセット機能が使用できません。	• MC_SyncLinearConveyor 命令が Phase6 に到達する前に、入力変数「EnableOffset」を TRUE にした。			○			SBCA-421
57370000Hex	モーション命令多重起動不可（軌跡タイプ）	命令多重起動時に変更できない入力変数を変更しました。	• Buffered または Blending を指定して多重起動した命令の「MoveTrajType」または「SyncTrajType」が、動作中の命令の「MoveTrajType」または「SyncTrajType」と異なる。			○			SBCA-421
57390000Hex	未対応トランジションモード	命令の組み合わせに対応していない入力変数「TransitionMode」を指定して命令を多重起動しました。	• モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」で指定したトランジションモードは、動作中の命令とバッファされた命令の組み合わせに対応していません。			○			SBCA-421
57440000Hex	ジョグモード設定範囲外	MC_RobotJog 命令の入力変数「JogMode」が範囲外です。	• MC_RobotJog 命令の入力変数「JogMode」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57450000Hex	初期製品位置範囲外	MC_SyncLinearConveyor 命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」が範囲外です。	• MC_SyncLinearConveyor 命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57460000Hex	最高補間速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57470000Hex	最大補間加速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」が設定の範囲外			○			SBCA-421
57480000Hex	最大補間減速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」が設定の範囲外			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64430000Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました。	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行			○			SBCA-421
64440000Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました。	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行			○			SBCA-421
64590000Hex	多軸協調動作中の原点未確定	軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の原点が未確定になりました。	• 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸の指令位置またはフィードバック位置のオーバーフローまたはアンダーフローが発生し、原点が未確定になった。 • 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸でスレーブ通信異常が発生し、原点が未確定になった。 • 軸グループの動作中または減速停止中に、論理軸のスレーブが離脱またはスレーブ無効化し、原点が未確定になった。			○			SBCA-421
645A0000Hex	最高補間速度異常	指令速度がMC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」に指定された最高補間速度をオーバーしました。	• 現在の命令の軌跡データが不正 • MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」で指定された最高補間速度が不正、または低すぎる。			○			SBCA-421
645B0000Hex	最大補間加速度異常	指令加速度がMC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」に指定された最大補間加速度をオーバーしました。	• 現在の命令の軌跡データが不正 • MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」で指定された最大補間加速度が不正、または低すぎる。			○			SBCA-421
645C0000Hex	最大補間減速度異常	指令減速度がMC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」に指定された最大補間減速度をオーバーしました。	• 現在の命令の軌跡データが不正 • MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」で指定された最大補間減速度が不正、または低すぎる。			○			SBCA-421
67000000Hex	指令位置ワークスペース範囲外	指令位置がワークスペースの範囲外です。	• 指定された軌跡データが不正			○			SBCA-421
67010000Hex	現在位置ワークスペース範囲外	命令起動時の現在位置がワークスペースの範囲外です。	• 次の命令起動時の現在位置がワークスペースの範囲外 MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_RobotJog			○			SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
67020000Hex	製品同期偏差オーバー	コンベア上の製品に追いつくことができませんでした。	• コンベアの位置が追いつく直前に変更された。 • コンベアの現在位置が不正			○			SBCA-421
67030000Hex	速度異常検出	指令速度がモーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxVelocity」をオーバーしました。	• 入力変数「TrajData」で指定されたパラメータの組み合わせでは、指令速度が速すぎる。 • 入力変数「TrajData」で指定されたパラメータが不正 • 「MaxVelocity」が低すぎる。			○			SBCA-421
67040000Hex	加速度異常検出	指令加速度がモーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxAcceleration」をオーバーしました。	• 入力変数「TrajData」で指定されたパラメータの組み合わせでは、指令加速度が高すぎる。 • 入力変数「TrajData」で指定されたパラメータが不正 • 「MaxAcceleration」が低すぎる。			○			SBCA-421
67050000Hex	指令現在速度の最高速度オーバー	指令現在速度が軸の最高速度をオーバーしました。	• 軸の最高速度をオーバーした。			○			SBCA-421
74300000Hex	軸グループ構成軸異常発生	軸グループの構成軸に異常が発生しました。	• 軸グループ動作中に構成軸に異常が発生した。			○			SBCA-421
77000000Hex	コンベア軸位置読み出し異常	コンベア軸の位置に異常が発生したため、MC_SyncLinearConveyor 命令を実行できません。	• コンベア軸の EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立 • コンベア軸でスレーブ離脱が発生 • コンベア軸で、絶対値エンコーダ現在位置算出不可(64580000Hex)を検出			○			SBCA-421
94230000Hex	トランジションパラメータ補正通知	指定された入力変数「TransitionParameter」を補正して、トランジションを開始しました。	• 命令多重起動時に入力変数「TransitionParameter」で設定したトランジション開始条件が、動作中の命令で、すでに超過していた。				○		SBCA-421

ロボット命令関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-421	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015422Hex	目標速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
54015423Hex	加速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
54015424Hex	減速度設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
5401542BHex	バッファモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「BufferMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
5401542CHex	座標系選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordSystem」に指定されたパラメータが設定範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
5401542EHex	方向選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Direction」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCA-421
54015432Hex	トランジションモード選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • 「BufferMode」で「_mcAborting」、「_mcBuffered」を指定かつ「TransitionMode」を「_mcTMNone」以外に指定				○		SBCA-421
5401543BHex	モーション命令再起動不可	再起動できないモーション制御命令の再起動を行いました。	• 再起動できないモーション制御命令の再起動				○		SBCA-421
5401543CHex	モーション命令多重起動不可	同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました。	• 同じ対象（MC 共通／軸／軸グループ）に対して同時に実行できない機能を複数実行				○		SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401543EHex	多軸協調動作中の命令起動不可	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行しました。 • 軸グループ有効状態では使用できないロボット命令を実行しました。	• 多軸協調動作中の軸または軸グループに対して動作命令を実行 • 軸グループ有効状態の軸グループに対して、MC_SetKinTransform 命令を実行				○		SBCA-421
5401543FHex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動しました。	• 軸グループ無効状態の軸グループに対して、多軸協調命令を起動 • 軸グループ無効状態の軸グループに対して、次の命令を起動 MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_RobotJog				○		SBCA-421
54015441Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行しました。	• サーボ OFF 中の軸に対して動作命令を実行 • MC_Home 命令、または MC_HomeWithParameter 命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行				○		SBCA-421
54015442Hex	構成軸強制停止中エラー	構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行しました。	• 構成軸に対して MC_Stop（強制停止）命令が実行されている軸グループに動作命令を実行した。				○		SBCA-421
54015443Hex	モーション命令多重起動数オーバー	バッファモード Buffered, Blending によりバッファリングされるモーション制御命令のバッファリング数が限界を超えました。	• 軸命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「2」を超えた。 • 軸グループ命令で、実行中の命令とバッファ中の命令の合計数が「8」を超えた。				○		SBCA-421
54015461Hex	軸グループ指定不正	モーション制御命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在していないか、使用軸グループではありません。	• 命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが存在しない変数 • 命令の入力変数「AxesGroup」に指定された軸グループが使用軸グループに設定されていない。				○		SBCA-421
54015466Hex	原点未確定状態での命令起動異常	原点未確定状態で高速原点復帰または補間命令、ロボット命令が実行されました。	• 原点未確定状態で高速原点復帰を実行 • 原点未確定状態を含む構成軸に対して補間命令を実行 • 原点未確定状態の論理軸を含む軸グループに対して、次のロボット命令を実行 MC_SetKinTransform MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_GroupMon MC_RobotJog				○		SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015478Hex	目標位置設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外 • ロータリモードの軸において、目標位置がリング設定の範囲外				○		SBCA-421
54015706Hex	軸グループとキネマティクスの構成不一致	指定された軸グループと指定されたキネマティクスの構成要素が一致していません。	• 軸グループの軸数と指定されたロボット（キネマティクスタイプ）の軸数が一致していない。 • 軸グループの構成軸のカウントモードと指定されたロボット（キネマティクスタイプ）のカウントモードが一致していない。 • 軸グループの構成軸の表示単位と指定されたロボット（キネマティクスタイプ）の表示単位が一致していない。				○		SBCA-421
54015707Hex	キネマティクスタイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「KinTransform」で指定された「KinType」が範囲外です。	• 「KinType」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015708Hex	キネマティクスパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「KinTransform」で指定された「KinParam」または「ExpansionParam」が範囲外です。	• 「KinParam」が設定の範囲外 • 「ExpansionParam」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015709Hex	ワークスペースタイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「Workspace」で指定された「WorkspaceType」が範囲外です。	• 「WorkspaceType」が設定の範囲外				○		SBCA-421
5401570AHex	ワークスペースパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「Workspace」で指定された「WorkspaceParam」が範囲外です。	• 「WorkspaceParam」が設定の範囲外				○		SBCA-421
5401570BHex	座標系番号不正	モーション制御命令の入力変数「CSID」で指定された座標系の ID が設定の範囲外、または定義されていません。	• 座標系の ID が設定の範囲外 • 指定された座標系の ID が MC_DefineCoordSystem 命令で定義されていない。				○		SBCA-421
5401570CHex	座標系変換パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「CoordTransform」で指定された座標系変換パラメータ「Pose」が範囲外です。	• 座標系変換パラメータ「Pose」が設定の範囲外				○		SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401570DHex	トランジションパラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TransitionParameter」で指定されたトランジションパラメータが設定の範囲外です。	• トランジションパラメータが設定の範囲外				○		SBCA-421
54015710Hex	キネマティクス変換未設定	指定された軸グループにキネマティクス変換が設定されていません。	• 軸グループにキネマティクス変換が設定されていない。				○		SBCA-421
54015711Hex	目標位置可動範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定された目標位置がロボットの可動範囲外です。	• 目標位置がロボットの可動範囲外				○		SBCA-421
54015712Hex	速度異常検出値の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxVelocity」が範囲外です。	• 「MaxVelocity」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015713Hex	加速度異常検出値の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MaxAcceleration」が範囲外です。	• 「MaxAcceleration」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015714Hex	軌跡目標時間の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajTime」が範囲外です。	• 「TrajTime」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015715Hex	軌跡タイプ選択範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「MoveTrajType」が範囲外です。	• 「MoveTrajType」または「SyncTrajType」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015716Hex	軌跡トランジション設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajTransition」が範囲外です。	• 「TrajTransition」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015717Hex	軌跡移動距離の設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「TrajData」に指定された「TrajDistance」が範囲外です。	• 「TrajDistance」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015719Hex	初期製品位置ワークスペース範囲外	モーション制御命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」に指定された製品の位置がワークスペースの範囲外です。	• 「InitWorkpiecePosition」がワークスペースの範囲外				○		SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401571AHex	コンベア軸指定不正	モーション制御命令の入出力変数「ConveyorAxis」に指定された軸が正しくありません。	• 指定された軸が「AxesGroup」に指定した軸グループに登録されている。 • 指定された軸が［未使用軸］である。 • コンベア軸の単位が不正				○		SBCA-421
5401571BHex	目標位置ワークスペース範囲外	モーション制御命令の入力変数「Position」に指定された目標位置がワークスペースの範囲外です。	• 「Position」がワークスペースの範囲外				○		SBCA-421
5401571CHex	同期解除実行不可	MC_SyncOut 命令が実行できません。	• MC_SyncLinearConveyor 命令を未実行 • MC_SyncLinearConveyor 命令を実行中だが、同期中ではない。				○		SBCA-421
5401571EHex	キネマティクス数オーバー	キネマティクスの設定数が限界を超えました。	• MC_SetKinTransform 命令によるキネマティクスの設定数を超えた。				○		SBCA-421
5401571FHex	キネマティクス初期化異常	キネマティクスの初期化に失敗しました。	• ロボットのいずれかの軸（A0～A3）が、ダイレクトキネマティクスの計算ができない位置に止まっている。				○		SBCA-421
54015732Hex	ツール番号不正	モーション制御命令の入力変数「ToolID」に指定されたツール ID が範囲外、または定義されていません。	• 「ToolID」が設定の範囲外 • 指定されたツール ID が MC_DefineToolTransform 命令で定義されていない。				○		SBCA-421
54015733Hex	ツール系パラメータ設定範囲外	モーション制御命令の入力変数「ToolTransform」で指定された変換パラメータが範囲外です。	• 変換パラメータが設定の範囲外				○		SBCA-421
54015736Hex	オフセット機能実行不可	MC_SyncLinearConveyor 命令は、Phase6 でしかオフセット機能が使用できません。	• MC_SyncLinearConveyor 命令が Phase6 に到達する前に、入力変数「EnableOffset」を TRUE にした。				○		SBCA-421
54015744Hex	ジョグモード設定範囲外	MC_RobotJog 命令の入力変数「JogMode」が範囲外です。	• MC_RobotJog 命令の入力変数「JogMode」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015745Hex	初期製品位置範囲外	MC_SyncLinearConveyor 命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」が範囲外です。	• MC_SyncLinearConveyor 命令の入力変数「InitWorkpiecePosition」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015746Hex	最高補間速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxVelocityTCP」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54015747Hex	最大補間加速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxAccelerationTCP」が設定の範囲外				○		SBCA-421

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015748Hex	最大補間減速度の設定範囲外	MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」が範囲外です。	• MC_SetKinTransform 命令の入力変数「MaxDecelerationTCP」が設定の範囲外				○		SBCA-421
54016443Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました。	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。正方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行				○		SBCA-421
54016444Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました。	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行。負方向限界入力が「ON」の状態で軸グループ動作命令を実行				○		SBCA-421
54016701Hex	現在位置ワークスペース範囲外	命令起動時の現在位置がワークスペースの範囲外です。	• 次の命令起動時の現在位置がワークスペースの範囲外 MC_MoveTimeAbsolute MC_SyncLinearConveyor MC_SyncOut MC_RobotJog				○		SBCA-421

A-1-5　CNC 機能の異常

CNC 機能および CNC 命令で発生する異常（イベント）の一覧です。
CNC 機能および CNC 命令を使用できるコントローラは、形 NJ501-5300 です。CPU ユニットのユニットバージョンは Ver.1.16 以降です。

CNC 機能関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-428	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
47810000Hex	CNC パラメータ設定不正	CNC 機能モジュールの設定で致命的な異常を検出しました。	• CNC パラメータ設定の転送に失敗した。または、ソフトウェアにエラーが発生した。	○					SBCE-428
17800000Hex	CNC パラメータ設定異常	不揮発性メモリに保存していた CNC パラメータ設定を消失しました。	• CNC パラメータ設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された。 • 不揮発性メモリの故障		○				SBCE-428
17810000Hex	絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常	電源 OFF 中保持している絶対値エンコーダの現在位置を消失しました。	• 保持変数がバッテリバックアップの場合、CPU ユニットのバッテリの寿命 • バックアップメモリの故障		○				SBCE-428
17820000Hex	CNC モータ補正テーブル読み出し異常	不揮発性メモリに保存している CNC モータ補正テーブルを消失しました。	• CNC パラメータ設定のダウンロード中またはメモリクリア中に、電断または Sysmac Studio との通信が切断された。 • 不揮発性メモリの故障		○				SBCE-428
37800000Hex	必須プロセスデータオブジェクト未設定	CNC モータパラメータ設定の割付軸種別に対して必須のオブジェクトが PDO に割り付けられていません。	• CNC モータパラメータ設定の割付軸種別がサーボ軸またはエンコーダ軸のときに対して必要な PDO マッピングがされていません。 • 不揮発性メモリの故障		○				SBCE-428
47800000Hex	CNC 初期化異常	システムに致命的な障害が発生し、CNC 機能モジュールの初期化に失敗しました。	• ハード故障		○				SBCE-428
77800000Hex	CNC 制御周期オーバー	プライマリ定周期タスクの処理が 2 制御周期以内で完了しませんでした	• プライマリ定周期タスクのプログラムの処理内容が多い。		○				SBCE-428
37810000Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	PDO マッピングが正しくありません。	• 該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した。			○			SBCE-428
56000000Hex	CNC 座標系指定不正	CNC 命令の入出力変数「Coord」に指定された CNC 座標系が存在していません。	• 命令の入出力変数「Coord」に指定された CNC 座標系が存在しない変数			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
56010000Hex	減速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
56020000Hex	ジャーク設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Jerk」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
56030000Hex	CNC 命令再起動不可	再起動できない CNC 命令の再起動を行いました。	• 再起動できない CNC 命令の再起動			○			SBCE-428
56040000Hex	CNC 多重起動不可	同じ対象（CNC 座標系）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました。	• 同じ対象（CNC 座標系）に対して同時に実行できない機能を複数実行 • いずれかの CNC 座標系が Executing（実行中）または Hold（ホールド中）に CNC_LoadProgramFile 命令を実行			○			SBCE-428
56050000Hex	未割付論理 CNC モータ番号指定	CNC 命令の入力変数「LogicalMotorNo」に指定されたパラメータの CNC モータが未割り付けです。	• CNC 命令の入力変数「LogicalMotorNo」に CNC モータが割り付いていない論理 CNC モータ番号を指定して実行した。			○			SBCE-428
56060000Hex	論理 CNC モータ番号範囲外	CNC 命令の入力変数「LogicalMotorNo」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
56070000Hex	目標位置設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外。または、目標位置がオーバーフロー／アンダーフロー			○			SBCE-428
56080000Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータ動作指示	サーボ OFF 中の CNC モータに対して動作命令を実行しました。	• CNC_Home（原点復帰）命令、または CNC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した。			○			SBCE-428
56090000Hex	目標速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
560A0000Hex	加減速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
560B0000Hex	移動方法選択範囲外	CNC 命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
560C0000Hex	即停止命令起動	即停止(CNC_ImmediateStop)命令が実行されました。	• 即停止命令が実行された。			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
560D0000Hex	パラメータ選択範囲外	CNC 命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
560E0000Hex	CNC パラメータ設定読出／書込の設定値範囲外	CNC 命令の入出力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外			○			SBCE-428
560F0000Hex	CNC パラメータ設定読出／書込の対象範囲外	CNC 命令の入出力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外			○			SBCE-428
56100000Hex	原点未確定状態でのサイクルスタート異常	原点未確定状態の位置決め軸を含む CNC 座標系に対してサイクルスタートが実行されました。	• 原点未確定状態を含む CNC 座標系に対してサイクルスタートが実行された。			○			SBCE-428
56110000Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	CNC 命令の入出力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外			○			SBCE-428
56120000Hex	M コード番号範囲外	CNC 命令の入力変数「MCodeNo」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
56130000Hex	CNC 命令再起動不可（CNC 座標系指定）	CNC 命令の再起動時に変更できない入出力変数「Coord」のパラメータを変更しました。	• 命令再起動時に変更できない入出力変数のパラメータを変更した。			○			SBCE-428
56140000Hex	CNC 命令再起動不可（論理 CNC モータ番号）	CNC 命令の再起動時に変更できない入力変数「LogicalMotorNo」のパラメータを変更しました。	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。			○			SBCE-428
56150000Hex	NC プログラム不正	Sysmac Studio から転送された NC プログラムにて異常が検出されました。	• NC プログラムの転送に失敗した。			○			SBCE-428
56160000Hex	サイクルスタート多重起動不可	同じ対象（CNC 座標系）に対してサイクルスタートを多重に実行しました。	• CNC 座標系の状態が Executing（実行中）、MovingOnHold（ホールド中の手動動作中）、または Moving（動作中）で、サイクルスタートを実行した。			○			SBCE-428
56170000Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータサイクルスタート指示	サーボ OFF 中の CNC モータを含む CNC 座標系に対してサイクルスタートを実行しました。	• サーボ OFF 中の CNC モータに対してサイクルスタートを実行した。			○			SBCE-428
56180000Hex	NC プログラム番号指定不正	CNC_CoordControl 命令の入出力変数「ControlInputs」の「ProgramNo」に指定された NC プログラムがロードされていません。	• ロードされていない NC プログラムを CNC_CoordControl 命令の入出力変数「ControlInputs」の「ProgramNo」に指定してサイクルスタートを実行した。			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
56190000Hex	バックトレース指定不正	CNC 座標系の状態が Standby（停止中）のとき、CNC_CoordControl 命令の入出力変数「ControlInputs」の「BackTrace」が TRUE の状態でサイクルスタートを実行しました。	• CNC 座標系の状態が Standby（停止中）のとき、CNC_CoordControl 命令の入出力変数「ControlInputs」の「BackTrace」が TRUE の状態でサイクルスタートを実行した。			○			SBCE-428
56250000Hex	CNC モータ指定不正	CNC 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータが存在していません。	• 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータが存在しない変数			○			SBCE-428
56260000Hex	CNC モータ補正テーブル指定不正	CNC 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータ補正テーブルが存在していません。	• 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータ補正テーブルが存在しない変数			○			SBCE-428
56290000Hex	NC プログラム容量超過	Sysmac Studio によりダウンロードされた NC プログラムが NC プログラム容量を超えていたため、ロードできませんでした。	• NC プログラム容量の上限を超える NC プログラムを Sysmac Studio によりダウンロードした。			○			SBCE-428
562A0000Hex	傾斜制御モード指定不正	CNC 命令の入力変数「SkewMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
562B0000Hex	オフセット値指定不正	CNC 命令の入力変数「OffsetValue」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外			○			SBCE-428
67800000Hex	即停止入力	即停止入力が ON になりました。	• 即停止入力信号を検知した。 • 即停止信号の接続または即停止入力の論理設定が間違っている。			○			SBCE-428
67810000Hex	正方向限界入力検出	正方向限界入力が ON になりました。	• 正方向限界入力信号を検知した。 • 正方向限界入力信号の接続または正方向限界入力の論理設定が間違っている。			○			SBCE-428
67820000Hex	負方向限界入力検出	負方向限界入力が ON になりました。	• 負方向限界入力信号を検知した。 • 負方向限界入力信号の接続または負方向限界入力の論理設定が間違っている。			○			SBCE-428
67830000Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
67840000Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行			○			SBCE-428
67850000Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました。	• 指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った。 • 位置決めの指令を実行した。 • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した。 • 方向を特定できない指令（同期機能）を実行した。			○			SBCE-428
67860000Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました。	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行			○			SBCE-428
67870000Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました。	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行			○			SBCE-428
67880000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC モータが動作している途中で、位置が正方向ソフトウェアリミットを超えました。	• 位置が正方向ソフトウェアリミットを超えた。			○			SBCE-428
67890000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC モータが動作している途中で、位置が負方向ソフトウェアリミットを超えました。	• 位置が負方向ソフトウェアリミットを超えた。			○			SBCE-428
678A0000Hex	インポジションチェック時間オーバー	位置決め完了チェックが監視時間内に完了しませんでした。	• 位置決め完了までに時間がかかっている。			○			SBCE-428
678B0000Hex	位置偏差オーバー	指令現在位置とフィードバック現在位置の偏差が位置偏差オーバー値を超えました。	• 位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。			○			SBCE-428
67910000Hex	位置偏差不正	指令された位置とフィードバック現在位置の差をパルス単位に変換したときに 30 ビット以上となりました。	• CNC モータにおいて、指令された移動量では CNC モータの最高速度を超えるため、最高速度を超えないように指令現在位置が制限された。 • CNC モータの位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。			○			SBCE-428
67920000Hex	絶対値エンコーダ現在位置算出不可	電断保持している絶対値エンコーダ情報から正しく現在位置を復元できません。	• 復元した位置がパルス単位で符号付き 40 ビットの範囲を超えている。			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
67930000Hex	多軸協調動作中の原点未確定	CNC 座標系の状態が Executing（実行中）、Hold（ホールド中）、または MovingOnHold（ホールド中の手動動作中）に、CNC モータの原点が未確定になりました。	• CNC 座標系の状態が Executing（実行中）、Hold（ホールド中）、または MovingOnHold（ホールド中の手動動作中）に、CNC モータの指令位置またはフィードバック位置のオーバーフローまたはアンダーフローが発生し、原点が未確定になった。 • CNC 座標系の状態が Executing（実行中）、Hold（ホールド中）、または MovingOnHold（ホールド中の手動動作中）に、CNC モータでスレーブ通信異常が発生し、原点が未確定になった。 • CNC 座標系の状態が Executing（実行中）、Hold（ホールド中）、または MovingOnHold（ホールド中の手動動作中）に、論理軸のスレーブが離脱またはスレーブ無効化し、原点が未確定になった。			○			SBCE-428
67940000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー中サイクルスタート指示	開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• CNC 座標系の位置決め直交軸または位置決め回転軸の指令現在位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外			○			SBCE-428
67950000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー中サイクルスタート指示	開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• CNC 座標系の位置決め直交軸または位置決め回転軸の指令現在位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外			○			SBCE-428
67960000Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中サイクルスタート指示	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました。	• 指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った。 • 位置決めの指令を実行した。 • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した。 • 方向を特定できない指令（同期機能）を実行した。			○			SBCE-428
67970000Hex	正方向限界入力中サイクルスタート指示	正方向限界入力が「ON」の状態でサイクルスタートを実行しました。	• 正方向限界入力が「ON」の状態でサイクルスタートを実行			○			SBCE-428
67980000Hex	負方向限界入力中サイクルスタート指示	負方向限界入力が「ON」の状態でサイクルスタートを実行しました。	• 負方向限界入力が「ON」の状態でサイクルスタートを実行			○			SBCE-428
67990000Hex	NC プログラム実行異常	NC プログラム実行中に異常を検出しました。	実行中の NC プログラムで異常が検出された。 • 異常の内容は、付属情報の異常コードを参照			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
679B0000Hex	ガントリ軸間位置偏差オーバー	ガントリ主軸と従軸のフィードバック現在位置の軸間偏差が軸間位置偏差オーバー値を超えました。	• ガントリ従軸の追従性が悪く、ガントリ主軸動作に対して実際の動作が遅れている。			○			SBCE-428
679D0000Hex	CNC モータ最高速度超過異常	送り速度オーバーライドによって、CNC モータの指令速度が最高速度を超えました。	• 送り速度オーバーライド値の値が大きすぎる。			○			SBCE-428
77820000Hex	CNC 座標系構成 CNC モータ異常発生	CNC 座標系の構成 CNC モータに異常が発生しました。	• CNC 座標系の動作中に構成 CNC モータに異常が発生した。			○			SBCE-428
77830000Hex	CNC 共通の異常発生中	CNC 共通の異常が発生しています。	• 部分停止フォールトレベルの CNC 共通異常が発生している。			○			SBCE-428
77840000Hex	サーボ主回路電源オフ状態	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました。	• サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行			○			SBCE-428
77850000Hex	サーボ主回路電源オフ検出	サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路電源を OFF しました。	• サーボ ON 状態で、サーボドライバの主回路の電源断			○			SBCE-428
77860000Hex	スレーブ異常検知	CNC モータに割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが異常を検知しました。	• CNC モータに割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが異常を検知した。			○			SBCE-428
77880000Hex	サーボ ON 中スレーブ離脱	サーボ ON 中に CNC モータに割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが離脱、交換、またはスレーブ無効化されました。	• サーボ ON 中に CNC モータに割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが離脱、交換、またはスレーブ無効化された。			○			SBCE-428
77890000Hex	原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。	• 正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている。 • 原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている。 • 入力信号センサ配線間違い、故障			○			SBCE-428
778A0000Hex	原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、原点復帰方向の限界信号を検出しました。	• 正方向限界入力時動作、および負方向限界入力時動作が「反転しない」に設定されている。 • 原点復帰のための入力信号センサの配置、原点復帰の設定、原点復帰開始位置が、限界信号に到達する関係になっている。 • 入力信号センサ配線間違い、故障			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
778B0000Hex	原点復帰両方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に両側の限界信号を検出しました。	• 限界信号の配線間違い • 限界センサの取り付け位置の誤り • 限界信号の接点論理の誤り • 限界センサの故障			○			SBCE-428
778C0000Hex	原点近傍・原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。	• 原点近傍信号、限界信号の配線間違い • 原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点近傍センサ、限界センサの故障			○			SBCE-428
778D0000Hex	原点近傍・原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点近傍入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました。	• 原点近傍信号、限界信号の配線間違い • 原点近傍センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点近傍信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点近傍センサ、限界センサの故障			○			SBCE-428
778E0000Hex	原点入力・原点復帰逆方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向と逆方向の限界信号を検出しました。	• 原点入力信号、限界信号の配線間違い • 原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点入力信号出力機器、限界センサの故障			○			SBCE-428
778F0000Hex	原点入力・原点復帰方向限界入力検出	原点復帰動作中に、同時に原点入力と、原点復帰方向の限界信号を検出しました。	• 原点入力信号、限界信号の配線間違い • 原点入力センサ、限界センサの取り付け位置の誤り • 原点入力信号、限界信号の接点論理の誤り • 原点入力信号出力機器、限界センサの故障			○			SBCE-428
77900000Hex	原点入力マスク量不正	CNC_Home（原点復帰）命令、またはCNC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令において、原点入力マスク量の設定値が適切ではありません。	• 原点復帰動作モードが「近傍退避・原点入力マスク距離指定」の場合に、原点入力マスク距離の設定値が、原点復帰速度から原点復帰アプローチ速度に減速するための移動量として不足している。			○			SBCE-428
77910000Hex	原点入力なし	原点復帰中に原点信号入力がありません。または、原点確定入力がないまま、限界信号が検出されました。	• 原点復帰中に原点信号入力がない。 • 原点確定入力がないまま、限界信号が検出された。			○			SBCE-428
77920000Hex	原点近傍入力なし	原点復帰中に原点近傍信号入力がありませんでした。	• 「原点近傍信号あり」の設定時の原点復帰中に原点近傍信号入力がなかった。			○			SBCE-428
87800000Hex	スレーブ通信異常	CNC モータに割り付けられているEtherCAT スレーブ、またはNX ユニットとの通信に異常が発生しました。	• CNC モータに割り付けられているEtherCAT スレーブ、またはNX ユニットとの通信に異常が発生した。			○			SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
561D0000Hex	SD メモリカード使用不可	命令実行時に SD メモリカードへのアクセスに失敗しました。	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードの故障 • SD メモリカードスロットが壊れている				○		SBCE-428
561E0000Hex	指定ファイル不正	命令で指定されたファイルが存在しません。	• 指定されたファイルが存在しない。				○		SBCE-428
561F0000Hex	ロード NC プログラム番号指定不正	範囲外のプログラム番号が指定された NC プログラムをロードしようとしたためロードできませんでした。	• 範囲外のプログラム番号が指定された NC プログラムをロードしようとした。				○		SBCE-428
56200000Hex	ファイルオープン最大数超過	命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えました。	• 命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えた。				○		SBCE-428
56210000Hex	ファイル・ディレクトリ名最大長超過	命令で指定されたファイル名またはディレクトリ名が長すぎます。	• 命令で指定された作成ファイル名または作成ディレクトリ名が長すぎる。				○		SBCE-428
56220000Hex	SD メモリカードアクセス失敗	SD メモリカードのアクセスに失敗しました。	• SD メモリカードの故障 • SD メモリカードスロットが壊れている				○		SBCE-428
56230000Hex	ロード NC プログラム容量超過	NC プログラム容量の上限を超えてロードしようとしたためロードできませんでした。	• NC プログラム容量の上限を超える NC プログラムをロードしようとした。				○		SBCE-428
56240000Hex	NC プログラム数超過	NC プログラム数の上限を超えてロードしようとしたためロードできませんでした。	• NC プログラム数を上限までロードしている状態で、新たな NC プログラムをロードした。				○		SBCE-428
56280000Hex	ロード NC プログラム不正	ロードした NC プログラムで異常を検出しました。	• ロードしようとした NC プログラムで文法異常が検出された。				○		SBCE-428
678C0000Hex	位置偏差警告	位置偏差が位置偏差警告値を超えました。	• 位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。				○		SBCE-428
678D0000Hex	指令位置オーバーフロー	指令位置に対応するパルス数がオーバーフローしました。	• 位置決め直交軸または位置決め回転軸で、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビット(スピンドル軸では符号付き 54 ビット)の上限値を超えた。				○		SBCE-428
678E0000Hex	指令位置アンダーフロー	指令位置に対応するパルス数がアンダーフローしました。	• 位置決め直交軸または位置決め回転軸で、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビット(スピンドル軸では符号付き 54 ビット)の下限値を超えた。				○		SBCE-428
678F0000Hex	フィードバック位置オーバーフロー	フィードバック位置に対応するパルス数がオーバーフローしました。	• 位置決め直交軸または位置決め回転軸で、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビット(スピンドル軸では符号付き 54 ビット)の上限値を超えた。				○		SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
67900000Hex	フィードバック位置アンダーフロー	フィードバック位置に対応するパルス数がアンダーフローしました。	• 位置決め直交軸または位置決め回転軸で、指令位置をパルス単位に変換したとき、符号付き 40 ビット(スピンドル軸では符号付き 54 ビット)の下限値を超えた。				○		SBCE-428
679A0000Hex	ガントリ軸間位置偏差警告	ガントリ主軸と従軸のフィードバック現在位置の軸間偏差が軸間位置偏差警告値を超えました。	• ガントリ従軸の追従性が悪く、ガントリ主軸動作に対して実際の動作が遅れている。				○		SBCE-428
679C0000Hex	CNC モータ最高速度超過警告	送り速度オーバーライドによって、CNC モータの指令速度が最高速度を超えました。	• 送り速度オーバーライド値の値が大きすぎる。				○		SBCE-428
77810000Hex	CNC プランナサービス周期オーバー	CNC プランナサービスの処理が 2 周期以内で完了しませんでした。	• CNC プランナサービスの 1 周期に処理される NC プログラムの処理内容が多い。				○		SBCE-428
77870000Hex	スレーブ監視情報検知	EtherCAT スレーブ、または NX ユニットの警告を検知しました。	• CNC モータに割り付けられている EtherCAT スレーブ、または NX ユニットが警告を検知した。				○		SBCE-428
97810000Hex	ソフトウェアリミット軌跡制限	Executing（実行中）にソフトウェアリミットを越える軌跡が指定されたため、ソフトウェアリミットを越えないように軌跡を制限しました。	• Executing（実行中）にソフトウェアリミットを越える軌跡が指定された。				○		SBCE-428
97830000Hex	速度制御指令値飽和	サーボドライバへの速度制御指令値が飽和しています。	• フィードバックループ演算の出力値が CNC モータパラメータ設定の「最高速度」を超えた、または位置決め動作の追従性が悪く、指令に対して実際の動作が遅れている。 • CNC モータパラメータ設定の「最高速度」を超える主軸回転速度(S)、または主軸速度オーバーライド値が指令された。				○		SBCE-428
97800000Hex	スレーブ異常コード確定	「スレーブ異常検知」の発生により、スレーブから異常コードが通知されました。	• 「スレーブ異常検知」(77860000Hex)の発生により、スレーブから異常コードが通知されました。					○	SBCE-428
97820000Hex	CNC 機能システム情報	CNC 機能モジュールの内部情報です。	• CNC 機能モジュールの内部情報です。他イベントの追加情報として記録しています。					○	SBCE-428

CNC 命令関連

CNC 命令で発生する異常（イベント）の一覧を示します。イベントコードの下位 4 けたが命令のエラーコード(ErrorID)を表します。各エラーコードの説明は、対応するイベントコードの説明を参照してください。たとえば、命令のエラーコードが 16#3781 の場合は、54013781Hex のイベントコードの説明を参照してください。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-428	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54013781Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	PDO マッピングが正しくありません。	• CNC 命令で必要な PDO マッピングがされていない。 • 該当命令に対応するオブジェクトを持たない対象機器に対して該当命令を実行した。				○		SBCE-428
54015600Hex	CNC 座標系指定不正	CNC 命令の入出力変数「Coord」に指定された CNC 座標系が存在していません。	• 命令の入出力変数「Coord」に指定された CNC 座標系が存在しない変数				○		SBCE-428
54015601Hex	減速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Deceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015602Hex	ジャーク設定範囲外	CNC 命令の入力変数 Jerk に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015603Hex	CNC 命令再起動不可	再起動できない CNC 命令の再起動を行いました。	• 再起動できない CNC 命令の再起動				○		SBCE-428
54015604Hex	CNC 多重起動不可	同じ対象（CNC 座標系）に対して同時に実行できない機能を複数実行しました。	• 同じ対象（CNC 座標系）に対して同時に実行できない機能を複数実行 • いずれかの CNC 座標系が Executing（実行中）または Hold（ホールド中）に CNC_LoadProgramFile 命令を実行				○		SBCE-428
54015605Hex	未割付論理 CNC モータ番号指定	CNC 命令の入力変数 LogicalMotorNo に指定されたパラメータの CNC モータが未割り付けです。	• CNC 命令の入力変数 LogicalMotorNo に CNC モータが割り付いていない論理 CNC モータ番号を指定して実行した。				○		SBCE-428
54015606Hex	論理 CNC モータ番号範囲外	CNC 命令の入力変数 LogicalMotorNo に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015607Hex	目標位置設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外。または、目標位置がオーバーフロー／アンダーフロー				○		SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54015608Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータ動作指示	サーボ OFF 中の CNC モータに対して動作命令を実行しました。	• サーボ OFF 中の CNC モータに対して動作命令を実行 • CNC_Home（原点復帰）命令、または CNC_HomeWithParameter（パラメータ指定原点復帰）命令による原点プリセットを EtherCAT のプロセスデータ通信が未確立の軸に対して実行した。				○		SBCE-428
54015609Hex	目標速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Velocity」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401560AHex	加減速度設定範囲外	CNC 命令の入力変数「Acceleration」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401560BHex	移動方法選択範囲外	CNC 命令の入力変数「MoveMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401560DHex	パラメータ選択範囲外	CNC 命令の入力変数「ParameterNumber」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401560EHex	CNC パラメータ設定読出／書込の設定範囲外	CNC 命令の入出力変数「SettingValue」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401560FHex	CNC パラメータ設定読出／書込の対象範囲外	CNC 命令の入出力変数「Target」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015611Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	CNC 命令の入出力変数「HomingParameter」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入出力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015612Hex	M コード番号範囲外	CNC 命令の入力変数「MCodeNo」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
54015613Hex	CNC 命令再起動不可（CNC 座標系指定）	CNC 命令の再起動時に変更できない入出力変数「Coord」のパラメータを変更しました。	• 命令再起動時に変更できない入出力変数のパラメータを変更した。				○		SBCE-428
54015614Hex	CNC 命令再起動不可（論理 CNC モータ番号）	CNC 命令の再起動時に変更できない入力変数「LogicalMotorNo」のパラメータを変更しました。	• 命令再起動時に変更できない入力変数のパラメータを変更した。				○		SBCE-428
5401561DHex	SD メモリカード使用不可	命令実行時に SD メモリカードへのアクセスに失敗しました。	• SD メモリカードが未装着 • SD メモリカードの故障 • SD メモリカードスロットが壊れている				○		SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
5401561EHex	指定ファイル不正	命令で指定されたファイルが存在しません。	• 指定されたファイルが存在しない。				○		SBCE-428
5401561FHex	ロード NC プログラム番号指定不正	範囲外のプログラム番号が指定された NC プログラムをロードしようとしたためロードできませんでした。	• 範囲外のプログラム番号が指定された NC プログラムをロードしようとした。				○		SBCE-428
54015620Hex	ファイルオープン最大数超過	命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えました。	• 命令実行中のファイルオープン時に、オープンしているファイル数が最大数を超えた。				○		SBCE-428
54015621Hex	ファイル・ディレクトリ名最大長超過	命令で指定されたファイル名またはディレクトリ名が長すぎます。	• 命令で指定された作成ファイル名または作成ディレクトリ名が長すぎる。				○		SBCE-428
54015622Hex	SD メモリカードアクセス失敗	SD メモリカードのアクセスに失敗しました。	• SD メモリカードの故障 • SD メモリカードスロットが壊れている				○		SBCE-428
54015623Hex	ロード NC プログラム容量超過	NC プログラム容量の上限を超えてロードしようとしたためロードできませんでした。	• NC プログラム容量の上限を超える NC プログラムをロードしようとした。				○		SBCE-428
54015624Hex	NC プログラム数超過	NC プログラム数の上限を超えてロードしようとしたためロードできませんでした。	• NC プログラム数を上限までロードしている状態で、新たな NC プログラムをロードした。				○		SBCE-428
54015625Hex	CNC モータ指定不正	CNC 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータが存在していません。	• 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータが存在しない変数				○		SBCE-428
54015626Hex	CNC モータ補正テーブル指定不正	CNC 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータ補正テーブルが存在していません。	• 命令の入力変数「Target」に指定された CNC モータ補正テーブルが存在しない変数				○		SBCE-428
54015628Hex	ロード NC プログラム不正	ロードした NC プログラムで異常を検出しました。	• ロードしようとした NC プログラムで文法異常が検出された。				○		SBCE-428
5401562AHex	傾斜制御モード指定不正	CNC 命令の入力変数「SkewMode」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
5401562BHex	オフセット値指定不正	CNC 命令の入力変数「OffsetValue」に指定されたパラメータが範囲外です。	• 命令の入力パラメータが入力変数の範囲外				○		SBCE-428
54016783Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが正方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が正方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行				○		SBCE-428

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54016784Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	指定した位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外です。	• 命令の入力変数「Position」に指定されたパラメータが負方向ソフトウェアリミットの範囲外 • 開始位置が負方向ソフトウェアリミットの範囲外で、ソフトウェアリミットの範囲とは反対の方向への動作を指定した命令を実行				○		SBCE-428
54016785Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に、位置決め、オーバーフロー／アンダーフロー方向への命令、または方向を特定できない命令を実行しました。	• 指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中に以下を行った。 • 位置決めの指令を実行した。 • オーバーフロー／アンダーフロー方向への連続制御指令を実行した。 • 方向を特定できない指令（同期機能）を実行した。				○		SBCE-428
54016786Hex	正方向限界入力中	正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行しました。	• 正方向限界入力が「ON」の状態で正方向に動作する命令を実行、または正方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行				○		SBCE-428
54016787Hex	負方向限界入力中	負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行しました。	• 負方向限界入力が「ON」の状態で負方向に動作する命令を実行、または負方向限界入力が「ON」の状態で動作方向を指定しない命令を実行				○		SBCE-428
54017784Hex	サーボ主回路電源オフ状態	サーボドライバの主回路電源が「OFF」の状態で、サーボ ON を実行しました。	• サーボドライバの主回路電源「OFF」状態で、サーボ ON 実行				○		SBCE-428

A-2　接続機器で発生する異常

NJ/NX シリーズ CPU ユニットに接続する機器で発生する異常（イベント）の一覧です。異常一覧の見方は、「3-1 表の見方 (P.3-2)」を参照してください。
異常の詳細については各製品のマニュアルを参照してください。

A-2-1　スレーブターミナルの異常

以下のオムロン製スレーブターミナルで発生する異常（イベント）の一覧です。
- NX シリーズ EtherCAT カプラユニット
- NX シリーズ デジタル I/O ユニット
- NX シリーズ アナログ I/O ユニット
- NX シリーズ システムユニット
- NX シリーズ 位置インタフェースユニット
- NX シリーズ コミュニケーションインタフェースユニット
- NX シリーズ セーフティ CPU ユニット
- NX シリーズ セーフティ I/O ユニット
- NX シリーズ ロードセル入力ユニット
- NX シリーズ IO-Link マスタユニット
- NX シリーズ 温度調節ユニット
- NX シリーズ EtherNet/IP ユニット

NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-ECC□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-361	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00210000Hex	バスコントローラ異常	内部でバスエラーが発生しました。	• ユニットの故障、または通信カプラユニットと NX ユニットの間で I/O 通信異常が発生しました。			○			SBCD-361
00220000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCD-361
05010000Hex	ESC 異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラに異常が発生しました。	• EtherCAT スレーブ通信コントローラ部に異常が発生した。			○			SBCD-361
05020000Hex	ESC 初期化異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラの初期化に失敗しました。	• EtherCAT スレーブ通信コントローラ部で初期化異常が発生した。			○			SBCD-361
05030000Hex	SII 照合異常	SII の照合異常が発生しました。	• SII の情報に異常が発生した。			○			SBCD-361

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10420000Hex	不揮発性メモリ制御パラメータ異常	制御パラメータ異常が発生しています。	• ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断、または、サポートソフトとの通信を切断した。			○			SBCD-361
10430000Hex	メモリ破壊検出	メモリ破壊が検出されました。	• メモリ破壊が検出された。			○			SBCD-361
24A00000Hex	ユニット構成異常（台数オーバー）	NX ユニットの接続台数が通信カプラユニットの既定値を超えています。	• 通信カプラユニットに規定台数を超える NX ユニットを接続している。			○			SBCD-361
24A10000Hex	ユニット構成異常（サポート外）	サポート外の NX ユニットが装着されています。または、接続されている NX ユニットの I/O データサイズの総バイト数が、通信カプラユニットの最大既定値を超えています。	• サポート外の NX ユニットを検出した。 • 接続されている NX ユニットの I/O データサイズの総バイト数が、通信カプラユニットの最大既定値を超えている。			○			SBCD-361
35000000Hex	ユニット構成情報異常	通信カプラユニット内のユニット構成情報に異常が発生しました。	• ユニット構成情報のダウンロード中に通信カプラユニットを電断、またはサポートソフトとの通信を切断した。			○			SBCD-361
35010000Hex	ユニット構成照合異常	通信カプラユニット内のユニット構成と実際に接続されているユニットが不一致です。または、通信カプラユニットにユニット構成情報を設定していない状態での運転中に、ユニット構成が変化しました。	• ユニット構成に登録されている NX ユニットが接続されていない。 • ユニット構成に登録されているユニットとは別の NX ユニットが接続されている。 • ユニット構成に登録されていない NX ユニットが接続されている。 • ユニット構成情報上で、NX ユニットの装着設定が無効と登録されたユニットが装着されている。 • 運転中に NX ユニットが外れた。 • 運転中に NX ユニットが接続された。 • ユニット構成情報に登録されているユニットシリアル番号と、接続されているユニットのシリアル番号が一致しない。（シリアル番号チェック基準が［設定値=実機］時） • ユニット構成情報に登録されているユニットのバージョンが、接続されているユニットのバージョンより新しい。 • NX ユニット電源追加供給ユニットの電源が ON していない。			○			SBCD-361
35020000Hex	NX ユニット軽度フォールト発生	NX ユニットで軽度フォールトが検出されました。	• 異常が検知されたユニットで軽度フォールトレベルの異常が発生している。			○			SBCD-361
35040000Hex	MailBox 設定異常	SyncManager の MailBox 設定の不正を検知しました。(AL-Status Code:0016Hex)	• SyncManager の MailBox 設定の不正を検知した。			○			SBCD-361

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35050000Hex	RxPDO 設定異常	RxPDO 設定異常を検知しました。(AL-Status Code:001DHex)	• RxPDO 設定の異常を検知した。			○			SBCD-361
35060000Hex	TxPDO 設定異常	TxPDO 設定異常を検知しました。(AL-Status Code:001EHex)	• TxPDO 設定の異常を検知した。			○			SBCD-361
35070000Hex	PDO WDT 設定異常	PDO WDT 設定の不正を検知しました。(AL-Status Code:001FHex)	• PDO WDT 設定の不正を検知した。			○			SBCD-361
35080000Hex	SM イベントモード設定異常	サポートされていない SM イベントモードに設定されました。(AL-Status Code:0028Hex)	• サポートされていない SM イベントモードに設定された。			○			SBCD-361
35090000Hex	TxPDO マッピング異常	不正な TxPDO が設定されました。(AL-Status Code:0024Hex)	• 許容範囲外の Index、Sub Index、サイズなど、不正な TxPDO が設定された。			○			SBCD-361
350A0000Hex	RxPDO マッピング異常	不正な RxPDO が設定されました。(AL-Status Code:0025Hex)	• 許容範囲外の Index、Sub Index、サイズなど、不正な RxPDO が設定された。			○			SBCD-361
350B0000Hex	不正状態遷移要求受信	不可能な状態遷移要求を受信しました。(AL-Status Code:0011Hex)	• 不可能な状態遷移要求を受信した。			○			SBCD-361
350C0000Hex	異常状態遷移受信	不明な状態への遷移要求を受信しました。(AL-Status Code:0012Hex)	• 不明な状態への遷移要求を受信した。			○			SBCD-361
350D0000Hex	同期周期設定異常	DC モード確定時に、サイクルタイムの指定が動作不可能な値に設定されました。(AL-Status Code:0035Hex)	• DC モード確定時に、サイクルタイムの指定が動作不可能な値である。			○			SBCD-361
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			SBCD-361
84C00000Hex	NX ユニット通信タイムアウト	NX ユニットへの I/O データ通信で異常が発生しました。	• NX ユニットの取り付けが不確実。 • NX ユニットの故障。			○			SBCD-361
84C10000Hex	NX ユニット初期化異常	NX ユニットの初期化に失敗しました。	• 通信カプラユニットの処理に異常が発生した。 • NX ユニットで初期化異常が発生した。 • アナログ入力ユニットの全チャネルの有効／無効設定が［無効］に設定されている。アナログ出力ユニットの全チャネルの有効／無効設定が［無効］に設定されている。			○			SBCD-361
85000000Hex	プロセスデータ WDT 異常	プロセスデータ通信が一定時間以上停止しました。	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線。 • 上位コントローラの異常。			○			SBCD-361

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
85010000Hex	同期割込異常	同期割込異常が発生しました。	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線。 • EtherCAT カプラユニットの同期設定異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェアの異常。			○			SBCD-361
85020000Hex	同期異常	同期異常が発生しました。	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線。 • EtherCAT マスタ、EtherCAT カプラユニットの同期設定異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェアの異常。			○			SBCD-361
85030000Hex	通信同期異常	同期のデータが正常に受信されない状態が、通信異常設定で設定されている通信異常の連続検出回数(Consecutive Communications Error Detection Count)以上連続しました。	• プロセスデータ通信中の上位コントローラの電源断。 • EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線。 • EtherCAT 通信ケーブルへのノイズ侵入			○			SBCD-361
84C50000Hex	NX ユニット起動異常	NX ユニットの起動に失敗しました。	• NX ユニットで起動異常が発生した。			○			SBCD-361
35030000Hex	NX ユニット監視情報発生	NX ユニットで監視情報が検出されました。	• 異常が検知されたユニットで監視情報レベルの異常が発生している。				○		SBCD-361
350E0000Hex	NX バス周期遅延検出	NX バス周期オーバーを検出しました。	• NX バス周期がオーバーした。				○		SBCD-361
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCD-361
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCD-361
90420000Hex	リスタート実行	リスタートを実行しました。	• リスタート指示を受け付けた。					○	SBCD-361
90430000Hex	メモリオールクリア	ユニットの設定をクリアしました。	• メモリオールクリアを実行した。					○	SBCD-361
94600000Hex（Ver.1.07 以降）	I/O チェック実行開始	I/O チェック機能を開始しました。	• I/O チェック機能の開始。					○	SBCD-361

NX シリーズデジタル I/O ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-ID□□□□
形 NX-OC□□□□
形 NX-OD□□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-407	NX シリーズ デジタル I/O ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-407
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-407

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発 生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-407
80210000Hex	NX ユニット出力同期異常	NX ユニットで出力同期異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで異常が発生しているため、NX バス上の I/O リフレッシュが正しく行われていない。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットに接続している通信ケーブルの断線、接続不良。 • 通信ケーブルへのノイズ。			○			SBCA-407
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-407

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
70010000Hex（Ver. 1.06）	過去時刻指定	時刻指定出力方式のI/O リフレッシュ使用時に、指定時刻として過去時刻が指定されました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユーザプログラムの誤りにより、指定時刻が過去時刻になっている。 • CPU ユニットでタスク周期オーバーが発生している。 【通信カプラユニットの場合】 • ユーザプログラムの誤りにより、指定時刻が過去時刻になっている。 • CPU ユニットでタスク周期オーバーが発生している。 • 通信同期異常などの通信異常により、NX ユニットへの I/O データの到達が遅延した。				○		SBCA-407
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-407

NX シリーズアナログ I/O ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-AD□□□□
形 NX-DA□□□□
形 NX-TS□□□□
形 NX-HB□□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-408	NX シリーズ アナログ I/O ユニット ユーザーズマニュアル アナログ入力ユニット、アナログ出力ユニット編
SBCA-440 *1	NX シリーズ アナログ I/O ユニット ユーザーズマニュアル 温度入力ユニット、ヒータ断線検知ユニット編

*1. 温度入力ユニットは、SBCA-440 が出版される以前は SBCA-408 に記載されています。

● アナログ入力ユニットとアナログ出力ユニット（形 NX-AD□□□□、形 NX-DA□□□□）

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-408
10400000Hex	アナログユニット校正値パラメータ異常	アナログユニット校正値データ異常が発生しています。	• アナログユニット校正値の書き込み中に NX ユニットを電断、または、サポートソフトとの通信を切断した。			○			SBCA-408
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-408
14C00000Hex	ユニット校正値パリティエラー	ユニット内のユーザ校正値データに異常が発生しました。	• 校正値データの異常を検出した。			○			SBCA-408
65030000Hex	ユニット断線検知 (Ch1)	入力 Ch1 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
65040000Hex	ユニット断線検知 (Ch2)	入力 Ch2 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
65050000Hex	ユニット断線検知 (Ch3)	入力 Ch3 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
65060000Hex	ユニット断線検知 (Ch4)	入力 Ch4 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
65070000Hex	ユニット断線検知 (Ch5)	入力 Ch5 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
65080000Hex	ユニット断線検知(Ch6)	入力 Ch6 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
65090000Hex	ユニット断線検知(Ch7)	入力 Ch7 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
650A0000Hex	ユニット断線検知(Ch8)	入力 Ch8 の断線を検知しました。	• 入力配線の断線。 • 入力配線の外れ。			○	⊙		SBCA-408
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発 生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニット への配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-408
80210000Hex	NX ユニット出力同期異常	NX ユニットで出力同期異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで異常が発生しているため、NX バス上の I/O リフレッシュが正しく行われていない。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットに接続している通信ケーブルの断線、接続不良。 • 通信ケーブルへのノイズ。			○			SBCA-408

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-408
64F00000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch1)	入力 Ch1 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch1 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F10000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch2)	入力 Ch2 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch2 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F20000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch3)	入力 Ch3 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch3 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F30000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch4)	入力 Ch4 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch4 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F40000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch5)	入力 Ch5 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch5 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F50000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch6)	入力 Ch6 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch6 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64F60000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch7)	入力 Ch7 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch7 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F70000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch8)	入力 Ch8 のアナログ入力データが入力レンジの上限値を上回りました。または、出力 Ch8 のアナログ出力データが出力レンジの上限値を上回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの上限値を上回った。または、アナログ出力データが出力レンジの上限値を上回った。			⊙	○		SBCA-408
64F80000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch1)	入力 Ch1 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch1 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64F90000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch2)	入力 Ch2 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch2 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64FA0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch3)	入力 Ch3 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch3 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64FB0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch4)	入力 Ch4 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch4 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64FC0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch5)	入力 Ch5 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch5 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64FD0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch6)	入力 Ch6 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch6 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64FE0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch7)	入力 Ch7 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch7 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
64FF0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch8)	入力 Ch8 のアナログ入力データが入力レンジの下限値を下回りました。または、出力 Ch8 のアナログ出力データが出力レンジの下限値を下回りました。	• アナログ入力データが入力レンジの下限値を下回った。または、アナログ出力データが出力レンジの下限値を下回った。			⊙	○		SBCA-408
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-408

● 温度入力ユニット（形 NX-TS□□□□）

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-440（SBCA-408）
05100000Hex	AD コンバータ異常	AD コンバータが異常です。	• ノイズ。 • AD コンバータの故障。			○			SBCA-440（SBCA-408）
05110000Hex	冷接点センサ異常	冷接点センサに断線が発生しているため温度変換できません。	• 冷接点センサの接続不良。 • 冷接点センサの故障。			○	⊙		SBCA-440（SBCA-408）
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当 する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-440（SBCA-408）
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			SBCA-440（SBCA-408）
65100000Hex	センサ断線異常	温度センサの断線を検出しました。	• 温度センサの破損、断線。 • 未使用チャネルの無効化設定忘れ。			○	⊙		SBCA-440（SBCA-408）

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-440（SBCA-408）
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-440（SBCA-408）
65110000Hex	測定値オーバーレンジ	測定温度が温度変換可能範囲の上限値を上回りました。	• センサの断線。 • センサまたは補償導線の配線ミス。 • センサと入力種別が一致していない。 • 測定したい温度に対し、入力種別のレンジが狭い。 • 未使用 ch の無効化設定忘れ。			⊙	○		SBCA-440（SBCA-408）

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
65120000Hex	測定値アンダーレンジ	測定温度が温度変換可能範囲の下限値を下回りました。	• センサまたは補償導線の配線ミス。 • センサと入力種別が一致していない。 • 測定したい温度に対し、入力種別のレンジが狭い。			⊙	○		SBCA-440（SBCA-408）
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断 線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCA-440（SBCA-408）
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-440（SBCA-408）

● ヒータ断線検知ユニット（形 NX-HB□□□□）

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-440
05100000Hex	AD コンバータ異常	AD コンバータが異常です。	• ノイズ。 • AD コンバータの故障。			○			SBCA-440
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当 する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-440
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			SBCA-440
652C0000Hex	ヒータ断線検知	ヒータ断線を検知しました	• ヒータの断線、破損が発生した。 • ヒータ断線検知電流の設定値が大きすぎる。 • CT 割付設定で、未使用の CT 入力を制御出力に割り付けている。			○	⊙		SBCA-440
652D0000Hex	SSR 故障検知	SSR 故障を検知しました	• SSR 短絡、破損が発生した。 • SSR 故障検知電流の設定値が小さすぎる。 • CT 割付設定で、未使用の CT 入力を制御出力に割り付けている。			○	⊙		SBCA-440

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-440
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-440
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCA-440
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-440

NX シリーズシステムユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-PD1□□□
形 NX-PF0□□□
形 NX-PC0□□□
形 NX-TBX01

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-409	NX シリーズ システムユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-409
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-409

NX シリーズ位置インタフェースユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-EC0□□□
形 NX-ECS□□□
形 NX-PG0□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-374	NX シリーズ 位置インタフェースユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCE-374
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCE-374
35100000Hex	外部入力設定不正	外部入力の設定が不正です。	• 汎用入力以外の 1 つの機能が、外部入力 I0～I2 に複数設定されている。			○			SBCE-374
35110000Hex	SSI データ設定不正	SSI データ設定が不正です。	• 「有効データ長」+「ビットシフト数」が 32 を超えている。 • 「マルチターンデータ長」+「シングルターンデータ長」+「ステータスデータ長」が 32 を超えている。 • 各 SSI データの「開始ビット位置」+「データ長」が「有効データ長」を超えている。 • 「エンコーダ分解能」が「シングルターンデータ長」で表せる範囲を超えている。			○			SBCE-374
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			SBCE-374
743D0000Hex	同期指令不正	同期リフレッシュによる目標位置データの更新失敗が規定回数を超えて連続発生しました。	• 通信カプラユニットを接続している通信ケーブルの断線、接続不良。 • ノイズ。			○	⊙		SBCE-374

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
743E0000Hex	位置偏差不正	指令位置と現在位置の差が 30 ビット以上になりました。	• 最高速度（最高速度を設定できる形式の場合はその設定値）を超える指令を与え続けられたため、最高速度で制限される実際のパルス出力との偏差が累積した。 • 速度連続パルス出力方式において、指令位置に対応しない指令速度を指定されたため、更新される指令位置に対して実際に出力されるパルス数が累積した。			○			SBCE-374
743F0000Hex	不正状態遷移	パルス出力ユニットの動作状態がサーボ ON のときに、EtherCAT マスタまたは EtherCAT カプラユニットから、通信状態の変更指示が実行されました。	• サーボ ON(Operation enabled)状態で、通信マスタから現在の通信状態を変更する通信コマンドが与えられた。			○			SBCE-374
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCE-374

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80210000Hex	NX ユニット出力同期異常	NX ユニットで出力同期異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで異常が発生しているため、NX バス上の I/O リフレッシュが正しく行われていない。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットに接続している通信ケーブルの断線、接続不良。 • 通信ケーブルへのノイズ。			○			SBCE-374
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCE-374
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCE-374
84D00000Hex	SSI 通信異常	SSI 通信に異常が発生しました。	• SSI データ設定が、接続機器の SSI 通信設定と一致していない。 • NX ユニットと接続機器の配線が間違っている、または断線している。 • ノイズ。			⊙	○		SBCE-374
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCE-374

NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-CIF□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-422	NX シリーズ コミュニケーションインタフェースユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-422
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-422
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			SBCA-422

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通 信を正常に行えない異常が発 生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-422
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-422
85400000Hex	内部バッファフルによるデータ破棄	内部バッファがフル状態になりました。データは破棄されました。	• 受信データ内部バッファフルの場合は、コントローラが受信データの刈り取りに間に合っていない。 送信データ内部バッファフルの場合は、送信データが大きすぎる、または送信要求が多すぎる。			○	⊙		SBCA-422

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCA-422
85410000Hex	パリティエラー	パリティエラーが発生しました。	• 通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない。 • ノイズ。			⊙	○		SBCA-422
85420000Hex	フレーミングエラー	フレーミングエラーが発生しました。	• 通信設定、伝送速度の設定が相手デバイスと合っていない。 • ノイズ。			⊙	○		SBCA-422
85430000Hex	オーバーランエラー	オーバーランエラーが発生しました。	• 伝送速度が速すぎるため、受信処理中に次のデータを受信した。			⊙	○		SBCA-422
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-422

NX シリーズセーフティ CPU ユニット関連

セーフティコントロールユニットの以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-SL5□□□
形 NX-SL3□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SGFM-710	NX シリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル

● システム異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
05200000Hex	システム異常	ハードウェアの自己診断によりハードウェア異常を検出しました。	• ハードウェアの故障。 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常。			○			SGFM-710

● 通信機能に関する異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35200000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常	セーフティスレーブとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• セーフティプロセスデータ通信設定不正やセーフティスレーブの状態不正など。 • セーフティプロセスデータ通信対象のセーフティスレーブが接続されていない。 • NX ユニットの装着設定が無効に設定されているセーフティスレーブがセーフティプロセスデータ通信対象になっている。			○			SGFM-710
35200001Hex	FSoE マスタコネクション確立異常	FSoE スレーブとの FSoE 通信確立に失敗しました。	• FSoE 通信設定不正や FSoE スレーブの状態不正など。 • FSoE 通信対象の FSoE スレーブが接続されていない。 • NX ユニットの装着設定が無効に設定されている FSoE スレーブが FSoE 通信対象になっている。 • 通信対象の FSoE スレーブのバージョンが、設定より古い。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SGFM-710
80300000Hex	セーフティプロセスデータ通信タイムアウト	セーフティコントロールユニットとのセーフティプロセスデータ通信で通信タイムアウトが発生しました。	• 設定不正。セーフティタスク周期が小さすぎる値に設定されている。 • 過度なノイズが発生した。 • セーフティ CPU ユニット、あるいはセーフティスレーブがセーフティプロセスデータ通信を継続できない状態に遷移した。 • 本ユニットが接続されている NX バスマスタに何らかの異常や状態変更が発生し、プロセスデータ通信が正しく実行されなかった。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80300001Hex	FSoE マスタコネクションタイムアウト	FSoE スレーブとの FSoE 通信で通信タイムアウトが発生しました。	• 設定不正。セーフティタスク周期が小さすぎる値に設定されている。 • 過度なノイズが発生した。 • セーフティ CPU ユニット、あるいは FSoE スレーブが FSoE 通信を継続できない状態に遷移した。 • 本ユニットが接続されている NX バスマスタに何らかの異常や状態変更が発生し、プロセスデータ通信が正しく実行されなかった。			○			SGFM-710
80310000Hex	CIP Safety オリジネータコネクション確立異常	CIP Safety オリジネータコネクションの確立に失敗しました。	• ターゲットノードが異なる。 • ターゲットノードがコンフィグレーションされていない。 • ターゲットノードの状態が不正。 • EtherNet/IP ポート設定の CIP メッセージサーバが［使用しない］に設定されている。 • CIP Safety 通信に関わる NX シリーズ CPU ユニットと NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの設定と、セーフティ CPU ユニットの設定が一致していない。 • CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をした。 • タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えた。 • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定の CIP Safety 通信が［使用しない］に設定されている。			○			SGFM-710
80320000Hex	CIP Safety オリジネータコネクションタイムアウト	CIP Safety オリジネータコネクションでタイムアウトが発生しました。	• 通信ケーブルのはずれ、断線。 • ターゲットノードがコネクションを受け付けられない状態に遷移した。 • 通信設定のタイムアウト値が小さすぎる値に設定されている。 • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止。 • EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 機能が有効の場合にターゲットノードからの CIP Safety パケットが許可されていない。 • ターゲットノードおよび経路上の機器の、Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で CIP Safety パケットが許可されていない。 • 過度なノイズが発生した。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80330000Hex	CIP Safety ターゲット不在	ターゲットノードが不在です。	• 通信ケーブルのはずれ、断線。 • ターゲットノードがコネクションを受け付けられない状態に遷移した。 • 通信設定のタイムアウト値が小さすぎる値に設定されている。 • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止。 • ターゲットノードおよび経路上の機器の、Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能でオリジネータノードからの CIP Safety パケットが許可されていない。 • 過度なノイズが発生した。			○			SGFM-710
80340000Hex	CIP Safety ターゲットコネクションタイムアウト	CIP Safety ターゲットコネクションでタイムアウトが発生しました。	• 通信ケーブルのはずれ、断線。 • オリジネータデバイスがコネクションを受け付けられない状態に遷移した。 • 通信設定のタイムアウト値が小さすぎる値に設定されている。 • EtherNet/IP ポート設定、および経路上の機器の Packet Filter（簡易）機能、Packet Filter 機能で、オリジネータノードからの CIP Safety パケットが許可されていない。 • オリジネータノードの CIP メッセージサーバが、使用しないに設定されている。 • オリジネータノードの Packet Filter 機能が有効の場合に、ターゲットノードからの CIP Safety パケットが許可されていない。 • 過度なノイズが発生した。 • 内蔵 EtherNet/IP ポート設定の CIP Safety 通信が［使用しない］に設定されている。			○			SGFM-710
84F00000Hex	NX バス I/O 通信停止	NX バスマスタと NX ユニットの間における I/O 通信に何らかの異常が発生しました。	• NX バスマスタ、あるいは NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SGFM-710

● プログラム実行機能に関する動作継続異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74A00000Hex	SF_Antivalent 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74A10000Hex	SF_EDM 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A20000Hex	SF_EmergencyStop 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A30000Hex	SF_EnableSwitch 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A40000Hex	SF_Equivalent 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A50000Hex	SF_ESPE 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A60000Hex	SF_GuardLocking 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A70000Hex	SF_GuardMonitoring 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A80000Hex	SF_ModeSelector 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74A90000Hex	SF_MutingPar 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74AA0000Hex	SF_MutingPar_2Sensor 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74AB0000Hex	SF_MutingSeq 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74AC0000Hex	SF_OutControl 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74AD0000Hex	SF_SafetyRequest 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74AE0000Hex	SF_TestableSafetySensor 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74AF0000Hex	SF_TwoHandControlTypeII 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710
74B00000Hex	SF_TwoHandControlTypeIII 異常	セーフティファンクションブロック実行異常が検出されました。	『NX シリーズ セーフティコントロールユニット コマンドリファレンスマニュアル(SGFM-711)』にて、付属情報 1 の DiagCode を参照してください。			○			SGFM-710

● プログラム実行機能に関する動作停止異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
55000000Hex	ゼロ除算	ゼロ除算が検出されました。	除数が 0。			○			SGFM-710
55010000Hex	キャスト異常	キャストの異常が検出されました。	受け側の変数の取りうる値の範囲外の値を入力した。			○			SGFM-710
55020000Hex	MUX 異常	MUX 命令の異常が検出されました。	MUX 命令の選択入力(K)の値が不正 。			○			SGFM-710

● 設定に関する異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
10500000Hex	NX バス通信設定の読み出し異常	不揮発性メモリに保存されている NX バス通信設定に異常が発生しています。	• 不揮発性メモリのハードウェア故障。 • 不揮発性メモリへの保存中の電断。			○			SGFM-710
10510000Hex	セーフティアプリケーションデータの読み出し異常	不揮発性メモリに保存されているセーフティアプリケーションデータに異常が発生しています。	• 不揮発性メモリのハードウェア故障。 • 不揮発性メモリへの保存中の電断。			○			SGFM-710
10520000Hex	NX バス通信設定とセーフティアプリケーションデータの不整合	不揮発性メモリに保存されているセーフティアプリケーションデータに異常が発生しています。	• セーフティ CPU ユニットへ転送した NX バス通信設定とセーフティアプリケーションデータの不整合。			○			SGFM-710
10530000Hex	不揮発性メモリアクセス異常	不揮発性メモリの読み書きに失敗しました。	不揮発性メモリの故障。			○			SGFM-710
24AA0000Hex	ディップスイッチ設定不正	ディップスイッチ設定が不正です。	• ディップスイッチ設定を変更した。				○		SGFM-710

● リストア機能に関する異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35250000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（SD メモリカードアクセス失敗）	セーフティユニットリストア開始時に SD メモリカードアクセスに失敗しました。	• SD メモリカードが未装着。 • SD メモリカードが種別不正。 • SD メモリカードのフォーマット不正。 • SD メモリカードの故障				○		SGFM-710
35260000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（セーフティユニットリストアファイル読み込み失敗）	セーフティユニットリストアファイルの読み込みに失敗しました。	• セーフティユニットリストアファイルが指定フォルダに格納されていない。 • セーフティユニットリストアファイルが壊れている。				○		SGFM-710
35270000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（形式不一致）	セーフティユニットリストアの実行前チェックで形式不一致を検出しました。	• 誤ったユニットに対してセーフティユニットリストアを実行した。 • 誤ったセーフティユニットリストアファイルを使用した。				○		SGFM-710
35280000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（バージョン不一致）	セーフティユニットリストアの実行前チェックでユニットバージョン不一致を検出しました。	• 誤ったユニットに対してセーフティユニットリストアを実行した。 • 誤ったセーフティユニットリストアファイルを使用した。				○		SGFM-710
35290000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（ノード名不一致）	セーフティユニットリストアの実行前チェックでノード名不一致を検出しました。	• 誤ったユニットに対してセーフティユニットリストアを実行した。 • 誤ったセーフティユニットリストアファイルを使用した。 • セーフティユニットリストアファイル生成時に設定したノード名が誤っている。				○		SGFM-710
352A0000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（セーフティパスワード不一致）	セーフティユニットリストアの実行前チェックでセーフティパスワード不一致を検出しました。	• 誤ったユニットに対してセーフティユニットリストアを実行した。 • 誤ったセーフティユニットリストアファイルを使用した。 • セーフティユニットリストアファイル生成時に設定したセーフティパスワードが誤っている。				○		SGFM-710
352B0000Hex	セーフティユニットリストア実行失敗	セーフティユニットリストアが異常終了しました。	• セーフティユニットリストア実行中に SD メモリカードが抜き取られた。 • セーフティユニットリストア実行中にサポートツールや FTP クライアントから SD メモリカードへの読み書きが行われた。				○		SGFM-710

● その他の異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	NX ユニット宛のメッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	• メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • Sysmac Studio の「同期」機能、リストア、または EtherCAT スレーブの離脱を実行したことによるメッセージ通信の切断。				○		SGFM-710
951E0000Hex	Sysmac Studio との通信接続タイムアウト	Sysmac Studio とセーフティ CPU ユニットとの接続が通信タイムアウトしました。	• 通信ケーブルの切断。					○	SGFM-710
951F0000Hex	メモリオールクリアの受付拒否	メモリオールクリアの受付を拒否しました。	• コントローラメモリオールクリアまたはスレーブターミナルメモリオールクリアを実行した。					○	SGFM-710

● ユーザアクセスに関するログ

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SGFM-710
90430000Hex	メモリオールクリア	ユニットの設定をクリアしました。	• メモリオールクリアを実行した。					○	SGFM-710

NX シリーズセーフティ I/O ユニット（形 NX-SI□□□□／形 NX-SO□□□□）関連

セーフティコントロールユニットの以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-SI□□□□
形 NX-SO□□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SGFM-710	NX シリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル

● システム異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
05200000Hex	システム異常	ハードウェアの自己診断によりハードウェア異常を検出しました。	• ハードウェアの故障。 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常。			○			SGFM-710

● 通信機能に関する異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35210000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（ユニットパラメータ不正）	セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• 形式やセーフティ入出力端子設定が不正。			○			SGFM-710
35230000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（FSoE Slave Address 不正）	FSoE Slave Address 不正により、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• セーフティプロセスデータ通信設定のうち、FSoE Slave Address 値の設定がユニットと不一致。			○			SGFM-710
35240000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（フレーム不正）	不正なフレーム受信により、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• 不正なセーフティプロセスデータ通信確立フレームを受信。 • 過度なノイズが発生した			○			SGFM-710
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX バスマスタと NX ユニットの間で I/O 通信異常が発生しました。	• NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80300000Hex	セーフティプロセスデータ通信タイムアウト	セーフティコントロールユニットとのセーフティプロセスデータ通信で通信タイムアウトが発生しました。	• 設定不正。セーフティタスク周期が小さすぎる値に設定されている。 • 過度なノイズが発生した • セーフティ CPU ユニット、あるいはセーフティスレーブがセーフティプロセスデータ通信を継続できない状態に遷移した。 • 本ユニットが接続されている NX バスマスタに何らかの異常や状態変更が発生し、プロセスデータ通信が正しく実行されなかった。			○			SGFM-710
84F10000Hex	NX バス I/O 通信停止	NX バスマスタと NX ユニットの間における I/O 通信に何らかの異常が発生しました。	NX バスマスタ、あるいは NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SGFM-710

● セーフティ入出力機能に関する異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
05210000Hex	セーフティ入力端子内部回路異常	セーフティ入力端子内部回路の故障を検知しました。	• セーフティ入力端子内部回路の故障。 • 過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常。			○			SGFM-710
05220000Hex	テスト出力端子内部回路異常	テスト出力端子内部回路の故障を検知しました。	• テスト出力端子内部回路の故障。 • 過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常。			○			SGFM-710
05230000Hex	セーフティ出力端子内部回路異常	セーフティ出力端子内部回路の故障を検知しました。	• セーフティ出力端子内部回路の故障。 • 過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常。			○			SGFM-710
65200000Hex	入出力電源電圧異常	入出力電源電圧不正を検出しました。	• 入力電源または出力電源が正しく供給されていない。			○			SGFM-710
65210000Hex	電源遮断テスト異常	出力電源遮断テストで異常を検出しました。	• 配線異常、もしくはハードウェア故障が考えられる。			○			SGFM-710
65220000Hex	セーフティ入力端子外部接続機器異常	セーフティ入力端子のテストパルス評価機能において異常を検知しました。	• 入力信号線に電源（+側）が接触。 • 入力信号線間の短絡。 • 外部接続機器の故障。			○			SGFM-710
65230000Hex	セーフティ入力端子デュアルチャネル監視異常	セーフティ入力端子のデュアルチャネル評価機能において異常を検知しました。	• 入力信号線の地絡、断線。 • 接続機器の故障。 • デュアルチャネル監視時間の設定値不正。 • セーフティ扉などの外部入力機器からの入力信号にチャタリングが発生。			○			SGFM-710
65240000Hex	テスト出力端子過電流異常	テスト出力端子で過電流を検知しました。	• 出力信号線の地絡。 • 外部接続機器の故障。			○			SGFM-710

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
65250000Hex	テスト出力端子出力 ON 固着異常	テスト出力端子で ON 固着を検知しました。	• 出力信号線に電源（+側）が接触。 • 内部回路の故障。 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常。			○			SGFM-710
65270000Hex	セーフティ出力端子地絡異常	セーフティ出力端子において地絡を検知しました。	• 出力信号線の地絡。			○			SGFM-710
65280000Hex	セーフティ出力端子出力 ON 固着異常	セーフティ出力端子において ON 固着を検知しました。	• 出力信号線に電源（+側）が接触。 • 出力電源が仕様範囲外。 • 内部回路の故障。 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常。			○			SGFM-710

● その他の異常

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	NX ユニット宛のメッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	• メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • Sysmac Studio の「同期」機能、リストア、または EtherCAT スレーブの離脱を実行したことによるメッセージ通信の切断。				○		SGFM-710

● ユーザアクセスに関するログ

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	ユーザがイベントログをクリアした。					○	SGFM-710
90430000Hex	メモリオールクリア	ユニットの設定をクリアしました。	メモリオールクリアを実行した。					○	SGFM-710

NX シリーズロードセル入力ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-RS□□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-439	NX シリーズ ロードセル入力ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCA-439
05120000Hex	AD 変換異常	AD コンバータで AD 変換が行われませんでした。	• EXC+端子と EXC-端子が短絡。 • ノイズ。 • AD コンバータの故障。			○			SBCA-439
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当 する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-439
10440000Hex	ユニット校正値異常	ユニット校正値の保存エリアが異常です。	• 不揮発性メモリのうち、ユニット校正値を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-439
10450000Hex	実負荷校正値異常	実負荷校正値の保存エリアが異常です。	• 不揮発性メモリのうち、実負荷校正値を保存しているエリアが異常。			○			SBCA-439
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した。			○			SBCA-439
65130000Hex	センサ断線異常	ロードセルとの配線の断線を検出しました。	• ロードセルとの配線が未接続。 • ロードセルとの配線が断線。 • 入力信号が入力変換範囲を超えている。 • ロードセルの故障。			○			SBCA-439

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通 信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCA-439
80210000Hex	NX ユニット出力同期異常	NX ユニットで出力同期異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで異常が発生しているため、NX バス上の I/O リフレッシュが正しく行われていない。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットに接続している通信ケーブルの断線、接続不良。 • 通信ケーブルへのノイズ。			○			SBCA-439
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCA-439

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
65140000Hex	オーバーレンジ	ロードセルからの入力信号が入力変換範囲の上限値を上回りました。	• ロードセルとの配線が未接続。 • ロードセルとの配線が断線。 • EXC+端子と EXC-端子が短絡。 • ロードセルの故障。 • 定格出力がロードセル入力ユニットの入力レンジの範囲を超えるロードセルを使用している。 • ロードセルに定格容量を超える負荷が加わっている。 • ノイズ。			⊙	○		SBCA-439
65150000Hex	アンダーレンジ	ロードセルからの入力信号が入力変換範囲の下限値を下回りました。	• ロードセルとの配線が未接続。 • ロードセルとの配線が断線。 • EXC+端子と EXC-端子が短絡。 • ロードセルの故障。 • 定格出力がロードセル入力ユニットの入力レンジの範囲を超えるロードセルを使用している。 • ロードセルに定格容量を超える負荷が加わっている。 • ノイズ。			⊙	○		SBCA-439
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCA-439
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	• ユーザがイベントログをクリアした。					○	SBCA-439

NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-ILM□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-371	NX シリーズ IO-Link システム ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SBCD-371
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SBCD-371
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	ソフトウェアにエラーが発生した			○			SBCD-371

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通 信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SBCD-371
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SBCD-371
848F0000Hex	デバイス構成照合異常	IO-Link マスタのポートに登録された IO-Link デバイスと異なるデバイスが接続された。	• IO-Link マスタのポートに登録された IO-Link デバイスと異なるデバイスが接続された。			○			SBCD-371
84970000Hex	I/O ケーブル短絡	IO-Link マスタとデバイス間のケーブルが短絡しました。	• I/O ケーブルの短絡が発生した。 • IO-Link デバイスの故障。			○			SBCD-371
849A0000Hex	IO-Link 通信モジュール処理異常	IO-Link 通信モジュールでハードウェア故障が発生しました。	• ハードウェアの故障が発生しています。			○			SBCD-371

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SBCD-371
848C0000Hex	デバイスイベント（エラーレベル）	IO-Link デバイスでエラーレベルのイベントが発生しました。	CX-ConfiguratorFDT を使用し、IO-Link デバイスのイベントコードを確認してください。				○		SBCD-371
848D0000Hex	IO-Link 通信異常	デバイスとの IO-Link 通信で異常が発生しました。	• I/O ケーブルの断線が発生した。 • IO-Link デバイスの故障。 • ノイズの影響を受けている。				○		SBCD-371
84990000Hex	デバイスイベント（ワーニングレベル）	IO-Link デバイスでワーニングレベルのイベントが発生しました。	• CX-ConfiguratorFDT を使用し、IO-Link デバイスのイベントコードを確認してください。				○		SBCD-371
84950000Hex	IO-Link デバイス構成情報作成	IO-Link デバイスの構成情報を作成しました	IO-Link デバイスの構成情報を作成した。					○	SBCD-371
84980000Hex	I/O 電源 ON 検知	I/O 電源の投入を複数回検知しました。	I/O 電源の投入を複数回検知しました。					○	SBCD-371
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	ユーザがイベントログをクリアした					○	SBCD-371

NX シリーズ温度調節ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-TC□□□□

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SGTD-748	NX シリーズ 温度調節ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。			○			SGTD-748
05100000Hex	AD コンバータ異常	AD コンバータが異常です。	• ノイズ。 • AD コンバータの故障。			○			SGTD-748
05110000Hex	冷接点センサ異常	冷接点センサに断線が発生しているため温度変換できません。	• 冷接点センサの接続不良。 • 冷接点センサの故障。			○	⊙		SGTD-748
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	マスタ保存の制御パラメータに異常が発生しています。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に CPU ユニットを電断した。または CPU ユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。 【通信カプラユニットの場合】 • ユニット動作設定の書き込み中に通信カプラユニットを電断した。または通信カプラユニットの不揮発性メモリのうち、該当する NX ユニットのユニット動作設定を保存しているエリアが異常。			○			SGTD-748
14C10000Hex	ユニット保存チューニングパラメータ無効	チューニング結果の不揮発メモリ書き込みに失敗し、ユニットに保存しているチューニングパラメータが無効になりました。	• チューニング中の電断。			○			SGTD-748
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX ユニットで致命的な異常を検出しました。	• ソフトウェアにエラーが発生した			○			SGTD-748

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
65100000Hex	センサ断線異常	温度センサの断線を検出しました。	• 温度センサの破損、断線。 • 未使用チャネルの無効化設定忘れ。 • 温度センサの配線が誤っている。 • 温度調節ユニットで本異常が発生している場合、入力種別が正しく設定されていない。 • 温度調節ユニットで本異常が発生している場合、測定値が入力指示範囲を超えている。 • 温度調節ユニットで本異常が発生している場合、PV 入力補正値または PV 入力傾き補正係数が正しく設定されていない。			○	⊙		SGTD-748
652C0000Hex	ヒータ断線検知	ヒータ断線を検知しました。	• ヒータの断線、破損。 • ヒータ断線検知電流の設定値が大きすぎる。 • ヒータ断線検知ユニットで本異常が発生している場合、CT 割付設定で、未使用の CT 入力を制御出力に割り付けている。 • 温度調節ユニットで本異常が発生している場合、未使用チャネルの無効化設定忘れ。			○	⊙		SGTD-748
652D0000Hex	SSR 故障検知	SSR 故障を検知しました。	• SSR の短絡、破損。 • SSR 故障検知電流の設定値が小さすぎる。 • ヒータ断線検知ユニットで本異常が発生している場合、CT 割付設定で、未使用の CT 入力を制御出力に割り付けている。 • 温度調節ユニットで本異常が発生している場合、未使用チャネルの無効化設定忘れ。			○	⊙		SGTD-748
652E0000Hex	警報検知	警報種別で設定した警報を検知しました。	警報種別に応じて設定した以下の値と偏差または測定値の関係によって発生する警報を検知した。 • 警報値 • 警報上限値および警報下限値 検知したい警報と、警報種別に応じて設定した以下の値が合っていない。 • 警報値 • 警報上限値および警報下限値			○	⊙		SGTD-748

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX ユニットで I/O 通信異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • CPU ユニットで NX バス通 信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取りつけが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている、または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外、またはユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。 【通信カプラユニットの場合】 • 通信カプラユニットで NX バス通信を正常に行えない異常が発生した。 • NX ユニットの取り付けが不確実。 • ユニット電源の電源ケーブルが抜けている。または、ユニット電源から NX ユニットへの配線が間違っている。 • ユニット電源の電源ケーブルが断線している。 • ユニット電源の電圧が仕様範囲外である。または、ユニット電源の電源容量が不足している。 • NX ユニットのハードウェアの異常。			○			SGTD-748
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX ユニットの時刻情報に異常が発生しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • CPU ユニットのハードウェア異常。 【通信カプラユニットの場合】 • NX ユニットのハードウェア異常。 • EtherCAT カプラユニットのハードウェア異常。			○			SGTD-748
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	メッセージ通信で異常を検知し、メッセージフレームを破棄しました。	【CPU ユニットの NX バスの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 【通信カプラユニットの場合】 • メッセージ通信の負荷が高い。 • 通信ケーブルのはずれ、断線。 • メッセージ通信実行中にメッセージ通信の切断が発生。				○		SGTD-748
90400000Hex	イベントログのクリア	イベントログをクリアしました。	ユーザがイベントログをクリアした					○	SGTD-748

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
94D00000Hex	チューニングパラメータ更新	チューニングによりパラメータを更新しました。	以下の機能のユーザ指示によるチューニングが正常終了し、チューニングパラメータが更新された。 • AT • 自動フィルタ調整 • 適応制御（通知）の PID 更新 • D-AT					○	SGTD-748
94D10000Hex	関連パラメータ初期化	パラメータ変更により関連するパラメータを初期化しました。	• 入力種別または温度単位パラメータを変更したため、適応制御のモデルパラメータが初期化された。					○	SGTD-748
94F00000Hex	チューニングパラメータ自動更新	チューニングによりパラメータを自動更新しました。	以下の機能の自動実行によるチューニングが正常終了し、チューニングパラメータが更新された。 • 水冷出力調整機能 • 適応制御（自動更新）					○	SGTD-748

NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 NX-EIP201

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-382	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル

● Ethernet 機能関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04310000Hex	通信コントローラ異常	EtherNet/IP ポートの通信コントローラのハードウェア異常を検知しました	• 通信コントローラのハードウェア故障			○			SBCD-382
14310000Hex	MAC アドレス異常	不揮発性メモリの MAC アドレスが正しく読み出せませんでした	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-382
14340000Hex	Ethernet 処理異常	Ethernet 機能モジュールで致命的な異常を検出しました	• ハードウェア故障			○			SBCD-382
36010000Hex	Ethernet 基本設定エラー	Ethernet の設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			SBCD-382
36020000Hex	IP アドレス設定異常	IP アドレス設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • BOOTP サーバから取得した IP アドレスが不正 • メモリ異常			○			SBCD-382
36030000Hex	IP ルータテーブル設定異常	IP ルーチング機能設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			SBCD-382
36060000Hex	SNMP 設定エラー	SNMP エージェント／トラップの設定異常を検知しました	• 設定データ誤り • SNMP エージェント／トラップ設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			SBCD-382
36080000Hex	DNS 設定異常	DNS 設定、Hosts 設定の異常を検知しました	• 設定データ誤り • EtherNet/IP ポート設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			SBCD-382
85D00000Hex	IP アドレス重複異常	IP アドレスが重複しています	• EtherNet/IP ポートの IP アドレスが、他ノードの IP アドレスと重複している			○			SBCD-382
85D10000Hex	BOOTP サーバ接続失敗	BOOTP サーバとの接続に失敗しました	• サーバ設定の誤り • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			SBCD-382
85D40000Hex	受信バッファフルのためパケット廃棄	パケットの破棄が発生しました	• ネットワークの輻輳が発生				○		SBCD-382

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
85D50000Hex	リンクオフ検知	Ethernet のリンクオフを検知しました	• Ethernet ケーブルの断線、ゆるみ、はずれ • スイッチングハブの電源 OFF • 通信速度不一致 • ノイズ • Identity オブジェクトのリセットを実行 • Network Configurator や Sysmac Studio から Ethernet に関する設定のダウンロード／メモリオールクリア • EtherNet/IP ポートの再起動			⊙	○		SBCD-382
96440000Hex	リンクオン検知	Ethernet のリンク確立を検知しました	• Ethernet のリンク確立を検知した					○	SBCD-382
96470000Hex	IP アドレス決定	正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になりました	• 正しく IP アドレスが決定し、Ethernet 通信動作を開始できる状態になった					○	SBCD-382
96480000Hex	BOOTP クライアント起動	BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始しました	• BOOTP クライアントが IP アドレス取得のリクエストを開始した					○	SBCD-382
964B0000Hex	SNMP エージェント起動	SNMP エージェントが正常に稼働を開始しました	• SNMP エージェントが正常に稼働を開始した					○	SBCD-382
96500000Hex	IP アドレス変更	IP アドレスが変更されました	• IP アドレスが変更された					○	SBCD-382
96510000Hex	SNMP 設定変更	SNMP 設定が変更されました	• SNMP 設定が変更された					○	SBCD-382
96520000Hex	サブネットマスク変更	サブネットマスク設定が変更されました	• サブネットマスク設定が変更された					○	SBCD-382

● EtherNet/IP 機能関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
14210000Hex	Identity 情報異常	不揮発性メモリの CIP Identity 情報が正しく読み出せませんでした	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-382
34200000Hex	タグデータリンク設定エラー	タグデータリンク通信設定の異常を検知しました	• タグデータリンク設定のダウンロード中の電断 • メモリ異常			○			SBCD-382
34270000Hex	タグ解決異常	タグデータリンクに使用しているタグの解決に失敗しました	• ネットワーク変数とタグ設定でサイズが異なる • タグデータリンク設定入出力方向と、コントローラの変数の入出力方向が不一致 • コントローラにタグ設定に該当するネットワーク変数が存在しない • タグデータリンクに使用しているコントローラの変数の「ネットワーク公開属性」が「入力」であり、かつコンスタント属性である			○			SBCD-382

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84070000Hex	タグデータリンクコネクション確立失敗	タグデータリンクのコネクションの確立に失敗しました	• オリジネータとターゲットのタグデータリンクのコネクション情報が不一致 • コネクション数の不足 • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止 • CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をした（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合） • タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えた（NX シリーズ EtherNet/IP ユニットの場合）			○			SBCD-382
84080000Hex	タグデータリンクタイムアウト	タグデータリンクでタイムアウトが発生しました	• ターゲットノードの電源 OFF • ターゲットノードの通信停止 • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • EtherNet/IP ポートのリンクオフ • ターゲットノードの CIP メッセージ通信停止 • EtherNet/IP ポート設定の Packet Filter 機能が有効の場合にターゲットからのパケットが許可されていない • ターゲットノードおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない • ネットワーク通信負荷による、経路上でのパケット損失 • ノイズ			○			SBCD-382
84090000Hex	タグデータリンクコネクション確立タイムアウト	タグデータリンクのコネクション確立時にタイムアウトが発生しました	• ターゲットノードの電源 OFF • ターゲットノードの通信停止 • ターゲットノード、または EtherNet/IP ポートの CIP メッセージ通信停止 • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • ターゲットノードおよび経路上の機器の Firewall 機能、Packet Filter 機能で、CIP 通信が許可されていない • 通信経路の異常発生			○	⊙		SBCD-382

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
840C0000Hex	ユニット許容通信帯域幅オーバー	EtherNet/IP ポートの全ポートの合計で、タグデータリンクおよび CIP Safety 通信のユニット許容通信帯域幅を超えるコネクション設定／確立がされました	• EtherNet/IP ポートの全ポートで使用するタグデータリンクおよび CIP Safety 通信のパケット転送レートを合計した使用通信帯域幅(PPS)が、ユニット許容通信帯域幅を超える帯域幅でコネクション確立しようとした			○			SBCD-382
840E0000Hex	タグデータリンク タグセット設定数オーバー	EtherNet/IP ポートの全ポートのタグデータリンクのタグセット合計数が、上限を超えています	• EtherNet/IP ポートごとに設定されたタグデータリンクのタグセットの全ポートにおける合計数が、製品が許容する合計数を超えている			○			SBCD-382
342C0000Hex	CIP Safety 通信とタグデータリンク通信混在不可	同一の NX シリーズ EtherNet/IP ユニットで、タグデータリンク通信と CIP Safety 通信を混在して利用することはできません	• CIP Safety コネクションの設定に含まれる NX シリーズ EtherNet/IP ユニットに対し、タグデータリンク通信の設定をした • タグデータリンク通信が設定された NX シリーズ EtherNet/IP ユニットを、CIP Safety コネクションの設定に加えた				○		SBCD-382
54E00000Hex	変数範囲外アクセス検知	タグデータリンクに使用しているタグ変数に対して、範囲外の値のアクセスを検知しました	• 範囲指定した変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて範囲外の値を書き込んだ。または、列挙型の変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて列挙子以外の値を書き込んだ				○		SBCD-382
94010000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード開始）	タグデータリンク設定の変更が開始されました	• タグデータリンク設定の変更が開始された					○	SBCD-382
94020000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード完了）	タグデータリンク設定の変更が完了しました	• タグデータリンク設定の変更が完了した					○	SBCD-382
94030000Hex	タグデータリンク操作（起動停止）	Network Configurator や Sysmac Studio、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました	• Network Configurator や Sysmac Studio、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動停止の操作が行われた					○	SBCD-382

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
94040000Hex	タグデータリンク操作（起動開始）	Network Configurator や Sysmac Studio、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われました。または、Network Configurator や Sysmac Studio により、データリンクテーブルをダウンロードしました	• Network Configurator や Sysmac Studio、またはシステム定義変数の操作により、タグデータリンクの起動開始の操作が行われた					○	SBCD-382
94070000Hex	全タグデータリンク通信開始	すべてのノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立しました	• すべてのターゲットノードとのタグデータリンクコネクションが正常に確立した					○	SBCD-382
96450000Hex	通信ポートリスタート	EtherNet/IP ポートのリスタートが行われました	• EtherNet/IP ポートのリスタートが行われた					○	SBCD-382

A-2-2　EtherCAT スレーブの異常

以下のオムロン製 EtherCAT スレーブから NJ/NX シリーズに通知される異常（イベント）の一覧です。

- GX シリーズ EtherCAT スレーブ
- サーボ 1S（AC サーボドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ）
  形 R88M-1□、形 R88D-1SN□-ECT、形 R88D-1SAN□-ECT
- サーボ G5（AC サーボドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ）、
  G5 リニア（G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵リニアモータタイプ）
- インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）
- FH シリーズ 画像処理システム
- EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ
- ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）
- EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット E3NW-ECT 関連
- ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連

GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-350	GX シリーズ EtherCAT スレーブ ユーザーズマニュアル
SBCD-371	IO-Link システム ユーザーズマニュアル

● ブロック I/O 関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04A00000Hex	拡張異常	拡張ユニットが ON ライン中にはずれたか、本体と拡張との信号が切れました	• 拡張ユニットのはずれ • 拡張ユニットが故障した			○			SBCD-350
04A20000Hex	スレーブハードウェア異常	スレーブユニット内で、ハードウェア異常が発生	• スレーブユニットが故障した			○			SBCD-350
14A00000Hex	不揮発性メモリ制御系データ異常	制御パラメータ異常が発生しています	• ノイズ			○			SBCD-350 SBCD-385
24610000Hex	スイッチ設定異常	設定スイッチが設定範囲外です	• スイッチのアナログ範囲設定値が設定範囲外			○			SBCD-350
64CC0000Hex	断線検知	I/O 信号線が断線しています	• I/O 信号線のはずれ、接触不良 • I/O 信号線が断線している			○			SBCD-350
84A00000Hex	SII 照合異常	SII の照合異常が発生	• 制御基板に異常が発生した			○			SBCD-350 SBCD-385
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です	• 不揮発性メモリの故障 • ノイズ				○		SBCD-350 SBCD-385

● IO-Link マスタユニット関連

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 不揮発性メモリの故障。 • ノイズ			○			SBCD-371 SBCD-385
04A20000Hex	スレーブハードウェア異常	スレーブユニット内で、ハードウェア異常が発生	• スレーブユニットが故障した。			○			SBCD-371
14A00000Hex	不揮発性メモリ制御系データ異常	制御パラメータ異常が発生しています。	• ノイズ			○			SBCD-371 SBCD-385
847C0000Hex	デバイス構成照合異常	IO-Link マスタのポートに登録された IO-Link デバイスと異なるデバイスが接続された。	• IO-Link マスタのポートに登録された IO-Link デバイスと異なるデバイスが接続された。			○			SBCD-371 SBCD-385
84840000Hex	I/O ケーブル短絡	IO-Link マスタとデバイス間のケーブルが短絡しました。	• I/O ケーブルの短絡が発生した。 • IO-Link デバイスの故障。			○			SBCD-371 SBCD-385
84870000Hex	IO-Link 通信モジュール処理異常	IO-Link 通信モジュールでハードウェア故障が発生しました。	• ハードウェアの故障が発生しています。			○			SBCD-371
84A00000Hex	SII 照合異常	SII の照合異常が発生しました。	• 制御基板に異常が発生しました。			○			SBCD-371 SBCD-385
84790000Hex	デバイスイベント（エラーレベル）	IO-Link デバイスでエラーレベルのイベントが発生しました。	• CX-ConfiguratorFDT を使用し、IO-Link デバイスのイベントコードを確認してください。				○		SBCD-371 SBCD-385
847A0000Hex	IO-Link 通信異常	デバイスとの IO-Link 通信で異常が発生しました。	• I/O ケーブルの断線が発生した。または IO-Link デバイスがポートから離脱している。 • IO-Link デバイスの故障 • ノイズの影響を受けている。				○		SBCD-371 SBCD-385
84860000Hex	デバイスイベント（ワーニングレベル）	IO-Link デバイスでワーニングレベルのイベントが発生しました。	CX-ConfiguratorFDT を使用し、IO-Link デバイスのイベントコードを確認してください。				○		SBCD-371 SBCD-385
84820000Hex	IO-Link デバイス構成情報作成	IO-Link デバイスの構成情報を作成しました	• IO-Link デバイスの構成情報を作成した。					○	SBCD-371 SBCD-385
84850000Hex	I/O 電源 ON 検知	I/O 電源の投入を複数回検知しました。	• I/O 電源の投入を複数回検知しました。					○	SBCD-371

サーボ 1S（AC サーボドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ） 形 R88M-1□、形 R88D-1SN□-ECT、形 R88D-1SAN□-ECT

形 R88M-1□（AC サーボモータ）、形 R88D-1SN□-ECT（AC サーボドライバ）、形 R88D-1SAN□-ECT（AC サーボドライバ）で発生する異常（イベント）の一覧です。

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-377	AC サーボモータ／ドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル
SBCE-438	AC サーボモータ／ドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ 安全機能対応 ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04B30000Hex	電源投入時回生トランジスタ異常	電源投入時に回生トランジスタの異常を検出しました。	• 電源投入時の電源電圧が不足している、または立ち上がりが遅い • 電源投入時に電源電圧が変動した • L1,L2,L3 端子の未接続や断線 • N1,N2 端子がオープン • サーボドライバの故障			○			SBCE-377
04B50000Hex	突入電流防止回路異常	サーボドライバの突入電流防止回路の異常を検出しました。	サーボドライバの突入電流防止回路の故障			○			SBCE-377
04B60000Hex	回生回路異常	サーボドライバの回生回路の異常を検出しました。	• B2 と N2/N3 間が短絡している • サーボドライバの回生回路の故障 • 外部回生抵抗の配線へのノイズ			○			SBCE-377 SBCE-438
05430000Hex	ESC 異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラに異常が発生しました。	• AL ステータスコードが 0051Hex の場合、EtherCAT スレーブ通信コントローラ部の異常または誤検知 • AL ステータスコードが 0050Hex の場合、他社 EtherCAT マスタからの異常アクセス			○			SBCE-377 SBCE-438
08390000Hex	パワーモジュール異常	パワーモジュールで異常を検出しました。	• モータ線 U、V、W の短絡、地絡、接触不良 • 外部回生抵抗の配線が短絡している、または抵抗値が小さい • モータ線の U、V、W とモータのアース線との間の絶縁抵抗が絶縁不良 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
083B0000Hex	自己診断異常	セーフティ機能の自己診断により異常を検出しました。	• 過度なノイズ起因の読み取り異常による誤検知 • ハードウェアの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
083C0000Hex	主回路温度監視の回路故障	主回路にある温度監視回路の故障を検出しました。	サーミスタの断線、温度監視回路の故障			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
083D0000Hex	ファン異常	ファンの回転速度が40%以下となり、冷却能力が著しく低下しています。	• 冷却ファンに異物が引っかかりファンの回転を阻害している • 冷却ファンの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
083F0000Hex	回生処理異常	回生抵抗を保護するため、回生処理を停止しました。	• 回生処理の設定が不適切 • 回生抵抗の選定が不適切 • 連続的な回生制動の用途で使用している • 仕様より高い電源電圧を使用している • 回生抵抗の故障			○			SBCE-377 SBCE-438
08410000Hex	過電圧異常	主回路電源電圧（PN間電圧）が動作保証範囲を超えました。	• P-N 間電圧が規定値以上となった • 入力電圧が上昇した • 回生抵抗の断線 • 外部回生抵抗の設定または選定が不適切 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
08420000Hex	モータ過熱異常	モータの保護レベルを超える温度をエンコーダで検出しました。	• モータ周囲の温度が高い • モータが過負荷 • エンコーダの故障			○			SBCE-377
08430000Hex	1 回転内カウンタ異常	エンコーダが 1 回転内カウンタの異常を検出しました。	• 過度なノイズが発生した • 振動、衝撃、結露、異物混入などによる故障			○			SBCE-377 SBCE-438
08440000Hex	オーバースピード異常	エンコーダが速度超過を検出しました。	• 外力によりモータが回転した • エンコーダの故障および誤検知			○			SBCE-377
08450000Hex	エンコーダメモリ異常	エンコーダが不揮発性メモリの異常を検出しました。	• 過度なノイズ起因のデータ読み取り異常による誤検知 • 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
08460000Hex	絶対位置検出異常	エンコーダが多回転カウンタの異常を検出しました。	• エンコーダの多回転検出部で検出エラーを検知した • 過度なノイズが発生した			○			SBCE-377 SBCE-438
08480000Hex	主回路電源電圧不足（PN 間電圧不足）	サーボ ON 中に主回路電源電圧が、動作保証範囲を下回りました。	• 主回路電源線の配線ミス • サーボドライバに供給される電源電圧が低い • 瞬停保持時間の設定時間が長く、瞬間的に電圧が低下した • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
08490000Hex	過電流異常	モータに流れている電流が保護レベルを超えました。	• モータ線 U、V、W の短絡、地絡、接触不良 • 外部回生抵抗の配線が短絡している • モータ線の U、V、W とモータのアース線との間の絶縁抵抗が絶縁不良 • ノイズによる誤検知 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
084A0000Hex	エンコーダ通信断線異常	エンコーダとサーボドライバ間で通信の断線を検出しました。	• エンコーダ線へのノイズ • 信号ラインの接触不良、およびエンコーダ未接続 • エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダの故障			○			SBCE-377
084B0000Hex	エンコーダ通信異常	エンコーダから不正なデータを一定回数受信しました。	• エンコーダ線へのノイズ • 信号ラインの接触不良、およびエンコーダ未接続 • エンコーダの電源電圧不足			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
084D0000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です。	• 過度なノイズ起因のデータ読み取り異常による誤検知 • 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
086D0000Hex	モータ温度異常	モータの保護レベルを超える温度をエンコーダで検出しました。	• モータ周囲の温度が仕様外 • モータが過負荷 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
086E0000Hex	エンコーダ異常	エンコーダが位置情報の異常を検出しました。	• エンコーダへのノイズ • 機械的衝撃・エンコーダへの供給電源異常などによるハードウェア障害 • 信号ラインの接触不良 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
086F0000Hex	エンコーダ電源異常	エンコーダ電源の異常を検出しました。	• エンコーダ線へのノイズ • 信号ラインの接触不良 • エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
08700000Hex	エンコーダ自己診断異常	エンコーダの自己診断により異常を検出しました。	• 過度なノイズ起因のデータ読み取り異常による誤検知 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
08710000Hex	SF 入力端子内部回路異常	SF 入力端子内部回路の異常を検出しました。	• ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバのセーフティ入力回路の故障			○			SBCE-438
08720000Hex	SOPT 入力端子内部回路異常	SOPT 入力端子内部回路の異常を検出しました。	• ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバの SOPT 入力回路の故障			○			SBCE-438
08730000Hex	テスト出力端子内部回路異常	テスト出力端子内部回路の故障を検知しました。	• ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバのテスト出力回路の故障			○			SBCE-438
08740000Hex	SBC 出力端子内部回路異常	SBC 出力端子内部回路の異常を検出しました。	• ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバの SBC 出力回路の故障			○			SBCE-438
08750000Hex	オーバースピード異常	エンコーダが速度超過を検出しました。	• 外力によりモータが回転した • エンコーダの故障および誤検知			○			SBCE-438
08760000Hex	絶対値多回転カウンタ異常	エンコーダが多回転カウンタの異常を検出しました。	• 振動・衝撃・結露により、エンコーダの多回転検出機能の一時的な異常 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
08780000Hex	エンコーダ通信断線異常	エンコーダとサーボドライバ間で通信の断線を検出しました。	• エンコーダ線へのノイズ • 信号ラインの接触不良、および一体型ケーブル未接続 • エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダの故障			○			SBCE-438
18230000Hex	絶対値多回転カウンタ異常	エンコーダが多回転カウンタの異常を検出しました。	• 振動、衝撃、結露により、エンコーダの多回転検出機能の一時的な異常 • エンコーダの故障			○			SBCE-377

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
18380000Hex	システム異常	ハードウェアの自己診断による異常、およびソフトウェアによる致命的異常を検出しました。	• 過度なノイズ起因の読み取り異常による誤検知 • ソフトウェアによる致命的異常を検知 • ハードウェアの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
183A0000Hex	不揮発性メモリデータ異常	不揮発性メモリに保存されているデータの異常を検知しました。	• セーフティ以外のパラメータ保存中に電断またはノイズが発生 • モータの識別情報を保存中に電断またはノイズが発生 • セーフティのパラメータ保存中に電断またはノイズが発生			○			SBCE-377 SBCE-438
246D0000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています。	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-377 SBCE-438
28080000Hex	主回路電源欠相異常	主回路電源の欠相を検知しました	• 3 相入力のドライバに対し単相電源を入力するなどの配線違い • 単相／三相入力のサーボドライバに対し単相電源を入力した場合に、欠相検出が有効になっている • 電源電圧の低下、不足 • 主回路電源入力の断線 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
280D0000Hex	暴走検出	モータが指令と反対の方向に回転しました	• モータ線の配線間違い、ケーブル断線 • 外力によりモータが指令と反対方向に回転た			○			SBCE-377 SBCE-438
357D0000Hex	DC 設定異常	DC モードの動作設定に誤りがあります。	• DC モードの設定に誤りがある			○			SBCE-377 SBCE-438
357E0000Hex	同期周期設定異常	DC モード確定時に、サイクルタイムの指定が動作不可能な値に設定されました。	• 可変 PDO マッピングを使用しており、サイクルタイムに対する割り付けオブジェクト数の最大割り付け個数よりも多い • サイクルタイムの設定が不正			○			SBCE-377 SBCE-438
357F0000Hex	Mailbox 設定異常	SyncManager の MailBox 設定の不正を検知しました。	• SyncManager の MailBox 設定の不正を検知した			○			SBCE-377 SBCE-438
35800000Hex	RxPDO 設定異常	RxPDO 設定異常を検知しました。	• EtherCAT マスタの RxPDO 設定が不正 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
35810000Hex	TxPDO 設定異常	TxPDO 設定異常を検知しました。	• TxPDO 設定異常を検知しました。 • サーボドライバの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
35820000Hex	RxPDO マッピング異常	不正な RxPDO が設定されました。	• 許容範囲外の Index、Subindex、サイズなど、不正な RxPDO が設定された			○			SBCE-377 SBCE-438
35830000Hex	TxPDO マッピング異常	不正な TxPDO が設定されました。	• 許容範囲外の Index、Subindex、サイズなど、不正な TxPDO が設定された			○			SBCE-377 SBCE-438
35840000Hex	PDO WDT 設定異常	PDO WDT 設定の不正を検知しました。	• PDO WDT 設定の不正を検知した			○			SBCE-377 SBCE-438
35850000Hex	ノードアドレス更新	ノードアドレスが ID スイッチの値に変更されました。	• ノードアドレスが Sysmac Studio で設定した値から、ID スイッチの値に変更された			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
35860000Hex	SM イベントモード設定異常	サポートされていない SM イベントモードに設定されました。	• サポートされていない SM イベントモードに設定された			○			SBCE-377 SBCE-438
38570000Hex	機能設定異常	通信周期に対応していない機能が設定されました。	• 通信周期が 125 μs の場合に、電子ギア比が 1:1 でない • 通信周期が 125 μs の場合に、バックラッシュ補正機能が有効			○			SBCE-377 SBCE-438
38780000Hex	汎用入力割付重複異常	1 つの汎用入力に対し、複数の機能入力が割り付けられています。	• 複数の機能入力が 1 つの汎用入力に割り付けられている			○			SBCE-377 SBCE-438
38790000Hex	汎用出力割付重複異常	1 つの汎用出力に対し、複数の機能出力が割り付けられてい ます。	• 複数の機能出力が 1 つの汎用出力に割り付けられている			○			SBCE-377 SBCE-438
387B00000Hex	パルス出力設定異常	エンコーダ分周パルス出力の分周比分母が 0 以外で、分周比分子が分周比分母を超えました。	• エンコーダ分周パルス出力の分周比分母が 0 以外で、分周比分子が分周比分母を超えている			○			SBCE-377 SBCE-438
387C0000Hex	モータ交換検出	前回と異なるモータの接続を検出しました。	• モータを交換した • サーボドライバを交換した			○			SBCE-377 SBCE-438
387F0000Hex	電子ギア設定異常	電子ギア比が許容範囲を超えています。	• 電子ギア比が許容範囲を超えた			○			SBCE-377 SBCE-438
38800000Hex	ドライバ過熱	サーボドライバの内部温度が回路保護レベルを超えました。	• サーボドライバの周囲温度が規定値を超えている • 過負荷			○			SBCE-377 SBCE-438
38810000Hex	過負荷異常	サーボドライバまたはモータの負荷率(4150-81Hex)が100%を超えました。	• 負荷が高い状態で長時間運転を続けた • モータ線の配線間違い、ケーブル断線 • 摩擦の増加			○			SBCE-377 SBCE-438
38820000Hex	回生過負荷異常	回生負荷率(4130-81Hex)が設定された［回生］-［回生過負荷率］(4310-04Hex)を超えました。	• 回生処理の設定が不適切 • 回生抵抗の選定が不適切 • 連続的な回生制動の用途で使用している • 仕様より高い電源電圧を使用している • 回生抵抗の故障			○			SBCE-377 SBCE-438
38830000Hex	位置偏差過大異常	位置偏差が位置偏差過大レベルの設定値以上になりました。	• 指令に対してモータの動きが追従していない • 位置偏差過大レベルの値が小さい			○			SBCE-377 SBCE-438
38840000Hex	速度偏差過大異常	速度偏差が速度偏差過大検出レベルの設定値以上になりました。	• パラメータが適切な値でないため、指令に対しモータの動きが追従していない • 外力によりモータの出力軸の動きが制限されている • 速度偏差過大検出レベルの値が不適切			○			SBCE-377 SBCE-438
38850000Hex	速度超過異常	フィードバックモータ速度が速度超過検出レベルの設定値以上になりました。	• 速度指令値が大きすぎる • オーバーシュートが生じている • 外力によりモータが回転した			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
38860000Hex	位置偏差カウンタオーバーフロー	位置偏差の値が、-2147483648 ～ +2147483647 を超えました。	• 指令に対してモータの動きが追従していない • モータが外力によって回転、または動作を制限している			○			SBCE-377 SBCE-438
38870000Hex	絶対値カウンタオーバー異常	エンコーダの多回転カウンタが最大回転量を超えました。	• [エンコーダ] - [絶対値エンコーダ動作選択] (4510-01Hex) の設定値が不適切 • エンコーダの多回転数が最大回転量を超えた			○			SBCE-377 SBCE-438
38880000Hex	セーフティ通信設定異常	通信設定不正により、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• ウォッチドッグ時間の設定が不正 • ノイズによる通信失敗が発生したことにより、ウォッチドッグ時間内に処理が完了しない			○			SBCE-377 SBCE-438
38890000Hex	セーフティフレーム異常	不正なフレーム受信により、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• 不正なセーフティプロセスデータ通信確立フレームを受信した • 過度なノイズが発生した			○			SBCE-377 SBCE-438
388A0000Hex	セーフティパラメータ異常	不正なパラメータを受信したため、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• 指定しているセーフティスレーブの形式が不正			○			SBCE-377
388B0000Hex	FSoE スレーブアドレス異常	FSoE スレーブアドレスが不正なため、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• セーフティプロセスデータ通信設定のうち、FSoE スレーブアドレス値の設定がユニットと不一致			○			SBCE-377 SBCE-438
38980000Hex	セーフティ機能設定異常	不正なセーフティ機能の設定を検出しました。	• セーフティ機能の設定データが壊れている • 付属情報に登録されているセーフティ機能の設定が不正			○			SBCE-438
38990000Hex	セーフティパラメータ異常	不正なパラメータを受信したため、セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信確立に失敗しました。	• セーフティスレーブの形式指定が不正 • EhterCAT マスタのセーフティ機能の設定と、セーフティコントローラのセーフティアプリケーションデータが不整合			○			SBCE-438
48080000Hex	FPGA ウォッチドッグ異常	FPGA の異常を検知しました。	• 過度なノイズ起因の読み取り異常による誤検知 • ハードウェアの故障			○			SBCE-377 SBCE-438
64E30000Hex	駆動禁止入力異常	正負方向の駆動禁止入力(POT/NOT)が共に ON になりました。	• 正方向駆動禁止入力(POT)、負方向駆動禁止入力(NOT)に接続されたスイッチ、電線、電源、配線に異常が発生した • 制御用信号電源の投入タイミングが遅く誤検知をした			○			SBCE-377 SBCE-438
68200000Hex	駆動禁止検出	駆動禁止有効時に禁止方向への移動を検出したため、ユーザ設定に従い停止しました。	• 正方向駆動禁止入力(POT)、負方向駆動禁止入力(NOT)の配線間違い、断線 • 駆動禁止入力の設定間違い			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
68210000Hex	制御権解放異常	Sysmac Studio から特定機能を使用中に Sysmac Studio とサーボドライバの通信が途絶えました。	• Sysmac Studio と接続中に USB ケーブルまた EtherCAT ケーブルが抜けた • 過度なノイズが発生した • パソコンがビジー状態になるなどして、Sysmac Studio が送信している指令がドライバに送信されなかった			○			SBCE-377 SBCE-438
68220000Hex	異常停止入力	異常停止入力(ESTP)が有効になりました。	• 異常停止入力(ESTP)が入力された • 異常停止入力(ESTP)の配線間違い			○			SBCE-377 SBCE-438
68230000Hex	ソフトウェアリミットオーバー	フィードバック位置がソフトウェアリミット値の超過を検出し、ユーザ設定に従い停止しました。	• ソフトウェアリミット設定の誤り • ソフトウェアリミットの停止動作選択を「Fault reaction option code に従って停止」に設定している場合に、ソフトウェアリミット設定値を超えた			○			SBCE-377 SBCE-438
68370000Hex	SOPT 入力監視異常	SOPT 入力機器の設置不良、または動作不良を検出しました。	• SOPT 入力機器の設置位置のズレを検出した • ［デュアルチャネル監視距離］の設定が不適切 • ［セーフティ原点位置オフセット］の設定が不適切 • ［セーフティ原点位置誤差許容範囲］の設定が不適切 • ［SOPT 入力端子設定］が入力機器の仕様と異なる • SOPT1 または SOPT2 の通過速度が 200r/min を超えた • 入力機器の故障 • 入力機器接続ケーブルの断線			○			SBCE-438
68380000Hex	セーフティ機能異常	セーフティ機能使用上の問題を検出しました。	• SLP 機能：セーフティ原点が未確定 • SLP 機能：［デュアルチャネル監視距離］の設定値が不正 • SLP 機能：SOPT 入力機器接続ケーブルの断線 • SLS 機能：SLS コマンド指令の操作が不適切 • セーフティ位置・速度妥当性監視機能：指令に対してモータの動きが追従していない、またはオーバーシュートが大きい • セーフティ位置・速度妥当性監視機能：モータが外力によって回転、または動作を制限されている • SOPT 入力機器やエンコーダの故障			○			SBCE-438
68390000Hex	SF 入力端子デュアルチャネル監視異常	セーフティ入力１とセーフティ入力２の入力が一致しない状態を検出しました。	• SF ＋入力と DC24V 電源ラインの＋側が接触 • SF+入力の地絡 • SF+入力または SF-入力の断線 • SF1+入力と SF2+入力の短絡 • セーフティコントローラの設定が不適切または故障			○			SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
683A0000Hex	SBC リレー診断異常	SBC RFB 端子の誤配線または SBC 用セーフティリレーの故障を検出しました。	• セーフティリレーと SBC RFB 端子間の配線間違い • ［セーフティリレー OFF 動作遅れ時間］が不適切 • ［セーフティリレー有効］の設定が不適切 • SBC RFB 端子への誤配線 • セーフティリレーの故障			○			SBCE-438
683B0000Hex	SOPT 入力端子外部接続機器異常	SOPT 入力のテストパルス診断で異常を検出しました。	• SOPT 入力の配線と IOV 入力の配線が接触 • SOPT1 入力と SOPT2 入力の配線が短絡 • 外部接続機器の故障 • ［テストパルス診断］の設定が不適切			○			SBCE-438
683C0000Hex	テスト出力端子過電流異常	テスト出力端子で過電流を検出しました。	• テスト出力が IOG 入力に地絡 • 外部接続機器の故障			○			SBCE-438
683D0000Hex	テスト出力端子出力 ON 固着異常	テスト出力端子で ON 固着を検出しました。	• テスト出力の配線と IOV 入力の配線が接触 • SOPT1 入力と SOPT2 入力の配線が短絡 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバのテスト出力回路の故障			○			SBCE-438
683E0000Hex	SBC 出力端子過電流異常	SBC 出力端子で過電流を検出しました。	• SBC+出力が SBC CM 入力に地絡 • SBC−出力と SBC PS 入力の配線が接触 • 電源の出力が仕様範囲外 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバの SBC 回路の故障			○			SBCE-438
683F0000Hex	SBC 出力端子出力 ON 固着異常	SBC 出力端子で ON 固着を検出しました。	• SBC +出力と SBC PS 入力の配線が接触 • SBC−出力が IOG 入力に地絡 • ソフトエラーや過度なノイズなどの一過性要因によるメモリ異常または信号異常 • サーボドライバの SBC 回路の故障			○			SBCE-438
68400000Hex	IOV 電源電圧異常	IOV 電源の電圧異常を検出しました。	• IOV 電源が投入されていない • IOV 電源の過電圧			○			SBCE-438
68410000Hex	SBC 電源電圧異常	SBC 電源の電圧異常を検出しました。	• SBC 電源が投入されていない • SBC 電源の過電圧			○			SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
68420000Hex	監視制限値超過異常	セーフティ監視機能で監視異常を検出しました。	a. セーフティ監視機能の監視範囲を超えた • SOS 機能:セーフティ現在パルス位置が SOS 停止位置範囲を超えた、またはセーフティ現在モータ速度が SOS 停止速度範囲を超えた • SLS 機能:セーフティ現在モータ速度が SLS 速度監視範囲を超えた • SLP 機能:セーフティ現在位置が SLP 監視上限位置と SLP 監視下限位置で示す範囲を超えた • SDI 機能：回転制限方向に対してセーフティ現在モータ速度が SDI 停止速度範囲を超えた、または回転制限方向に対してセーフティ現在パルス位置が SDI 停止位置範囲を超えた b. セーフティ位置・速度妥当性監視機能：使用しているセーフティ監視機能の監視制限値または制限範囲がセーフティ位置・速度妥当性監視の位置許容範囲より小さい			○			SBCE-438
78200000Hex	パルス出力過速度異常	エンコーダ分周パルス出力機能が出力できる周波数を超える速度が検知されました。	• 分周比の設定が実際の使用状況に対し不適切			○			SBCE-377 SBCE-438
78210000Hex	ブレーキインターロック異常	ブレーキインターロック出力(BKIR)が、サーボ OFF 時タイムアウトにより出力されました。	• モータ回転中にサーボ OFF する場合に、モータの回転速度がユーザが設定したサーボ OFF 時タイムアウト内にサーボ OFF 監視速度以下にならず、ブレーキインターロック出力(BKIR)を出力した			○			SBCE-377 SBCE-438
78230000Hex	コマンド異常	コマンドの使用方法に誤りがあります。	• ステータスワードのビット 9(Remote)が「1：remote」で、サーボドライバが Operation enabled 状態（サーボ ON）のときに通信状態が Op からほかの状態(Init、Pre-OP、Safe-OP)への遷移コマンドを受信した • 原点復帰動作中に hm モード以外のオペレーションモードが設定された • 通信周期が 250us 未満の場合に、pp、pv または hm モードにオペレーションモードが設定された			○			SBCE-377 SBCE-438
84B10000Hex	EtherCAT 状態遷移異常	現在の通信状態から遷移できない通信状態遷移コマンドを受信しました。	• 現在の通信状態から遷移できない通信状態遷移コマンドを受信した			○			SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84B20000Hex	EtherCAT 不正状態遷移異常	未定義の通信状態遷移コマンドを受信しました。	• 未定義の通信状態遷移コマンドを受信した			○			SBCE-377 SBCE-438
84B40000Hex	同期異常	同期通信するための信号を検知できませんでした。	• ノイズ • EtherCAT スレーブ通信コントローラ部の異常			○			SBCE-377 SBCE-438
84B50000Hex	シンクマネージャウォッチドッグ異常	PDO 通信が EtherCAT マスタから設定された許容時間以上途絶えました。	• EtherCAT 通信ケーブルの抜け、ゆるみ、断線 • 上位コントローラの異常			○			SBCE-377 SBCE-438
84B60000Hex	ESC 初期化異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラの初期化に失敗しました。	• EtherCAT スレーブ通信コントローラの不揮発性メモリが不正に書き換えられた • EtherCAT スレーブ通信コントローラ部の故障			○			SBCE-377 SBCE-438
84B70000Hex	SII 照合異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラの SII データに異常があります。	• EtherCAT スレーブ通信コントローラの不揮発性メモリが不正に書き換えられた • EtherCAT スレーブ通信コントローラ部の故障または誤検知			○			SBCE-377 SBCE-438
84B90000Hex	同期割込異常	一定時間内に同期割り込みが発生しませんでした。	• 上位コントローラの EtherCAT 同期設定が間違っている • EtherCAT スレーブ通信コントローラ部の故障または誤検知			○			SBCE-377 SBCE-438
84BA0000Hex	Bootstrap 状態遷移要求異常	対応していない Bootstrap 状態への遷移要求がありました。	• EtherCAT マスタから未サポートの Bootstrap 遷移要求を行った			○			SBCE-377 SBCE-438
88100000Hex	通信同期異常	EtherCAT マスタとの同期が取れないため、連続して通信に失敗しました。	• PDO 通信中の上位コントローラの電源断 • EtherCAT 通信ケーブルの抜け、ゆるみ、断線、接触不良 • ノイズ			○			SBCE-377 SBCE-438
88120000Hex	セーフティ通信タイムアウト	セーフティ CPU ユニットとのセーフティプロセスデータ通信で通信タイムアウトが発生しました。	• 設定不正。セーフティ CPU ユニットのセーフティタスク周期が小さすぎる値に設定されている • 過度なノイズが発生した • セーフティ CPU ユニット、あるいはセーフティスレーブがセーフティプロセスデータ通信を継続できない状態に遷移した			○			SBCE-377 SBCE-438
98200000Hex	絶対値クリア	絶対値エンコーダの多回転クリアを実行しました。	• 絶対値エンコーダの多回転クリアを実行した			○			SBCE-377 SBCE-438
081C0000Hex	コンデンサ寿命警告	サーボドライバに内蔵しているコンデンサが寿命時間に達しました。	• サーボドライバ内のコンデンサの使用時間が寿命時間を超えた				○		SBCE-377 SBCE-438
081D0000Hex	突入電流防止リレー寿命警告	サーボドライバに内蔵している突入電流防止リレーが寿命回数に達しました。	• サーボドライバ内の突入電流防止リレーの使用回数が寿命回数を超えた				○		SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
081F0000Hex	ブレーキインターロック出力リレー寿命警告	サーボドライバに内蔵しているブレーキインターロック出力(BKIR)リレーが寿命回数に達しました。	• サーボドライバ内のブレーキインターロック出力の使用回数が寿命回数を超えた				○		SBCE-377
083A0000Hex	エンコーダ通信警告	エンコーダ通信異常の連続発生回数が規定値を超えました。	• エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダ線へのノイズ • エンコーダケーブルの接触不良				○		SBCE-377
08470000Hex	エンコーダ寿命警告	エンコーダが寿命に近づいています。	• 一過性のノイズ • エンコーダの寿命				○		SBCE-377 SBCE-438
084C0000Hex	ファン回転警告	ファンの回転速度が80%以下となり、冷却能力が低下しています。	• 冷却ファンに異物が引っかかりファンの回転を阻害している • 冷却ファンの故障				○		SBCE-377 SBCE-438
084E0000Hex	絶対値カウンタオーバー警告	エンコーダの多回転カウンタがユーザが設定した［エンコーダ］-［絶対値カウンタオーバー警告レ ベル］(4510-02Hex)を超えました。	• ［エンコーダ］-［絶対値エンコーダ動作選択］(4510-01Hex)の設定値が不適切 • エンコーダの多回転数が警告レベルを超えた				○		SBCE-377 SBCE-438
08770000Hex	セーフティリレー寿命警告	SBC 用セーフティリレーが寿命回数に達しました。	SBC 用セーフティリレーの使用回数が［セーフティーリレー寿命警告検出しきい値］を超えた				○		SBCE-438
18390000Hex	寿命情報破損警告	保存している寿命情報の異常を検出しました。	• 電源投入時に、寿命情報の破損を検出した				○		SBCE-377 SBCE-438
34E00000Hex	データ設定警告	オブジェクトの設定値が範囲外です。	• オブジェクトの設定値が範囲外				○		SBCE-377 SBCE-438
387A0000Hex	過負荷警告	サーボドライバまたはモータの負荷率(4150-81Hex)が設定された［過負荷］-［警告通知レベル］(4150-01Hex)を超えました。	• 負荷が高い状態で長時間運転を続けた • モータ線の配線間違い、ケーブル断線 • 摩擦の増加				○		SBCE-377 SBCE-438
387D0000Hex	回生過負荷警告	［回生負荷率］(4310-81Hex)が設定された［回生］-［異常通知回生負荷率］(4310-04Hex)の85%を超えました。	• 回生処理の設定が不適切 • 回生抵抗の選定が不適切 • 連続的な回生制動の用途で使用されている • 仕様より高い電源電圧を使用している • 回生抵抗の故障				○		SBCE-377 SBCE-438
387E0000Hex	モータ発振警告	設定された［発振検出］-［検出レベル］(3B70-01Hex)以上のモータの発振を検知しました。	• 制御パラメータが不適切 • 機械系の緩みや摩耗により剛性が下がった				○		SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
78220000Hex	コマンド警告	コマンドが実行できませんでした。	• 「Switch on」コマンドを受信した • 「Enable operation」コマンドを受信した • 駆動禁止入力またはソフトウェアリミット機能による即時停止後に駆動禁止方向への動作指令を受信した • 原点復帰を開始した • プロファイル位置モード時に位置決め開始を受信した				○		SBCE-377 SBCE-438
84B00000Hex	EtherCAT 通信警告	EtherCAT 通信異常が 1 回以上発生しました。	• EtherCAT 通信ケーブルの接触不良、接続間違い、断線 • ノイズ				○		SBCE-377 SBCE-438
90A00000Hex	ユニットリスタート	リスタートを実行しました。	リスタートを実行した					○	SBCE-377 SBCE-438
98210000Hex	STO 検出	セーフティ入力信号、もしくは EtherCAT 通信経由でセーフティ入力 OFF 状態を検出しました	• 配線のはずれ、断線 • EtherCAT 通信で STO 入力が OFF になった					○	SBCE-377
98220000Hex	メモリオールクリア	ユニットの設定をクリアしました。	• メモリオールクリアを実行した					○	SBCE-377 SBCE-438
98230000Hex	モータ回転方向選択不一致	［モータ回転方向選択］と［セーフティモータ回転方向選択］の不一致を検出しました。	［モータ回転方向選択］と［セーフティモータ回転方向選択］の設定が異なっている					○	SBCE-438
98240000Hex	イベントログクリア	イベントログをクリアしました。	イベントログクリアを実行した					○	SBCE-377 SBCE-438
98250000Hex	STO 検出	セーフティ入力信号、もしくは EtherCAT 通信経由でセーフティ入力 OFF 状態を検出しました。	• セーフティ入力の配線のはずれ、断線 • セーフティコントローラのセーフティプログラムのミス • セーフティ入力信号からトルクオフ要求を検出した • EtherCAT 通信からの指令によりトルクオフ要求を検出した					○	SBCE-438

サーボ G5（AC サーボドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ）、G5 リニア（G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵リニアモータタイプ）関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-365	AC サーボモータ／ドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル
SBCE-366	AC サーボモータ／ドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵リニアモータタイプ ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04A80000Hex	制御電源不足電圧	制御電源コンバータ部の P-N 間電圧が規定値以下になりました	• 電源電圧不足。または主電源 ON 時の突入電流により、電源電圧が低下した • 瞬時停電の発生 • サーボドライバの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
04A90000Hex	過電圧	電源電圧が許容入力電圧範囲を超えました	• コンバータ部の P-N 間電圧が規定値以上となった • 進相コンデンサや、UPS（無停電電源装置）による電圧の跳ね上がり • 回生抵抗の断線 • 外付け回生抵抗が不適切 • サーボドライバの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
04AA0000Hex	主回路電源不足電圧（PN 間電圧不足）	不足電圧エラー選択(3508Hex)=1 の場合に、L1-L3 間が瞬停保持時間で設定された時間以上瞬停または電圧低下しました。またはサーボ ON 中に主電源コンバータ部の P-N 間電圧が低下し、規定値以下になりました	• 電源容量不足 • 主回路電源の電磁接触器が落ちた • 瞬時停電の発生 • 三相入力仕様のサーボドライバが単相電源で運転された • サーボドライバの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
04AB0000Hex	主回路電源不足電圧（AC 遮断検出）	不足電圧エラー選択(3508Hex)=1 の場合に、L1-L3 間が瞬停保持時間で設定された時間以上瞬停または電圧低下しました。またはサーボ ON 中に主電源コンバータ部の P-N 間電圧が低下し、規定値以下になりました	• 電源容量不足 • 主回路電源の電磁接触器が落ちた • 瞬時停電の発生 • 三相入力仕様のサーボドライバが単相電源で運転された • サーボドライバの故障			○			SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04AC0000Hex	過電流	コンバータ部に流れる電流が規定値を超えました	• モータ線 U,V,W の短絡、地絡、接触不良、絶縁不良 • サーボドライバの故障 • 頻繁なサーボ ON・OFF による、ダイナミックブレーキ用のリレーの溶着 • モータ焼損 • モータがサーボドライバに適用していない • 指令入力とサーボ ON のタイミングが同時か指令入力の方が早い			○			SBCE-365 SBCE-366
04AD0000Hex	IPM 異常	コンバータ部に流れる電流が規定値を超えました	• モータ線 U,V,W の短絡、地絡、接触不良、絶縁不良 • サーボドライバの故障 • 頻繁なサーボ ON・OFF による、ダイナミックブレーキ用のリレーの溶着 • モータ焼損 • モータがサーボドライバに適用していない • 指令入力とサーボ ON のタイミングが同時か指令入力の方が早い			○			SBCE-365 SBCE-366
04AE0000Hex	回生 Tr 異常	サーボドライバの回生駆動用 Tr が故障しました	• サーボドライバの回生駆動用 Tr の故障			○			SBCE-365 SBCE-366
04AF0000Hex	エンコーダ Z 相異常	シリアルインクリメントエンコーダの Z 相のパルス抜けを検出しました	• エンコーダの故障			○			SBCE-365
04B00000Hex	エンコーダ CS 信号異常	シリアルインクリメントエンコーダの CS 信号の論理異常を検出しました	• エンコーダの故障			○			SBCE-365
04B10000Hex	ノードアドレス設定異常	ノードアドレス設定用ロータリスイッチの値が範囲外（00～99 以外）として読まれました	• サーボドライバの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
04B20000Hex	その他異常	サーボドライバの誤動作、またはサーボドライバの内部に何らかの異常が発生しました。	• 制御回路が過大なノイズにより一時的に誤動作した。 • サーボドライバの自己診断機能によりサーボドライバ内部に何らかの異常が検出された。			○			SBCE-366
08080000Hex	エンコーダ通信断線異常	エンコーダとサーボドライバの通信が一定回数途絶え、断線検出機能が動作しました	• エンコーダ線の結線ミス			○			SBCE-365
08090000Hex	エンコーダ通信異常	エンコーダが通信異常です	• エンコーダの電源電圧の低下 • ノイズ			○			SBCE-365
080A0000Hex	エンコーダ通信データ異常	エンコーダ通信のデータが異常です	• エンコーダの電源電圧の低下 • ノイズ			○			SBCE-365

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
080B0000Hex	セーフティ入力異常	セーフティ入力 1 またはセーフティ入力 2 の少なくとも一方の入力フォトカプラが OFF になりました	• 配線のはずれ、断線			○			SBCE-365 SBCE-366
080C0000Hex	外部スケール結線異常	外部スケールとサーボドライバの通信が一定の回数途絶え、断線検出機能が動作しました	• 配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366
080D0000Hex	外部スケール通信データ異常	外部スケールからのデータが通信異常になりました	• 外部スケールの電源電圧不足 • ノイズ			○			SBCE-365 SBCE-366
080E0000Hex	外部スケールステータス異常 0	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 00 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 00 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
080F0000Hex	外部スケールステータス異常 1	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 01 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 01 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
08100000Hex	外部スケールステータス異常 2	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 02 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 02 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
08110000Hex	外部スケールステータス異常 3	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 03 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 03 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
08120000Hex	外部スケールステータス異常 4	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 04 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 04 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
08130000Hex	外部スケールステータス異常 5	外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 05 が「1」になりました	• 外部スケールのエラーコード(ALMC)のビット 05 が「1」になった			○			SBCE-365 SBCE-366
08140000Hex	A 相結線異常	外部スケールの A 相結線に断線等の異常が発生しました	• 外部スケールの A 相結線に断線等の異常が発生した			○			SBCE-365 SBCE-366
08150000Hex	B 相結線異常	外部スケールの B 相結線に断線等の異常が発生しました	• 外部スケールの B 相結線に断線等の異常が発生した			○			SBCE-365 SBCE-366
08160000Hex	Z 相結線異常	外部スケールの Z 相結線に断線等の異常が発生しました	• 外部スケールの Z 相結線に断線等の異常が発生した			○			SBCE-365 SBCE-366
08170000Hex	エンコーダデータ復元異常	セミクローズ制御かつ絶対値モード時において内部位置情報の初期化処理が正常に行われませんでした	• エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダ線へのノイズ			○			SBCE-365
08180000Hex	外部スケールデータ復元異常	フルクローズ制御かつ絶対値モード時において内部位置情報の初期化処理が正常に行われませんでした	• 外部スケールの電源電圧不足 • 外部スケール線へのノイズ			○			SBCE-365

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
14A80000Hex	オブジェクト異常	不揮発性メモリのオブジェクト保存エリアのデータが壊れています	• ノイズ • 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
14A90000Hex	オブジェクト異常	不揮発性メモリのオブジェクト保存エリアのデータが壊れています	• ノイズ • 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
14AA0000Hex	オブジェクト異常	不揮発性メモリのオブジェクト保存エリアのデータが壊れています	• ノイズ • 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
14AB0000Hex	オブジェクト破壊	不揮発性メモリの書き込み確認データが壊れています	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
14AC0000Hex	オブジェクト破壊	不揮発性メモリの書き込み確認データが壊れています	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
14AD0000Hex	オブジェクト破壊	不揮発性メモリの書き込み確認データが壊れています	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCE-365 SBCE-366
18200000Hex	絶対値オーバースピード異常	停電時、バッテリ電源のみが供給されているときに、モータ回転速度が規定値を超えました	• エンコーダの電源電圧不足 • コネクタ CN2 の接続の誤り • サーボ OFF 中にモータが外からの力により回転している			○			SBCE-365
18210000Hex	エンコーダ初期化異常	エンコーダの初期化時に異常を検出しました	• サーボモータの故障			○			SBCE-365
18220000Hex	絶対値 1 回転カウンタ異常	エンコーダが 1 回転カウンタの異常を検出しました	• サーボモータの故障			○			SBCE-365
18230000Hex	絶対値多回転カウンタ異常	エンコーダが多回転カウンタの異常を検出しました	• サーボモータの故障			○			SBCE-365
24680000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-365
24690000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-365
246A0000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-365
246B0000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-365
246C0000Hex	モータ不一致	サーボドライバとモータの組み合わせが間違っています	• サーボドライバとモータの組み合わせが間違っている			○			SBCE-365
28010000Hex	モータ設定異常	モータや外部スケールに関する設定がされていません。	モータや外部スケールに関する設定がされていない。			○			SBCE-366
28020000Hex	モータ組合せ異常 1	モータ電流の設定値がサーボドライバの最大モータ容量を超えています。	モータ定格実効電流／瞬時最大電流が、サーボドライバの最大モータ容量を超えている。			○			SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
28030000Hex	モータ組合せ異常 2	モータの設定値がモータを駆動できる範囲を超えています	• モータ定格実効電流がサーボドライバの最大モータ容量に対して小さすぎる。 • モータ定格推力に対するモータ可動子質量の比が大きすぎる。 • 自動調整された電流比例、積分ゲインが大きすぎる。 • モータ定格電流に対するモータ瞬時最大電流の比が 500% より大きい。			○			SBCE-366
34E10000Hex	ドライバ過熱	サーボドライバの放熱器、パワー素子の温度が規定値以上になりました	• サーボドライバの周囲温度が規定値を超えている • 過負荷			○			SBCE-365 SBCE-366
34E20000Hex	過負荷	トルク／推力指令の実動値が過負荷検出レベル設定(3512Hex)で設定している過負荷レベルを超え、過負荷特性に基づき過負荷保護に至りました	• 過負荷で長時間運転を続けた • モータ線の配線間違い、ケーブル断線			○			SBCE-365 SBCE-366
34E30000Hex	回生過負荷	回生エネルギが回生抵抗の処理能力を超えました	• 負荷イナーシャ／負荷質量が大きい。またはモータ回転数／速度が高いため、所定の減速時間で回生エネルギを吸収しきれない • 連続的な回生制動の用途で使用している。（外付け抵抗の動作限界が 10%デューティーに制限されている）			○			SBCE-365 SBCE-366
34E40000Hex	偏差カウンタオーバー	位置偏差パルスが偏差カウンタオーバーレベル(6065Hex)の設定を超えています	• 指令に対してモータの動きが追従していない • 偏差カウンタオーバーレベル(6065Hex)の値が小さい • エンコーダ／外部スケールの配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366
34E50000Hex	速度偏差過大異常	内部位置指令速度と実速度との差（速度偏差）が速度偏差過大設定(3602Hex)の設定値を超えています	• 指令に対してモータの動きが追従していない • 速度偏差過大設定(3602Hex)の設定値が小さい			○			SBCE-365 SBCE-366
34E60000Hex	過速度	モータの回転速度／速度が過速度検出レベル設定(3513Hex)の設定値を超えました	• 速度指令値が大きすぎる • オーバーシュートが生じている • 配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366
383F0000Hex	ハイブリッド偏差過大異常	フルクローズ制御時に、外部スケールによる負荷の位置とエンコーダによるモータの位置が、ハイブリッド偏差カウンタオーバーレベル(3328Hex)で設定されたパルス数以上ずれました	• 接続の間違い • 設定の間違い			○			SBCE-365

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
38400000Hex	第 2 過速度	モータの回転速度／速度が即停止時過速度検出レベル設定(3615Hex)の設定値を超えました	• 速度指令値が大きすぎる • オーバーシュートが生じている • 配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366
38410000Hex	指令異常	位置指令変化量（電子ギア後の値）が規定値を超えました	• 位置指令変化が大きすぎる • バックラッシュ補正量が大きすぎる			○			SBCE-365 SBCE-366
38420000Hex	指令生成異常	位置指令生成処理にて演算範囲を超えるなどの異常が発生しました	• 位置指令生成処理にて演算範囲を超えるなどの異常が発生した			○			SBCE-365 SBCE-366
38430000Hex	偏差カウンタオーバーフロー 1	絶対値エンコーダ／絶対値スケール位置[パルス単位]／電子ギア比の値が $\pm 2^{31}$(2147483648)を超えました	• 絶対値エンコーダ／絶対値スケール位置[パルス単位]／電子ギア比の値が $\pm 2^{31}$(2147483648)を超えた			○			SBCE-365 SBCE-366
38440000Hex	偏差カウンタオーバーフロー 2	パルス単位の位置偏差の値が $\pm 2^{29}$(536870912)を超えました。または、指令単位の位置偏差の値が $\pm 2^{30}$(1073741824)を超えました	• トルク／推力不足 • ゲイン不足 • エンコーダ／外部スケール線の配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366
38450000Hex	インタフェース入力重複割付異常 1	入力信号(IN1,IN2,IN3,IN4)の機能割付に重複設定があります	• 入力信号(IN1,IN2,IN3,IN4)の機能割付で重複設定あり			○			SBCE-365 SBCE-366
38460000Hex	インタフェース入力重複割付異常 2	入力信号(IN5,IN6,IN7,IN8)の機能割付に重複設定があります	• 入力信号(IN5,IN6,IN7,IN8)の機能割付で重複設定あり			○			SBCE-365 SBCE-366
38470000Hex	インタフェース入力機能番号異常 1	入力信号(IN1,IN2,IN3,IN4)の機能割付で未定義番号の指定があります。または論理設定に異常があります	• 入力信号(IN1,IN2,IN3,IN4)の機能割付で未定義番号の指定あり • 入力信号(IN1,IN2,IN3,IN4)の機能割付で、同じ機能に対して異なる論理の設定あり			○			SBCE-365 SBCE-366
38480000Hex	インタフェース入力機能番号異常 2	入力信号(IN5,IN6,IN7,IN8)の機能割付で未定義番号の指定があります。または論理設定に異常があります	• 入力信号(IN5,IN6,IN7,IN8)の機能割付で未定義番号の指定あり • 入力信号(IN5,IN6,IN7,IN8)の機能割付で、同じ機能に対して異なる論理の設定あり			○			SBCE-365 SBCE-366
38490000Hex	インタフェース出力機能番号異常 1	出力信号(OUTM1)の機能割付で未定義番号の指定があります	• 出力信号(OUTM1)の機能割付で未定義番号の指定あり			○			SBCE-365 SBCE-366
384A0000Hex	インタフェース出力機能番号異常 2	出力信号(OUTM2)の機能割付で未定義番号の指定があります	• 出力信号(OUTM2)の機能割付で未定義番号の指定あり			○			SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
384B0000Hex	ラッチ入力割付異常	ラッチ入力の機能割付に異常があります	• ラッチ入力を入力信号 IN5、IN6、IN7 以外に割り付けている • ラッチ入力を b 接点に割り付けている • 1 つのピンに対して、すべての制御モードに同じラッチ入力を割り付けていない			○			SBCE-365 SBCE-366
384C0000Hex	オーバーランリミット異常	位置指令入力範囲に対して、モータがオーバーランリミット設定(3514Hex)で設定されるモータ動作可能範囲を超えました	• ゲイン、イナーシャ比／質量比が不適切 • オーバーランリミット設定(3514Hex)の設定値が小さい			○			SBCE-365 SBCE-366
384D0000Hex	絶対値システムダウン異常	エンコーダへの供給電源、バッテリ電源がダウンし、内蔵のコンデンサ電圧が規定値以下になりました	• エンコーダへの供給電源、バッテリ電源がダウンし、内蔵のコンデンサ電圧が規定値以下となった			○			SBCE-365
384E0000Hex	絶対値カウンタオーバー異常	エンコーダの多回転カウンタが規定値を超えました	• 絶対値エンコーダ使用動作切り替えの設定値が大きすぎる • 機械原点からの移動量が 32767 回転を超えた			○			SBCE-365
384F0000Hex	オブジェクト設定異常 1	電子ギア比が許容範囲を超えました	• 電子ギア比が許容範囲を超えた			○			SBCE-365 SBCE-366
38500000Hex	オブジェクト設定異常 2	外部スケール比が許容範囲を超えました	• 外部スケール比が許容範囲を超えた			○			SBCE-365 SBCE-366
38510000Hex	外部スケール接続異常	外部フィードバックパルスタイプ選択(3323Hex)での設定値と、接続しているシリアル通信タイプ外部スケールとのタイプが合っていません	• 外部フィードバックパルスタイプ選択(3323Hex)での設定値と、接続しているシリアル通信タイプ外部スケールとのタイプが合っていない			○			SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
38520000Hex	機能設定異常	通信周期に対応していない機能が設定されました	• 通信周期設定が 500 μs の時に電子ギアオブジェクト比が 1:1 でない • 通信周期設定が 500 μs の時に 6060Hex(Modes of operation)に pp、hm モードを設定した • フルクローズ制御モード時に RxPDO に 12 バイトを超えるマッピングを設定した（シリンダタイプの場合のみ） • フルクローズ制御モード時に通信周期設定が 1ms、かつ電子ギアパラメータ比が 1:1 でない時に 6060Hex(Modes of operation)に pp、hm モードを設定した（シリンダタイプの場合のみ） • RxPDO のマッピングのバイト数（個数）が 0 バイト（0 個） • 11 個以上のオブジェクトが RxPDO にマッピングされた • 12 個以上のオブジェクトが TxPDO にマッピングされた • 通信周期設定が 500 μs の時、または、電子ギアオブジェクト比が 1:1 でない時に 4020h（csp 切替用基準位置）が TxPDO にマッピングされた（シリンダタイプの場合のみ）			○			SBCE-365 SBCE-366
38530000Hex	磁極位置推定異常 1	磁極位置推定が正常に完了しませんでした。	• 外部スケールに関する設定が間違っている。 • 磁極位置推定時の指令時間、または指令推力が不足している。 • 偏荷重、摩擦が大きい。			○			SBCE-366
38540000Hex	磁極位置推定異常 2	磁極位置推定モータ停止制限時間以内にモータが停止しなかったため、磁極位置推定が正常に完了しませんでした。	• 実際のモータ停止時間に対し磁極位置推定モータ停止制限時間(3927Hex)の設定値が小さい。 • 推力をかけなくてもモータが動いている。			○			SBCE-366
38550000Hex	磁極位置推定異常 3	磁極位置復元が正常に完了しませんでした。	• 1 度も磁極位置推定を実行していない状態で磁極検出方式選択(3920Hex)に「3：磁極位置復元方式」が設定された。 • 絶対値タイプ以外の外部スケール使用時に、磁極検出方式選択(3920Hex)に「3：磁極位置復元方式」が設定された。			○			SBCE-366
38560000Hex	モータ自動設定異常	ロック動作実行または FFT 測定準備実行のモータに電流印加時に電流がオーバーシュートしました	自動設定実行前の電流比例ゲイン、電流積分ゲインの値が大きい			○			SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64E00000Hex	駆動禁止入力異常 1	駆動禁止入力選択(3504Hex)=0 の場合に正転側／正方向側、または逆転側／負方向側駆動禁止入力(POT/NOT)が共にONとなりました。または、駆動禁止入力選択(3504Hex)=2の場合に正転側／正方向側、または逆転側／負方向側駆動禁止入力のいずれかがONとなりました	• 正転側／正方向側、または逆転側／負方向側駆動禁止入力に接続されたスイッチ、電線、電源に異常が発生しました			○			SBCE-365 SBCE-366
64E10000Hex	駆動禁止入力異常 2	駆動禁止入力選択(3504Hex)=0 でEtherCAT 通信が遮断状態かつPOT/NOT のいずれかが ON している状態にて CX-Drive による動作指令（試運転、FFT など）を受信しました。またはにCX-Drive による動作指令で動作中にPOT/NOT が ON しました	• 正転側／正方向側、または逆転側／負方向側駆動禁止入力に接続されたスイッチ、電線、電源に異常が発生しました			○			SBCE-365 SBCE-366
64E20000Hex	即停止入力異常	即停止入力(STOP)が入力されました	• 即停止入力(STOP)が入力された • 即停止入力(STOP)の配線間違い			○			SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74810000Hex	コマンド異常	コマンドの使用方法に誤りがあります	• 6041Hex:ステータスワードのビット 09(Remote)が「1:remote」で、サーボドライバが Operation enabled 状態（サーボ ON）のときに通信状態がオペレーショナル状態からほかの状態（初期化状態／プレオペレーショナル状態／セーフオペレーショナル状態）へ遷移するコマンドを受信した • 6041Hex:ステータスワードのビット 09(Remote)が「0:local」で、FFT・試運転動作中に ESM 状態がオペレーショナル状態／セーフオペレーショナル状態／プレオペレーショナル状態から初期化状態へ遷移するコマンドを受信した • 6060Hex:オペレーションモードに未対応番号が設定された • フルクローズ制御時に 6060Hex:オペレーションモードに csv または cst が設定された（シリンダタイプの場合のみ） • 6060Hex:オペレーションモードが 2ms より短い間隔で切り替えられた • 6098Hex:原点復帰方法の設定が 8、12、19、20、33、34、35 以外原点復帰動作が開始された • 3781Hex:データ設定警告検出回数で設定された回数、連続してデータ設定警告(B0Hex)が発生した			○			SBCE-365 SBCE-366
78010000Hex	動作指令競合	ドライバ単体で動作する FFT、試運転実行中に EtherCAT 通信が確立したか、コントローラからサーボ ON(Enable operation)しようとしました	• ドライバ単体で動作する FFT、試運転実行中に EtherCAT 通信（初期化状態→プレオペレーショナル状態への遷移）が確立したか、コントローラからサーボ ON(Enable operation)しようとした			○			SBCE-365 SBCE-366
78020000Hex	絶対値ステータス異常	電源投入時、エンコーダが規定値以上で回転していました	• 電源投入時、エンコーダが規定値以上で回転していた			○			SBCE-365
84B10000Hex	EtherCAT 状態遷移異常	現在の通信状態から遷移できない通信状態遷移コマンドを受信しました	• 現在の通信状態から遷移できない通信状態遷移コマンドを受信した			○			SBCE-365 SBCE-366
84B20000Hex	EtherCAT 不正状態遷移異常	未定義の通信状態遷移コマンドを受信しました	• 未定義の通信状態遷移コマンドを受信した			○			SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84B30000Hex	通信同期異常	通信同期タイミングで受信されるべきデータが正常に受信されない状態が、通信異常設定(2200Hex)にて設定される連続検出回数以上連続しました	• PDO 通信中の上位コントローラの電源断 • EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線、接続間違い • ノイズ			○			SBCE-365 SBCE-366
84B40000Hex	同期異常	同期異常が発生しました	• ノイズ • 制御基板の異常			○			SBCE-365 SBCE-366
84B50000Hex	シンクマネージャウォッチドッグ異常	PDO 通信が一定時間以上停止しました	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線 • 上位コントローラの異常			○			SBCE-365 SBCE-366
84B60000Hex	ESC 初期化異常	ESC の初期化異常が発生しました	• 制御基板の異常			○			SBCE-365 SBCE-366
84B70000Hex	SII 照合異常	SII の照合異常が発生しました	• 制御基板の異常			○			SBCE-365 SBCE-366
84B80000Hex	通信設定異常	通信設定が異常です	• 上位コントローラから範囲外の設定値が設定された • 対応していない通信状態遷移への遷移コマンドを受信した			○			SBCE-365 SBCE-366
84B90000Hex	同期割込み異常	同期割込み異常が発生しました	• 制御基板の異常			○			SBCE-365 SBCE-366
98010000Hex	絶対値クリア	CX-Drive による USB 通信にて絶対値エンコーダの多回転クリアを実行しました	• CX-Drive による USB 通信にて絶対値エンコーダの多回転クリアを実行した			○			SBCE-365
98020000Hex	位置データ初期化	EtherCAT 通信にてコンフィグ動作または、絶対値エンコーダの多回転クリアを実行しました	• EtherCAT 通信にてコンフィグ動作を実行した • 絶対値エンコーダの多回転クリアを実行した（シリンダタイプの場合のみ）			○			SBCE-365 SBCE-366
08010000Hex	バッテリ警告	バッテリ電圧が 3.2V 以下です	• バッテリ電圧 3.2V 以下				○		SBCE-365
08020000Hex	ファン警告	ファン停止状態が 1 秒間継続しました	• 異物混入 • サーボドライバの故障				○		SBCE-365 SBCE-366
08030000Hex	エンコーダ通信警告	エンコーダ通信異常の連続発生回数が規定値を超えました	• エンコーダの電源電圧不足 • エンコーダ線へのノイズ				○		SBCE-365
08040000Hex	エンコーダ／シリアル変換ユニット過熱警告	エンコーダの温度が規定値を超えました／シリアル変換ユニットが過熱警告を検出しました	• 周囲環境の温度が高い • サーボモータ／リニアモータの故障				○		SBCE-365 SBCE-366
08050000Hex	寿命検出警告	コンデンサ、またはファンの残寿命が規定値以下になりました	• コンデンサ、またはファンの残寿命が規定値以下				○		SBCE-365 SBCE-366
08060000Hex	外部スケール異常警告	外部スケールが警告を検出しました	• 外部スケールの電源電圧不足 • 外部スケール接続ケーブルへのノイズ • 外部スケールの故障				○		SBCE-365 SBCE-366
08070000Hex	外部スケール通信警告	外部スケール通信異常発生回数が規定値を超えました	• 外部スケールの電源電圧不足 • 外部スケール接続ケーブルへのノイズ				○		SBCE-365 SBCE-366
34E00000Hex	データ設定警告	オブジェクトの設定値が範囲外です	• オブジェクトの設定値が範囲外				○		SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
383C0000Hex	オーバーロード警告	負荷率が保護レベルの 85%以上です	• 過負荷 • モータ線の配線間違い、ケーブル断線				○		SBCE-365 SBCE-366
383D0000Hex	過回生警告	回生負荷率がレベルの 85%以上です	• 過回生 • 連続的な回生制動の用途で使用している				○		SBCE-365 SBCE-366
383E0000Hex	発振検出警告	発振状態を検出しました	• ゲイン、イナーシャ比／質量比の設定が不適切				○		SBCE-365 SBCE-366
74800000Hex	コマンド警告	コマンドが実行できませんでした	• セミクローズ制御で、絶対値エンコーダを使用し、サーボ OFF の状態以外で絶対値多回転クリアを起動した（シリンダタイプの場合のみ） • サーボ ON 中に強制ブレーキ動作要求を送信した • 主回路電源 OFF 状態で「Switchon」コマンドを送信した（3508Hex =0 時） • 30r/min／30mm/s 以上で回転／動作している状態でサーボ ON 要求の「Enableoperation」コマンドを送信した • 以下の条件でラッチ動作を起動しようとした • フルクローズ制御で絶対値外部スケールを使用し、Z 相でのトリガを選択（シリンダタイプの場合のみ） • 絶対値多回転クリア中、またはコンフィグ動作実行中 • 6041Hex：ステータスワードのビット 9(Remote)が「0：local」のとき • 駆動禁止入力による即時停止後に駆動禁止方向への動作指令を与えた				○		SBCE-365 SBCE-366
84B00000Hex	EtherCAT 通信警告	EtherCAT 通信異常が 1 回以上発生しました	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線 • ノイズ				○		SBCE-365 SBCE-366

インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-361	MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です	• 不揮発性メモリの故障 • ノイズ			○			SBCE-361 SBCD-385
04BA0000Hex	インバータ-通信ユニット間接続異常	インバータとインバータ用 EtherCAT 通信ユニットの接続が異常になりました	• インバータとインバータ用 EtherCAT 通信ユニット間の接触不良 • インバータのトリップリセット • インバータの初期化またはモードの変更 • インバータ用 EtherCAT 通信ユニットの故障			○			SBCE-361
04BB0000Hex	インバータワーニング	インバータがワーニングを検出しました	• インバータがワーニングを検出した			○			SBCE-361
04BC0000Hex	インバータトリップ	インバータがトリップを検出しました	• インバータがトリップを検出した			○			SBCE-361
34F00000Hex	PDO 設定異常	PDO マッピングの設定値が不正です	• PDO マッピングまたは SyncManager の設定不正			○			SBCE-361

FH シリーズ 画像処理システム関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SDNB-714	画像処理システム FH/FZ5 シリーズ ユーザーズマニュアル 通信設定編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
08210000Hex	ファン／電圧異常	ファン／電圧に異常が発生しました	• ファンの動作を妨げる障害物がある • 適切な電圧の電源を使っておらず、過電圧または低電圧が発生している			○			SDNB-714
08220000Hex	カメラ過電流検出	カメラに過電流状態が発生しています	• カメラケーブル内部またはコントローラ内部回路が短絡している			○			SDNB-714
08230000Hex	パラレル I/O 過電流検出	パラレル I/O インターフェースに過電流状態が発生しています	• パラレル I/O 線が短絡している			○			SDNB-714
182D0000Hex	設定データロード異常	シーングループデータのロードに失敗しました	• 前回シーンデータ保存中に電源を切ったため、データが破損している • 動作モードを切り替えた結果、必要メモリ量が増加しメモリ不足が発生している			○			SDNB-714
38590000Hex	カメラ接続異常	カメラの接続が異常です	• コントローラにカメラが接続されていない • カメラケーブルが断線している • [カメラ画像入力]および[カメラ切替]処理ユニットの[カメラ選択]の設定に誤りがある • [カメラ画像入力]および[カメラ切替]処理ユニットの[カメラ選択]の設定に合ったコントローラのカメラポートにカメラが接続されていない			○			SDNB-714
385A0000Hex	接続カメラに変更あり	接続されているカメラが前回保存時と異なります	• シーンデータが保持するカメラ接続情報と、コントローラに接続されているカメラ接続情報が不一致			○			SDNB-714
385B0000Hex	照明接続構成異常	照明の接続構成が異常です	• カメラ取付照明コントローラに接続されている照明の消費電力が適切でない • カメラ取付照明コントローラに接続されている照明の発光モードが適切でない • カメラ取付照明コントローラに外部電源が接続されていない			○			SDNB-714
48020000Hex	システム異常	システムに異常が発生しました	• コントローラのシステムに重大な異常が発生しました			○			SDNB-714

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
58210000Hex	出力制御タイムアウト（パラレル I/O、PLC リンク、EtherNet/IP）	計測結果のデータ出力ハンドシェイク制御でタイムアウトが発生しました	• プログラムでのデータ出力ハンドシェイク制御（DSA 信号の ON/OFF タイミング）が適切でない • 出力制御タイムアウト時間がプログラム処理時間に対して小さすぎる • パラレル I/O の DSA または Result Notification 信号の配線に誤りがある			○			SDNB-714
58220000Hex	出力制御タイムアウト（EtherCAT）	計測結果のデータ出力ハンドシェイク制御でタイムアウトが発生しました	• プログラムでのデータ出力ハンドシェイク制御（Result Set Request 信号の ON/OFF タイミング）が適切でない • 出力制御タイムアウト時間がプログラム処理時間に対して小さすぎる			○			SDNB-714
58230000Hex	起動時シーングループ不正	起動時シーングループの設定が不正です	• シーングループ保存先設定で設定した外部ストレージが、起動時に接続されていない • 起動時にシーングループ保存先のディレクトリが存在しない • 起動時のシーングループ番号がシステムで規定されているシーングループの範囲外に設定されている			○			SDNB-714
58240000Hex	起動時シーン番号不正	起動時シーン番号の設定が不正です	• 起動時のシーン番号がシステムで規定されているシーンの範囲より大きく設定されている			○			SDNB-714
78190000Hex	画像ロギングディスク書込異常	画像ロギングのディスク書込みに失敗しました	• ロギング先ディスクが挿入されていない • ロギング先ディスクの容量不足 • ロギング先フォルダが存在しない • ロギング先ディスクのセキュリティ制限			○			SDNB-714
781A0000Hex	設定データ転送異常	シーンデータの転送異常が発生しました	• RAMDisk の空き容量が少ない状態、かつ動作モードが倍速マルチインプットのとき、シーンデータ編集を実施した • RAMDisk の空き容量が少ない状態、かつ動作モードがノンストップ調整モードのとき、［データ転送］を押下した			○			SDNB-714
781B0000Hex	出力バッファ異常（EtherCAT）	計測結果のデータ出力バッファが一杯になりました	• プログラムでのデータ出力ハンドシェイク制御にかかる時間よりも短い周期で計測を実施している			○			SDNB-714
88080000Hex	PLC リンク通信異常	PLC リンクが確立できていません	• PLC または画像センサの通信設定に誤りがある • Ethernet または RS-232C ケーブルが断線している			○			SDNB-714

EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SDNB-706	視覚センサ FQ-M シリーズ 位置決め専用視覚センサ ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
78080000Hex	TRIG 入力エラー	センサ計測の BUSY 信号 ON 中に、TRIG 信号が入力されました	• センサ計測の BUSY 信号 ON 中に、TRIG 信号が入力された • 接点が有接点の場合に、チャタリングが発生している			○			SDNB-706
780A0000Hex	シーンデータ異常	切替先のシーンデータが破損しています	• 切替先のシーンデータ保存中の電源断			○			SDNB-706
780B0000Hex	モデルエラー	コントラストの低い画像でモデルを再登録しました	• コントラストの低い画像でモデルを再登録した			○			SDNB-706
780C0000Hex	ロギングエラー	SD カードへのファイルロギング時にデータの取りこぼしが発生しました	• 短時間に多くのファイルロギングデータが発生し、SD カードへの書き込みが追いつかない			○			SDNB-706
780D0000Hex	出力制御タイムアウト	計測結果のデータ出力ハンドシェイク制御でタイムアウトが発生しました	• プログラムでのデータ出力ハンドシェイク制御（DSA 信号の ON/OFF タイミング）が適切でない • 出力制御タイムアウト時間がプログラム処理時間に対して小さすぎる			○			SDNB-706
780E0000Hex	出力サイズ設定異常	データ出力サイズ設定と PDO マッピング設定が一致していません	• センサの EtherCAT データ出力サイズ設定と EtherCAT マスタの PDO マッピング設定が一致していない			○			SDNB-706

ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SCHE-762	EtherCAT デジタルタイプセンサ通信ユニット（形 E3X-ECT） ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04C40000Hex	センサ接続異常	センサ接続に異常が発生しました	• センサがはずれた			○			SCHE-762
04C50000Hex	センサ未接続	センサが接続されていません	• センサが接続されていない			○			SCHE-762
14A00000Hex	不揮発性メモリ制御系データ異常	制御パラメータ異常が発生しています	• ノイズ			○			SCHE-762 SBCD-385
24780000Hex	センサ接続台数照合異常	センサ接続台数が設定値と異なります	• 設定値が実際のセンサ接続台数と合っていない			○			SCHE-762
24790000Hex	センサ接続台数超過	センサ接続台数が最大数を超えています	• 最大数を超えるセンサを接続した			○			SCHE-762
34F80000Hex	ダミー機能設定異常	ダミーユニットの設定数が多すぎます	• ダミーユニットの設定数が多すぎ、論理号機 No.に割り当てられていないセンサがある			○			SCHE-762
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です	• 不揮発性メモリの故障 • ノイズ				○		SCHE-762 SBCD-385

EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット E3NW-ECT 関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SCHE-763	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04C40000Hex	センサ接続異常	センサ接続に異常が発生しました	• センサがはずれた			○			SCHE-763
04C50000Hex	センサ未接続	センサが接続されていません	• センサが接続されていない			○			SCHE-763
14A00000Hex	不揮発性メモリ制御系データ異常	制御パラメータ異常が発生しています	• ノイズ			○			SCHE-763 SBCD-385
247A0000Hex	分散ユニット接続異常	分散ユニットの台数が起動時に認識した台数より減少しています	• 分散ユニットがはずれた			○			SCHE-763
247B0000Hex	センサ接続台数超過	センサ接続台数が最大数を超えています	• 最大数を超えるセンサを接続した			○			SCHE-763
247C0000Hex	センサ接続台数照合異常	センサ接続台数が設定値と異なります	• 設定値が実際のセンサ接続台数と合っていない			○			SCHE-763
247D0000Hex	分散ユニットのセンサ接続台数超過	分散ユニットでのセンサ接続台数が最大数を超えています	• 分散ユニットでの最大接続台数を超える台数のセンサを接続した			○			SCHE-763
34F80000Hex	ダミー機能設定異常	ダミーユニットの設定数が多すぎます	• ダミーユニットの設定数が多すぎ、論理号機 No.に割り当てられていないセンサがある			○			SCHE-763
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	不揮発性メモリが異常です	• 不揮発性メモリの故障 • ノイズ				○		SCHE-763 SBCD-385

ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SDNE-703	ファイバ同軸変位センサ（形 ZW-CE1□） ユーザーズマニュアル

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04D00000Hex	ハードウェア異常	変位センサのハードウェアに何らかの異常が発生しました。	• ハードウェアの破損			○			SDNE-703
14B00000Hex	リニアリティ補正データ異常	変位センサのリニアリティ補正データが破損しています。	• キャリブレーション ROM の破損			○			SDNE-703
14B10000Hex	リニアリティ補正データ読込みエラー	変位センサのリニアリティ補正データ読込みが正常に実行されませんでした。	• キャリブレーション ROM の挿し忘れ • キャリブレーション ROM の破損			○			SDNE-703
14B20000Hex	システム設定異常	変位センサに保存されているシステム設定が破損しています。	• システム設定のセーブ、ロード中に変位センサの電源断が発生			○			SDNE-703
14B30000Hex	バンクデータ異常	変位センサに保存されているバンクデータが破損しています。	• バンクデータのセーブ、ロード中に変位センサの電源断が発生			○			SDNE-703
24810000Hex	Ethernet 通信パラメータ異常	変位センサに不正な IP アドレスが設定されています。	• IP アドレスの設定が不正			○			SDNE-703
74900000Hex	複数制御信号入力エラー	複数の制御信号を同一周期内で ON しました。	• 複数の制御信号を同一周期内で ON			○			SDNE-703
74910000Hex	EXE 入力エラー	EXE 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで EXE 入力を ON • READY 出力 OFF 状態で EXE 入力を ON			○			SDNE-703
74920000Hex	SYNC 入力エラー	SYNC 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで SYNC 入力を ON			○			SDNE-703
74930000Hex	TIMING 入力エラー	TIMING 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで TIMINGx 入力を ON • RESETx 入力が ON 中に TIMINGx 入力を ON あるいは OFF • 非測定状態で TIMINGx 入力を ON • ディレイ時間＋サンプリング時間が経過する前に TIMINGx 入力を ON			○			SDNE-703
74940000Hex	RESET 入力エラー	RESET 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで RESETx 入力を ON			○			SDNE-703
74950000Hex	ZERO 入力エラー	ZERO 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで ZEROx 入力を ON • 非測定状態で ZEROx 入力を ON • ステータスが OFF のタスクに対して ZEROx 入力を ON			○			SDNE-703

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74960000Hex	ZEROCLR 入力エラー	ZEROCLR 入力処理が正常に実行されませんでした。	• FUN モードで ZEROCLRx 入力を ON			○			SDNE-703

A-2-3　CJ シリーズユニットの異常

CJ シリーズの以下のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
- アナログ入出力ユニット
- プロセス入出力ユニット
- 温度調節ユニット
- ID センサユニット
- 高速カウンタユニット
- シリアルコミュニケーションユニット
- DeviceNet ユニット
- EtherNet/IP ユニット
- CompoNet マスタユニット
- EtherCAT スレーブユニット

CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-AD041-V1/AD081-V1
形 CJ1W-AD042
形 CJ1W-DA021/DA041
形 CJ1W-DA08V/DA08C
形 CJ1W-DA042V
形 CJ1W-MAD42

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCC-846	CJ シリーズ アナログ入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04600000Hex	A/D 変換異常	A/D 変換に異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • A/D 変換器の故障			○	⊙		SBCC-846
04620000Hex	不揮発性メモリ異常	不揮発性メモリに異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SBCC-846
34800000Hex	平均化処理回数設定ミス	平均化処理回数の設定に誤りがあります	• 平均化処理のサンプリング回数の設定に誤りがある			○			SBCC-846
34830000Hex	スケーリングデータ設定ミス	スケーリングデータの設定に誤りがあります	• スケーリング機能の上下限データが設定範囲を超えている。または上限値と下限値が 0 以外の値で等しい			○			SBCC-846
34840000Hex	入力信号レンジ設定ミス／入力点数設定ミス	入力信号レンジ設定または入力点数設定に間違いがあります	• 入力信号レンジ設定または使用アナログ入力点数設定が間違っている			○			SBCC-846
34850000Hex	平均化処理回数設定ミス	平均化処理回数の設定に誤りがあります	• 平均化処理のサンプリング回数の設定に誤りがある			○			SBCC-846
34860000Hex	変換モード切替設定ミス	変換モード切替設定に間違いがあります	• サイクリック変換モードまたはダイレクト変換モードの指定が間違っている			○			SBCC-846
34870000Hex	出力ホールド設定ミス	出力ホールドの設定に誤りがあります	• 変換停止時の出力状態の設定が間違っている			○			SBCC-846

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34890000Hex	変換周期・分解能設定ミス／動作モード設定ミス	変換周期・分解能または、動作モードの設定に誤りがあります	• 変換周期・分解能または動作モードの設定が間違っている			○			SBCC-846
348A0000Hex	出力信号レンジ設定ミス／出力点数設定ミス	出力信号レンジ設定または出力点数設定に間違いがあります	• 出力信号レンジ設定または出力点数設定に間違いがある			○			SBCC-846
38010000Hex	スケーリングデータ設定ミス／比率変換使用設定ミス	スケーリングデータ設定または比率変換使用設定に誤りがあります	• スケーリング機能の上下限データが設定範囲を超えている。または上限値と下限値が 0 以外の値で等しい • 「比率変換機能」をしている入出力番号が入出力の「使用指定」で「使用しない」になっている			○			SBCC-846
38020000Hex	比率設定値ミス	比率変換機能の比率設定に間違いがあります	• 比率変換機能で比率変換 A 定数に 16#0000～16#9999（0.00～99.99）以外が指定されている			○			SBCC-846
64780000Hex	入力断線検知	入力の断線を検知しました	• 入力配線の断線 • 入力配線のはずれ			○	⊙		SBCC-846
64790000Hex	出力設定値異常	出力設定が範囲外です	• 出力設定値が設定範囲外			○	⊙		SBCC-846
34810000Hex	（調整モード時）入力値調整範囲外	調整モード時に、入力値が調整可能な入力範囲を超えています	• 調整モード時に、入力値が調整可能な入力範囲を超えているため、オフセット・ゲインの調整ができない			⊙	○		SBCC-846
34820000Hex	（調整モード時）入力番号指定ミス	調整モード時に、指定された入力番号が「使用する」になっていないか、入力番号が間違って指定されています	• 調整モード時に、指定された入力番号が「使用する」になっていない • 「調整入力番号」（デバイス変数「*_AdjCh」）の設定が間違って指定されているため、調整できない			⊙	○		SBCC-846
34880000Hex	（調整モード時）出力番号指定ミス	調整モード時に、指定された出力番号が「使用する」になっていないか、出力番号が間違って指定されています	• 調整モード時に、指定された出力番号が「使用する」になっていない • 「調整出力番号」（デバイス変数「*_AdjCh」）の設定が間違って指定されているため、調整できない			⊙	○		SBCC-846
348C0000Hex	（調整モード時）入出力番号指定ミス	調整モード時に、指定された入出力番号が「使用する」になっていないか、入出力番号が間違って指定されています	• 調整モード時に、指定された入出力番号が「使用する」になっていない • 「調整入出力番号」（デバイス変数「*_AdjCh」）の設定が間違って指定されているため、調整できない			⊙	○		SBCC-846

CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-PDC15
形 CJ1W-AD04U
形 CJ1W-PH41U

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCC-849	CJ シリーズ プロセス入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04600000Hex	A/D 変換異常	A/D 変換に異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • A/D 変換器の故障			○	⊙		SBCC-849
04610000Hex	冷接点センサ異常	冷接点センサに異常が発生しました	• 冷接点センサの接続不良（形 CJ1W-PH41U の場合） • 冷接点センサの故障			○	⊙		SBCC-849
04620000Hex	不揮発性メモリ異常	不揮発性メモリに異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SBCC-849
348D0000Hex	データ範囲エラー	設定された値が範囲外です	• 設定された値が範囲外			○			SBCC-849
647A0000Hex	入力異常	入力異常が発生しました	• アナログ入力信号が範囲外 • 入力配線の断線 • 入力配線のはずれ、端子のゆるみ			○	⊙		SBCC-849
647D0000Hex	ゼロ・スパン調整期限切れ	ゼロ・スパン調整の有効期限が切れました	• ゼロ・スパン調整の有効期限が切れた			⊙	○		SBCC-849
647E0000Hex	ゼロ・スパン調整期限予告	ゼロ・スパン調整有効期限が近づいています	• ゼロ・スパン調整の有効期限の予告期間になった			⊙	○		SBCC-849

CJ シリーズ温度調節ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-TC003
形 CJ1W-TC004
形 CJ1W-TC103
形 CJ1W-TC104

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCC-847	CJ シリーズ 温度調節ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04680000Hex	冷接点センサ異常	冷接点センサに異常が発生しました	• 冷接点センサの接続不良 • 冷接点センサの故障			⊙	○		SBCC-847
34940000Hex	設定値異常	不正な設定値があります	• 設定された値が不正			⊙	○		SBCC-847
64840000Hex	センサエラー	センサ入力に異常が発生しました	• センサからの入力が異常			⊙	○		SBCC-847
64850000Hex	CT オーバーフロー	CT 入力がオーバーフローしました	• ヒータ電流値が 55.0A を超えている			⊙	○		SBCC-847
64860000Hex	ヒータ断線警報	ヒータの断線が発生しました	• ヒータの電源を ON にしていない • ヒータが断線または劣化している			⊙	○		SBCC-847

CJ シリーズ ID センサユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-V680C11
形 CJ1W-V680C12

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SDGR-703	CJ シリーズ ID センサユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
046C0000Hex	ユニット状態 アンテナ電源異常	アンテナ電源に異常が発生しました	• アンテナ電源（24V 系）に異常が発生した			○			SDGR-703
046D0000Hex	ユニット状態 メモリエラー	不揮発性メモリ読出エラーが発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SDGR-703
046E0000Hex	結果情報 アンテナ異常	アンテナに異常が発生しました	• アンテナが未接続 • アンテナの故障 • ID センサユニットの故障			○			SDGR-703
046F0000Hex	ユニット状態 ユニットビジー	ID センサユニットに異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • ID センサユニットの故障			○			SDGR-703
24400000Hex	ユニット状態 アンテナエラー	アンテナエラーが発生しました	• 「接続アンテナ設定」（デバイス変数「*_Ch#_AntConn」）の設定と接続されたアンテナが異なる • 形 CJ1W-V680C12 に形 V680-H01 または形 V680-H01-V2 を接続した			○			SDGR-703
34980000Hex	結果情報 データ格納エリア指定異常	データ格納エリアの指定が間違っています	• 「データ格納エリアの指定方法」で定義している DM、CIO、AR、EM などの指定可能範囲外をユーザプログラムで指定している			○			SDGR-703
54A00000Hex	結果情報 ID タグアドレスエラー	ID タグのアドレスが間違っています	• コマンドで指定した ID タグのアドレスが間違っている			○			SDGR-703
54A10000Hex	結果情報 プロテクトエラー	ID タグのライトプロテクトされているエリアに書き込みを行おうとしました	• 指定したアドレス、バイト数が間違っている • ID タグの書き込もうとしているエリアにライトプロテクトがかかっている			○			SDGR-703
54A20000Hex	結果情報 コマンド異常	ID センサユニットへのコマンドが間違っています	• 以下の外部デバイス変数の内容が指定可能データではありません *_Ch#_CmdSet *_Ch#_ProcAdr *_Ch#_ProcByte *_Ch#_CmdOption 変数名の#はアンテナ（ヘッド）番号です			○			SDGR-703
648C0000Hex	ユニット状態 コマンド異常完了	処理異常が発生しました	• 処理異常が発生した			○			SDGR-703

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
648D0000Hex	結果情報 ベリファイエラー	ID タグに正しくデータが書き込めませんでした	• ID タグの移動速度が仕様範囲外 • アンテナー ID タグ間の距離が仕様範囲外 • ノイズ			○			SDGR-703
648E0000Hex	結果情報 ID タグ交信エラー	ID タグとの交信中にエラーが発生し正常終了できません	• ID タグの移動速度が仕様範囲外 • アンテナー ID タグ間の距離が仕様範囲外 • ノイズ			○			SDGR-703
648F0000Hex	結果情報 ID タグ不在エラー	ID タグが交信領域内に存在しません	• 交信オプションが「トリガ」で、トリガ実行時に ID タグが交信領域内にない • 交信オプションが「オート」または「リピートオート」で待ち時間が「オート待ち時間」に達した • アンプは接続されているが、アンテナが未接続			○			SDGR-703
64900000Hex	結果情報 ID システムエラー 1	ID システムエラー 1 が発生しました	• システムエラー 1 が発生した			○			SDGR-703
64910000Hex	結果情報 ID システムエラー 2	ID システムエラー 2 が発生しました	• システムエラー 2 が発生した			○			SDGR-703
64920000Hex	結果情報 ID システムエラー 3	ID システムエラー 3 が発生しました	• システムエラー 3 が発生した			○			SDGR-703
64930000Hex	結果情報 ID タグ状態	以下のいずれかが発生しました • 書き換え回数管理コマンドで回数オーバーを検知しました • 演算ライトで、オーバーフロー、アンダーフローが発生しました • データチェックコマンドで照合結果が一致しませんでした • エラー訂正付リードデータ異常が発生しました • コピーコマンドで、ライト時に異常が発生しました	• 書き換え回数管理コマンドで回数オーバーを検知した • 演算ライトで、オーバーフロー、アンダーフローが発生した • データチェックコマンドで照合結果が一致しなかった • エラー訂正付リードデータ異常が発生した • コピーコマンドで、ライト時に異常が発生した			○			SDGR-703
64940000Hex	結果情報 エラー訂正	エラー訂正付き読み出しで、1 ビットのデータ訂正を行いました	• ID タグの使用される環境のノイズ • ID タグの異常			○			SDGR-703

CJ シリーズ高速カウンタユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-CT021

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCC-848	CJ シリーズ 高速カウンタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
68010000Hex	ユニットエラー	高速カウンタユニットで異常が発生しました	• 高機能ユニット設定に間違いがある • オーバーフロー／アンダーフローエラーが発生している • 不正なプリセット値でプリセットされた • CPU ユニット監視異常／バス異常が発生している • CPU ユニットに、10 秒を超える電源投入時の起動待ち時間を設定している			○			SBCC-848

CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-SCU22
形 CJ1W-SCU32
形 CJ1W-SCU42

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-354	CJ シリーズ シリアルコミュニケーションユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04740000Hex	異常履歴データ異常	異常履歴データが異常です	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-354
14800000Hex	プロトコルデータ異常	プロトコルデータのサムチェックエラーが発生しました	• CX-Protocol からのプロトコルデータ転送中に、CX-Protocol との通信コネクタがはずれた、またはコントローラの電源断が発生した • シリアルコミュニケーションユニットの故障			○			SBCD-354
34A40000Hex	システム設定エラー	シリアルコミュニケーションユニットのシステム設定に異常があります	• シリアルコミュニケーションユニットのシステム設定に異常がある			○			SBCD-354
04750000Hex	DR 信号チェックエラー発生	DR 信号チェックでエラーが発生しました	• 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354
04760000Hex	CS 信号チェックエラー発生	CS 信号チェックでエラーが発生しました	• 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354
54A80000Hex	コマンドエラー発生	コマンドの異常が発生しました	• プロトコルマクロに設定した受信期待メッセージの定数部分と実際に受信したメッセージの定数部分が異なる				○		SBCD-354
54A90000Hex	シーケンス Abort 終了	シーケンスが次処理、またはエラー処理の Abort により終了しました	• プロトコルマクロデータが正しく設定されていない。伝送速度、フレームフォーマットなどのシステム設定が相手局と異なっている				○		SBCD-354

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
54AA0000Hex	プロトコルマクロエラー	プロトコルマクロでエラーが発生しました	• シーケンス No.エラー：ExecPMCR 命令の SeqNo（送受信シーケンス番号）に登録されていない No.が指定された（LED 表示なし） • データ読出／書込領域超えエラー：CPU ユニットへのデータ書き込み、読み出し時、指定エリア範囲を超えた（ERC 点滅、ERR/ALM 点滅） • プロトコルデータ文法エラー：プロトコル実行中に実行できないコードがあった（ERC 点滅、ERR/ALM 点滅） 　• リンクチャネル指定のエリア、O1、O2、I1、I2 の合計が 500CH を超えた 　• リンクチャネル指定の同一エリアをポート 1/2 の両方で使用した 　• 定数指定で書き込みが指定された 　• シリアルコミュニケーションユニットで割込通知が指定された 　• 1 つのメッセージの設定に書き込み属性のデータが 31 個以上設定された 　• 送／受信するメッセージの長さが 0 バイトで指定された 　• 送／受信するメッセージの長さが送受信最大バイト数を超えた 　• マトリクス受信で、メッセージが登録されていない 　• 伝送制御で、RS/CS フロー制御と Xon/Xoff フロー制御の両方が指定された				○		SBCD-354
64A00000Hex	Tfs（送信完了監視時間）オーバー	送信完了時間が送信完了監視時間を超えました	• ノイズ • 監視時間が実際の完了時間に対して短い				○		SBCD-354
64A10000Hex	Tfr（受信完了監視時間）オーバー	受信完了時間が受信完了監視時間を超えました	• ノイズ • 監視時間が実際の完了時間に対して短い				○		SBCD-354
64A20000Hex	Tr（受信待ち監視時間）オーバー	受信待ち時間が受信待ち監視時間を超えました	• ノイズ • 監視時間が実際の完了時間に対して短い				○		SBCD-354

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64A30000Hex	FCS チェックエラー発生	シリアルゲートウェイ機能での変換後のプロトコルで以下のエラーが発生しています • CompoWay/F コマンドへの変換時：BCC エラー • Modbus-RTU コマンドへの変換時：CRC エラー • Modbus-ASCII コマンドへの変換時：CRC エラー • 上位リンク FINS コマンドへの変換時：FCS エラー プロトコルマクロ • 受信メッセージに付与されたチェックコードと、受信したメッセージから計算したチェックコードの照合結果が不一致	• ノイズ • コマンドフレームに付加している CRC コードに誤りがある				○		SBCD-354
64A40000Hex	タイムアウトエラー発生	タイムアウトエラーが発生しました	• プロトコルマクロの送受信シーケンスのステップ推移の停滞 • コマンド受信相手機器不在 • コマンドフレーム不正 • シリアル通信設定の相手機器との不一致 • 結線、終端抵抗設定誤り • 相手機器が解読できないプロトコルコマンドの発行 • 相手機器のレスポンスが早すぎる • シリアルゲートウェイレスポンスタイムアウト監視時間が短すぎる • 折り返しテスト治具の不良 • シリアルコミュニケーションユニットの通信回路の不良 • プロトコルマクロのステップ間へのシリアルゲートウェイ機能の割込 • ノイズ • シリアル通信モード設定の誤り				○		SBCD-354
64A50000Hex	コンペアエラー発生	コンペアエラーが発生しました	• 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354
64A60000Hex	受信オーバー	無手順モードでの使用時に指定受信データ数以上を受信しました	• 受信完了後、データをさらに 1 バイト以上受信した				○		SBCD-354

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
64A70000Hex	コマンドフォーマットエラー	受信した Modbus-RTU コマンドの、ファンクションコードや指定アドレス／データが不正です	• 受信した Modbus-RTU コマンドの、ファンクションコードや指定アドレス／データが不正				○		SBCD-354
84680000Hex	伝送エラー発生	伝送異常が発生しました	• 以下のいずれかの異常が発生した • Tfs（送信完了監視時間）オーバー • Tfr（受信完了監視時間）オーバー • Tr（受信待ち監視時間）オーバー • FCS チェックエラー • コマンドエラー • タイムアウトエラー • オーバーランエラー • フレーミングエラー • パリティエラー				○		SBCD-354
84690000Hex	オーバーランエラー発生	オーバーランが発生しました	• シリアルゲートウェイモードまたはプロトコルマクロモード時： • シリアルコミュニケーションユニットの受信回路不良 • ノイズなどにより伝送エラーが発生している • 無手順モード時： • SerialRcv/SerialRcvNoClear 命令実行前に、受信バッファに 260 バイト以上のデータを受信した • 折り返しテストモード時： • 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354
846A0000Hex	フレーミングエラー発生	フレームの異常が発生しました	• シリアルゲートウェイモードまたはプロトコルマクロモード時： • シリアルコミュニケーションユニットの受信回路不良 • ノイズなどにより伝送エラーが発生している • 折り返しテストモード時： • 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
846B0000Hex	パリティエラー発生	パリティエラーが発生しました	• シリアルゲートウェイモードまたはプロトコルマクロモード時： • シリアルコミュニケーションユニットの受信回路不良 • ノイズなどにより伝送エラーが発生している • 折り返しテストモード時： • 折り返しテスト治具の不良 • ノイズ • シリアルコミュニケーションユニットの通信回線の不良				○		SBCD-354
846C0000Hex	伝送エラー発生（オーバーランエラー、フレーミングエラー、パリティエラー）	オーバーランエラー、フレーミングエラー、パリティエラーが発生しました	• 通信条件、伝送速度の設定がホスト側と合っていない • ノイズ等の外乱 • 伝送速度誤差が許容範囲外、ストップビット等の不整合などによるビットずれ • 通信ケーブルの結線不良 • RS422A/485 ポートの終端抵抗設定の誤り • 形 NT-AL001 等のアダプタ結線不良／終端抵抗の設定誤り				○		SBCD-354
846D0000Hex	伝送エラー発生（CRC エラー）	CRC エラーが発生しました	• ノイズ • CRC の計算方法がデバイスと合っていない				○		SBCD-354

CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-DRM21

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-357	CJ シリーズ DeviceNet ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
04880000Hex	ユニットメモリ異常	異常履歴を保存する内部メモリの書き込み時に異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○	⊙		SBCD-357
04890000Hex	ネットワーク電源異常	ネットワーク電源が供給されていません	• ネットワークから通信電源が正常に供給されていない			○			SBCD-357
148D0000Hex	スキャンリストデータ不正	不揮発性メモリに保存されているスレーブスキャンリストまたはマスタスキャンリストの内容に異常があります	• スキャンリストの不揮発性メモリへの書き込み中に電源断した			○			SBCD-357
148E0000Hex	スレーブ機能設定データ不正	スレーブ機能の設定に不正なデータがありました	• 設定データ書き込み中に電断 • 不揮発性メモリの寿命			○			SBCD-357
24480000Hex	ノードアドレス重複	DeviceNet ユニットの起動時にノードアドレス重複チェックで異常となりました	• DeviceNet ユニットのノードアドレスが、他のノードアドレスと重複している			○			SBCD-357
34BC0000Hex	ルーチングテーブル異常	CPU ユニットに設定されたルーチングテーブルの情報が不正です	• 自 DeviceNet ユニットがルーチングテーブルに含まれていない • ルーチングテーブルのフォーマット不正 • ルーチングテーブルの読み出しがタイムアウトした			○	⊙		SBCD-357

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34BD0000Hex	照合異常	スキャンリストに登録されているスレーブの情報と、実際のスレーブの情報が異なります	• スキャンリストに登録されているスレーブが存在しない • マスタである自ユニットのノードアドレスがスキャンリストに登録されている • 照合の詳細設定において、［ベンダーをチェックする］に設定している場合に、スレーブのベンダーがスキャンリストの登録と一致していない • 照合の詳細設定において、コネクションパスを設定している場合に、スキャンリストに指定されているコネクションパスの設定に失敗した • スレーブの I/O データサイズがスキャンリストの登録と一致していません • 照合の詳細設定において、デバイスタイプを設定している場合に、スキャンリストに指定されているデバイスタイプの設定に失敗しました • 照合の詳細設定において、プロダクトコードを設定している場合に、スキャンリストに指定されているプロダクトコードの設定に失敗しました • スキャンリストに指定されている I/O サービスをデバイスがサポートしていません			○			SBCD-357
34BE0000Hex	構成異常	「スキャンリスト無効状態」で、I/O 割付不可能な異常が発生しています	• スレーブの I/O エリアが重複している • スレーブの I/O エリアが有効範囲を超えている • スレーブの I/O サイズが OUT200 バイトまたは IN200 バイトを超えている			○			SBCD-357
34BF0000Hex	マスタ機能 I/O リフレッシュ異常	マスタ機能としての CPU ユニットとの I/O リフレッシュにおいて、リフレッシュ先の CPU ユニットの I/O メモリが存在しません	• 存在しない EM バンクに I/O エリアを割り付けた			○			SBCD-357
34C00000Hex	マスタ自由割付ユーザ設定失敗	マスタ自由割付の操作で異常が発生しました	• マスタ機能が有効になっていない • マスタ自由割付ユーザ設定に間違いがある • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1 つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
34C10000Hex	通信サイクル時間設定失敗	通信サイクル時間設定の操作で異常が発生しました	• 設定情報に誤りがある • CPU ユニットがプログラムモードでない			○			SBCD-357

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34C20000Hex	スレーブ機能 I/O リフレッシュ異常	スレーブ機能としての CPU ユニットとの I/O リフレッシュ先の CPU ユニット I/O メモリが存在しません	• 存在しない EM バンクに I/O エリアを割り付けた			○			SBCD-357
34C30000Hex	スレーブ自由割付ユーザ設定失敗	スレーブ自由割付の操作で異常が発生しました	• スレーブ機能が無効になっていない • スレーブ自由割付ユーザ設定に間違いがある • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1 つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
64AC0000Hex	送信タイムアウト	送信がタイムアウトしました	• ネットワーク上にスレーブなどのデバイスが 1 台も存在しない • 通信速度の設定がすべてのノードで一致していない • 幹線／支線の通信ケーブル長が不適切 • 通信ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が幹線の両端以外にある • ノイズ • CAN コントローラの異常			○			SBCD-357
74600000Hex	マスタ機能有効／停止失敗	マスタ機能の有効／停止操作で異常が発生しました	• マスタ機能有効中にマスタ機能を有効にしようとした • マスタ機能停止中にマスタ機能を停止にしようとした • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1 つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
74610000Hex	マスタ固定割付エリア設定失敗	マスタ固定割付の操作で異常が発生しました	• マスタ機能が有効になっていない • スキャンリストが無効になっていない • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトがスイッチが同時に TRUE にされた。または、1 つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
74620000Hex	スキャンリスト登録／クリア失敗	スキャンリストの登録／クリアの操作で異常が発生しました	• CPU ユニットが「プログラムモード」でない • 要求を処理できる状態にない、または要求された状態ですでに動作している。ユニット状態異常が発生する主な要因は以下のとおり • マスタ機能無効状態で、マスタ機能に関するソフトスイッチを操作した • スキャンリスト有効状態で、スキャンリスト無効でのみ機能するスイッチを操作した • スキャンリスト無効状態で、スキャンリスト有効でのみ機能するスイッチを操作した • スレーブ機能無効状態で、スレーブ機能に関するソフトスイッチを操作した • 構成異常が発生している • ユーザ設定で指定されたパラメータに異常があり、要求された設定ができなかった • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
74630000Hex	スレーブ機能有効／停止操作失敗	スレーブ機能の操作で異常が発生しました	• スレーブ機能有効中にスレーブ機能を有効にしようとした • スレーブ機能停止中にスレーブ機能を停止にしようとした • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
74640000Hex	スレーブ固定割付エリア設定失敗	スレーブ固定割付の操作で異常が発生しました	• スレーブ機能が無効になっていない • CPU ユニットがプログラムモードでない • 複数のソフトスイッチが同時に TRUE にされた。または、1つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○			SBCD-357
84740000Hex	Busoff 検知	Busoff（通信異常多発による通信停止）が発生しました	• マスタとスレーブの通信速度が異なる • 幹線／支線の通信ケーブル長が不適切 • 通信ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が幹線の両端以外にある • ノイズ			○			SBCD-357

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
84750000Hex	リモート I/O 通信異常	リモート I/O 通信でタイムアウトが発生しました	• マスタとスレーブの通信速度が異なる • 幹線／支線の通信ケーブル長が不適切 • 通信ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が幹線の両端以外にある • ノイズ			○	⊙		SBCD-357
84760000Hex	リモート I/O 通信異常（スレーブ機能動作時）	リモート I/O の通信で異常が発生しました	• マスタが動作していない • マスタとスレーブの通信速度が異なる • 幹線／支線の通信ケーブル長が不適切 • 通信ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が幹線の両端以外にある • ノイズ			○			SBCD-357
84770000Hex	スレーブ機能 COS 送信失敗	ソフトスイッチ 2 のスレーブ機能 COS 送信スイッチ（デバイス変数「Sw2SlavCOSSendCmd」）を使用し、マスタ宛に、COS を送信しようとしましたが、送信に失敗しました	• マスタとの間で COS コネクションが開設されていない • Busoff 発生 • ネットワーク電源異常発生 • 送信タイムアウト発生			○			SBCD-357
048A0000Hex	ファイル読み込み／書き込み異常	ユニットの設定情報を CPU ユニット装着の SD メモリカードから読み出すとき、または SD メモリカードにファイルとして書き込むときに異常が発生しました	• ファイル書き込み時、SD メモリカードの容量が不足している • ファイル書き込み時、SD メモリカードが書込禁止になっている • ノイズ • SD メモリカードの故障 • CPU ユニットの故障			⊙	○		SBCD-357
148C0000Hex	メッセージ監視タイマリストデータ不正	メッセージ監視タイマリストに不正なデータがありました	• 不揮発性メモリへのメッセージ監視タイマリストの書き込み中に電断した			⊙	○		SBCD-357

CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-EIP21
形 CJ1W-EIP21S

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-355	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
047A0000Hex	ユニットメモリ異常（素子の異常）	EtherNet/IP ユニット内部の不揮発性メモリへの異常履歴またはデバイスパラメータの書き込みで異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-355
047B0000Hex	不揮発性メモリ異常	不揮発性メモリに異常が発生しました	• 周囲にノイズ源がある • 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-355
047C0000Hex	通信コントローラ異常	通信コントローラに異常が発生しました	• ノイズ • 通信コントローラのハードウェア故障			○			SBCD-355
14840000Hex	通信パラメータ設定不正	不揮発性メモリに保存されるタグデータリンクに関連するパラメータの妥当性確認で異常と判断されました	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した • 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-355
14850000Hex	タグデータベース異常	タグデータリンク、ステータスレイアウトなどの変数の使用時に、CPU ユニットでタグデータベース異常が発生しました	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34A80000Hex	照合異常	タグデータリンクパラメータに登録されている相手ノード情報と実際のノード情報が異なります	• 指定されたターゲットが存在しない • 変数名が不一致 • コネクションサイズが異なる • コネクションリソース不足			○			SBCD-355
34A90000Hex	タグデータリンク異常	オリジネータとしてのコネクションに 1 つ以上の異常があります。 ただし、以下は除きます • ターゲットとしてのコネクション • スイッチングハブとのリンクオフ異常発生によるコネクションタイムアウト	• ターゲットノードの電源 OFF • ターゲットノードの通信停止 • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルのコネクタのはずれ • EtherNet/IP の Ethernet ケーブルの断線 • ノイズ			○			SBCD-355
34AA0000Hex	タグリフレッシュ異常	タグデータリンクでサポート外のエリア種別、アドレス範囲を指定しました	• タグデータリンクでサポート外のエリア種別、アドレス範囲を指定した			○			SBCD-355

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
34AB0000Hex	Ethernet 基本設定異常	TCP/IP 設定が不正です	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34AC0000Hex	IP アドレステーブル異常	IP アドレステーブルの情報が不正です	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34AD0000Hex	IP ルータテーブル異常	IP ルータテーブルの情報が不正です	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34AE0000Hex	ルーチングテーブル異常	ルーチングテーブルの情報が不正です	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34AF0000Hex	Ethernet 拡張設定異常	FINS 設定が不正です	• ダウンロード中に電断が発生した • ダウンロード中に通信異常が発生した			○			SBCD-355
34B00000Hex	アドレス不一致	自 IP アドレスのホスト ID と FINS ノードアドレスが一致していません。または、自 IP アドレスの最終アドレスと、ノードアドレス設定スイッチの値が一致していません	• IP アドレス変換方式が自動生成方式に設定されているが、自 IP アドレスのホスト ID と FINS ノードアドレスが一致していない、または、自 IP アドレスの最終アドレスと、ノードアドレス設定スイッチの値が一致していない			○			SBCD-355
381C0000Hex	ステータスエリア レイアウト設定異常	EtherNet/IP ユニットのレイアウト設定に異常が発生しています	• EtherNet/IP ユニットのレイアウト設定が異常			○			SBCD-355
54AE0000Hex	複数（ソフト）スイッチ同時 ON 異常	複数のソフトスイッチが同時に TRUE になりました	• 複数のソフトスイッチが同時に TRUE になった。または 1 つのソフトスイッチ処理が完了しないうちに、他のスイッチが TRUE にされた			○	⊙		SBCD-355
84E00000Hex	IP アドレス重複異常	IP アドレスが重複しています	• EtherNet/IP ポートの IP アドレスが他ノードの IP アドレスと重複している			○			SBCD-355
84E10000Hex	BOOTP サーバ接続異常	BOOTP サーバとの接続に失敗しました	• サーバ設定の誤り（取得した IP アドレスが不正） • サーバダウン • 通信経路の異常発生			○			SBCD-355
54AF0000Hex	変数範囲外アクセス検知	タグデータリンクに使用しているタグ変数に対して、範囲外の値のアクセスを検知しました	• 範囲指定した変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて範囲外の値を書き込んだ。 または、列挙型の変数に対して、EtherNet/IP タグデータリンクにて列挙子以外の値を書き込んだ				○		SBCD-355
84E20000Hex	リンクオフ異常	Ethernet のリンクステータスの立ち下りを検知しました	• Ethernet ケーブルが未接続 • Ethernet ケーブルの断線、ゆるみ • スイッチングハブの電源 OFF • 通信速度不一致 • ノイズ			⊙	○		SBCD-355

CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-CRM21

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-353	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
349C0000Hex	登録テーブル照合異常発生	スレーブの登録テーブルの照合で不一致がありました	• スレーブの登録テーブルでノードアドレスとスレーブ形式の対応が、少なくとも 1 つ一致していない			○			SBCD-353
349D0000Hex	スレーブアドレス二重異常発生	スレーブのアドレスまたは割付エリアが重複しています	• スレーブの設定ノードアドレスの重複 • スレーブの設定ノードアドレスは重複していないが割付エリアが重複 • スレーブが一度離脱した後に同一ノードアドレスで異なる点数種別のスレーブが加入			○			SBCD-353
349E0000Hex	リピータノードアドレス二重異常発生	リピータのノードアドレスが重複しています	• リピータのノードアドレスが他のノードと重複している			○			SBCD-353
84600000Hex	通信異常発生	スレーブの離脱を検出しました	• ケーブル長(幹線／支線)が不適切 • ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が接続されていない。もしくは幹線の終端以外にある • ノイズ • スレーブ自身の故障、断線、通信電源断などによりマスタからの通信に応答できない			○	⊙		SBCD-353
84610000Hex	リピータ通信異常発生	リピータ通信異常が発生しました	• ケーブル長(幹線／支線)が不適切 • ケーブルの断線、ゆるみ • 終端抵抗が接続されていない。もしくは幹線の終端以外にある • ノイズ • リピータ自身の故障、断線、通信電源断などによりマスタからの通信に応答できない			○	⊙		SBCD-353
64980000Hex	代表ワーニング	少なくとも 1 つのスレーブでワーニングが発生しました	• 少なくとも 1 つのスレーブでワーニングが発生した				○		SBCD-353
64990000Hex	代表アラーム	少なくとも 1 つのスレーブでアラームが発生しました	• 少なくとも 1 つのスレーブでアラームが発生した				○		SBCD-353

CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連

以下の形式のユニットで発生する異常（イベント）の一覧です。
形 CJ1W-ECT21

各イベントの参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCD-367	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編

イベントコード	イベント名	内容	発生要因（推定原因）	重要度					参照先
				全	部	軽	監	般	
05400000Hex	ESC 異常	EtherCAT スレーブ通信コントローラに異常が発生しました	• EtherCAT スレーブ通信コントローラ部に異常が発生した			○			SBCD-367
05410000Hex	高機能ユニットメモリ異常	異常履歴を保存する内部メモリの書き込み時に異常が発生しました	• 不揮発性メモリの故障			○			SBCD-367
05420000Hex	SII 照合異常	SII の照合異常が発生しました	• SII の情報に異常が発生した			○			SBCD-367
35680000Hex	I/O リフレッシュ異常	CPU ユニットとの I/O リフレッシュにおいて、リフレッシュ先の CPU ユニットの I/O メモリが存在しません	• データエリア種別、データエリアサイズ、データエリア先頭チャネル番号を仕様範囲外に設定した • 存在しない EM バンクに I/O エリアを割り付けた			○			SBCD-367
35690000Hex	MailBox 設定異常	SyncManager の MailBox 設定の不正を検知した (AL-Status Code：0016Hex)	• SyncManager の MailBox 設定の不正を検知した			○			SBCD-367
356A0000Hex	照合異常	• RxPDO 設定異常を検知しました (AL-Status Code：001DHex) • TxPDO 設定異常を検知しました (AL-Status Code：001EHex)	• PDO 設定の異常を検知した			○			SBCD-367
356B0000Hex	不正状態遷移要求受信	• 不可能な状態遷移要求を受信しました (AL-Status Code：0011Hex) • 不明な状態への遷移要求を受信しました (AL-Status Code：0012Hex)	• 不可能な状態遷移要求を受信した • 不明な状態への遷移要求を受信した			○			SBCD-367
852C0000Hex	I/O 通信異常	プロセスデータ通信が一定時間以上停止しました	• EtherCAT 通信ケーブルのはずれ、断線 • EtherCAT マスタの異常			○			SBCD-367

A-3 CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴

イベントログには、CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴も併せて表示されます。イベントコードの上位 4 けたが 0000 の場合は、イベントコードの下位 4 けたが CJ シリーズ高機能ユニット内の異常履歴のエラーコード（異常コード）を表します。
該当する異常履歴のエラーコード（異常コード）の説明については、Sysmac Studio の「発生源詳細」または表示器の「発生源」に表示されている形式のマニュアルを参照してください。形式に対応するマニュアルは以下のとおりです。

形式	マニュアル名称	マニュアル番号
CJ1W-AD0□□-□□ CJ1W-DA0□□□ CJ1W-MAD42	CJ シリーズ アナログ入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCC-846
CJ1W-TC003 CJ1W-TC004 CJ1W-TC103 CJ1W-TC104	CJ シリーズ 温度調節ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCC-847
CJ1W-CT021	CJ シリーズ 高速カウンタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCC-848
CJ1W-PDC15 CJ1W-PH41U CJ1W-AD04U	CJ シリーズ プロセス入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCC-849
CJ1W-CRM21	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCD-353
CJ1W-SCU22 CJ1W-SCU32 CJ1W-SCU42	CJ シリーズ シリアルコミュニケーションユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCD-354
CJ1W-EIP21 CJ1W-EIP21S	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCD-355
CJ1W-DRM21	CJ シリーズ DeviceNet ユニット ユーザーズマニュアル NJ シ リーズ接続編	SBCD-357
CJ1W-ECT21	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SBCD-367
CJ1W-V680C11 CJ1W-V680C12	CJ シリーズ ID センサユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編	SDGR-703

たとえば、Sysmac Studio で次の情報が表示された場合は、CJ1W-EIP21/EIP21S のマニュアルである『CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編(SBCD-355)』に記載されているエラーコード（異常コード）000E の説明を参照してください。

発生源	発生源詳細	イベント名	イベントコード
I/O バス	ラック 0, スロット 3 CJ1W-EIP21/EIP21S	I/O バス異常	0x0000000E

以下に CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴の一覧を示します。重要度はすべて「監視異常」です。イベントではないためコントローラ異常は発生しません。

イベントコード	異常名
00000001Hex	CPU ユニット WDT 異常
00000002Hex	CPU ユニットサービス監視異常、またはリフレッシュタイムアウト
00000003Hex	CPU ユニット共有 RAM 異常
00000004Hex	高機能 IDNo.異常
00000005Hex	ユニット番号異常
00000006Hex	CPU 異常
00000007Hex	PF 復帰
00000008Hex	システム設定異常
00000009Hex	システム設定読出エラー
0000000AHex	ルーティングテーブル消失
0000000BHex	ルーティングテーブル異常
0000000CHex	ルーティングテーブル読出エラー
0000000DHex	機種異常
0000000EHex	I/O バス異常
0000000FHex	CPU ユニット初期化処理異常
00000010Hex	システム設定エリア容量オーバー
00000011Hex	レスポンスタイムアウト
00000012Hex	CPU ユニットメモリ異常
00000013Hex	CPU ユニットプロテクト中
00000014Hex	インナーバス異常
00000015Hex	CPU ユニット停止異常
00000016Hex	CPU ユニット継続異常
00000017Hex	タグデータベース異常
00000101Hex	送信不可(自ノードネットワーク未加入/トランシーバ異常)
00000102Hex	送信不可(トークン待ちタイムアウト/トークンロス)
00000103Hex	送信不可(再送オーバー)
00000104Hex	送信不可(送信許可フレームオーバー/パケットサイズオーバー)
00000105Hex	送信不可(ノードアドレス範囲外)
00000106Hex	送信不可(ノードアドレス二重設定)
00000107Hex	送信不可(相手ノードネットワーク未加入)
00000108Hex	送信不可(該当ユニットなし)
00000109Hex	送信不可(相手ノードビジー)
0000010AHex	送信不可(通信コントローラ異常)
0000010BHex	送信不可(CPU ユニット異常)
0000010CHex	送信不可(ユニット番号設定異常)
0000010DHex	送信不可(ルーティングテーブル宛先未設定)
0000010EHex	送信不可(ルーティングテーブル未登録)
0000010FHex	送信不可(ルーティングテーブル異常)
00000110Hex	送信不可(中継回数オーバー)
00000111Hex	送信不可(コマンド長オーバー)
00000112Hex	送信不可(ヘッダ異常)
00000113Hex	送信不可(I/O 設定異常)
00000114Hex	送信不可(CPU バス異常)
00000115Hex	送信不可(I/O 二重エラー)
00000116Hex	送信不可(高機能ユニット異常)
00000117Hex	内部受信バッファフル
00000118Hex	不正パケット廃棄
00000119Hex	送信不可(自ノードビジー)

イベントコード	異常名
0000011AHex	イニシャライズのためパケット破棄
0000011BHex	パリティエラーのため破棄
0000011CHex	フレーミングエラーのため破棄
0000011DHex	オーバーランエラーのため破棄
0000011EHex	FCS エラーのため破棄
0000011FHex	ブレーク検出のため破棄
00000120Hex	予期せぬルーティングエラー
00000121Hex	パケット破棄(設定テーブル未登録)
00000122Hex	パケット廃棄(現モードでのサービス実行不可)
00000123Hex	パケット破棄(内部送信バッファフル)
00000124Hex	ルーティング不可(最大フレーム長オーバー)
00000125Hex	レスポンスタイムアウトによる破棄
00000201Hex	ネットワークパラメータファイル喪失
00000202Hex	ネットワークパラメータファイル破壊
00000203Hex	EEPROM 異常
00000206Hex	加入局減少(自ノード離脱なし)
00000207Hex	加入局減少(自ノード離脱あり)
00000208Hex	管理局変更
00000209Hex	ネットワークパラメータ不一致
0000020AHex	RESET 異常
0000020BHex	SELF-TEST 異常完了
0000020CHex	トークン待ちタイムアウト
0000020DHex	ポーリング待ちタイムアウト
0000020EHex	通信チップコントローラ WDT エラー
0000020FHex	通信チップコントローラチップエラー
00000210Hex	通信コントローラ送信部異常
00000211Hex	ノードアドレス重複
00000212Hex	トランシーバー異常
00000213Hex	サーバーデーモン起動失敗
00000214Hex	ノードアドレス設定異常
00000215Hex	ネットワーク加入失敗
00000216Hex	バックアップ電池異常
00000217Hex	ループ異常
00000218Hex	メッセージ送信エラー
00000219Hex	ネットワーク状態不安定
0000021AHex	設定テーブル論理エラー
0000021BHex	ハードエラー
0000021CHex	データリンク異常停止
0000021DHex	データリンク通信サイクルタイム設定異常
0000021EHex	ネットワーク断線発生
00000220Hex	加入局減少(離脱ノード情報)
00000221Hex	加入局減少(離脱ノード情報)
00000222Hex	加入局減少(離脱ノード情報)
00000223Hex	加入局減少(離脱ノード情報)
00000230Hex	データリンク停止受付
000002B0Hex	FALS 検知
00000300Hex	パケット破棄(パラメータ異常)、設定範囲外、またはフラッシュ破壊
00000301Hex	プロトコルマクロ動作エラー
00000302Hex	プロトコル違反によるパケット破棄
00000303Hex	DM 設定不正
00000304Hex	センサー異常

イベントコード	異常名
00000305Hex	ユニットタイプ不正
00000310Hex	BCD 値不正、またはシステムパラメータ破壊
00000311Hex	プログラム破壊
00000312Hex	G 不当命令
00000313Hex	プログラム範囲オーバー
00000314Hex	原点信号なし
00000315Hex	偏差カウンタオーバーフロー
00000316Hex	ABS データエラー
00000317Hex	原点近傍信号なし
00000318Hex	CW 方向オーバートラベル
00000319Hex	CCW 方向オーバートラベル
0000031AHex	両方向オーバートラベル
0000031BHex	現在位置カウンタオーバーフロー
0000031CHex	ABS 多回転エラー
0000031DHex	フィードバックパルス異常
00000320Hex	パルスレートレンジ値不正、上下限値不正
00000330Hex	上下限値不正、目標値不正、または電池異常
00000331Hex	目標値が重複
00000335Hex	パルスレートレンジ値重複
00000340Hex	Busoff 検知
00000341Hex	ネットワーク電源異常
00000342Hex	送信タイムアウト
00000343Hex	リモート I/O 構成異常
00000344Hex	リモート I/O 照合異常
00000345Hex	リモート I/O 通信異常
00000346Hex	リモート I/O 通信異常により通信停止中
00000347Hex	I/O リフレッシュ異常
00000348Hex	メッセージ廃棄(新規リクエスト受信)
00000350Hex	NC ユニット異常、またはコントロールコード不正
00000351Hex	X 軸異常
00000352Hex	Y 軸異常
00000353Hex	Z 軸異常
00000354Hex	U 軸異常
00000360Hex	データ転送数不正、またはユニットシステム異常
00000370Hex	照合異常(OUT スレーブ不在)
00000371Hex	照合異常(IN スレーブ不在)
00000372Hex	照合異常(OUT 未登録スレーブ加入)
00000373Hex	照合異常(IN 未登録スレーブ加入)
00000374Hex	通信異常
00000375Hex	通信異常により通信停止
00000376Hex	アドレス二重異常
00000378Hex	不正リピータ/構成異常
000003B0Hex	DM システム設定読出しエラー
000003B1Hex	コマンドエラー
000003B2Hex	GP-IB I/F エラー
000003B3Hex	GP-IB 送信タイムアウトエラー
000003B4Hex	GP-IB 受信タイムアウトエラー
000003C0Hex	下位交信におけるエラー、または FINS/TCP 設定異常
000003C1Hex	サーバー設定異常
000003C2Hex	FINS/TCP パケット破棄
000003C3Hex	FINS/UDP パケット破棄

イベントコード	異常名
000003C4Hex	サーバー接続異常
000003C5Hex	メールメンテナンス機能異常
000003C6Hex	時計情報書込異常
000003D0Hex	Ethernet 基本設定異常
000003D1Hex	Ethernet 拡張設定異常
000003D2Hex	パケット廃棄
000003D3Hex	リンクオフ異常
000003D4Hex	照合異常(タグデータリンク)
000003D5Hex	タグデータリンク異常
00000400Hex	Z 相によるリセットの設定が範囲外
00000412Hex	カウント範囲不正
00000413Hex	カウンタ現在値不正
00000420Hex	パルスレートレンジ値不正、上下限値不正
00000430Hex	上下限値不正、目標値不正
00000431Hex	目標値が重複
00000435Hex	パルスレートレンジ値重複
00000450Hex	オーバーフロー
00000460Hex	アンダーフロー
00000470Hex	プリセット値不正
00000480Hex	外部割込みタスク用バッファフルエラー
00000490Hex	パリティエラー/準備未完了/タイムアウト
00000500Hex	システムコールエラー(アドレスエラー)
00000501Hex	システムコールエラー(引数エラー)
00000502Hex	システムコールエラー(ボード内エラー発生)
00000503Hex	システムコールエラー(ブロックエラー)
00000504Hex	システムコールエラー(ボードへのコマンド発行エラー)
00000505Hex	メッセージ送信失敗
00000510Hex	通信サーバー起動条件ファイル消失
00000511Hex	通信サーバー起動条件ファイル未設定
00000512Hex	通信サーバー起動失敗
00000513Hex	温度異常
00000514Hex	バッテリ電圧低下
00000515Hex	HDD-0 エラー
00000516Hex	HDD-1 エラー
00000517Hex	メッセージ送信失敗
00000601Hex	高機能ユニット異常
00000602Hex	高機能ユニットメモリ異常
00000701Hex	コンフィグレーション異常
00000702Hex	I/O エリア重複
00000703Hex	I/O エリア範囲オーバー
00000704Hex	未サポートスレーブあり
00000705Hex	照合異常(スレーブ不在)
00000706Hex	照合異常(スレーブ I/O サイズ不一致)
00000707Hex	通信異常
00000708Hex	スキャンリスト操作不能
00000709Hex	PC 装着異常
00000781Hex	ノードアドレス重複
00000782Hex	Busoff 検知
00000783Hex	通信電源供給なし
00000784Hex	送信タイムアウト

A-4　イベントコード順の異常一覧

すべての異常（イベント）をイベントコード順で記載した一覧です。
一覧には異常以外のイベントも併せて記載しています。

A-4-1　異常一覧の見方

異常一覧の内容は以下のとおりです。

項目	説明
イベントコード	NJ/NX シリーズのコントローラで発生した異常（イベント）のコードです。16 進数 8 けたで表されます。
イベント名	異常（イベント）の名称です。
機能分類	発生源の中での機能の分類です。
参照先	異常の詳細が記載されているマニュアルの番号です。

各異常の詳細な情報は異常一覧の「参照先」に記載されているマニュアルの異常説明の該当する機能分類の箇所を参照してください。

参照先に記載のマニュアル番号に対するマニュアル名称は以下を参照してください。

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCA-469	NJ/NX シリーズ トラブルシューティングマニュアル
SBCA-407	NX シリーズ デジタル I/O ユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-408	NX シリーズ アナログ I/O ユニット ユーザーズマニュアル アナログ入力ユニット、アナログ出力ユニット編
SBCA-409	NX シリーズ システムユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-411	NJ/NX シリーズ データベース接続 CPU ユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-412	NJ シリーズ SECS/GEM 搭載 CPU ユニット ユーザーズマニュアル（形 NJ501-1340）
SBCA-421	NJ シリーズ NJ Robotics CPU ユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-422	NX シリーズ コミュニケーションインタフェースユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-439	NX シリーズ ロードセル入力ユニット ユーザーズマニュアル
SBCA-440	NX シリーズ アナログ I/O ユニット ユーザーズマニュアル 温度入力ユニット、ヒータ断線検知ユニット編
SBCC-846	CJ シリーズ アナログ入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCC-847	CJ シリーズ 温度調節ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCC-848	CJ シリーズ 高速カウンタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCC-849	CJ シリーズ プロセス入出力ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-350	GX シリーズ EtherCAT スレーブ ユーザーズマニュアル
SBCD-353	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-354	CJ シリーズ シリアルコミュニケーションユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-355	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-357	CJ シリーズ DeviceNet ユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-361	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット ユーザーズマニュアル
SBCD-367	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SBCD-371	IO-Link システム ユーザーズマニュアル
SBCD-374	NJ/NX シリーズ CPU ユニット ユーザーズマニュアル OPC UA 編
SBCE-361	MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット ユーザーズマニュアル
SBCE-365	AC サーボモータ／ドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル

マニュアル番号	マニュアル名称
SBCE-366	AC サーボモータ／ドライバ G5 シリーズ EtherCAT 通信内蔵リニアモータタイプ ユーザーズマニュアル
SBCE-374	NX シリーズ 位置インタフェースユニット ユーザーズマニュアル
SBCE-377	AC サーボモータ／ドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ ユーザーズマニュアル
SBCE-428	NJ/NY シリーズ NC 統合コントローラ ユーザーズマニュアル
SBCE-436	NJ シリーズ ロボット統合 CPU ユニット ユーザーズマニュアル
SBCE-438	AC サーボモータ／ドライバ 1S シリーズ EtherCAT 通信内蔵タイプ 安全機能対応 ユーザーズマニュアル
SCHE-762	EtherCAT デジタルタイプセンサ通信ユニット（形 E3X-ECT） ユーザーズマニュアル
SCHE-763	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット ユーザーズマニュアル
SDGR-703	CJ シリーズ ID センサユニット ユーザーズマニュアル NJ シリーズ接続編
SDNB-706	視覚センサ FQ-M シリーズ 位置決め専用視覚センサ ユーザーズマニュアル
SDNB-714	画像処理システム FH/FZ5 シリーズ ユーザーズマニュアル 通信設定編
SDNE-703	ファイバ同軸変位センサ（形 ZW-CE1□） ユーザーズマニュアル
SGFM-710	NX シリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル
SGTD-748	NX シリーズ 温度調節ユニット ユーザーズマニュアル
SBCD-382	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット ユーザーズマニュアル

A-4-2　異常一覧

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
00070000Hex	時計発振停止	自己診断関連	SBCA-469
00080000Hex	時計故障	自己診断関連	SBCA-469
00090000Hex	ディップスイッチ設定エラー	自己診断関連	SBCA-469
000B0000Hex	バッテリ電圧低下	自己診断関連	SBCA-469
000C0000Hex	CPU ユニット内部温度オーバー	自己診断関連	SBCA-469
000D0000Hex	内部バスチェックエラー	自己診断関連	SBCA-469
000E0000Hex	不揮発性メモリ寿命	自己診断関連	SBCA-469
000F0000Hex	SD メモリカード種別不正	自己診断関連	SBCA-469
00100000Hex	SD メモリカード寿命	自己診断関連	SBCA-469
00110000Hex	CPU ユニット内部温度オーバー（運転停止）	自己診断関連	SBCA-469
00120000Hex	ファン回転数低下	自己診断関連	SBCA-469
00130000Hex	メインメモリチェックエラー	自己診断関連	SBCA-469
00150000Hex	不揮発性メモリ寿命警告	自己診断関連	SBCA-469
00200000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズシステムユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-407 SBCA-408 SBCA-440 SBCA-409 SBCE-374 SBCA-422 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
00210000Hex	バスコントローラ異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
00220000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
00640000Hex	メインメモリチェックエラー	X バスユニット共通関連	SBCA-469
00650000Hex	不揮発性メモリ寿命警告	X バスユニット共通関連	SBCA-469
04010000Hex	I/O バスチェックエラー	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
04020000Hex	PLC システム情報	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
04100000Hex	NX バスコントローラ異常	NX バス関連	SBCA-469
04110000Hex	NX バスハードウェア異常	NX バス関連	SBCA-469
04200000Hex	通信コントローラ異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
04210000Hex	通信コントローラ異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
04310000Hex	通信コントローラ異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
04400000Hex	通信コントローラ異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
04600000Hex	A/D 変換異常	CJ シリーズアナログ入出力ユニット、プロセス入出力ユニット関連	SBCC-846 SBCC-849
04610000Hex	冷接点センサ異常	CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連	SBCC-849
04620000Hex	不揮発性メモリ異常	CJ シリーズアナログ入出力ユニット、プロセス入出力ユニット関連	SBCC-846 SBCC-849
04680000Hex	冷接点センサ異常	CJ シリーズ温度調節ユニット関連	SBCC-847

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
046C0000Hex	ユニット状態 アンテナ電源異常	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
046D0000Hex	ユニット状態 メモリエラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
046E0000Hex	結果情報 アンテナ異常	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
046F0000Hex	ユニット状態 ユニットビジー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
04740000Hex	異常履歴データ異常	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
04750000Hex	DR 信号チェックエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
04760000Hex	CS 信号チェックエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
047A0000Hex	ユニットメモリ異常（素子の異常）	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
047B0000Hex	不揮発性メモリ異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
047C0000Hex	通信コントローラ異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
04880000Hex	ユニットメモリ異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
04890000Hex	ネットワーク電源異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
048A0000Hex	ファイル読み込み／書き込み異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
04A00000Hex	拡張異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-350
04A10000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連、インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連、ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連、EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SBCD-350 SBCE-361 SCHE-762 SCHE-763 SBCD-371 SBCD-385
04A20000Hex	スレーブハードウェア異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-350 SBCD-371
04A80000Hex	制御電源不足電圧	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04A90000Hex	過電圧	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AA0000Hex	主回路電源不足電圧（PN 間電圧不足）	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AB0000Hex	主回路電源不足電圧（AC 遮断検出）	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AC0000Hex	過電流	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AD0000Hex	IPM 異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AE0000Hex	回生 Tr 異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04AF0000Hex	エンコーダ Z 相異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
04B00000Hex	エンコーダ CS 信号異常	サーボ G5 関連	SBCE-365

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
04B10000Hex	ノードアドレス設定異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
04B20000Hex	その他異常	G5 リニア関連	SBCE-366
04B30000Hex	電源投入時回生トランジスタ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
04B50000Hex	突入電流防止回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
04B60000Hex	回生回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
04BA0000Hex	インバーター通信ユニット間接続異常	インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連	SBCE-361
04BB0000Hex	インバータワーニング	インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連	SBCE-361
04BC0000Hex	インバータトリップ	インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連	SBCE-361
04C40000Hex	センサ接続異常	ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連、EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-762 SCHE-763
04C50000Hex	センサ未接続	ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連、EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-762 SCHE-763
04D00000Hex	ハードウェア異常	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
05010000Hex	ESC 異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
05020000Hex	ESC 初期化異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
05030000Hex	SII 照合異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
05100000Hex	AD コンバータ異常	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-440 SGTD-748
05110000Hex	冷接点センサ異常	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-440 SGTD-748
05120000Hex	AD 変換異常	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
05200000Hex	システム異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
05210000Hex	セーフティ入力端子内部回路異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
05220000Hex	テスト出力端子内部回路異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
05230000Hex	セーフティ出力端子内部回路異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
05400000Hex	ESC 異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
05410000Hex	高機能ユニットメモリ異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
05420000Hex	SII 照合異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
05430000Hex	ESC 異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
05440000Hex	オプションボード異常	内蔵 I/O、オプションボード関連	SBCA-469
08010000Hex	バッテリ警告	サーボ G5 関連	SBCE-365
08020000Hex	ファン警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08030000Hex	エンコーダ通信警告	サーボ G5 関連	SBCE-365
08040000Hex	エンコーダ／シリアル変換ユニット過熱警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08050000Hex	寿命検出警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08060000Hex	外部スケール異常警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08070000Hex	外部スケール通信警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08080000Hex	エンコーダ通信断線異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
08090000Hex	エンコーダ通信異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
080A0000Hex	エンコーダ通信データ異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
080B0000Hex	セーフティ入力異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
080C0000Hex	外部スケール結線異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
080D0000Hex	外部スケール通信データ異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
080E0000Hex	外部スケールステータス異常 0	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
080F0000Hex	外部スケールステータス異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08100000Hex	外部スケールステータス異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08110000Hex	外部スケールステータス異常 3	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08120000Hex	外部スケールステータス異常 4	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08130000Hex	外部スケールステータス異常 5	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08140000Hex	A 相結線異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08150000Hex	B 相結線異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08160000Hex	Z 相結線異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
08170000Hex	エンコーダデータ復元異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
08180000Hex	外部スケールデータ復元異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
081C0000Hex	コンデンサ寿命警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
081D0000Hex	突入電流防止リレー寿命警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
081F0000Hex	ブレーキインターロック出力リレー寿命警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
08210000Hex	ファン／電圧異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
08220000Hex	カメラ過電流検出	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
08230000Hex	パラレル I/O 過電流検出	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
08390000Hex	パワーモジュール異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
083A0000Hex	エンコーダ通信警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
083B0000Hex	自己診断異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
083C0000Hex	主回路温度監視の回路故障	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
083D0000Hex	ファン異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
083F0000Hex	回生処理異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08410000Hex	過電圧異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08420000Hex	モータ過熱異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
08430000Hex	1 回転内カウンタ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08440000Hex	オーバースピード異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
08450000Hex	エンコーダメモリ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08460000Hex	絶対位置検出異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08470000Hex	エンコーダ寿命警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08480000Hex	主回路電源電圧不足（PN 間電圧不足）	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
08490000Hex	過電流異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
084A0000Hex	エンコーダ通信断線異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
084B0000Hex	エンコーダ通信異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
084C0000Hex	ファン回転警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
084D0000Hex	不揮発性メモリハードウェア異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
084E0000Hex	絶対値カウンタオーバー警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
086D0000Hex	モータ温度異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
086E0000Hex	エンコーダ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
086F0000Hex	エンコーダ電源異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08700000Hex	エンコーダ自己診断異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08710000Hex	SF 入力端子内部回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08720000Hex	SOPT 入力端子内部回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08730000Hex	テスト出力端子内部回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08740000Hex	SBC 出力端子内部回路異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08750000Hex	オーバースピード異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08760000Hex	絶対値多回転カウンタ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08770000Hex	セーフティリレー寿命警告	サーボ 1S 関連	SBCE-438
08780000Hex	エンコーダ通信断線異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
10010000Hex	不揮発性メモリ修復あり	自己診断関連	SBCA-469
10020000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	自己診断関連	SBCA-469
10030000Hex	SD メモリカードフォーマット不正	自己診断関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
10040000Hex	SD メモリカード修復あり	自己診断関連	SBCA-469
10060000Hex	SD メモリカードデータ破壊	自己診断関連	SBCA-469
10070000Hex	SD メモリカードアクセス中電源断	自己診断関連	SBCA-469
10080000Hex	メインメモリチェックエラー	自己診断関連	SBCA-469
10090000Hex	バッテリバックアップメモリチェックエラー	自己診断関連	SBCA-469
100A0000Hex	バッテリバックアップメモリへの保存未実行	自己診断関連	SBCA-469
100B0000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	自己診断関連	SBCA-469
100C0000Hex	イベント重要度設定異常	自己診断関連	SBCA-469
100F0000Hex	保持変数の現在値復元失敗	自己診断関連	SBCA-469
10100000Hex	保持変数の現在値保存未実行	自己診断関連	SBCA-469
10130000Hex	PLC システム情報	自己診断関連	SBCA-469
10200000Hex	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定転送エラー	コントローラ操作関連	SBCA-469
10210000Hex	ユーザプログラム実行用 ID 不正	コントローラ操作関連	SBCA-469
10230000Hex	イベントログ保存失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
10240000Hex	不正なユーザプログラム	コントローラ操作関連	SBCA-469
10250000Hex	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定不正	コントローラ操作関連	SBCA-469
10260000Hex	トレース設定転送失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
10270000Hex	自動転送開始エラー	コントローラ操作関連	SBCA-469
10280000Hex	自動転送実行エラー	コントローラ操作関連	SBCA-469
10290000Hex	バックアップ開始失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
102A0000Hex	バックアップ実行失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
102B0000Hex	リストア開始失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
102C0000Hex	リストア実行失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
102D0000Hex	バックアップ実行失敗（CJ ユニット）	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
102E0000Hex	リストア実行失敗（CJ ユニット）	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
102F0000Hex	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
10300000Hex	リストア実行失敗(EtherCAT スレーブ)	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
10310000Hex	SD メモリカードの不正な取り外し	自己診断関連	SBCA-469
10320000Hex	SD メモリカードプログラム転送開始失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
10330000Hex	SD メモリカードプログラム転送実行前エラー	コントローラ操作関連	SBCA-469
10340000Hex	SD メモリカードプログラム転送実行エラー	コントローラ操作関連	SBCA-469
103C0000Hex	バックアップ実行失敗（NX ユニット）	NX バス関連	SBCA-469
103D0000Hex	リストア実行失敗（NX ユニット）	NX バス関連	SBCA-469
103E0000Hex	リストア実行前チェック失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
103F0000Hex	オンラインエディット転送失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
10400000Hex	アナログユニット校正値パラメータ異常	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
10410000Hex	マスタ保存制御パラメータ異常	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-407 SBCA-408 SBCA-440 SBCE-374 SBCA-422 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
10420000Hex	不揮発性メモリ制御パラメータ異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
10430000Hex	メモリ破壊検出	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
10440000Hex	ユニット校正値異常	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
10450000Hex	実負荷校正値異常	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
10460001Hex	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
10470002Hex	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
10500000Hex	NX バス通信設定の読み出し異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
10510000Hex	セーフティアプリケーションデータの読み出し異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
10520000Hex	NX バス通信設定とセーフティアプリケーションデータの不整合	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
10530000Hex	不揮発性メモリアクセス異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
10600000Hex	NX バスメモリチェックエラー	NX バス関連	SBCA-469
10610000Hex	NX ユニット動作設定の読み出し失敗	NX バス関連	SBCA-469
10620000Hex	NX ユニット用イベントログの保存失敗	NX バス関連	SBCA-469
10630000Hex	セーフティデータロギング開始失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
10640000Hex	セーフティデータログファイル保存失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
11000000Hex	X バスユニット設定転送エラー	X バスユニット共通関連	SBCA-469
11010000Hex	イベントログ保存失敗	X バスユニット共通関連	SBCA-469
110C0000Hex	X バスユニット設定不正	X バスユニット共通関連	SBCA-469
110D0000Hex	保持変数の現在値保存未実行	X バスユニット共通関連	SBCA-469
110E0000Hex	不揮発性メモリ修復あり	X バスユニット共通関連	SBCA-469
110F0000Hex	不揮発性メモリデータ破壊	X バスユニット共通関連	SBCA-469
11100000Hex	メインメモリチェックエラー	X バスユニット共通関連	SBCA-469
11110000Hex	X バス共通システム情報	X バスユニット共通関連	SBCA-469
14010000Hex	CPU 高機能ユニットシステム設定エリアエラー	FINS 通信関連	SBCA-469
14200000Hex	MAC アドレス異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
14210000Hex	Identity 情報異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
14220000Hex	EtherNet/IP 処理異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
14230000Hex	MAC アドレス異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
14310000Hex	MAC アドレス異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
14340000Hex	Ethernet 処理異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
14400000Hex	MAC アドレス異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
14600000Hex	絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
14610000Hex	モーション制御パラメータ設定異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
14620000Hex	カムデータ読み出し異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
14630000Hex	カムテーブル保存処理失敗	モーション制御機能関連	SBCA-469
14800000Hex	プロトコルデータ異常	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
14840000Hex	通信パラメータ設定不正	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
14850000Hex	タグデータベース異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
148C0000Hex	メッセージ監視タイマリストデータ不正	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
148D0000Hex	スキャンリストデータ不正	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
148E0000Hex	スレーブ機能設定データ不正	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
14A00000Hex	不揮発性メモリ制御系データ異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連、ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連、EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SBCD-350 SCHE-762 SCHE-763 SBCD-371 SBCD-385
14A80000Hex	オブジェクト異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14A90000Hex	オブジェクト異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14AA0000Hex	オブジェクト異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14AB0000Hex	オブジェクト破壊	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14AC0000Hex	オブジェクト破壊	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14AD0000Hex	オブジェクト破壊	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
14B00000Hex	リニアリティ補正データ異常	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
14B10000Hex	リニアリティ補正データ読込みエラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
14B20000Hex	システム設定異常	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
14B30000Hex	バンクデータ異常	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
14C00000Hex	ユニット校正値パリティエラー	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
14C10000Hex	ユニット保存チューニングパラメータ無効	NX シリーズ温度調節ユニット関連	SGTD-748
14D00000Hex	スプール破壊	DB 接続サービス関連	SBCA-411
14D20000Hex	実行ログ保存失敗	DB 接続サービス関連	SBCA-411

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
14D30000Hex	SQL 実行失敗ログ保存失敗	DB 接続サービス関連	SBCA-411
14E00000Hex	GEM 設定データ不正	GEM サービス関連	SBCA-412
14E10000Hex	GEM サービスログ保存失敗	GEM サービス関連	SBCA-412
14E20000Hex	スプール破棄	GEM サービス関連	SBCA-412
14E30000Hex	スプール保存失敗	GEM サービス関連	SBCA-412
14E40000Hex	SD メモリカード不正	GEM サービス関連	SBCA-412
15000000Hex	実行ログ保存失敗	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
15020000Hex	サーバ証明書不一致	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
15100000Hex	X バスユニット構成設定異常	X バス関連	SBCA-469
15110000Hex	X バスユニットバックアップ実行失敗	X バス関連	SBCA-469
15120000Hex	X バスユニットリストア実行失敗	X バス関連	SBCA-469
152C0000Hex	変数ログ保存失敗	コントローラ操作関連	SBCA-469
17800000Hex	CNC パラメータ設定異常	CNC 機能関連	SBCE-428
17810000Hex	絶対値エンコーダ原点位置オフセット読み出し異常	CNC 機能関連	SBCE-428
17820000Hex	CNC モータ補正テーブル読み出し異常	CNC 機能関連	SBCE-428
17C00000Hex	ロボット制御パラメータ設定異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
17C10000Hex	ロボット制御機能有効中の SD メモリカード取り外し	ロボット制御機能関連	SBCE-436
17C20000Hex	SD メモリカード未挿入時ロボット制御機能有効	ロボット制御機能関連	SBCE-436
18200000Hex	絶対値オーバースピード異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
18210000Hex	エンコーダ初期化異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
18220000Hex	絶対値 1 回転カウンタ異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
18230000Hex	絶対値多回転カウンタ異常	サーボ G5 関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-377
182D0000Hex	設定データロード異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
18380000Hex	システム異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
18390000Hex	寿命情報破損警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
183A0000Hex	不揮発性メモリデータ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
24010000Hex	未サポートユニット接続	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
24020000Hex	I/O 点数オーバー	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
24030000Hex	エンドカバー未接続	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
24040000Hex	ユニット／増設ラック接続不正	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
24050000Hex	ユニット番号重複	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
24200000Hex	スレーブノードアドレス重複	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
24400000Hex	ユニット状態 アンテナエラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
24480000Hex	ノードアドレス重複	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
24610000Hex	スイッチ設定異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-350
24680000Hex	モータ不一致	サーボ G5 関連	SBCE-365
24690000Hex	モータ不一致	サーボ G5 関連	SBCE-365
246A0000Hex	モータ不一致	サーボ G5 関連	SBCE-365
246B0000Hex	モータ不一致	サーボ G5 関連	SBCE-365

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
246C0000Hex	モータ不一致	サーボ G5 関連	SBCE-365
246D0000Hex	モータ不一致	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
24780000Hex	センサ接続台数照合異常	ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連	SCHE-762
24790000Hex	センサ接続台数超過	ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連	SCHE-762
247A0000Hex	分散ユニット接続異常	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-763
247B0000Hex	センサ接続台数超過	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-763
247C0000Hex	センサ接続台数照合異常	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-763
247D0000Hex	分散ユニットのセンサ接続台数超過	EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-763
24810000Hex	Ethernet 通信パラメータ異常	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1口関連	SDNE-703
24A00000Hex	ユニット構成異常（台数オーバー）	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
24A10000Hex	ユニット構成異常（サポート外）	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
24AA0000Hex	ディップスイッチ設定不正	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
24C00000Hex	X バスユニット装着台数超過	X バス関連	SBCA-469
24C10000Hex	未対応 X バスユニット装着	X バス関連	SBCA-469
24D00000Hex	NX ユニット装着台数超過	NX バス関連	SBCA-469
24D20000Hex	NX ユニット総 I/O データサイズ超過	NX バス関連	SBCA-469
28010000Hex	モータ設定異常	G5 リニア関連	SBCE-366
28020000Hex	モータ組合せ異常 1	G5 リニア関連	SBCE-366
28030000Hex	モータ組合せ異常 2	G5 リニア関連	SBCE-366
28080000Hex	主回路電源欠相異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
280D0000Hex	暴走検出	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
30200000Hex	未サポートのユニット設定	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
34010000Hex	I/O 設定チェックエラー	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
34100000Hex	IP アドレステーブル設定エラー	FINS 通信関連	SBCA-469
34110000Hex	送信先ノード不明	FINS 通信関連	SBCA-469
34130000Hex	FINS/TCP コネクションテーブル 設定エラー	FINS 通信関連	SBCA-469
34200000Hex	タグデータリンク設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34210000Hex	Ethernet 基本設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34220000Hex	IP アドレス設定異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34230000Hex	IP ルートテーブル設定異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34240000Hex	FTP サーバ設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34250000Hex	NTP クライアント設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34260000Hex	SNMP 設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34270000Hex	タグ解決異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
34280000Hex	Ethernet 基本設定エラー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
34290000Hex	IP アドレス設定異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
342A0000Hex	DNS 設定異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
342B0000Hex	LINK 設定未サポート	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
342C0000Hex	CIP Safety 通信とタグデータリンク通信混在不可	EtherNet/IP 関連	SBCD-382
34400000Hex	ネットワーク構成情報異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
34410000Hex	EtherCAT 通信周期設定異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
34420000Hex	パラメータ転送未実行	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
34600000Hex	必須プロセスデータオブジェクト未設定	モーション制御機能関連	SBCA-469
34610000Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
34630000Hex	軸割付スレーブ無効	モーション制御機能関連	SBCA-469
34640000Hex	軸割付スレーブネットワーク構成情報未登録	モーション制御機能関連	SBCA-469
34800000Hex	平均化処理回数設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34810000Hex	（調整モード時）入力値調整範囲外	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34820000Hex	（調整モード時）入力番号指定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34830000Hex	スケーリングデータ設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34840000Hex	入力信号レンジ設定ミス／入力点数設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34850000Hex	平均化処理回数設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34860000Hex	変換モード切替設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34870000Hex	出力ホールド設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34880000Hex	（調整モード時）出力番号指定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
34890000Hex	変換周期･分解能設定ミス／動作モード設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
348A0000Hex	出力信号レンジ設定ミス／出力点数設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
348C0000Hex	（調整モード時）入出力番号指定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
348D0000Hex	データ範囲エラー	CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連	SBCC-849
34940000Hex	設定値異常	CJ シリーズ温度調節ユニット関連	SBCC-847
34980000Hex	結果情報 データ格納エリア指定異常	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
349C0000Hex	登録テーブル照合異常発生	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
349D0000Hex	スレーブアドレス二重異常発生	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
349E0000Hex	リピータノードアドレス二重異常発生	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
34A40000Hex	システム設定エラー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
34A80000Hex	照合異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34A90000Hex	タグデータリンク異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AA0000Hex	タグリフレッシュ異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AB0000Hex	Ethernet 基本設定異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AC0000Hex	IP アドレステーブル異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AD0000Hex	IP ルータテーブル異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AE0000Hex	ルーチングテーブル異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34AF0000Hex	Ethernet 拡張設定異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34B00000Hex	アドレス不一致	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
34BC0000Hex	ルーチングテーブル異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34BD0000Hex	照合異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34BE0000Hex	構成異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34BF0000Hex	マスタ機能 I/O リフレッシュ異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34C00000Hex	マスタ自由割付ユーザ設定失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34C10000Hex	通信サイクル時間設定失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34C20000Hex	スレーブ機能 I/O リフレッシュ異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34C30000Hex	スレーブ自由割付ユーザ設定失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
34E00000Hex	データ設定警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377
34E10000Hex	ドライバ過熱	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34E20000Hex	過負荷	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34E30000Hex	回生過負荷	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34E40000Hex	偏差カウンタオーバー	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34E50000Hex	速度偏差過大異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34E60000Hex	過速度	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
34F00000Hex	PDO 設定異常	インバータ MX2／RX（MX2／RX シリーズ インバータ EtherCAT 通信ユニット）関連	SBCE-361

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
34F80000Hex	ダミー機能設定異常	ファイバセンサ E3X（デジタルタイプセンサ用 EtherCAT 通信ユニット）関連、EtherCAT デジタルセンサ通信ユニット関連	SCHE-762 SCHE-763
35000000Hex	ユニット構成情報異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35010000Hex	ユニット構成照合異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35020000Hex	NX ユニット 軽度フォールト発生	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35030000Hex	NX ユニット 監視情報発生	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35040000Hex	MailBox 設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35050000Hex	RxPDO 設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35060000Hex	TxPDO 設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35070000Hex	PDO WDT 設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35080000Hex	SM イベントモード設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35090000Hex	TxPDO マッピング異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
350A0000Hex	RxPDO マッピング異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
350B0000Hex	不正状態遷移要求受信	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
350C0000Hex	異常状態遷移受信	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
350D0000Hex	同期周期設定異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
350E0000Hex	NX バス周期遅延検出	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
35100000Hex	外部入力設定不正	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
35110000Hex	SSI データ設定不正	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
35200000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35210000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（ユニットパラメータ不正）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35230000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（FSoE Slave Address 不正）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35240000Hex	セーフティプロセスデータ通信確立異常（フレーム不正）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35250000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（SD メモリカードアクセス失敗）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35260000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（セーフティユニットリストアファイル読み込み失敗）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
35270000Hex	ユニットリストア開始失敗(形式不一致)	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35280000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（バージョン不一致）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35290000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗（ノード名不一致）	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
352A0000Hex	セーフティユニットリストア開始失敗(セーフティパスワード不一致)	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
352B0000Hex	セーフティユニットリストア実行失敗	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
35300000Hex	DB 接続設定エラー	DB 接続サービス関連	SBCA-411
35310000Hex	DB サーバ証明書エラー	DB 接続サービス関連	SBCA-411
35400000Hex	変数割り付け不正	GEM サービス関連	SBCA-412
35410000Hex	TCP ポート番号不正	GEM サービス関連	SBCA-412
35600000Hex	X バスユニットバージョン不整合	X バス関連	SBCA-469
35610000Hex	未登録 X バスユニット装着	X バス関連	SBCA-469
35620000Hex	登録 X バスユニット未装着	X バス関連	SBCA-469
35630000Hex	X バスユニットのシリアル番号不一致	X バス関連	SBCA-469
35680000Hex	I/O リフレッシュ異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
35690000Hex	MailBox 設定異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
356A0000Hex	照合異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
356B0000Hex	不正状態遷移要求受信	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
356D0000Hex	パラメータ転送未実行	NX バス関連	SBCA-469
357D0000Hex	DC 設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
357E0000Hex	同期周期設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
357F0000Hex	Mailbox 設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35800000Hex	RxPDO 設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35810000Hex	TxPDO 設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35820000Hex	RxPDO マッピング異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35830000Hex	TxPDO マッピング異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35840000Hex	PDO WDT 設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35850000Hex	ノードアドレス更新	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35860000Hex	SM イベントモード設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
35900000Hex	NX ユニットバージョン不整合	NX バス関連	SBCA-469
35910000Hex	未登録 NX ユニット装着	NX バス関連	SBCA-469
35920000Hex	登録 NX ユニット未装着	NX バス関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
35930000Hex	NX ユニットのシリアル番号不一 致	NX バス関連	SBCA-469
35940000Hex	オプションボード構成照合異常	内蔵 I/O、オプションボード関連	SBCA-469
35950000Hex	未サポートオプションボード装着	内蔵 I/O、オプションボード関連	SBCA-469
35D00000Hex	OPC UA サーバ設定異常	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D10000Hex	サーバ証明書有効期限切れ	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D20000Hex	サーバ証明書有効期限切れ予告	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D30000Hex	公開変数数オーバー	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D40000Hex	未サポートのデータ型／無効データ	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D50000Hex	公開バリュー属性数オーバー	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35D60000Hex	構造体定義数オーバー	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
35EF0000Hex	オートメーションプレイバック起動異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
36010000Hex	Ethernet 基本設定エラー	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
36020000Hex	IP アドレス設定異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
36030000Hex	IP ルータテーブル設定異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
36060000Hex	SNMP 設定エラー	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
36080000Hex	DNS 設定異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
37800000Hex	必須プロセスデータオブジェクト未設定	CNC 機能関連	SBCE-428
37810000Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	CNC 機能関連	SBCE-428
37C20000Hex	ロボット設定の不整合検出	ロボット制御機能関連	SBCE-436
38010000Hex	スケーリングデータ設定ミス／比率変換使用設定ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
38020000Hex	比率設定値ミス	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
381C0000Hex	ステータスエリア レイアウト設定異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
383C0000Hex	オーバーロード警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
383D0000Hex	過回生警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
383E0000Hex	発振検出警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
383F0000Hex	ハイブリッド偏差過大異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
38400000Hex	第 2 過速度	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38410000Hex	指令異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38420000Hex	指令生成異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38430000Hex	偏差カウンタオーバーフロー 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38440000Hex	偏差カウンタオーバーフロー 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
38450000Hex	インタフェース入力重複割付異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38460000Hex	インタフェース入力重複割付異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38470000Hex	インタフェース入力機能番号異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38480000Hex	インタフェース入力機能番号異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
38490000Hex	インタフェース出力機能番号異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
384A0000Hex	インタフェース出力機能番号異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
384B0000Hex	ラッチ入力割付異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
384C0000Hex	オーバーランリミット異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
384D0000Hex	絶対値システムダウン異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
384E0000Hex	絶対値カウンタオーバー異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
384F0000Hex	オブジェクト設定異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365
38500000Hex	オブジェクト設定異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365
38510000Hex	外部スケール接続異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365
38520000Hex	機能設定異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365
38530000Hex	磁極位置推定異常 1	G5 リニア関連	SBCE-366
38540000Hex	磁極位置推定異常 2	G5 リニア関連	SBCE-366
38550000Hex	磁極位置推定異常 3	G5 リニア関連	SBCE-366
38560000Hex	モータ自動設定異常	G5 リニア関連	SBCE-366
38570000Hex	機能設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38590000Hex	カメラ接続異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
385A0000Hex	接続カメラに変更あり	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
385B0000Hex	照明接続構成異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
38780000Hex	汎用入力割付重複異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38790000Hex	汎用出力割付重複異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
387A0000Hex	過負荷警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
387B0000Hex	パルス出力設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
387C0000Hex	モータ交換検出	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
387D0000Hex	回生過負荷警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
387E0000Hex	モータ発振警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
387F0000Hex	電子ギア設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38800000Hex	ドライバ過熱	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38810000Hex	過負荷異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38820000Hex	回生過負荷異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
38830000Hex	位置偏差過大異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38840000Hex	速度偏差過大異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38850000Hex	速度超過異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38860000Hex	位置偏差カウンタオーバーフロー	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38870000Hex	絶対値カウンタオーバー異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38880000Hex	セーフティ通信設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38890000Hex	セーフティフレーム異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
388A0000Hex	セーフティパラメータ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377
388B0000Hex	FSoE スレーブアドレス異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
38980000Hex	セーフティ機能設定異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
38990000Hex	セーフティパラメータ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
40010000Hex	PLC システム処理異常	自己診断関連	SBCA-469
40020000Hex	PLC システム処理異常	自己診断関連	SBCA-469
40030000Hex	PLC システム処理異常	自己診断関連	SBCA-469
40040000Hex	PLC システム処理異常	自己診断関連	SBCA-469
40050000Hex	PLC システム処理異常	自己診断関連	SBCA-469
40110000Hex	PLC 機能処理異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
40120000Hex	PLC 機能処理異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
40130000Hex	PLC 機能処理異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
40140000Hex	PLC システム情報	コントローラ操作関連	SBCA-469
40150000Hex	PLC システム情報	コントローラ操作関連	SBCA-469
40160000Hex	セーフモード	コントローラ操作関連	SBCA-469
40170000Hex	セーフモード	コントローラ操作関連	SBCA-469
40200000Hex	NX ユニット処理異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット 関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCD-361 SBCA-440 SBCE-374 SBCA-422 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
41000000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41010000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41020000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41030000Hex	X バスユニットシステム情報	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41040000Hex	X バスユニットシステム情報	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41050000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通関連	SBCA-469
41060000Hex	X バスユニット共通機能処理異常	X バスユニット共通関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
44010000Hex	EtherCAT 処理異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
44180000Hex	OPC UA システム処理異常	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
44190000Hex	OPC UA サーバのメモリ容量不足	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
441C0000Hex	DB 接続システム処理異常	DB 接続命令関連	SBCA-411
44200000Hex	モーション制御初期化異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
44210000Hex	モーション制御機能処理異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
44300000Hex	X バス機能処理異常	X バス関連	SBCA-469
44400000Hex	PLC 機能処理異常	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
44410000Hex	PLC システム情報	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
44420000Hex	PLC 機能処理異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
44430000Hex	PLC システム情報	コントローラ操作関連	SBCA-469
44440000Hex	NX バス機能処理異常	NX バス関連	SBCA-469
44450000Hex	NX バスシステム情報	NX バス関連	SBCA-469
47800000Hex	CNC 初期化異常	CNC 機能関連	SBCE-428
47810000Hex	CNC パラメータ設定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
47C00000Hex	ロボット制御初期化異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
47C10000Hex	ロボット制御機能モジュールシステム異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
47C20000Hex	ロボット制御機能モジュール処理異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
48020000Hex	システム異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
48080000Hex	FPGA ウォッチドッグ異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
50010000Hex	コントローラのメモリ容量不足予告	EtherCAT マスタ関連、EtherNet/IP 関連	SBCA-469
54010400Hex	入力値範囲外	命令関連	SBCA-469
54010401Hex	数値関係不正	命令関連	SBCA-469
54010402Hex	浮動小数点数エラー	命令関連	SBCA-469
54010403Hex	非 BCD	命令関連	SBCA-469
54010404Hex	符号付き BCD エラー	命令関連	SBCA-469
54010405Hex	指定ビット位置不正	命令関連	SBCA-469
54010406Hex	領域範囲外指定	命令関連	SBCA-469
54010407Hex	領域オーバー	命令関連	SBCA-469
54010409Hex	コントローラ異常解除失敗	命令関連	SBCA-469
5401040BHex	ユーザ異常解除失敗	命令関連	SBCA-469
5401040CHex	ユーザ異常最大件数	命令関連	SBCA-469
5401040DHex	指定ユニット不正	命令関連	SBCA-469
5401040FHex	ユニットリスタート失敗	命令関連	SBCA-469
54010410Hex	文字列フォーマット異常	命令関連	SBCA-469
54010411Hex	指定プログラム不正	命令関連	SBCA-469
54010413Hex	メモリ非アドレス指定	命令関連	SBCA-469
54010414Hex	スタックアンダーフロー	命令関連	SBCA-469
54010415Hex	ファームウェア異常	命令関連	SBCA-469
54010416Hex	配列の要素数・次元数不正	命令関連	SBCA-469
54010417Hex	指定タスク不正	命令関連	SBCA-469
54010418Hex	指定タスク不許可	命令関連	SBCA-469
54010419Hex	データ型不正	命令関連	SBCA-469
5401041AHex	命令多重起動	命令関連	SBCA-469
5401041BHex	データ容量超過	命令関連	SBCA-469
5401041CHex	データサイズ不一致	命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
5401041DHex	命令同時実行リソースオーバ	命令関連	SBCA-469
54010421Hex	プログラムハッシュコード取得失敗	命令関連	SBCA-469
54010800Hex	FINS 異常	命令関連	SBCA-469
54010801Hex	FINS ポート使用不可	命令関連	SBCA-469
54010C00Hex	シリアル通信モード不正	命令関連	SBCA-469
54010C02Hex	ポート設定変更多重起動	命令関連	SBCA-469
54010C03Hex	受信バッファフル	命令関連	SBCA-469
54010C04Hex	ポート多重起動	命令関連	SBCA-469
54010C05Hex	パリティエラー	命令関連	SBCA-469
54010C06Hex	フレーミングエラー	命令関連	SBCA-469
54010C07Hex	オーバーランエラー	命令関連	SBCA-469
54010C08Hex	CRC 不一致	命令関連	SBCA-469
54010C0BHex	シリアル通信タイムアウト	命令関連	SBCA-469
54010C0CHex	対象外ポートへの命令実行	命令関連	SBCA-469
54010C0DHex	CIF ユニット初期化	命令関連	SBCA-469
54010C10Hex	Modbus 例外レスポンス	命令関連	SBCA-469
54010C11Hex	Modbus レスポンス不正	命令関連	SBCA-469
54011400Hex	SD メモリカード使用不可	命令関連	SBCA-469
54011401Hex	SD メモリカードライトプロテクト	命令関連	SBCA-469
54011402Hex	SD メモリカード容量不足	命令関連	SBCA-469
54011403Hex	指定ファイル不正	命令関連	SBCA-469
54011404Hex	ファイル･ディレクトリ最大数超過	命令関連	SBCA-469
54011405Hex	ファイルアクセス中	命令関連	SBCA-469
54011406Hex	オープンモード不一致	命令関連	SBCA-469
54011407Hex	オフセット範囲外	命令関連	SBCA-469
54011408Hex	空ディレクトリ以外	命令関連	SBCA-469
54011409Hex	同一ファイル名あり	命令関連	SBCA-469
5401140AHex	指定ファイル書込禁止	命令関連	SBCA-469
5401140BHex	ファイルオープン最大数超過	命令関連	SBCA-469
5401140CHex	指定ディレクトリ不正	命令関連	SBCA-469
5401140DHex	ファイル･ディレクトリ名最大長超過	命令関連	SBCA-469
5401140EHex	SD メモリカードアクセス失敗	命令関連	SBCA-469
5401140FHex	バックアップ機能既実行	命令関連	SBCA-469
54011410Hex	バックアップ実行不可	命令関連	SBCA-469
54011411Hex	ユニット／スレーブバックアップ失敗	命令関連	SBCA-469
54011800Hex	EtherCAT 通信エラー	命令関連	SBCA-469
54011801Hex	EtherCAT スレーブ不在	命令関連	SBCA-469
54011802Hex	EtherCAT タイムアウト	命令関連	SBCA-469
54011803Hex	受信バッファオーバー	命令関連	SBCA-469
54011804Hex	SDO アボートエラー	命令関連	SBCA-469
54011805Hex	パケットモニタ保存中	命令関連	SBCA-469
54011806Hex	パケットモニタ機能未開始	命令関連	SBCA-469
54011807Hex	パケットモニタ機能動作中	命令関連	SBCA-469
54011808Hex	通信リソースオーバー	命令関連	SBCA-469
54011809Hex	パケットモニタ機能非サポート	命令関連	SBCA-469
5401180AHex	対象スレーブへの命令実行不可	命令関連	SBCA-469
5401180DHex	診断・統計情報ログ機能実行中	命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
5401180EHex	マスタ診断･統計情報命令多重起動不可	命令関連	SBCA-469
5401180FHex	スレーブ診断･統計情報命令多重起動不可	命令関連	SBCA-469
54011C00Hex	Explicit 異常	命令関連	SBCA-469
54011C01Hex	ルートパス不正	命令関連	SBCA-469
54011C02Hex	CIP ハンドル不正	命令関連	SBCA-469
54011C03Hex	CIP 通信リソースオーバー	命令関連	SBCA-469
54011C04Hex	CIP タイムアウト	命令関連	SBCA-469
54011C05Hex	Class3 コネクション確立失敗	命令関連	SBCA-469
54011C06Hex	CIP 通信データサイズオーバー	命令関連	SBCA-469
54012000Hex	自 IP アドレス設定エラー	命令関連	SBCA-469
54012001Hex	TCP/UDP ポート使用不可	命令関連	SBCA-469
54012002Hex	アドレス解決失敗	命令関連	SBCA-469
54012003Hex	ソケット状態異常	命令関連	SBCA-469
54012004Hex	自 IP アドレス未決定	命令関連	SBCA-469
54012006Hex	ソケットタイムアウト	命令関連	SBCA-469
54012007Hex	ソケットハンドル不正	命令関連	SBCA-469
54012008Hex	ソケット通信リソースオーバー	命令関連	SBCA-469
5401200AHex	TLS セッション名不正	命令関連	SBCA-469
5401200BHex	証明書アクセス失敗	命令関連	SBCA-469
5401200CHex	TLS セッション確立エラー	命令関連	SBCA-469
5401200EHex	TLS セッションハンドル不正	命令関連	SBCA-469
5401200FHex	TLS のエラー	命令関連	SBCA-469
54012400Hex	実行権限なし	命令関連	SBCA-469
54012401Hex	設定反映失敗	命令関連	SBCA-469
54012402Hex	命令同時実行数オーバー	命令関連	SBCA-469
54012403Hex	FTP クライアント実行数オーバー	命令関連	SBCA-469
54012404Hex	ファイル数制限オーバー	命令関連	SBCA-469
54012405Hex	指定ディレクトリ不正(FTP)	命令関連	SBCA-469
54012406Hex	FTP サーバ接続失敗	命令関連	SBCA-469
54012407Hex	接続先 FTP サーバ実行失敗	命令関連	SBCA-469
54012408Hex	SD メモリカードアクセス失敗(FTP)	命令関連	SBCA-469
54012409Hex	指定ファイル不在	命令関連	SBCA-469
5401240AHex	指定ファイル上書き禁止	命令関連	SBCA-469
5401240BHex	指定ファイル削除失敗	命令関連	SBCA-469
5401240CHex	指定ファイルアクセス失敗	命令関連	SBCA-469
5401240DHex	IP アドレス設定不正	命令関連	SBCA-469
54012C00Hex	NX メッセージ異常	命令関連	SBCA-469
54012C01Hex	NX メッセージリソースオーバー	命令関連	SBCA-469
54012C02Hex	NX メッセージタイムアウト	命令関連	SBCA-469
54012C03Hex	NX メッセージ長不正	命令関連	SBCA-469
54012C05Hex	NX メッセージネットワーク異常(EtherCAT)	命令関連	SBCA-469
54012C06Hex	指定ユニット外部リスタート既実行	命令関連	SBCA-469
54012C07Hex	命令対象外ユニット指定	命令関連	SBCA-469
54012C08Hex	累積通電時間記録不正	命令関連	SBCA-469
54013000Hex	DB 接続サービス未開始	DB 接続命令関連	SBCA-411

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54013001Hex	DB 接続サービス動作モード変更失敗	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013002Hex	DB 接続サービス終了／終了処理中	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013003Hex	DB コネクション名不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013004Hex	DB コネクション接続拒否	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013005Hex	DB コネクション接続失敗	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013006Hex	DB コネクション既接続	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013007Hex	DB コネクション接続数超過	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013008Hex	DB コネクション不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013009Hex	DB マップ変数不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401300AHex	DB マップ変数未登録	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401300BHex	SQL 実行エラー	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401300CHex	スプール容量超過	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401300EHex	抽出条件不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013010Hex	ログコード範囲外	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013011Hex	DB コネクション異常切断発生中	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013012Hex	DB 接続命令実行タイムアウト	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013013Hex	DB 接続サービス異常停止中	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013014Hex	スプールデータあり	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013015Hex	DB 接続サービス初期処理中	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013016Hex	DB 処理中	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013017Hex	稼働ログ無効	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013018Hex	プロシージャハンドル不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013019Hex	対象外データベース種別への命令実行	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401301AHex	ストアドプロシージャ名不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401301BHex	ストアドプロシージャ引数不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401301CHex	ストアドプロシージャ結果セットカラム数不正	DB 接続命令関連	SBCA-411
5401301EHex	DB 接続サービス未起動	DB 接続命令関連	SBCA-411
54013461Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	命令関連	SBCA-469
54013781Hex	プロセスデータオブジェクト設定不足	CNC 命令関連	SBCE-428
54013810Hex	GEM サービスの動作状態が初期処理状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013811Hex	GEM サービスの動作状態が装置起動状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013812Hex	GEM サービスの動作状態が装置初期処理状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013813Hex	GEM サービスの動作状態が装置稼働状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013814Hex	GEM サービスの動作状態が停止状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013815Hex	GEM サービスの動作状態が異常停止状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013816Hex	GEM サービスの動作状態がシャットダウン処理中状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013817Hex	GEM サービスの動作状態がシャットダウン処理完了状態	GEM 命令関連	SBCA-412
54013818Hex	未受信状態	GEM 命令関連	SBCA-412

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54013819Hex	命令多重起動	GEM 命令関連	SBCA-412
5401381AHex	状態遷移中	GEM 命令関連	SBCA-412
5401381BHex	トランザクションリソース不足	GEM 命令関連	SBCA-412
54013820Hex	文字数オーバー	GEM 命令関連	SBCA-412
54013821Hex	サイズ不正	GEM 命令関連	SBCA-412
54013822Hex	無効設定	GEM 命令関連	SBCA-412
54013824Hex	CEID 未定義	GEM 命令関連	SBCA-412
54013825Hex	ALID 未定義	GEM 命令関連	SBCA-412
54013826Hex	CCODE 未定義	GEM 命令関連	SBCA-412
54013827Hex	メッセージ番号未定義	GEM 命令関連	SBCA-412
54013828Hex	HSMS 通信設定範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013829Hex	TID 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
5401382CHex	ECID 未定義	GEM 命令関連	SBCA-412
5401382DHex	型不一致	GEM 命令関連	SBCA-412
5401382EHex	装置定数値範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
5401382FHex	CPNAME 不正	GEM 命令関連	SBCA-412
54013830Hex	HCACK 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013831Hex	CPACK 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013832Hex	CEPACK 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013833Hex	ACKC7 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013834Hex	ACKC7A 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013835Hex	ACKC10 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013836Hex	EAC 範囲外	GEM 命令関連	SBCA-412
54013838Hex	SECS メッセージ不正	GEM 命令関連	SBCA-412
54014800Hex	デバイスエラー受信	命令関連	SBCA-469
54014801Hex	指定ユニット不在	命令関連	SBCA-469
54014802Hex	メッセージ処理数オーバー	命令関連	SBCA-469
54014803Hex	指定ユニット状態異常	命令関連	SBCA-469
54014804Hex	同時実行数オーバー	命令関連	SBCA-469
54014805Hex	通信タイムアウト	命令関連	SBCA-469
54014806Hex	モード不正	命令関連	SBCA-469
54014807Hex	I/O 電源 OFF 状態	命令関連	SBCA-469
54014808Hex	照合異常発生	命令関連	SBCA-469
54014809Hex	デバイスポート設定不正	命令関連	SBCA-469
54015000Hex	OPC UA サーバ終了／終了処理中	OPC UA 命令関連	SBCA-469
54015001Hex	OPC UA サーバ初期処理中	OPC UA 命令関連	SBCA-469
54015002Hex	OPC UA サーバ未起動	OPC UA 命令関連	SBCA-469
54015420Hex	電子ギア分子設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015421Hex	電子ギア分母設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015422Hex	目標速度設定範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015423Hex	加速度設定範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015424Hex	減速度設定範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015425Hex	ジャーク設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015427Hex	トルク傾斜設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015428Hex	主軸係数設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015429Hex	従軸係数設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401542AHex	定寸速度設定範囲外	命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
5401542BHex	バッファモード選択範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401542CHex	座標系選択範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401542DHex	円弧補間モード選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401542EHex	方向選択範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401542FHex	経路選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015430Hex	位置種別選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015431Hex	移動方法選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015432Hex	トランジションモード選択範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015433Hex	継続方法選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015434Hex	加減算方法選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015435Hex	同期開始条件指定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015436Hex	主軸従軸同一	命令関連	SBCA-469
54015437Hex	主軸補助軸同一	命令関連	SBCA-469
54015438Hex	主軸／従軸軸番号非昇順	命令関連	SBCA-469
54015439Hex	カムテーブル指定不正	命令関連	SBCA-469
5401543AHex	同期停止中	命令関連	SBCA-469
5401543BHex	モーション命令再起動不可	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401543CHex	モーション命令多重起動不可	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401543DHex	軸種別不適合	命令関連	SBCA-469
5401543EHex	多軸協調動作中の命令起動不可	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
5401543FHex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015440Hex	軸グループ有効不可	命令関連	SBCA-469
54015441Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015442Hex	構成軸強制停止中エラー	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015443Hex	モーション命令多重起動数オーバー	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015444Hex	移動量不足	命令関連	SBCA-469
54015445Hex	ブレンディング中継速度に到達するための移動量不足	命令関連	SBCA-469
54015446Hex	台形パターンカム等速移動量不足	命令関連	SBCA-469
54015447Hex	位置指定ギア動作目標速度不足	命令関連	SBCA-469
54015448Hex	円弧補間始点終点同一	命令関連	SBCA-469
54015449Hex	円弧補間中心点指定位置範囲外	命令関連	SBCA-469
5401544AHex	カウントモード設定による命令起動異常	命令関連	SBCA-469
5401544CHex	パラメータ選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401544DHex	停止方法選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401544EHex	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401544FHex	MC 設定書込の設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015450Hex	トリガ入力条件のモード選択範囲外	命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015451Hex	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015453Hex	モーション命令再起動不可(軸指定)	命令関連	SBCA-469
54015454Hex	モーション命令再起動不可(バッファモード選択)	命令関連	SBCA-469
54015455Hex	モーション命令再起動不可(方向選択)	命令関連	SBCA-469
54015456Hex	モーション命令再起動不可(繰り返しモード)	命令関連	SBCA-469
54015457Hex	モーション命令再起動不可(軸グループ指定)	命令関連	SBCA-469
54015458Hex	モーション命令再起動不可(躍動設定)	命令関連	SBCA-469
54015459Hex	モーション命令再起動不可（主軸）	命令関連	SBCA-469
5401545AHex	モーション命令再起動不可(MasterOffset)	命令関連	SBCA-469
5401545BHex	モーション命令再起動不可(MasterScaling)	命令関連	SBCA-469
5401545CHex	モーション命令再起動不可(MasterStartDistance)	命令関連	SBCA-469
5401545DHex	モーション命令再起動不可(Continuous)	命令関連	SBCA-469
5401545EHex	モーション命令再起動不可(MoveMode)	命令関連	SBCA-469
5401545FHex	補助軸指定不正	命令関連	SBCA-469
54015460Hex	軸指定不正	命令関連	SBCA-469
54015461Hex	軸グループ指定不正	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015462Hex	主軸指定不正	命令関連	SBCA-469
54015463Hex	モーション命令再起動不可(SlaveOffset)	命令関連	SBCA-469
54015464Hex	モーション命令再起動不可(SlaveScaling)	命令関連	SBCA-469
54015465Hex	モーション命令再起動不可(StartPosition)	命令関連	SBCA-469
54015466Hex	原点未確定状態での命令起動異常	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015467Hex	モーション命令再起動不可(位置種別)	命令関連	SBCA-469
54015468Hex	未使用軸指定（主軸）	命令関連	SBCA-469
54015469Hex	開始位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401546AHex	終了位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401546BHex	開始位置／終了位置･大小関係不正（リニアモード）	命令関連	SBCA-469
5401546CHex	主軸同期位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401546DHex	従軸同期位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401546EHex	トリガ入力条件のラッチ ID 重複	命令関連	SBCA-469
5401546FHex	ジャークオーバーライド値範囲外	命令関連	SBCA-469
54015470Hex	加減速度オーバーライド値範囲外	命令関連	SBCA-469
54015471Hex	開始位置方式指定範囲外	命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015472Hex	モーション命令再起動不可(開始位置方式)	命令関連	SBCA-469
54015474Hex	未使用軸指定（補助軸）	命令関連	SBCA-469
54015475Hex	位置指定ギア指定値異常	命令関連	SBCA-469
54015476Hex	位置指定ギア主軸速度ゼロ	命令関連	SBCA-469
54015478Hex	目標位置設定範囲外	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54015479Hex	移動距離範囲外	命令関連	SBCA-469
5401547AHex	カムテーブル始点位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401547BHex	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401547CHex	円弧補間半径指定異常	命令関連	SBCA-469
5401547DHex	円弧補間半径オーバーフロー	命令関連	SBCA-469
5401547EHex	円弧軸指定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401547FHex	補助軸／従軸・軸番号非昇順	命令関連	SBCA-469
54015480Hex	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常	命令関連	SBCA-469
54015481Hex	MC 設定書込の対象範囲外	命令関連	SBCA-469
54015482Hex	主軸移動距離指定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015483Hex	主軸加速移動距離指定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015484Hex	主軸減速移動距離指定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015487Hex	実行モード選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015488Hex	軸間偏差許容値範囲外	命令関連	SBCA-469
54015489Hex	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401548AHex	終点指定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401548BHex	従軸移動距離指定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401548CHex	位相補正量範囲外	命令関連	SBCA-469
5401548DHex	定寸距離範囲外	命令関連	SBCA-469
5401548EHex	補助軸／従軸同一	命令関連	SBCA-469
5401548FHex	相対位置選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015490Hex	カムトランジション指定選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015491Hex	同期制御解除モード選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015492Hex	外部ラッチ有効命令実行不可	命令関連	SBCA-469
54015493Hex	主軸オフセット設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015494Hex	従軸オフセット設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015495Hex	指令現在位置カウント選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015496Hex	主軸ギア比分子範囲外	命令関連	SBCA-469
54015497Hex	主軸ギア比分母範囲外	命令関連	SBCA-469
54015498Hex	補助軸ギア比分子範囲外	命令関連	SBCA-469
54015499Hex	補助軸ギア比分母範囲外	命令関連	SBCA-469
5401549AHex	主軸位置種別選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401549BHex	補助軸位置種別選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401549CHex	目標位置リングカウンタ範囲外	命令関連	SBCA-469
5401549DHex	軸グループ構成軸設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401549EHex	軸使用設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015510Hex	ロボット制御命令再起動不可	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015511Hex	V+タスク番号設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015512Hex	ロボット指定不正	ロボット制御命令関連	SBCE-436

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015513Hex	パラメータリスト指定不正	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015514Hex	開始ステップ設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015515Hex	目標位置設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015516Hex	左右設定選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015517Hex	上下設定選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015518Hex	反転設定選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015519Hex	速度プロファイル選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551AHex	速度モード選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551BHex	速度比設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551CHex	回転速度比設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551DHex	速度設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551EHex	加速度比設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401551FHex	減速度比設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015520Hex	位置決め精度選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015521Hex	回転制限選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015522Hex	バッファモード選択範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015523Hex	目標位置指定方法設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015533Hex	ロボット制御権獲得未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015535Hex	ツール座標変換設定範囲外	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015536Hex	ロボット制御命令多重起動不可	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401553CHex	ロボット制御命令多重起動数オーバー	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401553DHex	キャリブレーション未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401553EHex	ハイパワー OFF でのロボット制御命令実行	ロボット制御命令関連	SBCE-436
5401553FHex	ロボット制御権獲得済み	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015540Hex	マニュアルモードもしくは COMP モード以外のモードでのロボット制御命令実行	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015544Hex	ロボット制御命令実行不可	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015548Hex	プログラム名指定不正	ロボット制御命令関連	SBCE-436
54015600Hex	CNC 座標系指定不正	CNC 命令関連	SBCE-428
54015601Hex	減速度設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015602Hex	ジャーク設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015603Hex	CNC 命令再起動不可	CNC 命令関連	SBCE-428
54015604Hex	CNC 多重起動不可	CNC 命令関連	SBCE-428
54015605Hex	未割付論理 CNC モータ番号指定	CNC 命令関連	SBCE-428
54015606Hex	論理 CNC モータ番号範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015607Hex	目標位置設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015608Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータ動作指示	CNC 命令関連	SBCE-428
54015609Hex	目標速度設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
5401560AHex	加減速度設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
5401560BHex	移動方法選択範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
5401560DHex	パラメータ選択範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
5401560EHex	CNC パラメータ設定読出／書込の設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
5401560FHex	CNC パラメータ設定読出／書込の対象範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015611Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015612Hex	M コード番号範囲外	CNC 命令関連	SBCE-428
54015613Hex	CNC 命令再起動不可(CNC 座標系指定)	CNC 命令関連	SBCE-428
54015614Hex	CNC 命令再起動不可(論理 CNC モータ番号)	CNC 命令関連	SBCE-428
5401561DHex	SD メモリカード使用不可	CNC 命令関連	SBCE-428
5401561EHex	指定ファイル不正	CNC 命令関連	SBCE-428
5401561FHex	ロード NC プログラム番号指定不正	CNC 命令関連	SBCE-428
54015620Hex	ファイルオープン最大数超過	CNC 命令関連	SBCE-428
54015621Hex	ファイル･ディレクトリ名最大長超過	CNC 命令関連	SBCE-428
54015622Hex	SD メモリカードアクセス失敗	CNC 命令関連	SBCE-428
54015623Hex	ロード NC プログラム容量超過	CNC 命令関連	SBCE-428
54015624Hex	NC プログラム数超過	CNC 命令関連	SBCE-428
54015625Hex	CNC モータ指定不正	CNC 命令関連	SBCE-428
54015626Hex	CNC モータ補正テーブル指定不正	CNC 命令関連	SBCE-428
54015628Hex	ロード NC プログラム不正	CNC 命令関連	SBCE-428
54015700Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015702Hex	軸未使用切り替え異常	命令関連	SBCA-469
54015703Hex	軸使用切り替え不可	命令関連	SBCA-469
54015706Hex	軸グループとキネマティクスの構成不一致	ロボット命令関連	SBCA-421
54015707Hex	キネマティクスタイプ選択範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015708Hex	キネマティクスパラメータ設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015709Hex	ワークスペースタイプ選択範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
5401570AHex	ワークスペースパラメータ設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
5401570BHex	座標系番号不正	ロボット命令関連	SBCA-421
5401570CHex	座標系変換パラメータ設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
5401570DHex	トランジションパラメータ設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015710Hex	キネマティクス変換未設定	ロボット命令関連	SBCA-421
54015711Hex	目標位置可動範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015712Hex	速度異常検出値の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015713Hex	加速度異常検出値の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015714Hex	軌跡目標時間の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015715Hex	軌跡タイプ選択範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015716Hex	軌跡トランジション設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015717Hex	軌跡移動距離の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015719Hex	初期製品位置ワークスペース範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
5401571AHex	コンベア軸指定不正	ロボット命令関連	SBCA-421
5401571BHex	目標位置ワークスペース範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
5401571CHex	同期解除実行不可	ロボット命令関連	SBCA-421
5401571EHex	キネマティクス数オーバー	ロボット命令関連	SBCA-421
5401571FHex	キネマティクス初期化異常	ロボット命令関連	SBCA-421

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015720Hex	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常	命令関連	SBCA-469
54015721Hex	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定	命令関連	SBCA-469
54015722Hex	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	命令関連	SBCA-469
54015723Hex	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015724Hex	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015725Hex	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015726Hex	スイッチ構造体の方向選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015727Hex	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外	命令関連	SBCA-469
54015728Hex	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015729Hex	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401572AHex	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401572BHex	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外	命令関連	SBCA-469
5401572CHex	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外	命令関連	SBCA-469
5401572DHex	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外	命令関連	SBCA-469
5401572EHex	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致	命令関連	SBCA-469
5401572FHex	モーション命令多重起動不可（主軸）	命令関連	SBCA-469
54015730Hex	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）	命令関連	SBCA-469
54015731Hex	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外	命令関連	SBCA-469
54015732Hex	ツール番号不正	ロボット命令関連	SBCA-421
54015733Hex	ツール系パラメータ設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015736Hex	オフセット機能実行不可	ロボット命令関連	SBCA-421
5401573AHex	軸パラメータ書込不可	命令関連	SBCA-469
5401573BHex	軸パラメータ設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401573CHex	カムプロパティ設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401573DHex	カムノード設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401573EHex	カムノード型指定不正	命令関連	SBCA-469
5401573FHex	カムテーブル生成ノード数不足	命令関連	SBCA-469
54015740Hex	カムノード主軸位相非昇順	命令関連	SBCA-469
54015741Hex	カムテーブル生成データ点数過多	命令関連	SBCA-469
54015742Hex	カムテーブル生成変位オーバーフロー	命令関連	SBCA-469
54015743Hex	生成中止カムテーブルの使用	命令関連	SBCA-469
54015744Hex	ジョグモード設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015745Hex	初期製品位置範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015746Hex	最高補間速度の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54015747Hex	最大補間加速度の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015748Hex	最大補間減速度の設定範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54015749Hex	実行 ID 設定範囲外	命令関連	SBCA-469
5401574AHex	位置オフセット範囲外	命令関連	SBCA-469
5401574BHex	PDS 状態遷移指令選択範囲外	命令関連	SBCA-469
5401574CHex	単軸位置制御軸モーション命令起動不可	命令関連	SBCA-469
54015751Hex	カムモニタモード選択設定範囲外	命令関連	SBCA-469
54015752Hex	カムモニタ値データ型不一致	命令関連	SBCA-469
54015800Hex	X バスユニット不在	命令関連	SBCA-469
54015801Hex	レスポンスタイムアウト	命令関連	SBCA-469
54015C00Hex	指定ユニット/ポート番号実行不可	命令関連	SBCA-469
54015C01Hex	命令同時実行数オーバー	命令関連	SBCA-469
54015C03Hex	ターゲットノード IP アドレス不在	命令関連	SBCA-469
54015C04Hex	コネクション通信異常	命令関連	SBCA-469
54015C05Hex	コネクション設定異常	命令関連	SBCA-469
54016440Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	命令関連	SBCA-469
54016441Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	命令関連	SBCA-469
54016442Hex	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	命令関連	SBCA-469
54016443Hex	正方向限界入力中	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54016444Hex	負方向限界入力中	命令関連、ロボット命令関連	SBCA-469 SBCA-421
54016701Hex	現在位置ワークスペース範囲外	ロボット命令関連	SBCA-421
54016783Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 命令関連	SBCE-428
54016784Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 命令関連	SBCE-428
54016785Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中	CNC 命令関連	SBCE-428
54016786Hex	正方向限界入力中	CNC 命令関連	SBCE-428
54016787Hex	負方向限界入力中	CNC 命令関連	SBCE-428
54017422Hex	サーボ主回路電源オフ状態	命令関連	SBCA-469
54017784Hex	サーボ主回路電源オフ状態	CNC 命令関連	SBCE-428
54200000Hex	電子ギア分子設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54210000Hex	電子ギア分母設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54220000Hex	目標速度設定範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54230000Hex	加速度設定範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54240000Hex	減速度設定範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54250000Hex	ジャーク設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54270000Hex	トルク傾斜設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54280000Hex	主軸係数設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54290000Hex	従軸係数設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
542A0000Hex	定寸速度設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
542B0000Hex	バッファモード選択範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
542C0000Hex	座標系選択範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
542D0000Hex	円弧補間モード選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
542E0000Hex	方向選択範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
542F0000Hex	経路選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54300000Hex	位置種別選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54310000Hex	移動方法選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54320000Hex	トランジションモード選択範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54330000Hex	継続方法選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54340000Hex	加減算方法選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54350000Hex	同期開始条件指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54360000Hex	主軸従軸同一	モーション制御命令関連	SBCA-469
54370000Hex	主軸補助軸同一	モーション制御命令関連	SBCA-469
54380000Hex	主軸／従軸　軸番号非昇順	モーション制御命令関連	SBCA-469
54390000Hex	カムテーブル指定不正	モーション制御命令関連	SBCA-469
543A0000Hex	同期停止中	モーション制御命令関連	SBCA-469
543B0000Hex	モーション命令再起動不可	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
543C0000Hex	モーション命令多重起動不可	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
543D0000Hex	軸種別不適合	モーション制御命令関連	SBCA-469
543E0000Hex	多軸協調動作中の命令起動不可	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
543F0000Hex	軸グループ無効状態での多軸協調命令起動	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54400000Hex	軸グループ有効不可	モーション制御命令関連	SBCA-469
54410000Hex	運転不可（サーボ OFF）軸動作指示	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54420000Hex	構成軸強制停止中エラー	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54430000Hex	モーション命令多重起動数オーバー	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54440000Hex	移動量不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
54450000Hex	ブレンディング中継速度に到達するための移動量不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
54460000Hex	台形パターンカム等速移動量不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
54470000Hex	位置指定ギア動作目標速度不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
54480000Hex	円弧補間始点終点同一	モーション制御命令関連	SBCA-469
54490000Hex	円弧補間中心点指定位置範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
544A0000Hex	カウントモード設定による命令起動異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
544C0000Hex	パラメータ選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
544D0000Hex	停止方法選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
544E0000Hex	トリガ入力条件のラッチ ID 選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
544F0000Hex	MC 設定書込の設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54500000Hex	トリガ入力条件のモード選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54510000Hex	トリガ入力条件のドライブトリガ入力信号選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54530000Hex	モーション命令再起動不可(軸指定)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54540000Hex	モーション命令再起動不可(バッファモード選択)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54550000Hex	モーション命令再起動不可(方向選択)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54560000Hex	モーション命令再起動不可(繰り返しモード)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54570000Hex	モーション命令再起動不可(軸グループ指定)	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54580000Hex	モーション命令再起動不可(躍動設定)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54590000Hex	モーション命令再起動不可（主軸）	モーション制御命令関連	SBCA-469
545A0000Hex	モーション命令再起動不可(MasterOffset)	モーション制御命令関連	SBCA-469
545B0000Hex	モーション命令再起動不可(MasterScaling)	モーション制御命令関連	SBCA-469
545C0000Hex	モーション命令再起動不可(MasterStartDistance)	モーション制御命令関連	SBCA-469
545D0000Hex	モーション命令再起動不可(Continuous)	モーション制御命令関連	SBCA-469
545E0000Hex	モーション命令再起動不可(MoveMode)	モーション制御命令関連	SBCA-469
545F0000Hex	補助軸指定不正	モーション制御命令関連	SBCA-469
54600000Hex	軸指定不正	モーション制御命令関連	SBCA-469
54610000Hex	軸グループ指定不正	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54620000Hex	主軸指定不正	モーション制御命令関連	SBCA-469
54630000Hex	モーション命令再起動不可(SlaveOffset)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54640000Hex	モーション命令再起動不可(SlaveScaling)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54650000Hex	モーション命令再起動不可(StartPosition)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54660000Hex	原点未確定状態での命令起動異常	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54670000Hex	モーション命令再起動不可(位置種別)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54680000Hex	未使用軸指定（主軸）	モーション制御命令関連	SBCA-469
54690000Hex	開始位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
546A0000Hex	終了位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
546B0000Hex	開始位置／終了位置･大小関係不正（リニアモード）	モーション制御命令関連	SBCA-469
546C0000Hex	主軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
546D0000Hex	従軸同期位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
546E0000Hex	トリガ入力条件のラッチ ID 重複	モーション制御命令関連	SBCA-469
546F0000Hex	ジャークオーバーライド値範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54700000Hex	加減速度オーバーライド値範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54710000Hex	開始位置方式指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
54720000Hex	モーション命令再起動不可(開始位置方式)	モーション制御命令関連	SBCA-469
54740000Hex	未使用軸指定（補助軸）	モーション制御命令関連	SBCA-469
54750000Hex	位置指定ギア指定値異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
54760000Hex	位置指定ギア主軸速度ゼロ	モーション制御命令関連	SBCA-469
54770000Hex	カム動作中カムテーブルデータ異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
54780000Hex	目標位置設定範囲外	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
54790000Hex	移動距離範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
547A0000Hex	カムテーブル始点位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
547B0000Hex	カム動作（主軸追従）開始位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
547C0000Hex	円弧補間半径指定異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
547D0000Hex	円弧補間半径オーバーフロー	モーション制御命令関連	SBCA-469
547E0000Hex	円弧軸指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
547F0000Hex	補助軸／従軸・軸番号非昇順	モーション制御命令関連	SBCA-469
54800000Hex	カムテーブルプロパティ更新中データ昇順異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
54810000Hex	MC 設定書込の対象範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54820000Hex	主軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54830000Hex	主軸加速移動距離指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54840000Hex	主軸減速移動距離指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54850000Hex	即停止命令起動	モーション制御機能関連	SBCA-469
54860000Hex	軸グループ即停止命令起動	モーション制御機能関連	SBCA-469
54870000Hex	実行モード選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54880000Hex	軸間偏差許容値範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54890000Hex	通過点位置／中心位置／半径指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
548A0000Hex	終点指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
548B0000Hex	従軸移動距離指定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
548C0000Hex	位相補正量範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
548D0000Hex	定寸距離範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
548E0000Hex	補助軸／従軸同一	モーション制御命令関連	SBCA-469
548F0000Hex	相対位置選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54900000Hex	カムトランジション指定選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54910000Hex	同期制御解除モード選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54920000Hex	外部ラッチ有効命令実行不可	モーション制御命令関連	SBCA-469
54930000Hex	主軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54940000Hex	従軸オフセット設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54950000Hex	指令現在位置カウント選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54960000Hex	主軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54970000Hex	主軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54980000Hex	補助軸ギア比分子範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54990000Hex	補助軸ギア比分母範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
549A0000Hex	主軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
549B0000Hex	補助軸位置種別選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
549C0000Hex	目標位置リングカウンタ範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
549D0000Hex	軸グループ構成軸設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
549E0000Hex	軸使用設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
54A00000Hex	結果情報 ID タグアドレスエラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
54A10000Hex	結果情報 プロテクトエラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
54A20000Hex	結果情報 コマンド異常	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
54A80000Hex	コマンドエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
54A90000Hex	シーケンス Abort 終了	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
54AA0000Hex	プロトコルマクロエラー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
54AE0000Hex	複数（ソフト）スイッチ同時 ON 異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
54AF0000Hex	変数範囲外アクセス検知	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
54E00000Hex	変数範囲外アクセス検知	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
55000000Hex	ゼロ除算	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
55010000Hex	キャスト異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
55020000Hex	MUX 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
55100000Hex	ロボット制御命令再起動不可	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55110000Hex	V+タスク番号設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55120000Hex	ロボット指定不正	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55130000Hex	パラメータリスト指定不正	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55140000Hex	開始ステップ設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55150000Hex	目標位置設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55160000Hex	左右設定選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55170000Hex	上下設定選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55180000Hex	反転設定選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55190000Hex	速度プロファイル選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551A0000Hex	速度モード選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551B0000Hex	速度比設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551C0000Hex	回転速度比設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551D0000Hex	速度設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551E0000Hex	加速度比設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
551F0000Hex	減速度比設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55200000Hex	位置決め精度選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55210000Hex	回転制限選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55220000Hex	バッファモード選択範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55230000Hex	目標位置指定方法設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55330000Hex	ロボット制御権獲得未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55350000Hex	ツール座標変換設定範囲外	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55360000Hex	ロボット制御命令多重起動不可	ロボット制御機能関連	SBCE-436
553C0000Hex	ロボット制御命令多重起動数オーバー	ロボット制御機能関連	SBCE-436
553D0000Hex	キャリブレーション未完了でのロボット制御命令実行	ロボット制御機能関連	SBCE-436

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
553E0000Hex	ハイパワー OFF でのロボット制御命令実行	ロボット制御機能関連	SBCE-436
553F0000Hex	ロボット制御権獲得済み	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55400000Hex	マニュアルモードもしくは COMP モード以外のモードでのロボット制御命令実行	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55440000Hex	ロボット制御命令実行不可	ロボット制御機能関連	SBCE-436
55480000Hex	プログラム名指定不正	ロボット制御機能関連	SBCE-436
56000000Hex	CNC 座標系指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56010000Hex	減速度設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56020000Hex	ジャーク設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56030000Hex	CNC 命令再起動不可	CNC 機能関連	SBCE-428
56040000Hex	CNC 多重起動不可	CNC 機能関連	SBCE-428
56050000Hex	未割付論理 CNC モータ番号指定	CNC 機能関連	SBCE-428
56060000Hex	論理 CNC モータ番号範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56070000Hex	目標位置設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56080000Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータ動作指示	CNC 機能関連	SBCE-428
56090000Hex	目標速度設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
560A0000Hex	加減速度設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
560B0000Hex	移動方法選択範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
560C0000Hex	即停止命令起動	CNC 機能関連	SBCE-428
560D0000Hex	パラメータ選択範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
560E0000Hex	CNC パラメータ設定読出／書込の設定値範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
560F0000Hex	CNC パラメータ設定読出／書込の対象範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56100000Hex	原点未確定状態でのサイクルスタート異常	CNC 機能関連	SBCE-428
56110000Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56120000Hex	M コード番号範囲外	CNC 機能関連	SBCE-428
56130000Hex	CNC 命令再起動不可(CNC 座標系指定)	CNC 機能関連	SBCE-428
56140000Hex	CNC 命令再起動不可(論理 CNC モータ番号)	CNC 機能関連	SBCE-428
56150000Hex	NC プログラム不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56160000Hex	サイクルスタート多重起動不可	CNC 機能関連	SBCE-428
56170000Hex	運転不可（サーボ OFF）CNC モータサイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428
56180000Hex	NC プログラム番号指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56190000Hex	バックトレース指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
561D0000Hex	SD メモリカード使用不可	CNC 機能関連	SBCE-428
561E0000Hex	指定ファイル不正	CNC 機能関連	SBCE-428
561F0000Hex	ロード NC プログラム番号指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56200000Hex	ファイルオープン最大数超過	CNC 機能関連	SBCE-428
56210000Hex	ファイル･ディレクトリ名最大長超過	CNC 機能関連	SBCE-428
56220000Hex	SD メモリカードアクセス失敗	CNC 機能関連	SBCE-428
56230000Hex	ロード NC プログラム容量超過	CNC 機能関連	SBCE-428
56240000Hex	NC プログラム数超過	CNC 機能関連	SBCE-428
56250000Hex	CNC モータ指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
56260000Hex	CNC モータ補正テーブル指定不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56280000Hex	ロード NC プログラム不正	CNC 機能関連	SBCE-428
56290000Hex	NC プログラム容量超過	CNC 機能関連	SBCE-428
57000000Hex	原点復帰パラメータ設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57020000Hex	軸未使用切り替え異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
57030000Hex	軸使用切り替え不可	モーション制御命令関連	SBCA-469
57050000Hex	キネマティクス変換未対応命令	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57060000Hex	軸グループとキネマティクスの構成不一致	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57070000Hex	キネマティクスタイプ選択範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57080000Hex	キネマティクスパラメータ設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57090000Hex	ワークスペースタイプ選択範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
570A0000Hex	ワークスペースパラメータ設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
570B0000Hex	座標系番号不正	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
570C0000Hex	座標系変換パラメータ設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
570D0000Hex	トランジションパラメータ設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
570F0000Hex	キネマティクス計算不可	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57100000Hex	キネマティクス変換未設定	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57110000Hex	目標位置可動範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57120000Hex	速度異常検出値の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57130000Hex	加速度異常検出値の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57140000Hex	軌跡目標時間の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57150000Hex	軌跡タイプ選択範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57160000Hex	軌跡トランジション設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57170000Hex	軌跡移動距離の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57190000Hex	初期製品位置ワークスペース範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
571A0000Hex	コンベア軸指定不正	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
571B0000Hex	目標位置ワークスペース範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
571C0000Hex	同期解除実行不可	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
571D0000Hex	モーション制御異常解除命令数過多	モーション制御機能関連	SBCA-469
571E0000Hex	キネマティクス数オーバー	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
571F0000Hex	キネマティクス初期化異常	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57200000Hex	軸使用切り替え時モーション制御パラメータ設定異常	モーション制御命令関連	SBCA-469
57210000Hex	軸使用切り替え時必須プロセスデータオブジェクト未設定	モーション制御命令関連	SBCA-469
57220000Hex	フィードバック位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	モーション制御命令関連	SBCA-469
57230000Hex	スイッチ構造体のトラック番号設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57240000Hex	スイッチ構造体の ON 開始位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57250000Hex	スイッチ構造体の ON 終了位置設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
57260000Hex	スイッチ構造体の方向選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57270000Hex	スイッチ構造体のスイッチモード選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57280000Hex	スイッチ構造体の ON 時間設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57290000Hex	トラックオプション構造体の ON 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
572A0000Hex	トラックオプション構造体の OFF 時刻補正設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
572B0000Hex	スイッチ構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
572C0000Hex	出力信号構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
572D0000Hex	トラックオプション構造体型変数の配列要素数範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
572E0000Hex	出力信号とトラックオプションの配列要素数不一致	モーション制御命令関連	SBCA-469
572F0000Hex	モーション命令多重起動不可（主軸）	モーション制御命令関連	SBCA-469
57300000Hex	モーション命令多重起動不可（位置種別選択）	モーション制御命令関連	SBCA-469
57310000Hex	スイッチ構造体の同一トラック指定数範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57320000Hex	ツール番号不正	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57330000Hex	ツール系パラメータ設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57340000Hex	未対応トランジションデータ	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57360000Hex	オフセット機能実行不可	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57370000Hex	モーション命令多重起動不可（軌跡タイプ）	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57390000Hex	未対応トランジションモード	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
573A0000Hex	軸パラメータ書込不可	モーション制御命令関連	SBCA-469
573B0000Hex	軸パラメータ設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
573C0000Hex	カムプロパティ設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
573D0000Hex	カムノード設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
573E0000Hex	カムノード型指定不正	モーション制御命令関連	SBCA-469
573F0000Hex	カムテーブル生成ノード数不足	モーション制御命令関連	SBCA-469
57400000Hex	カムノード主軸位相非昇順	モーション制御命令関連	SBCA-469
57410000Hex	カムテーブル生成データ点数過多	モーション制御命令関連	SBCA-469
57420000Hex	カムテーブル生成変位オーバーフロー	モーション制御命令関連	SBCA-469
57430000Hex	生成中止カムテーブルの使用	モーション制御命令関連	SBCA-469
57440000Hex	ジョグモード設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57450000Hex	初期製品位置範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57460000Hex	最高補間速度の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57470000Hex	最大補間加速度の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57480000Hex	最大補間減速度の設定範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
57490000Hex	実行 ID 設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
574A0000Hex	位置オフセット範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
574B0000Hex	PDS 状態遷移指令選択範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
574C0000Hex	単軸位置制御軸モーション命令起動不可	モーション制御命令関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
57510000Hex	カムモニタモード選択設定範囲外	モーション制御命令関連	SBCA-469
57520000Hex	カムモニタ値データ型不一致	モーション制御命令関連	SBCA-469
58210000Hex	出力制御タイムアウト（パラレル I/O、PLC リンク、EtherNet/IP）	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
58220000Hex	出力制御タイムアウト（EtherCAT）	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
58230000Hex	起動時シーングループ不正	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
58240000Hex	起動時シーン番号不正	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
60010000Hex	タスク周期オーバー	タスク関連	SBCA-469
60020000Hex	タスク実行タイムアウト	タスク関連	SBCA-469
60030000Hex	I/O リフレッシュ周期オーバー	タスク関連	SBCA-469
60040000Hex	システムサービス時間不足	タスク関連	SBCA-469
60050000Hex	タスク周期オーバー	タスク関連	SBCA-469
64010000Hex	高機能ユニットアクセス不可	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
64040000Hex	サンプリング処理能力上限	コントローラ操作関連	SBCA-469
64050000Hex	変数ログ保存先容量警告	コントローラ操作関連	SBCA-469
64060000Hex	変数ログの同時性なし	コントローラ操作関連	SBCA-469
64070000Hex	変数のサンプリング未実施周期の発生	コントローラ操作関連	SBCA-469
64080000Hex	セキュア通信強制開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
64200000Hex	エマージェンシー・メッセージ検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
64400000Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	モーション制御命令関連	SBCA-469
64410000Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	モーション制御命令関連	SBCA-469
64420000Hex	指令位置オーバーフロー／アンダーフロー発生中	モーション制御命令関連	SBCA-469
64430000Hex	正方向限界入力中	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
64440000Hex	負方向限界入力中	モーション制御命令関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
64450000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64460000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64470000Hex	インポジションチェック時間オーバー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64480000Hex	位置偏差オーバー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64490000Hex	即停止入力	モーション制御機能関連	SBCA-469
644A0000Hex	正方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
644B0000Hex	負方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
644C0000Hex	位置偏差警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
644D0000Hex	速度警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
644E0000Hex	加速度警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
644F0000Hex	減速度警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
64500000Hex	正方向トルク警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
64510000Hex	負方向トルク警告	モーション制御機能関連	SBCA-469
64520000Hex	指令位置オーバーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
64530000Hex	指令位置アンダーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64540000Hex	フィードバック位置オーバーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64550000Hex	フィードバック位置アンダーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
64560000Hex	位置偏差不正	モーション制御機能関連	SBCA-469
64570000Hex	サーボ OFF 異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
64580000Hex	絶対値エンコーダ現在位置算出不可	モーション制御機能関連	SBCA-469
64590000Hex	多軸協調動作中の原点未確定	モーション制御機能関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
645A0000Hex	最高補間速度異常	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
645B0000Hex	最大補間加速度異常	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
645C0000Hex	最大補間減速度異常	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
64780000Hex	入力断線検知	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
64790000Hex	出力設定値異常	CJ シリーズアナログ入出力ユニット関連	SBCC-846
647A0000Hex	入力異常	CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連	SBCC-849
647D0000Hex	ゼロ・スパン調整期限切れ	CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連	SBCC-849
647E0000Hex	ゼロ・スパン調整期限予告	CJ シリーズプロセス入出力ユニット関連	SBCC-849
64840000Hex	センサエラー	CJ シリーズ温度調節ユニット関連	SBCC-847
64850000Hex	CT オーバーフロー	CJ シリーズ温度調節ユニット関連	SBCC-847
64860000Hex	ヒータ断線警報	CJ シリーズ温度調節ユニット関連	SBCC-847
648C0000Hex	ユニット状態 コマンド異常完了	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
648D0000Hex	結果情報 ベリファイエラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
648E0000Hex	結果情報 ID タグ交信エラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
648F0000Hex	結果情報 ID タグ不在エラー	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64900000Hex	結果情報 ID システムエラー 1	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64910000Hex	結果情報 ID システムエラー 2	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64920000Hex	結果情報 ID システムエラー 3	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64930000Hex	結果情報 ID タグ状態	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64940000Hex	結果情報 エラー訂正	CJ シリーズ ID センサユニット関連	SDGR-703
64980000Hex	代表ワーニング	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
64990000Hex	代表アラーム	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
64A00000Hex	Tfs（送信完了監視時間）オーバー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
64A10000Hex	Tfr（受信完了監視時間）オーバー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A20000Hex	Tr（受信待ち監視時間）オーバー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A30000Hex	FCS チェックエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A40000Hex	タイムアウトエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A50000Hex	コンペアエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A60000Hex	受信オーバー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64A70000Hex	コマンドフォーマットエラー	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
64AC0000Hex	送信タイムアウト	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
64CC0000Hex	断線検知	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-350
64E00000Hex	駆動禁止入力異常 1	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
64E10000Hex	駆動禁止入力異常 2	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
64E20000Hex	即停止入力異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
64E30000Hex	駆動禁止入力異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
64F00000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch1)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F10000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch2)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F20000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch3)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F30000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch4)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F40000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch5)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F50000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch6)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F60000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch7)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F70000Hex	ユニットオーバーレンジ(Ch8)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F80000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch1)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64F90000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch2)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64FA0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch3)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64FB0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch4)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64FC0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch5)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64FD0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch6)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
64FE0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch7)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
64FF0000Hex	ユニットアンダーレンジ(Ch8)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65030000Hex	ユニット断線検知(Ch1)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65040000Hex	ユニット断線検知(Ch2)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65050000Hex	ユニット断線検知(Ch3)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65060000Hex	ユニット断線検知(Ch4)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65070000Hex	ユニット断線検知(Ch5)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65080000Hex	ユニット断線検知(Ch6)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65090000Hex	ユニット断線検知(Ch7)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
650A0000Hex	ユニット断線検知(Ch8)	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-408
65100000Hex	センサ断線異常	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-440 SGTD-748
65110000Hex	測定値オーバーレンジ	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-440
65120000Hex	測定値アンダーレンジ	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連	SBCA-440
65130000Hex	センサ断線異常	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
65140000Hex	オーバーレンジ	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
65150000Hex	アンダーレンジ	NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-439
65200000Hex	入出力電源電圧異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65210000Hex	電源遮断テスト異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65220000Hex	セーフティ入力端子外部接続機器異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65230000Hex	セーフティ入力端子デュアルチャネル監視異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65240000Hex	テスト出力端子過電流異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65250000Hex	テスト出力端子出力 ON 固着異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65270000Hex	セーフティ出力端子地絡異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
65280000Hex	セーフティ出力端子出力 ON 固着異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
652C0000Hex	ヒータ断線検知	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-440 SGTD-748
652D0000Hex	SSR 故障検知	NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-440 SGTD-748

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
652E0000Hex	警報検知	NX シリーズ温度調節ユニット関連	SGTD-748
65900000Hex	I/O リフレッシュ周期オーバー	X バスユニット共通関連	SBCA-469
66000000Hex	送信トランザクションキューオーバー	GEM サービス関連	SBCA-412
66010000Hex	受信トランザクションキューオーバー	GEM サービス関連	SBCA-412
66020000Hex	SECS メッセージ長オーバー	GEM サービス関連	SBCA-412
67000000Hex	指令位置ワークスペース範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67010000Hex	現在位置ワークスペース範囲外	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67020000Hex	製品同期偏差オーバー	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67030000Hex	速度異常検出	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67040000Hex	加速度異常検出	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67050000Hex	指令現在速度の最高速度オーバー	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
67800000Hex	即停止入力	CNC 機能関連	SBCE-428
67810000Hex	正方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
67820000Hex	負方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
67830000Hex	目標位置正方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
67840000Hex	目標位置負方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
67850000Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中	CNC 機能関連	SBCE-428
67860000Hex	正方向限界入力中	CNC 機能関連	SBCE-428
67870000Hex	負方向限界入力中	CNC 機能関連	SBCE-428
67880000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
67890000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
678A0000Hex	インポジションチェック時間オーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
678B0000Hex	位置偏差オーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
678C0000Hex	位置偏差警告	CNC 機能関連	SBCE-428
678D0000Hex	指令位置オーバーフロー	CNC 機能関連	SBCE-428
678E0000Hex	指令位置アンダーフロー	CNC 機能関連	SBCE-428
678F0000Hex	フィードバック位置オーバーフロー	CNC 機能関連	SBCE-428
67900000Hex	フィードバック位置アンダーフロー	CNC 機能関連	SBCE-428
67910000Hex	位置偏差不正	CNC 機能関連	SBCE-428
67920000Hex	絶対値エンコーダ現在位置算出不可	CNC 機能関連	SBCE-428
67930000Hex	多軸協調動作中の原点未確定	CNC 機能関連	SBCE-428
67940000Hex	正方向ソフトウェアリミットオーバー中サイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428
67950000Hex	負方向ソフトウェアリミットオーバー中サイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428
67960000Hex	指令位置オーバーフロー（アンダーフロー）発生中サイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428
67970000Hex	正方向限界入力中サイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
67980000Hex	負方向限界入力中サイクルスタート指示	CNC 機能関連	SBCE-428
67990000Hex	NC プログラム実行異常	CNC 機能関連	SBCE-428
68010000Hex	ユニットエラー	CJ シリーズ高速カウンタユニット関連	SBCC-848
68200000Hex	駆動禁止検出	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
68210000Hex	制御権解放異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
68220000Hex	異常停止入力	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
68230000Hex	ソフトウェアリミットオーバー	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
68370000Hex	SOPT 入力監視異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
68380000Hex	セーフティ機能異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
68390000Hex	SF 入力端子デュアルチャネル監視異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683A0000Hex	SBC リレー診断異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683B0000Hex	SOPT 入力端子外部接続機器異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683C0000Hex	テスト出力端子過電流異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683D0000Hex	テスト出力端子出力 ON 固着異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683E0000Hex	SBC 出力端子過電流異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
683F0000Hex	SBC 出力端子出力 ON 固着異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
68400000Hex	IOV 電源電圧異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
68410000Hex	SBC 電源電圧異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
68420000Hex	監視制限値超過異常	サーボ 1S 関連	SBCE-438
70010000Hex	過去時刻指定	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連	SBCA-407
74200000Hex	モーション制御周期オーバー	モーション制御機能関連	SBCA-469
74210000Hex	サーボ主回路電源オフ検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74220000Hex	サーボ主回路電源オフ状態	モーション制御命令関連	SBCA-469
74230000Hex	割り込み定寸位置決め･割り込み信号なし	モーション制御機能関連	SBCA-469
74240000Hex	原点復帰逆方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74250000Hex	原点復帰方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74260000Hex	原点復帰両方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74270000Hex	原点近傍･原点復帰逆方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74280000Hex	原点近傍･原点復帰方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
74290000Hex	原点入力･原点復帰逆方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
742A0000Hex	原点入力･原点復帰方向限界入力検出	モーション制御機能関連	SBCA-469
742B0000Hex	原点入力マスク量不正	モーション制御機能関連	SBCA-469
742C0000Hex	原点入力なし	モーション制御機能関連	SBCA-469
742D0000Hex	原点近傍入力なし	モーション制御機能関連	SBCA-469
742F0000Hex	スレーブ異常検知	モーション制御機能関連	SBCA-469
74300000Hex	軸グループ構成軸異常発生	モーション制御機能関連 NJ Robotics 機能関連	SBCA-469 SBCA-421
74320000Hex	スレーブ監視情報検知	モーション制御機能関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
74330000Hex	MC 共通の異常発生中	モーション制御機能関連	SBCA-469
74340000Hex	ラッチ位置オーバーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
74350000Hex	ラッチ位置アンダーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
74360000Hex	主軸同期方向異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
74370000Hex	サーボ ON 中スレーブ離脱	モーション制御機能関連	SBCA-469
74380000Hex	定寸距離オーバーフロー	モーション制御機能関連	SBCA-469
74390000Hex	サーボドライバの制御モード切替異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
743A0000Hex	主軸位置読み出し異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
743B0000Hex	補助軸位置読み出し異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
743C0000Hex	カムテーブル保存命令実行不可	モーション制御機能関連	SBCA-469
743D0000Hex	同期指令不正	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
743E0000Hex	位置偏差不正	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
743F0000Hex	不正状態遷移	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
74600000Hex	マスタ機能有効／停止失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
74610000Hex	マスタ固定割付エリア設定失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
74620000Hex	スキャンリスト登録／クリア失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
74630000Hex	スレーブ機能有効／停止操作失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
74640000Hex	スレーブ固定割付エリア設定失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
74800000Hex	コマンド警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
74810000Hex	コマンド異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
74900000Hex	複数制御信号入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74910000Hex	EXE 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74920000Hex	SYNC 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74930000Hex	TIMING 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74940000Hex	RESET 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74950000Hex	ZERO 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74960000Hex	ZEROCLR 入力エラー	ファイバ同軸変位センサ ZW-CE1□関連	SDNE-703
74A00000Hex	SF_Antivalent 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A10000Hex	SF_EDM 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A20000Hex	SF_EmergencyStop 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A30000Hex	SF_EnableSwitch 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
74A40000Hex	SF_Equivalent 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A50000Hex	SF_ESPE 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A60000Hex	SF_GuardLocking 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A70000Hex	SF_GuardMonitoring 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A80000Hex	SF_ModeSelector 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74A90000Hex	SF_MutingPar 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AA0000Hex	SF_MutingPar_2Sensor 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AB0000Hex	SF_MutingSeq 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AC0000Hex	SF_OutControl 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AD0000Hex	SF_SafetyRequest 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AE0000Hex	SF_TestableSafetySensor 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74AF0000Hex	SF_TwoHandControlTypeII 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
74B00000Hex	SF_TwoHandControlTypeIII 異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
75000000Hex	ロボット制御周期オーバー	ロボット制御機能関連	SBCE-436
75010000Hex	ロボット制御共通の異常発生	ロボット制御機能関連	SBCE-436
75020000Hex	EtherCAT スレーブ離脱異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
75030000Hex	ロボットエラー発生	ロボット制御機能関連	SBCE-436
77000000Hex	コンベア軸位置読み出し異常	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
77800000Hex	CNC 制御周期オーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
77810000Hex	CNC プランナサービス周期オーバー	CNC 機能関連	SBCE-428
77820000Hex	CNC 座標系構成 CNC モータ異常発生	CNC 機能関連	SBCE-428
77830000Hex	CNC 共通の異常発生中	CNC 機能関連	SBCE-428
77840000Hex	サーボ主回路電源オフ状態	CNC 機能関連	SBCE-428
77850000Hex	サーボ主回路電源オフ検出	CNC 機能関連	SBCE-428
77860000Hex	スレーブ異常検知	CNC 機能関連	SBCE-428
77870000Hex	スレーブ監視情報検知	CNC 機能関連	SBCE-428
77880000Hex	サーボ ON 中スレーブ離脱	CNC 機能関連	SBCE-428
77890000Hex	原点復帰逆方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778A0000Hex	原点復帰方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778B0000Hex	原点復帰両方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778C0000Hex	原点近傍･原点復帰逆方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778D0000Hex	原点近傍･原点復帰方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778E0000Hex	原点入力･原点復帰逆方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
778F0000Hex	原点入力･原点復帰方向限界入力検出	CNC 機能関連	SBCE-428
77900000Hex	原点入力マスク量不正	CNC 機能関連	SBCE-428

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
77910000Hex	原点入力なし	CNC 機能関連	SBCE-428
77920000Hex	原点近傍入力なし	CNC 機能関連	SBCE-428
78010000Hex	動作指令競合	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
78020000Hex	絶対値ステータス異常	サーボ G5 関連	SBCE-365
78080000Hex	TRIG 入力エラー	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
780A0000Hex	シーンデータ異常	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
780B0000Hex	モデルエラー	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
780C0000Hex	ロギングエラー	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
780D0000Hex	出力制御タイムアウト	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
780E0000Hex	出力サイズ設定異常	EtherCAT 対応 FQ-M シリーズ　位置決め専用視覚センサ関連	SDNB-706
78190000Hex	画像ロギングディスク書込異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
781A0000Hex	設定データ転送異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
781B0000Hex	出力バッファ異常(EtherCAT)	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
78200000Hex	パルス出力過速度異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
78210000Hex	ブレーキインターロック異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
78220000Hex	コマンド警告	サーボ 1S 関連	SBCE-377
78230000Hex	コマンド異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
80010000Hex	不正パケット破棄	CJ ユニット構成関連	SBCA-469
80100000Hex	パケット破棄	FINS 通信関連	SBCA-469
80110000Hex	パケット破棄	FINS 通信関連	SBCA-469
80120000Hex	パケット破棄	FINS 通信関連	SBCA-469
80200000Hex	NX ユニット I/O 通信異常	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズセーフティコントロールユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-407 SBCA-408 SBCA-440 SBCE-374 SBCA-422 SGFM-710 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
80210000Hex	NX ユニット出力同期異常	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連	SBCA-407 SBCA-408 SBCE-374 SBCA-439
80220000Hex	NX メッセージ通信異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズセーフティコントロールユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCD-361 SBCA-440 SBCE-374 SBCA-422 SGFM-710 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
80230000Hex	NX メッセージ通信異常	コントローラ操作関連	SBCA-469
80240000Hex	NX ユニット時刻同期はずれ異常	NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCA-407 SBCA-408 SBCA-440 SBCE-374 SBCA-422 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
80300000Hex	セーフティプロセスデータ通信タイムアウト	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
80310000Hex	CIP Safety オリジネータコネクション確立異常	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
80320000Hex	CIP Safety オリジネータコネクションタイムアウト	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
80330000Hex	CIP Safety ターゲット不在	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
80340000Hex	CIP Safety ターゲットコネクションタイムアウト	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
84010000Hex	IP アドレス重複異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84020000Hex	BOOTP サーバ接続失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84030000Hex	DNS サーバ接続失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84040000Hex	NTP サーバ接続失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84050000Hex	受信バッファフルのためパケット廃棄	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84060000Hex	リンクオフ検知	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84070000Hex	タグデータリンクコネクション確立失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84080000Hex	タグデータリンクタイムアウト	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84090000Hex	タグデータリンクコネクション確立タイムアウト	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
840A0000Hex	IP アドレス重複異常	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
840B0000Hex	BOOTP サーバ接続失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
840C0000Hex	ユニット許容通信帯域幅オーバー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
840E0000Hex	タグデータリンク タグセット設定数オーバー	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
840F0000Hex	DHCP サーバ接続失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
84200000Hex	リンクオフ異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84210000Hex	ネットワーク構成異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84220000Hex	ネットワーク構成照合異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84230000Hex	スレーブ初期化異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84280000Hex	スレーブアプリケーション異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84290000Hex	プロセスデータ送信異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
842B0000Hex	プロセスデータ受信タイムアウト	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
842C0000Hex	プロセスデータ通信異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
842D0000Hex	EtherCAT メッセージ異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
842E0000Hex	EtherCAT フレーム受信なし異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
842F0000Hex	プロセスデータ入力値無効異常	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84300001Hex	スレーブ状態遷移失敗	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84310002Hex	スレーブの不正な切り離し検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84320003Hex	ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84330004Hex	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84340000Hex	スレーブ PDI WDT 異常検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84350000Hex	不正メールボックス受信	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84360000Hex	スレーブ AL ステータス異常検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84370000Hex	時刻同期補正失敗	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84380000Hex	ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84390000Hex	リング断線検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
843A0000Hex	ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
843C0000Hex	不正な配線検知	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
84400000Hex	スレーブ通信異常	モーション制御機能関連	SBCA-469
84600000Hex	通信異常発生	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
84610000Hex	リピータ通信異常発生	CJ シリーズ CompoNet マスタユニット関連	SBCD-353
84680000Hex	伝送エラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
84690000Hex	オーバーランエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
846A0000Hex	フレーミングエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
846B0000Hex	パリティエラー発生	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
846C0000Hex	伝送エラー発生 （オーバーランエラー、フレーミングエラー、パリティエラー）	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
846D0000Hex	伝送エラー発生（CRC エラー）	CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット関連	SBCD-354
84740000Hex	Busoff 検知	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
84750000Hex	リモート I/O 通信異常	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
84760000Hex	リモート I/O 通信異常（スレーブ機能動作時）	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
84770000Hex	スレーブ機能 COS 送信失敗	CJ シリーズ DeviceNet ユニット関連	SBCD-357
84790000Hex	デバイスイベント（エラーレベル）	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
847A0000Hex	IO-Link 通信異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
847C0000Hex	デバイス構成照合異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
84820000Hex	IO-Link デバイス構成情報作成	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
84840000Hex	I/O ケーブル短絡	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
84850000Hex	I/O 電源 ON 検知	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371
84860000Hex	デバイスイベント（ワーニングレベル）	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371 SBCD-385
84870000Hex	IO-Link 通信モジュール処理異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-371
848C0000Hex	デバイスイベント（エラーレベル）	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
848D0000Hex	IO-Link 通信異常	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
848F0000Hex	デバイス構成照合異常	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
84950000Hex	IO-Link デバイス構成情報作成	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
84970000Hex	I/O ケーブル短絡	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
84980000Hex	I/O 電源 ON 検知	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
84990000Hex	デバイスイベント（ワーニングレベル）	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
849A0000Hex	IO-Link 通信モジュール処理異常	NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連	SBCD-371
84A00000Hex	SII 照合異常	GX シリーズ EtherCAT スレーブ関連	SBCD-350 SBCD-371 SBCD-385
84B00000Hex	EtherCAT 通信警告	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377
84B10000Hex	EtherCAT 状態遷移異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B20000Hex	EtherCAT 不正状態遷移異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B30000Hex	通信同期異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
84B40000Hex	同期異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B50000Hex	シンクマネージャウォッチドッグ異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B60000Hex	ESC 初期化異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B70000Hex	SII 照合異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84B80000Hex	通信設定異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
84B90000Hex	同期割込み異常	サーボ G5 関連、G5 リニア関連、サーボ 1S 関連	SBCE-365 SBCE-366 SBCE-377 SBCE-438
84BA0000Hex	Bootstrap 状態遷移要求異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
84C00000Hex	NX ユニット通信タイムアウト	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
84C10000Hex	NX ユニット初期化異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
84C50000Hex	NX ユニット起動異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
84D00000Hex	SSI 通信異常	NX シリーズ位置インタフェースユニット関連	SBCE-374
84E00000Hex	IP アドレス重複異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
84E10000Hex	BOOTP サーバ接続異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
84E20000Hex	リンクオフ異常	CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-355
84F00000Hex	NX バス I/O 通信停止	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
84F10000Hex	NX バス I/O 通信停止	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
85000000Hex	プロセスデータ WDT 異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
85010000Hex	同期割込異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
85020000Hex	同期異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
85030000Hex	通信同期異常	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
85100000Hex	DB コネクション異常切断	DB 接続サービス関連	SBCA-411
852C0000Hex	I/O 通信異常	CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット関連	SBCD-367
85400000Hex	内部バッファフルによるデータ破棄	NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連	SBCA-422

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
85410000Hex	パリティエラー	NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連	SBCA-422
85420000Hex	フレーミングエラー	NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連	SBCA-422
85430000Hex	オーバーランエラー	NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連	SBCA-422
85500000Hex	NX バス通信異常	NX バス関連	SBCA-469
85510000Hex	NX ユニット通信タイムアウト	NX バス関連	SBCA-469
85520000Hex	NX ユニット初期化異常	NX バス関連	SBCA-469
85530000Hex	NX ユニット起動異常	NX バス関連	SBCA-469
85540000Hex	他のイベントによる NX バスの I/O 通信停止	NX バス関連	SBCA-469
85600000Hex	OPC UA ク ライアント接続拒否	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
85800000Hex	EtherCAT スレーブ通信異常	ロボット制御機能関連	SBCE-436
85A00000Hex	X バスユニット起動異常	X バス関連	SBCA-469
85A10000Hex	X バスユニット通信異常	X バス関連	SBCA-469
85D00000Hex	IP アドレス重複異常	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
85D10000Hex	BOOTP サーバ接続失敗	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
85D40000Hex	受信バッファフルのためパケット廃棄	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
85D50000Hex	リンクオフ検知	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
87800000Hex	スレーブ通信異常	CNC 機能関連	SBCE-428
88080000Hex	PLC リンク通信異常	FH シリーズ 画像処理システム関連	SDNB-714
88100000Hex	通信同期異常	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
88120000Hex	セーフティ通信タイムアウト	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
88130000Hex	アナログオプションボード起動異常	内蔵 I/O、オプションボード関連	SBCA-469
88140000Hex	アナログオプションボード通信異常	内蔵 I/O、オプションボード関連	SBCA-469
90010000Hex	時刻の変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90020000Hex	タイムゾーンの変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90030000Hex	オンライン接続開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
90040000Hex	オンライン接続終了	コントローラ操作関連	SBCA-469
90050000Hex	ユーザプログラム／コントローラ構成・設定のダウンロード	コントローラ操作関連	SBCA-469
90070000Hex	オンラインエディット転送	コントローラ操作関連	SBCA-469
90080000Hex	強制値リフレッシュのセット	コントローラ操作関連	SBCA-469
90090000Hex	強制値リフレッシュのリセット	コントローラ操作関連	SBCA-469
900A0000Hex	強制値リフレッシュの全解除	コントローラ操作関連	SBCA-469
900B0000Hex	メモリオールクリア	コントローラ操作関連	SBCA-469
900C0000Hex	イベントログのクリア	コントローラ操作関連	SBCA-469
900F0000Hex	自動転送完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
90110000Hex	電源投入	コントローラ操作関連	SBCA-469
90120000Hex	電源断	コントローラ操作関連	SBCA-469
90130000Hex	運転開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
90140000Hex	運転停止	コントローラ操作関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
90150000Hex	リセット実行	コントローラ操作関連	SBCA-469
90160000Hex	ユーザプログラム実行用 ID 書込	コントローラ操作関連	SBCA-469
90170000Hex	認証設定の転送	コントローラ操作関連	SBCA-469
90180000Hex	発生中コントローラ異常の全解除	コントローラ操作関連	SBCA-469
90190000Hex	強制値リフレッシュの解除	コントローラ操作関連	SBCA-469
901A0000Hex	バックアップ開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
901B0000Hex	バックアップ完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
901C0000Hex	リストア開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
901D0000Hex	リストア完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
90200000Hex	SD メモリカードプログラム転送開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
90210000Hex	SD メモリカードプログラム転送完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
90290000Hex	設定ユニットバージョンの変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
902A0000Hex	運転モードへの変更指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
902B0000Hex	プログラムモードへの変更指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
902C0000Hex	アクセス権強制解放	コントローラ操作関連	SBCA-469
902D0000Hex	CPU ユニット名称の変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
902E0000Hex	CPU ユニットへの書込プロテクト設定	コントローラ操作関連	SBCA-469
902F0000Hex	運転モード書替設定の書き込み	コントローラ操作関連	SBCA-469
90300000Hex	バックアップ開始指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
90310000Hex	リストア開始指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
90320000Hex	ファームウェアアップデート禁止設定の変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90330000Hex	オムロン保守の開始指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
90340000Hex	オムロン保守の終了指示	コントローラ操作関連	SBCA-469
90400000Hex	イベントログのクリア	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連、NX シリーズデジタル I/O ユニット関連、NX シリーズアナログ I/O ユニット関連、NX シリーズシステムユニット関連、NX シリーズ位置インタフェースユニット関連、NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット関連、NX シリーズセーフティコントロールユニット関連、NX シリーズロードセル入力ユニット関連、NX シリーズ IO-Link マスタユニット関連、NX シリーズ温度調節ユニット関連	SBCD-361 SBCA-407 SBCA-408 SBCA-440 SBCA-409 SBCE-374 SBCA-422 SGFM-710 SBCA-439 SBCD-371 SGTD-748
90420000Hex	リスタート実行	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
90430000Hex	メモリオールクリア	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連、NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SBCD-361 SGFM-710
90460000Hex	セーフティデータロギング開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
90470000Hex	セーフティデータロギング中断	コントローラ操作関連	SBCA-469
90480000Hex	セーフティデータロギング終了	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A00000Hex	ユニットリスタート	サーボ 1S 関連	SBCE-377
90A20000Hex	ユーザ認証の有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
90A30000Hex	ユーザ認証の無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A40000Hex	ユーザ追加	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A50000Hex	ユーザ削除	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A60000Hex	ユーザ権限変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A70000Hex	ユーザパスワード変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A80000Hex	ユーザパスワード有効期限管理の有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90A90000Hex	ユーザパスワード有効期限管理の無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AA0000Hex	ユーザパスワード有効期間変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AB0000Hex	ユーザ認証の操作ロック有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AC0000Hex	ユーザ認証の操作ロック無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AD0000Hex	ユーザ認証の操作ロック時間変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AE0000Hex	ユーザ権限認証の有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90AF0000Hex	ユーザ権限認証の無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B00000Hex	操作権限パスワード変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B10000Hex	パスワード入力省略時の操作権限変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B20000Hex	操作権限認証の操作ロック有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B30000Hex	操作権限認証の操作ロック無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B40000Hex	操作権限認証の操作ロック時間変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B50000Hex	ユーザパスワード期日前通知の有効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B60000Hex	ユーザパスワード期日前通知の無効化	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B70000Hex	ユーザパスワード期日前通知日数変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
90B80000Hex	セキュア通信バージョン変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
91000000Hex	X バスユニット設定のダウンロード	X バスユニット共通関連	SBCA-469
91020000Hex	X バスユニット設定のメモリオールクリア	X バスユニット共通関連	SBCA-469
91030000Hex	発生中異常の全解除	X バスユニット共通関連	SBCA-469
91040000Hex	イベントログのクリア	X バスユニット共通関連	SBCA-469
91050000Hex	電源投入	X バスユニット共通関連	SBCA-469
91060000Hex	電源断	X バスユニット共通関連	SBCA-469
94010000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード開始）	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94020000Hex	タグデータリンク操作（ダウンロード完了）	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94030000Hex	タグデータリンク操作（起動停止）	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94040000Hex	タグデータリンク操作（起動開始）	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94050000Hex	リンクオン検知	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94060000Hex	通信ポートリスタート	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94070000Hex	全タグデータリンク通信開始	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94080000Hex	IP アドレス決定	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94090000Hex	BOOTP クライアント起動	EtherNet/IP 関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
940A0000Hex	FTP サーバ起動	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
940B0000Hex	NTP クライアント起動	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
940C0000Hex	SNMP エージェント起動	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
940E0000Hex	セキュアソケット通信ログの開始/停止	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
940F0000Hex	セキュアソケット通信ログ保存失敗	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94100000Hex	セキュアソケット設定へのアクセス	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94110000Hex	セキュアソケット設定へのアクセス	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94120000Hex	セキュアソケット設定の変更または読み出し	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94130000Hex	IP アドレス変更	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94140000Hex	SNMP 設定変更	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94150000Hex	サブネットマスク変更	EtherNet/IP 関連	SBCA-469
94200000Hex	ブレンディングの中継速度到達までの移動量不足通知	モーション制御機能関連	SBCA-469
94210000Hex	MC 試運転画面からの異常解除実行	モーション制御機能関連	SBCA-469
94220000Hex	スレーブ異常コード確定	モーション制御機能関連	SBCA-469
94230000Hex	トランジションパラメータ補正通知	NJ Robotics 機能関連	SBCA-421
94400000Hex	スレーブ離脱	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94410000Hex	スレーブ再加入	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94430000Hex	異常解除	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94440000Hex	スレーブ無効化	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94450000Hex	スレーブ有効化	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94500000Hex	EtherCAT 診断･統計情報ログ機能開始	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94510000Hex	EtherCAT 診断･統計情報ログ機能終了	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94520000Hex	電源再投入待ち	EtherCAT マスタ関連	SBCA-469
94600000Hex	I/O チェック実行開始	NX シリーズ EtherCAT カプラユニット関連	SBCD-361
94D00000Hex	チューニングパラメータ更新	NX シリーズ温度調節ユニット関連	SGTD-748
94D10000Hex	関連パラメータ初期化	NX シリーズ温度調節ユニット関連	SGTD-748
94F00000Hex	チューニングパラメータ自動更新	NX シリーズ温度調節ユニット関連	SGTD-748
951E0000Hex	Sysmac Studio との通信接続タイムアウト	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
951F0000Hex	メモリオールクリアの受付拒否	NX シリーズセーフティコントロールユニット関連	SGFM-710
95300000Hex	DB 接続サービス開始	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95310000Hex	DB 接続サービス停止	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95320000Hex	DB 接続サービス終了	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95330000Hex	スプールクリア	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95340000Hex	DB 接続サービス操作（開始）	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95350000Hex	DB 接続サービス操作（停止）	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95360000Hex	DB 接続サービス操作（終了）	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95370000Hex	スプールクリア操作	DB 接続サービス関連	SBCA-411

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
95380000Hex	稼働ログのクリア操作	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95390000Hex	デバッグログ操作（開始）	DB 接続サービス関連	SBCA-411
953A0000Hex	デバッグログ操作（停止）	DB 接続サービス関連	SBCA-411
95420000Hex	GEM サービス起動	GEM サービス関連	SBCA-412
95430000Hex	シャットダウン処理完了	GEM サービス関連	SBCA-412
95440000Hex	GEM 設定データ変更	GEM サービス関連	SBCA-412
95450000Hex	SD メモリカード正常	GEM サービス関連	SBCA-412
95720000Hex	オートメーションプレイバック設定変更	コントローラ操作関連	SBCA-469
95730000Hex	変数のサンプリング開始	コントローラ操作関連	SBCA-469
95740000Hex	変数のサンプリング停止	コントローラ操作関連	SBCA-469
95750000Hex	変数ログ出力完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
95760000Hex	変数ログの上書き実施	コントローラ操作関連	SBCA-469
95770000Hex	変数のサンプリング上限	コントローラ操作関連	SBCA-469
95780000Hex	変数ログ出力完了	コントローラ操作関連	SBCA-469
95790000Hex	変数のサンプリング上限	コントローラ操作関連	SBCA-469
957A0000Hex	変数ログ保存不可	コントローラ操作関連	SBCA-469
95800000Hex	NX バスのリスタート実行	NX バス関連	SBCA-469
95810000Hex	NX ユニットのメモリオールクリア実行	NX バス関連	SBCA-469
95D00000Hex	OPC UA サーバ開始	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D10000Hex	OPC UA サーバ停止	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D20000Hex	サーバ証明書生成	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D30000Hex	クライアント証明書の破棄	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D40000Hex	OPC UA サーバ証明書およびセキ ュリティプロファイルのクリア	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D60000Hex	クライアント証明書の追加	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D70000Hex	クライアント証明書の削除	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D80000Hex	クライアント証明書の移動	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95D90000Hex	クライアント証明書失効リストの追加	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95DA0000Hex	クライアント証明書失効リストの削除	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
95DB0000Hex	サーバ証明書再生成	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96040000Hex	V+プログラムエラー	ロボット制御機能関連	SBCE-436
96050000Hex	V+プログラム警告	ロボット制御機能関連	SBCE-436
96060000Hex	V+プログラム情報	ロボット制御機能関連	SBCE-436
96090000Hex	ロボットマニュアルモード開始	ロボット制御機能関連	SBCE-436
960A0000Hex	ロボットオートモード開始	ロボット制御機能関連	SBCE-436
96200000Hex	セキュリティ設定の転送	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96210000Hex	実行ログクリア	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96220000Hex	CA 証明書の追加	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96230000Hex	CA 証明書の削除	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96240000Hex	CA 証明書失効リストの追加	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96250000Hex	CA 証明書失効リストの削除	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96260000Hex	クライアント証明書、CA 証明書の変更	OPC UA サーバ機能関連	SBCA-469
96440000Hex	リンクオン検知	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
96450000Hex	通信ポートリスタート	EtherNet/IP 関連	SBCA-469

イベントコード	イベント名	機能分類	参照先
96470000Hex	IP アドレス決定	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
96480000Hex	BOOTP クライアント起動	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
964B0000Hex	SNMP エージェント起動	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
96500000Hex	IP アドレス変更	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
96510000Hex	SNMP 設定変更	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
96520000Hex	サブネットマスク変更	NX シリーズ EtherNet/IP ユニット関連	SBCD-382
97800000Hex	スレーブ異常コード確定	CNC 機能関連	SBCE-428
97810000Hex	ソフトウェアリミット軌跡制限	CNC 機能関連	SBCE-428
97820000Hex	CNC 機能システム情報	CNC 機能関連	SBCE-428
97830000Hex	速度制御指令値飽和	CNC 機能関連	SBCE-428
98010000Hex	絶対値クリア	サーボ G5 関連	SBCE-365
98020000Hex	位置データ初期化	サーボ G5 関連、G5 リニア関連	SBCE-365 SBCE-366
98200000Hex	絶対値クリア	サーボ 1S 関連	SBCE-377 SBCE-438
98210000Hex	STO 検出	サーボ 1S 関連	SBCE-377
98220000Hex	メモリオールクリア	サーボ 1S 関連	SBCE-377
98230000Hex	モータ回転方向選択不一致	サーボ 1S 関連	SBCE-438
98240000Hex	イベントログクリア	サーボ 1S 関連	SBCE-377
98250000Hex	STO 検出	サーボ 1S 関連	SBCE-438

A-5　表示器のトラブルシュータの対応範囲

表示器のトラブルシュータの使用可否は、表示器と CPU ユニットの組み合わせに依存します。
また、表示器のトラブルシュータが対象とするシステム構成要素は、トラブルシュータの機能ごとに異なります。

A-5-1　トラブルシュータを使用できる表示器と CPU ユニットの組み合わせ

表示器のトラブルシュータの使用可否は、表示器と CPU ユニットの組み合わせに依存します。

● NA シリーズ表示器

トラブルシュータを使用可能な表示器の形式を以下に示します。

使用上の注意

セキュア通信バージョン 2 を設定している CPU ユニットでは NA シリーズ表示器のトラブルシュータ機能を使用できません。

機種	形式
NA5	形 NA5-□

前記形式のシステムバージョンによるトラブルシュータの使用可否を以下に示します。

表示器のシステムバージョン	接続する CPU ユニット	
	NX シリーズ CPU ユニット	NJ シリーズ CPU ユニット
Ver. 1.02 以降	使用可	
Ver. 1.01 以前	表示器にトラブルシュータなし	

● NS シリーズ表示器

トラブルシュータを使用可能な表示器の形式を以下に示します。

機種	形式
NS8/10/12/15	形 NS□-T□01-V2（-V2 ハード、Ethernet ポート付き）
NS5	形 NS5-□Q11-V2（メモリ拡張版、Ethernet ポート付き）
NSJ8/10/12	全形式
NSJ5	形 NSJ5-□Q11-□（メモリ拡張版、Ethernet ポート付き）

前記形式のシステムバージョンによるトラブルシュータの使用可否を以下に示します。

表示器のシステムバージョン	接続する CPU ユニット	
	NX シリーズ CPU ユニット	NJ シリーズ CPU ユニット
Ver. 8.9 以降	使用可	
Ver. 8.5 から Ver. 8.8	使用不可	使用可
Ver. 8.4 以前	表示器にトラブルシュータなし	

A-5-2　トラブルシュータが対象とするシステム構成要素

システム構成要素ごとに、表示器で使用できるトラブルシュータ機能が異なります。
表示器のトラブルシュータが対象とするシステム構成要素については、NA シリーズ表示器、NS シリーズ表示器でそれぞれ以下のマニュアルを参照してください。

- 『プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBSA-545)』
- 『プログラマブルターミナル NS シリーズ プログラミングマニュアル(SBSA-512)』



使用上の注意

NA シリーズ表示器では、NX バス機能モジュールに対して以下の制約があります。必要により Sysmac Studio のトラブルシュート機能を使用してください。

- NX バスのマスタの発生中異常は表示できますが、発生源に「NX バス機能モジュール」は表示されません。CPU ユニットに装着されている NX ユニットの発生中異常は表示できま せん。
- 発生中異常の解除は全解除だけができます。
- NX バスのマスタのイベントログは表示できますが、発生源に「NX バス機能モジュール」は表示されません。CPU ユニットに装着されている NX ユニットのイベントログは表示できません。
- NX バスのマスタのイベントログは消去できますが、CPU ユニットに装着されている NX ユニットのイベントログの消去はできません。



使用上の注意

NS シリーズ表示器では、NX バス機能モジュールに対して以下の制約があります。必要により Sysmac Studio のトラブルシュート機能を使用してください。

- 発生中異常の表示はできません。
- 発生中異常の解除は全解除だけができます。
- イベントログの表示はできません。
- NX バスのマスタのイベントログは消去できますが、CPU ユニットに装着されている NX ユニットのイベントログの消去はできません。

A-6 設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満と Ver.1.40 以降のイベントの対応

CPU ユニットで発生するイベントは CPU ユニットのユニットバージョンで決まっており、設定ユニットバージョン*1 を変更しても変わりません。

*1. 本マニュアルでは、プロジェクトに設定されているユニットバージョンを、“設定ユニットバージョン”と呼びます。設定ユニットバージョンは、Sysmac Studio のデバイス選択画面でプロジェクトに設定します。

しかし、EtherCAT マスタ機能モジュールでは、設定ユニットバージョンの Ver.1.40 未満と Ver.1.40 以降では発生するイベントが一部異なります。発生したイベントコードを上位システムなどで取得して処理を行う場合は、設定ユニットバージョンの設定によりイベントコードが異なることを考慮して上位システムなどを設計してください。

以下に設定ユニットバージョンが Ver.1.40 未満と Ver.1.40 以降のイベントの対応を示します。

機能モジュール	対応の分類	設定ユニットバージョン	
		Ver.1.40 未満	Ver.1.40 以降
EtherCAT マスタ機能モジュール	設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降で変更になったイベント	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）（Ver.1.03 以降）（102F0000Hex）	バックアップ実行失敗（EtherCAT スレーブ）（10460001Hex）
		リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）（Ver.1.03 以降）（10300000Hex）	リストア実行失敗（EtherCAT スレーブ）（10470002Hex）
		ネットワーク構成異常（84210000Hex）	不正な配線検知(843C0000Hex)
		ネットワーク構成照合異常（84220000Hex）	ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続）（84320003Hex）
			ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在）（84380000Hex）
			ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致）（84330004Hex）
		スレーブ初期化異常(84230000Hex)	スレーブ状態遷移失敗（84300001Hex）
		スレーブアプリケーション異常（84280000Hex）	スレーブ AL ステータス異常検知（84360000Hex）
		プロセスデータ通信異常（842C0000Hex）	スレーブの不正な切り離し検知（84310002Hex）
			スレーブ PDI WDT 異常検知（84340000Hex）
		EtherCAT メッセージ異常（842D0000Hex）	不正メールボックス受信（84350000Hex）
	設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満だけで発生するイベント	MAC アドレス異常(14400000Hex)	なし
		EtherCAT 通信周期設定異常（Ver.1.10 以降）（34410000Hex）	なし
	設定ユニットバージョン Ver.1.40 以降だけで発生するイベント	なし	パラメータ転送未実行（34420000Hex）
		なし	時刻同期補正失敗(84370000Hex)
		なし	リング断線検知(84390000Hex)
		なし	ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）（843A0000Hex）
		なし	電源再投入待ち(94520000Hex)

機能モジュール	対応の分類	設定ユニットバージョン	
		Ver.1.40 未満	Ver.1.40 以降
	設定ユニットバージョン Ver.1.40 未満、Ver.1.40 以降共通で発生するイベント	通信コントローラ異常(04400000Hex)	
		スレーブノードアドレス重複(24200000Hex)	
		ネットワーク構成情報異常(34400000Hex)	
		EtherCAT 処理異常(44010000Hex)	
		コントローラのメモリ容量不足予告(50010000Hex)	
		エマージェンシー・メッセージ検知(64200000Hex)	
		リンクオフ異常(84200000Hex)	
		プロセスデータ送信異常(84290000Hex)	
		プロセスデータ受信タイムアウト(842B0000Hex)	
		EtherCAT フレーム受信なし異常（Ver.1.11 以降）(842E0000Hex)	
		プロセスデータ入力値無効異常（Ver.1.13 以降）(842F0000Hex)	
		スレーブ離脱(94400000Hex)	
		スレーブ再加入(94410000Hex)	
		異常解除(94430000Hex)	
		スレーブ無効化（Ver.1.04 以降）(94440000Hex)	
		スレーブ有効化（Ver.1.04 以降）(94450000Hex)	
		EtherCAT 診断・統計情報ログ機能開始（Ver.1.11 以降）(94500000Hex)	
		EtherCAT 診断・統計情報ログ機能終了（Ver.1.11 以降）(94510000Hex)	

A-7 形 NX102、形 NX1P2 とスレーブターミナルの NX バス関連イベントの対応

形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットとスレーブターミナルは、どちらも NX ユニットを装着できます。そのため形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットとスレーブターミナルで同じように発生する NX バス関連の異常があります。ただし、形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットでは NX バスに関連する異常の発生要因を特定しやすくするために、スレーブターミナルの 1 つのイベントに対して、より具体的な名称を持つ複数のイベントが対応する 場合があります。
形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットの複数のイベントに対応するスレーブターミナルのイベントは、次のとおりです。

形 NX102、形 NX1P2 CPU ユニットのイベント	スレーブターミナルのイベント
NX バス機能処理異常(44440000Hex)	NX ユニット処理異常(40200000Hex)
NX バスシステム情報(44450000Hex)	
未対応 NX ユニット装着*1	ユニット構成異常（サポート外）(24A10000Hex)
NX ユニット総 I/O データサイズ超過 (24D20000Hex)	
NX ユニットバージョン不整合(35900000Hex)	ユニット構成照合異常(35010000Hex)
未登録 NX ユニット装着(35910000Hex)	
登録 NX ユニット未装着(35920000Hex)	
NX ユニットのシリアル番号不一致(35930000Hex)	
NX バス通信異常(85500000Hex)	

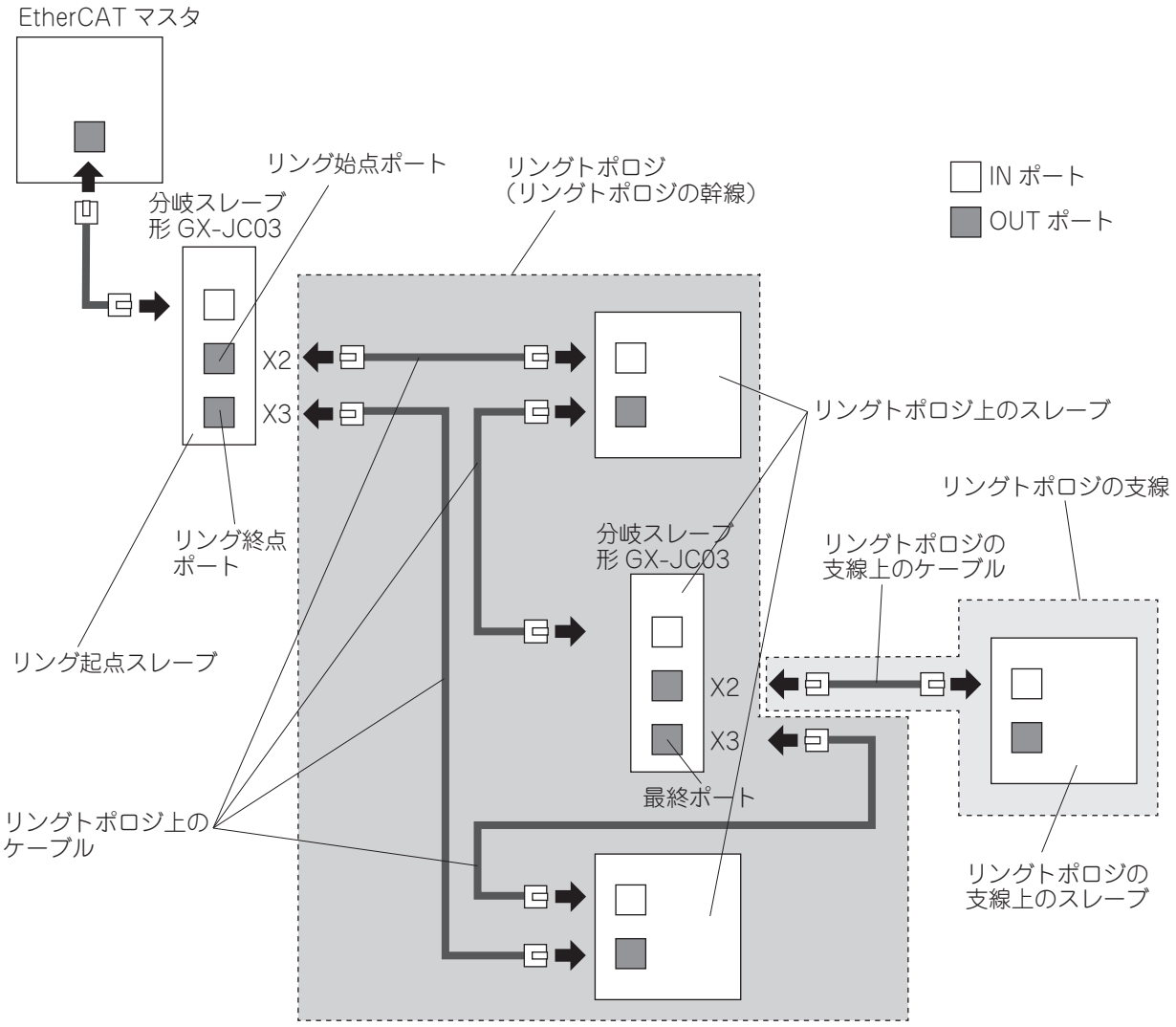
*1. 本イベントは、形 NX102 および形 NX1P2 CPU ユニットが、将来発売される NX ユニットの必須機能をサポートしていない場合に発生します。

A-8 イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正

コントローラの発生中異常のイベントを元に EtherCAT におけるリングトポロジの実ネットワーク配線を修正する場合、決められた順序でイベントへの対処を行うことで、効率よく異常を解消して配線修正することができます。ここでは、発生中異常のイベントをもとに EtherCAT におけるリングトポロジの実ネットワーク配線を修正する手順、およびリングトポロジ関連のイベントへの対処方法を示します。
リングトポロジを構成する場合の制約事項については、『NJ/NX シリーズ CPU ユニット内蔵 EtherCAT ポート ユーザーズマニュアル(SBCD-376)』のリングトポロジの説明を参照してください。

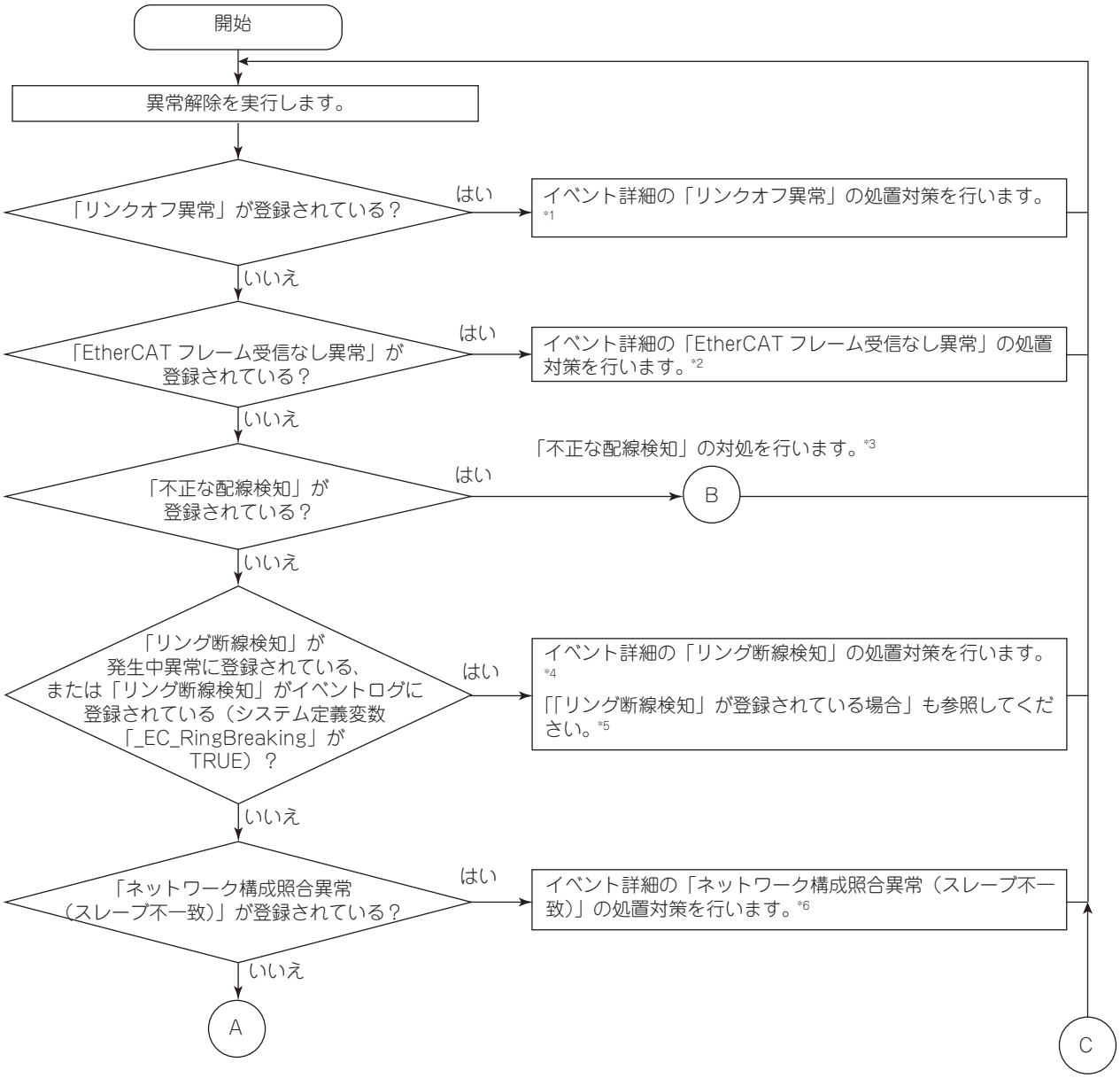
なお、リングトポロジの配線修正の説明で使用する用語の意味は次のとおりです。

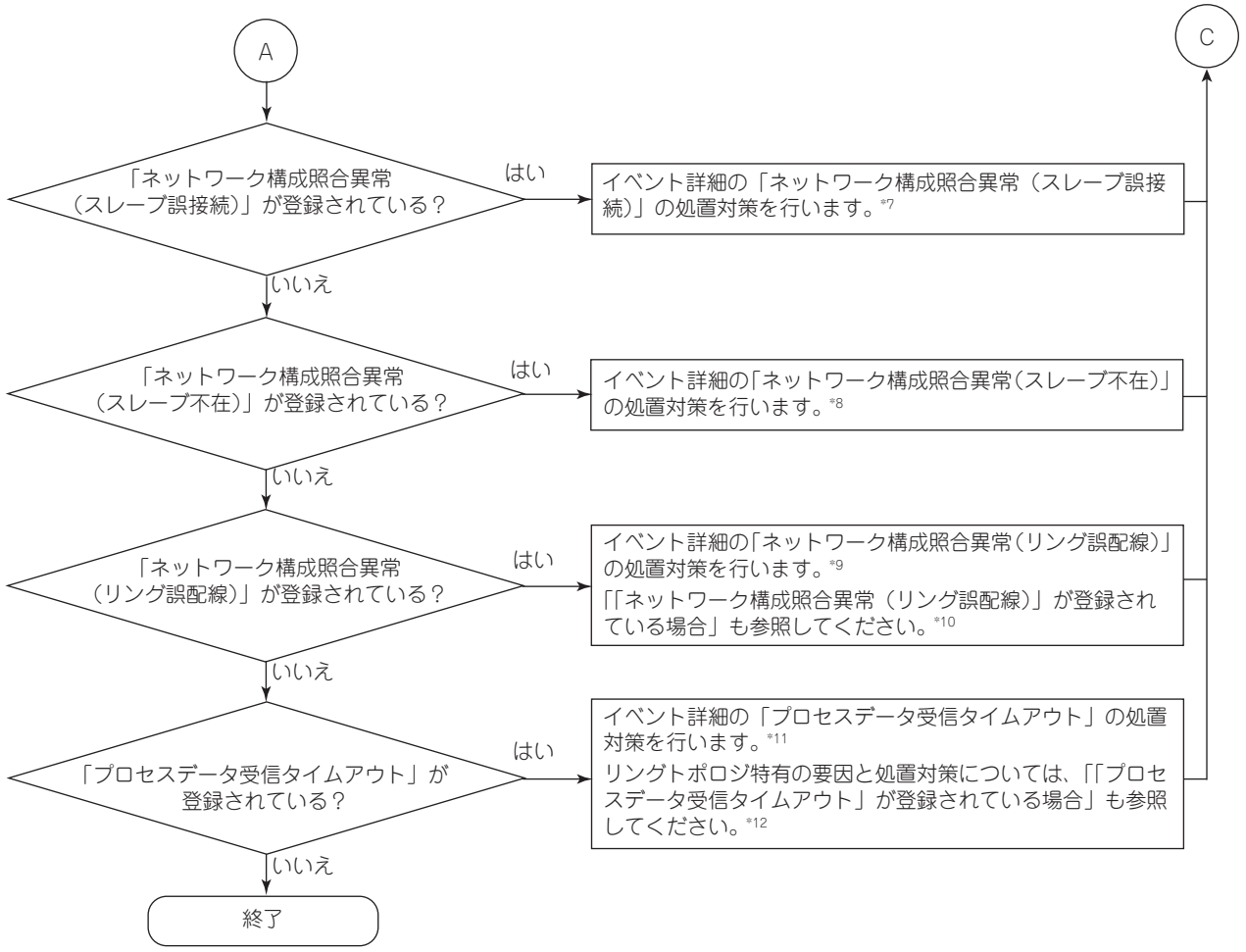
用語	意味
リングトポロジ	リング状に配線されているネットワーク構成
分岐スレーブ	EtherCAT のネットワークを分岐するためのスレーブ。具体的には、形 GX-JC03 および形 GX-JC06。
リング始点ポート	リングトポロジの始点となるポート。
リング終点ポート	リングトポロジの終点となるポート。
リング起点スレーブ	リングトポロジの起点となるスレーブ。具体的には、ケーブル冗長性が有効に設定された以下のスレーブ。 • 分岐スレーブの形 GX-JC03 • 分岐スレーブの形 GX-JC06 内に含まれる 2 台のスレーブのうちのいずれか
ケーブル冗長性	リングトポロジ上で 1 箇所のケーブル断線、または 1 台のスレーブ不在が発生した場合でも通信を継続できる性質。
ケーブル冗長性設定	ケーブル冗長性の有効、無効の設定。
ケーブル冗長状態	ネットワークがケーブル冗長性を持っている状態。実ネットワーク構成上のリングトポロジがネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジと一致しているときにケーブル冗長状態となる。
リング断線状態	ケーブル冗長状態のリングトポロジ上で 1 箇所だけ断線が発生したときの状態
最終ポート	分岐スレーブで EtherCAT のフレームが最後に出力されるポート。形 GX-JC03 では X3、形 GX-JC06 では X6。
リングトポロジの幹線	リングトポロジのこと。リングトポロジの支線と対比した説明を行う場合に使用する。
リングトポロジの支線	リングトポロジ上の分岐スレーブから分岐配線されたネットワーク構成。
IN ポート同士の接続	IN ポートと IN ポートが接続された状態。
OUT ポート同士の接続	OUT ポートと OUT ポートが接続された状態。


EtherCAT マスタ
リング始点ポート
リングトポロジ
（リングトポロジの幹線）
IN ポート
OUT ポート
分岐スレーブ
形 GX-JC03
X2
X3
リングトポロジ上のスレーブ
リングトポロジの支線
リング終点
ポート
分岐スレーブ
形 GX-JC03
リングトポロジの
支線上のケーブル
リング起点スレーブ
X2
X3
最終ポート
リングトポロジ上の
ケーブル
リングトポロジの
支線上のスレーブ

A-8-1　イベントによる EtherCAT リングトポロジの配線修正手順のフロー

発生中異常のイベントを元に EtherCAT におけるリングトポロジの実ネットワークの配線を修正するフローを次に示します。フローに示す順序でイベントへの対処を行ってください。





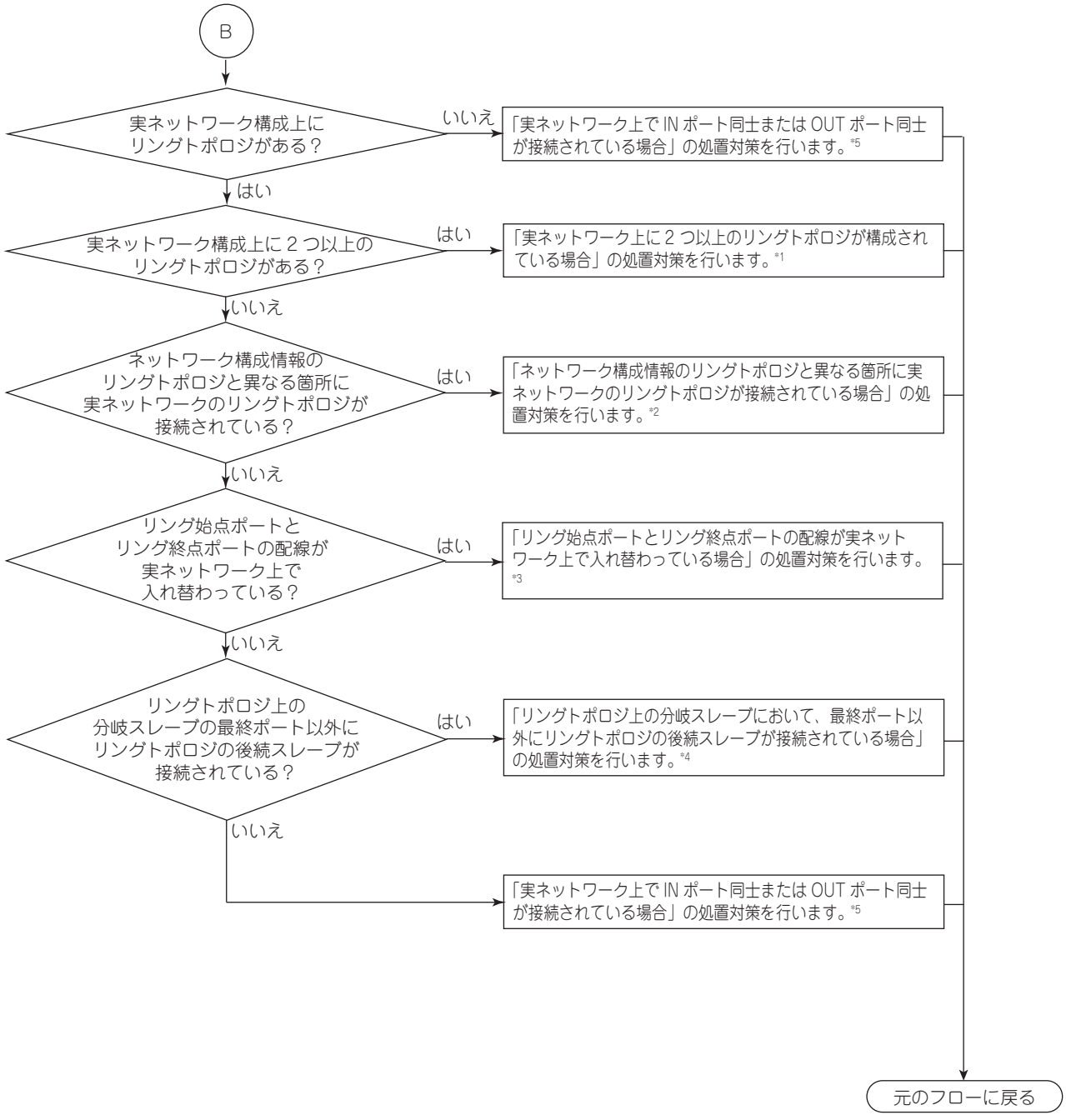
*1.「リンクオフ異常 (P.3-564)」
*2.「EtherCAT フレーム受信なし異常 (P.3-566)」
*3.「「不正な配線検知」が登録されている場合 (P.A-234)」
*4.「リング断線検知 (P.3-613)」
*5.「「リング断線検知」が登録されている場合 (P.A-241)」
*6.「ネットワーク構成照合異常（スレーブ不一致） (P.3-591)」
*7.「ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続） (P.3-589)」
*8.「ネットワーク構成照合異常（スレーブ不在） (P.3-596)」
*9.「ネットワーク構成照合異常（リング誤配線） (P.3-598)」
*10.「「ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）」が登録されている場合 (P.A-242)」
*11.「プロセスデータ受信タイムアウト異常 (P.3-578)」
*12.「「プロセスデータ受信タイムアウト」が登録されている場合 (P.A-244)」

A-8-2　イベントごとのリングトポロジの配線修正方法

イベントごとの要因と処置対策は、Sysmac Studio に表示、または「異常の説明 内蔵 EtherCAT ポート関連 (P.3-561)」に記載されています。ここではそのうちのリングトポロジの配線修正に関係する要因と処置対策について説明します。

「不正な配線検知」が登録されている場合

不正な配線検知が発生している場合のトラブルシューティングのフローを次に示します。フローに示す順序で対処を行ってください。



*1.「実ネットワーク上に 2 つ以上のリングトポロジが構成されている場合 (P.A-236)」
*2.「ネットワーク構成情報のリングトポロジと異なる箇所に実ネットワークのリングトポロジが接続されている場合 (P.A-237)」
*3.「リング始点ポートとリング終点ポートの配線が実ネットワーク上で入れ替わっている場合 (P.A-238)」

*4.「リングトポロジ上の分岐スレーブにおいて、最終ポート以外にリングトポロジの後続スレーブが接続されている場合 (P.A-239)」
*5.「実ネットワーク上で IN ポート同士または OUT ポート同士が接続されている場合 (P.A-240)」

● 実ネットワーク上に 2 つ以上のリングトポロジが構成されている場合

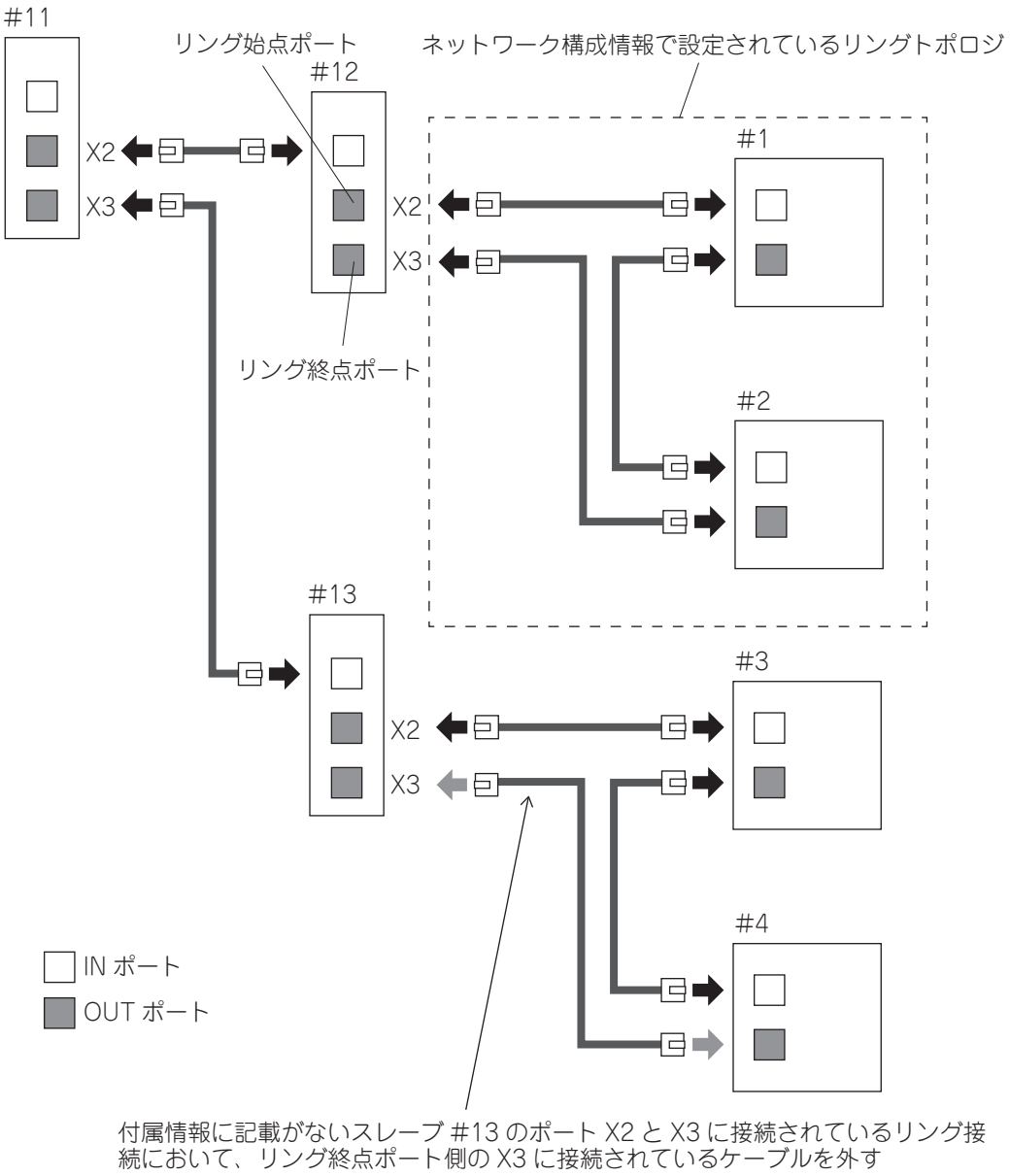
実ネットワーク上のリングトポロジを 1 つだけにしてください。
手順は次のとおりです。

(1)ネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジのリング起点スレーブ（付属情報 1）、リング始点ポートとリング終点ポート（付属情報 2）を確認する。

(2)実ネットワーク上の(1)以外のリングトポロジの最後のケーブル（OUT ポート同士が接続されているケーブル）を外す。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#12
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名	X2_X3



● ネットワーク構成情報のリングトポロジと異なる箇所に実ネットワークのリングトポロジが接続されている場合

実ネットワーク上で、リング始点ポートとリング終点ポートにリングトポロジを配線してください。

手順は次のとおりです。

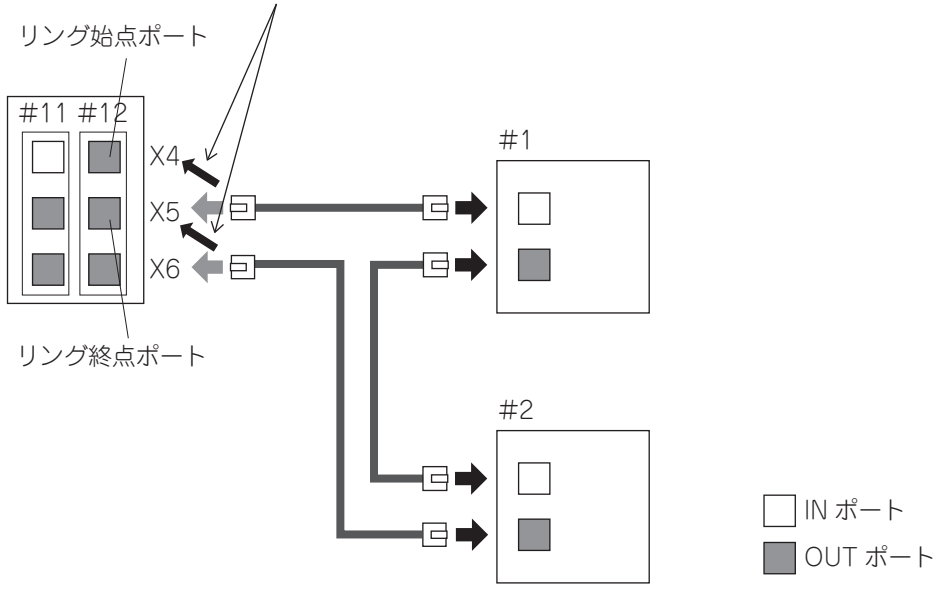
(1)ネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジのリング起点スレーブ（付属情報 1）、リング始点ポートとリング終点ポート（付属情報 2）を確認する。

(2)実ネットワーク上で、リングトポロジが(1)と異なるポートに接続されている場合は、リングトポロジをリング始点ポートとリング終点ポートに接続しなおす。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#11
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名	X2_X3

付属情報の記載と異なる、スレーブ #12 のポート X5 と X6 に接続されているリング接続を、始点側と終点側を間違えないようにポート X4 と X5 に接続しなおす



● リング始点ポートとリング終点ポートの配線が実ネットワーク上で入れ替わっている場合

実ネットワーク上で、リング始点ポートとリング終点ポートの配線を入れ替えてください。
手順は次のとおりです。

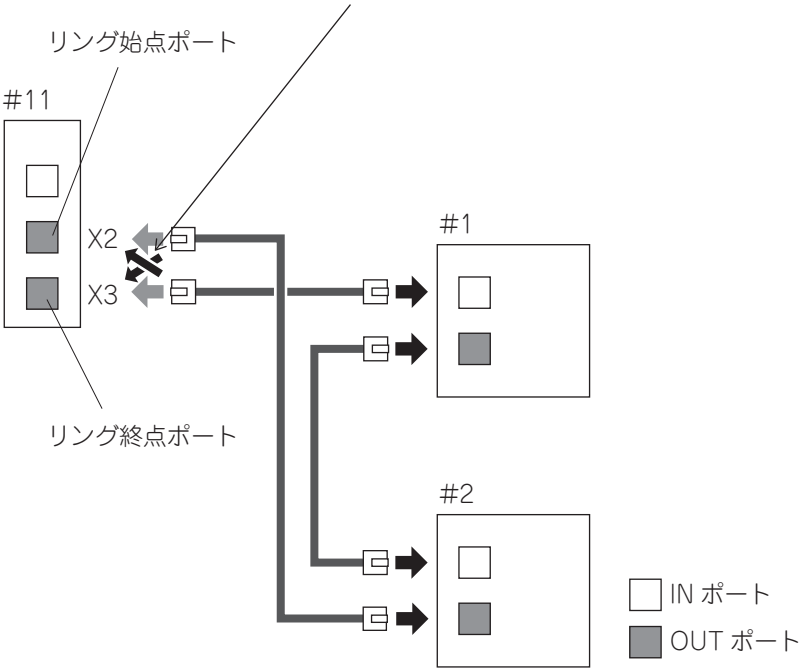
(1)ネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジのリング起点スレーブ（付属情報 1）、リング始点ポートとリング終点ポート（付属情報 2）を確認する。

(2)実ネットワーク上で入れ替わっている(1)のリング始点ポートとリング終点ポートの配線を入れ替える。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#11
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名	X2_X3

付属情報の記載と同じ、スレーブ #11 のポート X2 と X3 に接続されているリング接続で、
ケーブルの始点側、終点側が逆になっている場合は、X2 と X3 のケーブルを入れ替えて接続しなおす



● リングトポロジ上の分岐スレーブにおいて、最終ポート以外にリングトポロジの後続スレーブが接続されている場合

実ネットワーク上の分岐スレーブにおいて、最終ポートにリングトポロジの幹線上の後続スレーブへのケーブルを接続してください。

手順は次のとおりです。

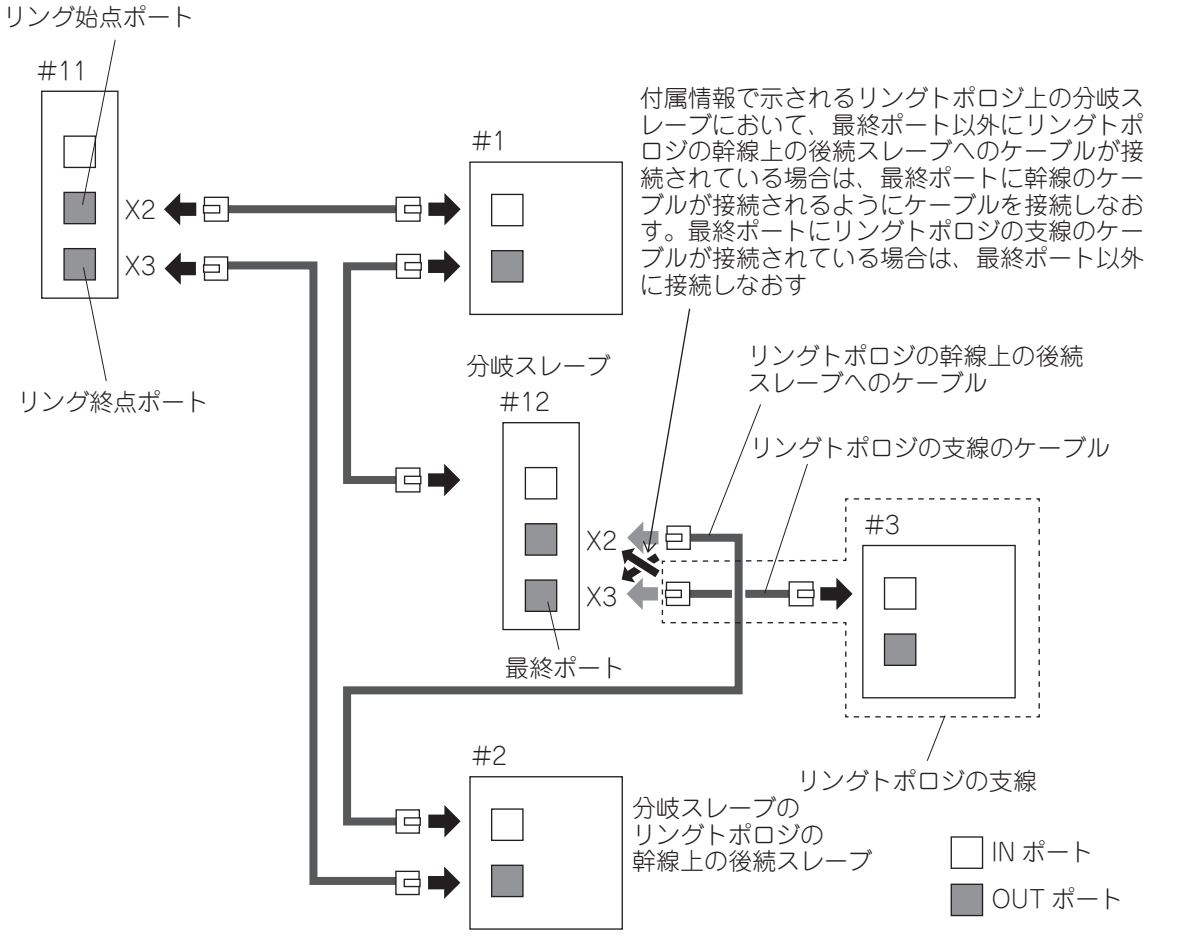
(1)リングトポロジ上の分岐スレーブの最終ポートにリングトポロジの幹線上の後続スレーブへのケーブルが接続されているかを確認する。

(2)リングトポロジ上の分岐スレーブの最終ポートにリングトポロジの幹線上の後続スレーブへのケーブルが接続されていない場合は、最終ポートに幹線上の後続スレーブへのケーブルを接続する。最終ポートにリングトポロジの支線のケーブルが接続されている場合は、支線のケーブルを最終ポート以外に接続しなおす。

(3)(1)の確認が困難な場合は、リングトポロジの最後のケーブルを外す。「ネットワーク構成照合異常（スレーブ誤接続）」が発生したときは、その処置対策に従ったのち、外したケーブルを再度接続する。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#11
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名	X2_X3



● 実ネットワーク上で IN ポート同士または OUT ポート同士が接続されている場合

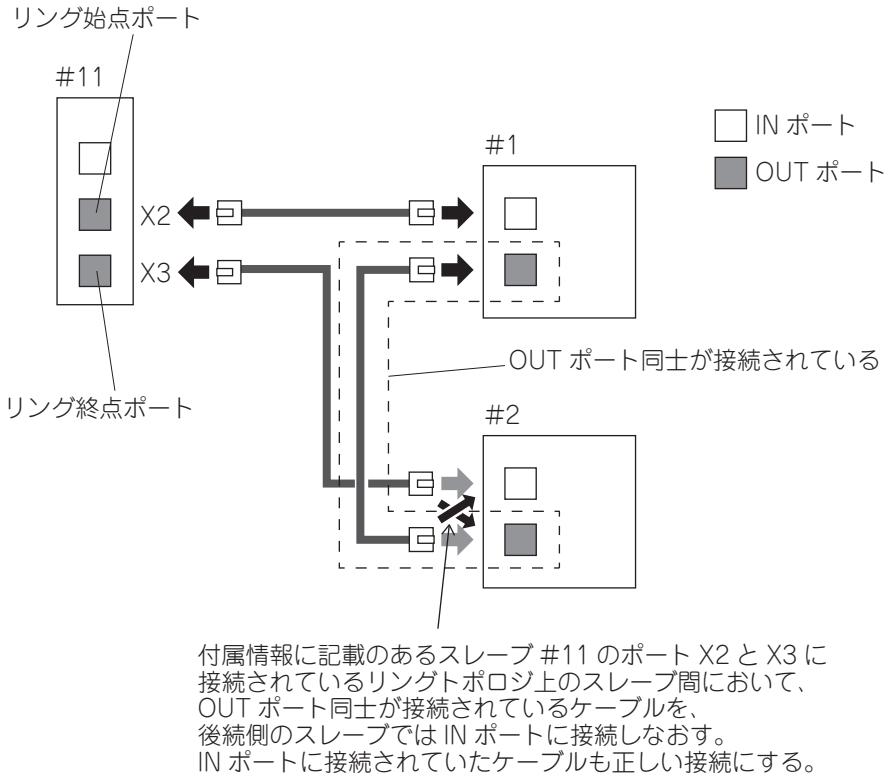
実ネットワーク上で IN ポート同士または OUT ポート同士を接続しているケーブルを、OUT ポートと IN ポートを接続するように修正してください。
手順は次のとおりです。

(1)実ネットワーク上で IN ポート同士または OUT ポート同士で接続されていないかを確認する。

(2)IN ポート同士または OUT ポート同士で接続されている場合は、OUT ポートと IN ポートを接続するように配線を修正する。

以下に、リングトポロジで OUT ポート同士が接続されている場合の例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#11
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名とリング終点ポート名	X2_X3



参考

本イベントが発生している場合、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することで、IN ポート同士または OUT ポート同士の接続箇所を特定できる場合があります。また、リングトポロジを構成している場合は、リングトポロジの最後のケーブルを外すことで、IN ポート同士または OUT ポート同士の接続箇所を特定できる場合があります。

「リング断線検知」が登録されている場合

リングトポロジ上のケーブルに異常があります。ケーブル冗長状態ではありません。
付属情報 1 のノードアドレスを持つスレーブとその後続スレーブとの間のケーブルにおいて、次の要因を取り除いてください。

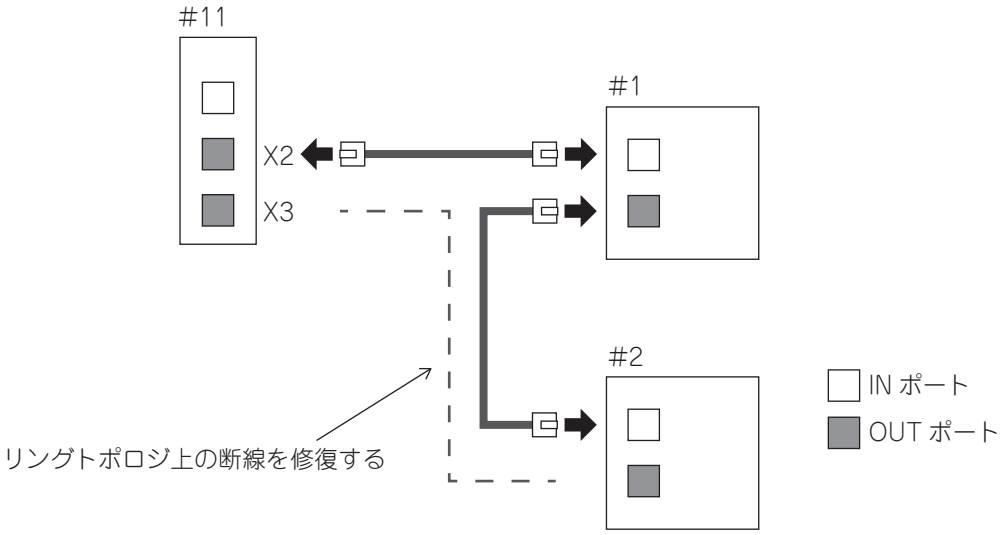
- Ethernet ケーブルを抜いた
- Ethernet ケーブルのコネクタの外れ
- 推奨外の Ethernet ケーブルを使用
- Ethernet ケーブルの断線
- コネクタの接触不良、または部品不良

参考

本イベントが発生している場合、Sysmac Studio の発生中異常の EtherCAT 構成ビューを使用することでも断線の箇所を特定することができます。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	断線箇所手前のスレーブノードアドレス	#2



使用上の注意

「リング断線検知」はイベントの重要度が軽度フォールトのときに発生中異常に表示されます。「リング断線検知」の重要度を監視情報にしている場合は、「リング断線検知」は発生中異常には表示されません。イベントログで確認してください。重要度が監視情報の「リング断線検知」への処置対策も、重要度が軽度フォールトの場合と同じ処置対策を行ってください。

「ネットワーク構成照合異常（リング誤配線）」が登録されている場合

ネットワーク構成情報で設定されていないリングトポロジが、実ネットワーク上に構成されています。ネットワーク構成情報でケーブル冗長性設定されていないリングトポロジの最後のケーブルを外してください。
手順は次のとおりです。

(1)ネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジのリング起点スレーブ（付属情報 1）、リング始点ポートとリング終点ポート（付属情報 2）を確認する。

(2)(1)以外のリングトポロジを外す。



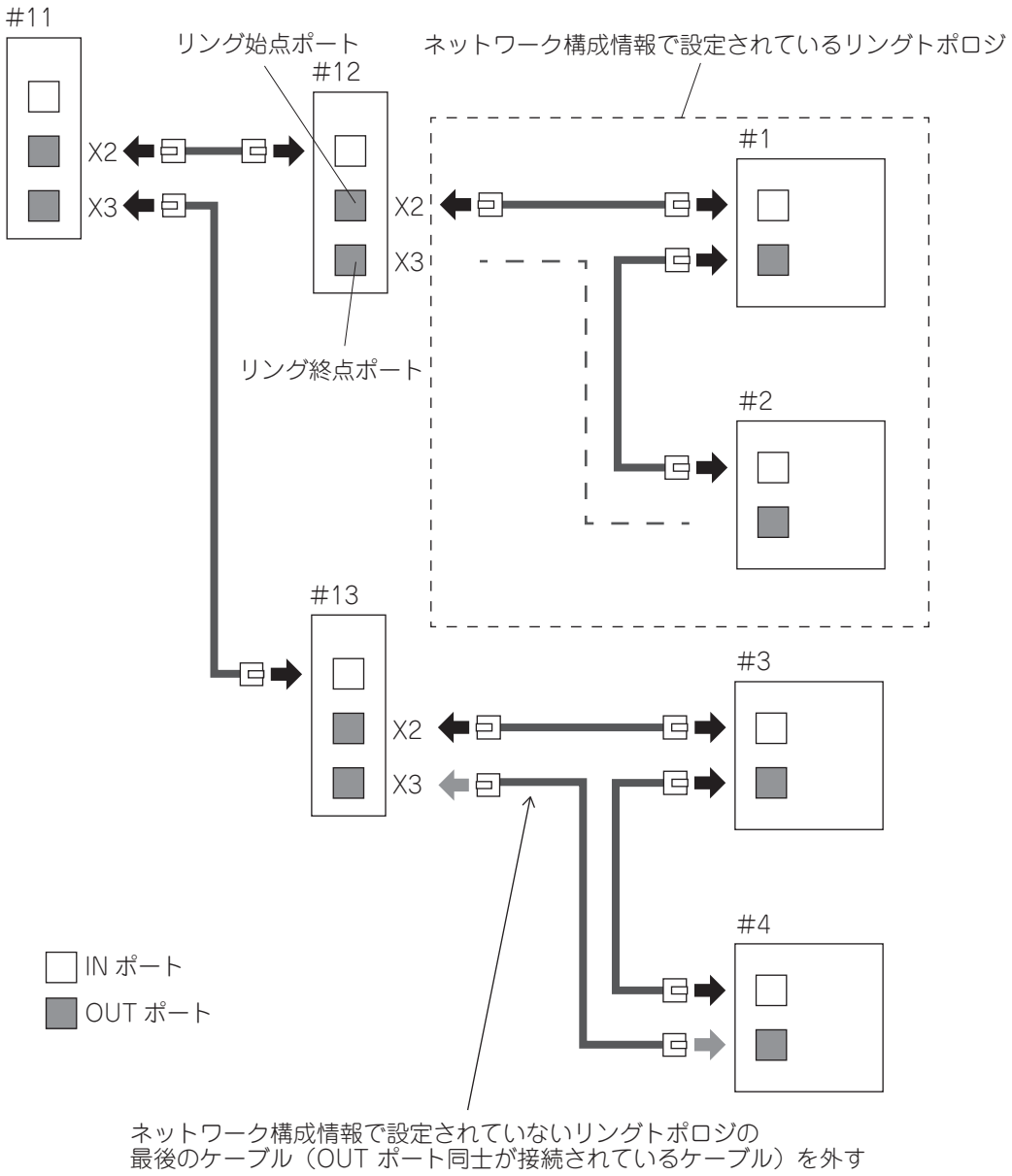
参考

本イベントが発生している場合、Sysmac Studio の比較・マージ機能を使用することでも誤配線の箇所を特定することができます。

リングトポロジを構成したい場合で、付属情報 1 が 0 となっているときは、ネットワーク構成情報でケーブル冗長性設定を行ってください。

以下に例を示します。

項目	説明	値
付属情報 1	ネットワーク構成情報上のリング起点スレーブのノードアドレス	#12
付属情報 2	ネットワーク構成情報上のリング始点ポート名と終点ポート名	X2_X3


#11
リング始点ポート
#12
ネットワーク構成情報で設定されているリングトポロジ
X2
X3
X2
X3
#1
#2
リング終点ポート
#13
#3
X2
X3
#4
IN ポート
OUT ポート
ネットワーク構成情報で設定されていないリングトポロジの
最後のケーブル（OUT ポート同士が接続されているケーブル）を外す

「プロセスデータ受信タイムアウト」が登録されている場合

「プロセスデータ受信タイムアウト」は、リングトポロジに対応していないスレーブがリングトポロジ上に含まれている場合にリング断線またはスレーブの電源断が起こったあとにも発生します。イベントログで、「リング断線検知」または「スレーブの不正な切り離し検知」が「プロセスデータ受信タイムアウト」と同時に発生していないか確認してください。
リングトポロジ上には、リングトポロジに対応しているスレーブだけを配置してください。

A-9 X バスユニット関連の動作

X バスユニットのコントローライベントの動作を以下に示します。

A-9-1 重要度ごとの動作

コントローライベントの重要度により、異常が発生した際の動作が異なります。

項目		発生したイベントの重要度				
		コントローラ異常				コントローラ情報
		全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報	一般情報
定義		コントローラ全体の制御が不能となる重大な異常	PLC 機能モジュール以外のいずれかの機能モジュール全体の制御が不能となる異常	いずれかの機能モジュールの一部の制御が不能となる異常	制御に影響がない異常	異常ではないが、イベントログに記録してユーザに通知する情報
X バスユニットの動作	RUN LED（緑）	−	−	点灯	点灯	点灯
	ERROR LED（赤）	−	−	点灯、または点滅（500ms 周期）	消灯	消灯
	運転状態	−	−	運転停止、または運転継続	運転継続	運転継続
	異常解除	−	−	不可、または可	可	可
	負荷遮断	−	−	あり、またはなし	なし	なし
	イベントログ（異常履歴）	−	−	記録（記録が不可能な異常あり）	記録	記録

A-9-2 イベント発生源となった場合の機能モジュールの動作

機能モジュール	発生した異常の重要度			
	全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報
X バスユニット共通機能モジュール	−	−	• X バスユニットの動作停止 • X バスユニットの一部動作継続	動作継続

機能モジュール	発生した異常の重要度			
	全停止フォールトレベル	部分停止フォールトレベル	軽度フォールトレベル	監視情報
X バス Ethernet 機能モジュール	−	−	• Ethernet 通信停止（Sysmac Studio のオンライン接続と表示器の通信接続不可） • Ethernet 通信一部停止（SysmacStudio や表示器の通信接続部分以外が原因のときはオンライン接続および通信接続可）	Ethernet 通信継続
X バス EtherNet/IP 機能モジュール	−	−	• EtherNet/IP 通信停止 • EtherNet/IP 通信一部停止	EtherNet/IP 通信継続

A-10 マニュアル No.変更前の改訂履歴

本マニュアルは、Man.No.（マニュアル No.）を次のように変更しています。

現在の Man.No.	変更前の Man.No.
SBCA-469	SBCA-361

変更前の Man.No.での改訂履歴を示します。

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
A	2011 年 7 月	初版
B	2012 年 3 月	CPU ユニット Ver.1.01 へのバージョンアップ、接続機器追加によるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
C	2012 年 5 月	CPU ユニット Ver.1.02 へのバージョンアップ、接続機器追加によるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
D	2012 年 8 月	CPU ユニット Ver.1.03 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
E	2013 年 2 月	CPU ユニット Ver.1.04 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
F	2013 年 4 月	CPU ユニット Ver.1.05 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂
G	2013 年 6 月	CPU ユニット Ver.1.06 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂
H	2013 年 9 月	CPU ユニット Ver.1.07 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂
J	2013 年 12 月	CPU ユニット Ver.1.08 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂
K	2014 年 7 月	誤記修正
L	2015 年 1 月	CPU ユニット Ver.1.10 へのバージョンアップによるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
M	2015 年 4 月	形 NX701-□□□□、形 NJ101-□□□□の追加によるイベント追加・内容変更に伴う改訂 誤記修正
N	2016 年 4 月	CPU ユニット Ver.1.11 へのバージョンアップに伴う改訂 誤記修正
P	2016 年 7 月	CPU ユニット Ver.1.12 へのバージョンアップに伴う改訂 誤記修正
R	2016 年 10 月	CPU ユニット Ver.1.13 へのバージョンアップに伴う改訂 誤記修正
S	2017 年 4 月	CPU ユニット Ver.1.14 へのバージョンアップに伴う改訂 誤記修正
T	2017 年 10 月	CPU ユニット Ver.1.16 へのバージョンアップに伴う改訂 CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴一覧を追加 誤記修正
U	2018 年 1 月	CPU ユニット Ver.1.17 へのバージョンアップに伴う改訂

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
V	2018 年 4 月	NX シリーズ 形 NX102 CPU ユニットの追加に伴う改訂 CPU ユニット Ver.1.18, Ver.1.30 へのバージョンアップに伴う改訂 NJ/NX シリーズ CPU ユニットの各機能モジュールの、イベントコードおよび異常に関する説明を本マニュアルに集約 以下の記載を 3 章から付録に移動 • CPU ユニットの標準以外の形式だけで発生する異常（イベント）の一覧 • CJ シリーズ高機能ユニットの異常履歴一覧 • イベントコード順の異常の一覧 誤記修正

I

索引

索引

Numerics

1S シリーズ..... A-110

C

CIP 通信異常.....1-34
CJ シリーズ CompoNet マスタユニット..... A-161
CJ シリーズ DeviceNet ユニット.....A-154
CJ シリーズ EtherCAT スレーブユニット.....A-162
CJ シリーズ EtherNet/IP ユニット.....A-159
CJ シリーズ ID センサユニット..... A-146
CJ シリーズアナログ入出力ユニット.....A-142
CJ シリーズ温度調節ユニット..... A-145
CJ シリーズ高速カウンタユニット.....A-148
CJ シリーズシリアルコミュニケーションユニット....A-149
CJ シリーズプロセス入出力ユニット.....A-144
CPU 異常..... 1-8, 2-9
CPU 異常（WDT 異常）.....1-8, 2-9
CPU ユニットが動作できない異常..... 1-4, 1-8, 2-8
CPU ユニットが動作できる異常..... 1-4, 1-11, 2-10
CPU ユニットの動作状態..... 1-6, 1-7
CPU リセット.....1-8, 2-8

D

DB 接続サービス.....A-2
DB 接続命令.....A-5

E

E3NW-ECT.....A-139
E3X..... A-138
ErrorID
　基本命令.....3-35, 3-186
　モーション制御命令..... 3-384, 3-434
EtherCAT 異常解除 2-19
EtherCAT 異常ステータス取得 1-25, 2-18
EtherCAT スレーブ異常..... 1-38
EtherCAT マスタ異常..... 1-38
EtherNet/IP 異常ステータス取得 1-25, 2-18

F

FH シリーズ.....A-135
FQ-M シリーズ.....A-137

G

G5 シリーズ.....A-122
GEM サービス..... A-9
GEM 命令..... A-11
GetCJBError（I/O バス異常ステータス取得）. 1-25, 2-18
GetECError（EtherCAT 異常ステータス取得）1-25, 2-18
GetEIPError（EtherNet/IP 異常ステータス取得）.....
.....1-25, 2-18
GetMCError（モーション制御異常ステータス取得）.....
.....1-25, 2-18
GetNXBError（NX バス異常ステータス取得）..1-25, 2-18
GetNXUnitError（NX ユニット異常ステータス取得）.....
.....1-25, 2-18
GetPLCError（PLC 異常ステータス取得）..... 1-25, 2-18
GetXBError（X バス異常ステータス取得）.....1-25, 2-18
GetXBUnitError（X バスユニット異常ステータス取得）....
.....1-25, 2-18
GX シリーズ.....A-108

I

I/O バス異常解除 2-19
I/O バス異常ステータス取得 1-25, 2-18

L

LED..... 1-5, 1-23

M

MC 共通の異常.....1-30
MX2／RX シリーズ..... A-134

N

NJ Robotics.....A-30
NX シリーズ EtherCAT カプラユニット..... A-58
NX シリーズアナログ EtherNet/IP ユニット..... A-103
NX シリーズ IO-Linik マスタユニット..... A-96
NX シリーズアナログ I/O ユニット..... A-65
NX シリーズ位置インタフェースユニット..... A-76
NX シリーズ温度調節ユニット..... A-99
NX シリーズコミュニケーションインタフェースユニット....
..... A-79
NX シリーズシステムユニット..... A-75
NX シリーズセーフティ CPU ユニット..... A-82
NX シリーズセーフティ I/O ユニット.....A-90
NX シリーズセーフティコントロールユニット..A-82, A-90
NX シリーズデジタル I/O ユニット..... A-62
NX シリーズロードセル入力ユニット..... A-93
NX バス異常解除 2-19
NX バス異常ステータス取得.....1-25, 2-18
NX ユニット異常ステータス取得.....1-25, 2-18

O

OPC UA サーバ機能.....3-618, 3-626
OPC UA 命令..... 3-625, 3-645

P

PLC 異常解除 2-19
PLC 異常ステータス取得 1-25, 2-18

R

ResetCJBError（I/O バス異常解除）..... 2-19
ResetECError（EtherCAT 異常解除）..... 2-19
ResetMCError（モーション制御異常解除）..... 2-19
ResetNXBError（NX バス異常解除）..... 2-19
ResetPLCError（PLC 異常解除）..... 2-19
ResetXBUnitError（X バスユニット異常解除）..... 2-19

T

TCP アプリ異常..... 1-34

X

X バス異常ステータス取得..... 1-25, 2-18
X バスユニット異常解除 2-19
X バスユニット異常ステータス取得..... 1-25, 2-18

Z

ZW-CE1..... A-140

い

異常解除命令..... 2-19
異常コード..... 1-22
異常ステータス取得命令..... 1-25, 2-18
異常ステータス変数..... 1-25, 2-20
異常の解除..... 1-27
異常の確認..... 1-10, 1-23, 2-20
異常の確認と解除..... 2-10, 2-15, 2-18
一般情報..... 1-15
イベント..... 1-2, 1-11
イベントコード..... 1-21, 3-3
イベントの日時..... 1-14
イベント発生源..... 1-14
イベント発生源詳細..... 1-14
イベント名..... 3-3
イベントログ..... 1-11

え

エラーコード..... 1-22
　基本命令..... 3-35, 3-186
　モーション制御命令..... 3-384, 3-434

お

オンライン接続..... 2-23, 2-36

か

形 CJ1W-AD041-V1/AD081-V1..... A-142
形 CJ1W-AD042..... A-142
形 CJ1W-AD04U..... A-144
形 CJ1W-CRM21..... A-161
形 CJ1W-CT021..... A-148
形 CJ1W-DA021/DA041..... A-142
形 CJ1W-DA042V..... A-142
形 CJ1W-DA08V/DA08C..... A-142
形 CJ1W-DRM21..... A-154
形 CJ1W-ECT21..... A-162
形 CJ1W-EIP21..... A-159
形 CJ1W-EIP21S..... A-159
形 CJ1W-MAD42..... A-142
形 CJ1W-PDC15..... A-144
形 CJ1W-PH41U..... A-144
形 CJ1W-SCU22..... A-149
形 CJ1W-SCU32..... A-149
形 CJ1W-SCU42..... A-149
形 CJ1W-TC003..... A-145
形 CJ1W-TC004..... A-145
形 CJ1W-TC103..... A-145
形 CJ1W-TC104..... A-145
形 CJ1W-V680C11..... A-146
形 CJ1W-V680C12..... A-146
形 NX-AD□□□□..... A-65
形 NX-CIF□□□..... A-79
形 NX-DA□□□□..... A-65
形 NX-EC0□□□..... A-76
形 NX-ECC□□□..... A-58
形 NX-ECS□□□..... A-76
形 NX-EIP201..... A-103
形 NX-HB□□□□..... A-65
形 NX-ID□□□□..... A-62
形 NX-ILM□□□..... A-96
形 NX-OC□□□□..... A-62
形 NX-OD□□□□..... A-62
形 NX-PC0□□□..... A-75
形 NX-PD1□□□..... A-75
形 NX-PF0□□□..... A-75
形 NX-PG0□□□..... A-76
形 NX-RS□□□□..... A-93
形 NX-SI□□□□..... A-90
形 NX-SL3□□□..... A-82
形 NX-SL5□□□..... A-82
形 NX-SO□□□□..... A-90
形 NX-TBX01..... A-75
形 NX-TC□□□□..... A-99
形 NX-TS□□□□..... A-65
監視情報..... 1-15

け

軽度フォールトレベル..... 1-15
検出タイミング..... 3-3

こ

コントローラ異常..... 1-15
コントローライベント..... 1-11
コントローラ情報..... 1-15

さ

再発防止..... 3-3
サポートソフトがオンライン接続できない場合..... 2-23

し

軸グループの異常.....1-30
軸の異常.....1-30
システム初期化異常.....1-9, 2-8
システム定義変数.....1-25, 2-20
重要度.....1-15, 3-3
処置対策.....3-3

す

推定原因.....3-3

せ

セキュリティ関連.....3-331
設定ユニットバージョン.....3-2, A-227
全停止フォールトレベル.....1-15, 1-19
セーフモードでの立ち上げ.....2-34

そ

その他のトラブルと処置.....3-551

つ

通信ポート異常.....1-34, 1-38

て

電源接続不正.....1-8, 2-9
電源部異常.....1-8, 2-8

と

トラブルシュータ.....1-24, 2-15, A-225
トラブルシュート機能.....1-24, 2-10

は

バックアップ機能.....3-558
発生源.....1-30, 1-34, 1-37
発生源詳細.....3-3
発生要因.....3-3
バージョン.....19
ハードウェア初期化異常.....2-9

ひ

表示器.....A-225

ふ

付属情報.....3-3
復旧方法.....3-3
部分停止フォールトレベル.....1-15

も

モーション制御異常解除 2-19
モーション制御異常ステータス取得.....1-25, 2-18

ゆ

ユーザイベント.....1-11

り

リストア機能.....3-558

ろ

ログカテゴリ.....3-3
ロボット制御.....A-14
ロボット制御命令.....A-23
ロボット命令.....A-38

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様相談室

フリー通話 **0120-919-066**（クイック　オムロン）

携帯電話の場合、

055-982-5015（有料）をご利用ください。

受付時間：9:00～17:00（土・日・12/31～1/3を除く）

オムロンFAクイックチャット

www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。（I-Webメンバーズ限定）

受付時間：平日9:00～12:00 / 13:00～17:00（土日祝日・年末年始・当社休業日を除く）

※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。

その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧いただけます。緊急時のご購入にもご利用ください。 **www.fa.omron.co.jp**

●本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。

●本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。

オムロン商品のご用命は

Man. No. SBCA-469AB 2025年10月現在

©OMRON Corporation 2011-2025 All Rights Reserved.
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください